工　　事　　名	令和６年度(債務負担行為) 豊科近代美術館 大規模修繕工事事業 大規模改修工事
施　工　箇　所	安曇野市　　豊科近代美術館

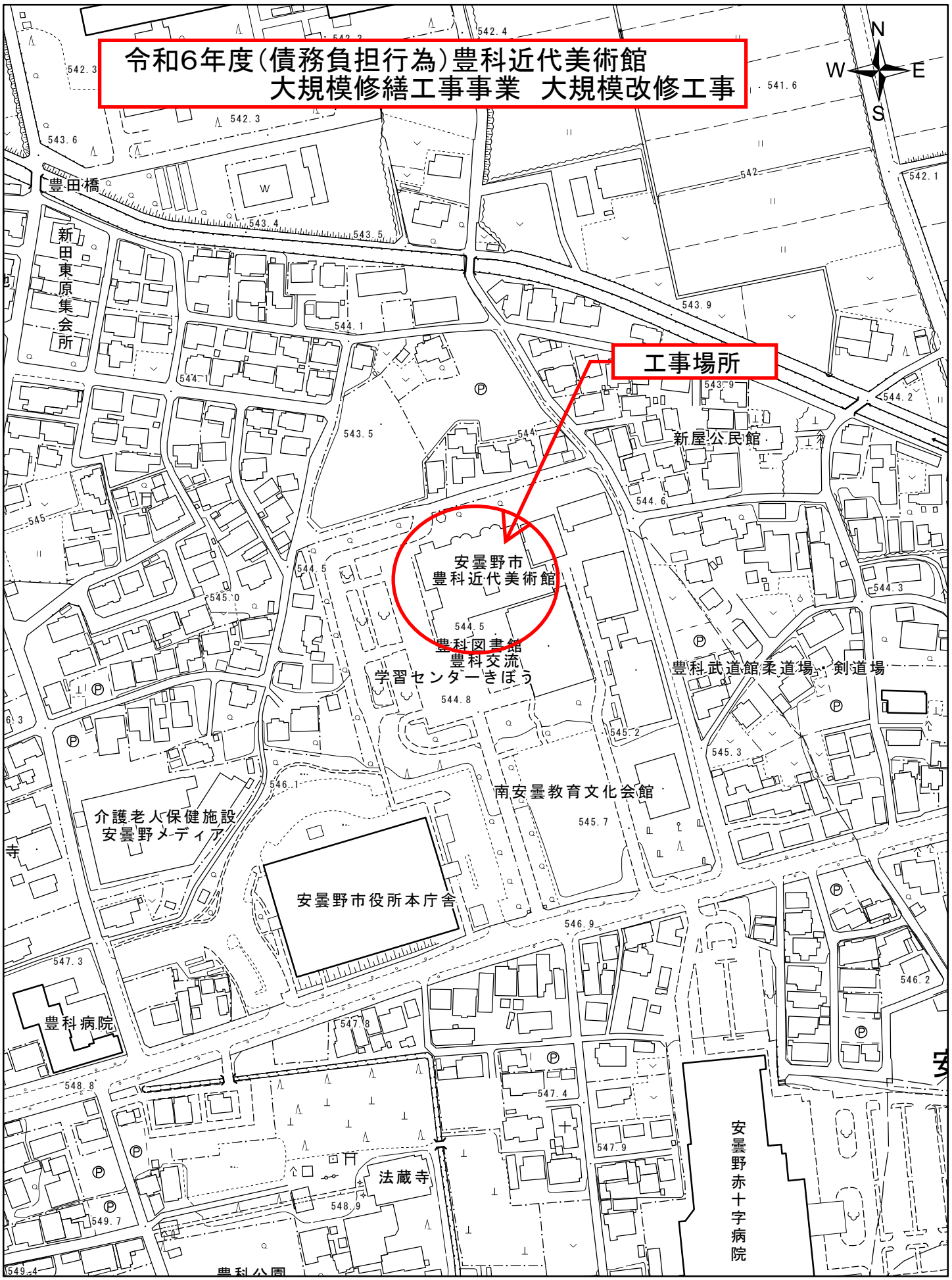
金抜設計書

設　　計　　概　　要	施　工　方　法	請　　負
豊科近代美術館の大規模改修工事 ・屋根、外壁改修工事 ・断熱化工事 ・耐震改修工事 ・老朽部改修工事 ・照明ＬＥＤ化、空調（エアコン）設置工事　ほか ・美術館仮設事務所、仮設倉庫の建設・解体 ・美術品、ピアノの移設・復旧　ほか	施　工　期　間	契約日～令和7年７月10日
	担当課	文化課　文化振興担当
	工事担当課	財産管理課　施設経営担当
	契約保証方法	金銭的保証

・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。
・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、ｈ、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。

安 曇 野 市

案内図


令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館
大規模修繕工事事業　大規模改修工事
N
W
E
S
工事場所
豊田橋
新田東原集会所
新屋公民館
安曇野市
豊科近代美術館
豊科図書館
豊科交流
学習センターきぼう
豊科武道館柔道場・剣道場
南安曇教育文化会館
介護老人保健施設
安曇野メディア
安曇野市役所本庁舎
豊科病院
法蔵寺
安曇野赤十字病院
豊科公園
1:2,500
0
45
90
180 m

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館 大規模修繕工事事業 大規模改修工事							
Ⅰ	共通仮設工事	率共通費+積上共通仮設分	1.0	式			
Ⅱ	直接工事費		1.0	式			
	純工事費 計						
Ⅳ	現場管理費		1.0	式			
	工事原価 計						
Ⅴ	一般管理費		1.0	式			
	工事価格 計						
	消 費 税		1.0	式			
	工事費 合計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
Ⅰ	共通仮設工事						
Ⅰ-1	（率仮設分）						
	仮設建物	現場事務所					
	仮設建物	管理事務所					
	仮設建物	現場ﾄｲﾚﾕﾆｯﾄ					
	工事用用水電力						
	機械器具損料		1.0	式			
	安全管理費						
	各種試験費						
	工事管理写真費						
	整理清掃	全般的な物					
	Ⅰ-1（率仮設分）-計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
Ⅰ-2	共通仮設費(積上計上)						
	仮囲い	成形鋼板 高2.0m 存置12ヶ月間程度 掛払・損料・修繕・運搬共	300.0	m			
	仮囲い 仮設建物建設時・解体時	ｼｰﾄ張り 高2.0m 掛払・損料・修繕・運搬共	160.0	m			
	ｼｰﾄｹﾞｰﾄ	W3.6xH4.5m 存置12ヶ月程度 設置・撤去・修繕・処分・運搬共	2.0	ヶ所			
	鉄板敷き	t22 存置12ヶ月間程度 掛払・損料・修繕・運搬共	1,400.0	m2			
	鉄板敷き 仮設建物建設時・解体時	盛替え	420.0	m2			
	交通誘導警備員(B)		480.0	人工			
	増築棟2階 仮設間仕切り	LGS65+片面PB12.5 H4.0m 設置・撤去・処分・運搬共	34.6	m			
	増築棟2階 仮設鋼製扉	W900xH1800 ｱﾙﾐ製 存置12ヶ月程度 掛払・損料・修繕・運搬共	1.0	ヶ所			
	仮設建物工事	設置・撤去・修繕・処分・運搬共	1.0	式			別紙-①
	仮設建物基礎工事	設置・撤去・修繕・処分・運搬共	1.0	式			別紙-②

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　　考
	展示美術品 移動復旧作業	[梱包・彫刻移動作業]	1.0	式			別紙-③
	展示美術品 移動復旧作業	[移動・展示復旧作業]	1.0	式			別紙-④
	館内備品 移動・保管・復旧	普通作業員程度（50人x2回=100人）	100.0	人工			
	化学物質濃度測定	ﾊﾟｯｼﾌﾞ法6物質　測定物質：ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ ﾄﾙｴﾝ・ｷｼﾚﾝ・ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ・ｽﾁﾚﾝ　9箇所x前後2	18.0	回			
	Ⅰ-2（積上設分）-計						
	Ⅰ-合計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	別紙-① 仮設建物工事						
	美術館仮設事務所	(6連棟)存置12ヶ月程度 掛払・損料・修繕・運搬共(給排水:設備工事)	1.0	式			
	作業員休憩場	(2連棟)存置12ヶ月程度 掛払・損料・修繕・運搬共(給排水:設備工事)	1.0	式			
	美術館仮設倉庫1	(4連棟)存置12ヶ月程度 掛払・損料・修繕・運搬共(給排水:設備工事)	1.0	式			
	美術館仮設倉庫2	(6連棟)存置12ヶ月程度 掛払・損料・修繕・運搬共(給排水:設備工事)	1.0	式			
	仮設便所	水洗式 大小各1　存置12ヶ月程度 掛払・損料・修繕・運搬共(給水:設備工事)	1.0	式			
	諸経費	仮設建築物の許可申請・建築確認申請・完了検査申請 EVの建築確認・完了検査申請・法定福利費含(手数料含む)	1.0	式			
	美術館仮設事務所 仮設間仕切り	LGS65+両面化粧PB12.5 H2.4m 設置・撤去・処分・運搬共	11.4	m			
	美術館仮設事務所 仮設鋼製扉	W900xH1800 ｱﾙﾐ製 存置12ヶ月程度 掛払・損料・修繕・運搬共	2.0	ヶ所			
	美術館仮設事務所 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	t6.5　500角　第一種ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ 設置・撤去・処分・運搬共	81.0	m2			
	別紙-① 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	別紙-② 仮設建物基礎工事						
	[設置]						
	根切	機械	159.0	m3			
	埋戻し	B種　良質根切土	108.0	m3			
	不用土運搬	場内仮置土 機械 運搬(DT4t積:片道10km圏内程度)	50.4	m3			
	不用土処分		50.4	m3			
	砕石地業	基礎下　再生砕石 小運搬共	21.1	m3			
	捨ｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc=18N/mm2　S=15cm	7.1	m3			
	躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc=24N/mm2　S=18cm	36.5	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨ｺﾝ　人力　ｶｰﾄ打設	7.1	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	躯体ｺﾝ　　ﾎﾟﾝﾌﾟ打	36.5	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ強度補正	6N/mm2	36.5	m3			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車用ﾓﾙﾀﾙ	配合1:4	2.0	m3			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車損料	基本料金･圧送費共	4.0	回			
	普通合板型枠		224.0	m2			
	打放し合板型枠		76.0	m2			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	300.0	m2			
	異形鉄筋棒鋼	SD295　D10	1,398.0	kg			
	異形鉄筋棒鋼	SD295　D16	805.0	kg			
	鉄筋ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H2(特級B)程度	▲ 59.5	kg			
	鉄筋加工組立費	結束線・ｽﾍﾟｰｻｰﾌﾞﾌﾞﾛｯｸ共	2,118.0	kg			
	加工鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 4t車	2,118.0	kg			
	ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ埋込	材料支給、手間のみ	72.0	本			
	床下換気口	H150W450網付	22.0	ヶ所			
	立上り天端ｺﾝｸﾘｰﾄﾓﾙﾀﾙ金コテ	外周部W200	127.0	m			
	立上り天端ｺﾝｸﾘｰﾄﾓﾙﾀﾙ金コテ	W180	73.9	m			
	[撤去]						
	ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	t150　有筋	43.6	m3			
	解体廃材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ塊類	100.0	ton			
	解体廃材積込	鉄屑（鉄筋）	4.4	ton			
	解体廃材運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ塊類 DT2t・4t積　片道10km程度	100.0	ton			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	解体廃材運搬	鉄屑（鉄筋） DT2t・4t積　片道10km程度	4.4	ton			
	解体廃材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ塊類	100.0	ton			
	解体廃材処分(有価物処分)	鉄屑（鉄筋）金属 H3程度	▲ 4.4	ton			
	埋戻し	B種　良質根切土	30.1	m3			
	別紙2)-② 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	別紙-③ 展示美術品 移動復旧作業	[梱包・彫刻移動作業]					
	[梱包・彫刻移動作業]						
	（事前準備作業）	採寸・木枠作成					
	資機材車		1.0	台			
	人員輸送車		1.0	台			
	美術作業員		10.0	名			
	木枠資材費		1.0	式			
	消耗資材費		1.0	式			
	作業機材費		1.0	式			
	（梱包・移動作業）	4日間					
	資機材車		4.0	台			
	人員輸送車		4.0	台			
	美術作業員		16.0	名			
	―〃―時間外		16.0	H			
	資機材費		4.0	式			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	（養生作業）						
	青ﾍﾞﾆﾔ	1年間使用	150.0	枚			
	消耗資材	1年間使用	1.0	式			
	（重量品作業）	作品のみ					
	資機材車		2.0	台			
	作業員		10.0	名			
	ｸﾚｰﾝ等		1.0	式			
	資機材費		1.0	式			
	（石材作業）	ｶﾃﾞﾗﾙ台座					
	石材作業		1.0	式			
	下請諸経費	法定福利費含	1.0	式			
	別紙-③ 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	別紙-④ 展示美術品 移動復旧作業	[移動・展示復旧作業]					
	[移動・展示復旧作業]						
	（事前準備作業）	事前調査					
	人員輸送車		1.0	台			
	美術作業員		2.0	名			
	（移動・展示復旧作業）	5日間					
	資機材車		5.0	台			
	人員輸送車		5.0	台			
	美術作業員		20.0	名			
	―〃―時間外		20.0	H			
	資機材費		4.0	式			
	（養生作業）						
	青ﾍﾞﾆﾔ		100.0	枚			
	消耗資材		1.0	式			
	（木枠処理）						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	木材処理		1.0	式			
	下請諸経費	法定福利費含	1.0	式			
	別紙-④ 小計						

No	名　称	規格･摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　　考
Ⅱ	直接工事費						
A	本館棟建築改修工事		1.0	式			
B	収蔵庫棟建築改修工事		1.0	式			
C	燃料保管庫棟建築改修工事		1.0	式			
D	昇降機設備改修工事		1.0	式			
E	外構改修工事		1.0	式			
F	電気設備改修工事		1.0	式			
G	仮設電気設備工事		1.0	式			
H	空気調和設備改修工事		1.0	式			
I	給排水衛生設備改修工事		1.0	式			
J	仮設給排水設備工事		1.0	式			
	Ⅱ－合計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
A	本館棟建築改修工事						
1）	直接仮設工事		1.0	式			
2）	躯体改修工事		1.0	式			
3）	既製ｺﾝｸﾘｰﾄ工事		1.0	式			
4）	防水工事		1.0	式			
5）	ﾀｲﾙ工事		1.0	式			
6）	木工事		1.0	式			
7）	屋根板金工事	笠木・軒樋・竪樋・這樋工事含	1.0	式			
8）	外壁工事	湿式外断熱改修	1.0	式			
9）	金属工事		1.0	式			
10）	左官工事		1.0	式			
11）	木製建具工事		1.0	式			
12）	鋼製建具工事		1.0	式			
13）	ｶﾞﾗｽ工事		1.0	式			
14）	塗装工事		1.0	式			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
15）	内外装工事		1.0	式			
16）	仕上ユニットその他		1.0	式			
17）	雑工事		1.0	式			
18）	解体工事	集積･積込･処分共	1.0	式			
	A － 合 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
1）	直接仮設工事						
	墨出し(内部改修)	複合改修	2,991.0	m2			
	外部足場	ｸｻﾋﾞ緊結式足場　手すり先行型　W900 掛払・損料・修繕・運搬共　存置9ヶ月間程度	2,419.0	m2			
	外部安全手摺足場手摺	H1000　存置9ヶ月間程度 掛払・損料・修繕・運搬共	431.0	m			
	外部足場枠組階段	存置9ヶ月間程度 掛払・損料・修繕・運搬共	89.3	m			
	屋根単管足場	存置3ヶ月間程度 掛払・損料・修繕・運搬共	2,053.0	架m2			
	内部棚足場	存置2ヶ月間程度 掛払・損料・修繕・運搬共	8,923.0	m3			
	外部養生ｼｰﾄ	ﾒｯｼｭｼｰﾄ 存置9ヶ月間程度 掛払・損料・修繕・運搬共	2,850.0	m2			
	内部足場階段足場	階段室棚足場 掛払・損料・修繕・運搬共　存置2ヶ月間程度	79.3	平m2			
	養生費(内部改修)	複合改修	2,991.0	延m2			
	整理清掃後片付(内部改修)	複合改修	2,991.0	延m2			
	1）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
2)	躯体改修工事						
a	耐震補強工事 1F X8通り・X17通り壁ｽﾘｯﾄ補強工事	2ヶ所	1.0	式			
b	耐震補強工事 2F X9通り壁開口改修工事	塞ぎ	1.0	式			
c	耐震補強工事 2F X16通り壁開口改修工事	塞ぎ	1.0	式			
d	1F X6通り壁開口改修工事	開口拡張	1.0	式			
e	1F X18通り壁開口改修工事	開口拡張	1.0	式			
f	2F X7通り壁開口改修工事	開口拡張	1.0	式			
g	2F Y14通り壁開口改修工事	開口拡張	1.0	式			
h	展示室9床開口補強工事	2ヶ所	1.0	式			
i	AD-1鉄骨下地工事		1.0	式			
j	壁貫通孔工事		1.0	式			
	2) ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
a	耐震補強工事 1F X8通り・X17通り壁ｽﾘｯﾄ補強工事						
	梁取合壁 完全耐震ｽﾘｯﾄ	60x220 ｶｯﾀｰ及び両面ｼｰﾙ共 耐火目地(ﾛｯｸｳｰﾙ80kg/m3)	6.5	m			
	梁取合壁 ｽﾘｯﾄ壁振止め	L-200x200x15 L=450 補強PL-9x3枚共　接着系ｱﾝｶｰM12(埋込7d)4本共	4.0	ヶ所			
	接着系あと施工ｱﾝｶｰ	M12　上向　有効埋込長7da	8.0	本			
	接着系あと施工ｱﾝｶｰ	M12　横向　有効埋込長7da	8.0	本			
	2)-a 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
b	耐震補強工事 2F X9通り壁開口改修工事	塞ぎ					
	躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc=24N/mm2　S=18cm	0.3	m3			
	打設手間	躯体ｺﾝ　　ﾎﾟﾝﾌﾟ打	0.3	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ強度補正	6N/mm2	0.3	m3			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車用ﾓﾙﾀﾙ	配合1:4	0.5	m3			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車損料	基本料金･圧送費共	1.0	回			
	無収縮ﾓﾙﾀﾙ圧入	試験費共 Fc＝30N/mm2	0.1	m3			
	打放合板型枠	B種　ｺｰﾝ処理共	4.4	m2			
	曲面打放型枠	B種　曲面　ｺｰﾝ処理共	0.6	m2			
	型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	4.9	m2			
	異形鉄筋棒鋼	SD295　D13	161.0	kg			
	鉄筋ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H2(特級B)程度	▲ 8.3	kg			
	鉄筋加工組立費	結束線･ｽﾍﾟｰｻｰﾌﾞﾛｯｸ共	154.0	kg			
	加工鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 4t車	154.0	kg			
	ｽﾊﾟｲﾗﾙ筋	D6　φ100　@50 材工共	2.3	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
		定着長30D					
	接着系あと施工ｱﾝｶｰ	D19　下向　有効埋込長7da	16.0	本			
	鉄筋溶接	斫出し鉄筋 D13　10d	84.0	ヶ所			
	2)-b 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
c	耐震補強工事 2F X16通り壁開口改修工事	塞ぎ					
	躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc=24N/mm2　S=18cm	0.3	m3			
	打設手間	躯体ｺﾝ　　ﾎﾟﾝﾌﾟ打	0.3	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ強度補正	6N/mm2	0.3	m3			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車用ﾓﾙﾀﾙ	配合1:4	0.5	m3			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車損料	基本料金･圧送費共	1.0	回			
	無収縮ﾓﾙﾀﾙ圧入	試験費共 Fc＝30N/mm2	0.1	m3			
	打放合板型枠	B種　ｺｰﾝ処理共	4.4	m2			
	曲面打放型枠	B種　曲面　ｺｰﾝ処理共	0.6	m2			
	型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	4.9	m2			
	異形鉄筋棒鋼	SD295　D13	161.0	kg			
	鉄筋ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H2(特級B)程度	▲ 8.3	kg			
	鉄筋加工組立費	結束線･ｽﾍﾟｰｻｰﾌﾞﾛｯｸ共	154.0	kg			
	加工鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 4t車	154.0	kg			
	ｽﾊﾟｲﾗﾙ筋	D6　φ100　@50 材工共	2.3	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
		定着長30D					
	接着系あと施工ｱﾝｶｰ	D19　下向　有効埋込長7da	16.0	本			
	鉄筋溶接	斫出し鉄筋 D13　10d	84.0	ヶ所			
	2)-c 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
d	1F X6通り壁開口改修工事	開口補強					
	腰壁撤去部 ﾓﾙﾀﾙ補修	H=1000x2 + L=2000	4.0	m			
	2)-d 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
e	1F X18通り壁開口改修工事	開口拡張					
	躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc=24N/mm2　S=18cm	0.9	m3			
	打設手間	躯体ｺﾝ　　ﾎﾟﾝﾌﾟ打	0.9	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ強度補正	6N/mm2	0.9	m3			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車用ﾓﾙﾀﾙ	配合1:4	0.5	m3			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車損料	基本料金･圧送費共	1.0	回			
	無収縮ﾓﾙﾀﾙ圧入	試験費共 Fc＝30N/mm2	0.2	m3			
	打放合板型枠	B種　ｺｰﾝ処理共	6.0	m2			
	曲面打放型枠	B種　曲面　ｺｰﾝ処理共	1.1	m2			
	型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	7.1	m2			
	異形鉄筋棒鋼	SD295　D10	20.5	kg			
	異形鉄筋棒鋼	SD295　D16	62.5	kg			
	異形鉄筋棒鋼	SD345　D22	78.9	kg			
	鉄筋ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H2(特級B)程度	▲ 4.1	kg			
	鉄筋加工組立費	結束線･ｽﾍﾟｰｻｰﾌﾞﾛｯｸ共	156.0	kg			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	加工鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 4t車	156.0	kg			
	接着系あと施工ｱﾝｶｰ	定着長30D D22　下向　有効埋込長10da	6.0	本			
	鉄筋溶接	斫出し鉄筋 D16　10d	70.0	本			
	2)-e 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
f	2F X7通り壁開口改修工事	開口拡張					
	無収縮ﾓﾙﾀﾙ圧入	試験費共 Fc＝30N/mm2	0.5	m3			
	打放合板型枠	B種　ｺｰﾝ処理共	6.4	m2			
	型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	6.4	m2			
	異形鉄筋棒鋼	SD295　D16	39.3	kg			
	鉄筋ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H2(特級B)程度	▲ 4.5	kg			
	鉄筋加工組立費	結束線･ｽﾍﾟｰｻｰﾌﾞﾛｯｸ共	39.3	kg			
	加工鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 4t車	39.3	kg			
	2)-f 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
g	2F Y14通り壁開口改修工事	開口拡張					
	無収縮ﾓﾙﾀﾙ圧入	試験費共 Fc＝30N/mm2	0.3	m3			
	打放合板型枠	B種 ｺｰﾝ処理共	3.3	m2			
	型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	3.3	m2			
	異形鉄筋棒鋼	SD295　D16	19.7	kg			
	鉄筋ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H2(特級B)程度	▲ 2.9	kg			
	鉄筋加工組立費	結束線･ｽﾍﾟｰｻｰﾌﾞﾛｯｸ共	18.9	kg			
	加工鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 4t車	18.9	kg			
	2)-g小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
h	展示室9床開口補強工事						
	開口補強受鉄骨 C形鋼	SS400 C-100x50x5x7.5	67.1	kg			
	開口補強 L形鋼	SS400 L-75x75x6	33.1	kg			
	鋼板(切板)	SS400 PL-6	8.7	kg			
	鉄骨ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H2(特級B)程度	▲ 3.4	kg			
	高力ﾎﾞﾙﾄ	G.PLt6 S10T M16 L45	4.0	本			
	鉄骨工場加工費	溶接費共	104.0	kg			
	鉄骨現場取付費	現場加工共	104.0	kg			
	錆止塗装	JISK5621 2回塗	41.4	m2			
	加工鉄骨運搬費	片道50km以内	104.0	kg			
	床開口部小口 ﾓﾙﾀﾙ補修	t30 H=100 350角	2.0	ヶ所			
	2)-h 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
i	AD-1鉄骨下地工事						
	ｻｯｼ天井下地 軽量ﾘｯﾌﾟ溝形鋼	SSC400 C-100x50x2.3	48.2	kg			
	ｻｯｼ受けｱﾝｸﾞﾙ 等辺山形鋼	SS400 L-50x50x6	43.7	kg			
	鉄骨ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H2(特級B)程度	▲ 3.1	kg			
	あと施工ｱﾝｶｰ	接着系 M-10 横向き施工	12.0	本			
	鉄骨工場加工費	溶接費共	87.5	kg			
	鉄骨現場取付費	現場加工共	87.5	kg			
	錆止塗装	JISK5621 2回塗	7.3	m2			
	加工鉄骨運搬費	片道50km以内	87.5	kg			
	2)-i 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
j	壁貫通孔工事						
	ｺﾝｸﾘｰﾄ壁貫通孔	φ260　t220	1.0	ヶ所			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ壁貫通孔	φ231　t540	3.0	ヶ所			
	地中梁貫通孔	φ100　t500	2.0	ヶ所			
	超音波検査		6.0	ヶ所			
	2)-j 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
3)	既製ｺﾝｸﾘｰﾄ工事						
	（内　部）						
	壁(開口閉鎖) ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	C種 t120　塗下積　補強鉄筋共	5.4	m2			
	壁(開口閉鎖) 拡張系あと施工ｱﾝｶｰ	D10　差し筋ｱﾝｶｰ 4方向　材工共	70.0	本			
	3) ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
4)	防水工事						
	（外　部）						
	屋根水切取合 取合ｼｰﾘﾝｸﾞ	15x10 SM-2 変性ｼﾘｺﾝ(2成分形)	179.0	m			
	塩ﾋﾞｼｰﾄ立上り取合 取合ｼｰﾘﾝｸﾞ	15x10 SM-2 変性ｼﾘｺﾝ(2成分形)	332.0	m			
	ｻｯｼ廻り 取合ｼｰﾘﾝｸﾞ(耐火)	15x10 SM-2 変性ｼﾘｺﾝ(2成分形)	19.5	m			
	ｻｯｼ廻り 取合ｼｰﾘﾝｸﾞ	15x10 SM-2 変性ｼﾘｺﾝ(2成分形)	560.0	m			
	ﾃﾗｽｼｰﾄ防水改修工事		1.0	式			別紙4)-①
	（内　部）						
	床 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材塗布	既存樹脂塗床下 下地調整共	14.4	m2			
	立上り ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材塗布	H=45 既存樹脂塗床下 下地調整共	16.6	m			
	ｻｯｼ廻り 取合ｼｰﾘﾝｸﾞ	15x10 SM-2 変性ｼﾘｺﾝ(2成分形)	73.9	m			
	ﾌｶｼ壁小口 変成ｼﾘｺﾝ	5x5 MS-2	223.0	m			
	化粧ｹｲｶﾙ板目地 ｼﾘｺﾝ	5x6 SR-1	44.3	m			
	水廻り ｼﾘｺﾝ	5x5 SR-1	47.0	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	4）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	別紙4)-① ﾃﾗｽｼｰﾄ防水改修工事						
a	西ﾃﾗｽ防水改修工事		1.0	式			
b	北ﾃﾗｽ防水改修工事		1.0	式			
c	中庭ﾃﾗｽ防水改修工事		1.0	式			
d	廊下南 RF防水改修工事工事		1.0	式			
	別紙4)-① 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
a	西ﾃﾗｽ防水改修工事						
	清掃費		91.6	m2			
	塩ﾋﾞｼｰﾄ防水 平面	ｱｰｷﾔﾏﾃﾞ㈱:MIH-HP20同等 30年耐久ｼｰﾄ t2.0 ｱﾝｶｰ固定	91.6	m2			
	塩ﾋﾞｼｰﾄ防水 立上り	H150 ｱｰｷﾔﾏﾃﾞ㈱:MIH-HP20同等 30年耐久ｼｰﾄ t2.0 ｱﾝｶｰ固定	50.5	m			
	塩ﾋﾞｼｰﾄ防水 排水溝		19.5	m			
	ﾙｰﾌﾌﾞﾛｯｸ	ﾛｰ600x600 緩衝材t3共	91.3	m2			
	縁石ﾌﾞﾛｯｸ		50.5	m			
	ﾄﾞﾚﾝ改修	塩ﾋﾞ成型ﾄﾞﾚﾝ	2.0	ヶ所			
	運搬･荷揚･諸経費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	別紙4)-①-a 小々計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
b	北ﾃﾗｽ防水改修工事						
	清掃費		150.0	m2			
	塩ﾋﾞｼｰﾄ防水 平面	ｱｰｷﾔﾏﾃﾞ㈱:MIH-HP20同等 30年耐久ｼｰﾄ t2.0 ｱﾝｶｰ固定	150.0	m2			
	塩ﾋﾞｼｰﾄ防水 立上り	H150 ｱｰｷﾔﾏﾃﾞ㈱:MIH-HP20同等 30年耐久ｼｰﾄ t2.0 ｱﾝｶｰ固定	75.2	m			
	塩ﾋﾞｼｰﾄ防水 基礎立上り		39.4	m			
	塩ﾋﾞｼｰﾄ防水 排水溝		32.5	m			
	ﾄﾞﾚﾝ改修	塩ﾋﾞ成型ﾄﾞﾚﾝ	2.0	ヶ所			
	運搬･荷揚･諸経費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	別紙4)-①-b 小々計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
c	中庭ﾃﾗｽ防水改修工事						
	清掃費		217.0	m2			
	塩ﾋﾞｼｰﾄ防水 平面	ｱｰｷﾔﾏﾃﾞ㈱:MIH-HP20同等 30年耐久ｼｰﾄ t2.0 ｱﾝｶｰ固定	217.0	m2			
	塩ﾋﾞｼｰﾄ防水 立上り	H150 ｱｰｷﾔﾏﾃﾞ㈱:MIH-HP20同等 30年耐久ｼｰﾄ t2.0 ｱﾝｶｰ固定	121.0	m			
	塩ﾋﾞｼｰﾄ防水 排水溝		45.0	m			
	ﾄﾞﾚﾝ改修	塩ﾋﾞ成型ﾄﾞﾚﾝ	4.0	ヶ所			
	運搬･荷揚･諸経費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	別紙4)-①-c 小々計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
d	廊下南 RF防水改修工事						
	清掃費		84.2	m2			
	塩ビシート防水 平面	ｱｰｷﾔﾏﾃﾞ㈱:MIH-HP20同等 30年耐久シート t2.0 ｱﾝｶｰ固定	84.2	m2			
	塩ビシート防水 立上り	H150 ｱｰｷﾔﾏﾃﾞ㈱:MIH-HP20同等 30年耐久シート t2.0 ｱﾝｶｰ固定	54.0	m			
	塩ビシート防水 排水溝		23.4	m			
	ﾄﾞﾚﾝ改修	塩ビ成型ﾄﾞﾚﾝ	2.0	ヶ所			
	運搬・荷揚・諸経費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	別紙4)-①-d 小々計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
5)	ﾀｲﾙ工事						
	（内 部）						
	床 ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ貼り	既存合わせ 下地ﾓﾙﾀﾙ共	21.9	m2			
	ｻｯｼ取合 床 ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ貼り	既存合わせ 下地ﾓﾙﾀﾙ共	8.5	m2			
	床 磁器質ﾀｲﾙ	100角 下地ﾓﾙﾀﾙ共	1.2	m2			
	5) ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
6)	木 工 事						
	（内 部）						
	巾木 木製巾木	H100	43.6	m			
	腰壁 ﾋﾉｷ小幅板	t12	31.8	m2			
	腰壁 木製見切	H100	47.3	m			
	腰壁 木製見切	10x20	27.3	m			
	壁 木製見切	30x50	6.9	m			
	ﾌｶｼ壁小口 木製枠	25x110 ﾀﾓ集成材程度	6.2	m			
	天井 木製廻縁	30x75	14.6	m			
	天井 木製廻縁	30x150	6.8	m			
	階段 木製手摺	ﾀﾓ集成材 45x25	19.7	m			
	WD-11 欄間付両開き戸木枠	1,600Wx(2,000+100+1,000)H 方立:30x100 無目:47.5x100	14.0	ヶ所			
		上枠:30x100 既存枠取合見切:5x5共					
	窓台	30x120 L=700	21.0	ヶ所			
	窓台	30x120 L=1,700	3.0	ヶ所			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	6）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
7)	屋根板金工事						
a	屋根耐震改修工事	屋根耐震断熱改修含	1.0	式			
b	ｱﾙﾐ笠木工事		1.0	式			
c	北側円形屋根改修工事		1.0	式			
d	軒樋･竪樋･這樋工事		1.0	式			
	7) ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
a	屋根耐震改修工事						
①	屋根耐震改修工事		1.0	式			
②	屋根耐震断熱改修工事		1.0	式			
	7)-a 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
①	屋根耐震改修工事						
		耐震改修1・2F					
	平部 取外し復旧	ｽﾃﾝﾚｽｽﾊﾟｲﾗﾙ釘 全止め	1,725.0	m2			
	既存瓦取外し移動管理		1,725.0	m2			
	軒先瓦(既存残し)	ｽﾃﾝﾚｽ釘固定 ※正面壁塗り上げの為	293.0	m			
	雪止め部		287.0	m			
	壁際土居のし・水切り・壁ｶｯﾄ撤去		153.0	m			
	壁際土居のし		153.0	m			
	壁際水切り(二重)	木下地共	153.0	m			
	袖部(既存残し)	ﾊﾟｯｷﾝ付きｽﾃﾝﾚｽﾋﾞｽ固定	95.3	m			
	棟部 取外し復旧耐震施工	本棟・丸瓦+のし瓦1段	120.0	m			
	棟用木下地	30x40	719.0	m			
	谷部分	ｽﾃﾝﾚｽｽﾊﾟｲﾗﾙ釘	32.8	m			
	谷板交換	撤去・下地共	32.8	m			
	発生材処理費		1,725.0	m2			
	破損不足地瓦補充		100.0	m2			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	瓦桟補充		100.0	m2			
	防水下地補充	樹脂系 ｳﾙﾄﾗﾁｬﾝﾋﾟｵﾝ同等	100.0	m2			
	搬入･荷揚げ･諸経費	法定福利費含	1.0	式			
	7)-a-① 小々計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
②	屋根耐震断熱改修工事						
		耐震断熱改修2F					
	平部 取外し復旧	ｽﾃﾝﾚｽｽﾊﾟｲﾗﾙ釘 全止め	227.0	m2			
	既存瓦取外し移動管理		227.0	m2			
	断熱通気ｼｽﾃﾑ	発砲断熱材t65 金属ﾀﾙｷ@455 ｱﾝｶｰ固定	227.0	m2			
	瓦桟	ﾋﾞｽ留め	227.0	m2			
	ｺﾞﾑｱｽﾙｰﾌｨﾝｸﾞ	t1.0 片面接着	227.0	m2			
	軒･袖部化粧板金		57.8	m			
	軒先水切り		29.4	m			
	袖水切り		28.4	m			
	雪止め部		29.4	m			
	壁際土居のし･水切･壁ｶｯﾄ撤去		14.7	m			
	壁際土居のし		14.7	m			
	壁際水切		14.7	m			
	壁際木下地		14.7	m			
	袖部	ﾊﾟｯｷﾝ付きｽﾃﾝﾚｽﾋﾞｽ固定	28.4	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	棟部復旧耐震再生	陸棟・丸瓦+のし瓦(片側3段)	15.0	m			
	棟部取外し	廃材撤去共	15.0	m			
	棟・軒・袖用木下地	30x40	72.8	m			
	軒先・袖下塗り部ｶｯﾄ	処分共	57.8	m			
	搬入・荷揚げ・諸経費	法定福利費含	1.0	式			
	7)-a-② 小々計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
b	ｱﾙﾐ笠木工事						
	園庭上部 ｱﾙﾐ笠木工事	W600　規格品 ｱﾙﾐｶﾗｰ　電解着色	10.6	m			
	同上端末ｶﾊﾞｰ	全面ﾀｲﾌﾟ　電解着色	2.0	個			
	各ﾃﾗｽ ｱﾙﾐ笠木工事	W400　規格品 ｱﾙﾐｶﾗｰ　電解着色	144.0	m			
	同上柱型特殊ｺｰﾅｰ	W400xW400(一部w800)　電解着色	2.0	ヶ所			
	同上ｺｰﾅｰ役物	W400　ｱﾙﾐｶﾗｰ　電解着色	4.0	ヶ所			
	同上端末ｶﾊﾞｰ	全面ﾀｲﾌﾟ　電解着色	10.0	個			
	搬入･荷揚げ･諸経費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	7)-b 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
c	北側円形屋根改修工事						
	金属屋根粘着接着工法一文字葺き	ﾊﾟｰﾌｪｸﾄﾙｰﾌ一文字葺き 円錐形状 ｶﾗｰGL鋼板t0.4　KDｼｰﾄt1.0 ﾌﾟﾗｲﾏｰ共	104.0	m2			
	軒先唐草	ｶﾗｰGL鋼板t0.4（多面体加工）	30.0	m			
	軒先水切り	ｶﾗｰGL鋼板t0.4（多面体加工）	30.0	m			
	外壁取合納め	ｶﾗｰGL鋼板t0.4　捨て板共	12.4	m			
	頂部納め	ｶﾗｰGL鋼板t0.4	4.0	ヶ所			
	谷納め	ｶﾗｰGL鋼板t0.4	2.0	ヶ所			
	柱型笠木	ｱﾙﾐt2.0 ﾌｯ素樹脂焼付塗装 標準色 600x500	12.0	ヶ所			
	搬入･荷揚げ･諸経費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	7)-c 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
d	軒樋・竪樋・這樋工事						
	軒樋	ﾀﾆﾀﾊｳｼﾞﾝｸﾞｳｴｱ GH-12号 W165xH103.8同等 ｶﾗｰGL鋼板t0.5	99.6	m			
	内曲り		2.0	ヶ所			
	落し口	丸落し90φ	12.0	ヶ所			
	竪樋	ﾀﾆﾀﾊｳｼﾞﾝｸﾞｳｴｱ 丸ﾀﾃ樋同等 ｶﾗｰGL鋼板t0.5	39.0	m			
	同上ｴﾙﾎﾞ	105°	36.0	ヶ所			
	SUS這樋	L4885　片側小口ﾌﾀ SUS304　t1.5　2B材　[-150x50x50	2.0	本			
	SUS這樋	L3530　片側小口ﾌﾀ SUS304　t1.5　2B材　[-150x50x50	6.0	本			
	搬入・荷揚げ・諸経費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	7)-d 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
8)	外壁工事	湿式外断熱改修					
	湿式外断熱ｼｽﾃﾑ外壁改修	ｼｭｰﾄｻｰﾓｸﾗｼｯｸﾌﾟﾗｽ EPS断熱材t70mm ﾍﾞｰｽｺｰﾄ・補強ﾒｼｭF	687.0	m2			
	断熱材固定ｱﾝｶｰ	ｼﾞﾍﾞﾙ140mm (EPS60/70)	687.0	m2			
	ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ	高耐久超撥水仕様 ﾛｰﾀｻﾝ K1.0同等	687.0	m2			
	基礎水切り	ｶﾗｰGL鋼板t0.5加工　ｽﾀｰﾀｰ共	134.0	m			
	出隅納め	EPSﾎﾞｰﾄﾞ組積み　ｺｰﾅｰ用ﾒｼｭ	15.8	m			
	入隅納め		27.8	m			
	開口三方納め	抱き部分ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ共 EPS断熱材加工・ｼｰﾘﾝｸﾞﾃｰﾌﾟ」・ｺｰﾅｰ用ﾒｼｭ	165.0	m			
	他部材取合納め	ｼｰﾘﾝｸﾞﾃｰﾌﾟ	203.0	m			
	搬入･荷揚げ･荷取費		1.0	式			
	諸経費費	作図･施工副資材共	1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	8) ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
9)	金属工事						
	（外 部）						
	天井 軽鉄天井下地	野縁25型 @300 ﾌﾄｺﾛ高1.0m未満	79.8	m2			
	天井 軽鉄天井下地	25型 ﾌﾄｺﾛH=3,000未満 補強1段	319.0	m2			
	天井 目透し廻縁	ｱﾙﾐ製	42.5	m			
	ｽﾃﾝﾚｽ手摺	手摺:φ30 支柱:FB-25x6@900 H=750 下部土間ｺﾝｸﾘｰﾄにｱﾝｶｰ止め	13.4	m			
	ｽﾃﾝﾚｽﾀﾗｯﾌﾟ	H=6,000 ｶﾞｰﾄﾞ付	1.0	ヶ所			
	（内 部）						
	壁 軽量鉄骨壁下地組	W25 @300	25.6	m2			
	壁 軽量鉄骨間仕切壁下地組	W65 @450	1,959.0	m2			
	壁 軽鉄間仕切開口補強	W65	22.5	m			
	壁 軽量鉄骨間仕切壁下地組	W65 曲面(r=2,200程度) @450	43.1	m2			
	ﾗｲﾆﾝｸﾞ 軽量鉄骨壁下地組	W100 @450	9.1	m2			
	ﾗｲﾆﾝｸﾞ 軽鉄間仕切開口補強	W100 @450	14.7	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	柱型 軽量鉄骨壁下地組	 W25 @300	 19.8	 m2			
	柱型 軽量鉄骨壁下地組	 W65 @450	 86.1	 m2			
	天井 軽量鉄骨天井下地組	19型 @360	 211.0	 m2			
	天井 軽量鉄骨天井下地組	19型 ﾌﾄｺﾛH=3,000未満 補強1段 @360	 1,405.0	 m2			
	天井 軽量鉄骨天井下地組	19型 ﾌﾄｺﾛH=3,800～6,200 補強2段～4段共 @360	 181.0	 m2			
	天井 軽量鉄骨天井下地組	19型 ﾌﾄｺﾛH=3,800～6,200 補強2段～4段共 曲面(r=3,200)	 71.9	 m2			
	天井 軽量鉄骨天井下地組	19型 ﾌﾄｺﾛH=6,200 補強4段共	 13.2	 m2			
	天井 軽量鉄骨天井下地組	25型 ﾌﾄｺﾛH=3,100未満 補強2段	 8.3	 m2			
	天井 目透し廻縁	 ｱﾙﾐ製	 12.0	 m			
	 天井点検口	ｱﾙﾐ製 450角 目地ﾀｲﾌﾟ 開口補強共	 69.0	 ヶ所			
	階段 ｽﾃﾝﾚｽﾌﾞﾗｹｯﾄ手摺	手摺受:FB-25x6 ﾌﾞﾗｹｯﾄ:2FB-25x6@900　RC面ｱﾝｶｰ止め	 19.7	 m			
	風除室 防護柵	1,350Wx500H SUS FB-50x10 HL B.PL-130x100x10 2-M10ｱﾝｶｰ止めx2ヶ所	 2.0	 ヶ所			
	歩廊 防護柵	1,200Wx500H SUS FB-50x10 HL B.PL-130x100x10 2-M10ｱﾝｶｰ止めx2ヶ所	 4.0	 ヶ所			
	9) ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
10)	左官工事						
	（外 部）						
	巾木 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	H=400	289.0	m			
	腰壁 躯体平滑ﾓﾙﾀﾙ補修	割石貼風ｺﾝｸﾘｰﾄ面 t40	171.0	m2			
	ｻｯｼ廻りﾓﾙﾀﾙ詰め	防水ﾓﾙﾀﾙ	63.4	m			
	（西ﾃﾗｽ）						
	床 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ		89.0	m2			
	排水溝 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	200Wx30H	18.6	m			
	立上り 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	H=150	20.6	m			
	立上り 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	H=500	28.1	m			
	（北ﾃﾗｽ）						
	床 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ		153.0	m2			
	排水溝 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	200Wx30H	33.4	m			
	立上り 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	H=150	73.1	m			
	立上り 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	H=500	42.4	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	（中庭ﾃﾗｽ）						
	床 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ		210.0	m2			
	排水溝 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	200Wx30H	37.8	m			
	排水溝 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	850Wx600Dx30H	4.0	ヶ所			
	立上り 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	H=150	69.0	m			
	立上り 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	H=500	44.6	m			
	（廊下 南RF）						
	床 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ		84.2	m2			
	排水溝 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	200Wx30H	23.4	m			
	立上り 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	H=500	54.0	m			
	（北側円形屋根）						
	屋根 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ		104.0	m2			
	（内　部）						
	床 ｺﾝｸﾘｰﾄ下地補修		648.0	m2			
	床 ﾓﾙﾀﾙ平滑補修	御影石面　ｶﾁｵﾝ共	8.3	m2			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	床 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ		7.5	m2			
	壁 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修		7.3	m2			
	壁(開口閉鎖) ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	t20　CB下	2.1	m2			
	RC壁撤去部 ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	W=220	11.0	m			
	梁底ｺﾝｸﾘｰﾄ切断部 ﾓﾙﾀﾙ補修		1.3	m2			
	既存消火器BOX内 ﾓﾙﾀﾙひび割れ補修	300Wx250Dx600H	1.0	ヶ所			
	ｻｯｼ廻りﾓﾙﾀﾙ詰め		38.3	m			
	風除室 防護柵 ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ取合ﾓﾙﾀﾙ充填	130x100x20	4.0	ヶ所			
	歩廊 防護柵 ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ取合ﾓﾙﾀﾙ充填	130x100x20	8.0	ヶ所			
	10）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
11)	木製建具工事						
	WD-1【新設】 両開きｽｲﾝｸﾞﾌﾗｯｼｭ戸	W900xH900 t30 ﾀﾓ・ﾀﾓ練付合板	1.0	ヶ所			
	WD-2【新設】 両開き框ｶﾞﾗﾘ戸	W1600xH2000 t40 ﾀﾓ 丁番・ﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ・再利用	1.0	ヶ所			
	WD-3【新設】 片開きﾌﾗｯｼｭ戸	W760xH2250 t40 両面シナ合板	2.0	ヶ所			
	建具金物費		1.0	式			
	搬入・建込み費	法定福利費共	1.0	式			
	WD-11【既存改修】 既存木製建具改修	W1600xH3100 取外・細取付 塗装改修程度	14.0	ヶ所			
	WD-12【既存改修】 既存木製建具改修	W1600xH3100 取外・細取付 塗装改修程度	3.0	ヶ所			
	WD-13【既存改修】 既存木製建具改修	W600xH1000 取外・細取付 塗装改修程度	2.0	ヶ所			
	11) ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
12)	鋼製建具工事						
a	ｱﾙﾐ製自動ﾄﾞｱ工事		1.0	式			
b	ｱﾙﾐ製建具工事		1.0	式			
c	鋼製建具工事		1.0	式			
d	鋼製ｼｬｯﾀｰ工事		1.0	式			
e	鋼製軽量建具工事		1.0	式			
f	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ工事		1.0	式			
g	増築棟EV前既存引戸修理工事		1.0	式			
	12）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
a	ｱﾙﾐ製自動ﾄﾞｱ工事						
	AD-1A【新設】 ﾗﾝﾏ・袖FIX(9)片引き自動框ﾄﾞｱ	W7980xH4650 ｱｸﾘﾙ焼付塗装 沓摺・額縁・ｸﾛｰｻﾞｰ・ﾃﾝｷｰ・建具金物一式他共	1.0	ヶ所			
	AD-1B【新設】 ﾗﾝﾏ・袖FIX(8)片引き自動框ﾄﾞｱ	W5010xH4650 ｱｸﾘﾙ焼付塗装 端部ｱﾙﾐ曲物 端部ｱﾙﾐ曲物・額縁・錠・建具金物一式他共	1.0	ヶ所			
	AD-1【新設】 片引き自動ﾄﾞｱ開閉装置	PL型電気錠・非常電源装置付 装置付属金物一式他共	2.0	ヶ所			
	AD-2【新設】 引分け自動框ﾄﾞｱ	W4600xH3000 ｱｸﾘﾙ焼付塗装 ｱﾙﾐ額縁・錠・建具金物一式他共	2.0	ヶ所			
	AD-2【新設】 引き分け自動ﾄﾞｱ開閉装置	PL型電気錠・非常電源装置付 装置付属金物一式他共	2.0	ヶ所			
	AD-1A・1B・1・2 取付調整費		1.0	式			
	AD-1A・1B・1・2 運搬搬入費		1.0	式			
	AD-1A・1B・1・2 下請諸経費	設計・実測調査・他	1.0	式			
	AD-1A・1B・1・2 法定福利費等		1.0	式			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	AD-1A・1B・1・2 自動ﾄﾞｱ開閉装置 取付調整費		1.0	式			
	AD-1A・1B・1・2 自動ﾄﾞｱ開閉装置 運搬搬入費		1.0	式			
	AD-1A・1B・1・2 自動ﾄﾞｱ開閉装置 下請諸経費	設計・実測調査・他	1.0	式			
	AD-1A・1B・1・2 自動ﾄﾞｱ開閉装置 法定福利費等		1.0	式			
	12)-a 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
b	ｱﾙﾐ製建具工事						
	AW-1(欄間部) 【新設】 R曲げ(押縁・角ﾊﾟｲﾌﾟ・切板)	W600xH300 ｱｸﾘﾙ焼付塗装	4.0	ヶ所			
	AW-1(窓部)(ｶﾊﾞｰ工法) 縦ｽﾞり出し窓	W600xH1640 ｱｸﾘﾙ焼付塗装 額縁・水切・下地・網戸・建具金物一式他共	4.0	ヶ所			
	AW-2(欄間部) 【新設】 立面R固定ｶﾞﾗﾘ(ｱﾝｸﾞﾙ・角ﾊﾟｲﾌﾟ)	W1600xH700 ｱｸﾘﾙ焼付塗装	1.0	ヶ所			
	AW-2(窓部)(ｶﾊﾞｰ工法) 縦ｽﾞり出し(2)連窓	W1600xH940 ｱｸﾘﾙ焼付塗装 額縁・水切・下地・網戸・建具金物一式他共	1.0	ヶ所			
	AW-3(欄間部) 【新設】 R曲げ(押縁・角ﾊﾟｲﾌﾟ・切板)	W600xH300 ｱｸﾘﾙ焼付塗装	2.0	ヶ所			
	AW-3(窓部)(ｶﾊﾞｰ工法) 縦ｽﾞり出し窓	W600xH940 ｱｸﾘﾙ焼付塗装 額縁・水切・下地・網戸・建具金物一式他共	2.0	ヶ所			
	欄間部 取付調整費		1.0	式			
	欄間部 運搬搬入費		1.0	式			
	欄間部 下請諸経費	設計・施工管理・他	1.0	式			
	欄間部 法定福利費等		1.0	式			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	窓部(ｶﾊﾞｰ工法) 取付調整費		1.0	式			
	窓部(ｶﾊﾞｰ工法) 運搬搬入費		1.0	式			
	窓部(ｶﾊﾞｰ工法) 下請諸経費	設計・実測調査・他	1.0	式			
	窓部(ｶﾊﾞｰ工法) 法定福利費等		1.0	式			
	12)-b 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
c	鋼製建具工事						
	SD-1【新設】 両開き両面ﾌﾗｼｭ+ﾗﾝﾏFIX	W1600xH2700 枠見込:100 沓摺・異形枠・丁番・錠・建具金物一式他共	1.0	ヶ所			
	SD-2【新設】 両開き框扉(扉のみ)	W1600xH1900　矩形窓:600x1640 丁番・錠・ｸﾛｰｻﾞｰ・建具金物一式他共	2.0	ヶ所			
	SD-3【新設】 両開き両面ﾌﾗｼｭ+ﾗﾝﾏ外倒しｻｯｼ	W1600xH2900　ﾊﾟﾈﾙ付:800x900 沓摺・丁番・錠・ｸﾛｰｻﾞｰ・建具金物一式他共	3.0	ヶ所			
	SD-4【新設】 両開き矩形窓	W1600xH1900　矩形窓:639x1702x2 耐熱ｶﾞﾗｽ・沓摺・丁番・錠・ｸﾛｰｻﾞｰ・建具金物一式他共	1.0	ヶ所			
	取付調整費		1.0	式			
	ｶﾞﾗｽ工事費		1.0	式			
	運搬搬入費		1.0	式			
	下請諸経費	設計・実測調査・他	1.0	式			
	法定福利費等		1.0	式			
	小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	SD-11【既存改修】 ﾄﾞｱ金物	戸当り･本締錠	15.0	ヶ所			
	SD-15【既存改修】 ﾄﾞｱ金物	戸当り･本締錠	2.0	ヶ所			
	SD-16【既存改修】 ﾄﾞｱ金物	戸当り	3.0	ヶ所			
	SD-17【既存改修】 ﾄﾞｱ金物	戸当り	1.0	ヶ所			
	SD-19【既存改修】 ﾄﾞｱ金物	本締錠	1.0	ヶ所			
	取付調整費		1.0	式			
	下請諸経費	実測調査･他	1.0	式			
	法定福利費等		1.0	式			
	小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	SW-3B【既存改修】 ステンレス水切	 W600xH45	 6.0	 本			
	SW-4【既存改修】 ステンレス水切	 W600xH45	 4.0	 本			
	SG-6【既存改修】 ステンレス水切	 W600xH45	 1.0	 本			
	取付調整費		1.0	式			
	下請諸経費	実測調査･他	1.0	式			
	法定福利費等		1.0	式			
	小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	SW-3A【既存改修】 半円形ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ(欄間部)+窓部ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ	W600xH300+940 シール仕様	22.0	ヶ所			
	取付調整費		1.0	式			
	運搬搬入費		1.0	式			
	下請諸経費	設計･実測調査･他	1.0	式			
	法定福利費等		1.0	式			
	小計						
	12)-c 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
d	鋼製ｼｬｯﾀｰ工事						
	SS-1・2【既存改修】 避難時停止装置取付	W2180　連動中継器・手動閉鎖装置 無線信号装置・その他関連副資材一式・工事費他共	3.0	ヶ所			
	SS-2【既存改修】 電動開閉器取付(随時閉鎖)	重量電動開閉機 開閉機交換工事費・搬入諸経費他共	2.0	ヶ所			
	法定福利費等		1.0	式			
	SS-3【新設】 手動防火ｼｬｯﾀｰ(特定防火設備)	W1000H2400　溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板製 耐候性塗料塗り 煙感連動開放機構・危害防止装置・他関連副資材一式	1.0	ヶ所			
		・工事費他・法定福利費共					
	12)-d 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
e	鋼製軽量建具工事						
	LSD-1【新設】 鋼製軽量建具	W2235xH3000xD130 付属金物一式他共	1.0	ヶ所			
	LSD-1 取付調整費		1.0	式			
	LSD-1 運搬搬入費		1.0	式			
	LSD-1 法定福利費等		1.0	式			
	LSD-2【新設】 鋼製軽量建具	W720xH2000　枠見込:122 ｶﾞﾗｽ・付属金物一式他・施工運搬費共	1.0	ヶ所			
	LSD-2A【新設】 鋼製軽量建具	W720xH2000　枠見込:122 ｶﾞﾗｽ・付属金物一式他・施工運搬費共	1.0	ヶ所			
	LSD-3【新設】 鋼製軽量建具	W870xH2000　枠見込:122 ｶﾞﾗｽ・付属金物一式他・施工運搬費共	1.0	ヶ所			
	LSD-4【新設】 鋼製軽量建具	W600xH2000　枠見込:122 ｶﾞﾗｽ・付属金物一式他・施工運搬費共	1.0	ヶ所			
	LSD-2・2A・3・4 法定福利費等		1.0	式			
	12)-e 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
f	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ工事						
	TB-1【新設】 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽｽｸﾘｰﾝ	W2690xH2000xD40　表面:ﾒﾗﾐﾝ ｱﾙﾐRｴｯｼﾞ･SUS巾木･ｱﾙﾐ笠木･付属金物一式他･施工運搬費共	1.0	ヶ所			
	TB-2【新設】 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽｽｸﾘｰﾝ	W1698xH2000xD40　表面:ﾒﾗﾐﾝ ｱﾙﾐRｴｯｼﾞ･SUS巾木･ｱﾙﾐ笠木･付属金物一式他･施工運搬費共	1.0	ヶ所			
	TB-3【新設】 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽｽｸﾘｰﾝ	W1698xH2000xD40　表面:ﾒﾗﾐﾝ ｱﾙﾐRｴｯｼﾞ･SUS巾木･ｱﾙﾐ笠木･付属金物一式他･施工運搬費共	1.0	ヶ所			
	法定福利費等		1.0	式			
	12)-f 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
g	増築棟EV前既存引戸修理工事						
	駆動装置		2.0	ヶ所			
	制動装置	吊り車含む	2.0	ヶ所			
	工事費･技術費		1.0	式			
	諸経費	出張費共	1.0	式			
	廃材処理費		1.0	式			
	運搬費搬入費		1.0	式			
	12)-g 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
13)	ｶﾞﾗｽ工事						
	【鋼製建具硝子工事】						
	型板ｶﾞﾗｽ	F4　2.18m2以下	3.0	m2			
	型板ｶﾞﾗｽ(1/4円形)	F4　800x800	4.0	枚			
	強化ｶﾞﾗｽ(透明)	TP8　2.0m2以下	10.5	m2			
	強化ｶﾞﾗｽ(透明)	TP8　4.0m2以下	60.6	m2			
	強化ｶﾞﾗｽ(透明)	TP8　6.0m2以下	5.9	m2			
	強化ｶﾞﾗｽ(再取付)	2180x2100	6.0	枚			
	高性能断熱複層ｶﾞﾗｽ	LowE4+A12+FL4　2.0m2以下	12.6	m2			
	高性能断熱複層ｶﾞﾗｽ(半円)	LowE4+A12+FL4　0.3m2以下	6.0	枚			
	高性能断熱複層ｶﾞﾗｽ(半円)	LowE4+A12+FL4　1600x800	3.0	枚			
	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ入れ手間		15.3	m2			
	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ入れ手間(1/4円形)		4.0	m2			
	ｶﾞﾗｽ止めｼｰﾘﾝｸﾞ	ｼﾘｺﾝ系 6x6	27.8	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	ｶﾞﾗｽ止めｼｰﾘﾝｸﾞ	ｼﾘｺﾝ系 8x8	156.0	m			
	ｶﾞﾗｽ止めｼｰﾘﾝｸﾞ	ｼﾘｺﾝ系 10x10	407.0	m			
	ｺｰｷﾝｸﾞ撤去		873.0	m			
	ｺｰｷﾝｸﾞ取外し・施工		103.0	m			
	ｼﾘｺﾝ外清掃取付		230.0	m			
	ｼﾘｺﾝ外清掃取付（1/4円形）		25.6	m			
	ｼﾘｺﾝ外清掃取付（半4円形）		104.0	m			
	ｺｰｷﾝｸﾞ取外し・施工		28.8	m			
	ｼﾘｺﾝ外清掃取付		215.0	m			
	ｼﾘｺﾝ外清掃取付（1/4円形）		12.8	m			
	ｼﾘｺﾝ外清掃取付（半4円形）		21.6	m			
	飛散防止ﾌｨﾙﾑ		77.0	m2			
	大板施工費		1.0	式			
	残材処理費		5.3	m2			
	残材処理費		72.7	m2			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	残材処理費(1/4円形)		20.4	m2			
	残材処理費(半円形)		5.0	m2			
	残材処理費(異形)		1.0	m2			
	ｱｸﾘﾙ外し手間	2.18m2以下	33.5	m2			
	ｱｸﾘﾙ外し手間(1/4円形)	2.18m2以下	16.5	m2			
	ｱｸﾘﾙ外し手間(異形)	2.18m2以下	1.5	m2			
	ｶﾞﾗｽ外し手間	2.18m2以下	15.4	m2			
	ｶﾞﾗｽ外し手間(1/4円形)	2.18m2以下	2.6	m2			
	ｶﾞﾗｽ外し手間(半形)	2.18m2以下	4.0	m2			
	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ外し手間	2.18m2以下	2.9	m2			
	ｶﾞﾗｽ外し手間	6.81m2以下	27.5	m2			
	ｶﾞﾗｽ外し手間(半形)	2.18m2以下	0.7	m2			
	ｶﾞﾗｽ外し手間	2.18m2以下	1.7	m2			
	ｶﾞﾗｽ外し手間(1/4円形)	2.18m2以下	1.3	m2			
	ｶﾞﾗｽ外し手間(半円形)	2.18m2以下	0.4	m2			
	運搬諸経費		1.0	式			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	【軽量鋼製建具硝子工事】						
	型板ｶﾞﾗｽ	F4(小窓) 200x850	3.0	枚			
	ｶﾞﾗｽ止めｼｰﾘﾝｸﾞ	ｼﾘｺﾝ系 6x6	12.6	m			
	小割板施工費		3.0	枚			
	運搬諸経費		1.0	式			
	【防煙垂壁工事】						
	ｶﾞﾗｽ防煙垂壁	壁高300	2.9	m			
	煙垂壁外し手間	壁高300	2.9	m			
	ｶﾞﾗｽ防煙垂壁	壁高500 線入磨板ｶﾞﾗｽ PW6.8	5.7	m			
	運搬諸経費		1.0	式			
	【鏡工事】						
	防湿ﾐﾗｰ	t5mm W1800xH2400	2.3	m2			
	小口加工(磨き)	t5mm	8.6	m			
	目地ｼｰﾙ		8.6	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	ｽﾃﾝ額縁	HL　四方	1.0	式			
	運搬諸経費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	13）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
14)	塗装工事						
	（外　部）						
	壁 高圧洗浄		2,530.0	m2			
	破風 高圧洗浄		210.0	m2			
	壁 事前調査費用		2,530.0	m2			
	壁 ひび割れ補修	Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法	56.0	m			
	壁 欠損部補修	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填工法	5.6	m2			
	壁 下地調整		2,530.0	m2			
	破風 下地調整		210.0	m2			
	壁 仕上塗材(塗替用)塗布	ﾘｼﾝ下　下地調整共	2,530.0	m2			
	破風 仕上塗材(塗替用)塗布	ﾘｼﾝ下　下地調整共	210.0	m2			
	天井 艶有合成樹脂ｴﾏﾘｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ(EP-G)	ｹｲｶﾙ(目ｽｶｼ)下　素地ごしらえ共	399.0	m2			
	耐候性塗料塗替え(DP)	金建下 DP-1級　RB種下地調整共	617.0	m2			
	耐候性塗料塗替え(DP)	鉄骨柱脚金物PL 300角程度 DP-1級 下地調整共	2.0	ヶ所			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	（内 部）						
	壁 ひび割れ補修	低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	6.0	m			
	壁 ひび割れ補修	Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法	28.0	m			
	壁 欠損部補修	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填工法	3.4	m			
	壁 下地調整		1,522.0	m2			
	階段上裏 下地調整		69.2	m2			
	床 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂塗料塗布	既存木質ﾊﾟｰｹｯﾄﾌﾛｱ下 研磨共	377.0	m2			
	壁 複層仕上塗材吹付	ｺﾝｸﾘｰﾄ下　下地調整共	7.3	m2			
	壁(開口閉鎖) 複層仕上塗材吹付	ﾓﾙﾀﾙ下 下地調整共	2.1	m2			
	壁 吹付ﾀｲﾙ	ｹｲｶﾙ下　目地処理共	56.5	m2			
	天井 吹付ﾀｲﾙ	PB下　目地処理共	24.8	m2			
	壁 艶有合成樹脂ｴﾏﾘｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ(EP-G)塗替	複層塗材下 RB種下地調整共	1,215.0	m2			
	壁 艶有合成樹脂ｴﾏﾘｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ(EP-G)塗替	仕上塗材下 RB種下地調整共	291.0	m2			
	壁 艶有合成樹脂ｴﾏﾘｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ(EP-G)塗替	EP下 RB種下地調整共	15.8	m2			
	壁 艶有合成樹脂ｴﾏﾘｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ(EP-G)	ｹｲｶﾙ(Vｶｯﾄ目地)下 目地:ｺｰｸﾎﾞﾝﾄﾞ処理程度	12.9	m2			
	壁 艶有合成樹脂ｴﾏﾘｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ(EP-G)	ｹｲｶﾙ(Vｶｯﾄ目地)下	20.6	m2			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	下がり壁 艶有合成樹脂ｴﾏﾘｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ(EP-G)	ｹｲｶﾙ(Vｶｯﾄ目地)下 目地:ｺｰｸﾎﾞﾝﾄﾞ処理程度	4.5	m2			
	既存消火器BOX内 艶有合成樹脂ｴﾏﾘｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ(EP-G)	300Wx250Dx600H程度 ﾓﾙﾀﾙ下 RB種下地調整共	1.0	ヶ所			
	天井 艶有合成樹脂ｴﾏﾘｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ(EP-G)	ｹｲｶﾙ(Vｶｯﾄ目地)下 目地:ｺｰｸﾎﾞﾝﾄﾞ処理程度	17.6	m2			
	天井 艶有合成樹脂ｴﾏﾘｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ(EP-G)	ｹｲｶﾙ(目ｽｶｼ)下　素地ごしらえ共	8.3	m2			
	階段上裏 艶有合成樹脂ｴﾏﾘｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ(EP-G)塗替	複層塗材下 RB種下地調整共	69.2	m2			
	合成樹脂ｴﾏﾘｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ(EP)	塗装ｸﾛｽ下　下地調整共	1,856.0	m2			
	合成樹脂ｴﾏﾘｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ(EP)	木建塗装ｸﾛｽ下　下地調整共	8.9	m2			
	巾木 ｵｲﾙｽﾃﾝｸﾘｱﾗｯｶｰ(OSCL)	木製巾木　H=100　素地ごしらえ共	43.6	m			
	腰壁 ｵｲﾙｽﾃﾝｸﾘｱﾗｯｶｰ(OSCL)	ﾋﾉｷ小幅板下　素地ごしらえ共	31.8	m2			
	腰壁 ｵｲﾙｽﾃﾝｸﾘｱﾗｯｶｰ(OSCL)	木製見切　H=100　素地ごしらえ共	47.3	m			
	腰壁 ｵｲﾙｽﾃﾝｸﾘｱﾗｯｶｰ(OSCL)	木製見切　10x20　素地ごしらえ共	27.3	m			
	壁 ｵｲﾙｽﾃﾝｸﾘｱﾗｯｶｰ(OSCL)	木製見切　30x50　素地ごしらえ共	6.9	m			
	天井 ｵｲﾙｽﾃﾝｸﾘｱﾗｯｶｰ(OSCL)	木製廻縁　30x75　素地ごしらえ共	14.6	m			
	天井 ｵｲﾙｽﾃﾝｸﾘｱﾗｯｶｰ(OSCL)	木製廻縁　30x150　素地ごしらえ共	6.8	m			
	階段 ｵｲﾙｽﾃﾝｸﾘｱﾗｯｶｰ(OSCL)	木製手摺　45x25　素地ごしらえ共	19.7	m			
	ﾌｶｼ壁木枠 ｵｲﾙｽﾃﾝｸﾘｱﾗｯｶｰ(OSCL)	糸尺145　素地ごしらえ共	12.4	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	WD-11木枠 オイルステンクリアラッカー(OSCL)	 糸尺=～250　素地ごしらえ共	 132.0	 m			
	窓台 オイルステンクリアラッカー(OSCL)	 30x120　L=700　素地ごしらえ共	 21.0	 ヶ所			
	窓台 オイルステンクリアラッカー(OSCL)	 30x120　L=1700　素地ごしらえ共	 3.0	 ヶ所			
	家具 オイルステンクリアラッカー(OSCL)	 木製家具 素地ごしらえ共	 19.6	 m2			
	木建 オイルステンクリアラッカー(OSCL)	 木製建具 素地ごしらえ共	 36.8	 m2			
	木建 オイルステンクリアラッカー(OSCL)塗替え	 木製建具 下地調整RB種共	 198.0	 m2			
	踏面 防滑塗床材塗布	 W=100　下地調整共	 96.4	 m			
	 耐候性塗料塗替え(DP)	金建下 DP-1級　RB種下地調整共	 52.4	 m2			
	 耐候性塗料塗替え(DP)	金建下 DP-2級　RB種下地調整共	 20.0	 m2			
	 耐候性塗料塗替え(DP)	排煙口下 450角程度 DP-2級　RB種下地調整共	 5.0	 ヶ所			
	 耐候性塗料塗替え(DP)	EV三方枠下 糸尺=235程度 DP-2級　RB種下地調整共	 10.2	 m			
	14) ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
15)	内外装工事						
	（外　部）						
	天井 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板張り	t6　目透かし張り	399.0	m2			
	天井 廻縁	塩ﾋﾞｺ型	157.0	m			
	天井 廻縁	塩ﾋﾞ目ｽｶｼ	181.0	m			
	（内　部）						
	床 ﾘﾉﾘｳﾑ床ﾀｲﾙ	t2.5	539.0	m2			
	床 OAﾌﾛｱ	共同ｶｲﾃｯｸ:ｸﾜｯﾄﾞﾌｨｯｸｽ600 支持脚+ﾊﾟﾈﾙ H=53.5(同等品)	57.6	m2			
	床 OAﾌﾛｱ用ｽﾛｰﾌﾟ	共同ｶｲﾃｯｸ:ｸﾜｯﾄﾞﾌｨｯｸｽ600用 980Wx750L　0～60H（同等品）	1.0	ヶ所			
	床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	t6.5　500角　第一種ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	117.0	m2			
	巾木 目透し(入隅用目地材)	ﾌｸﾋﾞ:振動吸収入隅目地3(同等品)	557.0	m			
	巾木 塩ﾋﾞ巾木	H60mm	17.1	m			
	巾木 塩ﾋﾞ巾木	H100mm	141.0	m			
	巾木 ﾘﾉﾘｳﾑ床ﾀｲﾙ	H60mm　t2.5	37.9	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	腰壁 構造用合板	t12 T-2	31.8	m2			
	腰壁 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ+化粧ｹｲｶﾙ板	t12.5+6.0(木目調)	26.0	m2			
	ｶｳﾝﾀｰ腰壁 硬質塩ﾋﾞﾌｨﾙﾑ貼	下地調整共	7.9	m2			
	壁 構造用合板	t12　T-2	114.0	m2			
	壁 高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	t75　16kg	935.0	m2			
	壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	t12.5	1,861.0	m2			
	壁 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ+ｹｲｶﾙ板(無石綿)	t12.5+6.0	56.1	m2			
	壁 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ+ｹｲｶﾙ板(無石綿)	t12.5+6.0 目ｽｶｼ	17.7	m2			
	壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ張り	t12.5　曲面(r=2,200程度)	43.1	m2			
	壁 合板二重張り	t5.5+5.5 曲面(r=2,200程度)	43.1	m2			
	壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ+ｹｲｶﾙ板(無石綿)	t12.5+6.0 ※ｹｲｶﾙ板目地Vｶｯﾄ処理共	12.2	m2			
	壁 器具取付用下地合板	軽量間仕切仕込	27.2	m2			
	壁 塗装用ｸﾛｽ貼り		1,851.0	m2			
	壁 塗装用ｸﾛｽ張替え	下地調整共	5.2	m2			
	壁 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ		205.0	m2			
	壁 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ張替え	下地調整共	143.0	m2			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	壁 ｺｰﾅｰﾃｰﾌﾟ貼り		265.0	m			
	下り壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ+ｹｲｶﾙ板(無石綿)	t12.5+6.0 ※ｹｲｶﾙ板目地Vｶｯﾄ処理共	4.5	m2			
	柱型 構造用合板	t12　T-2	6.8	m2			
	柱型 高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	t50　16kg	18.6	m2			
	柱型 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	t12.5	100.0	m2			
	柱型 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ+化粧ｹｲｶﾙ板	t12.5+6.0(木目調)	2.3	m2			
	柱型 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ+ｹｲｶﾙ板(無石綿)	t12.5+6.0	2.3	m2			
	柱型 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ張替え	下地調整共	3.2	m2			
	ﾌｶｼ壁小口 目透し(入隅用目地材)	ﾌｸﾋﾞ:振動吸収入隅目地3 (同等品)	91.9	m			
	ﾌｶｼ壁小口 LGS下地+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	W65+t12.5　W=100　(同等品)	78.9	m			
	ﾌｶｼ壁小口 LGS下地+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	W65+t12.5　W=110　(同等品)	85.3	m			
	ﾌｶｼ壁小口 LGS下地+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	W65+t12.5　W=180　(同等品)	68.7	m			
	ﾌｶｼ壁小口 LGS下地+繊維強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ二重	W65+t5+5　W=110　曲面 A&Aﾏﾃﾘｱﾙ:ｴﾌｼﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(同等品)	57.3	m			
	ﾌｶｼ壁小口 LGS下地+繊維強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ二重	W65+t5+5　W=180　曲面 A&Aﾏﾃﾘｱﾙ:ｴﾌｼﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(同等品)	24.4	m			
	ﾌｶｼ壁小口 ｺｰﾅｰﾃｰﾌﾟ		308.0	m			
	天井 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板張り	t6　目透かし張り	8.3	m2			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	天井 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板張り	t6　目地:Vｶｯﾄ処理	17.6	m2			
	天井 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ張り	t9.5　不燃　突付け	246.0	m2			
	天井 既存化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ撤去・保管・復旧	t9.5	6.3	m2			
	天井 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	t9.5	72.5	m2			
	天井 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	t9.5	24.8	m2			
	天井 ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板張り	t9　不燃ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ　下地不燃積層石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5共	1,450.0	m2			
	天井 繊維補強石膏ﾎﾞｰﾄﾞ+岩綿吸音板	t5.0+9.0　曲面用(r=3,200)	71.9	m2			
	天井 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ		72.5	m2			
	天井 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ張替え	下地調整共	27.8	m2			
	吹抜部天井 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ張替え	下地調整共	111.0	m2			
	天井 廻縁	塩ﾋﾞｺ型	121.0	m			
	天井 廻縁	塩ﾋﾞ目ｽｶｼ	511.0	m			
	天井 廻縁	塩ﾋﾞ目ｽｶｼ 曲面(r=3,200)	18.1	m			
	塗装用ｸﾛｽ	木建	8.9	m2			
	硬質塩ﾋﾞｼｰﾄ	木建ﾚｻﾞｰｼｰﾄ撤去部 600x1000	2.0	ヶ所			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　　考
	（現場発泡ｳﾚﾀﾝ吹付）						
	現場発砲ｳﾚﾀﾝ吹付	1階屋根下/梁 t30mm　A種1H	1,501.0	m2			
	現場発砲ｳﾚﾀﾝ吹付	1階断熱補強 W1000 ｽﾗﾌﾞ下/梁 t30mm　A種1H	165.0	m2			
	現場発砲ｳﾚﾀﾝ吹付	展示室2/3　半円部分 t30mm　A種1H	83.4	m2			
	現場発砲ｳﾚﾀﾝ吹付	2階屋根下/梁 t30mm　A種1H	924.0	m2			
	現場発砲ｳﾚﾀﾝ吹付	1階天井線上　壁面 t30mm　A種1H	813.0	m2			
	現場発砲ｳﾚﾀﾝ吹付	2階天井線上　壁面 t30mm　A種1H	247.0	m2			
	現場発砲ｳﾚﾀﾝ吹付	ｻｯｼﾊﾟﾈﾙ交換部分 t30mm　A種1H	25.8	m2			
	現場発砲ｳﾚﾀﾝ吹付	金建面 t30mm　A種1H	85.8	m2			
	15）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
16)	仕上ﾕﾆｯﾄその他						
	（内　部）						
	1階 事務室 ﾐﾆｷｯﾁﾝ(1200)	上台:DMKE1202PL 下台:DMK1201ENW2L	1.0	ヶ所			
		扉ﾀｲﾌﾟ(加熱機器なし) 換気扇開口なし・2ﾊﾝﾄﾞﾙ混合水栓					
	16）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
17)	雑工事						
	（外　部）						
	歩廊・庭園 石製ﾍﾞﾝﾁ撤去・復旧	 1,500Wx450Dx400H程度	 2.0	 ヶ所			
	回廊・中庭 石製ﾍﾞﾝﾁ撤去・復旧	 1,500Wx450Dx400H程度	 3.0	 ヶ所			
	西ﾃﾗｽ　床 石製ﾍﾞﾝﾁ撤去・復旧	 1,500Wx450Dx400H程度	 2.0	 ヶ所			
	北ﾃﾗｽ　床 石製ﾍﾞﾝﾁ撤去・復旧	 1,500Wx450Dx400H程度	 2.0	 ヶ所			
	中庭ﾃﾗｽ 鋼板ﾕﾆｯﾄ式ﾊﾄ小屋	ﾜｰﾙﾄﾞ工業:HB-SS3H(同等品) ﾜｰﾙﾄﾞ工業:HB-SS1H(同等品)	 1.0	 式			別紙17)-①
	（内　部）						
	ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ	ｱﾙﾐ製 先付け壁埋込ﾀｲﾌﾟ ﾌｯｸ:3個/2m程度　　材工	590.0	m			
	ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ	ｱﾙﾐ製 後付け壁付ﾀｲﾌﾟ ﾌｯｸ:3個/2m程度　　材工	62.0	m			
	1F廊下 ｶｰﾃﾝ撤去・復旧	 2,900Wx3,100H ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ共	 2.0	 ヶ所			
	1-2F西階段 木製ﾌﾞﾗｹｯﾄ手摺移設	 →東階段	 10.1	 m			
	1F男子便所2 ﾗｲﾆﾝｸﾞﾄｯﾌﾟ	ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ　W=150 L=750	 1.0	 ヶ所			
	1F男子便所2 ﾗｲﾆﾝｸﾞﾄｯﾌﾟ	ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ　W=300 L=1,900 柱型欠込み有	 1.0	 ヶ所			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	1F女子便所2 ﾗｲﾆﾝｸﾞﾄｯﾌﾟ	ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ W=150 L=1,100	1.0	ヶ所			
	1F多目的便所2 ﾗｲﾆﾝｸﾞﾄｯﾌﾟ	ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ W=150 L=900+2,050 L型	1.0	ヶ所			
	1Fｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ 展示什器 移設･保管･復旧	4,900Wx550Dx2,000H 再利用品	1.0	ヶ所			
	1F学芸員室 既存棚 移設･保管･復旧	1,400Wx450Dx2,700H 再利用品	1.0	ヶ所			
	1F学芸員室 既存棚 移設･保管･復旧	2,800Wx450Dx2,700H 再利用品	1.0	ヶ所			
	1F学芸員室 既存棚 移設･保管･復旧	5,000Wx450Dx2,700H 再利用品	1.0	ヶ所			
	彫刻養生及台座移設工事		1.0	式			別紙17)-②
	家具工事	受付ｶｳﾝﾀｰ	1.0	式			別紙17)-③
	ｻｲﾝ工事		1.0	式			別紙17)-④
	17) ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	別紙17)-① 鋼板ユニット式ハト小屋						
	ハトボックス	HB-SS3H	1.0	台			
	ハトボックス	HB-SS1H	1.0	台			
	取付施工費	(3人工x2日程度)	1.0	式			
	運搬搬入費		1.0	式			
	諸経費	法定福利費含	1.0	式			
	別紙17)-① 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	別紙17)-② 彫刻養生及台座移設工事						
	1F回廊・中庭 彫刻切離し+石製台座移設	340x320xh1200	1.0	ヶ所			
	1F回廊・中庭 彫刻切離し+石製台座移設	420x350xh1200	1.0	ヶ所			
	1F回廊・中庭 彫刻切離し+石製台座移設	450x450xh1100	1.0	ヶ所			
	1F回廊・中庭 彫刻切離し+石製台座移設	500x430xh1000	1.0	ヶ所			
	1F歩廊・庭園 彫刻切離し+石製台座移設	500x460xh1100	1.0	ヶ所			
	1F歩廊・庭園 彫刻切離し+石製台座移設	500x480xh1100	1.0	ヶ所			
	1F回廊・中庭 彫刻切離し+石製台座移設	510x410xh1000	1.0	ヶ所			
	1F回廊・中庭 彫刻切離し+石製台座移設	530x500xh700	1.0	ヶ所			
	1F回廊・中庭 彫刻切離し+石製台座移設	550x450xh900	1.0	ヶ所			
	1F回廊・中庭 彫刻切離し+石製台座移設	550x500xh900	1.0	ヶ所			
	1F歩廊・庭園 彫刻切離し+石製台座移設	510x410xh900	1.0	ヶ所			
	1F歩廊・庭園 彫刻切離し+石製台座移設	540x480xh1100	1.0	ヶ所			
	1F回廊・中庭 彫刻切離し+石製台座移設	600x450xh1000	1.0	ヶ所			
	1F歩廊・庭園 彫刻切離し+石製台座移設	600x460xh1100	1.0	ヶ所			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	1F歩廊・庭園 彫刻切離し+石製台座移設	 700x550xh1100	 1.0	 ヶ所			
	1F歩廊・庭園 彫刻切離し+石製台座移設	 710x700xh1100	 1.0	 ヶ所			
	1F回廊・中庭 彫刻切離し+石製台座移設	 730x600xh1000	 1.0	 ヶ所			
	1F回廊・中庭 彫刻切離し+石製台座移設	 800x660xh1100	 1.0	 ヶ所			
	1F回廊・中庭 彫刻切離し+石製台座移設	 850x550xh1100	 1.0	 ヶ所			
	1F歩廊・庭園 既存彫刻+石製台座	900x900xh1650 現地養生(単管+ｺﾝﾊﾟﾈ)	 1.0	 ヶ所			
	1F歩廊・庭園 既存彫刻+石製台座	1000x950xh2500 現地養生(単管+ｺﾝﾊﾟﾈ)	 1.0	 ヶ所			
	2F西ﾃﾗｽ 既存彫刻+石製台座	700x400x1600 現地養生(単管+ｺﾝﾊﾟﾈ)	 1.0	 ヶ所			
	2F北ﾃﾗｽ 既存彫刻+石製台座	700x550xh2200 現地養生(単管+ｺﾝﾊﾟﾈ)	 1.0	 ヶ所			
	2F北ﾃﾗｽ 既存彫刻+石製台座	700x680xh2200 現地養生(単管+ｺﾝﾊﾟﾈ)	 1.0	 ヶ所			
	外構（礼拝像） 既存彫刻+石製台座	1100x1100xh3000 現地養生(単管+ｺﾝﾊﾟﾈ)	 1.0	 ヶ所			
	別紙17)-② 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	別紙17)-③ 家具工事						
	受付ｶｳﾝﾀｰ	ﾀﾓ無垢･ﾀﾓ突板･ｼﾅ合板･OSCL塗装	1.0	台			
	ｽｲﾝｸﾞﾄﾞｱ	ﾀﾓ無垢･ﾀﾓ突板･OSCL塗装 金物一式共	1.0	ヶ所			
	施工費	法定福利費共	1.0	式			
	諸経費	搬入費含	1.0	式			
	別紙17)-③ 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	別紙17)-④ ｻｲﾝ工事						
	館名表示	W250xH1600　基礎工事共	6.0	ヶ所			
	館名表示	H270　ｽﾃﾝﾚｽ切文字	1.0	ヶ所			
	展示室室名表示	200x200 t3+3	16.0	ヶ所			
	客室室名表示	200x200 t3+3	11.0	ヶ所			
	客室室名表示	200x200 t3+3	12.0	ヶ所			
	誘導表示	200x200 t3+3	9.0	ヶ所			
	便所ﾋﾟｸﾄ表示	200x200 t3+3	3.0	ヶ所			
	便所ﾋﾟｸﾄ表示	200x200 t3+3	3.0	ヶ所			
	便所ﾋﾟｸﾄ表示	200x200 t3+3	3.0	ヶ所			
	便所ﾋﾟｸﾄ表示	200x200 t3+3	2.0	ヶ所			
	衝突防止ﾏｰｸ		6.0	ヶ所			
	自動扉表示		4.0	ヶ所			
	法定福利費		1.0	式			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	別紙17)-④ 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
18)	解 体 工 事						
a	とりこわし		1.0	式			
b	解体廃材積込		1.0	式			
c	解体廃材運搬		1.0	式			
d	解体廃材処分		1.0	式			
	18) ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
a	とりこわし	（共通事項:集積共）					
	養生費	石綿建材Lv3除去時養生	545.0	m2			
	（外　部）						
	天井 軽鉄天井下地+ｹｲｶﾙ板撤去	19型+t6.0　石綿含有Lv3	393.0	m2			
	天井 塩ﾋﾞ廻り縁撤去		338.0	m			
	SD-17 ｱｸﾘﾙ板撤去	2,440Wx2,700H	1.0	ヶ所			
	SG-4 ｱｸﾘﾙ板撤去	1,660Wx2,260H	12.0	ヶ所			
	ｻｯｼ廻り ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	15x10	433.0	m			
	樋関係 軒樋撤去	銅板	99.6	m			
	樋関係 竪樋撤去	銅板	39.0	m			
	樋関係 ｽﾃﾝﾚｽ這樋撤去	[-150x50	40.6	m			
	西ﾃﾗｽ　床 乾式ﾀｲﾙﾌﾞﾛｯｸ撤去	t30程度	89.0	m2			
	西ﾃﾗｽ　床 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水撤去		89.0	m2			
	西ﾃﾗｽ　排水溝 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水撤去	200Wx30H	18.6	m			
	西ﾃﾗｽ　立上り ｳﾚﾀﾝ塗膜防水撤去	H=150	20.6	m			
	西ﾃﾗｽ　立上り ｳﾚﾀﾝ塗膜防水撤去	H=500	28.1	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	西ﾃﾗｽ防水改修 ﾄﾞﾚﾝ撤去		2.0	ヶ所			
	北ﾃﾗｽ　床 乾式ﾀｲﾙﾌﾞﾛｯｸ撤去	t30程度	153.0	m2			
	北ﾃﾗｽ　床 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水撤去		153.0	m2			
	北ﾃﾗｽ　排水溝 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水撤去	200Wx30H	33.4	m			
	北ﾃﾗｽ　立上り ｳﾚﾀﾝ塗膜防水撤去	H=150	73.1	m			
	北ﾃﾗｽ　立上り ｳﾚﾀﾝ塗膜防水撤去	H=500	42.4	m			
	北ﾃﾗｽ防水改修 ﾄﾞﾚﾝ撤去		2.0	ヶ所			
	中庭ﾃﾗｽ　床 ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ共	210.0	m2			
	中庭ﾃﾗｽ　排水溝 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水撤去	200Wx30H	37.8	m			
	中庭ﾃﾗｽ　排水溝 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水撤去	850Wx600Dx30H	4.0	ヶ所			
	中庭ﾃﾗｽ　立上り 押出成型ｾﾒﾝﾄ板撤去	H=500　石綿含有Lv3	44.6	m			
	中庭ﾃﾗｽ　立上り ｳﾚﾀﾝ塗膜防水撤去	H=150	69.0	m			
	中庭ﾃﾗｽ　立上り ｳﾚﾀﾝ塗膜防水撤去	H=500	44.6	m			
	中庭ﾃﾗｽ ﾄﾞﾚﾝ撤去		4.0	ヶ所			
	廊下(南)屋上　排水溝 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水撤去	200Wx30H	23.4	m			
	廊下(南)屋上　立上り 押出成型ｾﾒﾝﾄ板撤去	H=500　石綿含有Lv3	54.0	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	廊下(南)屋上 ｱﾙﾐ笠木撤去	W=400	46.8	m			
	廊下(南)屋上 ﾄﾞﾚﾝ撤去		2.0	ヶ所			
	北側円形屋根 ｱｽﾌｧﾙﾄｼﾝｸﾞﾙ葺撤去		104.0	m2			
	北側円形屋根 水切･唐草等板金撤去		72.4	m			
	（内　部）						
	床 ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	t180　有筋	7.5	m2			
	床 ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入れ	t180　有筋	14.2	m			
	床 ｺﾝｸﾘｰﾄ+ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ撤去	t100(150)　有筋　350角 ｶｯﾀｰ入れ共	2.0	ヶ所			
	壁 ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	t150　有筋	19.4	m2			
	壁 ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入れ	t150　有筋	18.1	m			
	X6通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	t180　有筋	4.6	m2			
	X6通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入れ	t180　有筋	7.8	m			
	X6通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入れ	t40程度	22.2	m			
	X6通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋斫出し	0.5	m3			
	X7通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	有筋	0.5	m3			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	X7通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入れ	t300　有筋	5.6	m			
	X7通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入れ	t40程度	16.0	m			
	X7通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋斫出し	0.5	m3			
	X18通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	有筋	0.6	m3			
	X18通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入れ	t40程度	11.5	m			
	X18通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋斫出し	1.1	m3			
	Y14通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	有筋	0.2	m3			
	Y14通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入れ	t40程度	11.0	m			
	Y14通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋斫出し	0.3	m3			
	X9通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入れ	t40程度	19.2	m			
	X9通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋斫出し	0.5	m3			
	X16通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入れ	t40程度	19.2	m			
	X16通り壁改修 ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋斫出し	0.5	m3			
	床 ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ共	14.8	m2			
	ｻｯｼ取合 床 ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ共	8.5	m2			
	床 磁器質ﾀｲﾙ撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ共	1.2	m2			
	床 木質ﾊﾟｰｹｯﾄﾌﾛｱ撤去	t20	55.3	m2			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	床 塩ﾋﾞﾀｲﾙ撤去	接着剤共	488.0	m2			
	床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ撤去	t6.5	108.0	m2			
	床 木製框撤去	100Wx20H程度	14.4	m			
	巾木 塩ﾋﾞﾀｲﾙ撤去	H=60	18.5	m			
	巾木 塩ﾋﾞ巾木撤去	H=60　石綿含有Lv3	193.0	m			
	巾木 塩ﾋﾞ巾木撤去	H=100　石綿含有Lv3	141.0	m			
	巾木 塩ﾋﾞ巾木撤去	H=100　石綿含無し	128.0	m			
	巾木 木製巾木撤去	H=100	43.6	m			
	腰壁 板貼撤去	t12程度	31.8	m2			
	腰壁 木製見切撤去	H=100	47.3	m			
	ｶｳﾝﾀｰ腰壁 ﾚｻﾞｰｼｰﾄ撤去		7.9	m2			
	壁 木見切撤去	15x50	6.9	m			
	壁 仕上塗材撤去	RC下 石綿含有Lv3	9.5	m2			
	壁 軽量間仕切+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	W65+t12.5	68.0	m2			
	壁 軽量間仕切+両面石膏ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	t12.5+W65+t12.5	7.1	m2			
	壁 軽量間仕切撤去	W65	18.7	m2			
	壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ+化粧ｹｲｶﾙ板撤去	t12.5+6.0	32.1	m2			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ+ｹｲｶﾙ板撤去	t12.5+6.0	4.1	m2			
	壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞGL+化粧ｹｲｶﾙ板撤去	t12.5+6.0	17.6	m2			
	壁 木軸壁+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	W90+t12.5	39.9	m2			
	壁 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ撤去		1,086.0	m2			
	下り壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ+ｹｲｶﾙ板撤去	t12.5+6.0	4.5	m2			
	柱型腰壁 Mﾊﾞｰ下地+木板撤去	19型+t12	4.6	m2			
	柱型 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ撤去		3.2	m2			
	天井 軽鉄天井下地+ｹｲｶﾙ板撤去	19型+t6.0　石綿含有Lv3	79.6	m2			
	天井 軽鉄天井下地+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	19型+t9.5	1,022.0	m2			
	天井 軽鉄天井下地+化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	19型+t9.5	190.0	m2			
	天井 軽鉄天井下地+曲面ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	19型+t9.0　石綿含有Lv3	71.9	m2			
	天井　軽鉄天井下地+ 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ+岩綿吸音板撤去	19型+t9.5+9.0	533.0	m2			
	天井 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ撤去		919.0	m2			
	吹抜部天井 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ撤去		111.0	m2			
	天井 塩ﾋﾞ廻り縁撤去		1,263.0	m			
	天井 ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ撤去		348.0	m			
	ｻｯｼ廻り ｺｰｷﾝｸﾞ撤去	15x10	27.6	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	喫茶横WC 跳ね上げ式手摺撤去		1.0	ヶ所			
	喫茶横WC L型手摺撤去		1.0	ヶ所			
	喫茶横WC ﾗｲﾆﾝｸﾞ天板撤去	1,130Wx330D	1.0	ヶ所			
	喫茶横WC ﾗｲﾆﾝｸﾞ天板撤去	1,050Wx250D	1.0	ヶ所			
	喫茶横WC 鏡撤去	400Wx1,250H	2.0	枚			
	喫茶横WC 鏡撤去	800Wx1,250H	1.0	枚			
	喫茶横WC WD　片開戸撤去	620Wx2,000H	2.0	ヶ所			
	喫茶横WC WD　片引戸撤去	1,000Wx2,000H	1.0	ヶ所			
	1F職員WC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去	1,150Wx2,000H 扉・袖壁	1.0	ヶ所			
	1Fｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ 受付ｶｳﾝﾀｰ撤去	2,400+1,500W(L型)x1,000H	1.0	ヶ所			
	1F院長室 洗面化粧台撤去	W=750　ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ共	1.0	ヶ所			
	1F事務室 ﾐﾆｷｯﾁﾝ撤去	1,200Wx500Dx1,900H	1.0	ヶ所			
	1F展示室2(現3) 暖炉撤去	1,700Wx800Dx1,000H 天板底部ｹｲｶﾙ板(石綿含有Lv3)	2.0	ヶ所			
	1F展示室3(現2) 暖炉撤去	1,700Wx800Dx1,000H 天板底部ｹｲｶﾙ板(石綿含有Lv3)	2.0	ヶ所			
	1F展示室2(現3) 造作棚撤去	2,700Wx300Dx500H	4.0	ヶ所			
	1F展示室10 造作棚撤去	4,450Wx300Dx3,100H	1.0	ヶ所			
	AD-1 両開き戸(2)+中央FIX+欄間FIX撤去	7500Wx4700H 方立・無目:H形鋼150共	1.0	ヶ所			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　　考
	AD-2(SD) 両開き戸撤去	 1600W x 2700H 枠残し	 4.0	 ヶ所			
	AW-1 片開き窓+上部FIXｶﾞﾗｽ撤去	 600W x 2000H 枠残し	 4.0	 ヶ所			
	AW-2 両開き窓+上部FIXｶﾞﾗｽ撤去	 1600W x 1700H 枠残し	 1.0	 ヶ所			
	AW-3 両開き窓+上部FIXｶﾞﾗｽ撤去	 600W x 1300H 枠残し	 2.0	 ヶ所			
	G-1 防煙垂れ壁撤去	 2960W x 500H 線入t6.8	 2.0	 ヶ所			
	SD-1(SW-2) 両開き戸+上部FIXｶﾞﾗｽ撤去	 1600W x 1700H 枠共	 1.0	 ヶ所			
	SD-2 両開き戸撤去	 1600W x 2700H 枠残し	 2.0	 ヶ所			
	SD-3 両開き戸撤去	 1600W x 2700H 枠共	 3.0	 ヶ所			
	SD-4 両開き戸撤去	 1600W x 2700H 枠残し	 1.0	 ヶ所			
	SD-14 両開き戸撤去	 1600W x 2700H 枠共	 2.0	 ヶ所			
	LSD-1 両開き戸撤去	 1600W x 2700H 枠残し	 1.0	 ヶ所			
	WD-2 両開き框戸撤去	1600W x 2000H 枠・無目・上部ｶﾞﾗﾘ残し	 1.0	 ヶ所			
	WD-3 片開ﾌﾗｯｼｭ戸撤去	 760W x 2250H 枠残し	 2.0	 ヶ所			
	WD-14 片開き框戸撤去	 900W x 2000H 枠共	 2.0	 ヶ所			
	18)-a 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
b	解体廃材積込						
	【解体廃材積込】						
	解体廃材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ塊・ﾓﾙﾀﾙ・CB類	51.0	ton			
	解体廃材積込	木材・合板・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ屑	1.7	ton			
	解体廃材積込	木製建具・枠屑類	0.7	ton			
	解体廃材積込	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ屑	12.8	ton			
	解体廃材積込	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ屑 石綿含有Lv3	0.4	ton			
	解体廃材積込	吸音ﾃｯｸｽ屑	2.2	ton			
	解体廃材積込	ｶﾞﾗｽ・ﾀｲﾙ・陶磁器屑	6.5	ton			
	解体廃材積込	ｶﾞﾗｽ・ﾀｲﾙ・陶磁器屑 石綿含有Lv3	4.0	ton			
	解体廃材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｸﾛｽ屑	1.2	ton			
	解体廃材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｸﾛｽ屑 石綿含有Lv3	0.02	ton			
	解体廃材積込	混合物屑	2.2	ton			
	解体廃材積込	鉄屑（H鋼・鉄筋・LGS他）	12.5	ton			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	18)-b 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
c	解体廃材運搬						
	【解体廃材運搬】						
	解体廃材運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ塊・ﾓﾙﾀﾙ・CB類 DT2t・4t積　片道10km程度	51.0	ton			
	解体廃材運搬	木材・合板・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ屑 DT2t・4t積　片道10km程度	1.7	ton			
	解体廃材運搬	木製建具・枠屑類 DT2t・4t積　片道10km程度	0.7	ton			
	解体廃材運搬	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ屑 DT2t・4t積　片道30km程度	12.8	ton			
	解体廃材運搬	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ屑 石綿含有Lv3 DT2t・4t積　片道30km程度	0.4	ton			
	解体廃材運搬	吸音ﾃｯｸｽ屑 DT2t・4t積　片道30km程度	2.2	ton			
	解体廃材運搬	ｶﾞﾗｽ・ﾀｲﾙ・陶磁器屑 DT2t・4t積　片道30km程度	6.5	ton			
	解体廃材運搬	ｶﾞﾗｽ・ﾀｲﾙ・陶磁器屑 石綿含有Lv3 DT2t・4t積　片道30km程度	4.0	ton			
	解体廃材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｸﾛｽ屑 DT2t・4t積　片道30km程度	1.2	ton			
	解体廃材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｸﾛｽ屑 石綿含有Lv3 DT2t・4t積　片道30km程度	0.02	ton			
	解体廃材運搬	混合物屑 DT2t・4t積　片道30km程度	2.2	ton			
	解体廃材運搬	鉄屑（H鋼・鉄筋・LGS他） DT2t・4t積　片道10km程度	12.5	ton			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	18)−c 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
d	解体廃材処分						
	【解体廃材処分】						
	解体廃材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ塊・ﾓﾙﾀﾙ・CB類	51.0	ton			
	解体廃材処分	木材・合板・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ屑	1.7	ton			
	解体廃材処分	木製建具・枠屑類	0.7	ton			
	解体廃材処分	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ屑	12.8	ton			
	解体廃材処分	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ屑 石綿含有Lv3	0.4	ton			
	解体廃材処分	吸音ﾃｯｸｽ屑	2.2	ton			
	解体廃材処分	ｶﾞﾗｽ・ﾀｲﾙ・陶磁器屑	6.5	ton			
	解体廃材処分	ｶﾞﾗｽ・ﾀｲﾙ・陶磁器屑 石綿含有Lv3	4.0	ton			
	解体廃材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｸﾛｽ屑	1.2	ton			
	解体廃材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｸﾛｽ屑 石綿含有Lv3	0.02	ton			
	解体廃材処分	混合物屑	2.2	ton			
	解体廃材処分(有価物処分)	鉄屑(H鋼・鉄筋等) 金属 H3程度	▲ 12.5	ton			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	18)-d 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
B	収蔵庫棟建築改修工事						
1）	直接仮設工事		1.0	式			
2）	外壁工事		1.0	式			
3）	塗装工事		1.0	式			
4）	ｶﾞﾗｽ工事		1.0	式			
5）	解体工事		1.0	式			
	B － 合 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
1）	直接仮設工事						
	墨出し	(外壁改修)	218.0	m2			
	外部足場	ｸｻﾋﾞ緊結式足場　手すり先行型　W900 掛払･損料･修繕･運搬共　存置3ヶ月間程度	263.0	m2			
	外部養生ｼｰﾄ	ﾒｯｼｭｼｰﾄ 存置3ヶ月間程度 掛払･損料･修繕･運搬共	342.0	m2			
	養生費	(外壁改修)	218.0	m2			
	養生費	(塗装改修程度)	11.7	m2			
	整理清掃後片付	(外壁改修)	218.0	m2			
	整理清掃後片付	(塗装改修程度)	11.7	m2			
	外部安全手摺足場手摺	H1000　存置3ヶ月間程度 掛払･損料･修繕･運搬共	78.8	m			
	外部足場枠組階段	存置3ヶ月間程度 掛払･損料･修繕･運搬共	20.4	m			
	1）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
2）	外壁工事	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ改修					
	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ	ﾀﾃ張り ﾆﾁﾊ:ﾓｴﾝｴｸｾﾗｰﾄﾞ16 しぶきﾌﾟﾚﾐｱﾑ同等 t16xW455xL3030	218.0	m2			
	水切･ｱﾙﾐｽﾀｰﾀｰ	ｶﾗｰGL鋼板t0.35　既製品	69.1	m			
	中間水切り･ｱﾙﾐｽﾀｰﾀｰ	ｶﾗｰGL鋼板t0.35　既製品	22.3	m			
	出隅ｺｰﾅｰ	同質材　91x91　L3030　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ共	12.0	m			
	開口廻り	ﾊｯﾄｼﾞｮｲﾅｰ	76.2	m			
	庇取合切欠き加工		2.0	ヶ所			
	搬入･荷揚げ･諸経費	作図･施工副資材共	1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	2）ー計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
3)	塗装工事						
	(収蔵庫棟)						
	庇屋根 高圧洗浄		7.1	m2			
	庇破風 高圧洗浄		4.6	m2			
	庇屋根 耐候性塗料塗替え(DP)	ｶﾗｰ鉄板下 DP-1級　RB種下地調整共	7.1	m2			
	庇破風 耐候性塗料塗替え(DP)	ｶﾗｰ鉄板下 DP-1級　RB種下地調整共	4.6	m2			
	3) ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
4)	ｶﾞﾗｽ工事						
	AD-11 網入磨き板ｶﾞﾗｽ	PW6.8　2.18m2以下	1.7	m2			
	4）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
5)	解 体 工 事						
a	とりこわし		1.0	式			
b	解体廃材積込		1.0	式			
c	解体廃材運搬		1.0	式			
d	解体廃材処分		1.0	式			
	5）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
a	とりこわし						
		（共通事項:集積共）					
	（収蔵庫棟）						
	壁 窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ撤去	t16程度	211.0	m2			
	壁 土台水切撤去	ｶﾗｰ鉄板	71.1	m			
	5)-a 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
b	解体廃材積込						
	【解体廃材積込】						
	解体廃材積込	混合物屑	2.5	ton			
	解体廃材積込	鉄屑（H鋼・鉄筋等）	0.3	ton			
	5)-b 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
c	解体廃材運搬						
	【解体廃材運搬】						
	解体廃材運搬	混合物層 DT2t・4t積　片道30km程度	2.5	ton			
	解体廃材運搬	鉄屑(H鋼・鉄筋等) DT2t・4t積　片道10km程度	0.3	ton			
	5)-c 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
d	解体廃材処分						
	【解体廃材処分】						
	解体廃材処分	混合物屑	2.5	ton			
	解体廃材処分(有価物処分)	鉄屑（H鋼・鉄筋等） 金属 H3程度	▲ 0.3	ton			
	5)-d 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
C	燃料保管庫棟建築改修工事						
1）	直接仮設工事		1.0	式			
2）	屋根板金工事		1.0	式			
3）	金属工事		1.0	式			
4）	左官工事		1.0	式			
5）	建具工事	既存ﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾒﾀﾙ取外・再取付	1.0	式			
6）	塗装工事		1.0	式			
7）	内外装工事		1.0	式			
8）	解 体 工 事		1.0	式			
	C － 合 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
1）	直接仮設工事						
	墨出し	個別改修	13.8	m2			
	外部足場	ｸｻﾋﾞ緊結式足場　手すり先行型　W900 掛払･損料･修繕･運搬共　存置6ヶ月間程度	77.5	m2			
	外部養生ｼｰﾄ	ﾒｯｼｭｼｰﾄ 存置6ヶ月間程度 掛払･損料･修繕･運搬共	97.5	m2			
	屋根単管足場	存置3ヶ月間程度 掛払･損料･修繕･運搬共	49.7	架m2			
	養生費	(屋根改修)	28.5	m2			
	養生費	(塗装改修程度)	51.1	m2			
	整理清掃後片付	(屋根改修)	28.5	m2			
	整理清掃後片付	(塗装改修程度)	51.1	m2			
	外部安全手摺足場手摺	H1000　存置6ヶ月間程度 掛払･損料･修繕･運搬共	20.4	m			
	外部足場枠組階段	存置6ヶ月間程度 掛払･損料･修繕･運搬共	5.1	m			
	1）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
2)	屋根板金工事						
	金属屋根粘着接着工法一文字葺き	ﾊﾟｰﾌｪｸﾄﾙｰﾌｰ一文字葺き 円錐形状 ｶﾗｰGL鋼板t0.4　KDｼｰﾄt1.0 ﾌﾟﾗｲﾏｰ共	28.5	m2			
	軒先唐草	ｶﾗｰGL鋼板t0.4	14.4	m			
	軒先水切り	ｶﾗｰGL鋼板t0.4	14.4	m			
	下り棟	ｶﾗｰGL鋼板t0.4　捨て板共	21.6	m			
	頂部納め	ｶﾗｰGL鋼板t0.4	1.0	ヶ所			
	搬入･荷揚げ･諸経費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	2）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
3)	金属工事						
	天井 軽鉄天井下地	野縁25型 @300 ﾌﾄｺﾛ高1.0m未満	3.5	m2			
	3）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
4)	左官工事						
	犬走り 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	200Wx200H程度	15.6	m			
	屋根 下地調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ		28.5	m2			
	4）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
5)	建具工事						
	SG-11 既存ﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾒﾀﾙ取外し	1,200Wx600H　4ヶ所	1.0	式			
	SG-11 既存ﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾒﾀﾙ再取付	1,200Wx600H　4ヶ所	1.0	式			
	法定福利費等		1.0	式			
	5）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
6)	塗装工事						
	犬走り 高圧洗浄		6.2	m2			
	壁 高圧洗浄		47.6	m2			
	壁 下地調整		47.6	m2			
	壁 仕上塗材(塗替用)塗布	ﾘｼﾝ下　下地調整共	47.6	m2			
	天井 艶有合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ(EP-G)	ｹｲｶﾙ(目ｽｶｼ)下　素地ごしらえ共	3.5	m2			
	5) ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
7）	内外装工事						
	天井 ｹｲｶﾙ板(無石綿)	t6　目ｽｶｼ	3.5	m2			
	天井 廻縁	塩ﾋﾞｺ型	32.4	m			
	7）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
8)	解 体 工 事						
a	とりこわし		1.0	式			
b	解体廃材積込		1.0	式			
c	解体廃材運搬		1.0	式			
d	解体廃材処分		1.0	式			
	8) ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
a	とりこわし						
		（共通事項:集積共）					
	屋根 ｱｽﾌｧﾙﾄｼﾝｸﾞﾙ葺撤去		28.5	m2			
	屋根 水切･唐草等板金撤去		50.4	m			
	天井 ｹｲｶﾙ板撤去	t6　下地残し	3.5	m2			
	天井 塩ﾋﾞ廻り縁撤去		32.4	m			
	8)-a 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
b	解体廃材積込						
	【解体廃材積込】						
	解体廃材積込	ｱｽﾌｧﾙﾄｼﾝｸﾞﾙ屑	0.3	ton			
	解体廃材積込	ｹｲｶﾙ板屑	0.03	ton			
	解体廃材積込	塩ﾋﾞ屑	0.01	ton			
	解体廃材積込	金属屑（板金）	0.04	ton			
	8)-b 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
c	解体廃材運搬						
	【解体廃材運搬】						
	解体廃材運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄｼﾝｸﾞﾙ屑 DT2t・4t積　片道30km程度	0.3	ton			
	解体廃材運搬	ｹｲｶﾙ板屑 DT2t・4t積　片道30km程度	0.03	ton			
	解体廃材運搬	塩ﾋﾞ屑 DT2t・4t積　片道30km程度	0.01	ton			
	解体廃材運搬	金属屑（板金） DT2t・4t積　片道10km程度	0.04	ton			
	8)-c 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
d	解体廃材処分						
	【解体廃材処分】						
	解体廃材処分	ｱｽﾌｧﾙﾄｼﾝｸﾞﾙ屑	0.3	ton			
	解体廃材処分	ｹｲｶﾙ板屑	0.03	ton			
	解体廃材処分	塩ﾋﾞ屑	0.01	ton			
	解体廃材処分(有価物処分)	金属屑(板金)	▲ 0.04	ton			
	8)-d 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
D	昇降機設備改修工事						
	乗用ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ（車椅子対応型）	準撤去ﾘﾆｭｰｱﾙ 新安全基準対応 （戸開走行保護装置付）	1.0	台			
		積載量:750kg・定員:11名 速度:45m/分・停止箇所:2箇所(1～2階)					
		制御方式:交流ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ制御 操作方式:乗合全自動方式					
	既存撤去工事費		1.0	式			
	養生費		1.0	式			
	撤去機器処理費		1.0	式			
	建築附帯工事費		1.0	式			
	D － 合 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
E	外構改修工事						
1）	解体撤去工事		1.0	式			
2）	外構復旧工事		1.0	式			
	E － 合 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
1）	解体撤去工事						
a	とりこわし		1.0	式			
b	解体廃材積込		1.0	式			
c	解体廃材運搬		1.0	式			
d	解体廃材処分		1.0	式			
	1）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
a	とりこわし						
		（共通事項:集積共）					
	ｴﾝﾄﾗﾝｽ階段前床 御影石撤去	下地共	2.5	m2			
	車椅子経路床 御影石撤去	下地共	77.9	m2			
	階段・ｽﾛｰﾌﾟ廻り 御影石撤去	下地共	21.1	m2			
	出入口ﾎﾟｰﾁ床 ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	t150　有筋	6.5	m2			
	出入口ﾎﾟｰﾁ床 ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入れ	t150　有筋	3.5	m			
	出入口ﾎﾟｰﾁ床 ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ共	18.3	m2			
	出入口ﾎﾟｰﾁ踏面・蹴上 ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ共	7.7	m2			
	花壇RC擁壁撤去	200Wx500H(見掛り) 二丁掛ﾀｲﾙ貼共	4.5	m			
	1)-a 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
b	解体廃材積込						
	【解体廃材積込】						
	解体廃材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ塊類	3.3	ton			
	解体廃材積込	ﾀｲﾙ・ﾓﾙﾀﾙ屑	11.7	ton			
	解体廃材積込	石・ﾓﾙﾀﾙ屑	2.0	ton			
	解体廃材積込	鉄屑（鉄筋）	0.1	ton			
	1)-b 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
c	解体廃材運搬						
	【解体廃材運搬】						
	解体廃材運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ塊類 DT2t・4t積　片道10km程度	3.3	ton			
	解体廃材運搬	ﾀｲﾙ・ﾓﾙﾀﾙ屑 DT2t・4t積　片道30km程度	11.7	ton			
	解体廃材運搬	石・ﾓﾙﾀﾙ屑 DT2t・4t積　片道30km程度	2.0	ton			
	解体廃材運搬	鉄屑（鉄筋） DT2t・4t積　片道10km程度	0.1	ton			
	1)-c 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
d	解体廃材処分						
	【解体廃材処分】						
	解体廃材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ塊類	3.3	ton			
	解体廃材処分	ﾀｲﾙ・ﾓﾙﾀﾙ屑	11.7	ton			
	解体廃材処分	石・ﾓﾙﾀﾙ屑	2.0	ton			
	解体廃材処分(有価物処分)	鉄屑（鉄筋） 金属 H3程度	▲ 0.1	ton			
	1)-d 小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
2)	外構復旧工事						
	ｴﾝﾄﾗﾝｽ階段前床 御影石	300x600角　割肌　下地ﾓﾙﾀﾙ共	2.5	m2			
	出入口ﾎﾟｰﾁ床 せっ器質ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ	200x100 t15　下地ﾓﾙﾀﾙ共	13.0	m2			
	出入口ﾎﾟｰﾁ踏面・蹴上 せっ器質ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ	200x100 t15　下地ﾓﾙﾀﾙ共	6.2	m2			
	車椅子経路床工事		1.0	式			別紙2)-①
	階段・ｽﾛｰﾌﾟ改修工事		1.0	式			別紙2)-②
	花壇擁壁工事		1.0	式			別紙2)-③
	機械基礎工事	内外	1.0	式			別紙2)-④
	芝生復旧工事		1.0	式			別紙2)-⑤
	土工機械運搬費		1.0	往復			
	2) - 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	別紙2)-① 車椅子経路床工事						
	鋤取り	t150程度	11.7	m3			
	不用土運搬	場外適切自由処分 運搬(DT4t積:片道10km圏内程度)	11.7	m3			
	不用土処分		11.7	m3			
	床均し		77.9	m2			
	砕石地業	土間下　再生砕石 小運搬共	7.8	m3			
	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc=18N/mm2　S=18cm	3.9	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	土間ｺﾝ　　ﾎﾟﾝﾌﾟ打	3.9	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ強度補正	6N/mm2	3.9	m3			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車用ﾓﾙﾀﾙ	配合1:4	0.5	m3			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車損料	基本料金･圧送費共	1.0	回			
	普通合板型枠	土間ｺﾝ止め型枠	8.9	m2			
	型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	8.9	m2			
	ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ敷き込み	150x150x6φ　材工共	77.9	m2			
	床 磁器質ﾀｲﾙ	300角　下地ﾓﾙﾀﾙ共	64.4	m2			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	床 磁器質ﾀｲﾙ	点字ﾀｲﾙ(誘導・注意) 300角　下地ﾓﾙﾀﾙ共	 13.5	 m2			
	ｴﾝﾄﾗﾝｽ階段前床 御影石	 300x600角　割肌　下地ﾓﾙﾀﾙ共	 16.7	 m2			
	重機運搬費	片道30km以内　ﾊﾞｯｸﾎｳ	1.0	往復			
	別紙2)-② 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	別紙2)-② 階段・ｽﾛｰﾌﾟ改修工事						
	根切	機械	16.4	m3			
	埋戻し	B種　良質根切土	11.6	m3			
	盛土	B種　良質根切土　人力	0.4	m3			
	不用土運搬	場外適切自由処分 運搬(DT4t積:片道10km圏内程度)	4.4	m3			
	不用土処分		4.4	m3			
	砕石地業	基礎下　再生砕石 小運搬共	1.0	m3			
	砕石地業	土間下　再生砕石 小運搬共	1.9	m3			
	捨ｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc=18N/mm2　S=15cm	0.3	m3			
	躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc=24N/mm2　S=18cm	6.2	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨ｺﾝ　人力　ｶｰﾄ打設	0.3	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	躯体ｺﾝ　　ﾎﾟﾝﾌﾟ打	6.2	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ強度補正	6N/mm2	6.2	m3			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車用ﾓﾙﾀﾙ	配合1:4	0.5	m3			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車損料	基本料金･圧送費共	1.0	回			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	普通合板型枠		21.5	m2			
	型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	21.5	m2			
	異形鉄筋棒鋼	SD295　D10	300.0	kg			
	異形鉄筋棒鋼	SD295　D13	81.6	kg			
	鉄筋ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H2(特級B)程度	▲ 10.2	kg			
	鉄筋加工組立費	結束線・ｽﾍﾟｰｻｰﾌﾞﾛｯｸ共	367.0	kg			
	加工鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 4t車	367.0	kg			
	床 御影石	300x600角　割肌　下地ﾓﾙﾀﾙ共	21.1	m2			
	床 せっ器質ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ	200x100 t15　下地ﾓﾙﾀﾙ共	16.1	m2			
	床 せっ器質ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ	200x100 t15　下地ﾓﾙﾀﾙ共	14.2	m			
	階段・蹴上 せっ器質ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ	200x100 t15　下地ﾓﾙﾀﾙ共	11.0	m2			
	ｽﾃﾝﾚｽ手摺	手摺:φ30　支柱:FB-25x6@900 H=750 下部土間ｺﾝｸﾘｰﾄにｱﾝｶｰ止め	5.7	m			
	別紙2)-② 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	別紙2)-③ 花壇擁壁工事						
	根切	機械	4.0	m3			
	埋戻し	B種　良質根切土	3.2	m3			
	不用土運搬	場外適切自由処分 運搬(DT4t積:片道10km圏内程度)	0.8	m3			
	不用土処分		0.8	m3			
	躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc=24N/mm2　S=18cm	1.0	m3			
	打設手間	躯体ｺﾝ　　ｶｰﾄ打	1.0	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ強度補正	6N/mm2	1.0	m3			
	普通合板型枠		9.7	m2			
	型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	9.7	m2			
	異形鉄筋棒鋼	SD295　D10	26.8	kg			
	異形鉄筋棒鋼	SD295　D13	10.6	kg			
	鉄筋ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H2(特級B)程度	▲ 1.0	kg			
	鉄筋加工組立費	結束線・ｽﾍﾟｰｻｰﾌﾞﾛｯｸ共	36.0	kg			
	加工鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 4t車	36.0	kg			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	擁壁立上り 二丁掛ﾀｲﾙ	H=600	10.2	m			
	擁壁天端 二丁掛ﾀｲﾙ	W=200　役物2本共	5.1	m			
	擁壁立上り ﾀｲﾙ下ﾓﾙﾀﾙ木ｺﾞﾃ	H=600	10.2	m			
	擁壁天端 ﾀｲﾙ下ﾓﾙﾀﾙ木ｺﾞﾃ	W=200	5.1	m			
	別紙2)-③ 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	別紙2)-④ 機械基礎工事	内外					
	根切	人力掘削	2.8	m3			
	埋戻し	人力	2.6	m3			
	不用土運搬	場外適切自由処分 運搬(DT4t積:片道10km圏内程度)	0.2	m3			
	不用土処分		0.2	m3			
	砕石地業	基礎下　再生砕石 小運搬共	0.1	m3			
	捨ｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc=18N/mm2　S=15cm	0.04	m3			
	躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc=24N/mm2　S=18cm	2.0	m3			
	打設手間	捨ｺﾝ　人力　ｶｰﾄ打設	0.04	m3			
	打設手間	躯体ｺﾝ　　ﾎﾟﾝﾌﾟ打	1.1	m3			
	打設手間	躯体ｺﾝ　　ｶｰﾄ打	0.9	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ強度補正	6N/mm2	2.0	m3			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車用ﾓﾙﾀﾙ	配合1:4	0.5	m3			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車損料	基本料金･圧送費共	1.0	回			
	打放合板型枠	B種	2.6	m2			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	普通合板型枠	H150	59.6	m			
	普通合板型枠	H200	4.5	m			
	型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	12.4	m2			
	異形鉄筋棒鋼	SD295　D10	149.0	kg			
	異形鉄筋棒鋼	SD295　D13	111.0	kg			
	鉄筋ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H2(特級B)程度	▲ 7.0	kg			
	鉄筋加工組立費	結束線･ｽﾍﾟｰｻｰﾌﾞﾛｯｸ共	250.0	kg			
	加工鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 4t車	250.0	kg			
	接着系あと施工ｱﾝｶｰ	D10　横向	28.0	本			
	接着系あと施工ｱﾝｶｰ	M10　下向き	106.0	本			
	基礎天端 ｼｰﾄ防水		6.5	m2			
	基礎側面 ｼｰﾄ防水	H=150	53.8	m			
	基礎天端 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ		10.5	m2			
	基礎側面 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修		2.4	m2			
	基礎側面 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修	H=150	59.6	m			
	基礎立上り ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修	H=200	7.0	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	各ﾃﾗｽ 床 ｺﾝｸﾘｰﾄ目ｱﾗｼ		6.5	m2			
	内部 床 ｺﾝｸﾘｰﾄ目ｱﾗｼ		3.5	m2			
	内部 既存基礎側面 ｺﾝｸﾘｰﾄ目ｱﾗｼ		0.5	m2			
	別紙2)-④ 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	別紙2)-⑤ 芝生復旧工事						
	表土すき取り	t=100	62.0	m3			
	不用土運搬	場外適切自由処分 運搬(DT4t積:片道10km圏内程度)	62.0	m3			
	不用土処分		62.0	m3			
	客土	t=100	62.0	m3			
	芝張り	高麗芝 べた張り	620.0	m2			
	別紙2)-⑤ 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
F	電気設備改修工事						
1)	受変電設備改修工事	※改修対応	1.0	式			
2)	空調動力電源等改修工事	※改修対応	1.0	式			
3)	電灯幹線設備工事	※新設対応	1.0	式			
4)	電灯(非常灯・誘導灯を含む)設備工事		1.0	式			
5)	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ設備工事		1.0	式			
6)	ｺﾝｾﾝﾄ設備工事		1.0	式			
7)	弱電(放送・監視ｶﾒﾗ共)設備工事	※改修対応	1.0	式			
8)	自動火災報知設備工事		1.0	式			
9)	Wi-Fi設置工事	※新設対応	1.0	式			
10)	多目的ﾎｰﾙ音響設備更新工事	※新設対応	1.0	式			
11)	ﾃﾞｼﾞﾀﾙｻｲﾈｰｼﾞ設置工事	※新設対応	1.0	式			
12)	発生材処理		1.0	式			
	F － 合 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
1）	受変電設備改修工事	※改修対応					
	第1高圧ｷｭｰﾋﾞｸﾙ内の改修工事費	受電用・送り用変流器、電力計等の取替え	1.0	式			
	美術館高圧ｷｭｰﾋﾞｸﾙの増設改修工事	増設ｷｭｰﾋﾞｸﾙ	1.0	式			
		LBS200A等の新設					
		SC油入160kvar + ﾘｱｸﾄﾙ等の新設					
	美術館高圧ｷｭｰﾋﾞｸﾙの増設改修工事	既設ｷｭｰﾋﾞｸﾙ改修	1.0	式			
		TR1φ100kVA 更新					
		TR3φ75kVA → 200kVAに変換					
		TR3φ150kVA → 200kVAに変換					
		VCB、OCR変換、MCBの新設等					
	機器搬入費		1.0	式			
	耐圧試験・検査費		1.0	式			
	電力会社申請手続費	高圧SW開閉費共	1.0	式			
	1） 計						

No	名　称	規格・摘要		原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
2)	空調動力電源等改修工事	※改修対応						
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-IE 3.5°	天井内配線	68.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-IE 3.5°	管内配線	63.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-IE 5.5°	天井内配線	42.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-IE 5.5°	管内配線	95.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-IE 8°	天井内配線	90.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-IE 8°	管内配線	37.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-IE 14°	天井内配線	133.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-IE 14°	管内配線	13.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF 1.6-3C	天井内配線	214.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF 2.0-3C	天井内配線	437.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CE 2° -4C	天井内配線	34.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CE 2° -4C	管内配線	10.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CET 14°	天井内配線	68.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CET 14°	管内配線	69.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CET 22°	天井内配線	42.0	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CET 22° 管内配線	59.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CET 38° 天井内配線	40.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CET 60° 管内配線	22.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CET 100° 天井内配線	90.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CET 100° 管内配線	5.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CET 150° 天井内配線	133.0	m			
	電線ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CET 150° 管内配線	13.0	m			
	電線管	GZ28 露出配管	3.0	m			
	電線管	GZ42 露出配管	22.0	m			
	電線管	GZ54 露出配管	60.0	m			
	電線管	GZ70 露出配管	20.0	m			
	電線管	GZ82 露出配管	4.0	m			
	電線管	GZ92 露出配管	11.0	m			
	電線管	E51 露出配管	41.0	m			
	電線管	E63 露出配管	29.0	m			
	電線管等支持材		1.0	式			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	金属製可とう電線管　ﾋﾞﾆﾙ被覆付	F30-WP	2.0	ヶ所			
	金属製可とう電線管　ﾋﾞﾆﾙ被覆付	F50-WP	6.0	ヶ所			
	金属製可とう電線管　ﾋﾞﾆﾙ被覆付	F63-WP	10.0	ヶ所			
	金属製可とう電線管　ﾋﾞﾆﾙ被覆付	F76-WP	2.0	ヶ所			
	金属製可とう電線管　ﾋﾞﾆﾙ被覆付	F92-WP	1.0	ヶ所			
	金属製可とう電線管　ﾋﾞﾆﾙ被覆付	F101-WP	2.0	ヶ所			
	位置ﾎﾞｯｸｽ(VE製ｶﾊﾞｰ付)	中四角浅型　D44	2.0	個			
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ(SUS-WP)	300-300-300	1.0	個			
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ(SUS-WP)	400-400-400	3.0	個			
	コア抜き(壁・床)　・　補修共	50φ	8.0	ヶ所			
	コア抜き(壁・床)　・　補修共	75φ	3.0	ヶ所			
	コア抜き(壁・床)　・　補修共	100φ	3.0	ヶ所			
	コア抜き(壁・床)　・　補修共	125φ	4.0	ヶ所			
	貫通処理工事	C-(39)	8.0	ヶ所			
	貫通処理工事	C-(51)	3.0	ヶ所			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	貫通処理工事	C-(75)	3.0	ヶ所			
	貫通処理工事	G-(92)	4.0	ヶ所			
	新設エアコン盤	ACP-1A	1.0	面			
	新設エアコン盤	ACP-2A	1.0	面			
	新設エアコン盤	ACP-2B	1.0	面			
	新設エアコン盤	ACP-2C	1.0	面			
	新設エアコン盤	ACP-2D	1.0	面			
	改修動力盤	P-1A	1.0	面			
	改修動力盤	P-1D	1.0	面			
	改修動力盤	P-2C	1.0	面			
	改修動力盤	L-1A	1.0	面			
	2) 計						

No	名　称	規格・摘要		原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
3)	電灯幹線設備工事	※新設対応						
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	EM-IE 8°	管内配線	14.0	m			
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	EM-IE 8°	天井内配線	65.0	m			
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CET 22°	管内配線	14.0	m			
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CET 38°	天井内配線	65.0	m			
	電線管	C-39	露出配管	9.0	m			
	電線管	C-51	露出配管	5.0	m			
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ (SS)	300-300-200		3.0	個			
	ｺｱ抜き・補修共	75φ	鉄筋探査含む	5.0	ヶ所			
	同上　貫通処理工事	C- (51)		5.0	ヶ所			
	新設電灯盤 (L-2A)	鋼板製露出型		1.0	面			
	新設電灯盤 (L-2D)	鋼板製露出型		1.0	面			
	既設分電盤の改修費・(L-1A・L-1D・L-2A)	二次側回路の絶縁抵抗の測定試験等		3.0	面			
	3) 計							

No	名　称	規格・摘要		原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
4)	電灯(非常灯・誘導灯を含む)設備工事							
	(1)撤去							
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	VVF 1.6-2C	天井内配線	352.0	m			
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	VVF 1.6-3C	天井内配線	99.0	m			
	埋込ｽｲｯﾁ	1P15A ×1	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	2.0	個			
	埋込ｽｲｯﾁ	1P15A ×3	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	1.0	個			
	埋込ｽｲｯﾁ	1P15A ×4	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	3.0	個			
	埋込ｽｲｯﾁ	1P15A ×6	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	1.0	個			
	埋込ｽｲｯﾁ	1P15A ×1, PL	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	1.0	個			
	埋込ｽｲｯﾁ	1P15A ×2, PL	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	4.0	個			
	埋込ｽｲｯﾁ	1P15A ×3, PL	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	3.0	個			
	入感ｾﾝｻｰｽｲｯﾁ			4.0	個			
	ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ	IL用、FL用		50.0	個			
	照明器具　避難口誘導灯	FL10w(20w)-1	直付型	4.0	台			
	照明器具　避難口誘導灯	FL10w(20w)-1	ﾊﾟｲﾌﾟ吊型	42.0	台			
	照明器具　階段通路誘導灯	FL40w-1		12.0	台			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	照明器具　床埋込型誘導灯	FL10w-1	16.0	台			
	照明器具　埋込型非常灯	IL10w～40w	98.0	台			
	照明器具　露出型非常灯(防水型)	IL20w～1	1.0	台			
	照明器具　LED下面開放埋込型	5000Lm相当	2.0	台			
	照明器具　下面開放埋込型	FL40w-1	2.0	台			
	照明器具　下面開放埋込型	FL40w-2	32.0	台			
	照明器具　下面開放埋込型	FL40w-2　（ﾊﾞｯﾃﾘｰ内蔵）	5.0	台			
	照明器具　下面開放埋込型	FL40w-2-2連結	20.0	台			
	照明器具　下面開放埋込型	FL20w-1	2.0	台			
	照明器具　逆富士型	FL40w-2	6.0	台			
	照明器具　逆富士型(防湿防雨型)	FL40w-2	4.0	台			
	照明器具　壁付ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ	HF40w-1	4.0	台			
	照明器具　ｺｰﾄﾞ吊りｼｬﾝﾃﾞﾘｱ	IL80w-8	2.0	台			
	照明器具　ｺｰﾄﾞﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ	IL60w-3	1.0	台			
	照明器具　ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ(配線ﾀﾞｸﾄ用)	IL60w(80w)	207.0	台			
	照明器具　ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	IL60w(80w)	134.0	台			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	照明器具　天井直付ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ	IL60w(100w)	19.0	台			
	照明器具　反射笠付ﾁｪｰﾝ吊	FL40w-2	13.0	台			
	小計						

No	名　称	規格・摘要		原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
4)	電灯(非常灯・誘導灯を含む)設備工事							
	⑵改修							
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF 1.6-3C	天井内配線	1,153.0	m			
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	FCPEV 1.2-2C	天井内配線	215.0	m			
	電線管	PF(16)	いんぺい配管	48.4	m			
	位置ﾎﾞｯｸｽ(VE製ｶﾊﾞｰ付)	中四角浅型　D44		31.0	個			
	位置ﾎﾞｯｸｽ(VE製ｶﾊﾞｰ付)	中四角深型　D54		23.0	個			
	埋込ｽｲｯﾁ	1P15A ×1	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	5.0	個			
	埋込ｽｲｯﾁ	1P15A ×2	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	7.0	個			
	埋込ｽｲｯﾁ	1P15A ×3	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	1.0	個			
	埋込ｽｲｯﾁ	1P15A ×4	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	1.0	個			
	埋込ｽｲｯﾁ	1P15A ×6	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	1.0	個			
	埋込ｽｲｯﾁ	1P15A ×2, 1P4AL	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	2.0	個			
	埋込ｽｲｯﾁ	1P15A ×3, 1P4AL	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	3.0	個			
	ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ用	※WTC57582W (参考)		2.0	個			
	ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ LED40形用	※NQ21506 (参考)		4.0	個			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	熱線ｾﾝｻｰ自動ｽｲｯﾁ(親機)	※WTK24818　同等品	3.0	個			
	熱線ｾﾝｻｰ自動ｽｲｯﾁ(子機)　CLF用	※WTK2614K　同等品	2.0	個			
	熱線ｾﾝｻｰ自動ｽｲｯﾁ(子機)　Fan用	※WTK29318　同等品	4.0	個			
	熱線ｾﾝｻｰ自動ｽｲｯﾁ(子機)	※WTK2910K　同等品	3.0	個			
	熱線ｾﾝｻｰ操作ﾕﾆｯﾄ(1回路用)	※WTC5820W　同等品	1.0	個			
	熱線ｾﾝｻｰ操作ﾕﾆｯﾄ(2回路用)	※WTC5822W　同等品	4.0	個			
	ｺｱ抜き・補修共	50φ　　鉄筋探査含む	2.0	ヶ所			
	同上　貫通処理工事	C-(25)	2.0	ヶ所			
	天井下地開口補強費	※照明器具等	1.0	式			
	照明器具　　記号　a1	LED避難口誘導灯　　SH1-FSF20-C	2.0	台			
	照明器具　　記号　a2	LED避難口誘導灯　　SH1-FSF20-BL	1.0	台			
	照明器具　　記号　a3	LED避難口誘導灯　　SH1-FSF20-C(500mmﾀｲﾌﾟ)	23.0	台			
	照明器具　　記号　a4	LED避難口誘導灯　　SH1-FSF20-BL(500mmﾀｲﾌﾟ)	19.0	台			
	照明器具　　記号　a5	LED階段通路誘導灯　　Hf32形-1灯相当	12.0	台			
	照明器具　　記号　a6	LED床埋込型通路誘導灯　C級-10形	16.0	台			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	照明器具　記号 b1	LED非常用照明器具 K1-LRS11-1	14.0	台			
	照明器具　記号 b2	LED非常用照明器具 K1-LRS11-2	90.0	台			
	照明器具　記号 b3	LED非常用照明器具 K1-LRS11-3(～6m用)	10.0	台			
	照明器具　記号 b4	LED非常用照明器具 K1-LRS11-3(～8m用)	2.0	台			
	照明器具　記号 b5	LED非常用照明器具 K1-LSS14MP-2	1.0	台			
	照明器具　記号 c1	LED非常用照明器具 Hf32形-1灯相当	5.0	台			
	照明器具　記号 A	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 60形電球1灯相当	13.0	台			
	照明器具　記号 B	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 60形電球1灯相当(調光対応)	18.0	台			
	照明器具　記号 C	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 100形電球1灯相当	24.0	台			
	照明器具　記号 D	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ ﾘﾆｭｰｱﾙﾌﾟﾚｰﾄ共 100形電球1灯相当	7.0	台			
	照明器具　記号 E	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ ﾘﾆｭｰｱﾙﾌﾟﾚｰﾄ共 60形電球1灯相当	9.0	台			
	照明器具　記号 F	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 直付ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ 100形電球1灯相当	19.0	台			
	照明器具　記号 G	LED直付型40形 Dｽﾀｲﾙ Hf32形-2灯相当	10.0	台			
	照明器具　記号 H	LED埋込型40形 下面開放型 Hf32形-2灯相当	60.0	台			
	照明器具　記号 I	LED埋込型40形 下面開放型 Hf32形-1灯相当	8.0	台			
	照明器具　記号 J	LED埋込型40形 下面開放型 Hf32形-2灯相当(調光対応)	32.0	台			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	照明器具　記号 K	LED埋込型40形 下面開放型 Hf32形-1灯相当	62.0	台			
	照明器具　記号 L	LEDｽﾎﾟﾄﾗｲﾄ(位相制御調光) 約1092lm	372.0	台			
	照明器具　記号 M	LEDﾌｪｰﾄﾞｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ 約702lm	6.0	台			
	照明器具　記号 N	LEDｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ 750形 約6630lm	4.0	台			
	照明器具　記号 P	LED直付型20形 FL20形1灯相当	3.0	台			
	照明器具　記号 Q	LEDｼｬﾝﾃﾞﾘｱ 60形電球3灯相当	1.0	台			
	照明器具　記号 R	LEDﾎﾟｰﾁﾗｲﾄ 40形電球1灯相当	10.00	台			
	照明器具　記号 S	LED直付型40形 Hf32形-2灯相当	4.0	台			
	照明器具　記号 T	LED直付型40形 LSS9-4-48LN	13.00	台			
	既存照明器具　取外し再取付	LED埋込型40形 ※事務室、館長室、他	28.0	台			
	既存照明器具　取外し再取付	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ ※ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ、他	15.0	台			
	既存照明器具　取外し再取付	LEDｺｰﾄﾞ吊りﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ ※多目的ﾎｰﾙ	3.0	台			
	既存照明器具　取外し再取付	LED壁付灯 ※多目的ﾎｰﾙ	7.0	台			
	既存照明器具　取外し再取付	LEDｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ(ﾀﾞｸﾄ用) ※多目的ﾎｰﾙ、他	15.0	台			
	既存照明器具　取外し再取付	LEDｺｰﾄﾞ吊りｼｬﾝﾃﾞﾘｱﾗｲﾄ(8灯用) ※多目的ﾎｰﾙ、他	3.0	台			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	小計						
	4）計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
5)	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ設備工事						
	(1)撤去						
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	VVF 1.6-2C　天井内配線	335.0	m			
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	VVF 1.6-3C　天井内配線	427.0	m			
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ　2m用	ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ、ｼﾞｮｲﾅ等共	5.0	台			
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ　3m用	ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ、ｼﾞｮｲﾅ等共	24.0	台			
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ　4m用	ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ、ｼﾞｮｲﾅ等共	3.0	台			
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ　6m用	ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ、ｼﾞｮｲﾅ等共	1.0	台			
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ　8m用	ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ、ｼﾞｮｲﾅ等共	6.0	台			
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ　9m用	ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ、ｼﾞｮｲﾅ等共	12.0	台			
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ　13m用	ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ、ｼﾞｮｲﾅ等共	8.0	台			
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ　23m用	ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ、ｼﾞｮｲﾅ等共	4.0	台			
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ　29m用	ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ、ｼﾞｮｲﾅ等共	4.0	台			
	ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ	ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ用	50.0	個			
	小計						

No	名　称	規格・摘要		原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
5)	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ設備工事							
	⑵改修							
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF 1.6-3C	天井内配線	965.0	m			
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	接地線 GV 2.0	天井内配線	336.0	m			
	電線管	PF(16)	いんぺい配管	145.0	m			
	電線管	C-(51)	露出配管	12.0	m			
	位置ﾎﾞｯｸｽ(VE製ｶﾊﾞｰ付)	中四角浅型　D44		66.0	m			
	ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ LEDｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ用	※NQ20346(参考)		66.0	個			
	ｱｰｽ付ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ　2m用	2P15A-125V,E付	露出型	49.0	個			
	ｱｰｽ付ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ　3m用	2P15A-125V,E付	露出型	146.0	個			
	同上　ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ			66.0	個			
	同上　ｼﾞｮｲﾅｰ			122.0	個			
	同上　ｼﾞｮｲﾅｰL(ｴﾙ)			6.0	個			
	同上　ｴﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ			70.0	個			
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ用支持材			1.0	式			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	ｺｱ抜き・補修共	75φ　　鉄筋探査含む	2.0	ヶ所			
	同上　貫通処理工事	C-(51)	2.0	ヶ所			
	小計						
	5）計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
6)	ｺﾝｾﾝﾄ設備工事						
	(1)撤去						
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	VVF 1.6-2C　天井内配線	256.0	m			
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	VVF 2.0-3C　天井内配線	62.0	m			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ	B型	14.0	m			
	位置ﾎﾞｯｸｽ	ｱｳﾄﾚｯﾄBOX-44	8.0	個			
	位置ﾎﾞｯｸｽ	MM用-ｽｲｯﾁBOX　(2ヶ用)	2.0	個			
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×2　(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	109.0	個			
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×2　接地付　(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	19.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ		2.0	個			
	小計						

No	名　称	規格・摘要		原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
6)	ｺﾝｾﾝﾄ設備工事							
	⑵改修							
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF 2.0-3C	天井(床)内配線	403.0	m			
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF 2.0-3C	MM内配線	30.0	m			
	電線管	PF(22)	いんぺい配管	90.0	m			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ	A型		30.0	m			
	位置ﾎﾞｯｸｽ(VE製ｶﾊﾞｰ付)	中四角浅型　D44		25.0	個			
	位置ﾎﾞｯｸｽ	継枠用BOX		121.0	個			
	位置ﾎﾞｯｸｽ	MM用-ｽｲｯﾁBOX	(1ヶ用)	12.0	個			
	自動ﾄﾞｱ用電源ｽｲｯﾁ	両切　2P15A×1	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	3.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ			4.0	個			
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×2	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	93.0	個			
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×2　接地極・端子付	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	55.0	個			
	OAﾌﾛｱｰ用床ｺﾝｾﾝﾄ(器具用BOX共)	2P15A×2 接地極付	(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	4.0	個			
	ｺｱ抜き・補修共	50φ	鉄筋探査含む	10.0	ヶ所			
	同上　貫通処理工事	C-(25)		10.0	ヶ所			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	ｺｱ抜き・補修共	75φ　　鉄筋探査含む	10.0	ヶ所			
	同上　貫通処理工事	C-(51)	10.0	ヶ所			
	小計						
	6）計						

No	名　称	規格・摘要		原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
7)	弱電(放送・監視ｶﾒﾗ共)設備工事	※改修対応						
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	EM-AE 0.9-5P	天井内配線	31.0	m			
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	EM-AE 1.2-4C	天井内配線	66.0	m			
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	EM-HP 1.2-4C	天井内配線	125.0	m			
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	EBT-0.5-4P	管内・MM内配線	74.0	m			
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	LAN Cat5E	管内・MM内配線	41.0	m			
	電線管	PF(16)	いんぺい配管	82.0	m			
	電線管	PF(22)	いんぺい配管	12.0	m			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ	A型		16.0	m			
	位置ﾎﾞｯｸｽ(VE製ｶﾊﾞｰ付)	中四角浅型　D44		9.0	個			
	位置ﾎﾞｯｸｽ	継枠用BOX	(1ヶ用)	11.0	個			
	位置ﾎﾞｯｸｽ	MM用-ｽｲｯﾁBOX	(1ヶ用)	3.0	個			
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ(SS)	200-200-150		2.0	個			
	天井埋込ｽﾋﾟｰｶｰ	3W	金属製ﾈｯﾄ	2.0	個			
	天井埋込ｽﾋﾟｰｶｰ	3W　ATT付	金属製ﾈｯﾄ	6.0	個			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	ｱｯﾃﾈｰﾀｰ	3W　(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	5.0	個			
	既存天井埋込ｽﾋﾟｰｶｰ (3W)	一時取外し再取付	51.0	個			
	同上　既存ｱｯﾃﾈｰﾀｰ	一時取外し再取付	8.0	個			
	既存　壁付け用ﾎｰﾝｽﾋﾟｰｶｰ (5W)	一時取外し再取付	2.0	個			
	弱電端子盤 (鋼板製)	400-500-125(参考)	1.0	面			
	TEL ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ	6極4心　(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	7.0	個			
	LAN ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ	Cat5E　(ﾌﾟﾚｰﾄ共)	7.0	個			
	既存　壁付ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ (TEL用)	一時取外し再取付	11.0	個			
	既存　壁付LAN用 ｺﾝｾﾝﾄ	一時取外し再取付	1.0	個			
	既存　壁付ﾃﾚﾋﾞﾕﾆｯﾄ	一時取外し再取付	1.0	個			
	既存　監視ｶﾒﾗ用ﾃﾞｨｽｸﾚｺｰﾀﾞｰ等機器	一時取外し再取付	1.0	ｾｯﾄ			
	既存　監視ｶﾒﾗ (天井付)	一時取外し再取付	13.0	個			
	既存　Wi-Fiｱﾝﾃﾅ (ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ)	一時取外し再取付	1.0	ｾｯﾄ			
	既存　来客ｾﾝｻｰｽｲｯﾁ (風除室)	一時取外し再取付	2.0	個			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	ﾄｲﾚ呼出し表示機　親機	※WQ4302K（参考）	1.0	個			
	ﾄｲﾚ呼出し表示機　副親機	※WQ4402K（参考）	1.0	個			
	ﾄｲﾚ呼出し釦　（ON保持対応）	※WS66772（参考）	2.0	個			
	ｺｱ抜き・補修共	50φ　鉄筋探査含む	1.0	ヶ所			
	ｺｱ抜き・補修共	75φ　鉄筋探査含む	6.0	ヶ所			
	同上　貫通処理工事	C-(19)	13.0	ヶ所			
	7）計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
8)	自動火災報知設備工事						
	⑴撤去						
	光電式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器	2種　露出型	67.0	個			
	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器	1種　露出型・防水型	1.0	個			
	小計						
	⑵改修						
	電線・ｹｰﾌﾞﾙ	EM-AE 1.2-4C　　天井内配線	174.0	m			
	光電式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器	2種　露出型	82.0	個			
	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器	1種　露出型・防水型	1.0	個			
	火災受信機の改修費	防火ｼｬｯﾀｰ回線等の接続	1.0	式			
	消防設備の手続き、試験・検査費		1.0	式			
	ｺｱ抜き・補修共	50φ　　鉄筋探査含む	11.0	ヶ所			
	同上　貫通処理工事	C-(19)	11.0	ヶ所			
	小計						
	8) 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
9)	Wi-Fi設置工事	※新設対応					
	ARUBA ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ AP-515	Q9H61A	16.0	台			
	ARUBA ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ 取付金具	R3J19A	16.0	台			
	NETGEAR PoE+(183W)給電ｽｲｯﾁﾝｸﾞHUB(16ﾎﾟｰﾄ)	GS116PP-100AJS	1.0	台			
	NETGEAR PoE+(123W)給電ｽｲｯﾁﾝｸﾞHUB(8ﾎﾟｰﾄ)	GS108PP-100AJS	1.0	台			
	LANｹｰﾌﾞﾙ CAT5e	UTP0.5㎜-4P	1,150.0	m			
	消耗品及び雑材料費		1.0	式			
	配線工事費		1.0	式			
	機器設置工事費		1.0	式			
	機器設定・試験調整費		1.0	式			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ	A型	15.0	m			
	コア抜き・補修共	50φ　　鉄筋探査含む	20.0	ヶ所			
	同上　貫通処理工事	C-(19)	17.0	ヶ所			
	同上　貫通処理工事	C-(25)	3.0	ヶ所			
	9) 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
10)	多目的ホール音響設備更新工事	※新設対応					
	ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾐｷｻｰ	WR-DX002	1.0	台			
	ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾏﾙﾁﾌﾟﾛｾｯｻｰ	WZ-DM304	1.0	台			
	ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾊﾟﾜｰｱﾝﾌﾟ200W×2ch	WP-DA202	1.0	台			
	800MHz帯ﾜｲﾔﾚｽ受信機4波用	WX-UR504	1.0	台			
	800MHzﾜｲﾔﾚｽﾁｭｰﾅｰﾕﾆｯﾄ	WX-UD500	1.0	台			
	CDﾌﾟﾚｰﾔｰ	CD-200SB	1.0	台			
	800MHz帯壁付用ﾜｲﾔﾚｽｱﾝﾃﾅ	WX-4950A	2.0	台			
	800MHz帯壁付用ﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸﾛﾎﾝ	WX-4100B	2.0	本			
	800MHz帯ﾀｲﾋﾟﾝ型ﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸ	WX-4300B	1.0	個			
	ﾏｲｸﾛﾎﾝｽﾀﾝﾄﾞ(卓上型)	WN-DS120	1.0	台			
	ﾏｲｸﾛﾎﾝｽﾀﾝﾄﾞ(ﾌﾛｱ型)	WN-FS140	1.0	台			
	30cm2ｳｪｲｽﾋﾟｰｶｰ(ﾌﾞﾗｯｸ)	WS-AR200-K	2.0	台			
	ｽﾋﾟｰｶｰ天井取付金具	WS-Q148-K	2.0	個			
	木製EIAﾗｯｸ	EIA-K20B	1.0	台			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	同軸ｹｰﾌﾞﾙ、ﾓｰﾙ、OAﾀｯﾌﾟ、雑材料費		1.0	式			
	配線工事費		1.0	式			
	機器設置工事費		1.0	式			
	試験調整費		1.0	式			
	10） 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
11）	ﾃﾞｼﾞﾀﾙｻｲﾈｰｼﾞ設置工事	※新設対応					
	ﾜｲﾄﾞ液晶ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ54.6型/3840×21604K対応	LCD-M4K552XDB2	3.0	台			
	ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｽﾀﾝﾄﾞ		3.0	台			
	ｽﾀﾝﾄﾞｱﾛﾝ型ﾗｲﾌﾞｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞBOX「LIVE ARISER」	GV-LSBOX	1.0	台			
	Android　OS搭載STB	DS-ASTBIA	3.0	台			
	ﾓｰﾙ・雑材料費	HDMIｹｰﾌﾞﾙ、OAﾀｯﾌﾟ等含む	1.0	式			
	機器設置工事費		1.0	式			
	試験調整費		1.0	式			
	11）計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
12)	発生材処理						
	(1)積込み費 電灯設備工事費分	撤去のｹｰﾌﾞﾙ類	1.0	式			
	電灯設備工事費分	撤去の機器類	1.0	式			
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ設備工事費分	撤去のｹｰﾌﾞﾙ類	1.0	式			
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ設備工事費分	撤去の機器類	1.0	式			
	ｺﾝｾﾝﾄ設備工事費分	撤去のｹｰﾌﾞﾙ類	1.0	式			
	ｺﾝｾﾝﾄ設備工事費分	撤去の機器類	1.0	式			
	自動火災報知設備工事費分	撤去の機器類	1.0	式			
	小計						
	(2)収集運搬費 2tﾀﾞﾝﾌﾟ車		1.0	式			
	4tｺﾝﾃﾅ車		1.0	式			
	小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	⑶処分費 空調動力設備工事費分	機器類	1.0	式			
	電灯設備工事費分	撤去のｹｰﾌﾞﾙ類	1.0	式			
	電灯設備工事費分	撤去の機器類	1.0	式			
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ設備工事費分	撤去のｹｰﾌﾞﾙ類	1.0	式			
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ設備工事費分	撤去の機器類	1.0	式			
	ｺﾝｾﾝﾄ設備工事費分	撤去のｹｰﾌﾞﾙ類	1.0	式			
	ｺﾝｾﾝﾄ設備工事費分	撤去の機器類	1.0	式			
	自動火災報知設備工事費分	撤去の機器類	1.0	式			
	小計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	⑷蛍光管・水銀ﾗﾝﾌﾟの処分費・運搬費 蛍光管の処分費		1.0	式			
	水銀ﾗﾝﾌﾟの処分費		1.0	式			
	同上　運搬費		1.0	式			
	小計						
	12）計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
G	仮設電気設備工事						
1)	電力設備仮設工事	※美術館仮設事務所への対応	1.0	式			
		仮設分電盤					
		電線・ｹｰﾌﾞﾙ(EM-CET38°)					
		電線・ｹｰﾌﾞﾙ(EM-IE8°)					
		仮設事務所電源配線接続					
2)	TEL・LAN仮設工事		1.0	式			
		配線ｹｰﾌﾞﾙ材等					
		仮設事務所の開設・復旧、事務所内各機器配線接続工事					

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
3)	自動火災報知設備仮設工事		1.0	式			
		受信機P型2級3回線					
		配線ｹｰﾌﾞﾙ材等					
		結線処理費					
		機器取付・試験調整費					
		消防計画書の作成費					
		消防手続立会い検査費					
	G － 合 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　　考
H	空気調和設備改修工事						
1）	空気調和設備工事		1.0	式			
2）	換気設備工事		1.0	式			
3）	排煙設備工事		1.0	式			
4）	自動制御設備工事		1.0	式			
5）	撤去工事		1.0	式			
	H － 合 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
1）	空気調和設備工事						
a	機器設備工事		1.0	式			
b	ダクト設備工事		1.0	式			
c	配管設備工事		1.0	式			
d	総合調整		1.0	式			
	1）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
a	機器設備工事						
	AC-1 更新用空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(屋外機)	冷暖切替　高暖房形 冷房能力:40.0kw	1.0	台			
		暖房能力:45.0kw 防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ 共					
	AC1-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井ｶｾｯﾄ型/2方向 冷房能力:5.6kw	6.0	台			
		暖房能力:6.3kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ 共					
	AC1-2 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井ｶｾｯﾄ型/2方向 冷房能力:7.1kw	2.0	台			
		暖房能力:8.0kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ 共					
	AC-2 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(屋外機)	冷暖切替　高暖房形 冷房能力:33.5kw	1.0	台			
		暖房能力:37.5kw 防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ 共					
	AC2-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井ｶｾｯﾄ型/2方向 冷房能力:7.1kw	2.0	台			
		暖房能力:8.0kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、分岐管 共					
	AC2-2 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井ｶｾｯﾄ型/2方向 冷房能力:9.0kw	2.0	台			
		暖房能力:10.0kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、分岐管 共					
	AC-3 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(屋外機)	冷暖切替　高暖房形 冷房能力:33.5kw	1.0	台			
		暖房能力:37.5kw 防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ 共					

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	AC3-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井ｶｾｯﾄ型/2方向 冷房能力:9.0kw	2.0	台			
		暖房能力:10.0kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、分岐管 共					
	AC3-2 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井ｶｾｯﾄ型/2方向 冷房能力:7.1kw	2.0	台			
		暖房能力:8.0kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、分岐管 共					
	AC-4 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(屋外機)	冷暖切替　高暖房形 冷房能力:11.2kw	1.0	台			
		暖房能力:12.5kw 防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ 共					
	AC4-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井ｶｾｯﾄ型/2方向 冷房能力:5.6kw	2.0	台			
		暖房能力:6.3kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、分岐管 共					
	AC-5 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(屋外機)	冷暖切替　高暖房形 冷房能力:56.0kw	1.0	台			
		暖房能力:63.0kw 防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ、連結管 共					
	AC5-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井埋込ﾀﾞｸﾄ型 冷房能力:5.6kw	10.0	台			
		暖房能力:6.3kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ、ﾌｨﾙﾀﾎﾞｯｸｽ、分岐管 共					
	AC-6 空冷H.P設備用精密空調機	冷暖切替　恒温恒湿タイプ 冷房能力:56.0kw	1.0	組			
	室内外機蒸気加湿器ユニット一体	暖房能力:63.0kw					
	AC-7 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(屋外機)	冷暖切替　高暖房形 冷房能力67.0kw	1.0	台			
		暖房能力:77.5kw 防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ、連結管 共					

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	AC7-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井埋込ﾀﾞｸﾄ型 冷房能力:7.1kw	10.0	台			
		暖房能力:8.0kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ、ﾌｨﾙﾀﾎﾞｯｸｽ、分岐管 共					
	PAC-1 設備用ｴｱｺﾝ	床置ﾀﾞｸﾄ接続型 冷房能力:40kw/暖房能力:45kw	1.0	組			
	室内外機	防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ、連結管 共 木台、ﾌｧﾝﾌﾟｰﾘup、背面吸込ﾕﾆｯﾄ 共					
	PAC-2 設備用ｴｱｺﾝ	床置ﾀﾞｸﾄ接続型　冷房能力:53kw ﾀﾞｸﾄ接続ﾋｰﾀｰ60kw 電極式蒸気加湿器15kg/h×2台	1.0	組			
	室内外機	防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ、連結管 共 木台、ﾌｧﾝﾌﾟｰﾘup、背面吸込ﾕﾆｯﾄ 共					
	OAC-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(屋外機)	冷暖切替　高暖房形 冷房能力:28.0kw	1.0	台			
		暖房能力:31.5kw 防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ 共					
	OAC1-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井埋込ﾀﾞｸﾄ接続型 冷房能力:28.0kw	1.0	台			
	外気処理空調機	暖房能力:31.5kw ﾀﾞｸﾄ接続型ﾋｰﾀｰ10kw、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、分岐管 共					
	OAC-2 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(屋外機)	冷暖切替　高暖房形　電気ﾋｰﾀｰ10kw組込 冷房能力:28.0kw	2.0	台			
		暖房能力:23.3kw 防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ 共					
	OAC2-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井埋込ﾀﾞｸﾄ接続型　電気ﾋｰﾀｰ5kw組込 冷房能力:14.0kw	4.0	台			
	外気処理空調機	暖房能力:121.5kw ﾀﾞｸﾄ接続型ﾋｰﾀｰ5kw、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、分岐管 共					
		ﾌｨﾙﾀｰﾎﾞｯｸｽ、予備ﾌｨﾙﾀｰ 共					

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	輻射式遠赤外線ﾋｰﾀｰ	天井埋込型 0.75kw	1.0	台			
	輻射式遠赤外線ﾋｰﾀｰ	天井埋込型 0.375kw	2.0	台			
	加圧シスターン	給水量　23ℓ/min 揚程5m	1.0	台			
	文字標識等	空調 建物延べ面積3000㎡	1.0	式			
	搬入据付費		1.0	式			別紙1)-①
	耐震支持費	3%	1.0	式			
	溶融亜鉛ﾒｯｷ　H鋼125×125		1.0	式			
	a 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
b	ダクト設備工事						
	共板ﾌﾗﾝｼﾞ工法ﾀﾞｸﾄ	ｲﾝｻｰﾄ無 0.5mm(～450mm)	29.0	m2			
	共板ﾌﾗﾝｼﾞ工法ﾀﾞｸﾄ	ｲﾝｻｰﾄ無 0.6mm(451～750mm)	53.0	m2			
	共板ﾌﾗﾝｼﾞ工法ﾀﾞｸﾄ	ｲﾝｻｰﾄ無 0.8mm(1201～1500mm)	68.0	m2			
	ﾁｬﾝﾊﾞｰ(低圧用)	ｲﾝｻｰﾄ無 0.6mm(451～750mm)	55.0	m2			
	ﾁｬﾝﾊﾞｰ(低圧用)	ｲﾝｻｰﾄ無 1.0mm(1501～2200mm)	71.0	m2			
	共板ﾌﾗﾝｼﾞ工法ﾀﾞｸﾄ	ｲﾝｻｰﾄ無 0.5mm(～450mm)	3.0	m2			
	共板ﾌﾗﾝｼﾞ工法ﾀﾞｸﾄ	ｲﾝｻｰﾄ無 0.6mm(451～750mm)	28.0	m2			
	共板ﾌﾗﾝｼﾞ工法ﾀﾞｸﾄ	ｲﾝｻｰﾄ無 0.8mm(751～1200mm)	31.0	m2			
	ﾁｬﾝﾊﾞｰ(低圧用)	ｲﾝｻｰﾄ無 0.6mm(451～750mm)	2.3	m2			
	ﾁｬﾝﾊﾞｰ(低圧用)	ｲﾝｻｰﾄ無 1.0mm(1501～2200mm)	21.6	m2			
	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾀﾞｸﾄ	保温 有 250㎜	29.0	本			
	共板ﾌﾗﾝｼﾞ工法ﾀﾞｸﾄ	ｲﾝｻｰﾄ無 0.5mm(～450mm)	49.0	m2			
	共板ﾌﾗﾝｼﾞ工法ﾀﾞｸﾄ	ｲﾝｻｰﾄ無 0.6mm(451～750mm)	3.0	m2			
	ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ(低圧ﾀﾞｸﾄ)	ｲﾝｻｰﾄ無 300㎜	7.0	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾀﾞｸﾄ	保温 有 250㎜	32.0	本			
	ﾁｬﾝﾊﾞｰ (低圧用)	ｲﾝｻｰﾄ無 0.6mm(451～750mm)	15.5	m2			
	ﾁｬﾝﾊﾞｰ (低圧用)	ｲﾝｻｰﾄ無 0.8mm(751～1500mm)	9.8	m2			
	ﾁｬﾝﾊﾞｰ (低圧用)	ｲﾝｻｰﾄ無 1.0mm(1501～2200mm)	16.4	m2			
	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾀﾞｸﾄ	保温 有 200㎜	12.0	本			
	ﾀﾞｸﾄ用たわみ継手		43.0	m			
	風量調節ﾀﾞﾝﾊﾟｰ	500　350	8.0	個			
	風量調節ﾀﾞﾝﾊﾟｰ	800　400	1.0	個			
	保温		1.0	式			別紙1)-②
	制気口類		1.0	式			別紙1)-③
	耐震支持費	3%	1.0	式			
	穿孔　鉄筋探査	梁　超音波検査 随時、 床　ﾚﾝﾄｹﾞﾝ撮影1回	1.0	式			
	あと施工アンカー工事 金属拡張アンカー(めねじ)	本体打込式　ｽﾁｰﾙ製　M10　上向打(天井)	600.0	本			
	ダクト設備　総合調整	長方形ﾀﾞｸﾄ調整 接続状態確認・風量調整等	350.0	m2			
	ダクト設備　総合調整	ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ調整 接続状態確認・風量調整等	48.0	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	b ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
c	配管設備工事						
	冷媒用断熱材被覆銅管	9.52外径(3/8B) 屋内一般	66.0	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	12.7 外径(1/2B) 屋内一般	205.0	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	15.88外径(5/8B) 屋内一般	49.0	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	19.05外径(3/4B) 屋内一般	174.0	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	12.7 外径(1/2B)ｶﾞｽ管 厚20mm以上	33.0	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	15.88外径(5/8B)ｶﾞｽ管 厚20mm以上	155.0	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	19.05外径(3/4B)ｶﾞｽ管 厚20mm以上	20.0	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	22.22外径(7/8B)ｶﾞｽ管 厚20mm以上	34.0	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	25.4 外径(1　B)ｶﾞｽ管 厚20mm以上	173.0	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	28.58外径(1 1/8B)ｶﾞｽ管 厚20mm以上	9.0	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	31.75外径(1 1/4B)ｶﾞｽ管 厚20mm以上	60.0	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	6.35外径(1/4B) 屋内一般	61.0	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	12.7 外径(1/2B)ｶﾞｽ管 厚20mm以上	61.0	m			
	CVV-Sｹｰﾌﾞﾙ	2mm2- 2C ﾋﾟｯﾄ・天井	520.0	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	冷媒用断熱材被覆銅管用保温外装	6.35~38.10mm程度 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板	72.0	m			
	耐震支持費	3%	1.0	式			
	ｽﾘｰﾌﾞ費	6%　穿孔　鉄筋探査含む	1.0	式			
	配管系統 総合調整	接続状態確認・流量調整等	520.0	m			
	配管架台	15%	1.0	式			
	あと施工アンカー工事 金属拡張アンカー（めねじ）	本体打込式　スチール製　M10　上向打（天井）	500.0	本			
	c 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
d	総合調整						
	総合調整	主機械室内機器　試運転・調整等 ﾎﾞｲﾗｰ、冷凍機等の点検、調整、計器測定記録、その他	1.0	式			
		建物延面積5000㎡以下					
	d ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
別紙1)-①	搬入据付費						
	AC-1 更新用空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(屋外機)	冷暖切替　高暖房形 冷房能力:40.0kw	1.0	台			
		暖房能力:45.0kw 防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ 共					
	AC1-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井ｶｾｯﾄ型/2方向 冷房能力:5.6kw	6.0	台			
		暖房能力:6.3kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ 共					
	AC1-2 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井ｶｾｯﾄ型/2方向 冷房能力:7.1kw	2.0	台			
		暖房能力:8.0kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ 共					
	AC-2 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(屋外機)	冷暖切替　高暖房形 冷房能力:33.5kw	1.0	台			
		暖房能力:37.5kw 防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ 共					
	AC2-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井ｶｾｯﾄ型/2方向 冷房能力:7.1kw	2.0	台			
		暖房能力:8.0kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、分岐管 共					
	AC2-2 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井ｶｾｯﾄ型/2方向 冷房能力:9.0kw	2.0	台			
		暖房能力:10.0kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、分岐管 共					
	AC-3 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(屋外機)	冷暖切替　高暖房形 冷房能力:33.5kw	1.0	台			
		暖房能力:37.5kw 防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ 共					

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	AC3-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井ｶｾｯﾄ型/2方向 冷房能力:9.0kw	2.0	台			
		暖房能力:10.0kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、分岐管 共					
	AC3-2 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井ｶｾｯﾄ型/2方向 冷房能力:7.1kw	2.0	台			
		暖房能力:8.0kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、分岐管 共					
	AC-4 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(屋外機)	冷暖切替　高暖房形 冷房能力:11.2kw	1.0	台			
		暖房能力:12.5kw 防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ 共					
	AC4-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井ｶｾｯﾄ型/2方向 冷房能力:5.6kw	2.0	台			
		暖房能力:6.3kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、分岐管 共					
	AC-5 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(屋外機)	冷暖切替　高暖房形 冷房能力:56.0kw	1.0	台			
		暖房能力:63.0kw 防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ、連結管 共					
	AC5-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井埋込ﾀﾞｸﾄ型 冷房能力:5.6kw	10.0	台			
		暖房能力:6.3kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ、ﾌｨﾙﾀﾎﾞｯｸｽ、分岐管 共					
	AC-6 空冷H.P設備用精密空調機	冷暖切替　恒温恒湿タイプ 冷房能力:56.0kw	1.0	組			
	室内外機蒸気加湿器ユニット一体	暖房能力:63.0kw					
	AC-7 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(屋外機)	冷暖切替　高暖房形 冷房能力67.0kw	1.0	台			
		暖房能力:77.5kw 防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ、連結管 共					

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	AC7-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井埋込ﾀﾞｸﾄ型 冷房能力:7.1kw	10.0	台			
		暖房能力:8.0kw ｴｺﾊﾟﾈﾙ、ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ、ﾌｨﾙﾀﾎﾞｯｸｽ、分岐管 共					
	PAC-1 設備用ｴｱｺﾝ	床置ﾀﾞｸﾄ接続型 冷房能力:40kw/暖房能力:45kw	1.0	組			
	室内外機	防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ、連結管 共 木台、ﾌｧﾝﾌﾟｰﾘup、背面吸込ﾕﾆｯﾄ 共					
	PAC-2 設備用ｴｱｺﾝ	床置ﾀﾞｸﾄ接続型　冷房能力:53kw ﾀﾞｸﾄ接続ﾋｰﾀｰ60kw 電極式蒸気加湿器15kg/h×2台	1.0	組			
	室内外機	防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ、連結管 共 木台、ﾌｧﾝﾌﾟｰﾘup、背面吸込ﾕﾆｯﾄ 共					
	OAC-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(屋外機)	冷暖切替　高暖房形 冷房能力:28.0kw	1.0	台			
		暖房能力:31.5kw 防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ 共					
	OAC1-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井埋込ﾀﾞｸﾄ接続型 冷房能力:28.0kw	1.0	台			
	外気処理空調機	暖房能力:31.5kw ﾀﾞｸﾄ接続型ﾋｰﾀｰ10kw、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、分岐管 共					
	OAC-2 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(屋外機)	冷暖切替　高暖房形　電気ﾋｰﾀｰ10kw組込 冷房能力:28.0kw	2.0	台			
		暖房能力:23.3kw 防雪ﾌｰﾄﾞ、防振架台、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ 共					
	OAC2-1 空冷H.Pﾋﾞﾙﾏﾙﾁ(室内機)	天井埋込ﾀﾞｸﾄ接続型　電気ﾋｰﾀｰ5kw組込 冷房能力:14.0kw	4.0	台			
	外気処理空調機	暖房能力:121.5kw ﾀﾞｸﾄ接続型ﾋｰﾀｰ5kw、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、分岐管 共					
		ﾌｨﾙﾀｰﾎﾞｯｸｽ、予備ﾌｨﾙﾀｰ 共					

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	輻射式遠赤外線ﾋｰﾀｰ	天井埋込型 0.75kw	1.0	台			
	輻射式遠赤外線ﾋｰﾀｰ	天井埋込型 0.375kw	2.0	台			
	加圧シスターン	給水量　23ℓ/min 揚程5m	1.0	台			
	揚重作業費	25T	1.0	式			
	あと施工アンカー工事 金属拡張アンカー（めねじ）	本体打込式　スチール製　M10　上向打（天井）	46.0	本			
	あと施工アンカー工事 接着系アンカー	M12 下向き	74.0	本			
	1)-① ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
別紙1)-②	保温						
	長方形ﾀﾞｸﾄ保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　機械室,書庫,倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　保温厚25	42.0	m2			
	長方形ﾀﾞｸﾄ保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　屋内隠ぺい,ﾀﾞｸﾄｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　保温厚25	413.0	m2			
	1)-② ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
別紙1)-③	制気口類						
	ﾉｽﾞﾙ形吹出口	300φ	3.0	個			
	ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ形吹出口	HS　900　400　ﾌｨﾙﾀｰ付	1.0	個			
	ｽﾘｯﾄ形吸込口	GVS　200　200	3.0	個			
	ｽﾘｯﾄ形吸込口	GVS　150　150	1.0	個			
	線状吹出口	BL-T 1500㎜	4.0	個			
	線状吹出口	BL-T 2000㎜	20.0	個			
	線状吹出口	BL-K 2000㎜	20.0	個			
	床吹出口	200φ	19.0	個			
	1)-③ ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
2)	換気設備工事						
a	機器設備工事		1.0	式			
b	ダクト設備工事		1.0	式			
c	総合調整		1.0	式			
	2）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　　考
a	機器設備工事						
	ダクト用換気扇	居間事務所店舗用 風量:380CMH　100Pa	14.0	組			
	ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ		14.0	組			
	天井吊金具		14.0	組			
	据付費	換気扇　200φ以下	14.0	組			
	ストレートシロッコファン	消音型 風量:1000CMH　200Pa	1.0	台			
	防振吊金具		4.0	本			
	据付費	消音ﾎﾞｯｸｽ付送風機 小型送風機、 ﾐﾆｼﾛｯｺﾌｧﾝを含む(天井吊り)	1.0	台			
	あと施工アンカー工事 金属拡張アンカー(めねじ)	本体打込式　スチール製　M10　上向打(天井)	60.0	本			
	a ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
b	ダクト設備工事						
	ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ (低圧ﾀﾞｸﾄ)	ｲﾝｻｰﾄ無 150㎜	15.0	m			
	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾀﾞｸﾄ	保温 無 150㎜	18.0	本			
	あと施工ｱﾝｶｰ工事　金属拡張ｱﾝｶｰ(めねじ)	本体打込式　スチール製　M10　上向打(天井)	15.0	本			
	b 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
c	総合調整						
	総合調整	換気系統　接続状態確認・風量調整等	140.0	m			
	c 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
3)	排煙設備工事						
a	ダクト設備工事		1.0	式			
b	総合調整		1.0	式			
	3）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
a	ダクト設備工事						
	ｱﾝｸﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ 工法ﾀﾞｸﾄ(排煙ﾀﾞｸﾄ)	ｲﾝｻｰﾄ無 1.0mm(451～750mm)	142.0	m2			
	排煙口 取付費	1m未満	6.0	個			
	あと施工アンカー工事 金属拡張アンカー（めねじ）	本体打込式　スチール製　M10　上向打（天井）	100.0	本			
	a 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
b	総合調整						
	総合調整	長方形ダクト調整 排煙設備　接続状態確認・風量調整等	142.0	m2			
	b 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
4）	自動制御設備工事						
a	自動制御設備		1.0	式			
b	盤関係		1.0	式			
c	調整費		1.0	式			
d	計装工事		1.0	式			
e	諸経費		1.0	式			
	4）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
a	自動制御設備						
	ﾃﾞｼﾞﾀﾙ指示調節計	[ｱｽﾞﾋﾞﾙ株式会社]R36(同等品)	5.0	台			
	ﾀﾞｸﾄ用温度ｾﾝｻ	[ｱｽﾞﾋﾞﾙ株式会社]TY7803Z(同等品)	5.0	台			
	温度調節器	[ｱｽﾞﾋﾞﾙ株式会社]TY6801Z(同等品)	5.0	台			
	ﾀﾞﾝﾊﾟ操作器	[ｱｽﾞﾋﾞﾙ株式会社]MY9050A(同等品)	9.0	台			
	設定器	[ｱｽﾞﾋﾞﾙ株式会社]Q406B(同等品)	9.0	台			
	ｱｲｿﾚｰﾀ	[ｱｽﾞﾋﾞﾙ株式会社]RYY792S(同等品)	5.0	台			
	ﾄﾗﾝｽ	[ｱｽﾞﾋﾞﾙ株式会社]AT72-J1(同等品)	9.0	台			
	補助ﾘﾚｰ		5.0	台			
	a 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
b	盤関係						
	空調制御盤		1.0	面			
	MD開度制御盤		1.0	面			
	b 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
c	調整費						
	調整費		1.0	式			
	c 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
d	計装工事						
	電　線	EM-IE 8Φ	372.0	m			
	ケーブル	EM-CEE 1.25Φx2C	1,069.0	m			
	ケーブル	EM-CEE 1.25Φx3C	356.0	m			
	ケーブル	EM-CEE 1.25Φx4C	387.0	m			
	ケーブル	EM-CEES 1.25Φx4C	17.0	m			
	ケーブル	600V_EM-CE 2Φx4C	17.0	m			
	ケーブル	EM-MEES 1.25Φx2C	404.0	m			
	ケーブル	EM-AE 0.9mmx2C	446.0	m			
	ケーブル	600V_EM-CET 14Φ	356.0	m			
	電線管	E19mm	4.0	本			
	電線管	E31mm	2.0	本			
	合成樹脂可とう電線管	PF16mm	72.0	m			
	電線管付属品		1.0	式			
	樹脂管付属品		1.0	式			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	アウトレットボックス	102ロx44	26.0	個			
	吊材料費及び支持具		1.0	式			
	雑材料・消耗品		1.0	式			
	試運転立会費		1.0	式			
	機器取付費		1.0	式			
	盤搬入費		1.0	式			
	盤据付費		1.0	式			
	結線費		1.0	式			
	労務費		1.0	式			
	雑工費		1.0	式			
	交通運搬費		1.0	式			
	d ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
e	諸経費						
	諸経費		1.0	式			
	e 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
5）	撤去工事						
a	機器設備		1.0	式			
b	ダクト設備		1.0	式			
	5）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
a	機器設備						
	換気扇 天井埋込形空調換気扇　撤去	再使用しない	14.0	台			
	空気熱源ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟﾊﾟｯｹｰｼﾞ形空気調和機(圧縮機屋内形) （直吹き・ダクト接続）	室内機 床置き　防振基礎無し	1.0	台			
		50.0kW 以下					
	空気熱源ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟﾊﾟｯｹｰｼﾞ形空気調和機(圧縮機屋内形) （直吹き・ダクト接続）	屋外機 床置き　防振基礎無し	1.0	台			
		50.0kW 以下					
	空気熱源ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟﾊﾟｯｹｰｼﾞ形空気調和機(圧縮機屋内形) （直吹き・ダクト接続）	室内機 床置き　防振基礎無し	1.0	台			
		71.0kW 以下					
	空気熱源ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟﾊﾟｯｹｰｼﾞ形空気調和機(圧縮機屋内形) （直吹き・ダクト接続）	屋外機 床置き　防振基礎無し	1.0	台			
		71.0kW 以下					
	搬出基準単価		8.0	t			
	既存冷媒回収処分		1.0	式			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	a 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
b	ダクト設備						
	ﾀﾞｸﾄ附属品撤去	再使用する 吹出口ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ形(VHS,VS,VH,V)0.04㎡以下	4.0	個			
	ﾀﾞｸﾄ附属品撤去	再使用する 吹出口ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ形(VHS,VS,VH,V)0.10㎡以下	2.0	個			
	ﾀﾞｸﾄ附属品撤去	再使用する 吹出口ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ形(VHS,VS,VH,V)0.20㎡以下	19.0	個			
	ﾀﾞｸﾄ附属品撤去	再使用する 吹出口ｼｰﾘﾝｸﾞﾃﾞｨﾌｭｰｻﾞ(C2,CA,E2、EA)直径250~350mm	18.0	個			
	ﾀﾞｸﾄ附属品撤去	再使用する 排煙口(手動操作装置を含む)長辺1.0m未満	5.0	組			
	ﾀﾞｸﾄ附属品撤去	再使用する 排煙口(手動操作装置を含む)長辺0.5m未満	1.0	組			
	長方形ﾀﾞｸﾄ撤去	亜鉛鉄板 0.6㎜ 再使用しない	35.0	m2			
	長方形ﾀﾞｸﾄ撤去	亜鉛鉄板 1.0㎜ 再使用する	140.0	m2			
	積込み費		17.0	m2			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	2t・3tダンプ車	片道距離概ね25km	3.0	回			
	4tコンテナ車	片道距離概ね25km	2.0	回			
	10t平ダンプ車	片道距離概ね25km	2.0	回			
	運搬費計						
	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず		5.0	m2			
	廃プラスチック類		2.0	m2			
	金属くず		5.0	m2			
	混合廃棄物		5.0	m2			
	処分費計						
	b 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
Ⅰ	給排水衛生設備改修工事						
1）	給排水衛生設備工事		1.0	式			
2）	厨房器具設備工事		1.0	式			
3）	ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ設備工事		1.0	式			
4）	消火設備工事		1.0	式			
5）	撤去工事		1.0	式			
	Ⅰ － 合 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
1）	給排水衛生設備工事						
a	衛生器具設備工事		1.0	式			
b	給水設備工事		1.0	式			
c	給湯設備工事		1.0	式			
d	排水通気設備工事		1.0	式			
e	総合調整		1.0	式			
	1）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
a	衛生器具設備工事						
	洋風便器　ロータンク方式　他付属品 温水洗浄便座 棚付二連紙巻器　多用途用手摺りL型	参考　CS232B　SH232B　TCF5534AU　YH702 T112CL9+T110D3R	3.0	組			
	洋風便器　ロータンク方式　他付属品 温水洗浄便座 棚付二連紙巻器	参考　CS232B　SH232B　TCF5554AU　YH702 EWC285CS	1.0	組			
	L型手摺り	参考　T112CL12 他付属品	1.0	個			
	はね上げ手摺り	参考　T112HK8R　他付属品	1.0	個			
	自動洗浄弁方式　小便器 壁掛低リップ	参考 UFS900R	1.0	組			
	洗面化粧台　カウンター一体型洗面器 グースネック単水栓 大形一面鏡　キャビネット　他付属品	参考　MSHGL0750DCNM11 LHATL032ERZ　MSA1A0750AE1085 LBHA075BCGG2W	2.0	組			
	洗面器　壁掛ハイバック洗面器 電気温水器付き自動水栓セット、化粧鏡共	参考　LSG125NAR	1.0	組			
	ベビーチェア	YKA15S	1.0	組			
	ベビーシート	YKA25S	1.0	組			
	オストメイトパック	UAS81LDB1	1.0	組			
	掃除用流し		1.0	組			
	自動水栓一体型温水器		5.0	組			
	和洋リモデル洋便器	参考　CS232BM　SH232B　TCF5534AU　YH702	1.0	ヶ所			
	ミニキッチン	機器支給　据付のみ	1.0	台			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	a 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
b	給水設備工事						
	給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 (SGP-VB)	ねじ接合　屋外架空・暗渠 20A	4.0	m			
	給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 (SGP-VB)	ねじ接合　屋外架空・暗渠 25A	4.0	m			
	給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 (SGP-VB)	ねじ接合　地中配管 25A	2.0	m			
	給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 (SGP-VB)	ねじ接合　地中配管 20A	2.0	m			
	仕切弁 (管端防食ｺｱ)	10K(ねじ･給水用) 20A	3.0	個			
	仕切弁 (管端防食ｺｱ)	10K(ねじ･給水用) 25A	1.0	個			
	給水･排水･給湯･温水管(ｸﾞﾗｽｳｰﾙ) (膨張管を含む)	暗渠内等 20A 着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ	4.0	m			
	給水･排水･給湯･温水管(ｸﾞﾗｽｳｰﾙ) (膨張管を含む)	暗渠内等 25A 着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ	4.0	m			
	あと施工ｱﾝｶｰ工事　金属拡張ｱﾝｶｰ(めねじ)	本体打込式　ｽﾁｰﾙ製　M10　上向打(天井)	10.0	本			
	ｽﾘｰﾌﾞ費	10%	1.0	式			
	穿孔　鉄筋探査	梁　超音波検査 随時、 床　ﾚﾝﾄｹﾞﾝ撮影1回	1.0	式			
	b 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
c	給湯設備工事						
	壁掛瞬間湯沸器	給湯専用壁掛形 壁掛瞬間湯沸 （据付費のみ）	1.0	台			
	硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	SGP-HVA 20A ねじ接合　給湯 屋外架空・暗渠	2.0	m			
	仕切弁 給水・給湯用管端防食弁(ｺｱ付)	10K 20A ねじ込み JV 5-1・5-2	1.0	個			
	SUS加工ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ管		10.0	m			
	c 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
d	排水通気設備工事						
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP 40A　排水 屋外架空･暗渠	2.0	m			
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP 40A　排水 地中配管	2.0	m			
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP 50A　排水 屋外架空･暗渠	7.0	m			
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP 50A　排水 地中配管	2.0	m			
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP 65A　排水 屋外架空･暗渠	10.0	m			
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP 75A　排水 屋外架空･暗渠	20.0	m			
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP 75A　排水 地中配管	7.0	m			
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP 100A　排水 屋外架空･暗渠	5.0	m			
	床上掃除口金具 非防水型	COA 80A 非防水型	2.0	個			
	床上掃除口金具 非防水型	COA 100A 非防水型	2.0	個			
	床下掃除口金物	CO 100A	1.0	個			
	ｽﾘｰﾌﾞ費	10%	1.0	式			
	穿孔	鉄筋探査は給水に含む	1.0	式			
	あと施工ｱﾝｶｰ工事　金属拡張ｱﾝｶｰ（めねじ）	本体打込式　スチール製　M10　上向打（天井）	30.0	本			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	d ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
e	総合調整						
	総合調整	配管系統　接続状態確認・流量調整等 配管延長(m)×複合単価で一式とする	75.0	m			
	e 一 計						

No	名　称	規格･摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
2）	厨房器具設備工事						
a	器具設備工事		1.0	式			
b	運搬費		1.0	式			
c	諸雑費		1.0	式			
	2）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
a	器具設備工事						
	作業台	300×600×800	1.0	台			
	一層シンク	600×600×800	1.0	台			
	作業台	1200×600×800	1.0	台			
	蛇腹ホース	40A	1.0	台			
	冷凍冷蔵庫	（据付費のみ） 900×650×1950	1.0	台			
	ガステーブル	（据付費のみ） 900×600×850	1.0	台			
	引出付調理台	（据付費のみ） 1500×600×850	1.0	台			
	オーブンレンジ	（据付費のみ） 490×430×420	1.0	台			
	二層シンク	（据付費のみ） 1000×600× ×850	1.0	台			
	冷蔵ショーケース	（据付費のみ） 900×600×850	1.0	台			
	作業台	（据付費のみ） 650×600×850	1.0	台			
	製氷機	（据付費のみ）	1.0	台			
	オーブントースター	（据付費のみ）	1.0	台			
	スムージーブレンダー	（据付費のみ）	1.0	台			

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	ｺｰﾋｰﾒｰｶｰ	(据付費のみ)	1.0	台			
	a 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
b	運搬費						
	運搬費		1.0	式			
	b 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
c	諸雑費						
	諸雑費		1.0	式			
	c 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
3)	ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ設備工事						
	配管用炭素鋼鋼管	白 SGP 20A ねじ接合 消火	1.0	m			
	ｶﾞｽ配管設備 ねじｶﾞｽ栓	15mm	1.0	個			
	液化石油ｶﾞｽ 充てん容器集合装置		1.0	組			
	3) ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
4）	消火設備工事						
a	機器設備工事		1.0	式			
b	配管設備工事		1.0	式			
	4）ー 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
a	機器設備工事						
	屋内消火栓箱 総合型(一) 1号消火栓	HB-1AS 消火器ｽﾍﾟｰｽ付 国土交通省型　移設品再取付	1.0	組			
	a 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計 数量	単位	単価	原設計金額	備　考
b	配管設備工事						
	配管用炭素鋼鋼管	白 SGP 40A ねじ接合 消火	4.0	m			
	配管用炭素鋼鋼管	白 SGP 50A ねじ接合 消火	10.0	m			
	配管用炭素鋼鋼管	白 SGP 65A ねじ接合 消火	20.0	m			
	あと施工アンカー工事 金属拡張アンカー（めねじ）	本体打込式　スチール製　M10　上向打（天井）	70.0	本			
	b 一 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
5)	撤去工事						
	和風便器撤去	洗浄弁式 再使用しない	1.0	組			
	洋風便器撤去	ﾀﾝｸ方式　　再使用しない	2.0	組			
	小便器撤去	壁掛ｽﾄｰﾙ小便器 再使用しない	1.0	組			
	洗面器撤去	水栓1個、水栓2個 再使用しない	2.0	組			
	掃除流し撤去	ﾊﾞｯｸ付き掃除流し 再使用しない	1.0	組			
	屋内消火栓箱 総合型(一) 1号消火栓　撤去	HB-1AS 消火器ｽﾍﾟｰｽ付 国土交通省型　再使用する	1.0	組			
	配管保温撤去(ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ)　撤去 再使用しない	給水管、排水管　20A 暗渠内(ﾋﾟｯﾄ内を含む)着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ	3.0	m			
	配管保温撤去(ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ)　撤去 再使用しない	給水管、排水管　25A 暗渠内(ﾋﾟｯﾄ内を含む)着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ	3.0	m			
	水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 撤去	SGP-VB 20A ねじ接合　給水 屋内一般	2.0	m			
	水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 撤去	SGP-VB 20A ねじ接合　給水 屋外架空･暗渠	3.0	m			
	水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 撤去	SGP-VB 25A ねじ接合　給水 屋外架空･暗渠	3.0	m			
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 撤去	VP 40A　排水 屋外架空･暗渠	2.0	m			
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 撤去	VP 50A　排水 屋外架空･暗渠	2.0	m			
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 撤去	VP 65A　排水 屋外架空･暗渠	2.0	m			

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 撤去	VP 75A　排水 屋外架空･暗渠	2.0	m			
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 撤去	VP 100A　排水 屋外架空･暗渠	3.0	m			
	積込み費		1.0	式			
	建設副産物収集運搬費		1.0	式			
	建設副産物処理費		1.0	式			
	5）－ 計						

No	名　称	規格・摘要	原設計数量	単位	単価	原設計金額	備　考
J	仮設給排水設備工事						
	埋設仮設給水配管		1.0	式			
	仮設量水器20A		1.0	式			
	仕切弁　20A		3.0	箇所			
	保温工事　凍結防止ヒーター＋保温チューブ		4.0	箇所			
	仮設排水工事		1.0	式			
	土工事費		1.0	式			
	給排水申請費		1.0	式			
	撤去工事	土中配管　撤去埋戻し迄　芝復旧別途	1.0	式			
	J － 合 計						

現　場　説　明　書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

１．件名（工事名称）

令和６年度（債務負担行為）豊科近代美術館　大規模修繕工事事業　大規模改修工事

２．工事場所：　安曇野市　豊科近代美術館

３．工事概要：　豊科近代美術館の大規模改修工事

・屋根、外壁改修工事
・断熱化工事
・耐震改修工事
・老朽部改修工事
・照明ＬＥＤ化、空調（エアコン）設置工事　ほか
・美術館仮設事務所、仮設倉庫の建設・解体
・美術品、ピアノの移設・復旧（移設・復旧は専門業者で行うこと）

４．工　　期：　契約日　から　令和７年７月 10 日まで

５．一般事項について

⑴現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。」）によるものとし、現場説明会は実施しない。

⑵設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

⑶工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

⑷工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

６.工事請負契約書（案）に関する事項について

⑴　第 39 条（債務負担行為に係る契約の特則）関係

各会計年度における請負代金の支払限度額の割合は、次のとおりとする。

令和６年度　　40％
令和７年度　　60％

(2) 第 40 条（債務負担行為に係る契約の前金払の特則）関係

前金払の条件は、各会計年度の予算の範囲内で支払うものとし、次のとおりとする。

~~① 各会計年度前金払を行う。~~

~~② 初年度の前金払は行わない。~~

③ 初年度に第２年度分を含め前金払を行う。

７．本工事における特記事項

(1)工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所･面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(2)本工事は、「週休２日工事実施要領」発注者指定型週休２日工事の対象である。

なお、週休２日の取組実績に応じて、単価の補正を行い、設計変更を行うものとする。

（工事発注時は４週８休を想定した設計単価で積算している）

(3)交通誘導員等を配置し、近隣施設利用者及び周辺住民の安全に十分配慮すること。

(4)工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。

(5)各官公庁手続きについて、

事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

(6)工事工程については下記事項を基本とし、詳細は監督員と協議・調整を行うこと。

Ⅰ.美術館仮設事務所、仮設倉庫を令和６年８月末までに建設すること。

Ⅱ.梁補強工事は最優先で工事を行うこと。

Ⅲ.ＥＶ改修工事及び構造関係の工事は、梁補強工事完了後に安曇野市より県へ報告を行った後に着手すること。

Ⅳ.豊科近代美術館の改修工事完了後、安曇野市の部分使用検査を行う。検査合格後に、美術品・ピアノの復旧を行うこと。

Ⅴ.美術館仮設事務所、仮設倉庫の解体、原状回復までを工事期間内に行うこと。

(7)石綿含有建材については、事前に含有調査を実施している。含有建材については図

(8)感染症対策は十分に講じること。

(9)残土関係

・本工の施工において生じる発生土の処分については､下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。

・建設発生土

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

８．本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

・本工事に近接・競合する工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考
安曇野市	令和６年度 豊科武道館剣道場 解体工事	令和６年10月から 令和７年３月予定	豊科武道館剣道 場の解体工事	

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

~~・この工事は執務並行型の工事である。~~

９．安全対策関係

① 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第４条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

② 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときには設計変更の対象とする。

10．工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

11．その他

火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

１．保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明書に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

２．各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

⑴公共事業労務費調査等

⑵資材調査、建設副産物実態調査等

３．工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

４．被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

５．工事実績情報サービス（CORINS）の登録について

⑴ 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事実績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

⑵ 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

６．施工体制台帳に係る書類について

⑴ 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

⑵ 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

⑶ 次の業種についても請負契約に該当するため、⑴と同様とする。

・１日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約

・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合

・クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

７．主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）

② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間

③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

８．産業廃棄物等の取扱い

(1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。

(2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。

(3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、ﾏﾆﾌｪｽﾄA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

９．再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」(ラージリサイクル法)に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10．安全対策関係

(1)工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。

(2)安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。

(3)足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働

きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11．環境対策関係

(1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。

(2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。

(3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。

(4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12．過積載の禁止

(1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。

②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。

③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輌及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輌からの資機材等の引き渡しを受けないこと。

⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輌を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。

⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当っては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

(2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

~~13．セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~

~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~

~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壌環境基準を超えないことを確認する。~~

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

(1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

報告書の記載内容

① アスベスト材料の種別

② アスベスト形状、飛散可能性の有無

③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

(2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

(1)工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。

(2)工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。

(3)請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後１ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

(1)工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。

(2)工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。

(3)下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18．レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、Ｉ類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議する。

19．工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）

・工事打合わせ記録簿（当月分）

・工事写真(工事の進捗状況がわかるものを数枚)

20．施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲する。

21．設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22．完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用することができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。

② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

イ．完成写真を公表すること。

ロ．完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23．高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはＡ４版とする。

令和６年度(債務負担行為)豊科近代美術館
大規模修繕工事事業　大規模改修工事

2024.3.15

No	図面名	SCALE
A - 00	表紙	NON
01	図面目録(1)	NON
02	図面目録(2)	NON
03	工事区分表	NON
04	特記仕様書-改修(1)	NON
05	特記仕様書-改修(2)	NON
06	特記仕様書-改修(3)	NON
07	特記仕様書-改修(4)	NON
08	特記仕様書-解体	NON
09	配置図・案内図	1 / 1000 1 / 5000
10	外部仕上表	NON
11	内部仕上表(1)	NON
12	内部仕上表(2)	NON
13	内部仕上表(3)	NON
14	内部仕上表(4)	NON
15	改修 １階平面図	1 / 300
16	改修 ２階平面図	1 / 300
17	改修 屋根伏図	1 / 300
18	改修 立面図(1)	1 / 300
19	改修 立面図(2)	1 / 300
20	改修 断面図(1)	1 / 300
21	改修 断面図(2)	1 / 300
22	改修 断面図(3)	1 / 300
23	改修 断面詳細図(1)	1 / 60
24	改修 断面詳細図(2)	1 / 60
25	改修 １階平面詳細図(1)	1 / 100
26	改修 １階平面詳細図(2)	1 / 100
27	改修 １階平面詳細図(3)	1 / 100
28	改修 １階平面詳細図(4)	1 / 100
29	改修 ２階平面詳細図(1)	1 / 100
30	改修 ２階平面詳細図(2)	1 / 100
31	改修 ２階平面詳細図(3)	1 / 100
32	改修 １階天井伏図	1 / 300
33	改修 ２階天井伏図	1 / 300
34	改修 展開図(1)	1 / 100
35	改修 展開図(2)	1 / 100
36	改修 展開図(3)	1 / 100
37	改修 展開図(4)	1 / 100
38	改修 展開図(5)	1 / 100
39	改修 展開図(6)	1 / 100
40	改修 展開図(7)	1 / 100
41	改修 展開図(8)	1 / 100
42	改修 展開図(9)	1 / 100
43	改修 展開図(10)	1 / 100
44	改修 展開図(11)	1 / 100
45	改修 展開図(12)	1 / 100
46	改修 展開図(13)	1 / 100
47	改修 展開図(14)	1 / 100
48	改修 展開図(15)	1 / 100
49	建具キープラン １階平面図	1 / 300
50	建具キープラン ２階平面図	1 / 300
51	建具表(1)	1 / 100
52	建具表(2)	1 / 100
53	建具表(3)	1 / 100
54	建具表(4)	1 / 100
55	建具表(5)	1 / 100
56	建具詳細図(1)	1/80, 1/4
57	建具詳細図(2)	1 / 4
58	建具詳細図(3)	1/40, 1/8, 1/4
59	建具詳細図(4)	1 / 6
60	建具詳細図(5)	1 / 6
61	建具詳細図(6)	1/100, 1/10
62	外装詳細図(1)	1 / 10
63	外装詳細図(2)	1 / 10
64	外装詳細図(3)	1 / 10
65	外装詳細図(4)	1 / 10
66	家具図、部分詳細図(1)	1/10, 1/40
67	部分詳細図(2)	1 / 2
68	部分詳細図(3)	1 / 2
69	部分詳細図(4)	1/10, 1/40
70	部分詳細図(5)	1/4, 1/10, 1/40
71	サインキープラン 配置図・１階平面図	1 / 1000 1 / 300
72	サインキープラン ２階平面図	1 / 300
73	サイン詳細図	1/6, 1/10 1/50, 1/100
74	外構図(1)	1/1000, 1/100 1/50, 1/10
75	外構図(2)	1/100, 1/50, 1/20
76	外構図(3)	1/100, 1/20
77	防火シャッター詳細図	1 / 60
78	昇降機設備詳細図(1)	1 / 40
79	昇降機設備詳細図(2)	1/40, 1/80
80	敷地求積図・面積表	1 / 1000
81	建物求積図・面積表	1 / 400
82	関係法令等適合図(1)	1 / 300
83	関係法令等適合図(2)	1 / 300
84	関係法令等適合図(3)	NON
85	仮設計画図	1 / 500
86	仮設建物基礎図	1/100, 1/30
B - 01	現況 １階平面図（解体撤去図）	1 / 300
02	現況 ２階平面図（解体撤去図）	1 / 300
03	現況 屋根伏図（解体撤去図）	1 / 300
04	現況 立面図(1)（解体撤去図）	1 / 300
05	現況 立面図(2)（解体撤去図）	1 / 300
06	現況 断面図(1)（解体撤去図）	1 / 300
07	現況 断面図(2)（解体撤去図）	1 / 300
08	現況 断面図(3)（解体撤去図）	1 / 300
09	現況 断面詳細図(1)	1 / 60
10	現況 断面詳細図(2)	1 / 60
11	現況 １階平面詳細図(1)（解体撤去図）	1 / 100
12	現況 １階平面詳細図(2)（解体撤去図）	1 / 100
13	現況 １階平面詳細図(3)（解体撤去図）	1 / 100
14	現況 １階平面詳細図(4)（解体撤去図）	1 / 100
15	現況 ２階平面詳細図(1)（解体撤去図）	1 / 100
16	現況 ２階平面詳細図(2)（解体撤去図）	1 / 100
17	現況 ２階平面詳細図(3)（解体撤去図）	1 / 100
18	現況 １階天井伏図（解体撤去図）	1 / 300
19	現況 ２階天井伏図（解体撤去図）	1 / 300
20	現況 展開図(1)（解体撤去図）	1 / 100
21	現況 展開図(2)（解体撤去図）	1 / 100
22	現況 展開図(3)（解体撤去図）	1 / 100
23	現況 展開図(4)（解体撤去図）	1 / 100
24	現況 展開図(5)（解体撤去図）	1 / 100
25	現況 展開図(6)（解体撤去図）	1 / 100
26	現況 展開図(7)（解体撤去図）	1 / 100
27	現況 展開図(8)（解体撤去図）	1 / 100
28	現況 展開図(9)（解体撤去図）	1 / 100
29	現況 展開図(10)（解体撤去図）	1 / 100
30	現況 展開図(11)（解体撤去図）	1 / 100
31	現況 展開図(12)（解体撤去図）	1 / 100
32	現況 展開図(13)（解体撤去図）	1 / 100
33	現況 展開図(14)（解体撤去図）	1 / 100
34	現況 展開図(15)（解体撤去図）	1 / 100

特記

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

図面目録(1)

NO. A-01
SCALE NON
DATE 2024/03/15
SIGN

Ｎｏ	図面名	ＳＣＡＬＥ	Ｎｏ	図面名	ＳＣＡＬＥ	Ｎｏ	図面名	ＳＣＡＬＥ	Ｎｏ	図面名	ＳＣＡＬＥ
S － 01	補強工事特記仕様書	NON	E － 01	電気設備工事　特記仕様書	NON	M － 01	特記仕様書	NON			
02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	NON	02	配置図・案内図	1 / 1000	02	現況　１階平面図　機械設備撤去範囲図	1 / 300			
03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	NON	03	１階　改修　空調動力電源等　設備図	1 / 300	03	現況　２階平面図　機械設備撤去範囲図	1 / 300			
04	補強　１階梁伏図	1 / 300	04	２階　改修　空調動力電源等　設備図	1 / 300	04	空調機器表	1 / 300			
05	補強　２階梁伏図	1 / 300	05	１階　改修　空調室内ユニット電源等　設備図	1 / 300	05	空気調和・換気設備　配管系統図	NON			
06	補強詳細図１	1 / 60	06	２階　改修　空調室内ユニット電源等　設備図	1 / 300	06	１階空調配管平面図	1 / 300			
07	補強詳細図２	1 / 60	07	分電盤結線図	NON	07	２階空調配管平面図	1 / 300			
08	建設時基礎伏図（参考）	1 / 400	08	照明器具姿図（参考）-1	NON	08	空気調和・換気設備　ダクト系統図	NON			
09	建設時１階梁伏図（参考）	1 / 400	09	照明器具姿図（参考）-2	NON	09	１階ダクト平面図	1 / 300			
10	建設時２階梁伏図（参考）	1 / 400	10	改修の照明器具、ライトコントロールの一覧表	NON	10	２階ダクト平面図	1 / 300			
11	建設時Ｒ階梁伏図（参考）	1 / 400	11	１階　改修　電灯　設備図	1 / 300	11	自動制御設備　計装図	NON			
12	建設時軸組図１（参考）	1 / 400	12	２階　改修　電灯　設備図	1 / 300	12	自動制御設備　１階平面図	1 / 300			
13	建設時軸組図２（参考）	1 / 400	13	１階　改修　非常灯・誘導灯　設備図	1 / 300	13	自動制御設備　２階平面図	1 / 300			
14	建設時軸組図３（参考）	1 / 400	14	２階　改修　非常灯・誘導灯　設備図	1 / 300	14	衛生設備　器具表	NON			
15	建設時軸組図４（参考）	1 / 400	15	１階　改修　ライティングダクト　設備図	1 / 300	15	衛生設備　１階平面図	1 / 300			
16	建設時基礎詳細図（参考）	1 / 100	16	２階　改修　ライティングダクト　設備図	1 / 300	16	衛生設備　２階平面図	1 / 300			
17	建設時柱・大梁リスト（参考）	1 / 100	17	１階　改修　電灯幹線、コンセント　設備図	1 / 300	17	衛生設備　１階平面詳細図	1 / 60			
18	建設時小梁・床版・壁リスト（参考）	1/80,1/60	18	２階　改修　電灯幹線、コンセント　設備図	1 / 300	18	衛生設備　厨房設備図	1 / 50			
19	改修　１階梁伏図	1 / 300	19	音響機器姿図、トイレ呼出し機器図	NON	19	制気口リスト	NON			
20	改修　２階梁伏図	1 / 300	20	１階　改修　弱電、放送、監視カメラ　設備図	1 / 300						
21	改修詳細図１	1 / 60	21	２階　改修　弱電、放送、監視カメラ　設備図	1 / 300						
22	改修詳細図２	1 / 60	22	１階　改修　音響(多目的ﾎｰﾙ)、Wi-Fi設置、ｻｲﾈｰｼﾞ設置　設備図	1 / 300						
23	改修詳細図３	1/60,1/30	23	２階　改修　音響(多目的ﾎｰﾙ)、Wi-Fi設置、ｻｲﾈｰｼﾞ設置　設備図	1 / 300						
			24	１階　改修　火災報知　設備図	1 / 300						
			25	２階　改修　火災報知　設備図	1 / 300						
			26	撤去の照明器具、ライティングダクト　一覧表	NON						
			27	１階　撤去　電灯(ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ共)　設備図	1 / 300						
			28	２階　撤去　電灯(ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ共)　設備図	1 / 300						
			29	１階　撤去　非常灯・誘導灯　設備図	1 / 300						
			30	２階　撤去　非常灯・誘導灯　設備図	1 / 300						
			31	１階　撤去　コンセント　設備図	1 / 300						
			32	２階　撤去　コンセント　設備図	1 / 300						
			33	１階　撤去　弱電、放送、監視カメラ　設備図	1 / 300						
			34	２階　撤去　弱電、放送、監視カメラ　設備図	1 / 300						
			35	１階　撤去　火災報知　設備図	1 / 300						
			36	２階　撤去　火災報知　設備図	1 / 300						
			37	仮設電気工事対応の設備図	1 / 500						

特　　記

令和6年度(債務負担行為)豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

図面目録(2)

NO. A-02

SCALE NON

DATE 2024/03/15

SIGN

■ 工 事 区 分 表

項目	建築	電気	機械 衛生	機械 空調	別途	備考
1．一般事項						
仮設足場	○					電気・機械設備工事は無償で使用可
工事用仮設の各引込工事	○					
工事用仮設電力の使用料金	○	○	○	○		基本料金込
工事用仮設上下水道の使用料金	○	○	○	○		基本料金込
本受電後引き渡しまでの電気基本料金					○	
本受電後引き渡しまでの電気使用料金	○	○	○	○		日割計算
電力引込工事						
電話引込工事						
ＴＶ引込工事						
上水道引込工事						
電話用配管・配線工事		○				
電話機の取外し・取付け					○	
ＬＡＮ用配管・配線工事		○				
ＬＡＮ用機器の取外し・取付け					○	
警備保障機器の取外し・取付け					○	
2．機器の基礎						
設備機器基礎のコンクリート	○					
設備機器基礎の仕上	○					
設備基礎上の架台、Ｈ鋼等の鉄骨		○	○	○		
設備機器固定用アンカーボルト		○	○	○		
3．貫通スリーブ等						
各種配管用スリーブ		○	○	○		
同上　開口補修	○					
床・外壁貫通スリーブ廻りの防水シール	○					
防水面貫通スリーブ廻りの防水シール	○					
設備機器等の床・壁・天井開口		○	○	○		
同上　開口補強	○					
天井点検口及び開口補強	○					
4．排水金物、屋外排水等						
各種床排水金物			○			
既製流し台の排水金物	○					
縦樋、受け枡	○					
Ｕ字溝、Ｌ字溝及び取り付く枡						
グレーチング						
ルーフドレイン・バルコニードレイン	○					
ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ、雨水竪樋等から第一会所枡までの雨水配管工事						
5．建具、ガラリ等						
外壁に付くガラリ（ダクト取付けフランジ゛を含む）	○					既存利用
同上　ダクト				○		
開扉制限装置（テンキー、電気錠、制御盤を含む）	○					
電気錠の火災時連動制御装置、及び電源		○				
ドアガラリ、ドアガラリダンパー						
ウエザーカバー						
通気管等のベントキャップ						

項目	建築	電気	機械 衛生	機械 空調	別途	昇降	備考
6．防災、防犯、管理							
防火戸の感知器、及びﾚﾘｰｽﾞまでの配管、配線		○					
防火シャッター スイッチまでの配管		○					
同上　配線	○						
防煙スクリーン スイッチまでの配管							
同上　配線							
自然排煙口及び手動開放装置	○						
自動火災報知器及び配管、配線		○					
消火器			○				
消火器スタンド・ボックス	○						
7．家具・備品							
固定家具(本工事内)	○						
既存可動家具・備品の整理・梱包						○	
既存可動家具・備品の移動	○						グランドピアノは専門業者にて移動
美術品(彫刻)の台座からの切り離し	○						
美術品の移動						○	
8．エレベーター工事							
昇降路の築造及び各階乗場（ｲﾝｼﾞｹｰﾀｰ、押釦用穴、機械室への配管穴を含む）穴あけ						○	
各階乗場の出入口枠周囲のモルタル詰め						○	
ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ据付後の乗場壁廻り及び、床の補修仕上						○	
三方枠、出入口枠、敷居、ｲﾝｼﾞｹｰﾀｰ、押釦						○	枠：既存利用
ピット内防水（ウレタン系塗膜防水）						○	
昇降路外部のｲﾝﾀｰﾎﾝ・その他ｴﾚﾍﾞｰﾀｰに必要な配管配線工事		○					
ピット内点検用コンセント設置工事							
昇降路頂部の煙感知器の設備工事						○	
昇降路頂部の揚重用フックの設置工事						○	
中間ビーム							
昇降機承諾図と躯体が異なる場合のはつり工事						○	
エレベーターホールの防火区画							
昇降路出入口上部の梁の確認							

項目	建築	電気	機械 衛生	機械 空調	別途	備考
9．動力及び制御						
一般動力操作盤及び電動機までの配線			○			
リモコンスイッチ						
リモコンスイッチの配線						
動力関係全ての警報設備			○			
10．エアコン						
室内機・室外機本体					○	
室内機・室外機搬入据付工事			○		○	
室内機への一次側電源供給・アース工事（接続含む）			○			
室内機～室外機間の渡り配線工事					○	
冷媒配管工事（化粧カバー共）					○	
ドレイン配管工事（ベランダ放流、防露工事共）					○	
天井カセット形室内機用インサート工事						
天井カセット形室内機用吊りボルト工事						
11．換気扇						
換気扇本体					○	
換気扇用スイッチ及び電気配線			○			空調用換気扇のスイッチは空調より電気に支給
12．床暖房						
下地合板敷設工事						
配管立上げ部の下地合板穴あけ工事						
温水マット敷込工事						
温水マット養生工事						
温水マット用連絡管工事						
ダミー合板敷設工事						
床仕上げ（フローリング）工事						
床暖房コントローラー熱源機間の信号線用電線管工事（16Φ）						
床暖房コントローラー熱源機間の信号線通線、結線工事						
床暖房コントローラー取付工事						
床暖房コントローラー取付用裏ボックス工事						
13．ガス熱源機関係						
熱源機本体及び搬入据付工事					○	
熱源機までの給水配管工事（防露工事、機器接続共）			○			
熱源機から流し台・洗面器水栓までの給湯配管工事（保温工事・機器接続共）			○			
上記以外の給湯配管工事（ペアチューブ管）					○	
熱源機までのガス配管工事（機器接続共）			○			
熱源機への一次側電源供給・アース工事（機器接続共）		○				
熱源機～リモコン間の信号線用電線管工事（16Φ）						
熱源機～リモコン間の信号線用通線、結線工事						
配線用ボックス取付工事（電源用）						
配線用ボックス取付工事（操作線用）						
リモコン取付工事						
リモコン取付用裏ボックス工事						
ヘッダーユニット取付工事（保温工事共）						
オーバーフロー管工事（ＰＳ内へ放流）						
ＰＳ内可とう電線管工事（電源用）						
ＰＳ内可とう電線管工事（操作線用）						
（ＰＳ標準）熱源機取付用の金枠工事						
（扉内設置）扉内ボックス取付工事						
（壁掛設置）熱源機用配管カバーの取付工事					○	
14．ガス設備用配工事・その他工事関係						
ペアチューブ配管工事					○	
ペアチューブ用スリーブ工事					○	
ペアチューブ用スリーブ仮補修工事					○	
ペアチューブ用スリーブ防水工事	○					
ペアチューブ用防火区画貫通処理工事					○	
配管スペース用ふかし設置工事						
他配管交差部養生工事					○	

項目	建築	電気	機械 衛生	機械 空調	別途	備考
15．器具等						
ミニキッチン	○					
同上　給水・排水接続			○			
キッチン換気フード						
キッチン付照明器具						
厨房機器			○			
同上　給水・排水接続			○			
厨房機器換気フード				○		
厨房機器付照明器具						
洗面カウンター			○			
同上洗面器、水栓			○			
洗面カウンター上の照明ボックス						
洗濯機パン各種						
ユニットバス						
同上　給水・給湯・排水接続						
同上　給水・排水・電気接続						
大便器ＦＶ制御用配線			○			
大便器ＦＶ制御用配管		○				
機器類の制御盤等までの一次側電気工事（接続共）		○				
床排水溝（グレーチング蓋共）						
各排水目皿			○			
衛生器具取り付けの裏板又は補強	○					
各種手すり			○			
タオル掛け			○			
紙巻器			○			
吊戸棚等の家具の搬入据付工事						

特　　記

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-03
工事区分表	SCALE -
DATE 2024/03/15	SIGN

令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業　大規模改修工事
改修工事仕様書

Ⅰ 工事概要

1．工事場所　　安曇野市 豊科近代美術館

2．敷地面積（㎡）　27,679.07

3．工事種目　　改修

建物別	種別	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)
本館棟		RC	2			2,223.75	2,596.67+9.95（風除室）=2,606.62
収蔵庫棟		鉄量鉄骨	1			280.59	280.59
燃料保管庫棟		RC	1			13.51	13.51

Ⅱ 建築工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新版」（以下「改修標仕」という。）により、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）最新版」（以下「標仕」という。）、及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説　最新版」（以下、「解体共仕」）による。

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に◯ 印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の（．．．）内の表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）特記事項に記載の［．．．］内の表示記号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（5）特記事項に記載の〈．．．〉内の表示記号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項	
一般共通事項	① 適用基準等	⊙建築工事標準詳細図	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
		⊙敷地調査共通仕様書	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
		⊙建築構造設計基準	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
		⊙工事写真の撮り方（改訂第3版）建築編	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
		⊙安曇野市建築工事の手引	安曇野市財政部監修
		⊙公共建築改修工事標準仕様書	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
		⊙公共建築木造工事標準仕様書	国土交通省大臣官房営繕部監修（最新版）
		⊙建築物解体工事共通仕様書・同解説	国土交通省大臣官房営繕部監修（最新版）
		⊙建設工事公共災害防止対策要綱（建築工事編）	建設省建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修
		⊙長野県建設リサイクル推進指針	
		・	
		・	
	②品質計画	建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による　[1.2.2] ※風速（Vo＝　３０　） ※地表面粗度区分（　・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ） ※積雪区分　建告示第1455号　別表（　　）	
	③電気保安技術者	※適用する　・適用しない　(1.3.3)	
	4.施工条件明示項目	・　(1.3.5)	
	⑤ 発生材の処理等	※別紙解体工事仕様書による　・構外搬出適正処理　(1.3.8) また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。 ・引渡しを要するもの ・再生資源の利用を図るもの	
	⑥ 特別な材料の工法	改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。	
	⑦ 施工数量調査	調査範囲及び調査方法　※図示　(1.5.2) 既存部分の破壊を行った場合の補修方法　※図示　・　(1.5.3)	
	⑧ 技能士	※ 適用する（一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。）　(1.6.2) ・適用しない	
	⑨設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。	
	⑩ 設計GL	※図示　・設計GL=現状GL	

適用工事種別	技能検定作業
防水改修工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ｳﾚﾀﾝ塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ⊙塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業　⊙左官　⊙建築板金（内外装板金作業）
外壁改修工事	⊙左官　・ﾀｲﾙ張り　⊙塗装（建築塗装作業）　・樹脂接着剤注入作業
建具改修工事	⊙建具製作　⊙ｻｯｼ施工　⊙ｶﾞﾗｽ施工　⊙自動ﾄﾞｱ施工
内装改修工事	⊙ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　⊙ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ工事作業 ⊙ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業　⊙内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） ⊙表装（壁装作業）　⊙建築大工　⊙ﾀｲﾙ張り　・左官
塗装改修工事	⊙塗装（建築塗装作業）
耐震改修工事	⊙鉄筋施工（鉄筋組立作業）　⊙型枠施工　・とび
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	・ｴｰｴﾙｸﾛｰﾊﾞｰﾊﾟﾈﾙ施工
石工事	⊙石材施工（石張り作業）
植栽工事	・造園

⑪ 化学物質の濃度測定　測定方法　※ﾊﾟｯｼﾌﾞ法（拡散法）　・ｱｸﾃｨﾌﾞ法（吸引法）　[1.5.9]
検査機関
※環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者

測定物質
※ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ　※ﾄﾙｴﾝ　※ｷｼﾚﾝ　※ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ　※ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ　※ｽﾁﾚﾝ

測定個所（室）
事務室，館長室，展示室1・5・10，ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝﾙｰﾑ，多目的ﾎｰﾙ，学芸員室，収蔵庫1　各１個所ずつ　計９個所

※試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。

化学物質の室内汚染濃度指針値

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ﾄﾙｴﾝ	ｷｼﾚﾝ	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ｽﾁﾚﾝ	備考
0.08ppm	0.07ppm	0.20ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm	

⑫ 完成図等　※作成する　(1.8.1～1.8.3)（表1.8.1）
※完成図（※設計図書で示したものを全て　・標仕表1.7.1による　・監督員の指示による）
作成方法　※原図　用紙　（※ﾄﾚｰｼﾝｸﾞﾍﾟｰﾊﾟｰA1　⊙普通紙A1　）
作図方法（※CADで作成し出力　・　）
・マイクロフィルム（ｱﾊﾟﾁｬｶｰﾄﾞ付）
※製本（原図の出力、見開きA1版（1部）　）
※CADデータ（※CD-R（2部）　・　）
※保全に関する資料（2部）

⑬ 完成写真　下記のものを監督職員に提出する。原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	部数	写真のサイズ（mm）
※ カラー写真	外部（　8）内部（２２）	※2　・	※ ｷｬﾋﾞﾈ版　・ﾊｰﾌﾋﾞｼﾞｽ版
・ パネル（木製枠）	外部（　　）内部（　　）	※2　・	※ 半切　・ 全紙
・ カラースライド	外部（　　）内部（　　）	※1　・	24×36以上
※ 電子データ	外部（　　）内部（　　）	※2　・	※428万画素以上 ※350dpi以上

電子データは、ﾌｨﾙﾑｽｷｬﾅのうえRGB各8ﾋﾞｯﾄ（ﾌﾙｶﾗｰ）、JPEG形式最高画質（100%画質）とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者

⑭ 建築材料等　本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び品質を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及び製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。
(1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること
(2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
(3)安定的な供給が可能であること
(4)法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
(5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
(6)販売、保守等の営業体制が整えられていること
これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
なお、(社)公共建築協会で発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」に指定された材料については上記(1)～(6)に該当するものとする。
また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承諾を受けた材料とする。

⑮ 化学物質を発散する建築材料等　本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。
(1)合板、木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、構造用ﾊﾟﾈﾙ、集成材、単板積層材、MDF、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、その他の木質建材、ﾕﾘｱ樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(2)保温材、緩衝材、断熱材はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(3)接着剤はﾌｯ素樹脂ｼﾞｰﾛｰﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ及びﾌｯ素樹脂ｼﾞｰｴﾁﾚﾝﾋｷｼﾙを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(4)塗料はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

なお、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないものとは放散量が規制対象外のものを、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。

規制対象外
①JIS及びJASの F☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるJAS規格品
a．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤
b．接着剤等不使用
c．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない材料使用
d．ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料等使用
e．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料使用
f．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料等使用

第三種
①JIS及びJASの F☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
③旧JISのEo規格品
④旧JASのFco規格品

② 仮設工事

① 足場その他　内部足場　種別　※脚立、足場板等　・　(2.2.1)
外部足場　種別　※A種（手すり先行工法）　・B種　・C種　・D種　(2.2.1)（表2.2.1）
防護シートによる養生　※行わない　・行う
材料、搬出材料等の運搬　・A種　※B種　・C種　・D種　・E種　(2.2.1)（表2.2.1）

② 養生　既存部分の養生　※ビニルシート等　・　(2.3.1)
既存家具等の養生　※ビニルシート等　・
固定家具等の移動　※行わない　・行う（図示）

③仮設間仕切　(2.3.2)（表2.3.1）

種別	下地	仕上材（厚さ　mm）	充てん材	塗装
⊙A種	※軽量鉄骨	⊙合板（※9.0　・　）		※無し
・B種	・木下地	※せっこうボード（※9.5　・　）	厚さ　mm	・片面
※C種	単管下地	防炎シート		
仮設扉	※木製扉	※合板張り程度		※無し
	⊙鋼製扉	※片面フラッシュ程度		・有り

④ 監督職員事務所　※ 設ける　・設けない　(2.4.1)（表2.4.2）
規模　※10㎡程度　・20㎡程度　・（　　）

⑤ 工事用水　構内既存の施設　⊙利用できる（※ 有償　・無償）　※ 利用できない
※工事エリア部分と仮設美術館事務所それぞれの使用量を把握できるようにすること

⑥ 工事用電力　構内既存の施設　⊙利用できる（※ 有償　・無償）　※ 利用できない
※工事エリア部分と仮設美術館事務所それぞれの使用量を把握できるようにすること

③ 防水改修工事

1．アスファルト防水　(3.3.2)（3.3.3）(表3.1.1)（表3.3.3～表3.3.10）

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保護防水	・Ｐ１Ｂ		・Ｂ－１　※Ｂ－２
	・Ｐ１ＢＩ　・Ｔ１ＢＩ		・ＢＩ－１　※ＢＩ－２
	・Ｐ２ＡＩ		・ＡＩ－１　※ＡＩ－２
	・Ｐ２Ａ		・Ａ－１　※Ａ－２
露出防水	・Ｍ４Ｃ		・Ｃ－１　※Ｃ－２
	・Ｍ３Ｄ　・Ｐ０Ｄ		・Ｄ－１　※Ｄ－２
屋内防水	・Ｐ１Ｅ　・Ｐ２Ｅ		・Ｅ－１　※Ｅ－２ （保護層は図示による）

アスファルトの種類　※３種　・４種　(3.2.2)（3.3.2）
保護コンクリートのコンクリート種類　※無筋コンクリート　(3.3.2)
二重ドレン（ＰＯＤ工法の場合）　※設けない　・設ける　(3.3.5)
脱気装置（Ｍ３Ｄ、ＰＯＤ工法の場合）　※設けない　・設ける　(3.3.3)
既存露出防水層表面の仕上げ塗装（Ｍ４Ｃ工法の場合）　・除去する　(3.2.6)
断熱工法の断熱材　厚さ（mm）　※２５　・　(3.3.2)
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　(3.3.2)
れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のれんがまたは、市販品のれんが形ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸとする。
乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm

2．改質アスファルトシート防水　(3.4.2)（3.4.3）(表3.1.1)（表3.4.1～表3.4.3）

防水改修工法の種類	施工個所	新規防水層の種別	厚さ(mm)
・Ｍ４ＡＳ工法		・ＡＳ－１　・ＡＳ－２　・ＡＳ－３	
・Ｍ３ＡＳ工法		・ＡＳ－４　・ＡＳ－５　・ＡＳ－６	
・ＰＯＡＳ工法			
・Ｍ３ＡＳＩ工法		・ＡＳＩ－１　・ＡＳＩ－２	
・Ｍ４ＡＳＩ工法			
・ＰＯＡＳＩ工法			

脱気装置　※設けない　・設ける　(3.2.5)

3．合成高分子系ルーフィングシート防水　(3.5.2)（3.5.3）(表3.1.1)（表3.5.1）

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料塗り	使用分類
⊙ＰＯＳ工法		・Ｓ－Ｆ１　・Ｓ－Ｍ１	・カラー	※非歩行
・Ｓ４Ｓ工法		・Ｓ－Ｆ２　⊙Ｓ－Ｍ２	⊙シルバー	⊙軽歩行
⊙Ｓ３Ｓ工法				
・Ｍ４Ｓ工法		・Ｓ－Ｍ１　・Ｓ－Ｍ２		
・ＰＯＳＩ工法		・ＳＩ－Ｆ１　・ＳＩ－Ｆ２		
・Ｓ３ＳＩ工法		・ＳＩ－Ｍ１　・ＳＩ－Ｍ２		
・Ｓ４ＳＩ工法		・ＳＩ－Ｍ３		
・Ｍ４ＳＩ工法				

脱気装置　⊙設けない　・設ける　(3.5.3)
目地処理　ＰＣコンクリートの場合（　　）　(3.5.4)

4．塗膜防水　(表3.1.1)（3.6.3）(表3.6.1)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料塗り
・ＰＯＸ工法		・Ｘ－１	・シルバー
・Ｌ４Ｘ工法		・Ｘ－２	・カラー

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（Ｌ４Ｘ工法の場合）　・除去する　(3.2.6)
脱気装置　※設けない　・設ける　(3.6.3)

（1～4についての保証）　防水工事施工者及び請負者連名の保証書（１０年）を提出のこと。

5．脱気装置　(3.3.3)（3.4.3）(3.5.3)

種類	材質		設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂	・ＡＢＳ樹脂	（　　）
	・ステンレス	・錆鉄	㎡当たり１箇所
・立上がり部脱気型	・合成ゴム	・塩化ビニル樹脂	（　　）
	・ステンレス	・銅	㎡当たり１箇所

⑥シーリング　シーリング改修工法の種類　(3.7.4～3.7.7)（表3.7.1）
・シーリング充てん工法　⊙シーリング再充てん工法
・拡幅シーリング再充てん工法　・ブリッジ工法

シーリングの種類、施工箇所　(3.7.2)（表3.7.1）
※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
外壁改修部	ポリサルファイド（9030）

ＰＣＢ含有シーリング調査
・１次分析（ＰＣＢ含有分析の要否判定）
工事に先立ち、工事箇所のシーリング材を各部位毎に採取し、シーリング材種についての判定を行うこと。なお、判定結果は速やかに監督職員に報告し、ＰＣＢ含有分析が必要な場合は協議する。
・２次分析（ＰＣＢ含有分析）
ＰＣＢの含有について分析を行うこと。なお、分析結果は速やかに監督職員に報告すること。
(1)採取箇所　計　箇所
(2)採取方法　分析機関の指定する方法により採取する。
(3)分析方法　ＧＣ－ＥＣＤ法による（JIS K0114）
シーリングにＰＣＢが含有していた場合の措置
(1)除去方法　改修標仕3.7.5(a)による
(2)処置方法　関係法令により適切に処理すること。また、密封できる容器に保管し、採取時期、使用部位、ＰＣＢが含有していること等を明記の上、施設管理者へ引き渡す。

⑦ とい　といの材種　(3.8.2)（表3.8.1）
※配管用鋼管　・硬質塩化ビニル管　・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管
・ステンレス鋼板　⊙表面処理鋼板　・
鋼管製といの防露　※改修標仕表3.8.5による　(3.8.3)（表3.8.5）
・次の箇所は行わない（　　）
ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量の等級
※規制対象外　・第三種
掃除口　※有り　・無し
縦どい受け金物の取付け　※図示　・標仕13.5.3(d)(2)による　(3.8.3)

⑧ アルミニウム製笠木　(3.9.2)（表3.9.1）

種類	呼称肉厚（mm）	表面処理	固定間隔	備考
・１００形		※Ａ－１又は	※固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	※隅角部及び突当り部等の役物は本体製造所の仕様による
・２５０形	１．６以上	Ｂ－１種		
・３００形	１．８以上	・Ｂ－２		
⊙４００形	２．０以上	（　）		

板材折曲げ形の取付工法　※図示　(3.9.3)
工法
既存笠木等の撤去　⊙行う（範囲　※図示　・　）
下地補修の工法　※図示
板材折曲げ形の笠木の取付方法　※図示

9．折板葺　[13.3.2][13.3.3][表13.2.1]

形式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状(mm)	山高（　　）　山ピッチ（　　）　板厚　※0.6　・0.8　・
材料（規格等）	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(GLCCR-20-AZ150) ・
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	※有り（種別：　　厚さ：　　mm）　・無し
耐火性能	※３０分耐火　・無し

（9についての保証）
・長野県板金工業組合認定の施工図により施工したものは同組合及び請負者連名の保証書（10年）を提出すること。
・上記組合認定以外の施工図により施工したものはメーカー、屋根施工業者及び請負者連名の保証書（10年）を提出すること。

④-1 外壁改修工事　共通事項

① 施工数量調査　調査範囲　※外壁改修範囲　・図示の範囲　(1.5.2)
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びﾀｲﾙ張り仕上げについては、浮き部を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等調査する。
コンクリートまたは、モルタル表面のはがれ及びひび割れを壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びひび割れを壁面に表示する。
また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
調査報告書の部数　※２部　・

② 改修材料　⊙既製調合モルタル　(4.2.2)

保水率	単位容積質量	接着強さ（N／mm2）		長さ変化率	曲げ強さ
（%）	（Kg／ｌ）	標準時	温冷繰り返し後	（%）	（N／mm2）
７０．０以上	１．８０程度	０．６０以上	０．４０以上	０．２０以上	４．０以上

・パテ状エポキシ樹脂　(4.2.2)

初期硬化性（標準）	接着強さ（標準）	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0 N／mm2以上	6.0 N／mm2以上	50.0 N／mm2以上	30.0 N／mm2以上	3.0 %以下

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造所の指定する期間または製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂　(4.2.2)

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	
引張強さ	1.0 N/mm2以上	1.0 N/mm2以上	1.0 N/mm2以上	最大引張応力	1.0 N/mm2
伸び	30.0 %以上	30.0 %以上	30.0 %以上	破断時の伸び	10 %以上

比重	押出し性	スランプ	加熱減量
表示値±0.10	60秒以下	3mm以下	5%以下

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造所の指定する期間または製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え用エポキシ樹脂　(4.2.2)

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度（N/mm2）	0.60 以上	0.40 以上	0.40 以上	0.40 以上	0.40 以上
凝結破壊率（%）	75 以上	50 以上	50 以上	50 以上	50 以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強度（N/mm2）	1.00 以上	1.00 以上	1.00 以上	1.00 以上	1.00 以上
伸び（%）	30 以上	30 以上	30 以上	20 以上	20 以上

貯蔵安定性　容積と粘度に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで変定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等を侵すものでないこと。
c.「化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造後6ヶ月間保存しても上記品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル　(4.2.2)

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0 N/mm2以上	20.0 N/mm2以上	10.0 N/mm2以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上がりが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、だれが生じないこと。
e.常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造後6ヶ月間保存しても上記品質性能に適合していること。

令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO.	A-04
特記仕様書 -改修(1)	SCALE	-
	DATE	2024/03/15
	SIGN	

④-1 外壁改修工事　共通事項

⊙ポリマーセメントモルタル　(4.2.2)

ポリマーセメントモルタルの種類

合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ (N/mm2)	圧縮強さ (N/mm2)	接着強さ (N/mm2) 標準時	湿潤時	低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー　(4.2.2)

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3%以下	0.5N/mm2以上	5.0N/mm2以上	15%以下	5.0N/mm2以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材　(4.2.2)

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強さ(N/mm2)	界面破断率(%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分間で1g以下	0.98以上	50%以上

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

④-2 外壁改修工事　コンクリート打放し仕上げ外壁

①ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法　(4.1.4)(4.3.4～4.3.6)

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	※ ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40　・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70　・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250 ・	※130　・ ・	

注入材料　(4.2.2)
※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A6024低粘度形又は中粘度形）
・
検査（コア抜取り）　※行わない　(4.3.4)
・行う（抜取り部の補修方法：　）

⊙Uカットシール材充てん工法　(4.1.4)(4.2.2)(4.3.5)

充てん材料	品質・規格等	備考
⊙シーリング用材料	※１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

⊙シール工法　(4.1.4)(4.2.2)(4.3.6)

シール材料	品質・規格等
・パテ状エポキシ樹脂	
⊙可とう性エポキシ樹脂	

②欠損部改修工法

※充てん工法　(4.1.4)(4.2.2)(4.3.7)

シール材料	品質・規格等
・エポキシ樹脂モルタル	
⊙ポリマーセメントモルタル	

④浮き部改修工法

(4.1.4)(4.4.10～4.4.15)(表4.4.3)(表4.4.4)

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 一般部	指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	指定部	充てん量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※１６ ・	※２５ ・			※２５ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※１３ ・	※２０ ・	※１２ ・	※２０ ・	※２５ml ・
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※１３ ・	※２０ ・	※１２ ・	※２０ ・	※５０ml ・
⊙注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※９ ・	※１６ ・			※２５ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※９ ・	※１６ ・	※９ ・	※１６ ・	※２５ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※９ ・	※１６ ・	※９ ・	※１６ ・	※５０ml ・

アンカーピン　(4.2.2)
材質　※ステンレスＳＵＳ３０４、呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・

注入口付アンカーピン　(4.2.2)
材質　※ステンレスＳＵＳ３０４、呼び径外径６mm
・

④-3 外壁改修工事　モルタル塗り仕上げ外壁

1.既存モルタル塗りの撤去

・行う（※全面　・図示の範囲）

②ひび割れ部改修工法

・既存モルタル撤去工法（範囲は図示　撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による）

※樹脂注入工法（※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面）(4.1.4)(4.4.2)(4.4.5)

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (cc/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	※ ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40　・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70　・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250 ・	※130　・ ・	

注入材料　(4.2.2)
※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A6024低粘度形又は中粘度形）
・
検査（コア抜取り）　※行わない　(4.3.4)
・行う（抜取り部の補修方法：　）

⊙Uカットシール材充てん工法　(4.1.4)(4.2.2)(4.3.5)

充てん材料	品質・規格等	備考
⊙シーリング用材料	※１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

⊙シール工法（※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面）(4.1.4)(4.2.2)(4.4.7)

シール材料	品質・規格等
・パテ状エポキシ樹脂	
⊙可とう性エポキシ樹脂	

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修（※シール工法の範囲　・　）(4.4.2)(4.6.3)

③欠損部改修工法

既存モルタル面の欠損部　(4.1.4)(4.4.8)(4.4.9)

改修工法の種類	材料	品質・規格等
⊙充てん工法	ポリマーセメントモルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(g)による	塗り厚25mmを越える場合の補強 ※行う　・行わない　・図示

既製目地材　・適用する（形状　※図示　・　）(4.2.2)

4-4 外壁改修工事　タイル張り仕上げ外壁

1.既存タイル張りの撤去

・外壁タイル張り全面　・図示の範囲
撤去範囲　※下地モルタルまで　・張付けモルタルまで　・タイルのみ

2.ひび割れ部改修工法

改修箇所　※既存タイル張り面　・既存タイル撤去面（・コンクリート面　・モルタル面）

※樹脂注入工法　(4.1.4)(4.3.4)(4.5.5)

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (cc/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	※ ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40　・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70　・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250 ・	※130　・ ・	

注入材料　※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形）(4.2.2)
検査(ｺｱ抜取り)　※行わない　・行う(抜取り部の補修方法：　)(4.3.4)

・Uカットシール材充てん工法（既存タイル張り撤去面）(4.1.4)(4.2.2)(4.3.5)(4.3.6)

充てん材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

3.欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法　(4.1.4)(4.2.2)(4.5.7)

接着剤の種類	品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル ・変成シリコン樹脂 ・エポキシ樹脂 ・ポリウレタン樹脂 ・シリコン樹脂 ・タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究所報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』（建設大臣官房技術調査室監修 平成９年２月）」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準（案）」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであって監督職員の承諾するもの又は特記による。

・タイル張替え工法　(4.1.4)(4.5.8)
伸縮目地調整及びひび割れ誘発目地　(4.5.8)(表4.5.1)
位置　※改修標仕表4.5.1による　・図示

4.浮き部改修工法

(4.1.4)(4.5.10～4.5.15)(表4.4.3)(表4.4.4)

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 一般部	指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	指定部	充てん量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※１６ ・	※２５ ・			※２５ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※１３ ・	※２０ ・	※１２ ・	※２０ ・	※２５ml ・
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※１３ ・	※２０ ・	※１２ ・	※２０ ・	※５０ml ・
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※９ ・	※１６ ・			※２５ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※９ ・	※１６ ・	※９ ・	※１６ ・	※２５ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※９ ・	※１６ ・	※９ ・	※１６ ・	※５０ml ・
・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	※９ ・	※１６ ・	※９ ・	※１６ ・	※５０ml ・

アンカーピン　(4.2.2)
材質　※ステンレスＳＵＳ３０４、呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・

注入口付アンカーピン　(4.2.2)
材質　※ステンレスＳＵＳ３０４、呼び径外径６mm
・

5. 陶磁器質タイル張り

タイルの種類　(4.2.2)(4.5.7)(4.5.8)

施工箇所	形状寸法 (mm)	きじ 磁器	せっ器	陶器	釉薬 無釉	施釉	役物 有	無	色 標準	特注	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う
壁タイル張りの工法　(4.5.7)(4.5.8)(表4.5.3)
外装タイル　・密着張り　・マスク張り
タイルの試験張り　※行わない　・行う

6.目地改修工法

・目地ひび割れ部改修工法　(4.1.4)(4.5.16)
・伸縮目地改修工法　(4.1.4)(4.5.16)
シーリング用材料　種類　※改修標仕表3.7.1による　(3.7.2)(表3.7.1)

④-5 外壁改修工事　塗り仕上げ外壁

①既存塗膜等の除去及び下地処理

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法　(4.6.3)(表4.6.1～表4.6.4)

工法	処理範囲	下地面の補修
※サンダー工法	※既存仕上面全体　・	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
⊙高圧水洗工法 加圧力　※30MPa程度以上	※既存仕上面全体　・	
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体　・	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・	

②下地調整材

※下地調整塗材　(4.2.2)(4.6.3)
・ポリマーセメントモルタル
・防水形仕上げ塗材主材を使用

③仕上げ塗材仕上げ

種類、仕上げの形状、工法　(4.1.4)(4.2.2)(表4.2.3)(表4.2.4)

種類	呼び名	仕上げの形状
⊙薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ	
	・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	
	・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状　・さざ波状　・凹凸状
	⊙外装薄塗材Ｓ	⊙砂壁状
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸模様
	・可とう形複層塗材ＣＥ	耐候性　※耐候形３種　・
	・複層塗材Ｓｉ	上塗材
	・複層塗材Ｅ	溶媒　※水系　・溶剤系
	・複層塗材ＲＥ	樹脂　※アクリル系
	・複層塗材ＲＳ	外観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材ＣＥ	・メタリック
	・防水形複層塗材Ｅ	防水形の増塗材　※行う
	・防水形複層塗材ＲＥ	
	・防水形複層塗材ＲＳ	
・可とう系改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材Ｅ	・平たん状
	・可とう形改修塗材ＲＥ	・さざ波状
	・可とう形改修塗材ＣＥ	・ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合　(4.2.2)(15.5.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。

⑤ 建具改修工事

①改修工法の適用

(5.1.3)

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
⊙アルミニウム製建具		⊙	・	※建具表による　・図示
⊙鋼製建具	⊙外部	・	⊙	※建具表による　・図示
	⊙内部	・	⊙	※建具表による　・図示
・鋼製軽量建具		・	・	※建具表による　・図示
・ステンレス製建具		・	・	※建具表による　・図示

2.見本の製作等

・特殊な建具の仮組（建具番号：　）(5.1.5)

3.防犯建物部品

・適用する（　）(5.1.7)

④アルミニウム製建具

外部に面する建具　(5.2.2)(表5.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
⊙A種	S－4	※A－3	※W－4	※７０	※図示
・B種	S－5	・	・	・	
・C種	S－6	A－4	W－5	１００	

防音ドアセット　・防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　）
耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　）
断熱ドアセット　・断熱サッシ　・適用する　断熱性の等級（　）
表面処理　※Ｂ－１　・Ｂ－２（※ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）(5.2.4)(表5.2.2)

屋内建具
表面処理　※Ｃ－１又はＢ－１　(5.2.4)(表5.2.2)
・Ｃ－２又はＢ－２（※ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）

⑤網戸

防虫網　(5.2.3)
網の種別　・合成樹脂製　⊙ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）
形式　※外部可動式　・固定式

⑥鋼製建具

簡易気密型ドアセットの適用は特記による　(5.3.2)(表5.3.1)
耐風圧性の適用は建具表による
特定防火設備の戸　⊙適用する　(5.3.4)

⑦鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの適用は特記による　(5.4.2)

8.ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの適用は特記による　(5.5.2)
耐風圧性の適用は建具表による
表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ　(5.5.4)
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強有り）(5.5.5)
特定防火設備の戸　・適用する　(表5.5.1)

⑨自動ドア開閉装置

※製造所標準製作規定寸法許容差による　(5.7.2)(5.7.3)(表5.7.1～表5.7.3)

開閉方法	センサの種類
※スライディングドア	・マットスイッチ
・スイングドア	・電子マットスイッチ
性能　⊙SSLD-1	※光線スイッチ
・SSLD-2	・音波スイッチ
・DSLD-1	・熱線スイッチ
・DSLD-2	・光電スイッチ
・SWD-1	・多機能便所スイッチ
・SWD-2	⊙タッチスイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

⑩自閉式上吊り引き戸装置

品質規格　※改修標仕5.8.3による　・製造所標準仕様による　(5.8.3)(表5.8.1)

⑪.木製建具

かまち戸の樹種　かまち（　タモ　）　鏡板（　タモ　）(16.6.2)
ふすまの上張り　※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く）(表16.6.3)
・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量の等級　(16.6.2)
※規制対象外　・第三種

⑫建具用金物

マスターキー　※製作する(改修部分のﾏｽﾀｰｷｰ)　・製作しない　(5.6.4)
建具金物の種類　(5.6.2)(5.6.3)(表5.6.1)(表5.6.2)
錠前類は、シリンダー箱錠（レバーハンドル）とする。
なお、錠前類は建具製作所の指定のものとし、監督職員の承諾を受ける。
吊金物
⊙丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）　・ピボットヒンジ

⑬ガラス

※建具表による　(5.12.2)
・ガラスブロック積み（※図示）
ガラスブロック　品質JIS A5212によるもの　(5.12.5)

寸法 (mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア　・熱線反射 ・乳白　・カラー（　）		※無し ・有り

⑭ガラス留め材及び溝

ガラス留め材　(5.12.2)(表5.12.1)

建具の種類	材質
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（ＦＩＸ部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ　(5.12.3)
改修標仕5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は、(社)日本建築学会JASS17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

⑮ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第２種	※内張り　・外張り	飛散防止率　Ｄ１

品質JIS A5759による

⑯重量シャッター

(5.9.2)(表5.9.1)

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能（　）N/m2
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（　）N/m2
⊙屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

閉形式　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式
危害防止機構　※障害物感知装置（自動閉鎖型）　・シャッターの二段降下方式　(5.9.2)
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　(5.9.2)

17.軽量シャッター

開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）(5.10.2)(表5.10.1)
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯　(5.10.3)
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形　(5.10.4)
ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)　(表5.10.2)
耐風圧性能　（　）N/㎡

18.オーバーヘッドドア

(5.11.2～5.11.4)(表5.11.1)(表5.11.2)

セクション材	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能　（　）N/㎡

19.かぎ箱

市販品　形式　・30組用　・60組用　・120組用

⑥ 内装改修工事

①改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲　(6.1.3)
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
⊙図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲　(6.1.3)
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
⊙図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修　(6.1.3)
※既存のまま　⊙図示の範囲

②既存床の撤去並びに下地補修

ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ（接着剤とも）(6.2.2)
・下地モルタルとも（※図示の範囲　・除去範囲全て）
合成樹脂塗り床材の除去工法　・機械的除去工法　・目荒工法　(6.2.2)
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の室内　・　(6.2.2)

③既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修　(6.3.2)(4.4.9)
※図示　・モルタル塗り（塗り厚25mmを越える場合の補強　※行う　・行わない）

④木下地等

木材の品質　※改修標仕6.5.2による　・市販品　(6.5.2)(表6.5.2)(表6.5.3)
樹種　※改修標仕表6.5.4による　(6.5.2)(表6.5.4)
・代用樹種を適用しない箇所（　）
保存処理木材を使用する箇所（　）

5.集成材等

(6.5.2)

品名	規格・品質	芯材の樹種	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・たも　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	※１級　・２級	・	
・造作用集成材	※１級　・２級	・	
・化粧ばり造作用集成材	※１級　・２級	・	・

ホルムアルデヒド放散量の等級　※規制対象外　・第三種

⑥接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。(6.5.2)
※木工事に使用する接着剤
ﾕﾘｱ樹脂、ﾒﾗﾐﾝ樹脂、ﾌｪﾉｰﾙ樹脂、ﾚｿﾞﾙｼﾉｰﾙ樹脂又はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系防腐剤（以下「ﾕﾘｱ樹脂等」という。）を用いた接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量の等級　※規制対象外　・第三種

※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤　(6.8.2)(6.14.2)
壁紙施工用でん粉系接着剤、ﾕﾘｱ樹脂等を用いた接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量の等級
※規制対象外　・第三種

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-05
特記仕様書 -改修(2)	SCALE -
DATE 2024/03/15	SIGN

⑥ 内装改修工事

7. 防腐・防蟻処理

行う箇所（　　）
防腐処理　※行う（※図示　・　　）
防蟻処理　※行う（※図示　・　　）
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存（防腐、防蟻）剤は、監督職員の承諾するものとする。
クロルピリホスを含むものを添加しないこと。

8. 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床　(表6.5.11)

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合板張り	ホルムアルデヒド放散量の等級
			※規制対象外　・第三種
		・板張り	
床　板	※単層フローリング（標仕19.5.2による）		ホルムアルデヒド放散量の等級
			※規制対象外　・第三種
	・縁甲板		※ひのき　・

⑨ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　(6.6.2)(表6.6.1)
屋外（・19型　※25型）　屋内（※19型　・25型）
既存の埋込インサート　⊙使用する　・使用しない　(6.6.3)(6.6.4)
あと施工アンカーの引抜き試験　※行う　・行わない　(6.6.4)
※天井ふところ1.5m以上の場合は吊りボルトの補強を行う
耐震性を考慮した補強　※図示
屋外軒天井及びピロティー天井等における耐風圧性を考慮した補強　※図示

⑩ 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが５ｍを越える場合　※図示　・　(6.7.3)(表6.7.1)

11. ビニル床シート張り

(6.8.2)

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※ＮＣ　・	※無地　・マーブル柄	※2.5
・発泡層のあるもの		※柄物　・無地	
・			

工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　　）　(6.8.3)

⑫ ビニル床タイル張り

(6.8.2)

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	ＣＴ	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	ＣＴＳ	・	
・ホモジニアスビニル床タイル	ＨＴ	・	

⊙仕上表による

13. 帯電防止床タイル張り

(6.8.2)

種　類	厚さ(mm)	性　能
・コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値(JIS K6911による)1.0×1059Ω以下、
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	または、漏えい抵抗値(JIS A1454による)1.0
・	・	×105150Ω未満

⑭ 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）

ブロックパターンはJIS T 9251による　(6.8.2)
色彩は黄色を原則とする
屋　内　※塩化ビニル製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　　）
　　・レジンコンクリート製
屋　外　※レジンコンクリート製　⊙磁器又はせっ器質タイル（※300　・　　）

⑮ ビニル幅木

高さ（mm）　・60　・75　⊙100　(6.8.2)

⑯ 合成樹脂塗床

(6.10.3)(表6.10.3～表6.10.7)

種　別	仕　上　げ　の　種　類
・弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
⊙エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑） ・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級
※規制対象外　・第三種

17. フローリング張り

(6.11.2～6.11.7)(表6.11.1～表6.11.4)

種　別	材　種	工　法	仕上げ塗装等	備　考
※天然木化粧複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	※なら	※釘どめ工法(Ｃ種)	※塗装品	
・単層フローリング	・ひのき	・	・無塗装品	
	・	・	・	
	・	・	・	

ホルムアルデヒド放散量の等級　※規制対象外　・第三種

18. 畳敷き

(6.12.2)(6.12.3)(表6.12.1)

下　地　の　種　類	畳　の　種　別
改修標仕表6.5.9による床組	・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種(　　)
ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン)	※Ｃ種　・Ｄ種(　　)

畳表及び畳床は揮発生有機化合物含有量が少ないものとする

19. ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ床下地材

ノンフロンのもの
畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80　(不燃)
ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ類　厚さ(mm)　※80　・95　(不燃)

⑳ カーペット敷き

・織じゅうたん　(6.9.2)(6.9.3)(表6.9.1)

種　別	パイル形状	色　柄	備　考
・Ａ種	・カットパイル	※単一色（無地）	
・Ｂ種	・ループパイル	・柄物（標準品）	
・Ｃ種	・カット、ループパイル併用	・	

帯電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タフテッドカーペット　(6.9.2)(6.9.3)(表6.9.2)

パイル形状	パイル長（mm）	工　法	備　考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
・ループパイル	※4～6　・	・グリッパー工法	
・カット、ループ併用			

帯電性　※人体帯電圧3kV以下　・

⊙タイルカーペット　(6.9.2)(6.9.3)(表6.9.2)

パイル形状	種　類	種　類	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性　※人体帯電圧3kV以下（ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ敷設範囲）

㉑ せっこうボードその他ボード張り

(6.13.2)(表6.13.1)

種類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板	NW	・15　・20　・25　・
・硬質木片セメント板	NF	・15　・20　・25　・
⊙けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ２（無石綿）　⊙6　・8
⊙ロックウール化粧吸音板（内部用）	DR	※フラットタイプ（※9(不燃)　・12　・　）
		・凹凸タイプ（※12(不燃)　・15　・19　・　）
・ロックウール化粧吸音板（外部用）		※フラットタイプ（※9(不燃)　・12　・　）
		・凹凸タイプ（※12(不燃)　・15　・19　・　）
⊙せっこうボード	GB-R	⊙9.5（準不燃）　⊙12.5（不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
⊙シージングせっこうボード	GB-S	12.5（不燃）
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5（不燃）　・15.0（不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
⊙化粧せっこうボード	GB-D	9.5（不燃）
・化粧せっこうボード（木目）		12.5（不燃）　幅440程度 模様（※柾目　・板目）専用下地材付き
・普通合板（難燃処理）		・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
⊙メラミン樹脂化粧板	－	JIS K6903による　厚さ1.2
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ	MDF	・3　・7　・9　・12
・単板張りパーティクルボード		・無研磨板VN　・研磨板VS ・10　・12　・15　・18
・ハードボード（素地）	HB	・素地　・RM-HB　・RS-HB ・2.5　・3.5　・5　・7
・インシュレーションボード	IB	・T-IB　・A-IB　・S-IB ・9　・12　・15　・18

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量の等級
※規制対象外　・第三種

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材　[19.7.2][表9.6.1]
※適用する（・シーリング材　・ジョイントコンパウンド）
・適用しない

22. 吸音材

(表6.13.1)

種　類	JISの記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード１号	RW-B	※25　・
・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※25　・

㉓ 壁紙張り

(6.14.2)

施工箇所	壁紙の種類					防火性能の級別	備考
	紙	織物	ビニル	化学繊維	無機質		
仕上表による	・	・	⊙	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ　(6.14.3)(表7.2.4)(表7.2.7)
モルタル、プラスター面　※ＲＢ種　・ＲＡ種（施工箇所：　　）
せっこうボード面　※ＲＢ種　・ＲＡ種（施工箇所：　　）
壁紙のホルムアルデヒド放散量の等級
※規制対象外　・第三種

24. モルタル塗り材料

吸水調整材　(6.15.3)

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/mm2)	界面破断率(%)
表示値±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）

防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤（JIS A1404による試験）			
混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験において 始発　1時間以上 終結　10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下 294.0KPa/h

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。JIS R5201の試験9
既製目地材　※適用しない　・適用する

㉕ 陶磁器質タイル張り

タイルの種類　(6.16.3)

施工箇所	形状寸法	きじ			釉薬		役物		色		備考
	(mm)	磁器	せっ器	陶器	無釉	施釉	有	無	標準	特注	
仕上表による	9	⊙	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※　外壁タイル　・　　）
内壁タイル　※壁タイル接着剤張り　・積上げ張り

㉖ 断熱材

[19.9.2][19.9.3]

種　類	施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板	※２種ｂ	※一般部　・	※25　・　ノンフロンのもの
	※３種ｂ（ｽｷﾝ層付）	・接地部分　・	※25　・　ノンフロンのもの
⊙現場発泡断熱材	※Ａ種１	※断熱材補修部分　・一般部　・	―　※15　⊙30　ノンフロンのもの ※難燃性

ﾛｯｸｳｰﾙ、ｸﾞﾗｽｳｰﾙ、ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ、ｳﾚｱ樹脂又はﾒﾗﾐﾝ樹脂を使用した断熱材のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量の等級
※規制対象外　・第三種

27. 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	備　考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	準不燃品	※200	回り縁は樋付とし、製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	※塗装品		※300	
	・木目調		・100	

28. ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ

[20.2.2]

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材
事務室	⊙ﾊﾟﾈﾙ構法		⊙1.0G	⊙3,000N	・帯電防止床タイル
	・溝構法		・0.6G	⊙5,000N	⊙タイルカーペット
	・ﾊﾟﾈﾙ構法		・1.0G	・3,000N	・帯電防止床タイル
	・溝構法		・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット

耐震性能5000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの開発」の建設技術評価において評価を取得したものは同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は、各内容工事による
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル　配線用取り出し開口：パネル１枚につき40mm×80mm程度の開口１ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し　・有り（※固定式　・可変式：施工箇所は図示）

29. 可動間仕切

[20.2.3]

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
※パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	・	※鋼板 (※0.6　・0.8) ・	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・	・あり (　　) ・なし	・あり ・なし

30. 移動式間仕切

[20.2.4]

遮音性能による区分	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板・ ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ (36dB以上)		※鋼板・ ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は23、壁紙張りによる
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する

㉛ トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板（標準色　アルミ製コーナーエッジ付き）[20.2.5]
・ポリエステル樹脂系化粧板
足形状　※幅木型　・足金物型

㉜ 階段滑止め

材　種　防滑塗床材　[20.2.6]
幅(mm)　100

㉝ 階段手すり

種　別	施工箇所
※集成材クリアラッカー仕上げ	
・ビニル製ハンドレール（幅　約50mm）	

34. 黒板及びホワイトボード

[20.2.8]

種　類		寸法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付け		※緑　・黒	※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分け
			※緑　・黒	
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分け

㉟ 表示

衛突防止表示　※図示（市販品　※ステンレス製　径約30mm　・　　）[20.2.10]
（・両面　・片面　）
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

㊱ ブラインド

⊙既存再使用する（養生方法：仮設倉庫へ移動）　(2.3.1)(5.1.6)
・新設する　[20.2.12]

形　式	種　類	スラットの材種	スラットの幅(mm)
※横型	※ギア式　・コード式 操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・
・縦型	・１本操作コード式 ※２本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

㊲ ロールスクリーン

防炎性能　※有り　[20.2.13]

施工箇所	装　置		性　能	備　考
	電動	手引	(防炎性能)	
	・	・		
	・	・		
	・	・		

㊳ カーテン

⊙既存再使用する（養生方法：仮設倉庫へ移動）　(2.3.1)(5.1.6)
・新設する　[20.2.14]

施工箇所	形　式		装　置			名称品質	ひだの種類
	片引	引分	電動	ひも引	手引		
	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・		

㊴ カーテンレール

⊙既存再使用する　(5.1.6)
・新設する　[20.2.14]
材種　※アルミニウム製　・ステンレス製
形式　・片引き　・引分け（※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

40. ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ

・既存再使用する　(5.1.6)
・新設する
※市販品（アルミニウム製　押出し型材）
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×80　・120×150　・150×80
色彩　※Ｂ-1　・Ｂ-2（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
・図示

㊶ 天井点検口

材質　アルミニウム製（※額縁タイプ　⊙目地タイプ）

㊷ 床点検口

材質　アルミニウム製（受け枠　※アルミ製　・ステンレス製）

43. 鋼製書架及び物品棚

種　類	規　格　等	JISによる種類
・鋼製書架	JIS S1039の規格による	・1種　・2種　・3種
・鋼製物品棚		・4種　・5種　・6種

44. くつふきマット

市販品　材質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）
・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠共）
・ステンレス製（受枠共）

㊺ 流し台ユニット

種　類	寸法(L= mm)	適用内容	規格・品質
⊙流し台	※1200　・1500　・1800	トラップ付き	※優良住宅部品 （セクショナルキッチンⅠ型）
・コンロ台	※ 600　・ 700　・	バックガード　※有り	・
・つり戸棚	※1200　・ 900　・ 600		
・水切り棚	※1200　・ 900　・	ステンレス製　※１段式	※市販品

46. 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

47. 洗面カウンター

材種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石（仕様　※図示）
奥行き(mm)　・約450　・約600

48. 収納家具

材質　・　[12.2.2][19.7.2]
形状・寸法　※図示　・
合板類、MDF及びﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量の等級
※規制対象外　・第三種

49. 防煙垂れ壁

⊙固定式

材　質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備　考
※網入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付
⊙線入り磨板ガラス	・	・	

・可動式

種　類	材　質	高さ(mm)	備　考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

⑦ 塗装改修工事

①材料

屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火材料とする。
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級
※規制対象外　・第三種

②下地調整

(7.2.2～7.2.7)（表7.2.1～表7.2.7）

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・RA種　※RB種　・RC種	
鉄鋼面	・RA種　※RB種　・RC種	
亜鉛めっき面	・RA種　※RB種　・RC種	
亜鉛めっき面（鋼製建具）	・RA種　※RB種　・RC種	
モルタル、プラスター面	・RA種　※RB種　・RC種	
コンクリート、ＡＬＣパネル面	・RA種　※RB種　・RC種	(2-UE)、(2-ASE)及び(2-FUE)は除く
せっこうボード、その他ボード面	・RA種　※RB種　・RC種	

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修　(表7.2.4～表7.2.6)
※行わない　⊙行う（補修範囲及び補修方法は図示）

3. 合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り

新規鉄面の塗りの種別　・Ａ種　※Ｂ種　(7.4.4)(表7.4.2)

4. ﾌｪﾉｰﾙ酸樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り

新規木部の塗りの種別　・Ａ種　※Ｂ種　(7.5.2)(表7.5.1)
新規鉄面、亜鉛めっき面の塗りの種別　・Ａ種　※Ｂ種　(7.5.3)(表7.5.2)

5. 2液形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｴﾅﾒﾙ塗り

(7.8.2～7.8.4)(表7.8.1～表7.8.3)

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※Ａ種　・Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種	
亜鉛めっき面	※Ａ種　・Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種	
コンクリート及び押出成形セメント板面	※Ａ種　・Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種	

⑥ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り

新規鋼製建具　※Ｂ種　(7.9.3)(表7.9.2)(表7.9.3)

⑦常温乾燥形ﾌｯ素樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り

(7.10.2～7.10.4)(表7.10.1～表7.10.3)

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※Ａ種　・Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種	
亜鉛めっき面	※Ａ種　・Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種	
コンクリート及び押出成形セメント板面	※Ａ種　・Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種	

⑧つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り

新規の塗りの種別　・Ａ種　※Ｂ種　(7.11.2)(表7.11.1)

⑨合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り

新規の塗りの種別　・Ａ種　※Ｂ種　(7.12.2)(表7.12.1)

10. 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗り

新規の塗りの種別　・Ａ種　※Ｂ種　(7.14.2)(表7.14.1)
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種　別
合成樹脂エマルション模様塗り	※ＲＢ種	※Ａ種
	・ＲＣ種	※Ｃ－３種
平滑な塗料塗り	※ＲＢ種	・Ａ種　・Ｂ種
	・ＲＣ種	・Ｃ－１種　・Ｃ－２種

11. ステイン塗り（ＯＳ）

※ピグメントステイン塗り　・オイルステイン塗り　(7.12.2)(表7.12.1)

12. ｸﾘﾔﾗｯｶｰ塗り（ＣＬ）

新規の塗りの種別　・Ａ種　※Ｂ種　(7.6.2)(表7.6.1)

令和6年度(債務負担行為) 豊村近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

特記仕様書 -改修(3)

NO. A-06
SCALE －
DATE 2024/03/15
SIGN

⑧-1 耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事

①鉄筋の種類 (8.2.1)(表8.2.1)

種類の記号	呼び名（mm）
⊙ＳＤ２９５	※Ｄ１６以下　・
⊙ＳＤ３４５	※Ｄ１９以上　・
・	

2.溶接金網 (8.2.2)

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法（たて×よこ）	鉄線の径または呼び(mm)	規　格
※100×100	※6.0	JIS G3551による
・	・	

③鉄筋の継手 (8.3.4)(表8.3.3)

継手方法

継手方法	呼び名(mm)	適用箇所
・ガス圧接		
⊙重ね継手		

④鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ (8.3.5)(表8.3.6)

最小かぶり厚さは目地底から算定する。

・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施　工　箇　所	改修標仕表8.3.6の値に加える寸法（mm）
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※１０　・

⑤各部の配筋

柱の配筋

帯筋の組立ての形の種別　・Ｈ形　・Ｗ－Ｉ形　※Ｗ－Ⅲ形 (図8.3.4)

6.ガス圧接

圧接部の確認試験　※超音波探傷試験　・引張試験 (8.3.9)

⑦ｺﾝｸﾘｰﾄの種別及び強度

ﾚﾃﾞｨｰﾐｷｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄの種別　※Ⅰ類　・Ⅱ類 (8.1.3)(表8.1.1)

普通ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度 (8.1.3)

設計基準強度Ｆc(N/mm2)	適用箇所
※21	
⊙24	

軽量ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度 (8.9.1)(表8.9.1)

設計基準強度Ｆc(N/mm2)	気乾単位容積質量(t/m3)	種　別	適用箇所
※21			
・			

⑧ｺﾝｸﾘｰﾄの品質

スランプ (8.1.4)

スランプ(cm)	適用箇所
※18	
・	

⑨普通ｺﾝｸﾘｰﾄ

ｾﾒﾝﾄの種類 (8.2.5)(表8.2.3)

※普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ又は混合ｾﾒﾝﾄのＡ種

・高炉ｾﾒﾝﾄＢ種

普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄは、JIS R5210に表示された規定のほか、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋ｺﾝｸﾘｰﾄに用いる場合を除く。

水和熱	7d	352J/g以下
	28d	402J/g以下

混和材料 (8.2.5)(8.5.8)

混和材料の種類　※混和剤　・混和材

10.無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ [6.14.3]

種　類	設計基準強度(N/mm2)	スランプ(cm)	粗骨材の最大寸法	適用箇所
※普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	※18	※15又は18	※25mm	
・軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ	・	・	・20mm	

11.高い強度のｺﾝｸﾘｰﾄ (8.9.1)(8.9.2)(8.9.4)

設計基準強度（N/mm2）

・２７　・３０　・３３　・３６

適用箇所（　　）

混和材料 (8.9.3)

※混和剤（※高性能ＡＥ減水剤標準形又は遅延形　・　　）

⑫.鉄骨製作工場 (8.1.5)

製作工場の加工能力

・監督職員の承諾する製作業者

※建築基準法第７７条の４５第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鋲構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（　Ｒ）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。

⑬.入熱、パス間温度の溶接条件

適用箇所　※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

・図示

鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

※図示

⑭.施工管理技術者

※適用する　・適用しない [7.1.4]

⑮.鋼材

鋼材の材質 (8.2.7)(表8.2.5)

種類の記号	使用箇所	規格等
ＳＳ４００	図示による	※ JIS規格品
		※ JIS規格品
		※ JIS規格品

16.スカラップ

※改良型スカラップ　・

⑰.高力ボルト

高力ボルトの適用 (8.2.8)

※トルシア形高力ボルト　・ＪＩＳ形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト

⑱.鉄骨工作仮組

・行う　※行わない (8.12.9)

⑲.溶接部の試験

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (8.14.11)(8.14.12)

※行う

⑳.錆止め塗装

耐火被覆材の接着する面の塗装 (8.16.3)

・行う（※JIS K5662　・　　）　※行わない

21.耐火被覆材 (8.17.2~8.17.7)

種　別		所要性能及び適用構造区分
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
	・	
・耐火板張り		

㉒.既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面の目荒し

適用範囲 (8.19.3)(8.20.3)

※既存ｺﾝｸﾘｰﾄとの打継ぎ面

※既存ｺﾝｸﾘｰﾄとﾓﾙﾀﾙ又はｸﾞﾗｳﾄ材の充填部の接合面

・

目荒らしの範囲

※柱・梁面　打継ぎ面又は接合面全面の３／４以上

※壁面　打継ぎ面又は接合面全面の１／３程度

目荒らしの程度

※平均深さ5～10mm（最大深さ10～15mm）程度の凹部を施す

㉓.ﾓﾙﾀﾙ及びｸﾞﾗｳﾄ材

柱底等の均しﾓﾙﾀﾙ [7.10.3][表7.10.2](8.2.10)

※無収縮モルタル　・標仕表7.10.2による種

ｸﾞﾗｳﾄ材　※無収縮ｸﾞﾗｳﾄ材　・ (8.2.10)

無収縮ﾓﾙﾀﾙ及び無収縮ｸﾞﾗｳﾄ材の仕様は以下による

無収縮グラウト材　ﾌﾟﾚﾐｯｸｽ及び現場調合形

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通又は早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用させる砂の乾燥状態については規定しない。

無収縮グラウトの品質及び試験方法（現場調合形においては標準使用量・配合値）

コンシステンシー	Ｊロートによる流下時間 練混ぜ完了から３分以内の値は　８±２秒
ブリージング	練混ぜ２時間後のブリージング率：２．０%以下
凝結時間	凝結開始時間　１時間以上 終結時間　１０時間以内
無収縮性	材齢７日　収縮しないこと
圧縮強度	材齢３日　25.0 N／mm²以上 材齢２８日　45.0 N／mm²以上
付着強度	材齢２８日　2.5 N／mm²以上
塩化物量	０．３０kg／m53以下
試験方法	(1)日本道路公団規格（JHS）「無収縮ﾓﾙﾀﾙ品質管理試験方法」312-1999による。 なお、ﾌﾟﾚﾐｯｸｽ形と現場調合形で混和材が同一の場合はﾌﾟﾚﾐｯｸｽのみ試験を行う。 (2)塩化物量は、JIS A 5308「ﾚﾃﾞｨｰﾐｷｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ」の9.6塩化物含有量の試験方法による。

無収縮モルタル

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通又は早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。
配合比	（各重量比） （セメント＋混和材）：砂＝１：１

無収縮モルタルの品質及び試験方法

コンシステンシー	Ｊロートによる流下時間 練混ぜ完了から３分以内の値は　８±２秒
ブリージング	練混ぜ２時間後のブリージング率：２．０%以下
凝結時間	凝結開始時間　１時間以上 終結時間　１０時間以内
無収縮性	材齢７日　収縮しないこと
圧縮強度	材齢３日　25.0 N／mm²以上 材齢２８日　45.0 N／mm²以上
付着強度	材齢２８日　3.0 N／mm²以上
塩化物量	０．３０kg／m53以下
試験方法	(1)日本道路公団規格（JHS）「無収縮ﾓﾙﾀﾙ品質管理試験方法」312-1999による。 (2)塩化物量は、JIS A 5308「ﾚﾃﾞｨｰﾐｷｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ」の9.6塩化物含有量の試験方法による。

㉔.あと施工ｱﾝｶｰの材料 (8.2.4)

あと施工アンカーの材料

・金属系アンカー（耐震補強用）

※接着系アンカー

接着剤の品質　※有機系　・

アンカー筋の種類　※鉄筋コンクリート用棒鋼　・全ネジボルト

カプセル型の施工による分類　※回転・打撃式　・打込み式

㉕.あと施工ｱﾝｶｰの穿孔

穿孔前の埋込み配管等の探査 (8.11.2)

範囲　※あと施工アンカー施工部分全て　・図示

方法　※探査器により探査し、配管等の位置の墨出を行う　・はつり出しによる

㉖.あと施工ｱﾝｶｰの施工確認試験

アンカー筋　※行う（確認強度は図示による） (8.11.5)

・行わない

27.断熱材兼用型枠

種　類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・断熱材兼用型枠	・木質系 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ系 ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系	※壁（図示の範囲） ・	※４０以下 ・	断熱抵抗 =厚さ/熱伝導率 =0.676(m52・k{/w)以上
		製造所　建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

⑧-2 耐震改修工事

1.打増し壁に用いるシアコネクタ

現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ (8.2.4)

種類　※「23　あと施工アンカーの材料」による

間隔(mm)　※500×500　・図示

②増設・補強工事のコンクリートの打込み

工法の種類 (8.19.8)(8.21.5)

流し込み工法または圧入工法

3.柱補強

溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.21.5)

柱頭柱脚の隙間部間の型枠

※ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む　・図示

4.連続繊維シート巻き

材料・形状 (8.2.11)

採用した工法の規定を満足するもの

材質

引張り強度（含浸硬化後）

・2500N/mm52以上　・3000N/mm52以上

ヤング係数（含浸硬化後）

・2.35×1055N/mm52程度　・2.00×1055N/mm52程度

工法 (8.21.7)

※（財）日本建築防災協会の評価を受けた工法

・

下地調整

仕上げモルタルの除去 (8.21.7)

※行う　・行わない

柱の隅角部の面取り (8.21.7)

※工法の評価内容による

⑤スリットの施工

スリット部の配管等の探査 (8.22.2)

※探査機により探査し、配管等の位置の墨出を行う

・はつり出し

⑨環境配慮（グリーン）改修工事

1.アスベスト含有分析調査

分析による確認　・下表による　・図示 (9.1.1)

材料名	調査方法（1材料あたりの試料数）	分析を行う箇所	備　考
	※定性分析（※3　・　） ・定量分析（※3　・　）	※図示 ・仕上表による	
	※定性分析（※3　・　） ・定量分析（※3　・　）	※図示 ・仕上表による	

分析方法

JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による

分析結果については、監督職員に提出すること。

2.アスベスト粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)

測定場所　※図示

測定点　※図示

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K3850-1空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

3.ｱｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材の除去（レベル1）

アスベスト含有吹付け材の除去方法 (9.1.3)

煤体共仕6.3.2によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。

除去物及び汚染物質等

※密封処理（二重袋梱包）

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。

4.ｱｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の除去（レベル2）

アスベスト含有保温材等の除去方法 (9.1.4)

煤体共仕6.4.2によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。

除去物及び汚染物質等

※密封処理（二重袋梱包）

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。

⑤ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板の除去（レベル3）

アスベスト含有成形板の除去方法 (9.1.5)

解体共仕6.5.2によるものとする。

⑥外断熱改修工事

断熱材の種類 (9.3.2)

材料名			厚さ(mm)
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ（ﾉﾝﾌﾛﾝ）	・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ（ﾉﾝﾌﾛﾝ）		
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ（ﾉﾝﾌﾛﾝ）	・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ		
・ﾛｯｸｳｰﾙ	・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	⊙ＥＰＳ	65（巾木45）

外装材の種類 (9.3.2)

⊙高耐久ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ系塗材	防火性能	

既存外装の仕上材の撤去　・有り　⊙なし (9.3.3)

下地面の清掃及び下地調整　※断熱材製造所の指定する仕様

通気層　・有り（　　mm）　⊙なし (9.3.4)

試験施工、工法及び品質は、確認できる試料を提出し監督員の承諾を受ける

特記なき事項は、製造所の仕様による

7.ガラス改修工事

複層ガラスの厚さ　建具表による (9.4.2)

断熱性・日射遮へい性による区分　※Ｕ３－１　・Ｕ３－２

8.屋上緑化改修工事

植栽基盤及び材料 (9.6.1)

・屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の樹種並びに種類等　※図示　・

9.透水性アスファルト舗装改修工事

舗装材料 (9.7.4)(表9.7.5)

※再生クラッシャラン（ＲＣ－４０）

・クラシャラン（Ｃ－４０）又はクラッシャランスラグ（ＣＳ－４０）

透水性の高いものを使用する

遮断層及び凍上抑制層の材料

・遮断層　※川砂、海砂及び良質な山砂　・ (9.7.3)

厚さは図示

・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラシャラン　・切り込み砂利　・砂

厚さは図示

盛土に用いる材料 (9.7.3)(表9.7.1)

・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種

路床安定処理

※添加材料による安定処理 (9.7.3)(表9.7.3)

種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントＢ種　・高炉セメントＢ種

・生石灰（　　）　・消石灰（　　）

添加量　Kg/m53（目標ＣＢＲ　※５以上　・　　）

路床土の支持力比試験　※行う（※乱した土　・乱されない土）

路床締固め度の試験　※行う

アスファルト混合物　車道部　※改質アスファルトⅠ型 (9.7.6)(表9.7.7)

歩道部　※ストレートアスファルト

透水性アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　・行う (9.7.9)

⑩工事現場の環境改善・建設副産物及びISO14001関係

①工事現場の環境改善について

工事現場のイメージアップ

⊙仮囲い周辺の美化　・

地域住民への情報提供

・完成予想図の設置　・情報掲示板の設置　・パンフレットの作成

地域住民とのコミュニケーション

・現場見学会の開催　・

住民に対する災害防止関係

⊙現場出入口周辺への誘導員の配備　・

②産業廃棄物の取扱いについて

(1)解体工事を伴う場合は、別添の解体工事仕様書によること。

(2)廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。

(3)廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を革として許可を取得している者に委託すること。また、施行前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理革の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図を監督員に提出すること。

(4)しゅん工したときは、積込み状況の写真、処分状況の写真、ﾏﾆﾌｪｽﾄA1票、B2票、D票並びにE票の写しを監督員に提出すること。

（ B2票及びD票はﾏﾆﾌｪｽﾄ交付90日（特別管理産業廃棄物は60日）、E票は180日以内に提出するものとし、工期内に提出できない場合は、監督員と協議すること。）

③再生資源利用促進計画書等について

「再生資源の利用の促進に関する法律」（以下「リサイクル法」という。）に基づき、請負者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、監督員の承諾を受けること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること。

対象工事：リサイクル法に規定する一定規模以上の工事又は工事規模が１千万円以上の工事

④ＩＳＯ 14001関係

(1)現場で使用する機械は、低騒音、低振動、低排ガス型施工機械とすること。

(2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。

(3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。

(4)地盤改良によって、周辺への水質、土壌など地下水に影響を与えるおそれがある場合は監督職員と協議を行うこと。

「参考資料」：平成12年３月24日付、建設省技調発第49号、同営建発第10号（改正平成13年4月20日）

「セメント及びセメント系固化材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置について」

(5)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

⑤過積載の禁止

資機材の運搬にあたっては、運搬車両の最大積載量を把握し過積載を行わないよう計画すること。また、飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。

⑪その他

①保険等

(1)本建築引渡しまで受注者は工事目的物、工事材料等について火災保険を掛けなければならない。

(2)工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その負担は受注者とする。

②その他

(1)暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

(2)　工事請負額が５００万円以上の工事については、工事実績情報（工事カルテ）の登録をすること。

（ただし工事請負代金額５００万円以上２，５００万円未満の工事については、受注時・訂正時のみ登録するものとする。）

登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に（財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。

なお、変更時と完成時の間が１０日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時　契約締結後１０日以内

② 登録内容の変更時　変更契約締結後１０日以内

③ 工事完成時　工事完成後１０日以内

（　連絡先：（財）日本建設情報総合センター　℡03-3505-2973　）

(3)下請負契約締結後、速やかに下請人通知書を提出すること。

(4)現場施行体制において、受注者は施工体制台帳を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、監督員に写しを提出すること。

また、工事現場における施工の分担関係を明示した「施工体系図」を作成し、これを工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

※施工体制台帳に記載すべき内容

・建設業法施行規則　第１４条の２第１項に掲げる事項

・安全衛生責任者名、安全衛生推進者名、雇用管理責任者名

(5)下記業種等については、建設工事に関連性をもち、元請負人の指揮、調整のもと行われるものであるため施工体制台帳、施工体系図、契約書及び下請負人通知書等整備すること。また、下記業種同等と考えられるものについても、同様に整備すること。

・交通整理員、ガードマン

・産業廃棄物処理業者

・ダンプ運転（１人殻方のダンプ運転手）

・１日で完了する請負契約、小額な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約

・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等日々の単価契約で行っているもの

・クレーン等の重機オペレーターを機械とー緒にリース会社から借上げる場合

・他の会社から応援者を借上げ、請負契約を締結した場合（臨時雇用関係である場合を除く）

(6)本工事について、公共工事労務費調査、資材調査、建設副産物実態調査等の調査依頼を受けた場合は、これに協力すること。

(7)旅行途中において、検査担当職員及び発注機関の長が指定する職員による、抜打ち検査を実施する場合においては、これに協力すること。

令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO.	A-07
特記仕様書 -改修(4)	SCALE	-
	DATE	2024/03/15
	SIGN	

解体工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書　平成18年版」（以下、「解体共仕」という。）により、解体共仕に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成22年版」（以下「標仕」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成22年版」（以下「改修標仕」という。）による。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に◯ 印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。

⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の（．．）内の表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。

章	項　目	特記事項

① 一般共通事項

①適用基準等

⊙工事写真の撮り方（改訂第3版）建築編　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
⊙安曇野市建築工事の手引き　安曇野市企画財政部監修
⊙建築物解体工事共通仕様書・同解説　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
⊙公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
⊙建設副産物適正処理推進要綱(以下「推進要綱」平成10年12月1日建設省経建発第333号
⊙建設工事公衆災害防止対策要綱　建築工事編　平成5年1月12日建設省経建発第1号
⊙長野県建設リサイクル推進指針

②電気保安技術者
※適用する　・適用しない　(1.3.3)

3. 施工条件明示項目
・　(1.3.5)

4. 引渡しを要するもの
※引渡しを要するもの　(1.3.10)

名称	仕様等	備考

・現場説明書による

⑤解体工事施工技士
本工事を適切に施工管理するため、解体工事施工技士の選任等に配慮すること。

② 仮設工事

1. 騒音・粉塵等の対策
・防音パネル　・防音シート　・　(2.2.1)
設置範囲及び高さ
※図示　・
散水方法　高圧ポンプ等（散水員1名以上常駐）　・

②監督員事務所
※設ける　・設けない　(2.3.1)
規模　※10㎡程度　・20㎡程度　・（　）㎡程度

③工事用水
構内既存の施設　⊙利用できる（※有償　・無償）　※利用できない

④工事用電力
構内既存の施設　⊙利用できる（※有償　・無償）　※利用できない

③ 解体施工

1. 杭の解体
・行う　・行わない　(3.8.2)
杭の解体工法
・引抜き工法　・破砕による解体

2. 樹木等
樹木の伐採抜根及び移植　(3.9.1)
・行う（※図示　・　）　・行わない

3. 地下埋設物・埋設配管
地下埋設物及び埋設配管の解体　(3.10.1)
・行う（※図示　建築 機械設備 電気設備図面参照　・　）　・行わない

④設備機器等
解体事前処理（油類タンク）
※図示による
⊙解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。必要に応じて残油を抜き取り、燃料を土壌に流出させないように注意する。
・燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。
解体事前処理（冷媒）
※図示による
・冷媒を屋外機にポンプダウンした後、撤去を行う機器

図面番号	記号

・冷媒を回収した後、撤去を行う機器

図面番号	記号

5. 屋外設備等
電柱の撤去　・行う（※図示　・　）　・行わない
外灯の撤去　・行う（※図示　・　）　・行わない

6. 解体後の整地
解体後の埋戻し及び盛土　(3.11.1)
・行う
整地高さ
・現状GL　・行う（※図示　・　）
埋戻し及び盛土の材料
・山砂の類　・他現場の建設発生土の中の良質土　・再生コンクリート砂
埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。
・行わない

⑦機械設備及び電気設備の切替・遮断等
機械設備（給排水管設備、消化設備、ガス設備等）及び電気設備（構内配電線等）の切替・遮断等の工事を行う者
※請負者が同工事の許可業者でない場合は、同工事の許可を取得している者に委託する。
（長野県建設工事入札参加資格者のうちから監督職員と協議して委託する）

④ 建設廃棄物の処理

①再資源化等　(4.4.1)

建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設等
⊙コンクリート	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による
⊙ｺﾝｸﾘｰﾄ及び鉄からなる建設資材（ＰＣ板、ｺﾝｸﾘｰﾄ平板、ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品）	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による
⊙木材	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による
⊙木材（縮減）	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による
⊙アスファルト	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による
⊙金属類	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による
⊙小形二次電池	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による
⊙蛍光ランプ、ＨＩＤランプ	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による
⊙硬質塩化ビニル管、継手	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による

2. 現場利用する再資源化された建設廃棄物　(4.4.1)

名称	仕様	数量	備考

3. 産業廃棄物広域認定制度の活用　(4.4.2)

種類	所在地
	・図示　・現場説明書による
	・図示　・現場説明書による

④最終処分する建設廃棄物　(4.4.4)

名称	最終処分場の種類	数量	備考
⊙廃石膏ボード（ｱｽﾍﾞｽﾄ含有の物を含む）	※管理型　・		
⊙ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板	※安定型　・		

最終処分施設
※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による

5. 処理に注意を要する建設廃棄物　(4.5.1)

名称	仕様	数量	備考
・特定廃石膏ボード			
・CCA処理木材			

最終処分施設
※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による

①ひ素混入石膏ボード
商品名：タイガーボード
工場名：小名浜吉野石膏㈱いわき工場　裏面表示マークは「吉野石膏OY」
製造期間：昭和48年3月～平成9年4月
JIS許可番号：277057、277058
ロット番号：0373〇〇〇〇〇〇〇〇〇～0497〇〇〇〇〇〇〇〇〇

②カドミウム混入石膏ボード
商品名：アドラせっこうボード
工場名：日東石膏ボード㈱八戸工場　裏面表示マークは「日東石膏ボード株式会社」
製造期間：平成4年10月～平成9年4月
JIS許可番号：265023、265024
ロット番号：A4Y410～A9430

5 特別管理産業廃棄物等の処理

1. 施工調査　(5.1.3)

分析調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類	採取する部位又は箇所等	採取する数量	備考
・	・図示 ・　箇所		
・	・図示 ・　箇所		

PCB含有シーリング分析調査　(5.4.4)
・第一次判定
現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。
・第二次判定
専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。

絶縁油のPCB含有量の分析は、「特別監理一般廃棄物及び特別監理産業廃棄物に係る基準の検討方法（平成4年7月3日厚生省告示第192号）又は「絶縁油中のﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾌｪﾆﾙの分析方法規定（電気技術規定JEAC1201-1991）」により行う。

焼却炉のダイオキシン類汚染物質の調査は、「廃棄物焼却施設内作業におけるﾀﾞｲｵｷｼﾝ類ばく露防止対策要綱（平成13年4月25日付基安発第20号）」により行う。

2. 特別管理産業廃棄物の処理　(5.4.1)

特別管理産業廃棄物の種類	仕様	数量	備考
・廃石綿			
・廃油			
・廃酸			
・廃アルカリ			

処理施設
※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による

3. PCBを含む機器類
引渡しを要する機器類　(5.4.3)
・

4. PCB含有シーリング材
撤去方法　(5.4.4)
※「標準施工要領書（日本シーリング工事業共同組合連合会/日本シーリング材工業会）」による。
・
撤去範囲　※図示　・

5. 特殊な建設副産物の改修及び処分　(5.5.1)

回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称	保管場所の名称
・フロン		※監督員の承諾する業者	※監督員の承諾する場所
・ハロン		※監督員の承諾する業者	※監督員の承諾する場所
・イオン化式感知器		※監督員の承諾する業者	※監督員の承諾する場所
・六ふっ化硫黄（SF6）		※監督員の承諾する業者	※監督員の承諾する場所
		※監督員の承諾する業者	※監督員の承諾する場所

6 アスベスト含有建材の除去等

1. アスベスト含有分析調査
分析による確認　・下表による　・図示　(6.1.3)

材料名	調査方法（1材料あたりの試料数）	分析を行う箇所	備考
	※定性分析（※3　・　） ・定量分析（※3　・　）	※図示 ・仕上表による	
	※定性分析（※3　・　） ・定量分析（※3　・　）	※図示 ・仕上表による	
	※定性分析（※3　・　） ・定量分析（※3　・　）	※図示 ・仕上表による	
	※定性分析（※3　・　） ・定量分析（※3　・　）	※図示 ・仕上表による	

分析方法
JIS A1481「建材製品中のｱｽﾍﾞｽﾄ含有率測定方法」
分析結果については、監督職員に提出すること。

2. ｱｽﾍﾞｽﾄ粉じん濃度測定　(6.1.4)
アスベスト粉じん濃度測定
測定場所　※図示
測定点　※図示

アスベスト粉じん濃度測定方法
アスベスト粉じん濃度測定は
電子顕微鏡法
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

3. ｱｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材の除去（レベル1）　(6.3.2)
アスベスト含有吹付け材の除去方法
解体共仕6.3.2によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。
除去物及び汚染物質等
※密封処理（二重袋梱包）
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。

4. ｱｽﾍﾞｽﾄ含有断熱材等の除去（レベル2）　(6.4.2)
アスベスト含有保温材等の除去方法
解体共仕6.4.2によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。
除去物及び汚染物質等
※密封処理（二重袋梱包）
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。

⑤ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成型板の除去（レベル3）　(6.5.2)
アスベスト含有成形板の除去方法
解体共仕6.5.2によるものとする。

⑦ その他

①工事現場の環境改善について
工事現場のイメージアップ
⊙仮囲い周辺の美化　・
地域住民への情報提供
・情報掲示板の設置　・パンフレットの作成
住民に対する災害防止関係
⊙現場出入口周辺への誘導員の配備　・

②産業廃棄物の取扱いについて
産業廃棄物処理状況記録及び写真を次のように整備すること。
（ⅰ）搬出された産業廃棄物の処理状況記仟
①　処理の全部又は一部を委託した場合
ア　収集運搬車両ごとの産業廃棄物管理票（以下「ﾏﾆｭﾌｪｽﾄ」という。）A票、B2票、D票及びE票（建Ⅱの場合はB4票を加える。）の写し、建設廃棄物処理委託契約書の写し並びに搬出解体材の数量集計表
イ　最終処分場の案内図及び処分状況の写真（中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真）
②　請負者が自ら処理した場合
ア　ﾏﾆｭﾌｪｽﾄに準じた解体材の種類ごとの数量集計票
イ　最終処分場の案内図及び処分状況の写真（中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真）
③　特別管理産業廃棄物の場合
①又は②に準ずる。ただし産業廃棄物管理票とあるを特別管理産業廃棄物管理票と読み替える。
（ⅱ）産業廃棄物の再資源化実施状況記仟
再生資源利用促進実施書に記載する事項
発生量、搬出先名称、区分、施工条件の内容、搬出先名称、運搬距離、搬出先の種類等
（ⅲ）写逝
①　工事着手前の現場全景、周辺及び対象建築物等の現況写真
②　仮設物、安全措置状況及び工程写真（除却作業状況、埋設配管等及び基礎類は入念に撮影すること。）
③　使用機械類
④　産業廃棄物収集運搬車両への積込み時及び積降し時の写真
⑤　しゅん工時の全景写真（着手時と同一アングルとする。）
⑥　その他監督職員の指示による

③収集運搬車両
解体工事の施工に伴う解体材、土砂及び工事用資材等（以下「解体材等」という）を収集及び運搬する車両の使用に当たっては、交通事故及び交通災害の防止に努めるとともに次の事項を遵守する。
①　ﾔﾝﾀﾞｸを委託する場合は許可を得た車両を使用させ、許可証の写しを常備させる。
②　廃棄物の性状に応じ、飛散、流失しない適切な構造のﾔﾝﾀﾞｸ車両を使用する。
③　積載重量制限を超えて解体材等を積み込まず、また積み込ませない。
④　さし枠装着車、不表示車等に解体材を積み込まず、また積み込ませない。
⑤　ｲCﾔ又は車体に廃棄物を付着させたままのﾔﾝﾀﾞｸをさせないよう、洗車、清掃を行う。
⑥　ﾔﾝﾀﾞｸ経路の選定として窺s上の安全と街路周辺環境に配慮する。

4. 騒音、振動調査
調査の有無　※無　・有
調査方法については設計図書による。

5. 土壌調査
調査項目　・土壌調査　・土壌調査（含有量試験）　・
土壌汚染に係る環境基準に準拠すること。
調査箇所については設計図書による。

⑥官公庁その他への届出手続等
(1)工事の着手、施工、完成にあたり、関係機関への必要な手続等を遅延なく行う。
(2)前項に規定する届出手続等を行うにあたっては、届出内容についてあらかじめ監督職員に報告する。

⑦疑義に関する協議等
設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督職員と協議する。

8. 文化財その他の埋蔵物
工事の施工にあたり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督職員に報告する。その後の措置については、監督職員の指示に従う。また、当該埋蔵物の発見者としての権利は、法律の定めるところにより、発注者が保有する。

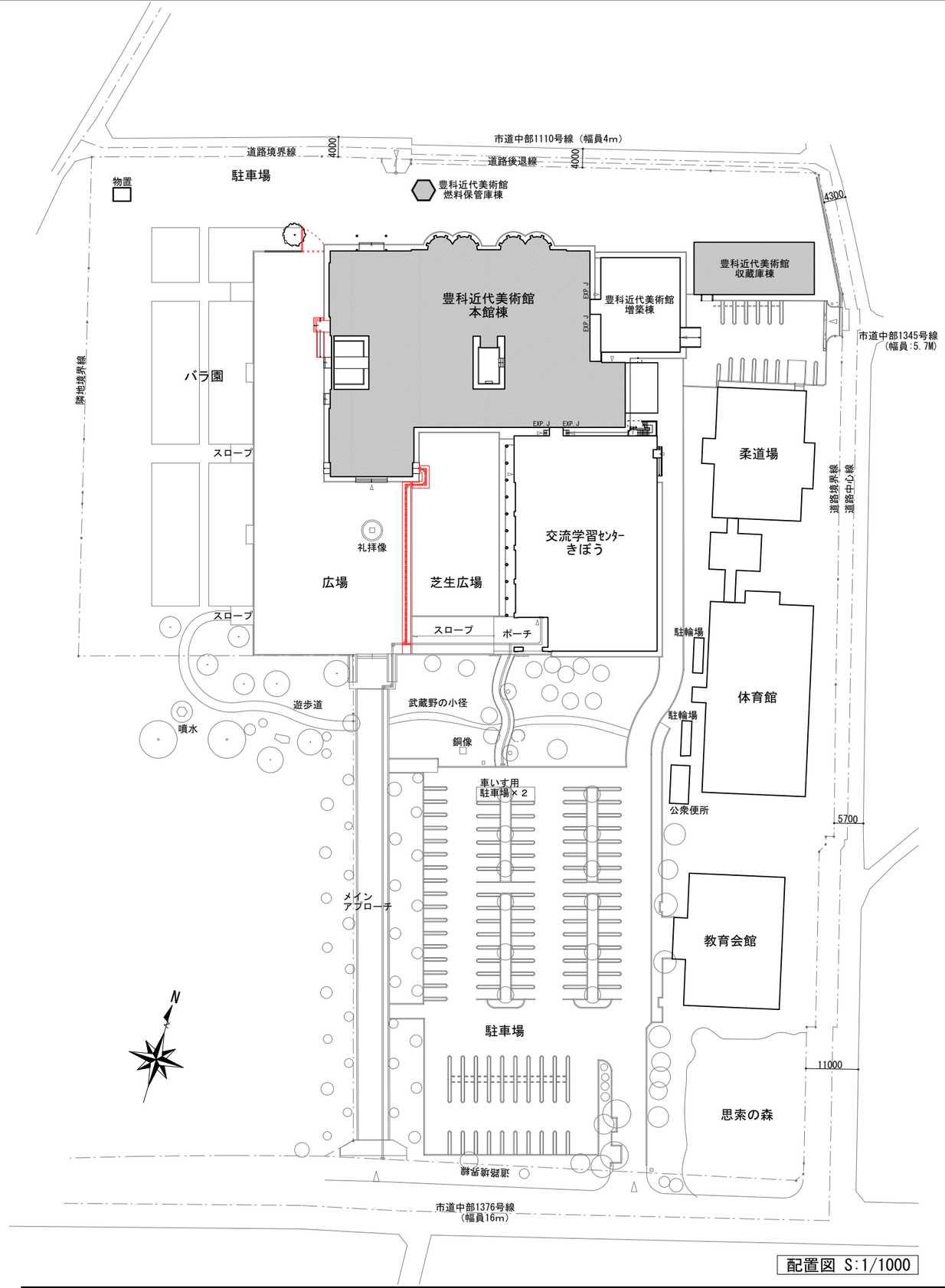
9. 埋蔵文化財調査
掘削作業時の教育委員会等の立会い　・有　・無
埋蔵文化財調査の時期　・解体工事終了後　・解体工事中

⑩. 工事実績情報（工事ｶﾙﾃ）の登録
工事請負額が５００万円以上の工事については、工事実績情報（工事カルテ）の登録をすること。
(ただし工事請負代金額５００万円以上２，５００万円未満の工事については、受注時・訂正時のみ登録するものとする。)
登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に(財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録ﾌ手続きを行うとともに、登録ｳれたことを証明する資料を監督職員に提出する。
なお、変更時と完成時の間が１０日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。
①　工事受注時　契約締結後１０日以内
②　登録内容の変更時　変更契約締結後１０日以内
③　工事完成時　工事完成後１０日以内
（　連絡先：（財）日本建設情報総合センター　Tel03-3505-2973　）

⑪. 保険等
工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その負担は請負者とする。

⑫. その他
(1) 暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。
(2)下請負契約締結後、速やかに下請負人通知書を提出すること。
(3) 下記業種等については、建設工事に関連性をもち、元請負人の指揮、調整のもと行われるものであるため施工体制台帳、施工体系図、契約書及び下請負人通知書等整備すること。また、下記業種同等と考えられるものについても、同様に整備すること。
・交通整理員、ガードマン
・産業廃棄物処理業者
・ダンプ運転（１人親方のダンプ運転手）
・１日で完了する請負契約、小額な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約
・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等日々の単価契約で行っているもの
・クレーン等の重機オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合
・他の会社から応援者を借上げ、請負契約を締結した場合（臨時雇用関係である場合を除く）
(4) 本工事について、公共工事労務費調査、資材調査、建設副産物実態調査等県から調査依頼があった場合は、これに協力すること。
(5) 施行途中において、会計局検査課職員及び発注機関の長が指定する職員による、抜打ち検査を実施する場合においては、これに協力すること。

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-08
特記仕様書 -解体	SCALE -
DATE 2024/03/15	SIGN



配置図 S:1/1000

概要書

施設名称/施設番号		安曇野市豊科近代美術館			
主要用途/主管課		博物館・図書館・集会場 / 文化課			
所在地		安曇野市豊科5609番地		土地所有者	安曇野市
開館年月日		平成4年4月18日		借地面積/所有者	
配置形態		Ｌ字型配置		建築棟数	建築物数:9 美術館棟数:3棟
敷地面積		27,679.07㎡			
建築面積		本館棟：2,223.75㎡ ／収蔵庫棟：280.59㎡ ／燃料保管庫棟：13.51㎡			
床面積		本館棟：2,596.67+9.95(風除室)=2,606.62㎡ ／収蔵庫棟：280.59㎡ ／燃料保管庫棟：13.51㎡			
建築規制	用途地域	第二種住居地域			
	建蔽率	40%			
	容積率	200%			
	高度地区/防火地区	指定なし / 指定なし			
	その他の地域地区等	法22条区域			
	日影規制	4m-4ｈ/2.5ｈ			
	防火対象物の種類	本館棟：(8)項 図書館・博物館・美術館			
周辺道路の状況	区分	基準法の区分	管理者･名称	道路幅員	接道長さ
	東	法42条1号1項	安曇野市	5.7m	219m
	南	法42条1号1項	安曇野市	16.0m	97m
	北	法42条1号1項	安曇野市	4.0m	155m

案内図 S:1/5000 （ゼンリン住宅地図より）

長野県安曇野市豊科5689番地

特記	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事		NO.	A-09
配置図・案内図		SCALE	A3:1/1000, 5000 A1:1/500, 2500
	DATE 2024/03/15	SIGN	

外部仕上表

部位			名称 品種・規格・寸法等
■屋根 等	勾配屋根	[現況]	S型瓦葺(引掛桟瓦) +アスファルトルーフィング22kg
		[改修]	既存瓦取外し再取付全止め(既存瓦の一部交換を見込むこと) +既存アスファルトルーフィング 破損箇所補修
	勾配屋根(東側のみ)	[現況]	S型瓦葺(引掛桟瓦) +アスファルトルーフィング22kg[撤去]
		[改修]	既存瓦取外し再取付全止め(既存瓦の一部交換を見込むこと) +ゴムアスシート t=1.0 +断熱通気システム 新設
	円形下屋	[現況]	アスファルトシングル葺[撤去]
		[改修]	下地調整(樹脂モルタル)の上 金属屋根粘接着工法 一文字葺
	北・西テラス	[現況]	乾式タイルブロック[撤去] +ウレタン塗膜防水[撤去] +押えコンクリート +アスファルト防水(旧)
		[改修]	下地調整(樹脂モルタル)の上 塩ビシート防水 t=2(30年耐久仕様) + 新規ﾙｰﾌﾌﾞﾛｯｸ 600X600 t=20 塗装品 + ﾙｰﾌﾌﾞﾛｯｸ用緩衝シート 新設
			／アルミ笠木 新設 ／ＳＵＳ排水溝 既存品再利用
	中庭テラス	[現況]	レンガタイル[撤去] +押えｺﾝｸﾘｰﾄ +アスファルト防水 ／立上り・水下:ウレタン塗膜防水[撤去] (中庭側立上り:押出成型ｾﾒﾝﾄ板【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去])
		[改修]	下地調整(樹脂モルタル)の上 塩ビシート防水 t=2(30年耐久仕様) 新設 ／アルミ笠木 新設 ／ＳＵＳ排水溝 新設
	廊下(南)屋上	[現況]	押えコンクリート +アスファルト防水 ／立上り保護材:押出成型セメント板【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]
		[改修]	下地調整(樹脂モルタル)の上 塩ビシート防水 t=2(30年耐久仕様) 新設 ／横引ドレン 新設 ／アルミ笠木 交換
	軒樋・竪樋	[現況]	銅板[撤去]
		[改修]	ｶﾗｰGL鋼板 t=0.5
	雨押え・水切	[現況]	銅板[撤去]
		[改修]	ｶﾗｰGL鋼板 t=0.5
	庭園入口独立壁		天端にアルミ笠木新設
■外壁 等	外壁	[現況]	打放しコンクリート リシン吹付 ／腰部:化粧型枠打放しコンクリート リシン吹付
		[改修]	高圧洗浄 ｺﾝｸﾘｰﾄひび割れ補修 下地調整の上 仕上塗材(塗替用)塗布 (※外壁全面調査を行うこと)
	外壁(東側・中庭)	[現況]	打放しコンクリート リシン吹付 ／腰部:化粧型枠打放しコンクリート リシン吹付
		[改修]	湿式外断熱工法(腰部は躯体平滑補修の上) ／腰見切:ｶﾗｰGL鋼板 t=0.5 ／既存サッシ水切延長
	軒天・軒裏	[現況]	打放しコンクリート リシン吹付
		[改修]	高圧洗浄 ｺﾝｸﾘｰﾄひび割れ補修 下地調整の上 仕上塗材(塗替用)塗布
	軒天(ｴﾝﾄﾗﾝｽ・風除室・歩廊・回廊)	[現況]	ケイ酸カルシウム板 t=6 [撤去]
		[改修]	ケイ酸カルシウム板(無石綿) t=6 EP-G
	基礎巾木	[現況]	モルタル【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】 金コテ仕上
		[改修]	ひび割れ補修(樹脂モルタル)
	開口部	[現況]	スチールサッシ・スチールドア
		[改修]	下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り ／(多目的ホール)カバー工法にてアルミサッシ・網戸 新設
	屋上ﾒﾝﾃ用タラップ		ＳＵＳ製 ガード付 新設
■断熱材 等	屋根	[現況]	なし
		[改修]	硬質ウレタンフォーム B-1 t=30 吹付 ／(断熱通気システム)ＥＰＳ t=65
	外壁	[現況]	なし
		[改修]	硬質ウレタンフォーム B-1 t=30 現場発泡 吹付 ／(湿式外断熱工法)ﾋﾞｰｽﾞ法ポリスチレンフォーム t=70 ／(新設ﾌｶｼ壁)高性能GW 16K t=75 充填
■外構 等	車椅子経路		既存御影石(割肌 300x600,300角) 撤去の上 タイルに交換(芝生まで延長):磁器質タイル300角 t=20
			既存点字ブロック撤去の上 点字付タイルに交換:磁器質タイル300角(点字付) t=20+5
	ｴﾝﾄﾗﾝｽ階段手前		既存御影石(割肌 300x600,300角) 補修・交換
	ｴﾝﾄﾗﾝｽスロープ		ＳＵＳ手摺新設:30Φ h750
	歩廊・庭園入口		既存レンガタイル(200x100) 補修・交換
	歩廊入口(喫茶側)		階段やり替え・スロープ新設:せっ器質レンガタイル200x100 t=15
			ＳＵＳ手摺新設:30Φ h1100
	北側ｻｰﾋﾞｽ通路入口		既存レンガタイル(200x100) 補修・交換
	本館北東花壇		既存RC擁壁(h=500 二丁掛タイル貼)撤去、植栽土撤去(敷地内処分)し段差解消の上、切込砕石敷き

部位			名称 品種・規格・寸法等
■収蔵庫棟	屋根	[現況]	ｶﾗｰGL鋼板
		[改修]	既存のまま
	竪樋・横樋	[現況]	ｶﾗｰGL鋼板
		[改修]	既存のまま
	庇	[現況]	ｶﾗｰ鉄板
		[改修]	下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り
	外壁	[現況]	窯業系防火サイディング[撤去]
		[改修]	窯業系防火サイディング t=16
	外壁水切	[現況]	ｶﾗｰGL鋼板[撤去]
		[改修]	ｶﾗｰGL鋼板 t=0.5
	基礎巾木	[現況]	モルタル金コテ仕上
		[改修]	既存のまま
	開口部	[現況]	アルミサッシ
		[改修]	(一部)網入ガラス交換
■燃料保管庫棟	屋根	[現況]	アスファルトシングル葺[撤去] +野地板:木毛セメント板[撤去]
		[改修]	金属屋根粘接着工法 一文字葺 +野地板:木毛セメント板 t=20
	外壁	[現況]	打放しコンクリート リシン吹付
		[改修]	高圧洗浄 ｺﾝｸﾘｰﾄひび割れ補修 下地調整の上 仕上塗材(塗替用)塗布
	軒裏	[現況]	ケイ酸カルシウム板 t=6[撤去]
		[改修]	ケイ酸カルシウム板(無石綿) t=6 +ＥＰ-G
	犬走り	[現況]	モルタル金コテ仕上
		[改修]	高圧洗浄 下地調整の上 樹脂モルタル金コテ仕上
	開口部	[現況]	スチールガラリ・スチールドア
		[改修]	下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り

■仕上特記

- 断熱通気システム：断熱通気TDﾎﾞｰﾄﾞ(EPS) t=65 +鋼製Viﾀﾙｷ t=1.6@455([ｶﾅﾒ]通気断熱システム 同等品)
- 金属屋根粘接着工法：ｶﾗｰGL鋼板 t=0.4 非加硫ﾌﾟﾁﾙｺﾞﾑ裏打ち([ﾀﾞｲﾑﾜｶｲ]パーフェクトルーフ 同等品) 一文字葺き W260
- 塩ビシート防水 t=2(30年耐久仕様)：[ｱｰｷﾔﾏﾃﾞ]リベットルーフＨＰ 歩行・ｱﾝｶｰ固定工法 (同等品)
- 軒樋：[ﾀﾆﾀﾊｳｼﾞﾝｸﾞｳｪｱ]大型樋HACO GH12号 (同等品)
- 竪樋：[ﾀﾆﾀﾊｳｼﾞﾝｸﾞｳｪｱ]ガルバリウム大型丸たてとい 90Φ (同等品)
- 仕上塗材(塗替用)：[ｴｽｹｰ化研]アートフレッシュ (同等品)
- 湿式外断熱工法：高耐久ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ系塗材 +有機質左官仕上(既調合品)超撥水仕様 +ｸﾞﾗｽﾌｧｲﾊﾞｰﾒｯｼｭ +有機質ﾍﾞｰｽｺｰﾄ ｾﾒﾝﾄﾌﾘｰ(既調合品) +ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t=70 +不陸調整樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=5
- 磁器質タイル300角 t=20：[LIXIL]ピアガイアＥＸ (同等品)
- 磁器質タイル300角(点字付) t=20：[LIXIL]ピアガイアＥＸ 視覚障がい者用 (同等品)
- せっ器質レンガタイル200x100 t=15：[LIXIL]パティーノ (同等品)
- 窯業系防火サイディング t=16：[ﾆﾁﾊ]モエンエクセラード16 しぶきプレミアム (同等品)

特記

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

外部仕上表

NO. A-10
SCALE NON
DATE 2024/03/15
SIGN

内部仕上表

階	室名		床 下地	床 仕上	床 レベル	巾木 仕上	巾木 H	壁 下地	壁 仕上	廻縁	天井 下地	天井 仕上	天井 CH	備考
1階	風除室	[現況]	RC	レンガタイル	±0	なし	-	RC	リシン 吹付	なし	LGS[撤去]	ケイ酸カルシウム板 t=6【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]	4700	
		[改修]		既存利用	同上	なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 仕上塗材(塗替用)塗布	目透しアルミ	LGS(屋外用)	ケイ酸カルシウム板(無石綿) t=6 +EP-G	同上	
	エントランスホール	[現況]	RC	レンガタイル	±0	なし	-	RC	複層仕上塗材 吹付	なし	LGS[撤去]	曲面ボード【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]	3100～5820	受付カウンター 新設(家具工事) ホール～受付間スロープ 新設
		[改修]		既存利用	同上	なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 EP-G	目透し	LGS	繊維補強PB t=5(曲面用) +岩綿吸音板 t=9(曲面用)	同上	
			OAフロア	受付:タイルカーペット500角 t=6.5	+60	目透し(入隅用目地材)	3	LGS	新設ﾌｶｼ壁:PB t=12.5 +塗装下地用クロス +EP					
	廊下(館長室前)	[現況]	RC	レンガタイル	±0	なし	-	RC	複層仕上塗材 吹付	目透し[撤去]	LGS[撤去]	PB t=9.5 +ビニールクロス貼り [撤去]	3100	既存シャッター 改造(危害防止装置)
		[改修]		既存利用	同上	なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 EP-G	目透し	LGS	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
	廊下(南)	[現況]	RC	レンガタイル	±0	なし	-	RC	仕上塗材 吹付【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】	目透し[撤去]	LGS[撤去]	PB t=9.5 +ビニールクロス貼り [撤去]	3100	サイネージ上下 新設ﾌｶｼ壁
		[改修]		既存利用	同上	なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 EP-G	目透し	LGS	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
						目透し(入隅用目地材)	3	LGS	新設ﾌｶｼ壁:PB t=12.5 +塗装下地用クロス +EP	ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ				
	廊下(西)	[現況]	RC	レンガタイル	±0	なし	-	RC	仕上塗材 吹付【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】	目透し[撤去]	LGS[撤去]	PB t=9.5 +ビニールクロス貼り [撤去]	3100	
		[改修]		既存利用	同上	なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 EP-G	目透し	LGS	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
						目透し(入隅用目地材)	3	LGS	新設ﾌｶｼ壁:PB t=12.5 +塗装下地用クロス +EP	ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ				
	廊下(北)	[現況]	RC	レンガタイル	±0	なし	-	RC	仕上塗材 吹付【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】	目透し[撤去]	LGS[撤去]	PB t=9.5 +ビニールクロス貼り [撤去]	3100	カーテンレール 交換 屋内消火栓 移設
		[改修]		既存利用	同上	なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 EP-G	目透し	LGS	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
						目透し(入隅用目地材)	3	LGS	新設ﾌｶｼ壁:PB t=12.5 +塗装下地用クロス +EP	ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ				
	廊下(東)	[現況]	RC	レンガタイル	±0	なし	-	RC	仕上塗材 吹付【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】	目透し[撤去]	LGS[撤去]	PB t=9.5 +ビニールクロス貼り [撤去]	3100	
		[改修]		既存利用	同上	なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 EP-G	目透し	LGS	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
						目透し(入隅用目地材)	3	LGS	新設ﾌｶｼ壁:PB t=12.5 +塗装下地用クロス +EP	ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ				
	廊下(通用口)	[現況]	RC	レンガタイル	±0	なし	-	RC	複層仕上塗材 吹付	目透し[撤去]	LGS[撤去]	PB t=9.5 +塗装仕上 [撤去]	3100	開口部拡大(開口補強)
		[改修]		既存利用	同上	なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 EP-G	目透し	LGS	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
	廊下(便所・電気室前)	[現況]	RC	レンガタイル	±0	なし	-	RC	複層仕上塗材 吹付	目透し	LGS	PB t=9.5 +ビニールクロス貼り	3100	
		[改修]		既存利用	同上	なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 EP-G			ビニールクロス貼替え	同上	
	展示室1(現4)	[現況]	RC	塩ビタイル[撤去]	±0	塩ビ巾木【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]	100	RC	複層仕上塗材 吹付	目透し・ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ[撤去]	LGS[撤去]	化粧PB t=9.5 [撤去]	3100	
		[改修]		下地調整の上 リノリウム床タイル t=2.5	同上	目透し(入隅用目地材)	3	LGS	新設ﾌｶｼ壁:PB t=12.5 +塗装下地用クロス +EP	ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 4周	LGS	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
	展示室1(現倉庫)	[現況]	RC	塩ビタイル[撤去]	±0	塩ビ巾木【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]	100	RC	複層仕上塗材 吹付	目透し・ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ[撤去]	LGS[撤去]	化粧PB t=9.5 [撤去]	3100	【構造補強工事】構造スリット新設
		[改修]		下地調整の上 リノリウム床タイル t=2.5	同上	塩ビ巾木	100		ひび割れ補修 下地調整の上 EP-G	目透し	LGS	化粧PB t=9.5	同上	

■仕上特記

- 仕上塗材(塗替用):[ｴｽｹｰ化研]アートフレッシュ (同等品)
- 塗装下地用クロス +EP:[ｻﾝｹﾞﾂ]サンウォールヘス +サンカリット (同等品)
- 化粧ケイ酸カウシウム板(無石綿)(木目調)t=6:[ｱｲｶ]マーレス不燃 (同等品)
- リノリウム床タイル t=2.5:[ﾀｼﾞﾏ]マーモリウム タイル (同等品)
- ポリウレタン樹脂塗料(木質ﾊﾟｰｹｯﾄﾌﾛｱに施工):[大谷塗料]ネオデラック1000-A (同等品)
- 防滑塗床材:[ﾃｯｸ・ｸﾞﾗﾝﾄﾞｱｯﾌﾟ]スリップレイドΣ03 (同等品)
- 繊維補強PB t=5(曲面用):[吉野石膏]タイガーグラスロック (同等品)
- 岩綿吸音板 t=9(曲面用):[大建工業]ダイロートン アール (同等品)
- 巾木目透し(入隅用目地):[ﾌｸﾋﾞ]振動吸収入隅目地3(防震目地Ⅰ型入隅) (同等品)
- 目透し廻縁:[創建]ビニール目透かし型見切縁T-9 (同等品)
- ピクチャーレール:[ﾄｰﾘｰ]ピクチャーレールLシリーズL-3(12.5mm) (同等品) 壁上端に先付
- 高圧メラミン化粧板カウンター材:[ｱｲｶ]ポストフォーム (同等品)

略号

SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	GW-B	グラスウール吸音ボード	PC	プレキャストコンクリート板
CL	クリヤラッカー塗り	GW	グラスウール	ALC	軽量気泡コンクリートパネル
NAD	ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り	RW	ロックウール	ECP	押出成形セメント板
DP-1級	耐候性塗料塗り(ふっ素樹脂)	PF板	ポリスチレンフォーム保温板	CB	コンクリートブロック
DP-2級	耐候性塗料塗り(シリコーン樹脂)	ST・St	スチール	C	コンクリート
DP-3級	耐候性塗料塗り(ポリウレタン樹脂)	SUS	ステンレス	M	モルタル
EP-G	つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り	AL	アルミニウム	SEL	セルフレベリング
EP	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り	LGS	建築用鋼製下地材	AS防	アスファルト防水
EP-T	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り	FB	フラットバー(平鋼)	AS シート防水	改質アスファルトシート防水
FC	打放しクリア塗装	C-100	軽量形鋼 (C-100×50×20×2.3)	FF	フリーアクセスフロア
FK	けい酸カルシウム板(無石綿)	C-75	軽量形鋼 (C-75×45×15×2.3)	VT	ビニル床タイル
化粧FK	化粧けい酸カルシウム板(無石綿)	FUB鋼板	ふっ素樹脂焼付鋼板	VS	ビニル床シート
				TC	タイルカーペット

シックハウス対策 (「居室」に限定せず「非居室」にも適用する)　・クロルピリホスを添加した建築材料材を用いない。　・電気室等(非居室)単独用途の場合には、下記のシックハウス対策を適用しない。
・内装材について、「告示 対象建築材料以外の建築材料」または、ホルムアルデヒド発散速度が0.005mg/㎡h以下の告示対象建築材料(F☆☆☆☆)を使用すること。
(告示対象建築材料を使用した造り付け家具、キッチン・キャビネット等製品を含む)
・下地材、断熱材その他これらに類する面材について、「告示 対象建築材料以外の建築材料」、またはホルムアルデヒド発散速度が0.005mg/㎡h以下の告示対象建築材料(「F☆☆☆☆」)を使用すること。

特記

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

内部仕上表(1)

NO. A-11
SCALE NON
DATE 2024/03/15
SIGN

内部仕上表

階	室名		床 下地	床 仕上	床 レベル	巾木 仕上	巾木 H	壁 下地	壁 仕上	廻縁	天井 下地	天井 仕上	天井 CH	備考
1階	展示室２（現３）	[現況]	ＲＣ	塩ビタイル[撤去]	±0	塩ビ巾木【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]	100	ＲＣ	ビニールクロス貼り　[撤去]	目透し・ｱﾙﾐﾋﾞｸﾁｬｰﾚｰﾙ[撤去]	ＬＧＳ[撤去]	ＰＢ t=9.5 +岩綿吸音板 t=9　[撤去]	3100	既存扉開口閉塞、既存消火栓開口閉塞
				一部:木質パーケットフロア[撤去]	+20									
		[改修]		下地調整の上 リノリウム床タイル t=2.5	±0	目透し(入隅用目地材)	3	ＬＧＳ	新設ﾌｶｼ壁:ＰＢ t=12.5 +塗装下地用クロス +ＥＰ 曲面壁部は下地合板t=5.5x2重を追加	ｱﾙﾐﾋﾞｸﾁｬｰﾚｰﾙ4周	ＬＧＳ	ＰＢ t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
	展示室３（現２）	[現況]	ＲＣ	塩ビタイル[撤去]	±0	塩ビ巾木【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]	100	ＲＣ	ビニールクロス貼り　[撤去]	目透し・ｱﾙﾐﾋﾞｸﾁｬｰﾚｰﾙ[撤去]	ＬＧＳ[撤去]	ＰＢ t=9.5 +岩綿吸音板 t=9　[撤去]	3100	既存扉開口閉塞
		[改修]		下地調整の上 リノリウム床タイル t=2.5	同上	目透し(入隅用目地材)	3	ＬＧＳ	新設ﾌｶｼ壁:ＰＢ t=12.5 +塗装下地用クロス +ＥＰ 曲面壁部は下地合板t=5.5x2重を追加	ｱﾙﾐﾋﾞｸﾁｬｰﾚｰﾙ4周	ＬＧＳ	ＰＢ t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
	展示室４（現１）	[現況]	ＲＣ	塩ビタイル[撤去]	±0	塩ビ巾木【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]	100	ＲＣ	複層仕上塗材 吹付	目透し・ｱﾙﾐﾋﾞｸﾁｬｰﾚｰﾙ[撤去]	ＬＧＳ[撤去]	化粧ＰＢ t=9.5　[撤去]	3100	【構造補強工事】構造スリット新設
		[改修]		下地調整の上 リノリウム床タイル t=2.5	同上	目透し(入隅用目地材)	3	ＬＧＳ	新設ﾌｶｼ壁:ＰＢ t=12.5 +塗装下地用クロス +ＥＰ	ｱﾙﾐﾋﾞｸﾁｬｰﾚｰﾙ4周	ＬＧＳ	ＰＢ t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
	休憩室	[現況]	ＲＣ	塩ビタイル[撤去]	±0	塩ビ巾木【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]	100	ＲＣ	複層仕上塗材 吹付	目透し・ｱﾙﾐﾋﾞｸﾁｬｰﾚｰﾙ[撤去]	ＬＧＳ[撤去]	ＰＢ t=9.5 +岩綿吸音板 t=9　[撤去]	3100	
		[改修]		下地調整の上 リノリウム床タイル t=2.5	同上	目透し(入隅用目地材)	3	ＬＧＳ	新設ﾌｶｼ壁:ＰＢ t=12.5 +塗装下地用クロス +ＥＰ	ｱﾙﾐﾋﾞｸﾁｬｰﾚｰﾙ4周	ＬＧＳ	ＰＢ t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
	展示室10	[現況]	ＲＣ	レンガタイル	±0	なし	-	ＲＣ	複層仕上塗材 吹付	目透し[撤去]	ＬＧＳ[撤去]	ＰＢ t=9.5 +ビニールクロス貼り　[撤去]	3100	窓・腰壁撤去(構造補強)の上 扉新設
				一部:木質パーケットフロア[撤去]	+20									
		[改修]		既存利用	+10	なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 ＥＰ-Ｇ	ｱﾙﾐﾋﾞｸﾁｬｰﾚｰﾙ4周	ＬＧＳ	ＰＢ t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	3090	
				一部:レンガタイル新設		目透し(入隅用目地材)	3	ＬＧＳ	新設ﾌｶｼ壁:ＰＢ t=12.5 +塗装下地用クロス +ＥＰ					
	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝﾙｰﾑ	[現況]	ＲＣ	レンガタイル	±0	なし	-	ＲＣ	複層仕上塗材 吹付	目透し[撤去]	ＬＧＳ[撤去]	ＰＢ t=9.5 +ビニールクロス貼り　[撤去]	3100	
		[改修]		既存利用	同上	なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 ＥＰ-Ｇ	ｱﾙﾐﾋﾞｸﾁｬｰﾚｰﾙ4周	ＬＧＳ	ＰＢ t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
						目透し(入隅用目地材)	3	ＬＧＳ	新設ﾌｶｼ壁:ＰＢ t=12.5 +塗装下地用クロス +ＥＰ					
	館長室	[現況]	ＲＣ	タイルカーペット[撤去]	±0	塩ビ巾木【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]	100	ＲＣ	ビニールクロス貼り　[撤去]	目透し[撤去]	ＬＧＳ[撤去]	ＰＢ t=9.5 +岩綿吸音板 t=9　[撤去]	3600	洗面化粧台 交換【衛生設備工事】
		[改修]		下地調整の上 タイルカーペット500角 t=6.5	同上	塩ビ巾木	100		下地調整の上 ビニールクロス貼り	目透し	ＬＧＳ	ＰＢ t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
								ＬＧＳ	新設ﾌｶｼ壁:ＰＢ t=12.5 +ビニールクロス貼り					
	事務室	[現況]	ＲＣ	塩ビタイル[撤去]	±0	塩ビ巾木【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]	100	ＲＣ	ビニールクロス貼り　[撤去]	目透し[撤去]	ＬＧＳ[撤去]	化粧ＰＢ t=9.5　[撤去]	3540	ミニキッチンW1200 交換
		[改修]	ＯＡフロア	タイルカーペット500角 t=6.5	+60	塩ビ巾木	100		下地調整の上 ビニールクロス貼り	目透し	ＬＧＳ	化粧ＰＢ t=9.5	同上	
								ＬＧＳ	新設ﾌｶｼ壁:ＰＢ t=12.5 +ビニールクロス貼り					
	多目的ホール	[現況]	ＲＣ	木質パーケットフロア	+20	木製巾木[撤去]	100	ＲＣ	ビニールクロス貼り　[撤去]	目透し[撤去]	ＬＧＳ[撤去]	ＰＢ t=9.5 +ビニールクロス貼り　[撤去]	3080	
						腰板[撤去]	FL+930			木製	ＬＧＳ	吹抜部:ＰＢ t=9.5 +ビニールクロス貼り[ｸﾛｽ撤去]	4500~6050	
		[改修]		既存研磨の上 ポリウレタン樹脂塗料塗布	同上	木製巾木 OSCL	100		下地調整の上 ビニールクロス貼り	目透し	ＬＧＳ	ＰＢ t=9.5 +ビニールクロス貼り	3080	
						腰板:ヒノキ小幅板 OSCL 下地ｺﾝﾊﾟﾈt=12	FL+930	ＬＧＳ	新設ﾌｶｼ壁:ＰＢ t=12.5 +ビニールクロス貼り	木製既存利用		吹抜部:ビニールクロス貼替え	4500~6050	
	喫茶コーナー	[現況]	ＲＣ	タイルカーペット[撤去]	±0	塩ビ巾木【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]	100	ＲＣ	ビニールクロス貼り　[撤去]	目透し[撤去]	ＬＧＳ[撤去]	ＰＢ t=9.5 +ビニールクロス貼り　[撤去]	3080	
		[改修]		下地調整の上 タイルカーペット500角 t=6.5	同上	塩ビ巾木	100		下地調整の上 ビニールクロス貼り	目透し	ＬＧＳ	ＰＢ t=9.5 +ビニールクロス貼り	同上	
								ＬＧＳ	新設ﾌｶｼ壁:ＰＢ t=12.5 +ビニールクロス貼り					
	厨房	[現況]	ＲＣ	樹脂塗床	-25	床材立上げ	45	ＲＣ	仕上塗材 吹付	目透し[撤去]	ＬＧＳ[撤去]	ケイ酸カルシウム板 t=6【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]	2430	厨房機器 移設・交換【衛生設備工事】
		[改修]		下地調整の上 エポキシ樹脂系塗床材塗布	同上	床材立上げ	45	ＬＧＳ	ひび割れ補修 下地調整の上 ＥＰ-Ｇ 新設ﾌｶｼ壁:PBt=12.5 +ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(無石綿)(Vｶｯﾄ目地突付)t=6 +EP-G	目透し	ＬＧＳ	ケイ酸カルシウム板(無石綿)(Vｶｯﾄ目地突付) t=6 +ＥＰ-Ｇ	同上	
	サービス通路	[現況]	ＲＣ	塩ビタイル[撤去]	±0	塩ビ巾木【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]	100	ＲＣ	複層仕上塗材 吹付	目透し[撤去]	ＬＧＳ[撤去]	ＰＢ t=9.5 +ビニールクロス貼り　[撤去]	3100	
		[改修]		下地調整の上 リノリウム床タイル t=2.5	同上	塩ビ巾木	100		ひび割れ補修 下地調整の上 ＥＰ-Ｇ	目透し	ＬＧＳ	化粧ＰＢ t=9.5	同上	
								ＬＧＳ	新設ﾌｶｼ壁:ＰＢ t=12.5 +ビニールクロス貼り					

■仕上特記

- 仕上塗材(塗替用)：[ｴｽｹｰ化研]アートフレッシュ （同等品）
- 塗装下地用クロス +ＥＰ：[ｻﾝｹﾞﾂ]サンウォールヘス +サンカリット （同等品）
- 化粧ケイ酸カウシウム板(無石綿)(木目調)t=6：[ｱｲｶ]マーレス不燃 （同等品）
- リノリウム床タイル t=2.5：[ﾀｼﾞﾏ]マーモリウム タイル （同等品）
- ポリウレタン樹脂塗料(木質ﾊﾟｰｹｯﾄﾌﾛｱに施工)：[大谷塗料]ネオデラック1000-Ａ （同等品）
- 防滑塗床材：[ﾃｯｸ・ｸﾞﾗﾝﾄﾞｱｯﾌﾟ]スリップレイドΣ０３ （同等品）
- 繊維補強ＰＢ t=5(曲面用)：[吉野石膏]タイガーグラスロック （同等品）
- 岩綿吸音板 t=9(曲面用)：[大建工業]ダイロートン アール （同等品）
- 巾木目透し(入隅用目地)：[ﾌｸﾋﾞ]振動吸収入隅目地３(防震目地Ⅰ型入隅) （同等品）
- 目透し廻縁：[創建]ビニール目透かし型見切縁Ｔ-９ （同等品）
- ピクチャーレール：[ﾄｰﾘｰ]ピクチャーレールＬシリーズL-３(12.5mm) （同等品） 壁上端に先付
- 高圧メラミン化粧板カウンター材：[ｱｲｶ]ポストフォーム （同等品）

略　号

ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント塗り	GW-B	グラスウール吸音ボード	ＰＣ	プレキャストコンクリート板
ＣＬ	クリヤラッカー塗り	GW	グラスウール	ＡＬＣ	軽量気泡コンクリートパネル
ＮＡＤ	ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り	RW	ロックウール	ＥＣＰ	押出成形セメント板
ＤＰ-1級	耐候性塗料塗り（ふっ素樹脂）	ＰＦ板	ポリスチレンフォーム保温板	ＣＢ	コンクリートブロック
ＤＰ-2級	耐候性塗料塗り（シリコーン樹脂）	ＳＴ・St	ステール	Ｃ	コンクリート
ＤＰ-3級	耐候性塗料塗り（ポリウレタン樹脂）	ＳＵＳ	ステンレス	Ｍ	モルタル
ＥＰ-Ｇ	つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り	ＡＬ	アルミニウム	ＳＥＬ	セルフレベリング
ＥＰ	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り	ＬＧＳ	建築用鋼製下地材	ＡＳ防	アスファルト防水
ＥＰ-Ｔ	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り	ＦＢ	フラットバー（平鋼）	ＡＳシート防水	改質アスファルトシート防水
ＦＣ	打放しクリア塗装	C-100	軽量形鋼 (C-100×50×20×2.3)	ＦＦ	フリーアクセスフロア
ＦＫ	けい酸カルシウム板（無石綿）	C-75	軽量形鋼 (C-75×45×15×2.3)	ＶＴ	ビニル床タイル
化粧ＦＫ	化粧けい酸カルシウム板（無石綿）	ＦＵＢ鋼板	ふっ素樹脂焼付鋼板	ＶＳ	ビニル床シート
				ＴＣ	タイルカーペット

シックハウス対策（「居室」に限定せず「非居室」にも適用する）　・クロルピリホスを添加した建築材料材を用いない。　・電気室等（非居室）単独用途の場合には、下記のシックハウス対策を適用しない。
・内装材について、「告示 対象建築材料以外の建築材料」または、ホルムアルデヒド発散速度が0.005mg/㎡ｈ以下の告示対象建築材料（Ｆ☆☆☆☆）を使用すること。
（告示対象建築材料を使用した造り付け家具、キッチン・キャビネット等製品を含む）
・下地材、断熱材その他これらに類する面材について、「告示 対象建築材料以外の建築材料」、またはホルムアルデヒド発散速度が0.005mg/㎡ｈ以下の告示対象建築材料（「Ｆ☆☆☆☆」）を使用すること。

特記				
		令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO.	A-12
		内部仕上表(2)	SCALE	NON
			DATE	2024/03/15
			SIGN	

内部仕上表

階	室名		床 下地	床 仕上	床 レベル	巾木 仕上	巾木 H	壁 下地	壁 仕上	廻縁	天井 下地	天井 仕上	天井 CH	備考
1階	廊下(喫茶便所)	[現況]	RC	塩ビタイル[撤去]	±0	床材立上げ[撤去]	60	LGS[撤去]	耐水PBt=12.5 +化粧ケイ酸カルシウム板t=6 [撤去]	塩ビ[撤去]	LGS[撤去]	耐水PBt=9.5 +吹付ﾀｲﾙ 吹付 [撤去]	2400	
		[改修]		下地調整の上 リノリウム床タイル t=2.5	同上	床材立上げ	60	LGS	耐水PBt=12.5 +ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(無石綿)t=6(ｼﾞｮｲﾝﾄ部ﾊﾟﾃしごき) +吹付ﾀｲﾙ 吹付	塩ビ	LGS	耐水PBt=9.5(ｼﾞｮｲﾝﾄ部ﾊﾟﾃしごき) +吹付ﾀｲﾙ 吹付	同上	
	多目的便所２	[現況]	RC	塩ビタイル[撤去]	±0	床材立上げ[撤去]	60	LGS[撤去]	耐水PBt=12.5 +化粧ケイ酸カルシウム板t=6 [撤去]	塩ビ[撤去]	LGS[撤去]	耐水PBt=9.5 +吹付ﾀｲﾙ 吹付 [撤去]	2400	ライニング:高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板カウンター材 d=150 耐食鏡【衛生設備工事】
		[改修]		下地調整の上 リノリウム床タイル t=2.5	同上	床材立上げ	60	LGS	耐水PBt=12.5 +ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(無石綿)t=6(ｼﾞｮｲﾝﾄ部ﾊﾟﾃしごき) +吹付ﾀｲﾙ 吹付 腰壁:耐水PBt=12.5 +化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(無石綿)(木目調)t=6	塩ビ	LGS	耐水PBt=9.5(ｼﾞｮｲﾝﾄ部ﾊﾟﾃしごき) +吹付ﾀｲﾙ 吹付	同上	
	女子便所２	[現況]	RC	塩ビタイル[撤去]	±0	床材立上げ[撤去]	60	LGS[撤去]	耐水PBt=12.5 +化粧ケイ酸カルシウム板t=6 [撤去]	塩ビ[撤去]	LGS[撤去]	耐水PBt=9.5 +吹付ﾀｲﾙ 吹付 [撤去]	2400	ライニング:高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板カウンター材 d=150 耐食鏡:t=5 1060x1160
		[改修]		下地調整の上 リノリウム床タイル t=2.5	同上	床材立上げ	60	LGS	耐水PBt=12.5 +ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(無石綿)t=6(ｼﾞｮｲﾝﾄ部ﾊﾟﾃしごき) +吹付ﾀｲﾙ 吹付 腰壁:耐水PBt=12.5 +化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(無石綿)(木目調)t=6	塩ビ	LGS	耐水PBt=9.5(ｼﾞｮｲﾝﾄ部ﾊﾟﾃしごき) +吹付ﾀｲﾙ 吹付	同上	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ復旧:D-10ﾀﾃﾖｺ@200 既存鉄筋に溶接
	男子便所２	[現況]	RC	塩ビタイル[撤去]	±0	床材立上げ[撤去]	60	LGS[撤去]	耐水PBt=12.5 +化粧ケイ酸カルシウム板t=6 [撤去]	塩ビ[撤去]	LGS[撤去]	耐水PBt=9.5 +吹付ﾀｲﾙ 吹付 [撤去]	2400	ライニング:高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板カウンター材 d=300 耐食鏡:t=5 760x1160
		[改修]		下地調整の上 リノリウム床タイル t=2.5	同上	床材立上げ	60	LGS	耐水PBt=12.5 +ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(無石綿)t=6(ｼﾞｮｲﾝﾄ部ﾊﾟﾃしごき) +吹付ﾀｲﾙ 吹付 腰壁:耐水PBt=12.5 +化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(無石綿)(木目調)t=6	塩ビ	LGS	耐水PBt=9.5(ｼﾞｮｲﾝﾄ部ﾊﾟﾃしごき) +吹付ﾀｲﾙ 吹付	同上	
	職員便所	[現況]	RC	磁器質タイル[一部撤去]	-20	塩ビ巾木	60	RC	モルタル +ＥＰ	塩ビ[撤去]	LGS[撤去]	耐水ＰＢ t=9.5 +ＥＰ [撤去]	2580	袖壁:高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板(木目調)ﾌﾗｯｼｭ t=40
		[改修]		既存利用	同上	既存利用	60		ひび割れ補修 下地調整の上 ＥＰ-Ｇ	塩ビ	LGS	化粧ＰＢ t=9.5	同上	
				一部:磁器質タイル t=9		一部 塩ビ巾木	60	LGS	新設ﾌｶｼ壁:PBt=12.5 +ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(無石綿)t=6 +EP-G					
	学芸員室	[現況]	RC	塩ビタイル[撤去]	±0	塩ビ巾木【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]	100	RC	複層仕上塗材 吹付	目透し[撤去]	LGS[撤去]	化粧ＰＢ t=9.5 [撤去]	2700	和便器撤去穴閉塞【衛生設備工事】
		[改修]		下地調整の上 リノリウム床タイル t=2.5	同上	塩ビ巾木	100		ひび割れ補修 下地調整の上 ＥＰ-Ｇ	目透し	LGS	化粧ＰＢ t=9.5	同上	
								LGS	新設ﾌｶｼ壁:ＰＢ t=12.5 +ビニールクロス貼り					
	収蔵庫１	[現況]	RC	塩ビタイル[撤去]	±0	塩ビ巾木【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]	100	RC	複層仕上塗材 吹付	目透し[撤去]	LGS[撤去]	化粧ＰＢ t=9.5 [撤去]	3100	
		[改修]		下地調整の上 リノリウム床タイル t=2.5	同上	塩ビ巾木	100		ひび割れ補修 下地調整の上 ＥＰ-Ｇ	目透し	LGS	化粧ＰＢ t=9.5	同上	
								LGS	新設ﾌｶｼ壁:ＰＢ t=12.5 +ビニールクロス貼り					
共通	西階段	[現況]	RC	レンガタイル		なし	-	RC	複層仕上塗材 吹付	目透し[撤去]	LGS[撤去]	ケイ酸カルシウム板 t=6【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]		新設手摺
										なし	RC	複層仕上塗材 吹付		既存ｼｬｯﾀｰ改造(危害防止装置・随時開閉)
		[改修]		既存利用、段鼻に防滑塗床材塗布		なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 ＥＰ-Ｇ	目透し	LGS	ＰＢ t=9.5 +岩綿吸音板 t=9		
												ひび割れ補修 下地調整の上 ＥＰ-Ｇ		
	東階段	[現況]	RC	レンガタイル		なし	-	RC	複層仕上塗材 吹付	目透し[撤去]	LGS[撤去]	ケイ酸カルシウム板 t=6【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】[撤去]		手摺新設(既存品再利用)
										なし	RC	複層仕上塗材 吹付		既存ｼｬｯﾀｰ改造(危害防止装置・随時開閉)
		[改修]		既存利用、段鼻に防滑塗床材塗布		なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 ＥＰ-Ｇ	目透し	LGS	ＰＢ t=9.5 +岩綿吸音板 t=9		
												ひび割れ補修 下地調整の上 ＥＰ-Ｇ		

■仕上特記

- 仕上塗材(塗替用):[ｴｽｹｰ化研]アートフレッシュ (同等品)
- 塗装下地用クロス +ＥＰ:[ｻﾝｹﾞﾂ]サンウォールヘス +サンカリット (同等品)
- 化粧ケイ酸カウシウム板(無石綿)(木目調)t=6:[ｱｲｶ]マーレス不燃 (同等品)
- リノリウム床タイル t=2.5:[ﾀｼﾞﾏ]マーモリウム タイル (同等品)
- ポリウレタン樹脂塗料(木質ﾊﾟｰﾃｯﾄﾌﾛｱに施工):[大谷塗料]ネオデラック1000-A (同等品)
- 防滑塗床材:[ﾃｯｸ・ｸﾞﾗﾝﾄﾞｱｯﾌﾟ]スリップレイドΣ０３ (同等品)
- 繊維補強ＰＢ t=5(曲面用):[吉野石膏]タイガーグラスロック (同等品)
- 岩綿吸音板 t=9(曲面用):[大建工業]ダイロートン アール (同等品)
- 巾木目透し(入隅用目地):[ﾌｸﾋﾞ]振動吸収入隅目地３(防震目地Ⅰ型入隅) (同等品)
- 目透し廻縁:[創建]ビニール目透かし型見切縁Ｔ-９ (同等品)
- ピクチャーレール:[ﾄｰﾘｰ]ピクチャーレールＬシリーズL-3(12.5mm) (同等品) 壁上端に先付
- 高圧メラミン化粧板カウンター材:[ｱｲｶ]ポストフォーム (同等品)

略号

ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント塗り	GW-B	グラスウール吸音ボード	ＰＣ	プレキャストコンクリート板
ＣＬ	クリヤラッカー塗り	GW	グラスウール	ＡＬＣ	軽量気泡コンクリートパネル
ＮＡＤ	ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り	RW	ロックウール	ＥＣＰ	押出成形セメント板
ＤＰ-1級	耐候性塗料塗り（ふっ素樹脂）	ＰＦ板	ポリスチレンフォーム保温板	ＣＢ	コンクリートブロック
ＤＰ-2級	耐候性塗料塗り（シリコーン樹脂）	ＳＴ・St	スチール	Ｃ	コンクリート
ＤＰ-3級	耐候性塗料塗り（ポリウレタン樹脂）	ＳＵＳ	ステンレス	Ｍ	モルタル
ＥＰ-Ｇ	つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り	ＡＬ	アルミニウム	ＳＥＬ	セルフレベリング
ＥＰ	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り	ＬＧＳ	建築用鋼製下地材	ＡＳ防	アスファルト防水
ＥＰ-Ｔ	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り	ＦＢ	フラットバー（平鋼）	ＡＳｼｰﾄ防水	改質アスファルトシート防水
ＦＣ	打放しクリア塗装	C-100	軽量形鋼 (C-100×50×20×2.3)	ＦＦ	フリーアクセスフロア
ＦＫ	けい酸カルシウム板（無石綿）	C-75	軽量形鋼 (C-75×45×15×2.3)	ＶＴ	ビニル床タイル
化粧ＦＫ	化粧けい酸カルシウム板（無石綿）	ＦＵＢ鋼板	ふっ素樹脂焼付鋼板	ＶＳ	ビニル床シート
				ＴＣ	タイルカーペット

シックハウス対策 (「居室」に限定せず「非居室」にも適用する) ・クロルピリホスを添加した建築材料材を用いない。 ・電気室等（非居室）単独用途の場合には、下記のシックハウス対策を適用しない。
・内装材について、「告示 対象建築材料以外の建築材料」または、ホルムアルデヒド発散速度が0.005mg/㎡ｈ以下の告示対象建築材料（Ｆ☆☆☆☆）を使用すること。
（告示対象建築材料を使用した造り付け家具、キッチン・キャビネット等製品を含む）
・下地材、断熱材その他これらに類する面材について、「告示 対象建築材料以外の建築材料」、またはホルムアルデヒド発散速度が0.005mg/㎡ｈ以下の告示対象建築材料（「Ｆ☆☆☆☆」）を使用すること。

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-13
			内部仕上表(3)	SCALE NON
			DATE 2024/03/15	SIGN

内部仕上表

階	室名		床 下地	床 仕上	床 レベル	巾木 仕上	巾木 H	壁 下地	壁 仕上	廻縁	天井 下地	天井 仕上	天井 CH	備考
2階	廊下(南)	[現況]	RC	レンガタイル	±0	なし	-	RC	複層仕上塗材 吹付	目透し[撤去]	LGS[撤去]	PB t=9.5 +ビニールクロス貼り [撤去]	3100	サイネージ上下 新設ﾌｶｼ壁よりさらに100ﾌｶｼ
		[改修]		既存利用	同上	なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 EP-G	目透し	LGS	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
						目透し(入隅用目地材)	3	LGS	新設ﾌｶｼ壁:PB t=12.5 +塗装下地用クロス +EP	ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ				
	廊下(西)	[現況]	RC	レンガタイル	±0	なし	-	RC	複層仕上塗材 吹付	目透し[撤去]	LGS[撤去]	PB t=9.5 +ビニールクロス貼り [撤去]	3100	開口拡大(構造補強)の上 排煙窓新設 扉復旧(ﾌｶｼ壁(木軸)撤去)
		[改修]		既存利用	同上	なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 EP-G	目透し	LGS	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
						目透し(入隅用目地材)	3	LGS	新設ﾌｶｼ壁:PB t=12.5 +塗装下地用クロス +EP	ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ				
	廊下(北)・休憩室	[現況]	RC	レンガタイル	±0	なし	-	RC	複層仕上塗材 吹付	目透し[撤去]	LGS[撤去]	PB t=9.5 +ビニールクロス貼り [撤去]	3100	開口拡大(構造補強)の上 排煙窓新設
		[改修]		既存利用	同上	なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 EP-G	目透し	LGS	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
						目透し(入隅用目地材)	3	LGS	新設ﾌｶｼ壁:PB t=12.5 +塗装下地用クロス +EP	ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ				
	廊下(東)	[現況]	RC	レンガタイル	±0	なし	-	RC	複層仕上塗材 吹付	目透し[撤去]	LGS[撤去]	PB t=9.5 +ビニールクロス貼り [撤去]	3100	
		[改修]		既存利用	同上	なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 EP-G	目透し	LGS	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
						目透し(入隅用目地材)	3	LGS	新設ﾌｶｼ壁:PB t=12.5 +塗装下地用クロス +EP	ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ				
	前室	[現況]	RC	レンガタイル	±0	なし	-	RC	複層仕上塗材 吹付	目透し	LGS	PB t=9.5 +ビニールクロス貼り[クロス撤去]	3100	
		[改修]		既存利用	同上	なし	-		ひび割れ補修 下地調整の上 EP-G	既存利用		下地調整の上 ビニールクロス貼り	同上	
	展示室５	[現況]	RC	木質パーケットフロア	+20	塩ビ巾木[撤去]	100	RC	ビニールクロス貼り [撤去]	目透し・ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ[撤去]	LGS[撤去]	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9 [撤去]	3080	【構造補強工事】既存建具および屋内側ﾌｶｼ壁(木軸)撤去の上 RCで閉塞
		[改修]		既存研磨の上 ポリウレタン樹脂塗料塗布	同上	目透し(入隅用目地材)	3	LGS	新設ﾌｶｼ壁:PB t=12.5 +塗装下地用クロス +EP	ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 4周	LGS	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
	展示室６	[現況]	RC	木質パーケットフロア	+20	塩ビ巾木[撤去]	100	RC	ビニールクロス貼り [撤去]	目透し・ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ[撤去]	LGS[撤去]	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9 [撤去]	3080	
		[改修]		既存研磨の上 ポリウレタン樹脂塗料塗布	同上	目透し(入隅用目地材)	3	LGS	新設ﾌｶｼ壁:PB t=12.5 +塗装下地用クロス +EP	ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 4周	LGS	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
	展示室７	[現況]	RC	木質パーケットフロア	+20	塩ビ巾木[撤去]	100	RC	ビニールクロス貼り [撤去]	目透し・ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ[撤去]	LGS[撤去]	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9 [撤去]	3080	
		[改修]		既存研磨の上 ポリウレタン樹脂塗料塗布	同上	目透し(入隅用目地材)	3	LGS	新設ﾌｶｼ壁:PB t=12.5 +塗装下地用クロス +EP	ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 4周	LGS	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
	展示室８	[現況]	RC	木質パーケットフロア	+20	塩ビ巾木[撤去]	100	RC	ビニールクロス貼り [撤去]	目透し・ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ[撤去]	LGS[撤去]	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9 [撤去]	3080	【構造補強工事】既存建具および屋内側ﾌｶｼ壁(木軸)撤去の上 RCで閉塞
		[改修]		既存研磨の上 ポリウレタン樹脂塗料塗布	同上	目透し(入隅用目地材)	3	LGS	新設ﾌｶｼ壁:構造用合板t=12 + PB t=12.5 +塗装下地用クロス +EP	ｱﾙﾐﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 4周	LGS	PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	同上	
	空調機械室	[現況]	RC	モルタル金ゴテ仕上	±0	なし	-	RC	グラスウールマット [撤去]	なし	RC	グラスウールマット [撤去]	3950 ～5130	
		[改修]							グラスウールマット 再施工			グラスウールマット 再施工	同上	

■仕上特記

- 仕上塗材(塗替用):[ｴｽｹｰ化研]アートフレッシュ (同等品)
- 塗装下地用クロス +ＥＰ:[ｻﾝｹﾞﾂ]サンウォールヘス +サンカリット (同等品)
- 化粧ケイ酸カウシウム板(無石綿)(木目調)t=6:[ｱｲｶ]マーレス不燃 (同等品)
- リノリウム床タイル t=2.5:[ﾀｼﾞﾏ]マーモリウム タイル (同等品)
- ポリウレタン樹脂塗料(木質ﾊﾟｰｹｯﾄﾌﾛｱに施工):[大谷塗料]ネオデラック1000-A (同等品)
- 防滑塗床材:[ﾃｯｸ・ｸﾞﾗﾝﾄﾞｱｯﾌﾟ]スリップレイドΣ０３ (同等品)
- 繊維補強ＰＢ t=5(曲面用):[吉野石膏]タイガーグラスロック (同等品)
- 岩綿吸音板 t=9(曲面用):[大建工業]ダイロートン アール (同等品)
- 巾木目透し(入隅用目地):[ﾌｸﾋﾞ]振動吸収入隅目地３(防震目地Ⅰ型入隅) (同等品)
- 目透し廻縁:[創建]ビニール目透かし型見切縁Ｔ-９ (同等品)
- ピクチャーレール:[ﾄｰﾘｰ]ピクチャーレールＬシリーズＬ-３(12.5mm) (同等品) 壁上端に先付
- 高圧メラミン化粧板カウンター材:[ｱｲｶ]ポストフォーム (同等品)

略号

SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	GW-B	グラスウール吸音ボード	PC	プレキャストコンクリート板
CL	クリヤラッカー塗り	GW	グラスウール	ALC	軽量気泡コンクリートパネル
NAD	ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り	RW	ロックウール	ECP	押出成形セメント板
DP-1級	耐候性塗料塗り(ふっ素樹脂)	PF板	ポリスチレンフォーム保温板	CB	コンクリートブロック
DP-2級	耐候性塗料塗り(シリコーン樹脂)	ST・St	スチール	C	コンクリート
DP-3級	耐候性塗料塗り(ポリウレタン樹脂)	SUS	ステンレス	M	モルタル
EP-G	つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り	AL	アルミニウム	SEL	セルフレベリング
EP	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り	LGS	建築用鋼製下地材	AS防	アスファルト防水
EP-T	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り	FB	フラットバー(平鋼)	ASｼｰﾄ防水	改質アスファルトシート防水
FC	打放しクリア塗装	C-100	軽量形鋼 (C-100×50×20×2.3)	FF	フリーアクセスフロア
FK	けい酸カルシウム板(無石綿)	C-75	軽量形鋼 (C-75×45×15×2.3)	VT	ビニル床タイル
化粧FK	化粧けい酸カルシウム板(無石綿)	FUB鋼板	ふっ素樹脂焼付鋼板	VS	ビニル床シート
				TC	タイルカーペット

シックハウス対策 (「居室」に限定せず「非居室」にも適用する)　・クロルピリホスを添加した建築材料材を用いない。　・電気室等(非居室)単独用途の場合には、下記のシックハウス対策を適用しない。
・内装材について、「告示 対象建築材料以外の建築材料」または、ホルムアルデヒド発散速度が0.005mg/㎡h以下の告示対象建築材料(Ｆ☆☆☆☆)を使用すること。
(告示対象建築材料を使用した造り付け家具、キッチン・キャビネット等製品を含む)
・下地材、断熱材その他これらに類する面材について、「告示 対象建築材料以外の建築材料」、またはホルムアルデヒド発散速度が0.005mg/㎡h以下の告示対象建築材料(「Ｆ☆☆☆☆」)を使用すること。

特記		令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-14
		内部仕上表(4)	SCALE NON
		DATE 2024/03/15	SIGN

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

豊科近代美術館
収蔵庫棟

花壇RC擁壁
(h500、二丁掛ﾀｲﾙ貼)新設

車通れるよう
花壇縮小

花壇RC擁壁 撤去

機械室B
サービス通路
厨房
喫茶コーナー
男子便所2
多目的便所2
女子便所2
多目的ホール
展示室２
（現３）
休憩室
展示室３
（現２）
職員便所
学芸員室
廊下
通用口
機械室
EV
収蔵庫
ホール
前室
トラックヤード
展示室10
展示室１
（現４）
展示室４
（現１）
収蔵庫１
庭園
歩廊
回廊
中庭
回廊
廊下
展示室１
（現倉庫）
廊下
EV
機械室
EV
西階段
東階段
オリエンテーション
ルーム
電気室
機械室A
消火栓ポンプ室
設備ヤード
多目的便所1
男子便所1
女子便所1
廊下
事務室
エントランスホール
館長室
風除室
エントランス
交流学習センター
きぼう
柔道場
道路境界線
道路中心線

7500 2500 2500 5000 3500 5000 5000 5500 5000 5000 3500 5000
32500
X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15 X16 X17 X18 X19 X20 X21

5000 3500 4000 6000 1000 3000 3500 7500 3000
32000 10500
Y15 Y14 Y13 Y12 Y11 Y10 Y9 Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1

5000 7500 5000 3500 5000 5000 5500 5000 5000 3500 5000 2500 5000 6955
17500 40000

：外壁内側にﾌｶｼ壁新設(LGS65+PB12.5)+断熱材
：壁内側にﾌｶｼ壁新設(LGS65+PB12.5)
：外壁外側に断熱(湿式外断熱工法)

N

A B C D 展開表示方向

特記			

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

改修 １階平面図

NO. A-15
SCALE A3：1/300
A1：1/150
DATE 2024/03/15
SIGN

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

豊科近代美術館
収蔵庫棟

北ﾃﾗｽ
ﾌｧﾝﾙｰﾑ
展示室６
休憩室
展示室７
空調
機械室
廊下
渡り廊下
展示室５
展示室８
庭園
上部
西ﾃﾗｽ
中庭
上部
ﾃﾗｽ
EV
西階段
東階段
DN
収蔵庫2
前室
女子便所
男子便所
交流学習ｾﾝﾀｰ
きぼう
機械室
EV
倉庫
EVﾎｰﾙ
展示室９
ｶﾞﾗｽ
ｹｰｽ
湯沸室
倉庫
EXP. J

17500 3500 5000 5000 5500 5000 5000 3500 5000 = 32500
17500 3500 5000 5000 5500 5000 5000 3500 7500 5000 = 40000
5000 5000 3500 4000 6000 6000 1000 3000 3500 7500 3000 = 32000 10500

：外壁内側にﾌｶｼ壁新設(LGS65+PB12.5)+断熱材
：壁内側にﾌｶｼ壁新設(LGS65+PB12.5)
：外壁外側に断熱(湿式外断熱工法)

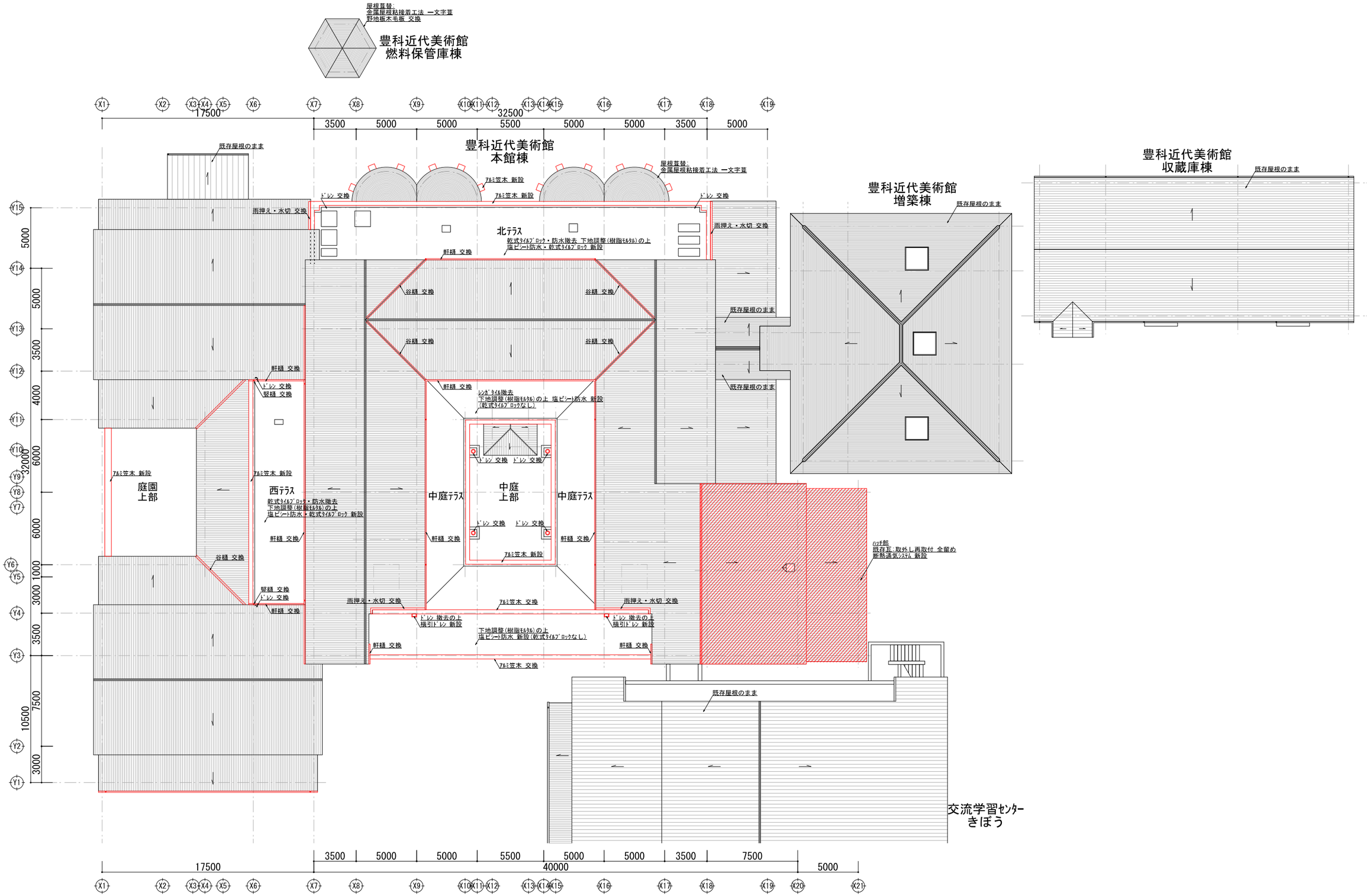
N
A
B
C
D
展開表示方向

特　記	

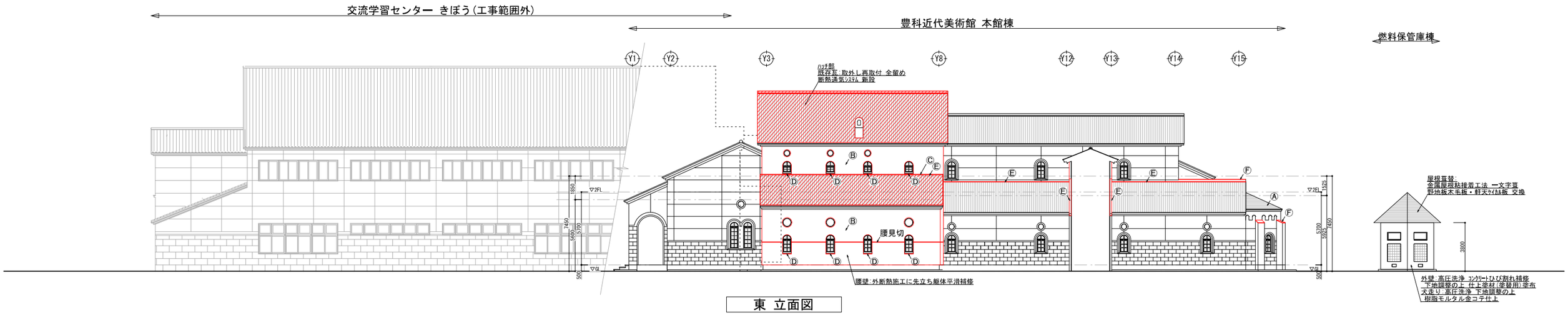
令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

改修　２階平面図

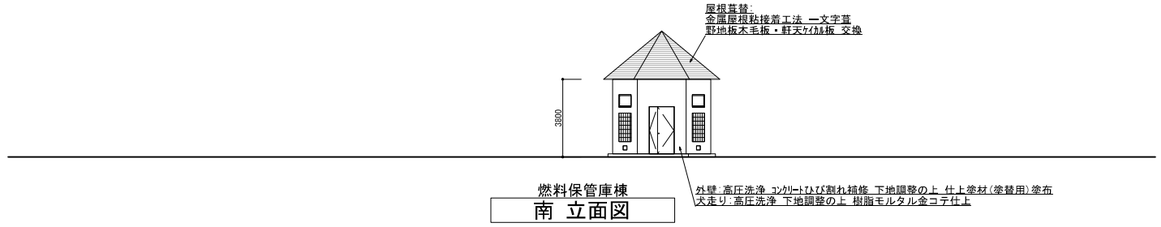
NO. A-16
SCALE A3：1/300
A1：1/150
DATE 2024/03/15
SIGN



特　記	本館棟の特記なき既存瓦：取外し再取付 全留め		令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-17
			改修 屋根伏図	SCALE A3：1/300 A1：1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN

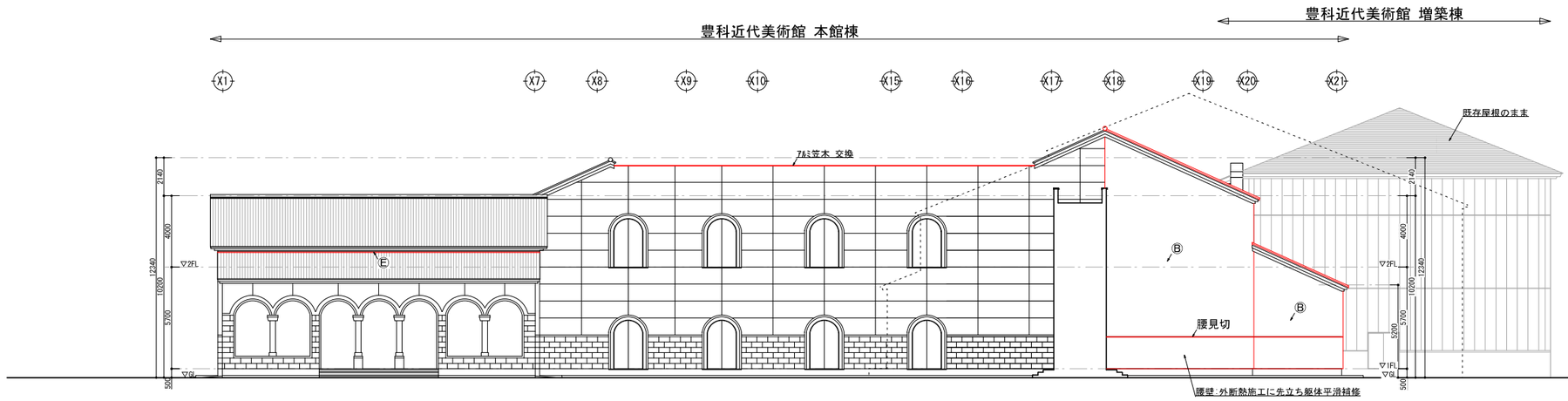


東 立面図

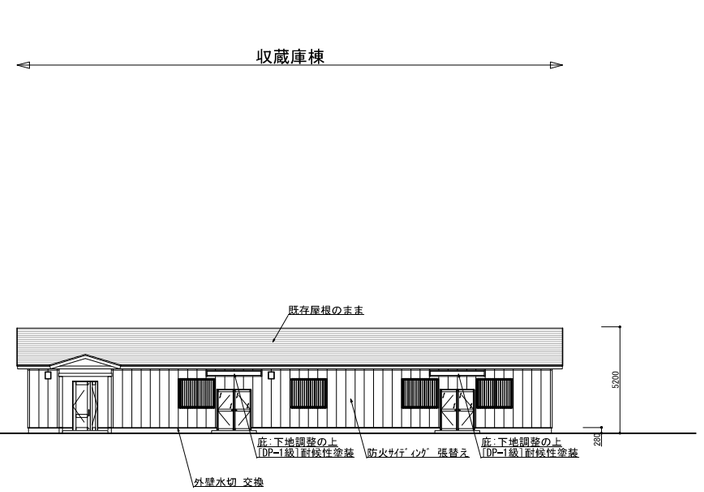


燃料保管庫棟
南 立面図

収蔵庫棟
東 立面図



南 立面図



収蔵庫棟
東 立面図

特記	本館棟 特記なき外壁：高圧洗浄 ｺﾝｸﾘｰﾄひび割れ補修 下地調整の上 仕上塗材（塗替用）塗布		
	本館棟 基礎巾木：ﾓﾙﾀﾙ【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】ひび割れ補修	Ⓐ：屋根葺替 金属屋根粘接着工法 一文字葺	Ⓓ：外断熱部 サッシ水切延長
	本館棟 屋根：既存瓦 取外し再取付 全留め	Ⓑ：外壁 湿式外断熱工法	Ⓔ：雨押え・水切 交換
	開口部改修内容は建具表による	Ⓒ：外断熱屋根と外断熱外壁取合 外壁目地切 新設	Ⓕ：ｱﾙﾐ笠木 新設

令和6年度（債務負担行為） 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO.	A-18
改修 立面図（1）	SCALE	A3：1/300 A1：1/150
	DATE	2024/03/15
	SIGN	

燃料保管庫棟

豊科近代美術館 本館棟

交流学習センター きぼう（工事範囲外）

Y15 Y14 Y12 Y11 Y6 Y6 Y4 Y3 Y2 Y1

開口拡大（構造補強）の上 排煙窓新設

屋根葺替：
金属屋根粘接着工法 一文字葺
野地板木毛板・軒天ｹｲｶﾙ板 交換

外壁：高圧洗浄 ｺﾝｸﾘｰﾄひび割れ補修 下地調整の上 仕上塗材（塗替用）塗布
犬走り：高圧洗浄 下地調整の上 樹脂モルタル金コテ仕上

既存建具改造（ｶﾊﾞｰ工法）
鋼戸設置

階段・ｽﾛｰﾌﾟ新設

ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ：補修・交換

ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ：補修・交換

西 立面図

収蔵庫棟

防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ 張替え

西 立面図

屋根葺替：
金属屋根粘接着工法 一文字葺
野地板木毛板・軒天ｹｲｶﾙ板 交換

外壁：高圧洗浄 ｺﾝｸﾘｰﾄひび割れ補修 下地調整の上 仕上塗材（塗替用）塗布
犬走り：高圧洗浄 下地調整の上 樹脂モルタル金コテ仕上

燃料保管庫棟

北 立面図

交流学習センター きぼう（工事範囲外）

豊科近代美術館 本館棟

豊科近代美術館 増築棟

収蔵庫棟

X21 X20 X19 X18 X17 X16 X14 X11 X9 X8 X7 X1

開口拡大（構造補強）の上 排煙窓新設

既存屋根のまま

防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ 張替え

外壁水切 交換

腰見切

腰壁：外断熱施工に先立ち躯体平滑補修

既存建具改造（ｶﾊﾞｰ工法）
鋼戸設置

ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ：補修・交換

北 立面図

特記

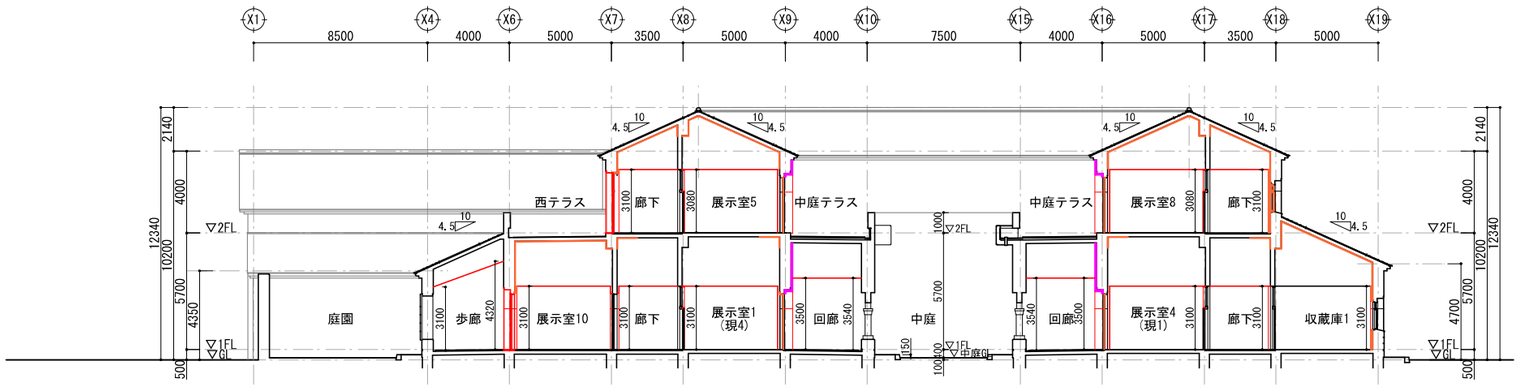
本館棟 特記なき外壁：高圧洗浄 ｺﾝｸﾘｰﾄひび割れ補修 下地調整の上 仕上塗材（塗替用）塗布
本館棟 基礎巾木：ﾓﾙﾀﾙ【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】ひび割れ補修
本館棟 屋根：既存瓦 取外し再取付 全留め
開口部改修内容は建具表による

Ⓐ：屋根葺替 金属屋根粘接着工法 一文字葺
Ⓑ：外壁 湿式外断熱工法
Ⓒ：外断熱屋根と外断熱外壁取合 外壁目地切 新設
Ⓓ：外断熱部 サッシ水切延長
Ⓔ：雨押え・水切 交換
Ⓕ：ｱﾙﾐ笠木 新設

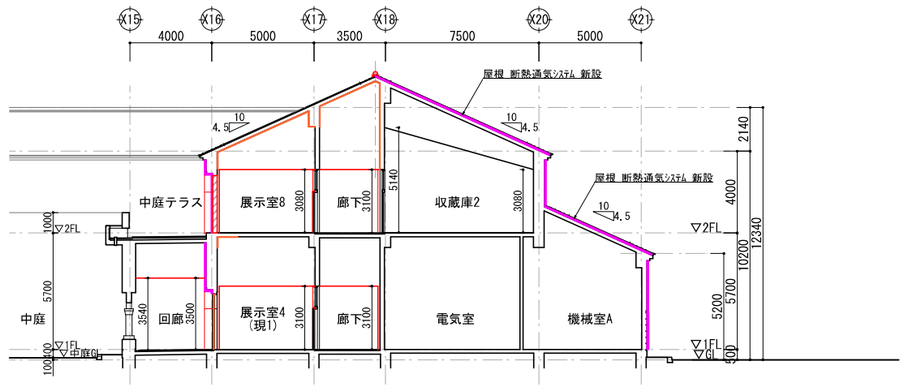
令和6年度（債務負担行為） 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

改修 立面図（2）

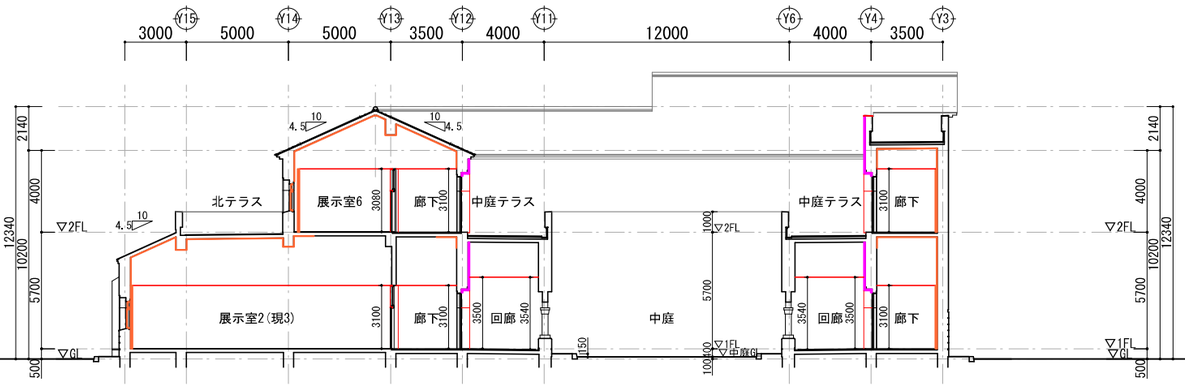
NO. A-19
SCALE A3：1/300
A1：1/150
DATE 2023/03/15
SIGN



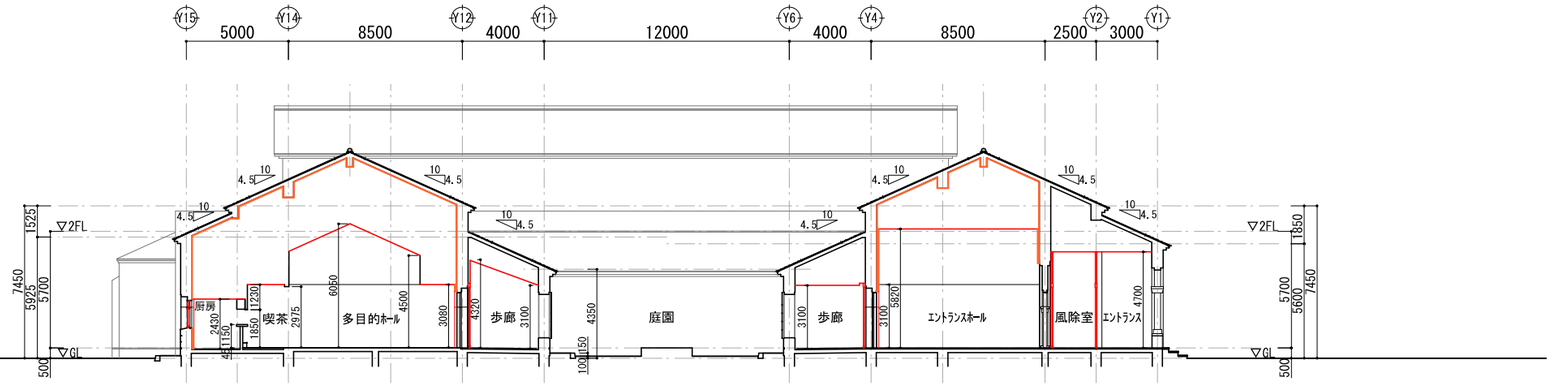
A-A' 断面図



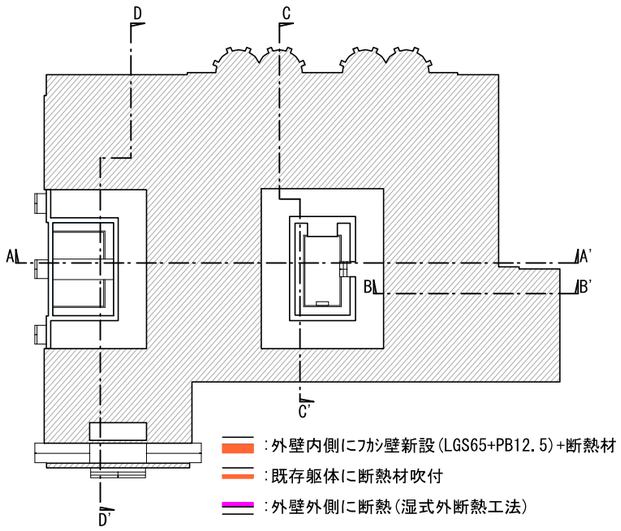
B-B' 断面図



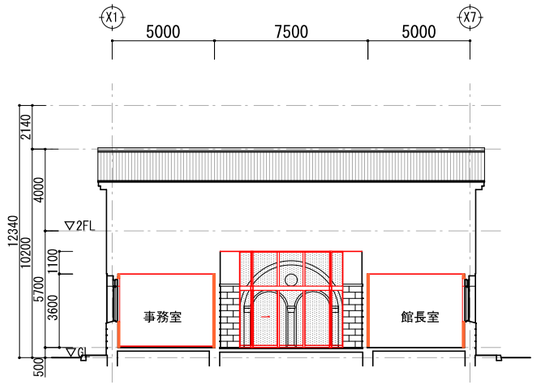
C-C' 断面図



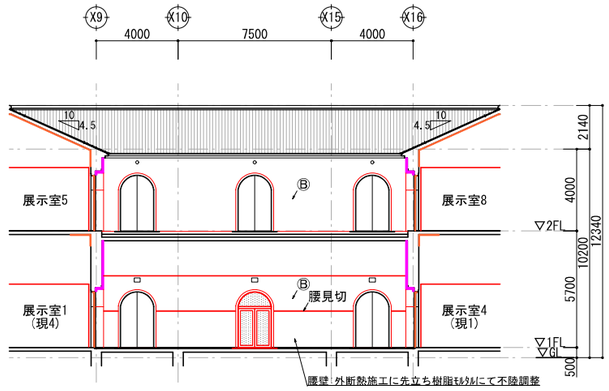
D-D' 断面図



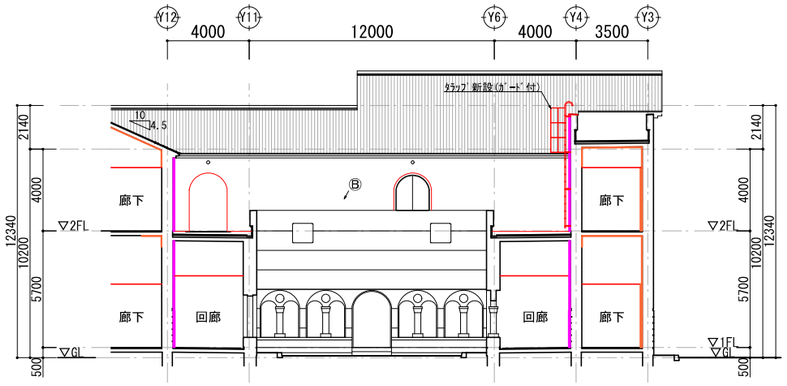
特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-20
			改修 断面図(1)	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN



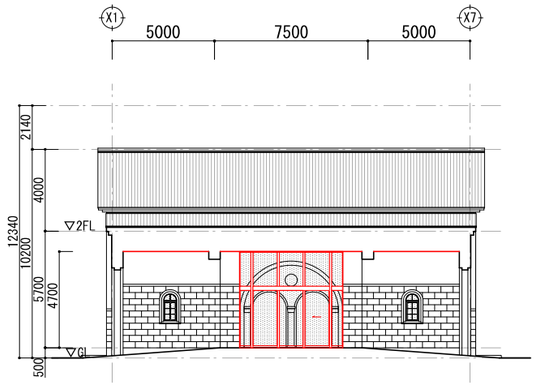
1-1’ 断面図



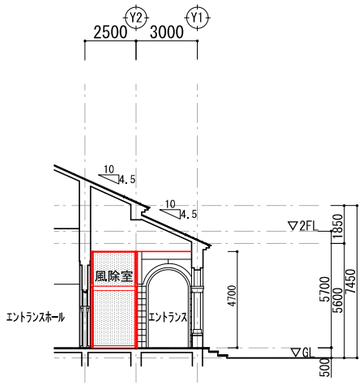
4-4’ 断面図



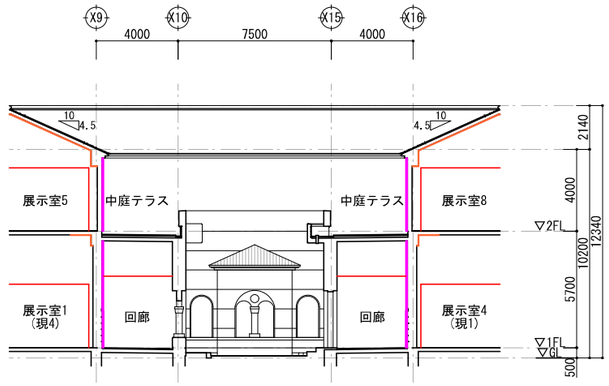
7-7’ 断面図



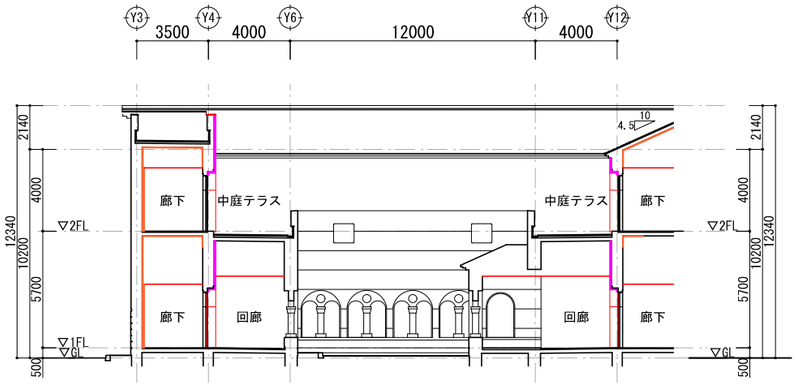
2-2’ 断面図



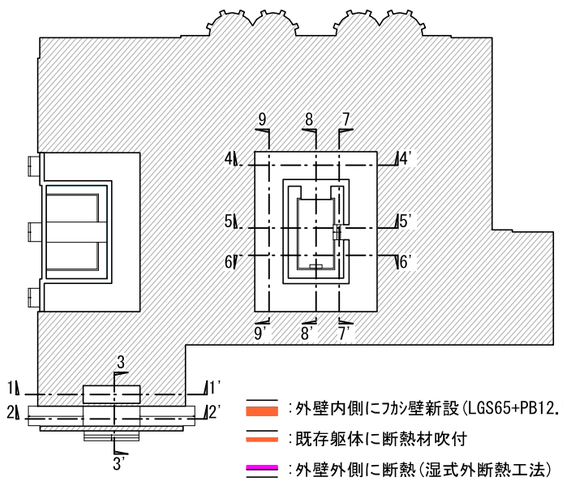
3-3’ 断面図



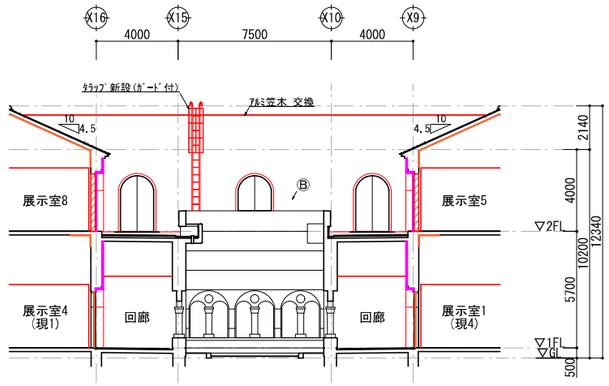
5-5’ 断面図



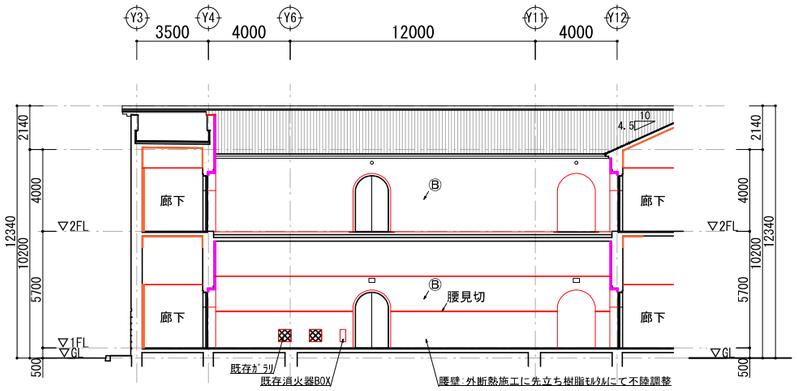
8-8’ 断面図



：外壁内側にﾌｶｼ壁新設(LGS65+PB12.5)+断熱材
：既存躯体に断熱材吹付
：外壁外側に断熱(湿式外断熱工法)



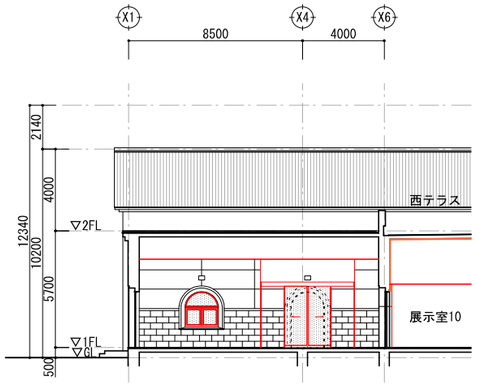
6-6’ 断面図



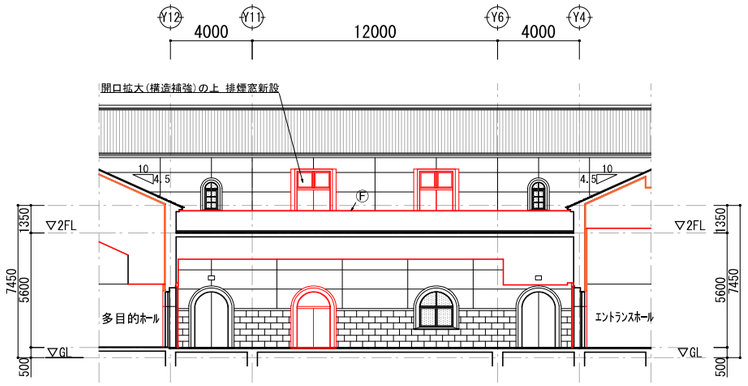
9-9’ 断面図

特記	特記なき外壁:高圧洗浄 ｺﾝｸﾘｰﾄひび割れ補修 下地調整の上 仕上塗材(塗替用)塗布 ~~基礎巾木:ﾓﾙﾀﾙ【石綿含有ﾊﾟﾈﾙ】ひび割れ補修~~ 屋根:既存瓦 取外し再取付 全留め 開口部改修内容は建具表による	~~Ⓐ:屋根葺替 金属屋根粘接着工法 一文字葺~~ Ⓑ:外壁 湿式外断熱工法 ~~Ⓒ:外断熱屋根と外断熱外壁取合 外壁目地切 新設~~	~~Ⓓ:外断熱部 サッシ水切延長~~ Ⓔ:雨押え・水切 交換 Ⓕ:ｱﾙﾐ笠木 新設

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO.	A-21
改修 断面図(2)	SCALE	A3:1/300 A1:1/150
	DATE	2024/03/15
	SIGN	



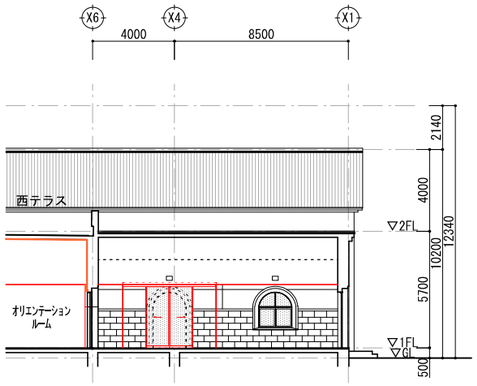
10-10’ 断面図



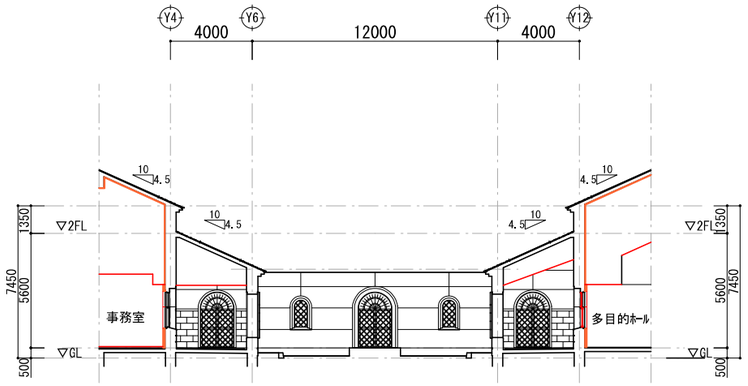
13-13’ 断面図

11-11’ 断面図

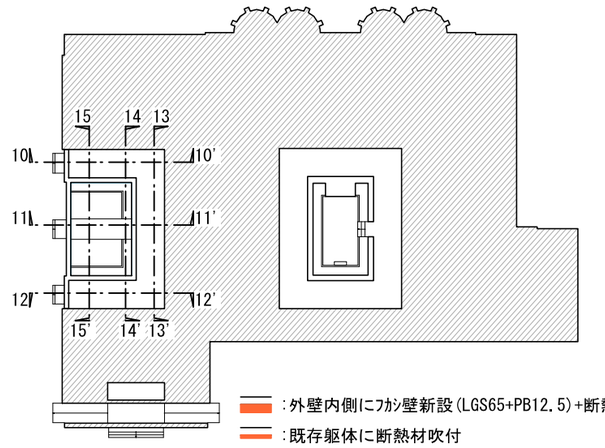
14-14’ 断面図



12-12’ 断面図

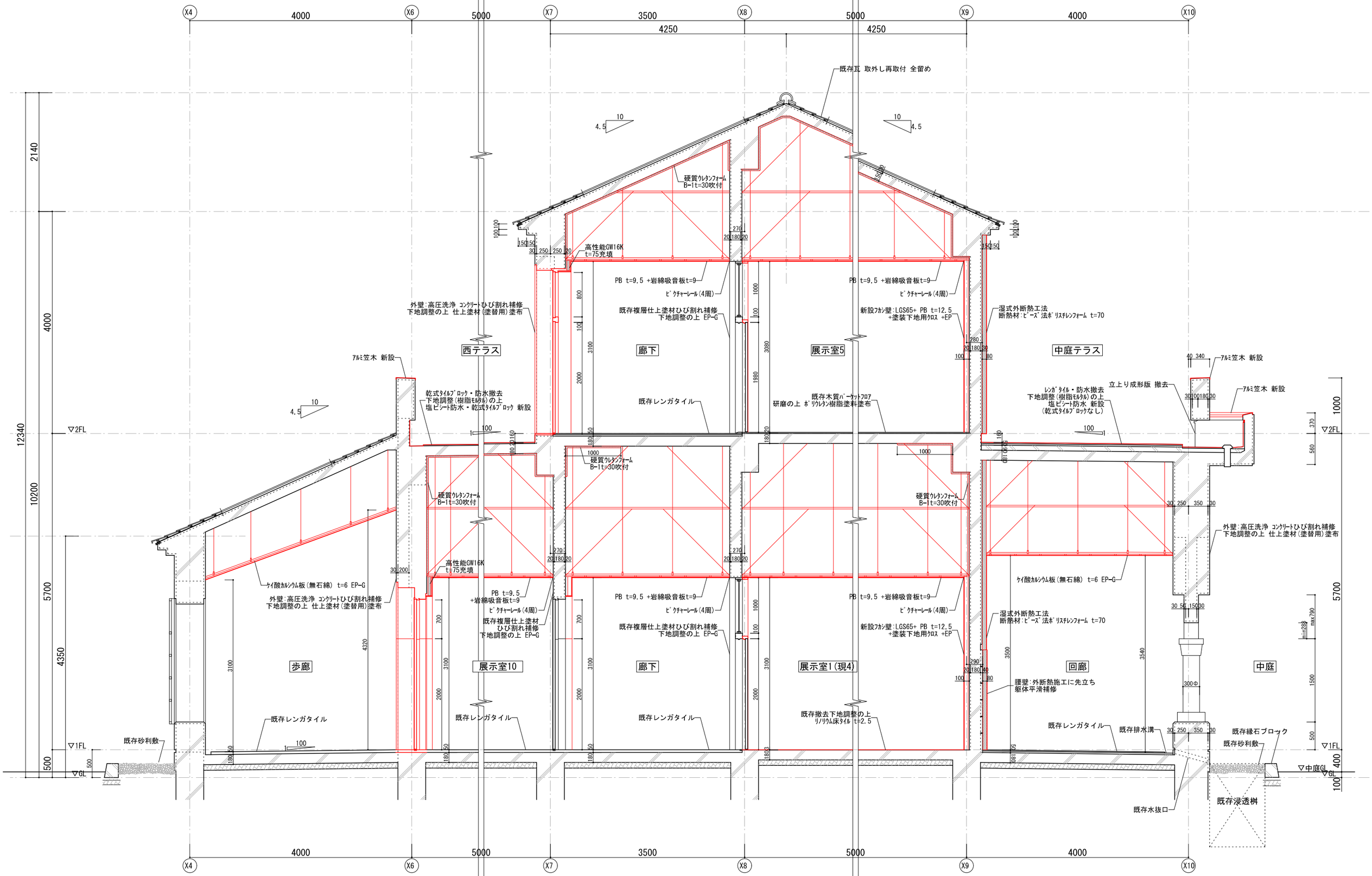


15-15’ 断面図

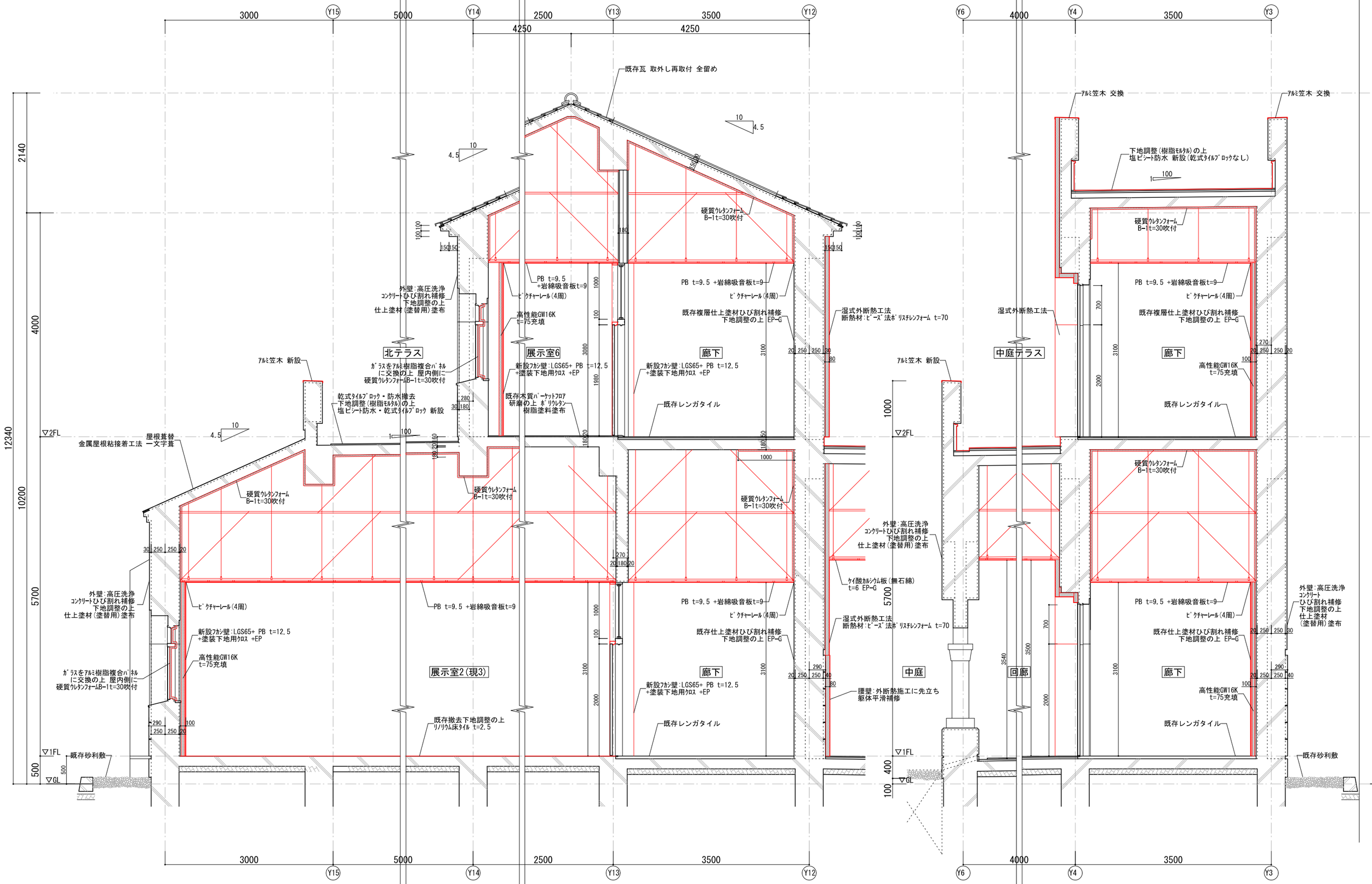


特　　記	特記なき外壁:高圧洗浄 ｺﾝｸﾘｰﾄひび割れ補修 下地調整の上 仕上塗材(塗替用)塗布 ~~基礎巾木:ﾓﾙﾀﾙ【石綿含有ﾊﾟﾈﾙ】ひび割れ補修~~ 屋根:既存瓦 取外し再取付 全留め 開口部改修内容は建具表による ~~Ⓐ:屋根葺替 金属屋根粘接着工法 一文字葺~~ ~~Ⓑ:外壁 湿式外断熱工法~~ ~~Ⓒ:外断熱屋根と外断熱外壁取合 外壁目地切 新設~~ ~~Ⓓ:外断熱部 サッシ水切延長~~ Ⓔ:雨押え・水切 交換 Ⓕ:ｱﾙﾐ笠木 新設

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO.	A-22
改修 断面図(3)	SCALE	A3:1/300 A1:1/150
	DATE	2024/03/15
	SIGN	



特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-23
			改修 断面詳細図(1)	SCALE A3:1/60 A1:1/30
			DATE 2024/03/15	SIGN



特記		令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-24
		改修 断面詳細図(2)	SCALE A3:1/60 A1:1/30
		DATE 2024/03/15	SIGN

庭園
FL±0
FL-450
FL-310
FL-170
DN
ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ:補修・交換
CH3100~4320
歩廊
FL-40
既存石製ベンチ
:保管の上 再設置
既存格子:ｱｸﾘﾙ板撤去、下地調整の上 再塗装
腰壁:高圧洗浄 ｺﾝｸﾘｰﾄひび割れ補修
下地調整の上 仕上塗材(塗替用)塗布
展示室10
撤去
既存ｶﾞﾗｽ垂壁 交換の為撤去
CH3100
ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ
ﾙｰﾑ
FL±0
木製窓台付加
既存建具撤去の上
自動ﾄﾞｱ 新設
防護柵
CH3040
木製窓台付加
受付
FL+60
受付ｶｳﾝﾀｰ 新設
UP
980
3600
500
1050
300
450
既存建具撤去の上
自閉引戸 新設
CH3540
事務室
FL+60
ｻｯｼ下地:St L-50x50x6
あと施工ｱﾝｶｰM-10@900
自動ﾄﾞｱ
CH4700
風除室
FL±0
増築部分
:9.95㎡
365
2100
2145
通用口
(ﾃﾝｷｰ錠)
ﾐﾆｷｯﾁﾝW1200 交換
CH3100~5820
ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ
FL±0
展示什器 既存品再利用
CH3600
館長室
FL±0
洗面化粧台 交換
既存ｼｬｯﾀｰ改造
(危害防止装置)
CH3100
廊下
FL±0
CH4700
ｴﾝﾄﾗﾝｽ
FL±0
1160
670
3840
670
1160
FL-500
SUS手摺新設
30φh750
5000
3500
4000
5000
3500
2250
3000
1250
X1
X2
X4
X6
X7
X8
X9
X10
X12
X13
X14
竪樋 交換
DN
FL-165
FL-350
FL-500
御影石敷均:補修・交換
既存御影石
車椅子経路・点字ﾌﾞﾛｯｸ:磁器質ﾀｲﾙ300角
展示室１(現４)
CH3100
廊下
FL±0
CH3100
展示室１
(現倉庫)
FL±0
【構造補強工事】
構造ｽﾘｯﾄ新設
既存消火器BOX
段鼻:防滑塗床材
手摺新設
EV
機械室
既存ｶﾞﾗﾘ
EVﾘﾆｭｰｱﾙ
EV
UP
DN
CH2900
西階段
FL±0
木枠
ｻｲﾈｰｼﾞ上下:新設ﾌｶｼ壁
既存ｶﾞﾗｽ垂壁:再利用
25
170
1480
25
CH3500
~3540
回廊
FL-40
既存石製ベンチ
:保管の上 再設置
Y8
Y6
Y4
Y3
Y2
Y1
3900
2100
4000
3500
7500
3000
中庭
FL-260
竪樋 交換
竪樋 交換
既存石製ベンチ
:保管の上 再設置
腰壁:高圧洗浄 ｺﾝｸﾘｰﾄひび割れ補修
下地調整の上 仕上塗材(塗替用)塗布
FL-40
既存石製ベンチ
保管の上 再設置
既存建具撤去の上
ガラス戸に交換
FL±0
CH3100
廊下
FL±0

特記

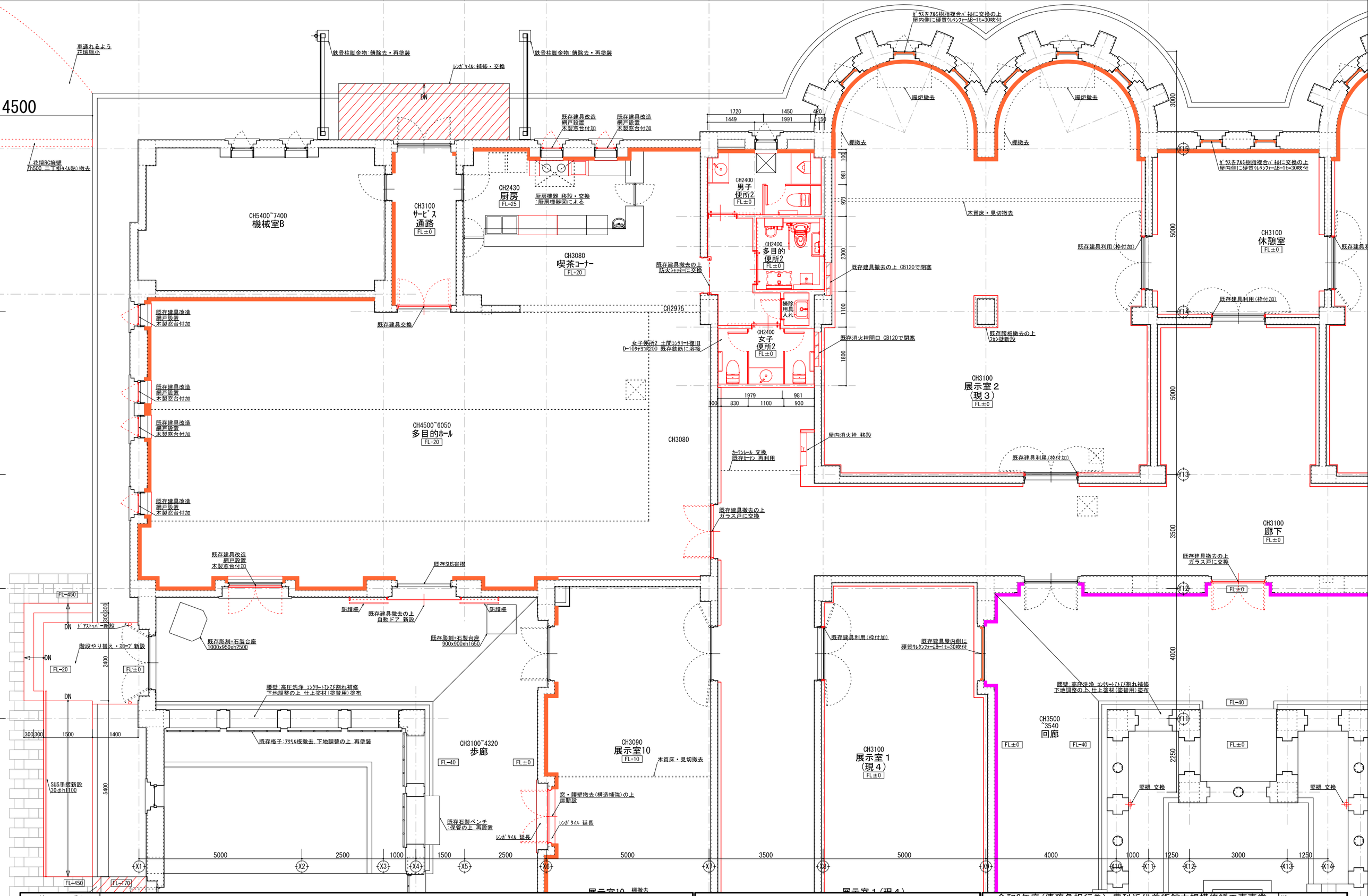
：外壁内側にﾌｶｼ壁新設(LGS65+PB12.5)+断熱材
：壁内側にﾌｶｼ壁新設(LGS65+PB12.5)
：外壁外側に断熱(湿式外断熱工法)

N
A
B
C
D
展開表示方向

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

改修 １階平面詳細図(1)

NO. A-25
SCALE A3:1/100 A1:1/50
DATE 2024/03/15
SIGN



特記

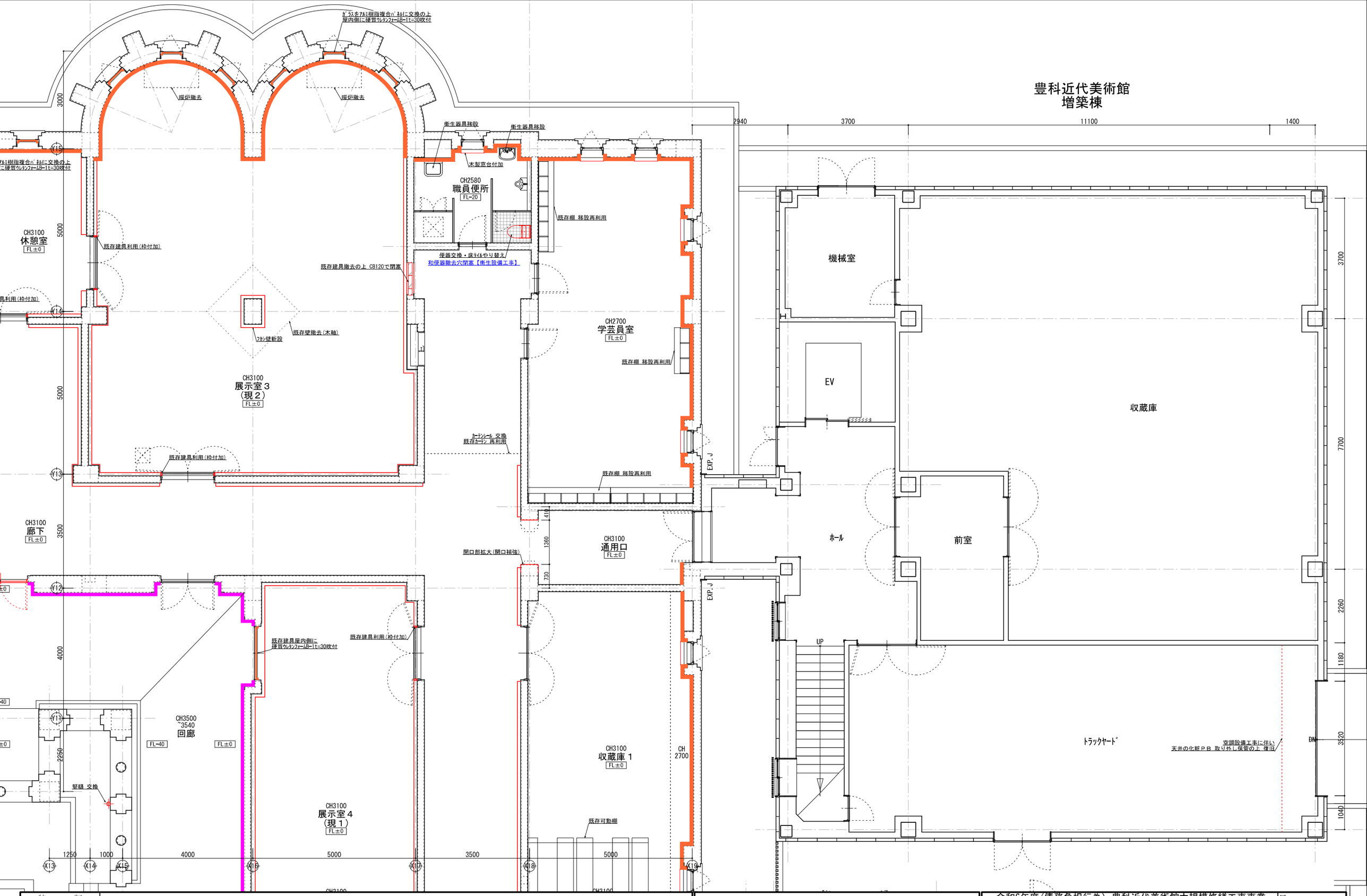
:外壁内側にフカシ壁新設(LGS65+PB12.5)+断熱材
:壁内側に壁新設(LGS65+PB12.5)
:外壁外側に断熱(湿式外断熱工法)

展開表示方向

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

改修 1階平面詳細図(2)

NO. A-26
SCALE A3:1/100 A1:1/50
DATE 2024/03/15
SIGN



特　記

：外壁内側にフカシ壁新設（LGS65+PB12.5）+断熱材
：壁内側に壁新設（LGS65+PB12.5）
：外壁外側に断熱（湿式外断熱工法）

展開表示方向

令和6年度（債務負担行為） 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-27
改修　１階平面詳細図（3）	SCALE A3:1/100 A1:1/50
DATE 2024/03/15	SIGN

中庭
FL-260

CH3500
3540
回廊

CH3100
展示室４
（現１）
FL±0

CH3100
収蔵庫１
FL±0

CH3100
廊下
FL±0

電気室

機械室A

消火栓
ﾎﾟﾝﾌﾟ室

設備ﾔｰﾄﾞ

CH2400
多目的
便所1
FL±0

CH3100
廊下
FL±0

CH2400
男子便所1
FL±0

CH2400
女子便所1
FL±0

CH2900
東階段
FL±0

CH3100
廊下
FL±0

既存建具撤去の上
ガラス戸に交換

既存ｶﾞﾗｽ垂壁 交換の為撤去

既存建具利用（枠付加）

既存建具屋内側に
硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑB-1 t=30吹付

【構造補強工事】
構造ｽﾘｯﾄ新設

既存消火器BOX

段鼻：防滑塗床材

手摺新設（既存品移設利用）

既存ｶﾞﾗｽ垂壁：再利用

腰壁：高圧洗浄 ｺﾝｸﾘｰﾄひび割れ補修
下地調整の上 仕上塗材（塗替用）塗布

既存石製ベンチ
保管の上 再設置

竪樋 交換

竪樋 交換

既存石製ベンチ
保管の上 再設置

UP

EXP.J

EXP.J

1000 5500 1000 4000 5000 3500 5000 2500 5000

X10 X11 X14 X15 X16 X17 X18 X19 X20 X21

Y8 Y6 Y4 Y3

3900 2100 4000 3500

FL-40 FL±0

：外壁内側にﾌｶｼ壁新設（LGS65+PB12.5）+断熱材
：壁内側にﾌｶｼ壁新設（LGS65+PB12.5）
：外壁外側に断熱（湿式外断熱工法）

N

A
D 展開表示方向 B
C

特記

令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

改修 １階平面詳細図（4）

NO. A-28
SCALE A3：1/100
A1：1/50
DATE 2024/03/15
SIGN

X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15 X16 X17 X18
5000 3500 5000 1000 5500 1000 4000 5000 3500

Y12 Y11 Y10 Y8 Y4 Y3
3500 4000 6000 3900 6100 3500

CH3100
廊下
FL±0

雨押え・水切 交換
既存瓦 取外し再取付 全留め
軒樋 交換
ﾄﾞﾚﾝ 交換
竪樋 交換
SUS排水溝
既存品利用
既存石製彫刻台座
防水立上げ h150
既存石製ベンチ
保管の上 再設置
ｶﾞﾗｽをｱﾙﾐ樹脂複合ﾊﾟﾈﾙに交換の上
屋内側に硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑA種-1t=30吹付
開口拡大(構造補強)の上 排煙窓新設
ｱﾙﾐ笠木 新設
乾式ﾀｲﾙﾌﾞﾛｯｸ・防水撤去
下地調整(樹脂ﾓﾙﾀﾙ)の上
塩ビシート防水・乾式ﾀｲﾙﾌﾞﾛｯｸ 新設

CH3080
展示室５
FL+20

既存建具利用(枠付加)
既存ｶﾝ壁(木軸)撤去の上
既存建具屋内側に
硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑA種-1t=30吹付
段鼻:防滑塗床材
手摺新設
EVﾘﾆｭｰｱﾙ
EV
DN
35段
CH3100
西階段
FL±0

西ﾃﾗｽ
FL-160

中庭ﾃﾗｽ
FL-175
ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ撤去
下地調整(樹脂ﾓﾙﾀﾙ)の上
塩ビシート防水 新設
(乾式ﾀｲﾙﾌﾞﾛｯｸなし)
ｺﾝｸﾘｰﾄｹﾞﾀ基礎(既存ｽﾗﾌﾞ上)
300Wx1000Lx150h 3本
【構造補強工事】
既存建具および
屋内側ｶﾝ壁(木軸)撤去の上
RCで閉塞

中庭
上部

鋼板ﾕﾆｯﾄ式ﾊﾄﾊﾞ小屋
「ﾜｰﾙﾄﾞ工業]HB-SS1H(同等品)
あと施ｱﾝｶｰx12本にて固定
屋復旧(ｶﾝ壁(木軸)撤去)
ｺﾝｸﾘｰﾄｹﾞﾀ基礎(既存ｽﾗﾌﾞ上)
300Wx1000Lx150h 8本
ｱﾙﾐ笠木 新設
既存瓦 取外し再取付 全留め
ﾄﾞﾚﾝ 交換
竪樋 交換
SUS排水溝
W150 新設
ﾗﾌﾀﾞ 新設(ｶﾞｰﾄﾞ付)
竪樋 新設
(上部陸屋根に新設の樋引ﾄﾞﾚﾝに接続)
外断熱部分を補強すること
ｺﾝｸﾘｰﾄｹﾞﾀ基礎(既存ｽﾗﾌﾞ上)
300Wx1000Lx150h 2本

CH3080
展示室８
FL+20
※展示室8のｶﾝ壁下地に
構造用合板t=12を付加

【構造補強工事】
既存建具および
屋内側ｶﾝ壁(木軸)撤去の上
RCで閉塞

既存ｼｬｯﾀｰ改造
(危害防止装置・随時開閉)

CH3100
前室
FL±0

EXP. J

1795 25 1480 25
ｻｲﾈｰｼﾞ 上下:新設ｶﾝ壁よりさらに100ｶﾝ
木枠

特記

：外壁内側にﾌｶﾝ壁新設(LGS65+PB12.5)+断熱材
：壁内側にﾌｶﾝ壁新設(LGS65+PB12.5)
：外壁外側に断熱(湿式外断熱工法)

N
A B C D 展開表示方向

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

改修 ２階平面詳細図(1)

NO. A-29
SCALE A3:1/100 A1:1/50
DATE 2024/03/15
SIGN

X6 X7 X8 X9 X11 X14 X16 X17 X18

5000 3500 5000 5000 5500 5000 5000 3500

Y15 Y14 Y13 Y12 Y11 Y10

5000 5000 3500 4000 6000

屋根葺替:
金属屋根粘接着工法 一文字葺

ｱﾙﾐ笠木 新設

ﾄﾞﾚﾝ 交換

雨押え・水切 交換

既存石製彫刻台座
:防水立上げ h150

ｺﾝｸﾘｰﾄｹﾞﾀ基礎(既存ｽﾗﾌﾞ上)
300Wx2200Lx150h 2本

SUS排水溝:既存品利用

竪樋 交換

北ﾃﾗｽ
FL-80

乾式ﾀｲﾙﾌﾞﾛｯｸ・防水撤去
下地調整(樹脂ﾓﾙﾀﾙ)の上
塩ビｼｰﾄ防水・乾式ﾀｲﾙﾌﾞﾛｯｸ 新設

既存石製ベンチ
:保管の上 再設置

ｶﾞﾗｽをｱﾙﾐ樹脂複合ﾊﾟﾈﾙに交換の上
屋内側に硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑB-1t=30吹付

開口拡大(構造補強)の上
排煙窓新設

CH3080
展示室６
FL+20

ﾌｧﾝﾙｰﾑ

CH3100
休憩室
FL±0

CH3080
展示室７
FL+20

間仕切壁(LGS)撤去

既存建具利用(枠付加)

CH3950
~5130
空調
機械室
壁・天井のｸﾞﾗｽｳｰﾙﾏｯﾄ
撤去の上 再施工とする

EXP. J

CH3100
廊下
FL±0

鋼板ﾕﾆｯﾄ式ﾊﾄ小屋
「ﾜｰﾙﾄﾞ工業HB-SS3H(同等品)
あと施工ｱﾝｶｰx12本にて固定

屋復旧(ﾌｶｼ壁(木軸)撤去)

既存瓦:取外し再取付 全留め

軒樋 交換

SUS排水溝
:既存品利用

既存ﾌｶｼ壁(木軸)撤去の上
既存建具屋内側に
硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑB-1t=30吹付

ｺﾝｸﾘｰﾄｹﾞﾀ基礎(既存ｽﾗﾌﾞ上)
300Wx1000Lx150h 8本

CH3080
展示室５
FL+20

中庭ﾃﾗｽ
FL-175

ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ撤去
下地調整(樹脂ﾓﾙﾀﾙ)の上
塩ビｼｰﾄ防水 新設

CH3080
展示室８
FL+20

※展示室8のﾌｶｼ壁下地に
構造用合板t=12を付加

乾式ﾀｲﾙﾌﾞﾛｯｸ・防水撤去

FL±0

特記

：外壁内側にﾌｶｼ壁新設(LGS65+PB12.5)+断熱材
：壁内側に壁新設(LGS65+PB12.5)
：外壁外側に断熱(湿式外断熱工法)

N

A B C D 展開表示方向

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

改修 ２階平面詳細図(2)

NO. A-30
SCALE A3:1/100 A1:1/50
DATE 2024/03/15
SIGN

豊科近代美術館
増築棟

3700　11100　1400

980　2080　640　7700　4940　2080　980

ﾄﾞﾚﾝ 交換

ｺﾝｸﾘｰﾄｹﾞﾀ基礎（既存ｽﾗﾌﾞ上）
300Wx2200Lx150h 2本

ｶﾞﾗｽをｱﾙﾐ樹脂複合ﾊﾟﾈﾙに交換の上
屋内側に硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑB-1t=30吹付

(LGS)撤去

CH3950
5130
空調
機械室

壁・天井のｶﾞﾗｽｳｰﾙﾏｯﾄ
撤去の上 再施工とする

雨押え・水切 交換

既存瓦:取外し再取付 全留め

EXP.J

雨押え・水切 交換

渡り廊下

既存引戸:駆動装置・制動装置(吊り車含む) 修理交換

機械室

EV

倉庫

EVﾎｰﾙ

展示室９

既存建具撤去の上新設
(ｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄなし,ﾄﾞｱﾎﾞﾄﾑ設置)

FIXｶﾞﾗｽ 取り外し保管の上 再取付

床仕上・下地(ｼｽﾃﾑﾌﾛｱ)撤去の上
同仕様にて復旧(通気孔は塞ぐ)

空調吹出口新設(空調換気設備工事)に伴い
ﾃﾞｯｷｽﾗﾌﾞ貫通及び構造補強

ｶﾞﾗｽ
ｹｰｽ

既存建具撤去の上新設
(ｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄなし,ﾄﾞｱﾎﾞﾄﾑ設置)

湯沸室

倉庫

DN

EXP.J

雨押え・水切 交換

既存瓦:取外し再取付 全留め

ｶﾞﾗｽをｱﾙﾐ樹脂複合ﾊﾟﾈﾙに交換の上
屋内側に硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑB-1t=30吹付

既存建具利用(枠付加)

ｶﾞﾗｽをｱﾙﾐ樹脂複合ﾊﾟﾈﾙに交換の上
屋内側に硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑB-1t=30吹付

壁(木軸)撤去の上
屋内側に
ﾝﾌｫｰﾑB-1t=30吹付

CH3080
展示室８
FL+20

※展示室8のみﾌｶｼ壁下地に
構造用合板t=12を付加

CH3100
廊下
FL±0

雨押え・水切 交換

外断熱部:ｻｯｼ水切延長

外断熱屋根と外断熱外壁取合:外壁目地切 新設

雨押え・水切 交換

既存瓦:取外し再取付 全留め
断熱通気ｼｽﾃﾑ 新設

CH3080~5140
収蔵庫2

特記

：外壁内側にﾌｶｼ壁新設(LGS65+PB12.5)+断熱材
：壁内側に壁新設(LGS65+PB12.5)
：外壁外側に断熱(湿式外断熱工法)

N

A
D 展開表示方向 B
C

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

改修 ２階平面詳細図(3)

NO. A-31
SCALE A3:1/100 A1:1/50
DATE 2024/03/15
SIGN

軒天ｹｲｶﾙ板 交換

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

豊科近代美術館
収蔵庫棟

交流学習ｾﾝﾀｰ
きぼう

機械室B
CH3100 サービス 通路 Ⓒ
CH2430 厨房 Ⓖ
CH3080 喫茶コーナー Ⓑ
CH2400 男子便所2 Ⓕ
CH2400 多目的便所2 Ⓕ
CH2400 Ⓕ
CH2400 女子便所2 Ⓕ
CH2580 職員便所 Ⓒ
CH3100 休憩室 Ⓐ
CH2700 学芸員室 Ⓒ
CH3100 展示室２（現３） Ⓐ
CH3100 展示室３（現２） Ⓐ
排煙口
CH3100 廊下 Ⓐ
CH3100 通用口 Ⓐ
CH4500~6050 多目的ﾎｰﾙ Ⓑ
CH3080 Ⓑ
巾木30x150 木製OSCL
巾木30x75 木製OSCL
ｸﾛｽ貼替え
CH3090 展示室10 Ⓐ
CH3100 展示室１（現４） Ⓐ
CH3100 展示室４（現１） Ⓐ
CH3100 収蔵庫１ Ⓒ
CH2700
庭園
CH3100~4320 歩廊 Ⓖ
CH3100 廊下 Ⓐ
CH3100 展示室１（現倉庫） Ⓒ
CH3500 ~3540 回廊 Ⓖ
中庭
CH3500 ~3540 回廊 Ⓖ
CH3100 廊下 Ⓐ
電気室
機械室A
CH3100 オリエンテーション ルーム Ⓐ
CH3100 Ⓖ
CH3200（自動ﾄﾞｱ部分）
Ⓔ EV 機械室
EV
CH2900 西階段
CH2900 東階段
CH3100 Ⓑ ｸﾛｽ貼替え
消火栓ﾎﾟﾝﾌﾟ室
多目的便所1
男子便所1
女子便所1
CH3040
CH3540 事務室 Ⓒ
CH3100~5820 ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ Ⓓ
CH3600 館長室 Ⓐ
CH4700 風除室 Ⓖ
CH4700 ｴﾝﾄﾗﾝｽ Ⓖ
機械室
EV
収蔵庫
ﾎｰﾙ
前室
ﾄﾗｯｸﾔｰﾄﾞ
天井の化粧PB 取り外し保管の上 復旧

X1 7500 X2 2500 X3 X4 2500 X5 2500 X6 5000 X7 3500 X8 5000 X9 5000 X10 X11 X12 5500 X13 X14 X15 5000 X16 5000 X17 3500 X18 5000 X19 X20 X21
32500

Y15 5000 Y14 5000 Y13 3500 Y12 4000 Y11 Y10 6000 Y9 32000 Y8 Y7 6000 Y6 1000 Y5 3000 3500 Y4 Y3 7500 10500 Y2 3000 Y1

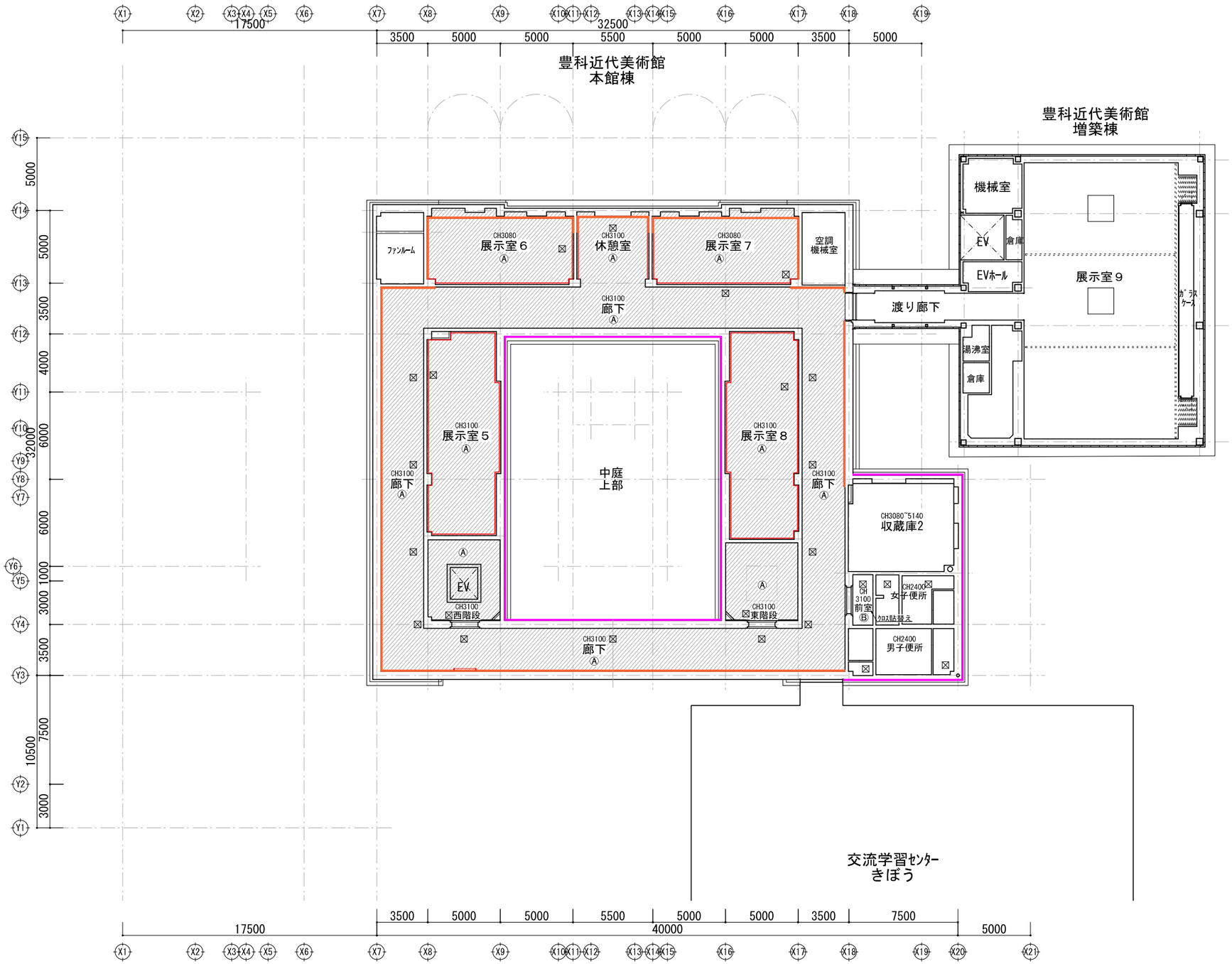
5000 7500 5000 3500 5000 5000 5500 5000 5000 3500 5000 2500 5000 6955
17500 40000

：外壁内側にﾌｶｼ壁新設（LGS65+PB12.5）+断熱材
：壁内側にﾌｶｼ壁新設（LGS65+PB12.5）
：外壁外側に断熱（湿式外断熱工法）
：天井裏スラブにウレタン吹付範囲を示す

N

特記		
	Ⓐ：PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	Ⓔ：既存複層仕上塗材 ひび割れ補修 下地調整の上 EP-G
	Ⓑ：PB t=9.5 +ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	Ⓕ：耐水PB t=9.5 +吹付ﾀｲﾙ 吹付
	Ⓒ：化粧PB t=9.5	Ⓖ：ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板（無石綿） t=6 EP-G
	Ⓓ：繊維補強PB t=5（曲面用）+岩綿吸音板 t=9（曲面用）	既存排煙口は下地調整の上[DP-2級]耐候性塗料塗りとする

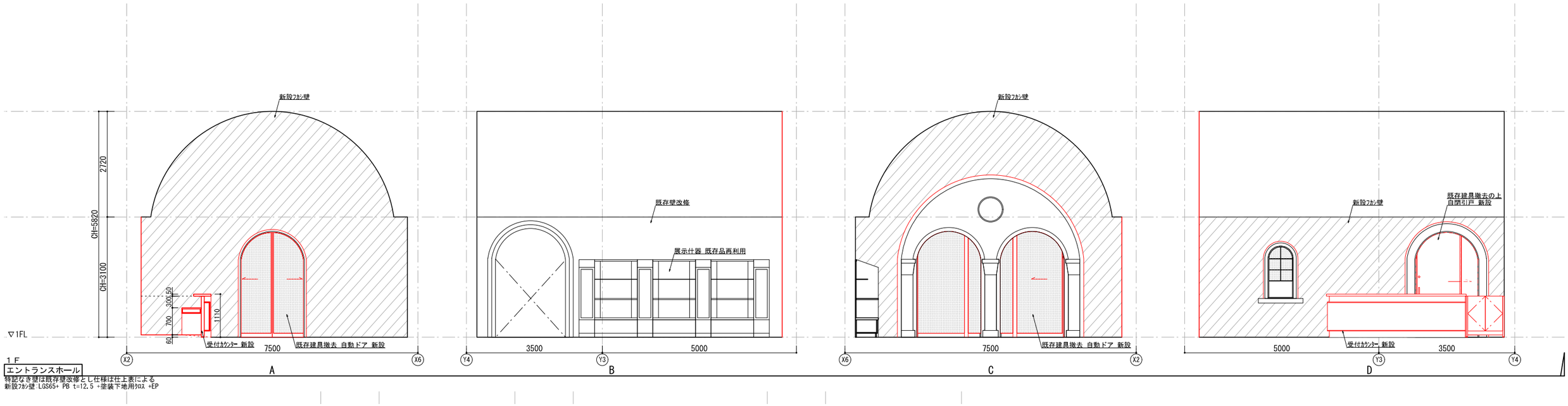
令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事		NO. A-32
改修 １階天井伏図		SCALE A3：1/300 A1：1/150
	DATE 2024/03/15	SIGN



：外壁内側にﾌｶｼ壁新設(LGS65+PB12.5)+断熱材
：壁内側にﾌｶｼ壁新設(LGS65+PB12.5)
：外壁外側に断熱(湿式外断熱工法)
：天井裏スラブにウレタン吹付範囲を示す

特記		
	Ⓐ ：PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9	Ⓔ ：既存複層仕上塗材 ひび割れ補修 下地調整の上 EP-G
	Ⓑ ：PB t=9.5 +ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	Ⓕ ：耐水PB t=9.5 +吹付ﾀｲﾙ 吹付
	Ⓒ ：化粧PB t=9.5	Ⓖ ：ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(無石綿) t=6 EP-G
	Ⓓ ：繊維補強PB t=5(曲面用) +岩綿吸音板 t=9(曲面用)	既存排煙口は下地調整の上[DP-2級]耐候性塗料塗りとする

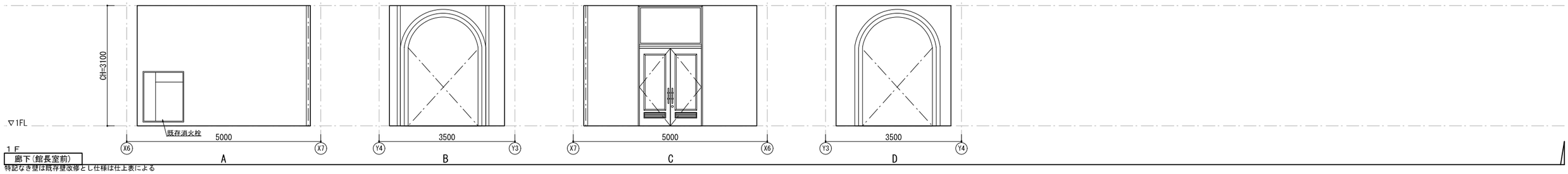
令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO.	A-33
改修 ２階天井伏図	SCALE	A3：1/300 A1：1/150
	DATE	2024/03/15
	SIGN	



1 F

エントランスホール

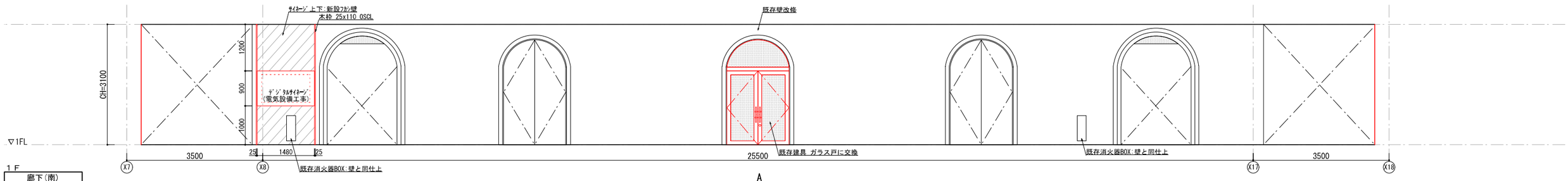
特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶﾝ壁:LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP



1 F

廊下(館長室前)

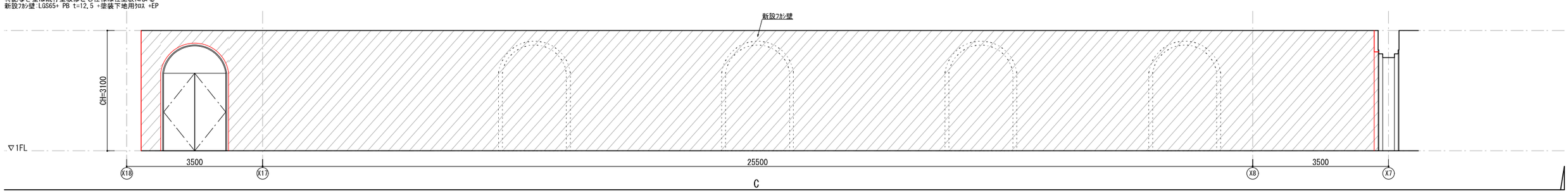
特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による



1 F

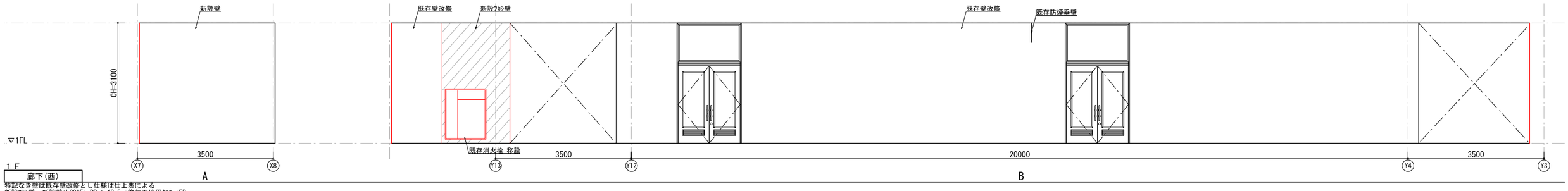
廊下(南)

特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶﾝ壁:LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP



特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			改修 展開図(1)
			DATE 2024/03/15

NO. A-34
SCALE A3:1/100 A1:1/50
SIGN

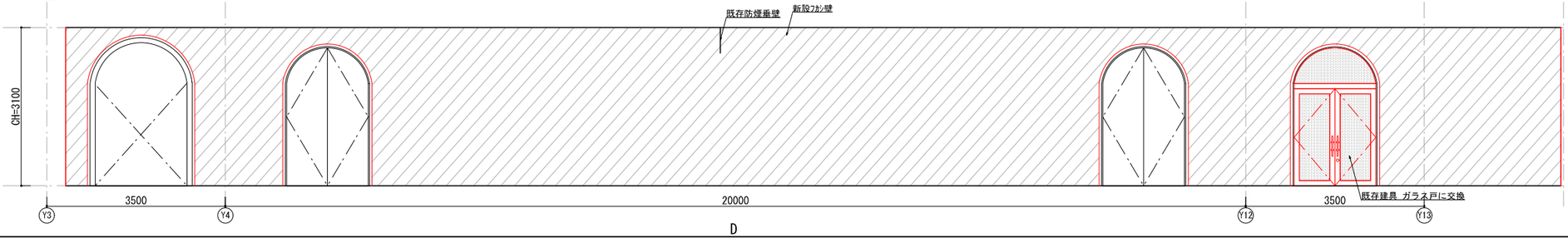


1 F

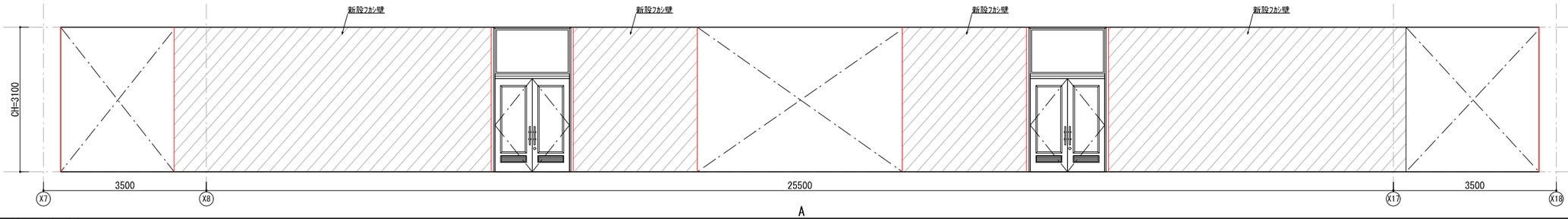
廊下（西）

特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶﾝ壁・新設壁：LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP

A



B

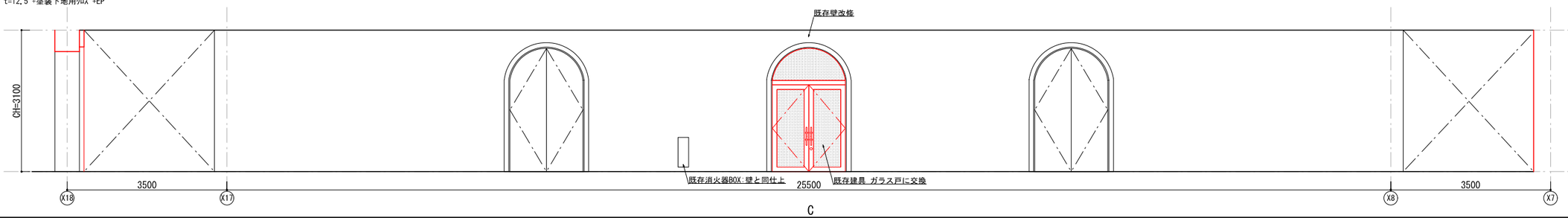


1 F

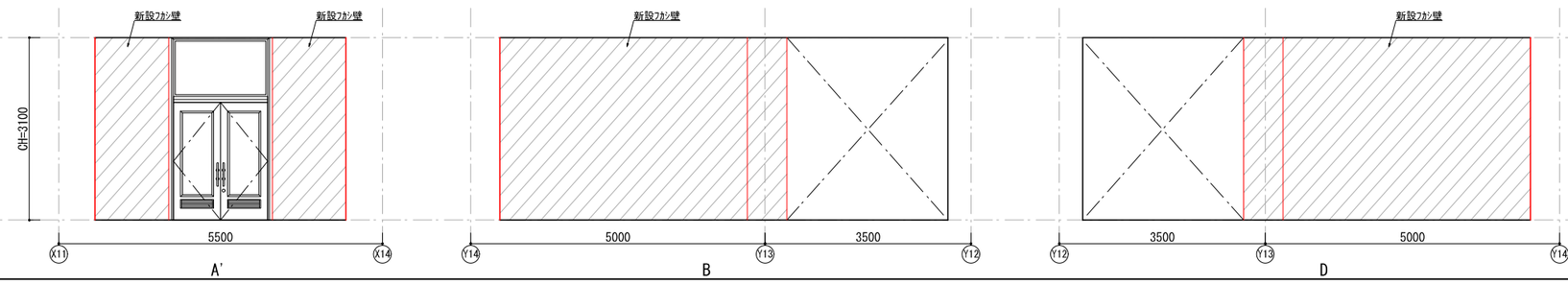
廊下（北）

特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶﾝ壁：LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP

A

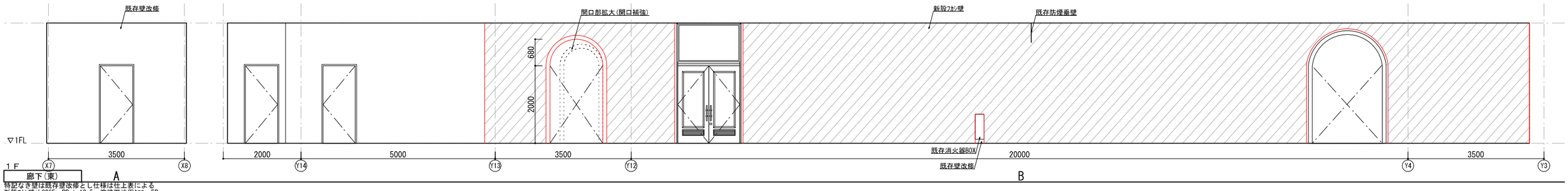


C

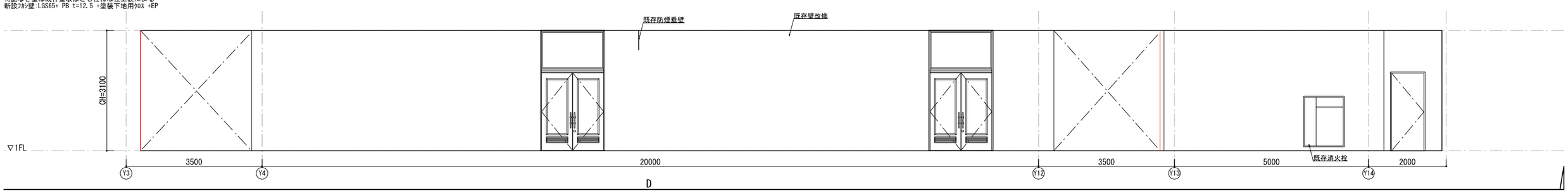


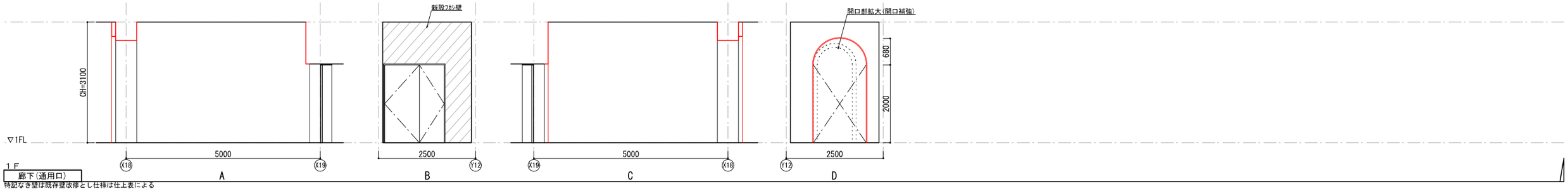
A'　B　D

特　記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-35
			改修 展開図（2）	SCALE A3：1/100 A1：1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN

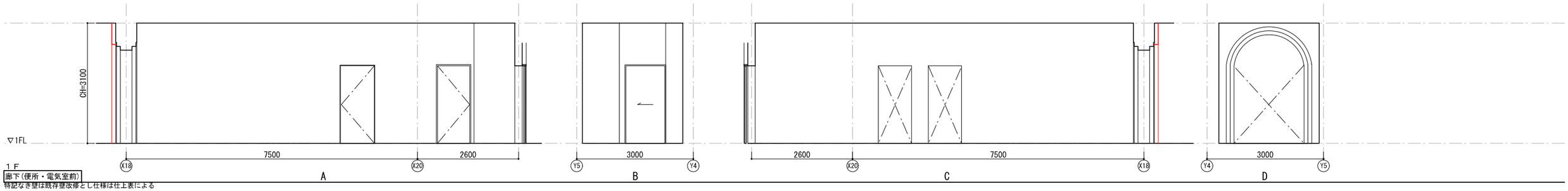


特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶﾝ壁 LGS65+ PB t=12.5 ÷塗装下地用ｸﾛｽ +EP

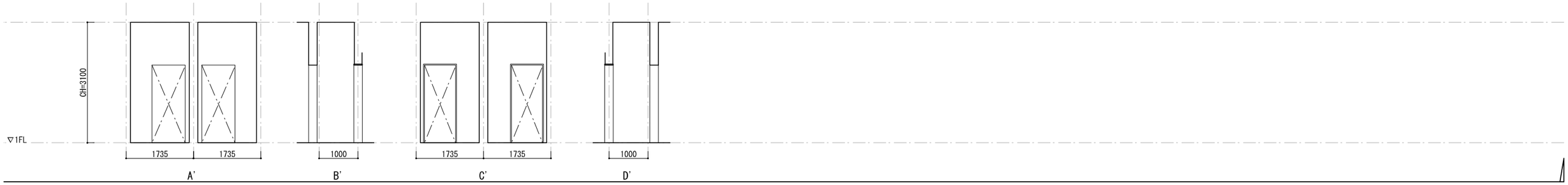




特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による



特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による

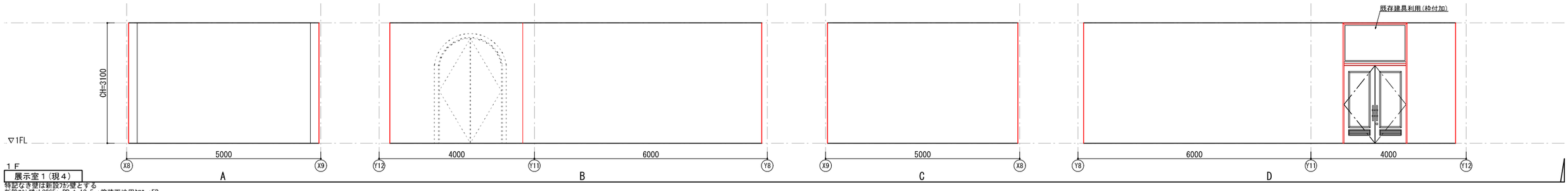


特　記	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-36
改修 展開図(3)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
DATE 2024/03/15	SIGN

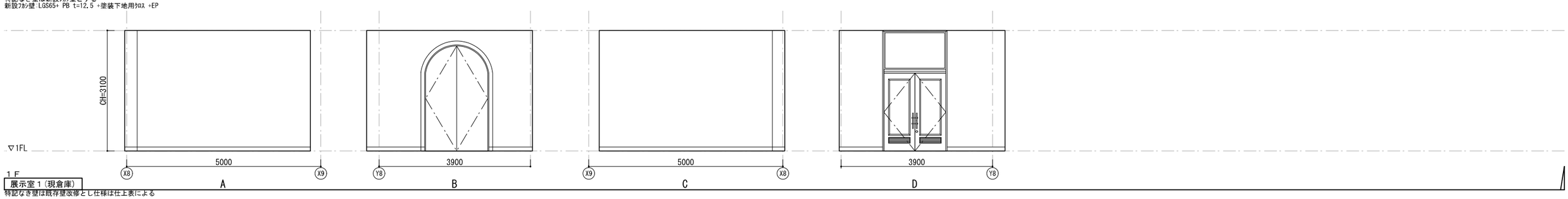
展示室１（現４）

特記なき壁は新設ｶﾗﾝ壁とする
新設ｶﾗﾝ壁：LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP



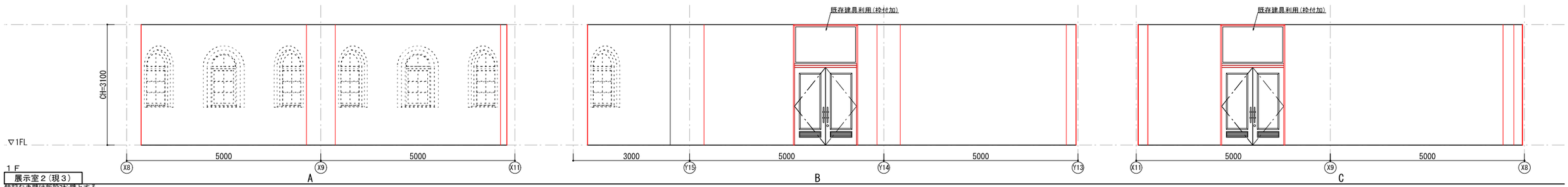
展示室１（現倉庫）

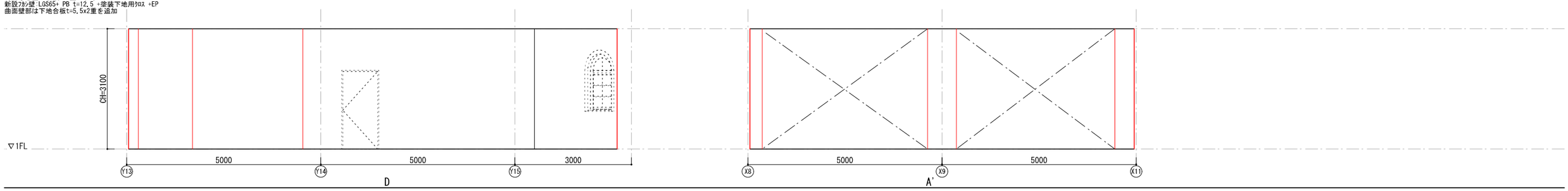
特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による

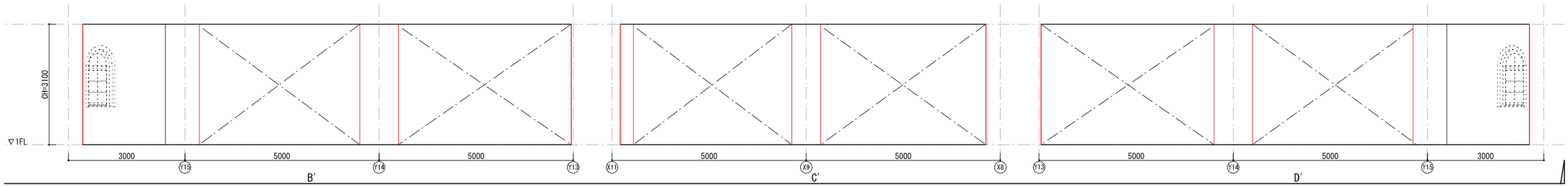


展示室２（現３）

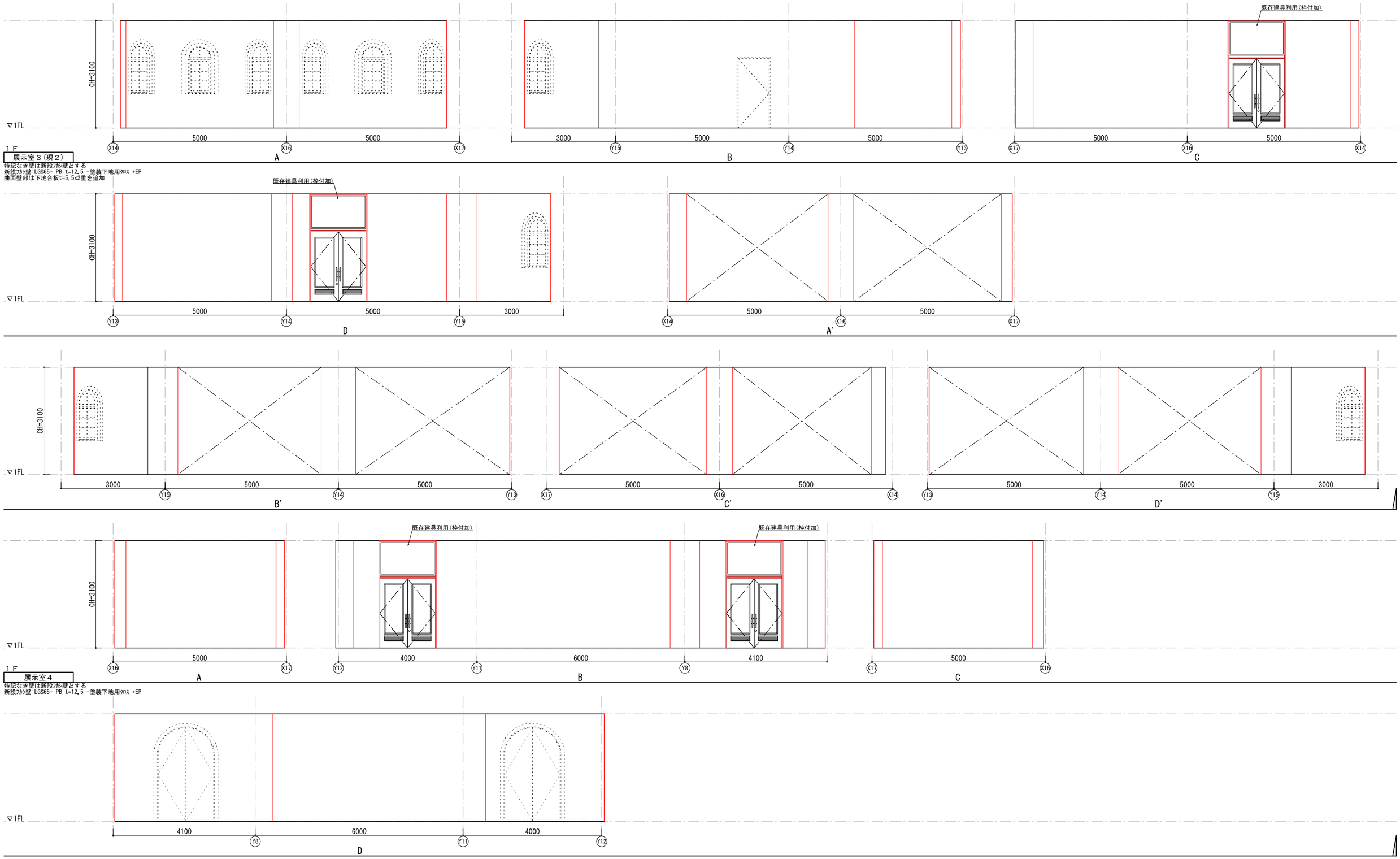
特記なき壁は新設ｶﾗﾝ壁とする
新設ｶﾗﾝ壁：LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP
曲面壁部は下地合板t=5.5x2重を追加







特　記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-37
			改修 展開図（4）	SCALE A3：1/100 A1：1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN



1 F

展示室３（現２）

特記なき壁は新設ｶﾗ壁とする
新設ｶﾗ壁：LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP
曲面壁部は下地合板t=5.5x2重を追加

1 F

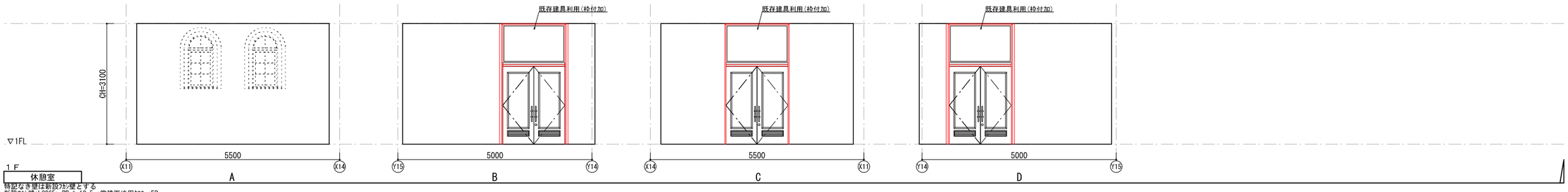
展示室４

特記なき壁は新設ｶﾗ壁とする
新設ｶﾗ壁：LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP

特記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-38
			改修 展開図(5)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN

休憩室

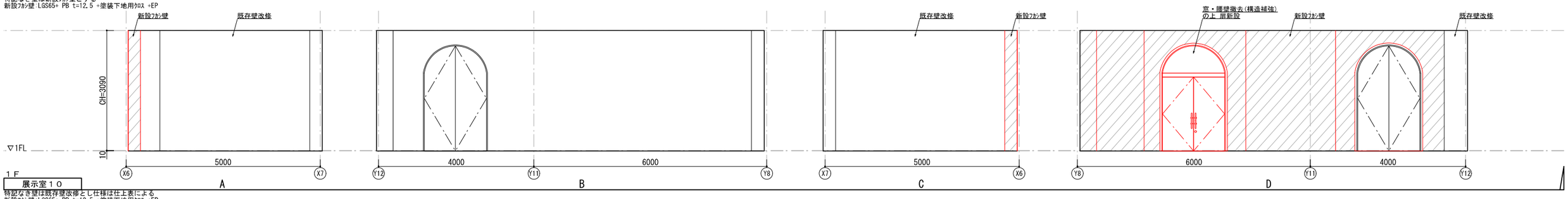
特記なき壁は新設ﾌｶﾝ壁とする
新設ﾌｶﾝ壁:LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP



1 F

展示室１０

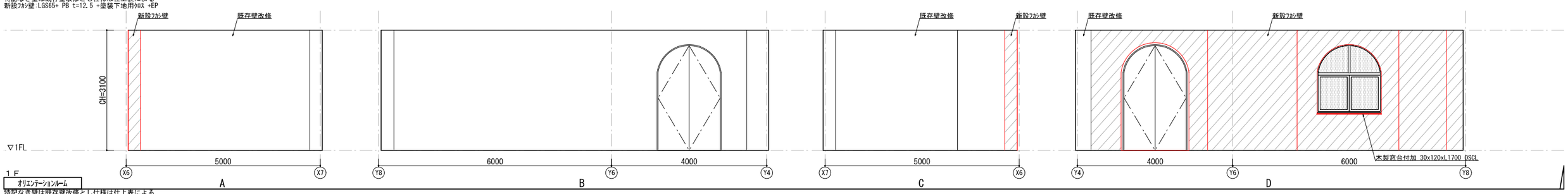
特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶﾝ壁:LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP



1 F

オリエンテーションルーム

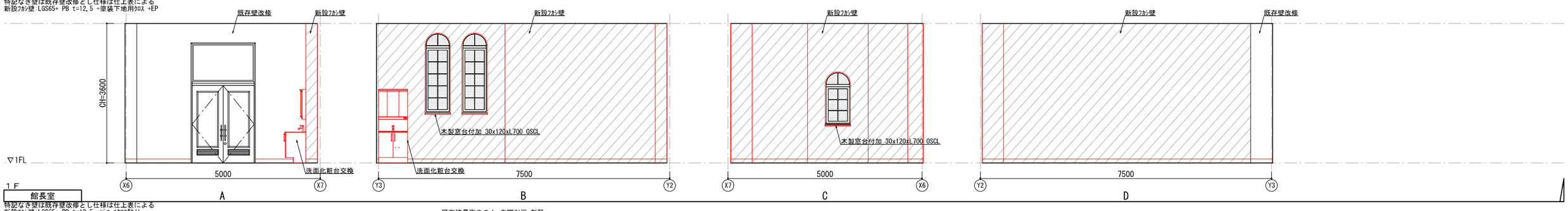
特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶﾝ壁:LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP



1 F

館長室

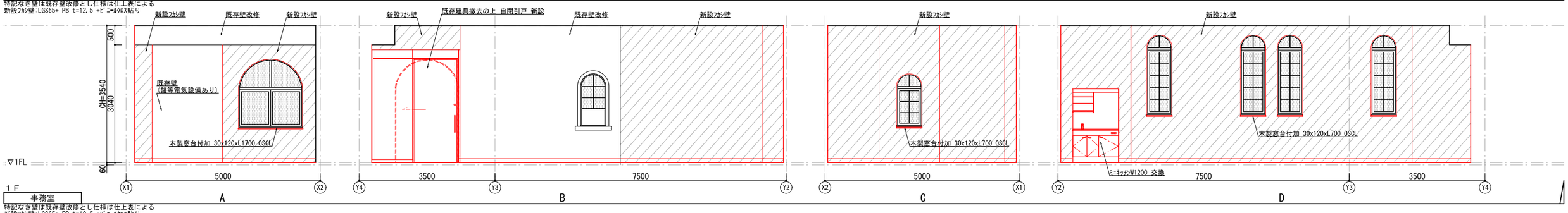
特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶﾝ壁:LGS65+ PB t=12.5 +ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り



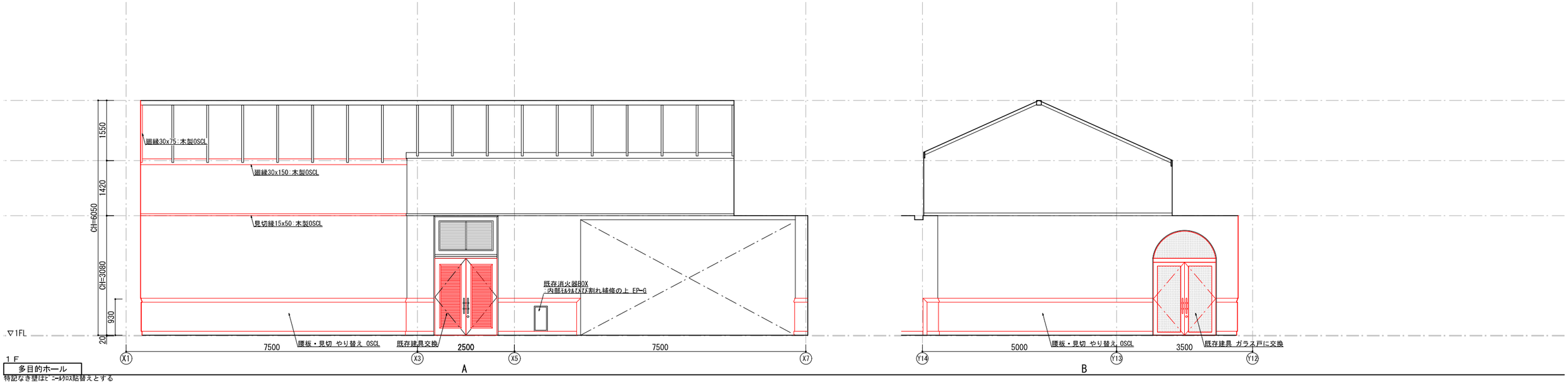
1 F

事務室

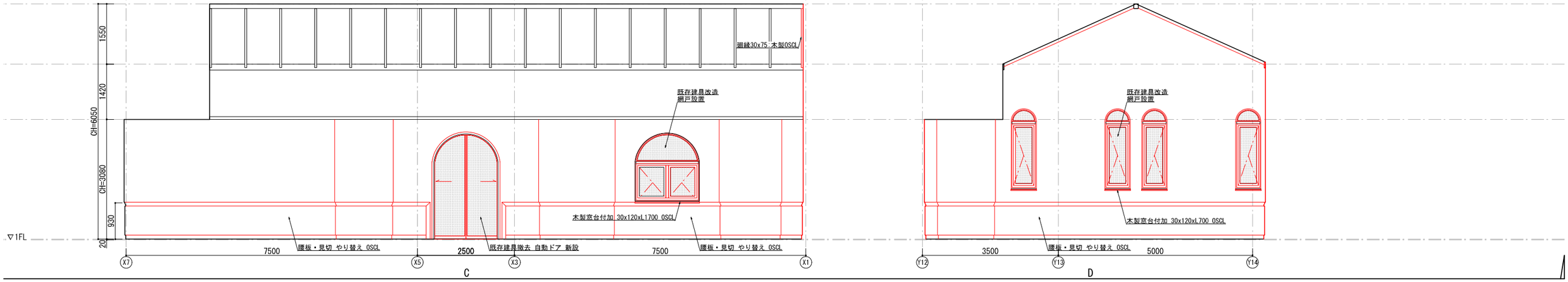
特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶﾝ壁:LGS65+ PB t=12.5 +ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り

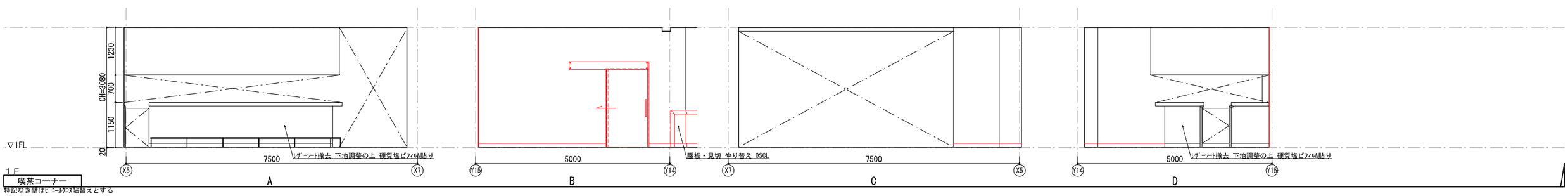


特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-39
			改修 展開図(6)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN



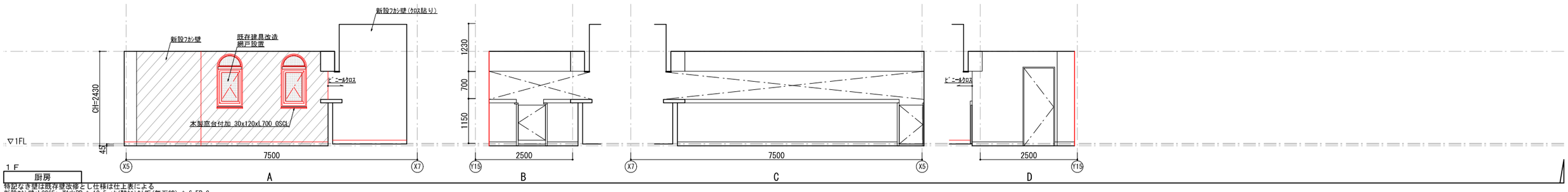
1 F
多目的ホール
特記なき壁はﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼替えとする





1 F
喫茶コーナー
特記なき壁はﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼替えとする

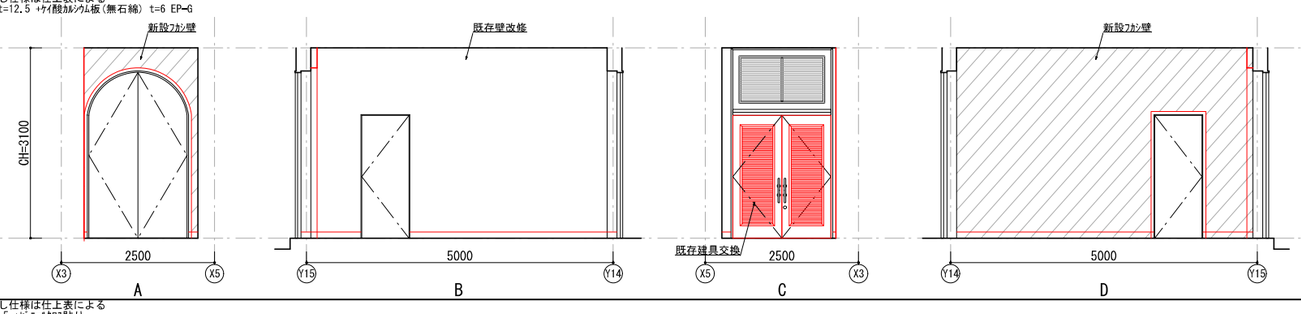
特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-40
			改修 展開図(7)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN



1 F

厨房

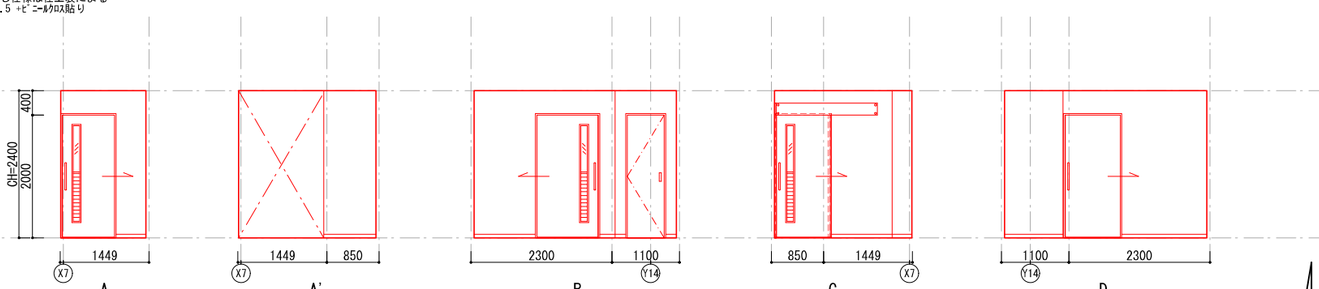
特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶﾝ壁:LGS65+ 耐水PB t=12.5 +ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板（無石綿） t=6 EP-G



1 F

サービス通路

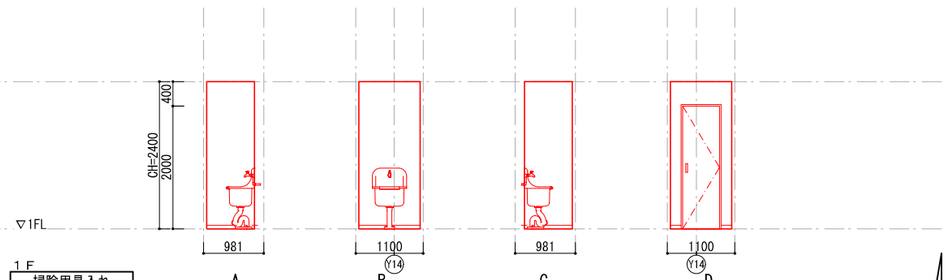
特記なき壁は新設壁:LGS65+ PB t=12.5 +ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り



1 F

廊下（喫茶便所）

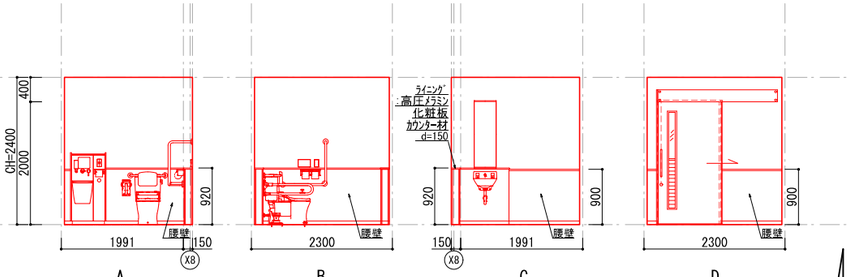
特記なき壁は新設壁:LGS65+ PB t=12.5 +ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板（無石綿） t=6 +吹付ﾀｲﾙ 吹付



1 F

掃除用具入れ

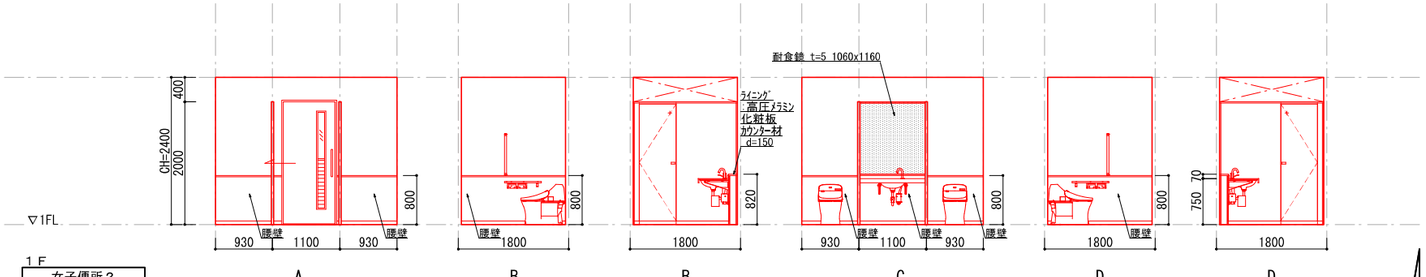
特記なき壁は新設壁:LGS65+ PB t=12.5 +ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板（無石綿） t=6 EP-G



1 F

多目的便所２

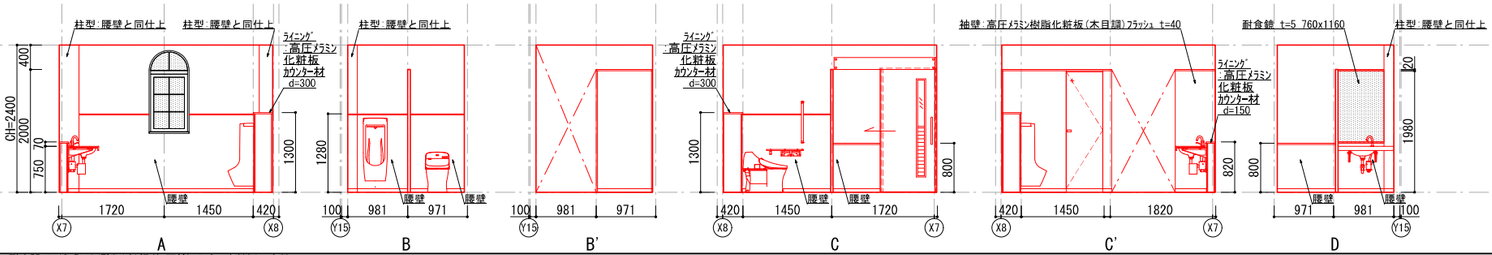
特記なき壁は新設壁:LGS65+ 耐水PB t=12.5 +ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板（無石綿） t=6 +吹付ﾀｲﾙ 吹付
腰壁:LGS65+ 耐水PB t=12.5 +化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板（無石綿）（木目調） t=6
腰壁見切:木製 h=20 OSUC



1 F

女子便所２

特記なき壁は新設壁:LGS65+ 耐水PB t=12.5 +ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板（無石綿） t=6 +吹付ﾀｲﾙ 吹付
腰壁:LGS65+ 耐水PB t=12.5 +化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板（無石綿）（木目調） t=6
腰壁見切:木製 h=20 OSUC



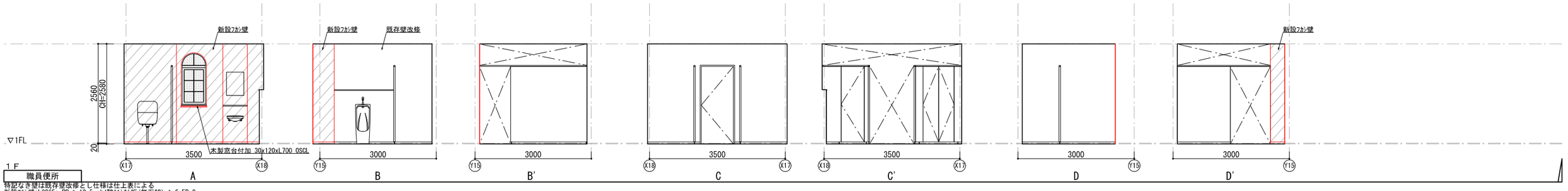
1 F

男子便所２

特記なき壁は新設壁:LGS65+ 耐水PB t=12.5 +ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板（無石綿） t=6 +吹付ﾀｲﾙ 吹付
腰壁:LGS65+ 耐水PB t=12.5 +化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板（無石綿）（木目調） t=6
腰壁見切:木製 h=20 OSUC

特　記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			改修 展開図(8)
			DATE 2024/03/15

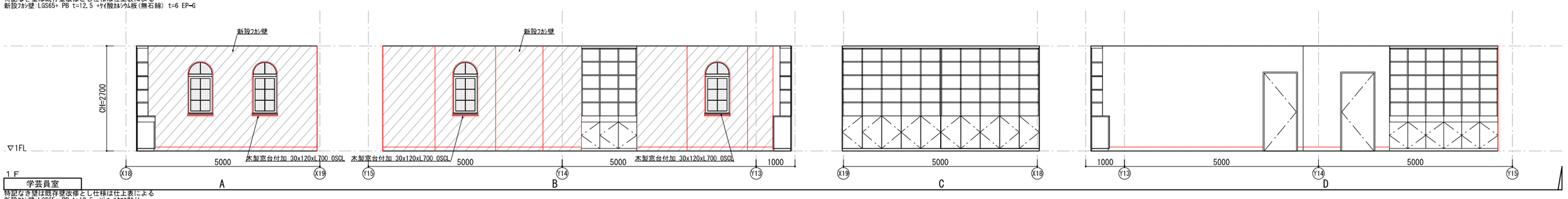
NO. A-41
SCALE A3:1/100 A1:1/50
SIGN



1 F

職員便所

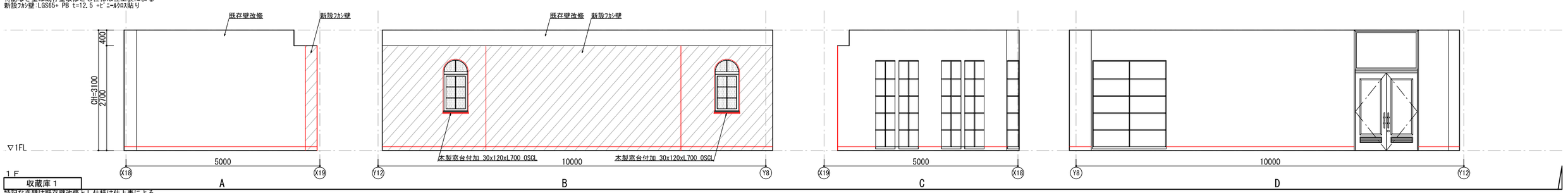
特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶﾝ壁:LGS65+ PB t=12.5 +ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(無石綿) t=6 EP-G



1 F

学芸員室

特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶﾝ壁:LGS65+ PB t=12.5 +ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り

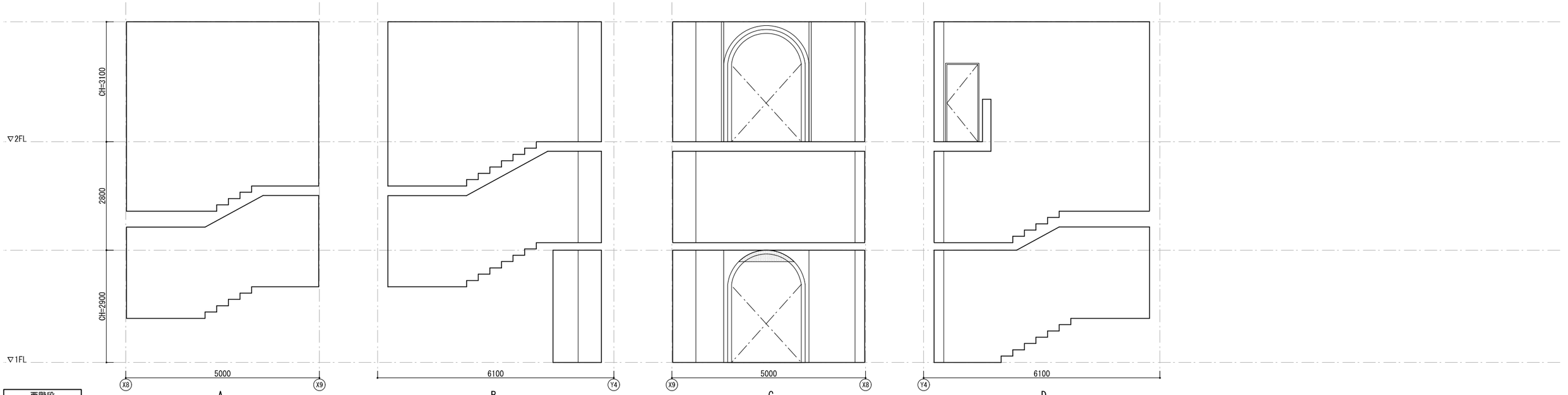


1 F

収蔵庫 1

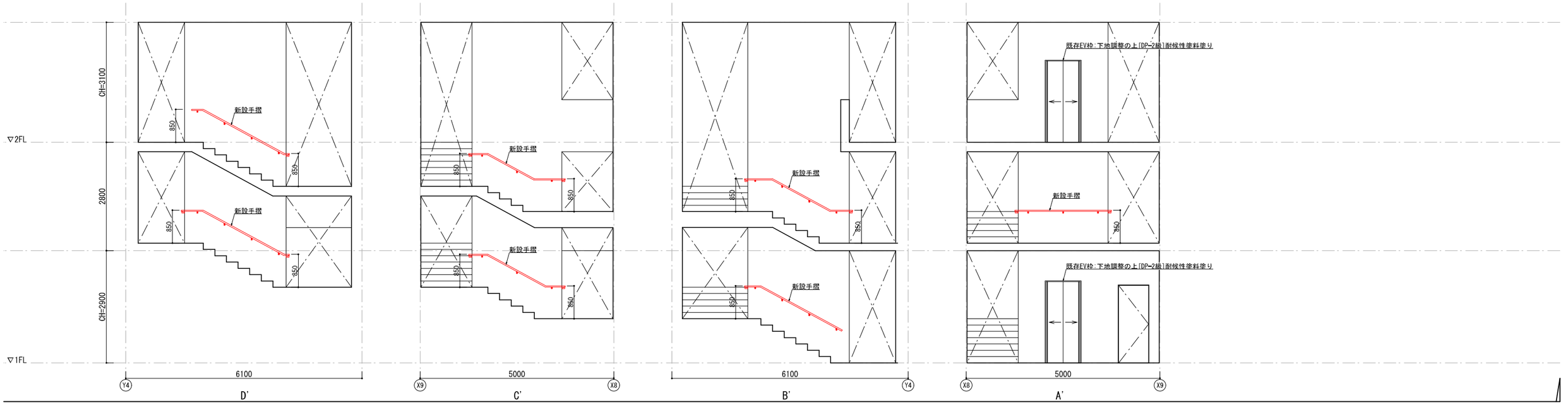
特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶﾝ壁:LGS65+ PB t=12.5 +ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り

特　　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-42
			改修 展開図(9)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN

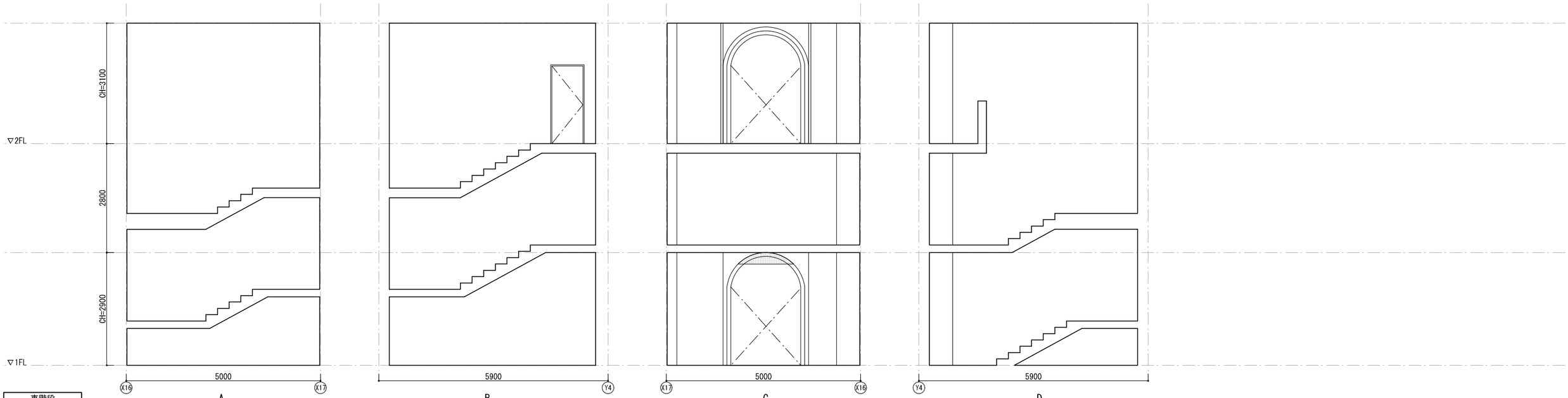


西階段

特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による

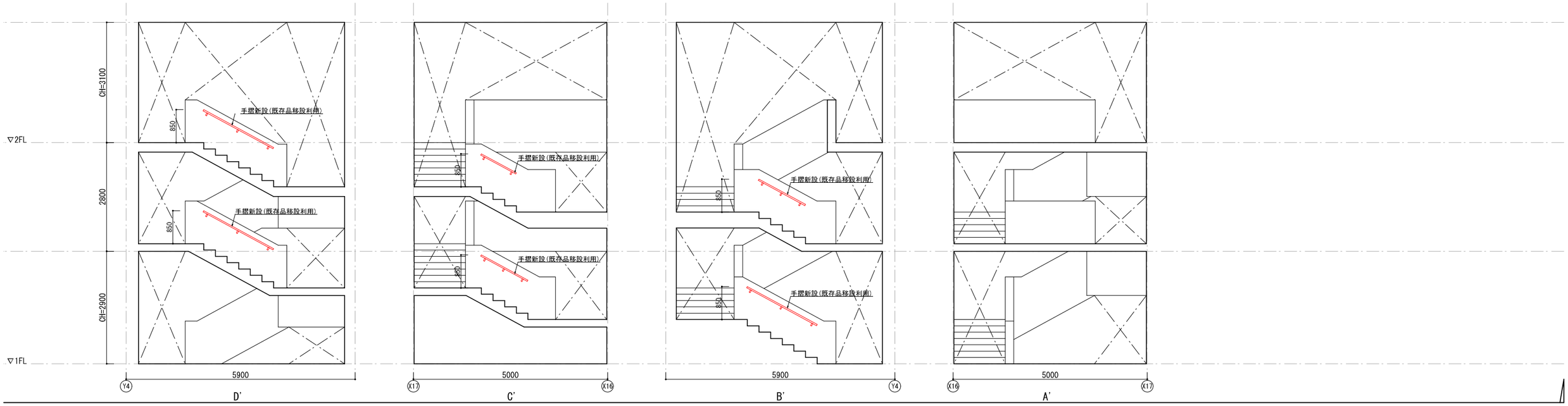


特記		令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-43
		改修 展開図(10)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
		DATE 2024/03/15	SIGN

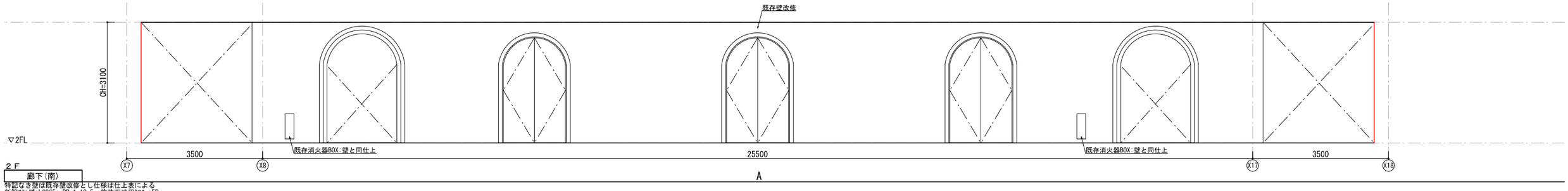


東階段

特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による

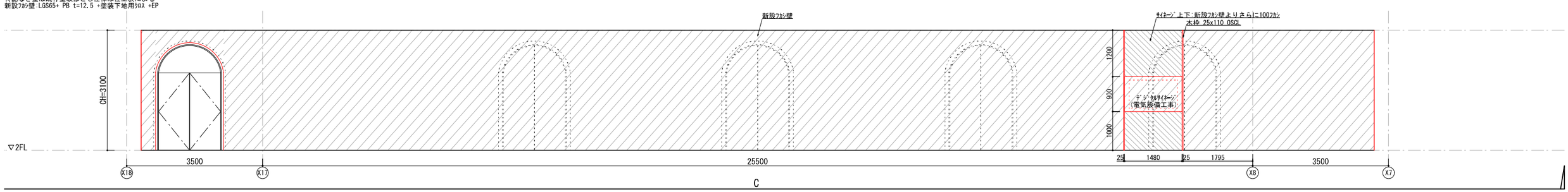


特記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-44
			改修 展開図（11）	SCALE A3：1/100 A1：1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN

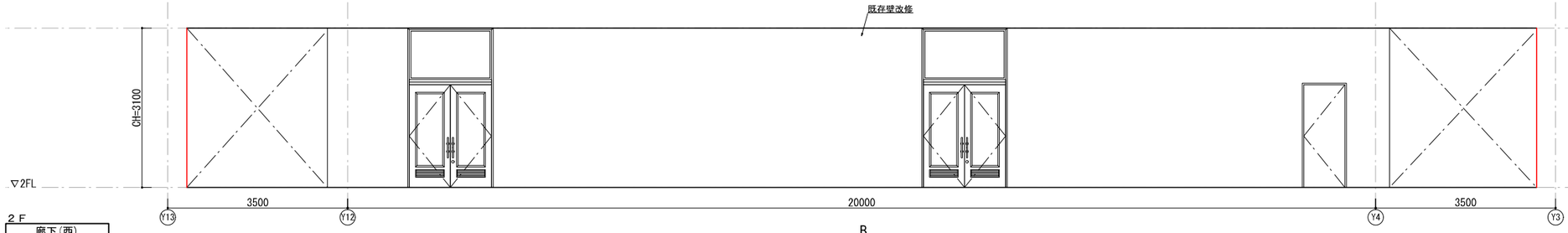


2 F
廊下（南）
特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶｼ壁：LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP

A

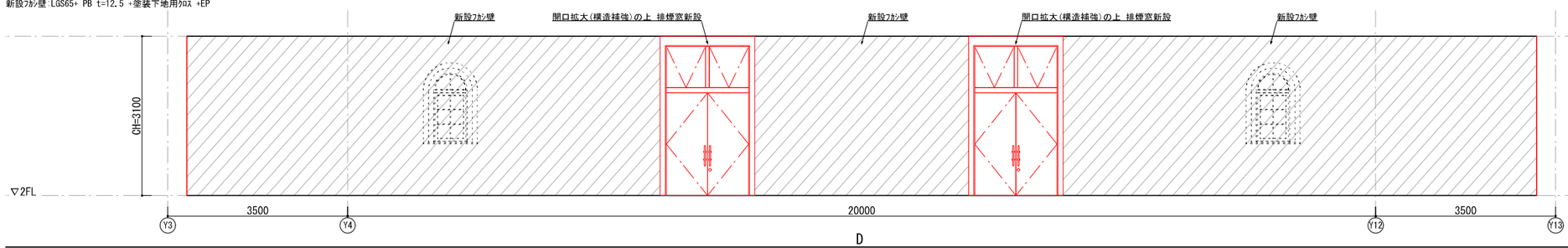


C

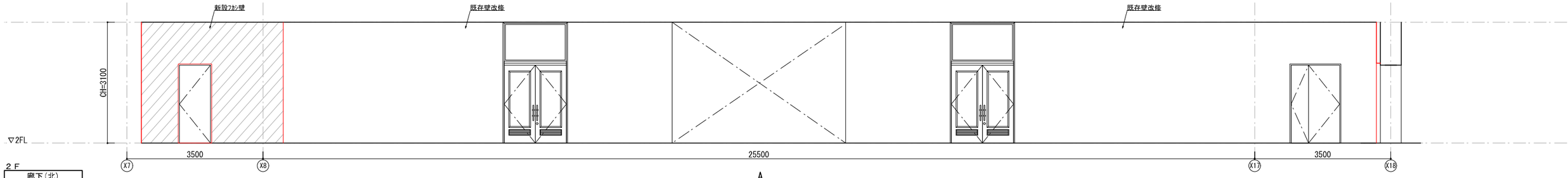


2 F
廊下（西）
特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶｼ壁：LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP

B



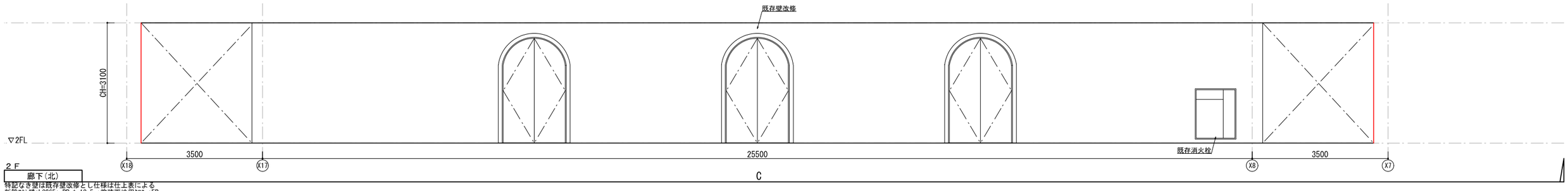
D



2 F
廊下（北）
特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶｼ壁：LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP

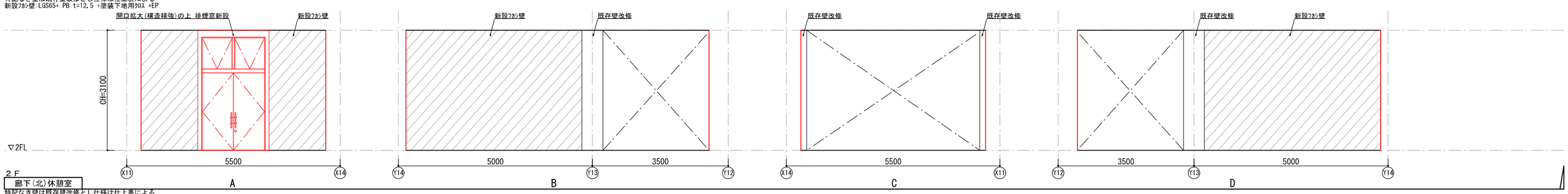
A

特記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-45
			改修 展開図（12）	SCALE A3：1/100 A1：1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN



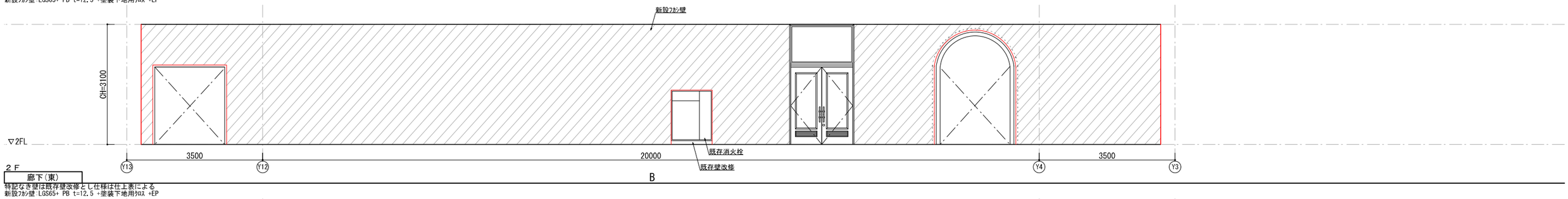
2 F 廊下(北)

特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶｼ壁:LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP



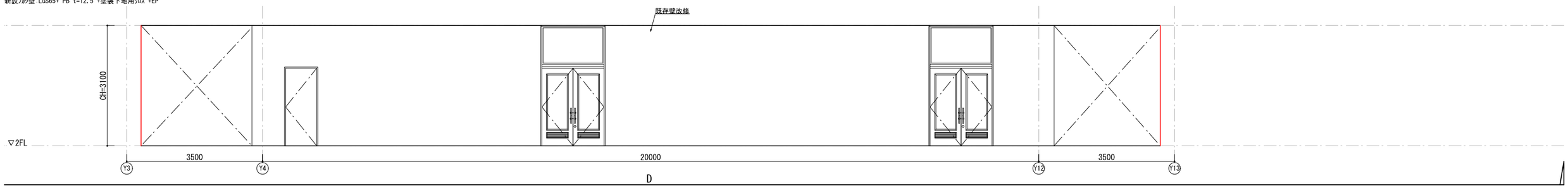
2 F 廊下(北)休憩室

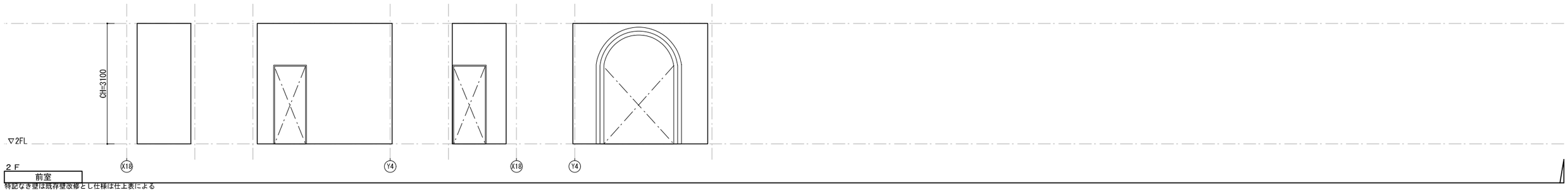
特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶｼ壁:LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP



2 F 廊下(東)

特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による
新設ﾌｶｼ壁:LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP

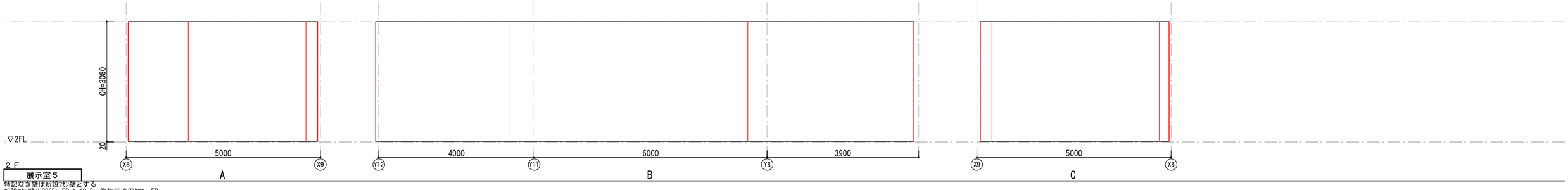




2 F 前室

特記なき壁は既存壁改修とし仕様は仕上表による

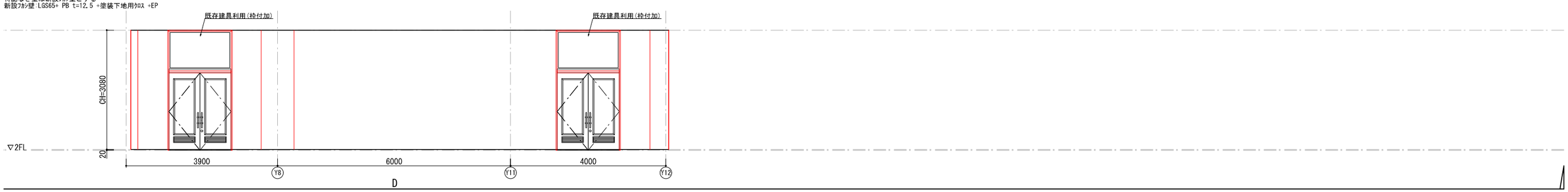
特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-46
			改修 展開図(13)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN

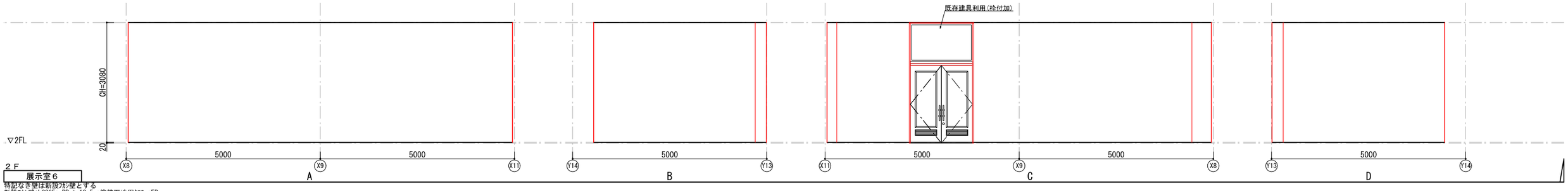


2 F

展示室５

特記なき壁は新設ﾌｶｼ壁とする
新設ﾌｶｼ壁 LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP

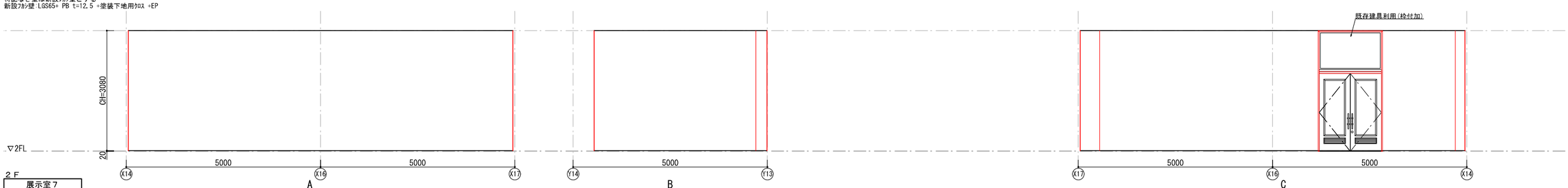




2 F

展示室６

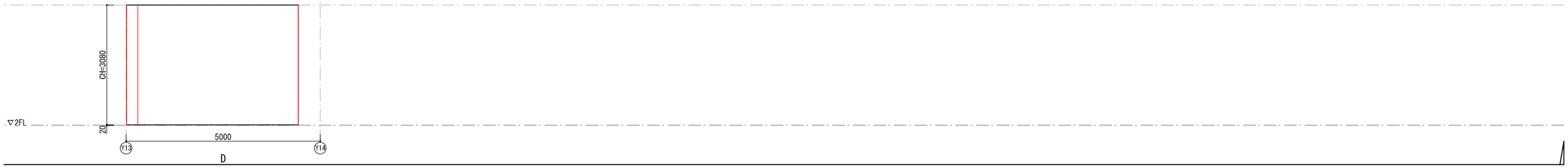
特記なき壁は新設ﾌｶｼ壁とする
新設ﾌｶｼ壁 LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP



2 F

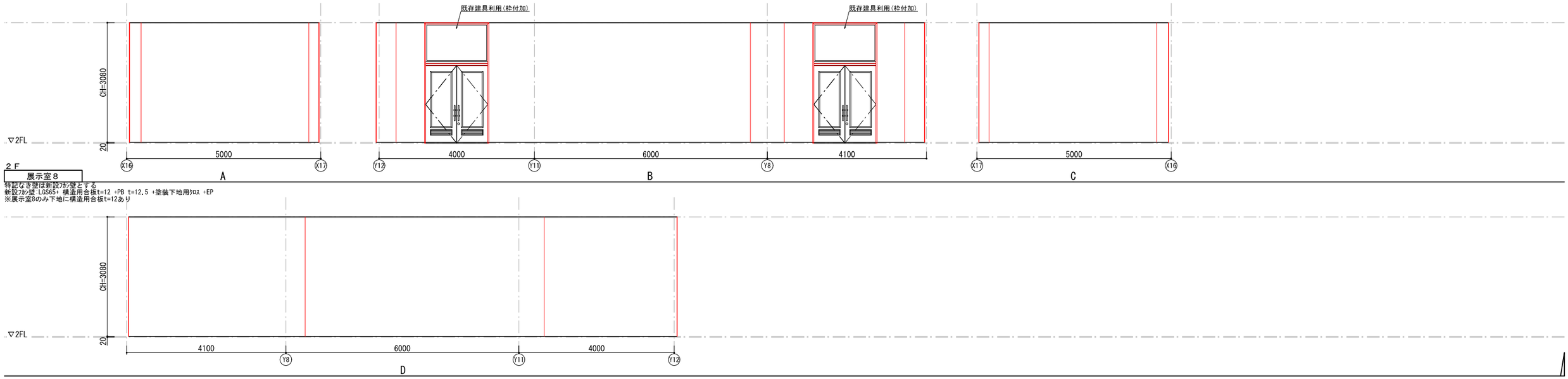
展示室７

特記なき壁は新設ﾌｶｼ壁とする
新設ﾌｶｼ壁 LGS65+ PB t=12.5 +塗装下地用ｸﾛｽ +EP



特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			改修 展開図(14)
			DATE 2024/03/15

NO. A-47
SCALE A3:1/100 A1:1/50
SIGN



特　　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-48
			改修 展開図(15)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

豊科近代美術館
収蔵庫棟

機械室B
サービス通路
厨房
喫茶コーナー
多目的ホール
男子便所
女子便所
多目的便所
展示室２（現３）
休憩室
展示室３（現２）
職員便所
学芸員室
廊下
通用口
展示室10
庭園
歩廊
オリエンテーションルーム
展示室１（現４）
展示室１（現倉庫）
EV機械室
EV
西階段
回廊
中庭
展示室４（現１）
東階段
収蔵庫１
廊下
電気室
機械室A
消火栓ポンプ室
多目的便所1
男子便所1
女子便所1
設備ヤード
事務室
エントランスホール
館長室
風除室
エントランス
交流学習センターきぼう
機械室
EV
収蔵庫
ホール
前室
トラックヤード
柔道場
道路境界線
道路中心線

特記	

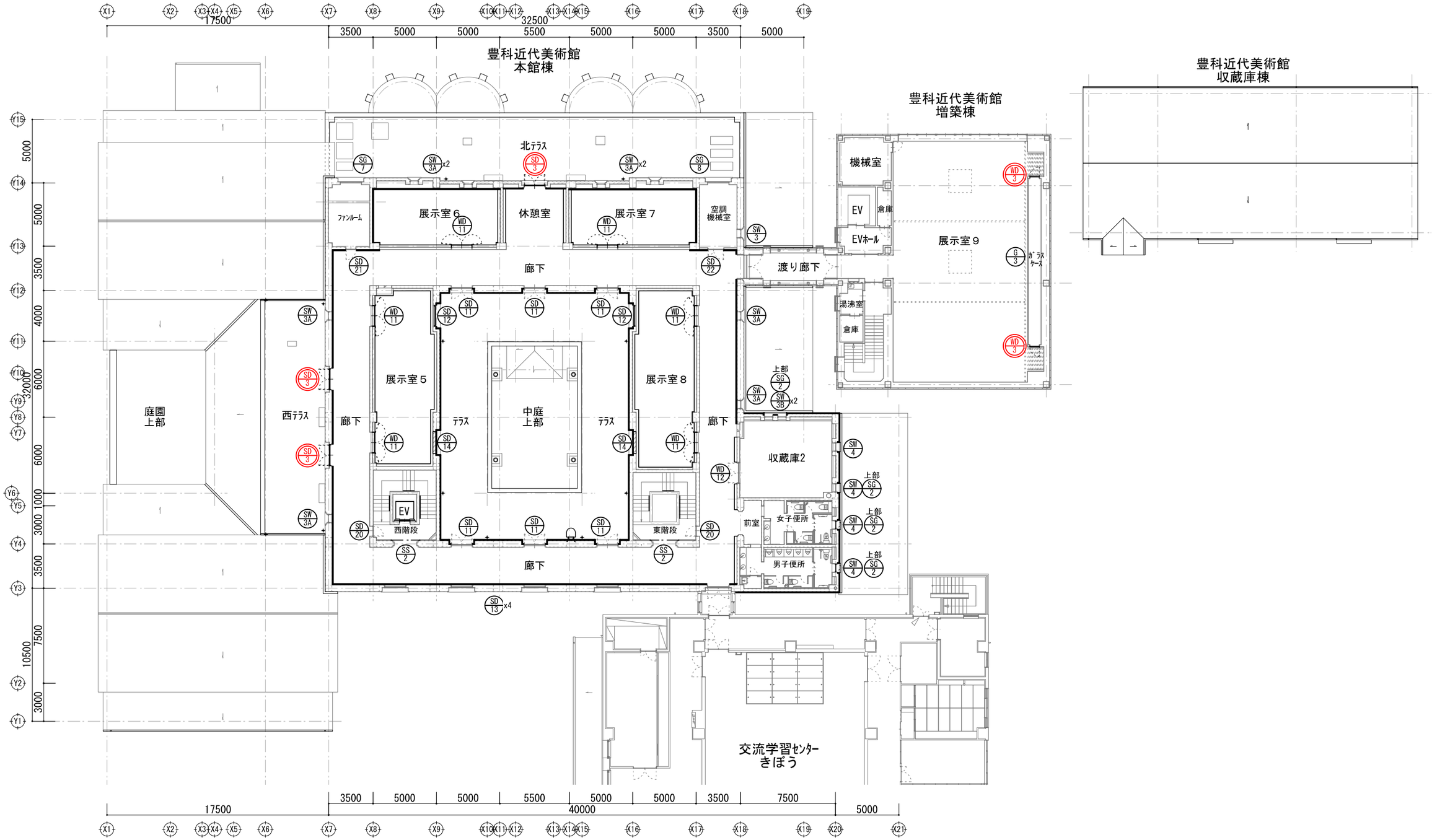
令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO.	A-49
建具キープラン　１階平面図	SCALE	A3：1/300 A1：1/150
	DATE	2024/03/15
	SIGN	

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

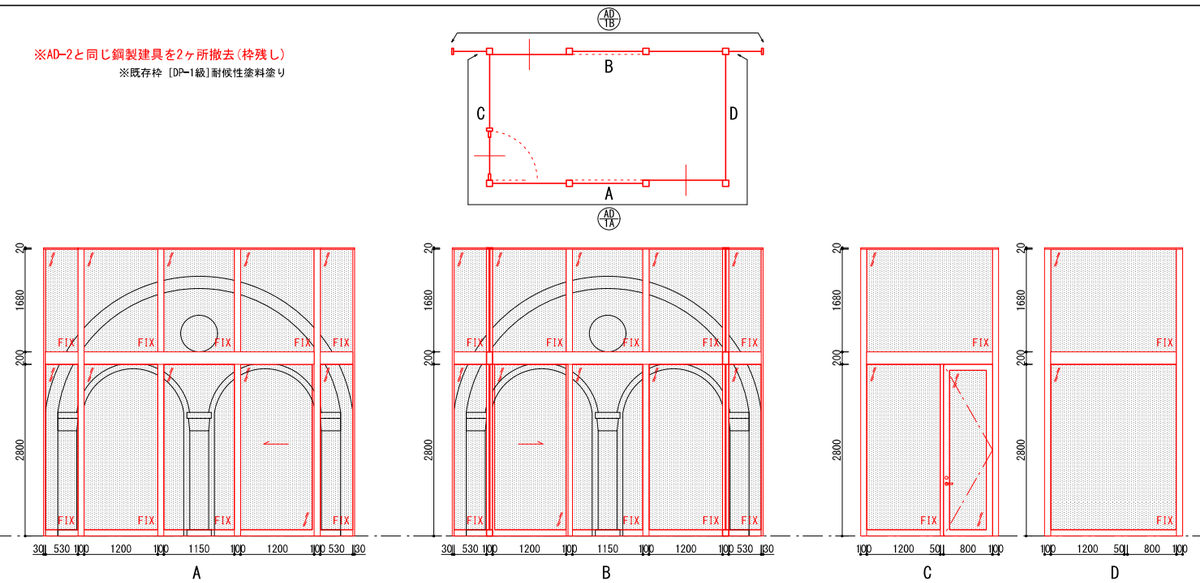
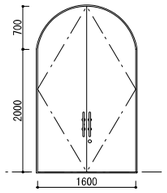
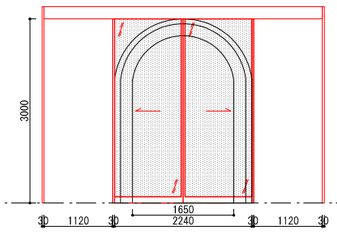
豊科近代美術館
収蔵庫棟

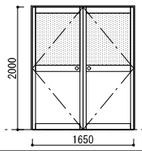


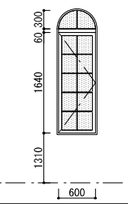
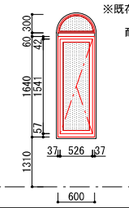
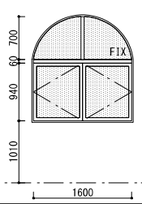
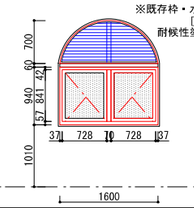
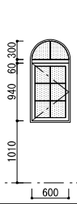
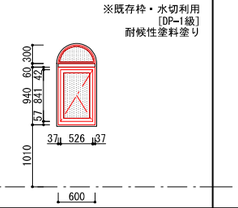
N

特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			建具キープラン　２階平面図
			DATE 2024/03/15

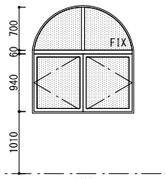
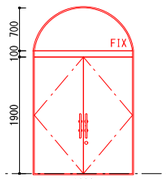
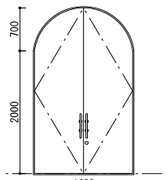
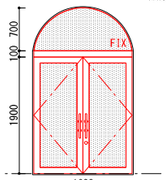
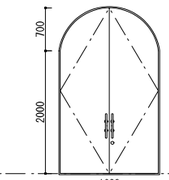
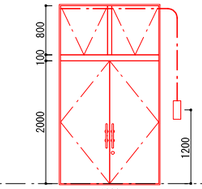
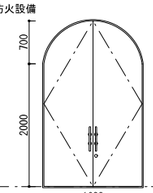
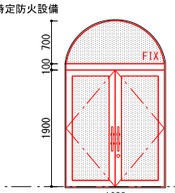
NO. A-50
SCALE A3:1/300 A1:1/150
SIGN

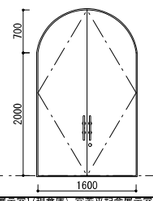
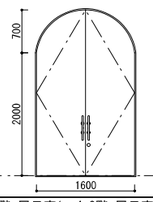
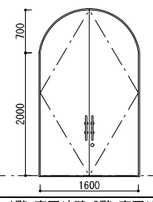
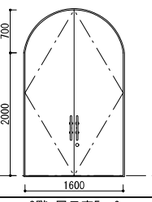
記号	数量	【新設】	1	【撤去（枠残し）】	2	【新設】	2
姿図		※AD-2と同じ鋼製建具を2ヶ所撤去（枠残し） ※既存枠［DP-1級］耐候性塗料塗り 				※既存枠残し ［DP-1級］ 耐候性塗料塗り 	
使用場所		1階 風除室		1階 歩廊		1階 歩廊	
型式	見込	片引き自動ドア +FIX +片開きドア	100（枠見込）	両開き戸	100（枠見込）	引分け自動ドア	100（枠見込）
材料	仕上	アルミ	電解二次着色	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り	アルミ	電解二次着色
硝子		TG8 +飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り		－		TG8	
金物		電気錠、ﾀｯﾁｽｲｯﾁ式自動開閉装置、ｾﾝｻｰ（壁埋込）、安全光線ｽｲｯﾁ、付属金物一式		丁番、ﾊﾟｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物		電気錠、ﾀｯﾁｽｲｯﾁ式自動開閉装置、ｾﾝｻｰ（壁埋込）、安全光線ｽｲｯﾁ、付属金物一式	
備考		ﾊﾟﾆｯｸｵｰﾌﾟﾝ、停電時開放機能付　／外側自動ドア框にｻﾑﾀｰﾝ、開き戸に電子錠（ﾃﾝｷｰ）　／衝突防止シール				ﾊﾟﾆｯｸｵｰﾌﾟﾝ、停電時開放機能付	

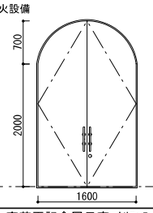
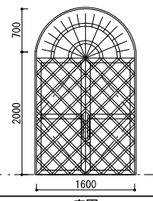
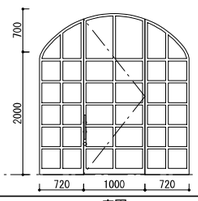
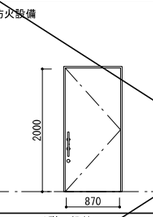
記号	数量	【既存】	1	【改修】	1										
姿図				同左											
使用場所		収蔵庫棟		収蔵庫棟											
型式	見込	両開き戸													
材料	仕上	アルミ	二次電解着色												
硝子		網入6.8		ガラス交換：網入6.8											
金物		丁番、握り玉錠													
備考															

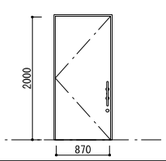
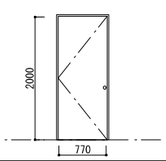
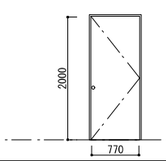
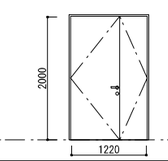
記号	数量	【撤去（枠残し）】	4	【新設】	4	【撤去（枠残し）】	1	【新設】	1	【撤去（枠残し）】	2	【新設】	2		
姿図				※既存枠・水切利用 ［DP-1級］ 耐候性塗料塗り 				※既存枠・水切利用 ［DP-1級］ 耐候性塗料塗り 				※既存枠・水切利用 ［DP-1級］ 耐候性塗料塗り 			
使用場所		1階 多目的ﾎｰﾙ		1階 多目的ﾎｰﾙ		1階 多目的ﾎｰﾙ		1階 多目的ﾎｰﾙ		1階 厨房		1階 厨房			
型式	見込	片開き窓 上部FIXｶﾞﾗｽ	100（枠見込）	縦滑出し窓（ｶﾊﾞｰ工法）	70	両開き窓 上部FIXｶﾞﾗｽ	100（枠見込）	縦滑出し窓（ｶﾊﾞｰ工法）	70	片開き窓 上部FIXｶﾞﾗｽ	100（枠見込）	縦滑出し窓（ｶﾊﾞｰ工法）	70		
材料	仕上	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り	アルミ	二次電解着色	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り	アルミ	二次電解着色	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り	アルミ	二次電解着色		
硝子		FL4		Low-E FL4+A12+FL4		FL4		Low-E FL4+A12+FL4、網間部ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ（防虫網付）		FL4		Low-E FL4+A12+FL4			
金物		丁番、ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ、ﾊﾝﾄﾞﾙ、水切		ｶﾑﾗｯﾁﾊﾝﾄﾞﾙ他付属金物一式、網戸		丁番、ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ、ﾊﾝﾄﾞﾙ、水切		ｶﾑﾗｯﾁﾊﾝﾄﾞﾙ他付属金物一式、網戸		丁番、ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ、ﾊﾝﾄﾞﾙ、水切		ｶﾑﾗｯﾁﾊﾝﾄﾞﾙ他付属金物一式、網戸			
備考				ｺｰｷﾝｸﾞやり替え				ｺｰｷﾝｸﾞやり替え				ｺｰｷﾝｸﾞやり替え			

特記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-51
			建具表（1）	SCALE A3：1/100 A1：1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN

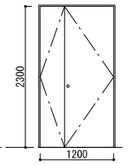
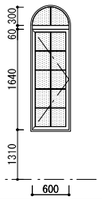
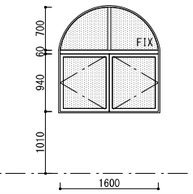
記号	数量	SD1【撤去(枠共)】	1	【新設】	1	SD2【撤去(枠残し)】	2	【新設】	2	SD3【撤去(枠共)】	3	【新設】	3	SD4【撤去(枠残し)】	1	【新設】	1
姿図								※既存枠利用 						※特定防火設備 		※特定防火設備 ※既存枠利用 	
使用場所		1階 宮芳平記念展示室		1階 展示室10		1階 廊下		1階 廊下		2階 廊下		2階 廊下		1階 廊下		1階 多目的ホール	
型式	見込	両開き窓 上部FIXｶﾞﾗｽ	100(枠見込)	両開き戸 上部FIX	100(枠見込)	両開き戸	100(枠見込)	両開き戸 上部FIXｶﾞﾗｽ	100(枠見込)	両開き戸	100(枠見込)	両開き戸 上部外倒し排煙窓	100(枠見込)	両開き戸	100(枠見込)	両開き戸 上部FIXｶﾞﾗｽ	100(枠見込)
材料	仕上	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 t=1.6	[DP-1級]耐候性塗料焼付	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 t=1.6	[DP-1級]耐候性塗料焼付	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 t=1.6	[DP-1級]耐候性塗料焼付	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 t=1.6	[DP-2級]耐候性塗料焼付
硝子		FL4		-		-		Low-E FL4+A12+FL4		-		-		-		低膨張防火ガラス6.5	
金物		丁番、ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ、ﾊﾝﾄﾞﾙ、水切		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物、SUS沓摺		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物、SUS沓摺		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物、SUS沓摺		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物、SUS沓摺	
備考				錠:外シリンダー内サムターン				錠:外シリンダー内サムターン				排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀ、錠:外シリンダー内サムターン				錠:外シリンダー内サムターン	

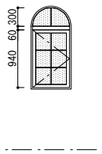
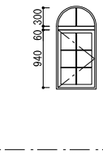
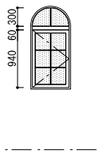
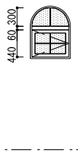
記号	数量	SD11【既存】	15	【改修】	15	SD12【既存】	5	【改修】	5	SD13【既存】	8	【改修】	8	SD14【撤去(枠共)】	2
姿図				同左				同左				同左			
使用場所		1階 廊下, 展示室1(現収蔵庫), 宮芳平記念展示室, ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝﾙｰﾑ, ｻｰﾋﾞｽ通路, 機械室A, 2階 廊下		1階 廊下, 展示室1(現収蔵庫), 展示室10, ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝﾙｰﾑ, ｻｰﾋﾞｽ通路, 機械室A, 2階 廊下		1階 展示室1・4, 2階 展示室5・6		1階 展示室1・4, 2階 展示室5・6		1階 南面外壁, 2階 南面外壁		1階 南面外壁, 2階 南面外壁		2階 展示室5・6	
型式	見込	両開き戸	100(枠見込)			両開き戸	100(枠見込)			両開き戸	100(枠見込)			両開き戸	100(枠見込)
材料	仕上	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り		下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り(面面)	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り		下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り(片面)	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り		下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り(片面)	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り
硝子		-				-				-				-	
金物		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物、SUS沓摺		錠、戸当り金物やり替え		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物、SUS沓摺				丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物、SUS沓摺				丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物、SUS沓摺	
備考				ｺｰｷﾝｸﾞやり替え				ｺｰｷﾝｸﾞやり替え、屋内側に硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑB-1t=30吹付				ｺｰｷﾝｸﾞやり替え			

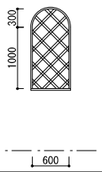
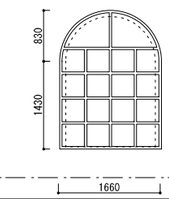
記号	数量	SD15【既存】	2	【改修】	2	SD16【既存】	3	【改修】	3	SD17【既存】	1	【改修】	1	SD18【既存】	1	【改修】	1
姿図		※特定防火設備 		同左				同左				同左		※特定防火設備 		同左	
使用場所		1階 宮芳平記念展示室, ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝﾙｰﾑ		1階 展示室10, ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝﾙｰﾑ		庭園		庭園		庭園		庭園		1階 喫茶コーナー		1階 喫茶コーナー	
型式	見込	両開き戸	100(枠見込)			両開き戸	100(枠見込)			片開き戸 両袖FIX	100(枠見込)			片開き戸	100(枠見込)		
材料	仕上	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り		下地調整の上 [DP-2級]耐候性塗料塗り(面面)	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り		下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り(面面)	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り		下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り(面面)	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り		下地調整の上 [DP-2級]耐候性塗料塗り(面面)
硝子		-		-		-		アクリル板		アクリル板撤去		-		-			
金物		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物、SUS沓摺		錠、戸当り金物やり替え		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠		戸当り金物新設		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠		戸当り金物やり替え		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物、SUS沓摺		錠やり替え	
備考																	

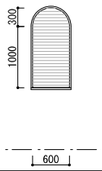
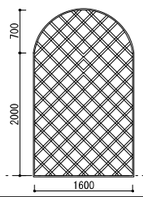
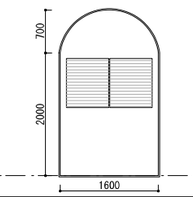
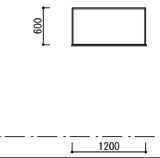
記号	数量	SD19【既存】	1	【改修】	1	SD20【既存】	2	【改修】	2	SD21【既存】	1	【改修】	1	SD22【既存】	1	【改修】	1
姿図				同左		※特定防火設備 		同左				同左				同左	
使用場所		1階 学芸員室		1階 学芸員室		2階 西階段, 東階段		2階 西階段, 東階段		2階 ﾌｧﾝﾙｰﾑ		2階 ﾌｧﾝﾙｰﾑ		2階 空調機械室		2階 空調機械室	
型式	見込	片開き戸	100(枠見込)			片開き戸	100(枠見込)			片開き戸	100(枠見込)			親子開き戸	100(枠見込)		
材料	仕上	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り			溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り		下地調整の上 [DP-2級]耐候性塗料塗り(面面)	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り		下地調整の上 [DP-2級]耐候性塗料塗り(片面)	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板	耐候性塗料塗り		下地調整の上 [DP-2級]耐候性塗料塗り(片面)
硝子		-				-				-				-			
金物		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物、SUS沓摺		錠やり替え		丁番、ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ、SUS沓摺				丁番、握り玉錠、SUS沓摺				丁番、ﾊﾝﾄﾞﾙ、SUS沓摺			
備考																	

特記			
		令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-52
		建具表(2)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
		DATE 2024/03/15	SIGN

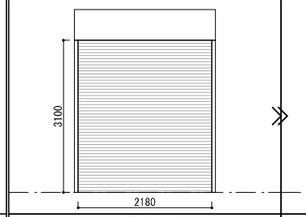
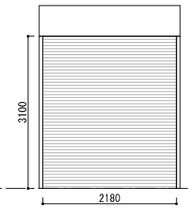
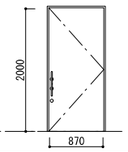
記号	数量	SW-A1【既存】 1	【改修】 1	SW-1【既存】 6	【改修】 6	SW-2【既存】 2	【改修】 2	SW-3【既存】 13	【改修】 13
姿図			同左		同左		同左		同左
使用場所		燃料保管庫棟	燃料保管庫棟	1階 事務室,館長室	1階 事務室,館長室	1階 事務室,オリエンテーションルーム	1階 事務室,オリエンテーションルーム	1階 館長室,事務室,機械室B,男子便所Z, 贈呈便所,学芸員室,収蔵庫1,2階,空調機械室	1階 館長室,事務室,機械室B,男子便所Z, 贈呈便所,学芸員室,収蔵庫1,2階,空調機械室
型式	見込	親子開き戸 100(枠見込)		片開き窓 上部FIXｶﾞﾗｽ 100(枠見込)		片開き窓 上部FIXｶﾞﾗｽ 100(枠見込)		片開き窓 上部FIXｶﾞﾗｽ 100(枠見込)	
材料	仕上	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	下地調整の上 [DP-1級] 耐候性塗料塗り(両面)	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	下地調整の上 [DP-1級] 耐候性塗料塗り(両面)	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	下地調整の上 [DP-1級] 耐候性塗料塗り(両面)	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	下地調整の上 [DP-1級] 耐候性塗料塗り(両面)
硝子		-		FL4		FL4	型4に交換	FL4	
金物		丁番、握り玉錠		丁番、ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ、ﾊﾝﾄﾞﾙ、水切		丁番、ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ、ﾊﾝﾄﾞﾙ、水切		丁番、ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ、ﾊﾝﾄﾞﾙ、水切	
備考			ｺｰｷﾝｸﾞやり替え	-	ｺｰｷﾝｸﾞやり替え	-	ｺｰｷﾝｸﾞやり替え	-	ｺｰｷﾝｸﾞやり替え

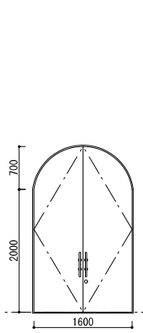
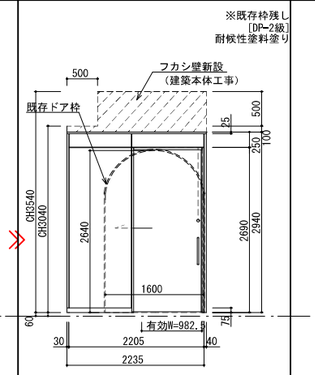
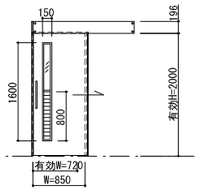
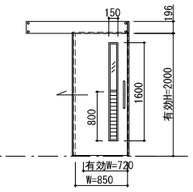
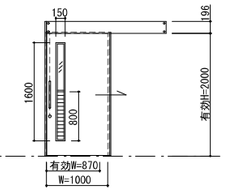
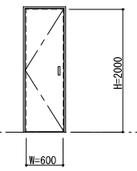
記号	数量	SW-A2【既存】 22	【改修】 22	SW-B【既存】 6	【改修】 6	SW-4【既存】 4	【改修】 4	SD-1【既存】 13	【改修】 13
姿図					同左		同左		同左
使用場所		1階 展示室2・3,休憩室,2階 廊下,展示室6・7	1階 展示室2・3,休憩室,2階 廊下,展示室6・7	1階 機械室A,多目的便所1,女子便所1,2階 収蔵庫2	1階 機械室A,多目的便所1,女子便所1,2階 収蔵庫2	2階 収蔵庫2,便所	2階 収蔵庫2,便所	西・北・東面外壁	西・北・東面外壁
型式	見込	片開き窓 上部FIXｶﾞﾗｽ 100(枠見込)		片開き窓 上部FIXｶﾞﾗｽ 100(枠見込)		片開き窓 上部FIXｶﾞﾗｽ 100(枠見込)		ガラリ	
材料	仕上	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	下地調整の上 [DP-1級] 耐候性塗料塗り(片面)	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	下地調整の上 [DP-1級] 耐候性塗料塗り(片面)	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	下地調整の上 [DP-1級] 耐候性塗料塗り(片面)	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り
硝子		FL4	ｱﾙﾐ樹脂複合板	FL4		FL4		-	
金物		丁番、ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ、ﾊﾝﾄﾞﾙ、水切		丁番、ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ、ﾊﾝﾄﾞﾙ、水切	※外断熱に伴い水切延長	丁番、ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ、ﾊﾝﾄﾞﾙ	※外断熱に伴い水切延長	-	
備考		-	※屋内側に硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑB-1t=30吹付、ｺｰｷﾝｸﾞやり替え	-	ｺｰｷﾝｸﾞやり替え	-	ｺｰｷﾝｸﾞやり替え	-	

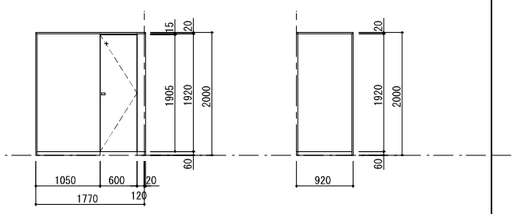
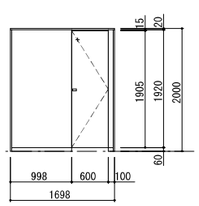
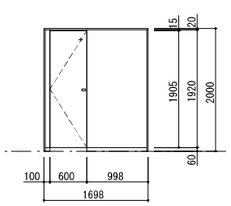
記号	数量	SD-2【既存】 9	【改修】 9	SD-3【既存】 2	【改修】 2	SD-4【既存】 12	【改修】 12	SD-5【既存】 2	【改修】 2
姿図			同左		同左		同左		同左
使用場所		東面外壁	東面外壁	庭園	庭園	庭園	庭園	中庭	中庭
型式	見込	ガラリ		ガラリ		ガラリ 40		ガラリ	
材料	仕上	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り
硝子		-		-		アクリル板	アクリル板撤去	-	
金物		-		水切		-		-	
備考		-		-		-		-	

記号	数量	SD-6【既存】 1	【改修】 1	SD-7【既存】 1	【改修】 1	SD-8【既存】 1	【改修】 1	SD-11【既存】 4	【改修】 4
姿図			同左		同左		同左		同左
使用場所		電気室	電気室	2階 ﾌｧﾝﾙｰﾑ	2階 ﾌｧﾝﾙｰﾑ	2階 空調機械室	2階 空調機械室	燃料保管庫棟	燃料保管庫棟
型式	見込	ガラリ		ガラリ		ガラリ		ガラリ	
材料	仕上	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	下地調整の上 [DP-1級]耐候性塗料塗り
硝子		-		-		-		ｱﾙﾐﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾊﾟﾈﾙ	ｱﾙﾐﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾊﾟﾈﾙ 取り外しの上 再取付
金物		水切	※外断熱に伴い水切延長	-		-		-	
備考		-		-		-		-	

特記			
		令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-53
		建具表(3)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
		DATE 2024/03/15	SIGN

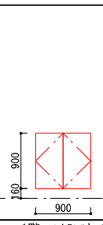
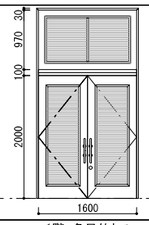
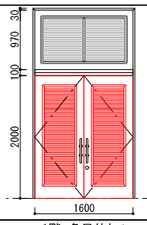
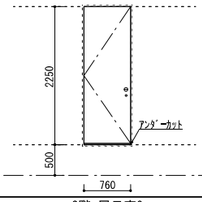
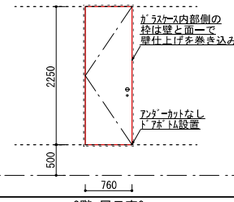
記号	数量	【既存】 1	【改修】 1	【既存】 2	【改修】 2	【撤去(枠共)】 1			
姿図			同左		同左	※特定防火設備 			
使用場所		1階 廊下	1階 廊下	2階 西階段,東階段	2階 西階段,東階段	1階 喫茶コーナー			
型式	見込	防火ｼｬｯﾀｰ 105(枠見込)		防火ｼｬｯﾀｰ 105(枠見込)		片開き戸 100(枠見込)			
材料	仕上	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り		溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り		溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り			
硝子		-		-		-			
金物		-		-		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物			
備考		※特定防火設備(煙感連動常時開放)	危害防止装置取付	※特定防火設備(煙感連動常時開放)	危害防止装置取付、随時開放装置取付				

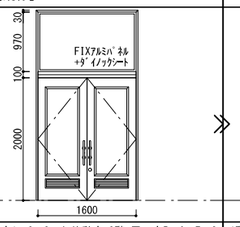
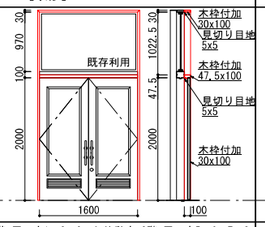
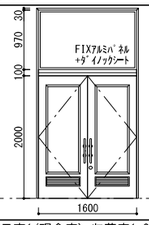
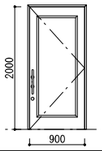
記号	数量	【撤去(枠残し)】 1	【新設】 1	【新設】 1	【新設】 1	【新設】 1	【新設】 1		
姿図			※既存枠残し [DP-2級] 耐候性塗料塗り 						
使用場所		1階 廊下	1階 事務室	1階 女子便所2	1階 男子便所2	1階 多目的便所2	1階 掃除用具入れ		
型式	見込	両開き戸 100(枠見込)	片引き戸(外枠付,戸袋ﾊﾟ枠共) 132(枠見込)	片引き戸(外枠付) 122(枠見込)	片引き戸(外枠付) 122(枠見込)	片引き戸(外枠付) 122(枠見込)	片開き戸 124(枠見込)		
材料	仕上	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 耐候性塗料塗り	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 t=1.6 [DP-2級]耐候性塗料焼付	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 t=1.6 [DP-2級]耐候性塗料焼付	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 t=1.6 [DP-2級]耐候性塗料焼付	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 t=1.6 [DP-2級]耐候性塗料焼付	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 t=1.6 [DP-2級]耐候性塗料焼付		
硝子		-	-	型4	型4	型4	型4		
金物		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物	自閉式吊り金物、ﾊﾝﾄﾞﾙ、錠錠	自閉式吊り金物、ﾊﾝﾄﾞﾙ	自閉式吊り金物、ﾊﾝﾄﾞﾙ	自閉式吊り金物、ﾊﾝﾄﾞﾙ、非常開放付表示錠	隠し丁番、平面ﾊﾝﾄﾞﾙ、開き止め、戸当たり		
備考			錠:ｻﾑﾀｰﾝﾀﾞｰ内ｻﾑﾀｰﾝ [小松ｳｫｰﾙ工業]ﾏｲﾃｨ130(同等品)	[小松ｳｫｰﾙ工業]ｶｰﾑﾄﾞｱ外付けﾀｲﾌﾟ(同等品)	[小松ｳｫｰﾙ工業]ｶｰﾑﾄﾞｱ外付けﾀｲﾌﾟ(同等品)	[小松ｳｫｰﾙ工業]ｶｰﾑﾄﾞｱ外付けﾀｲﾌﾟ(同等品)	[小松ｳｫｰﾙ工業]点検ドア(同等品)		

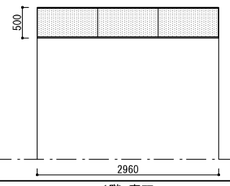
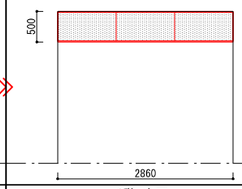
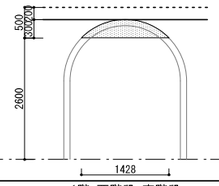
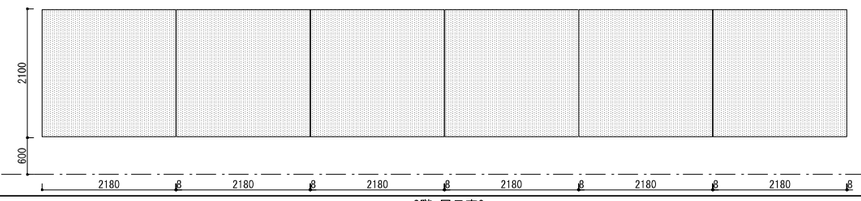
記号	数量	【新設】 1	【新設】 1	【新設】 1			
姿図							
使用場所		1階 男子便所2	1階 女子便所2	1階 女子便所2			
型式	見込	トイレブース 40	トイレブース 40	トイレブース 40			
材料	仕上	高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板(木目調) 下地:MDF t=2.5 -	高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板(木目調) 下地:MDF t=2.5 -	高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板(木目調) 下地:MDF t=2.5 -			
硝子		-	-	-			
金物		笠木、中心吊ヒンジ、目板、戸当りロック、戸当り帽子掛け、巾木、床レール、非常開錠付表示錠	笠木、中心吊ヒンジ、目板、戸当りロック、戸当り帽子掛け、巾木、床レール、非常開錠付表示錠	笠木、中心吊ヒンジ、目板、戸当りロック、戸当り帽子掛け、巾木、床レール、非常開錠付表示錠			
備考		[小松ｳｫｰﾙ工業]TB-TP(同等品)	[小松ｳｫｰﾙ工業]TB-TP(同等品)	[小松ｳｫｰﾙ工業]TB-TP(同等品)			

特記	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-54
建具表(4)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
DATE 2024/03/15	SIGN

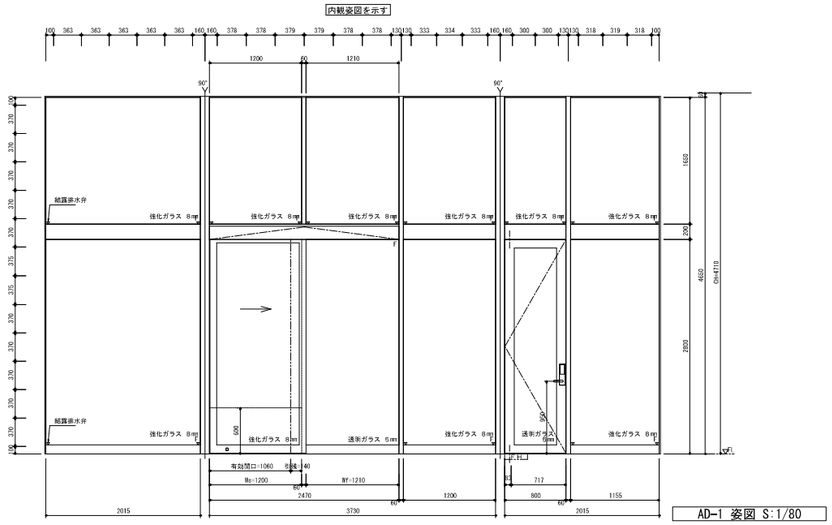
記号	数量	【新設】 1	【撤去(枠・無目・上部ｶﾞﾗﾘ残し)】1	【新設】 1	【撤去(枠残し)】 2	【新設】 2		
姿図								
使用場所		1階 ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ	1階 多目的ﾎｰﾙ	1階 多目的ﾎｰﾙ	2階 展示室9	2階 展示室9		
型式	見込	両開きｽｲﾝｸﾞﾄﾞｱ 30	両開き框戸 上部ｶﾞﾗﾘ 40	両開き框戸 やり替え 40	片開きﾌﾗｯｼｭ戸 175(枠見込)	片開き戸 175(枠見込)		
材料	仕上	タモ突板合板ﾌﾗｯｼｭ(大手:タモ) OSCL	タモ CL	タモ OSCL 既存利用部:下地調整の上OSCL	ｼﾅ合板ﾌﾗｯｼｭ 塗装下地ｸﾛｽ + EP	ｼﾅ合板ﾌﾗｯｼｭ 塗装下地ｸﾛｽ + EP		
硝子		-	木製ガラリ	木製ガラリ	-	-		
金物		自閉式自由丁番	丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物、SUS沓摺	丁番・ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠:再利用、戸当り金物:やり替え	丁番、ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ、錬錠、戸当り	丁番、ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ、錬錠、戸当り、ﾄﾞｱﾎﾞﾄﾑ(ﾄﾞｱ下埋込式)		
備考					錠:外ｼﾘﾝﾀﾞｰ内空錠	錠:外ｼﾘﾝﾀﾞｰ内空錠		

記号	数量	【既存】 14	【改修】 14	【既存】 3	【改修】 3	【既存】 2	【改修】 2	【撤去(枠共)】 2
姿図					同左		同左	
使用場所		1階 展示室1・2・3・4,休憩室,2階 展示室5・6・7・8	1階 展示室1・2・3・4,休憩室,2階 展示室5・6・7・8	1階 展示室1(現倉庫),収蔵庫1,2階 収蔵庫2	1階 展示室1(現倉庫),収蔵庫1,2階 収蔵庫2	1階 喫茶ｺｰﾅｰ	1階 喫茶ｺｰﾅｰ	1階 展示室2・3
型式	見込	両開き框戸 上部FIX 40	両開き框戸 上部FIX	両開き框戸 上部FIX 40	両開き戸 上部FIX	片開きｽｲﾝｸﾞﾄﾞｱ 30	片開きｽｲﾝｸﾞﾄﾞｱ	片開き框戸 40
材料	仕上	タモ CL	下地調整の上OSCL	タモ CL	下地調整の上OSCL	ﾀﾓ突板合板ﾌﾗｯｼｭ(大手:ﾀﾓ) 木部CL、ﾚｻﾞｰｼｰﾄ貼り	木部:下地調整の上OSCL ﾚｻﾞｰｼｰﾄ撤去 下地調整の上 硬質塩ビﾌｨﾙﾑ貼り	タモ CL
硝子		鏡板:タモ突板合板ﾌﾗｯｼｭ		鏡板:タモ突板合板ﾌﾗｯｼｭ		-		鏡板:タモ突板合板ﾌﾗｯｼｭ
金物		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物、SUS沓摺	戸当り金物移設	丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物、SUS沓摺		自閉式自由丁番		丁番、ﾊﾞｰ型ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り金物、SUS沓摺
備考			室内側に木枠付加の上既存扉を移設、ガラリ破損補修		ガラリ破損補修			

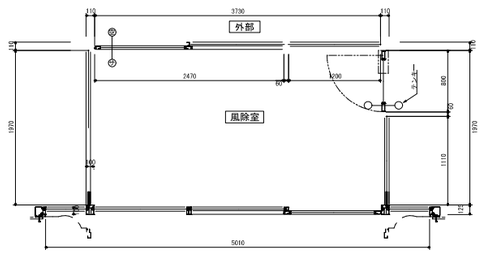
記号	数量	【撤去】 2	【新設】 2	【既存】 2	【既存】 1
姿図					
使用場所		1階 廊下	1階 廊下	1階 西階段,東階段	2階 展示室9
型式	見込	ガラス防煙垂れ壁	ガラス防煙垂れ壁	ガラス防煙垂れ壁	FIXガラス
材料	仕上				
硝子		線入6.8	線入6.8	線入6.8	強化8
金物		ｱﾙﾐ製天井受材、ｱﾙﾐ製小口材、端部ｷｬｯﾄ材	ｱﾙﾐ製天井受材、ｱﾙﾐ製小口材、端部ｷｬｯﾄ材		
備考				取り外し保管の上、再取付	取り外し保管の上、再取付

記号	数量							
姿図								
使用場所								
型式	見込							
材料	仕上							
硝子								
金物								
備考								

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-55
			建具表(5)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN



AD-1 姿図 S:1/80



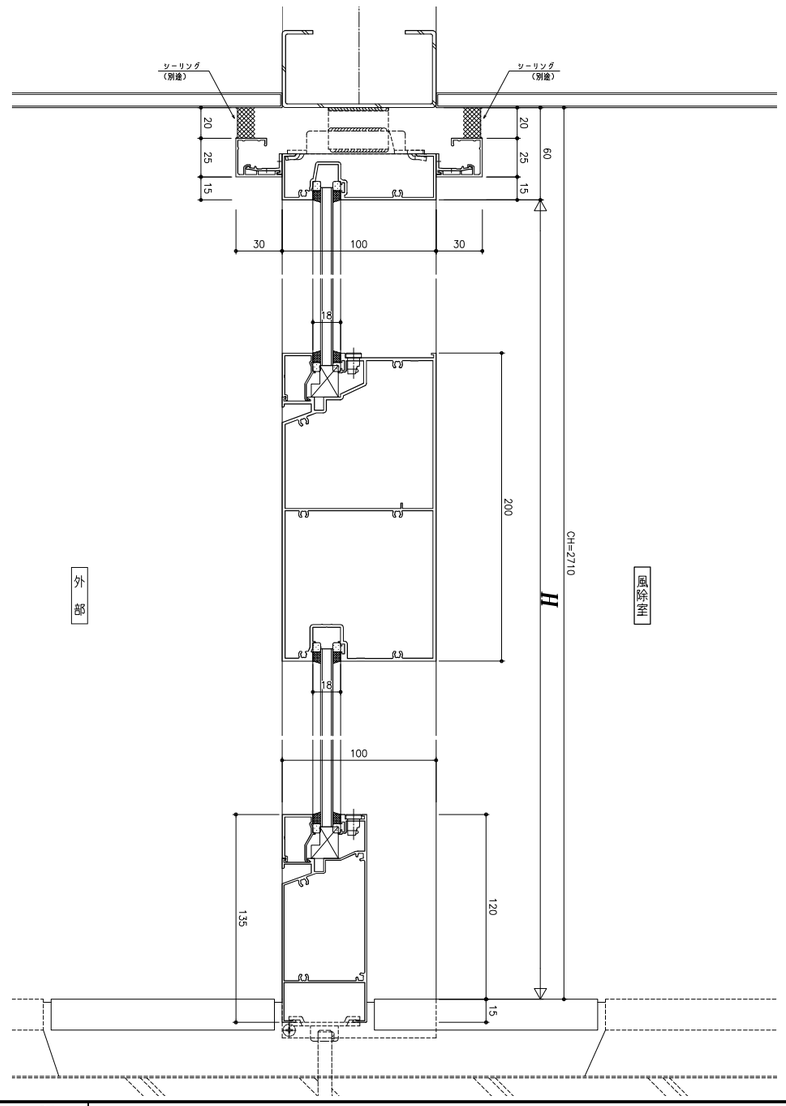
AD-1 平面図 S:1/80

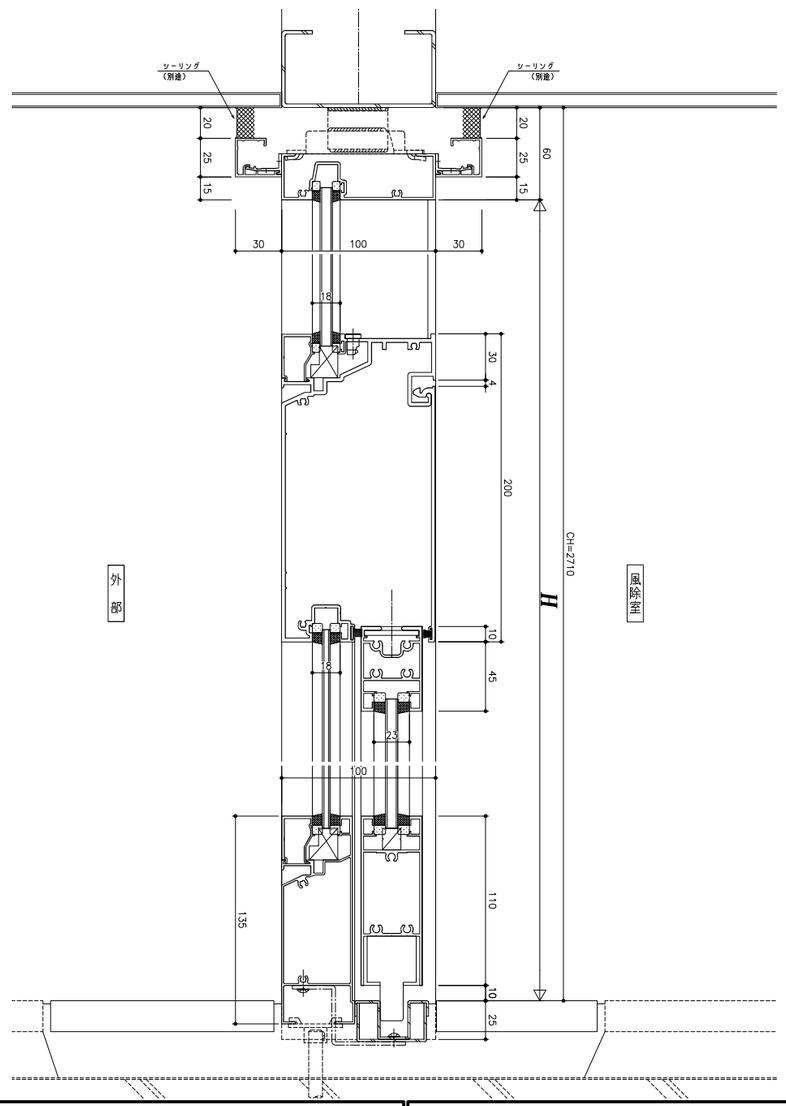
建具符号	AD-1A	取付場所	風除室
合計数量	1	カラー区分	色未定
		製品ｼﾘｰｽﾞ	EXIMA51e(S-1)
防火設備仕様	有 ・ 無	ガラス厚	3・4・5・6・6,8・姿図参照
網 戸	有 ・ 無	ｸﾘｰﾌﾟﾝｸﾞ方式	ガスケット・シール

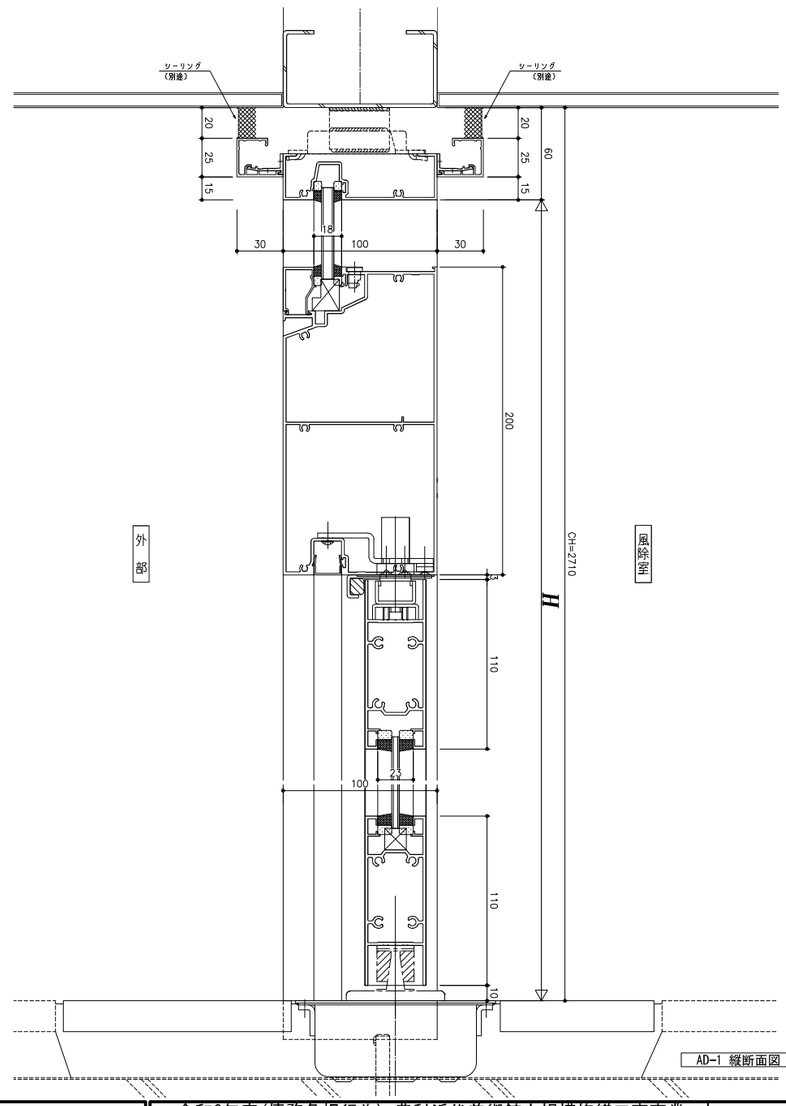
部品名	品番・型式	数量
結露排水弁	3K31341	18
サッシ部アンカー	乾式 3方	
本締り錠	美和DG2	1
自動ドアエンジン	ナブコ製	1
補助光電センサー		1
フロアヒンジ	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ標準型S付	1
戸当り(床取付ﾀｲﾌﾟ)		
枠戸当り	YKK AP制定品	1
* 電気錠	エンジン装置組込	1 式
* テンキーロック	美和 TK5L	1

建具符号	AD-1B	取付場所	エントランスホール
合計数量	1	カラー区分	色未定
		製品ｼﾘｰｽﾞ	EXIMA51e(S-1)
防火設備仕様	有 ・ 無	ガラス厚	3・4・5・6・6,8・姿図参照
網 戸	有 ・ 無	ｸﾘｰﾌﾟﾝｸﾞ方式	ガスケット・シール

部品名		数量
結露排水弁	3K31341	16
サッシ部アンカー	乾式 3方	
自動ドアエンジン	ナブコ製	1
補助光電センサー		1
* 電気錠	エンジン装置組込	1 式



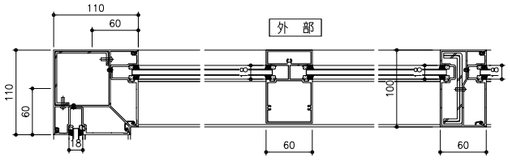


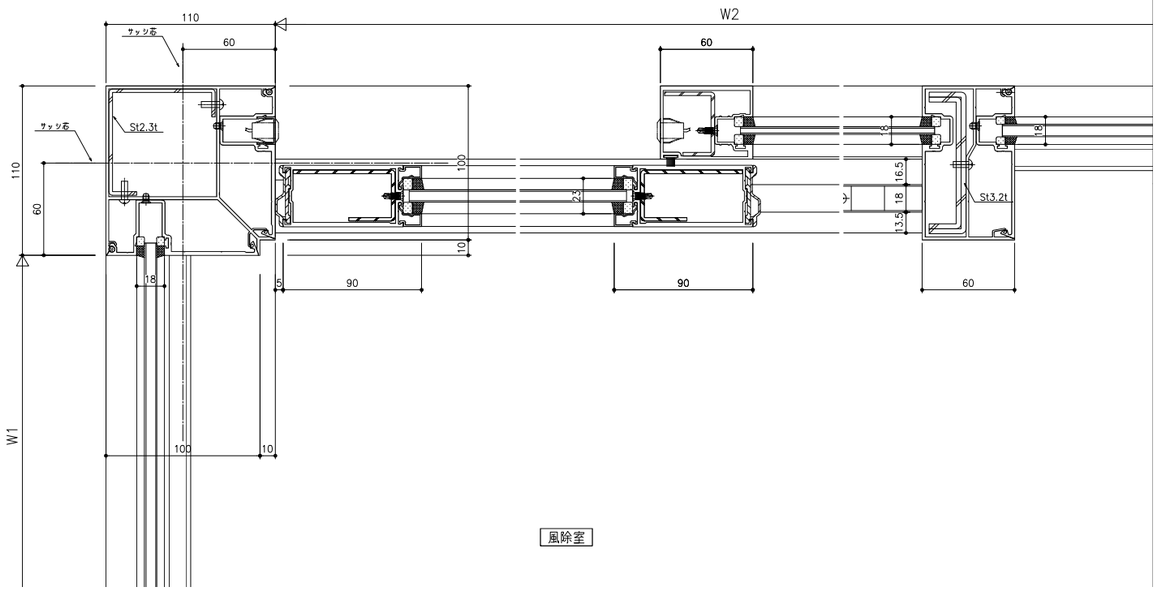


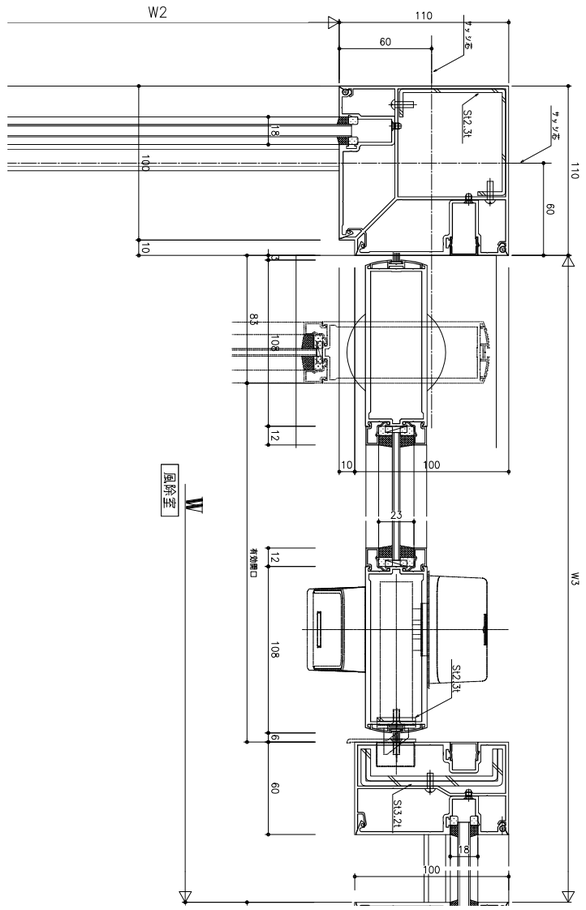
AD-1 縦断面図 S:1/4

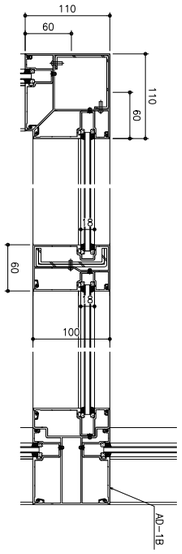
特記	

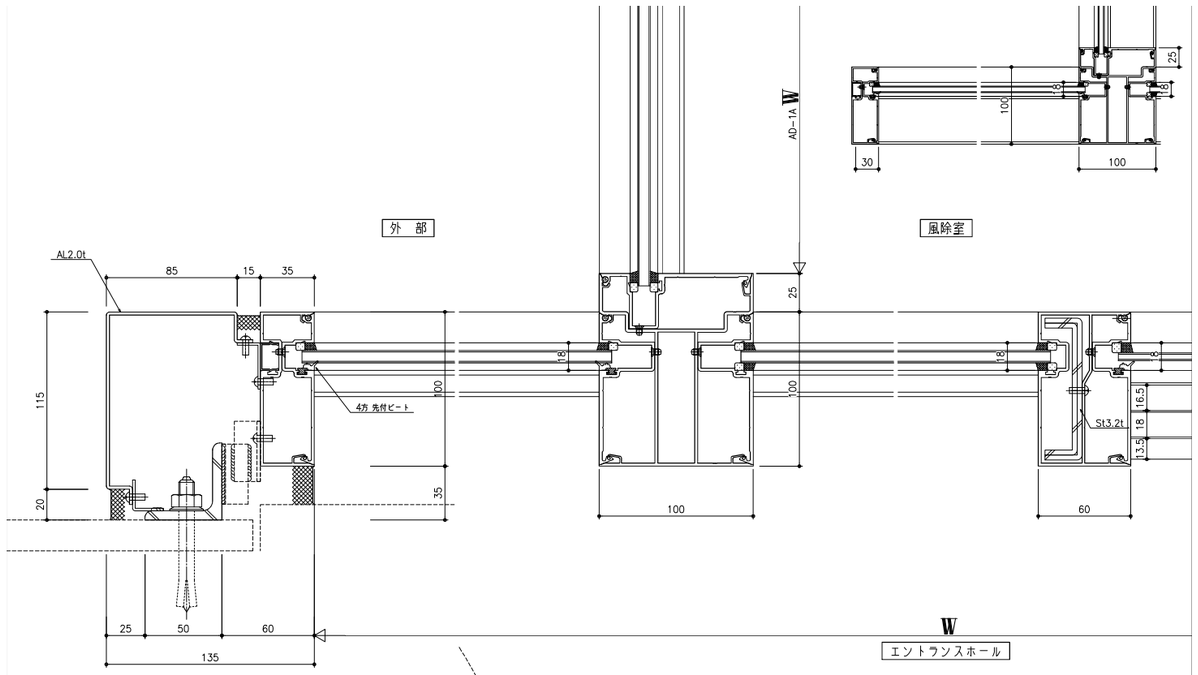
令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-56
建具詳細図(1)	SCALE A3:1/80,4 A1:1/40,2
DATE 2024/03/15	SIGN

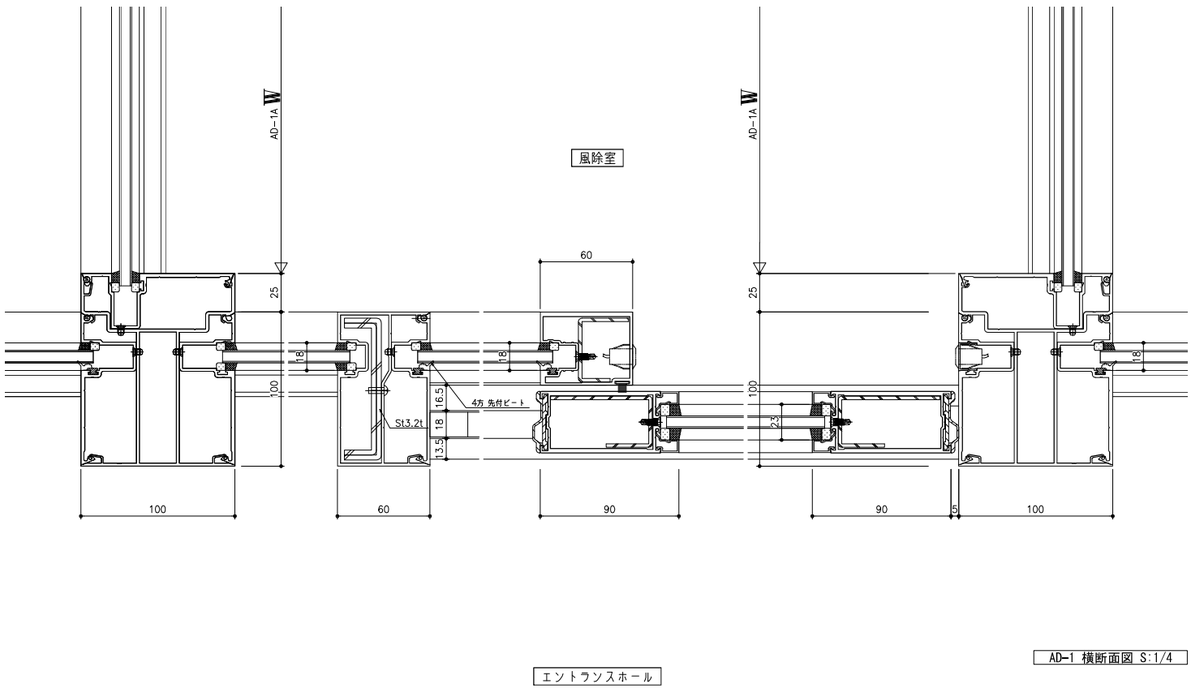










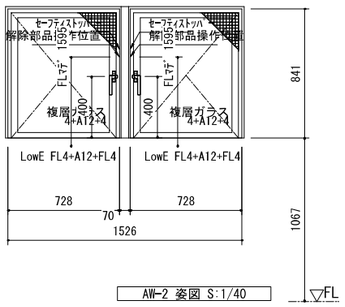


AD-1 横断面図 S:1/4

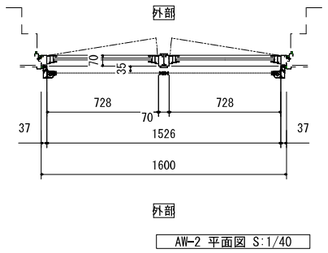
特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			建具詳細図(2)
			DATE 2024/03/15

NO. A-57
SCALE A3:1/4 A1:1/2
SIGN

内観姿図を示す



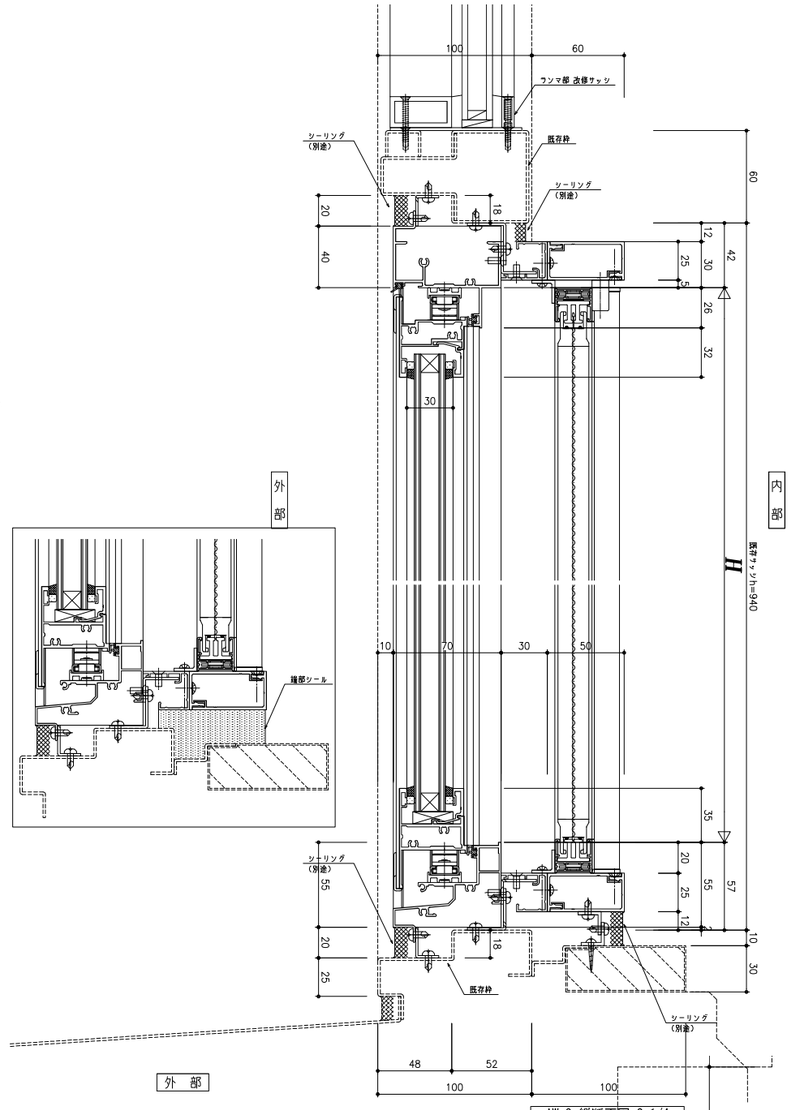
AW-2 姿図 S:1/40



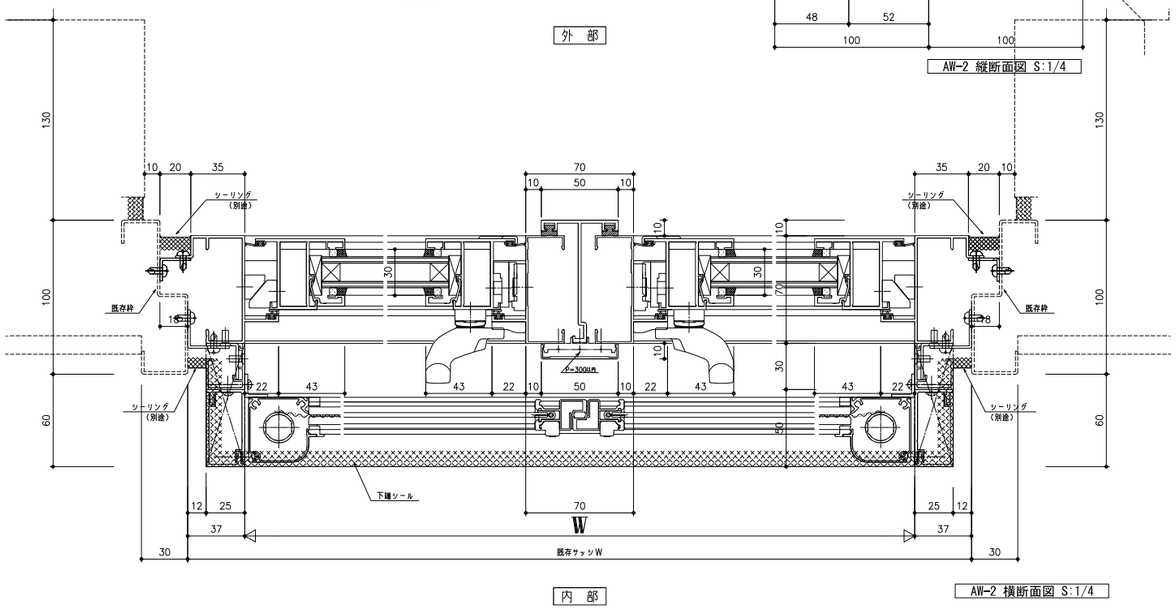
AW-2 平面図 S:1/40

建具符号	AW-2PJ	取付場所	事務室　多目的ルーム オリエンテーションルーム
合計数量	3	カラー区分	色未定
		製品シリーズ	EXIMA31(S-5)
防火設備仕様	有 ・ 無	ガラス厚	3・4・5・6・6.8・姿図参照
網　戸	有 ・ 無	クレーンアップ方式	ガスケット・シール

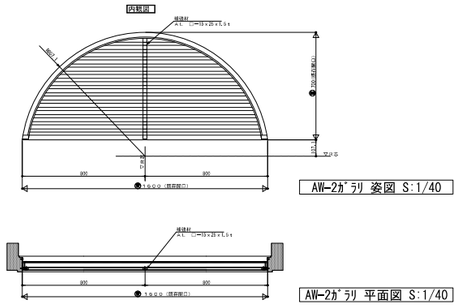
部品名	品番・型式	数量
カムラッチハンドル	YKK AP制定品	2
たてすべり出しアーム	YKK AP制定品	2
セーフティストッパー（自動復帰）	操作つまみ無 ハンドル上部に取付	2
障子コーナーキャップ一式		2
ガイドローラー		2
収納網戸	ビューネットR型	1
網戸ネット網種	ブラック/グラスファイバー　18X16メッシュ	
網戸は引き分けタイプとして、1つで2連をカバーする。		



AW-2 縦断面図 S:1/4



AW-2 横断面図 S:1/4

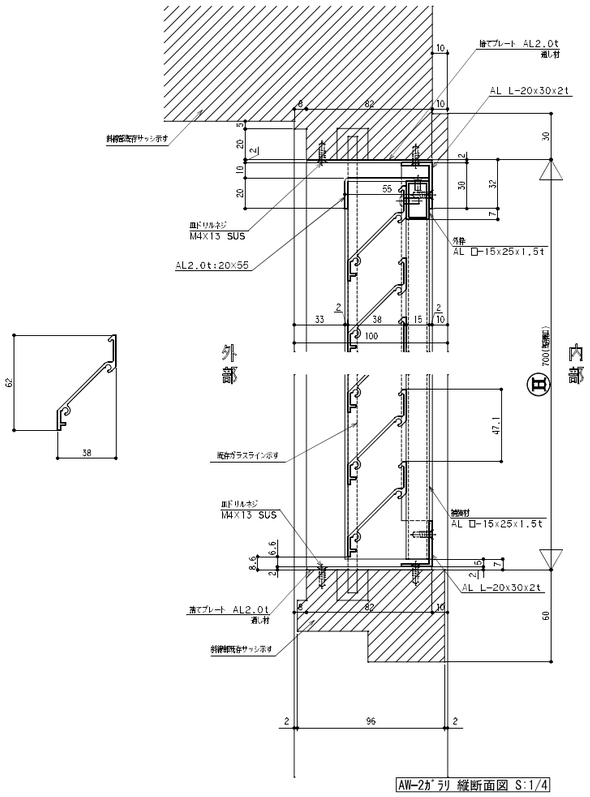


AW-2ガラリ 姿図 S:1/40

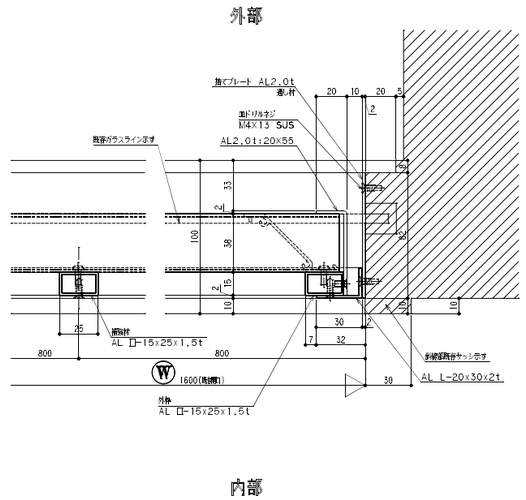
AW-2ガラリ 平面図 S:1/40

AW	数量	1	見込	表面処理	焼付塗装
2	取付位置	1階事務室 オリエンテーションルーム 多目的ホール			
名　称	W=1600		備　考		
アーチ形	H=700				
ガラリ窓	R=807.1				
品　名	仕　様		数　量		
				アングル水切	有・無
					チリ
					働キ
					有・無
					働キ
硝　子（硝子工事）				M/M	

※防虫網付とする



AW-2ガラリ 縦断面図 S:1/4

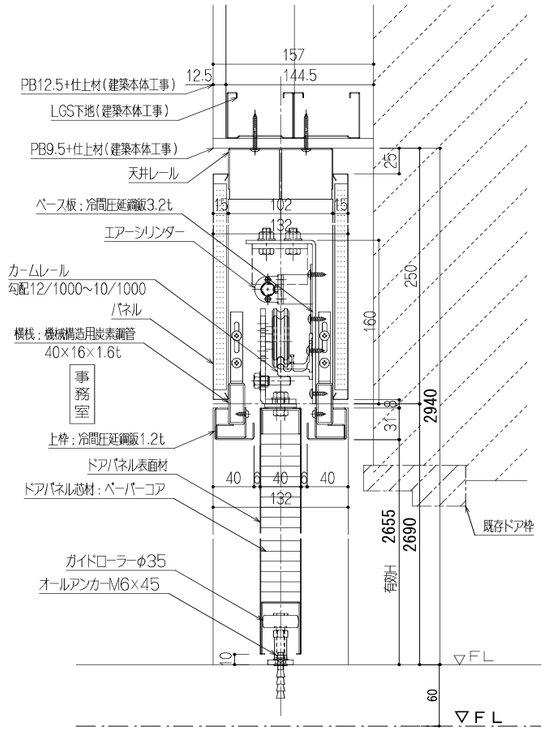


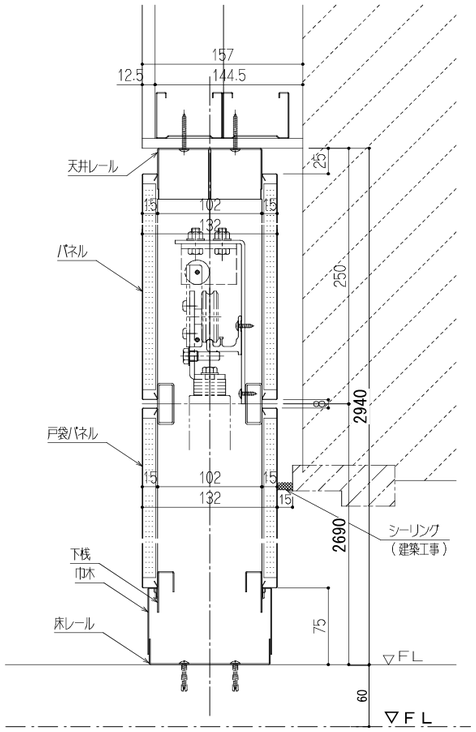
AW-2ガラリ 横断面図 S:1/4

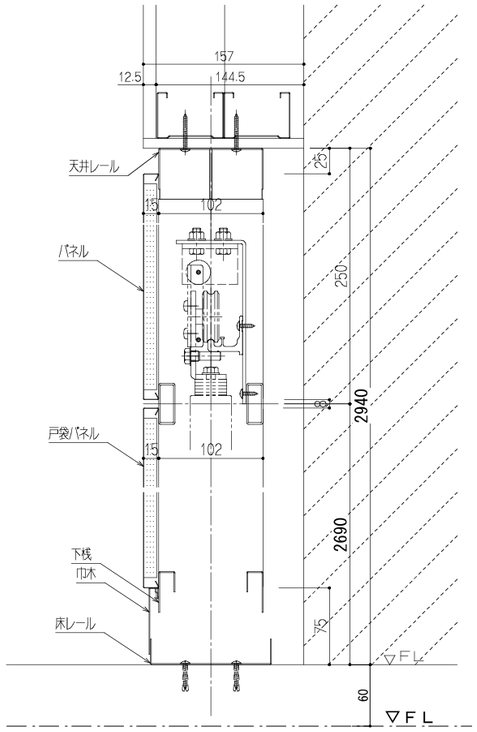
特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-58
			建具詳細図(3)	SCALE A3:1/40,4 A1:1/20,2
			DATE 2024/03/15	SIGN

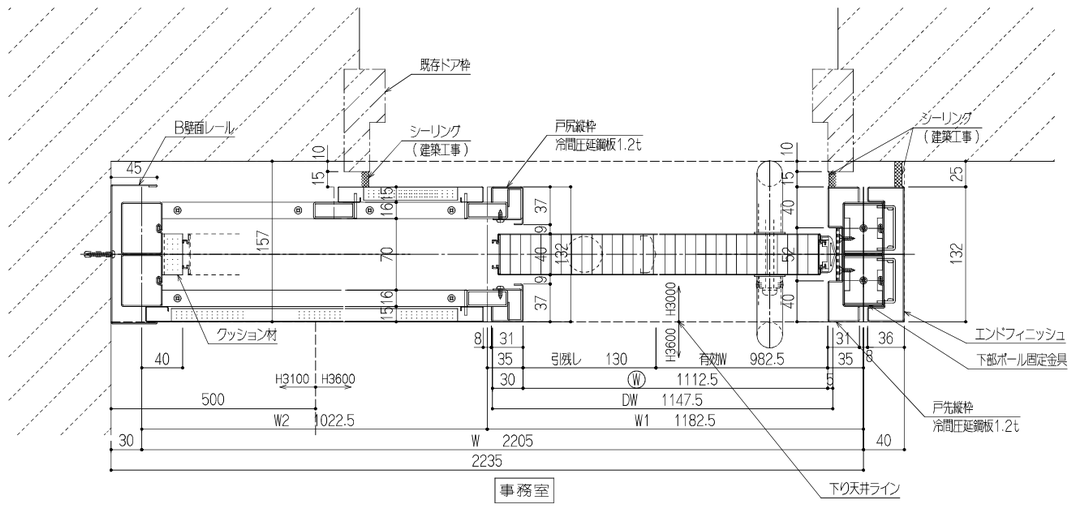
自閉式片引き戸　断面詳細図　S＝1／6

LSD 1









◇仕様表　（小松ウオール マイティー130同等品）

項目	部材	材料（板厚mm）
骨材	天井レール	冷間圧延鋼板 1.0mm（指定色焼付塗装仕上）
	壁面レール	冷間圧延鋼板 0.8mm（指定色焼付塗装仕上）
	床レール	冷間圧延鋼板 0.8mm（指定色焼付塗装仕上）
	巾木	冷間圧延鋼板 0.8mm（指定色焼付塗装仕上）
	ポール(支柱)・横桟	冷間圧延鋼板 1.2mm（指定色焼付塗装仕上）
	上桟・下桟	冷間圧延鋼板 1.0mm（指定色焼付塗装仕上）
	エンドフィニッシュ	冷間圧延鋼板 0.8mm（指定色焼付塗装仕上）
パネル	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm（指定色焼付塗装仕上）
	芯材	せっこうボード 12.5mm
枠	ドア枠・開口枠	冷間圧延鋼板 1.2mm（指定色焼付塗装仕上）
自閉式吊戸	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm（指定色焼付塗装仕上）
	芯材	ペーパーコア
	戸袋パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm
	戸袋パネル芯材	せっこうボード 12.5mm
	戸袋ポール・横桟	機械構造用炭素鋼管 40×16×1.6mm
	戸袋下桟	冷間圧延鋼板 1.0mm（指定色焼付塗装仕上）
	戸先・戸尻縦枠	冷間圧延鋼板 1.2mm（指定色焼付塗装仕上）
	上枠	冷間圧延鋼板 1.2mm（指定色焼付塗装仕上）
	ベース板	亜鉛めっき鋼板 3.2mm
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm（指定色焼付塗装仕上）
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル（ブラック色）
	カームレール	アルミ押出形材（アルマイト処理仕上）
	自閉装置	小松ウオール標準機構部品セット
	ロック	美和ロック POSTE錠/ゴール AD錠
	引手	ステンレス鏡面ハンドルφ25 L=450

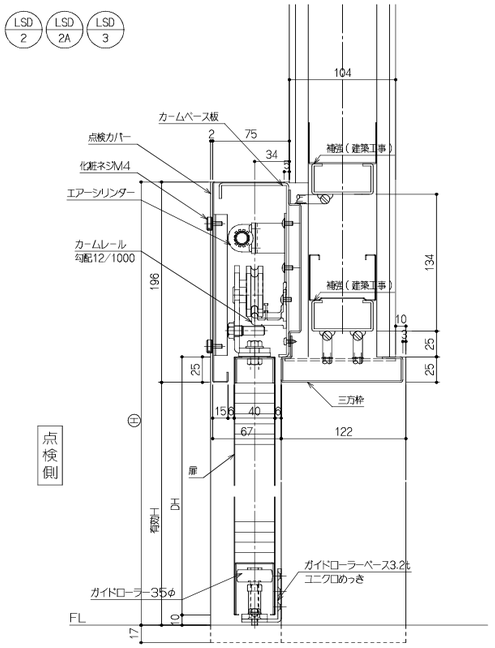
特記	

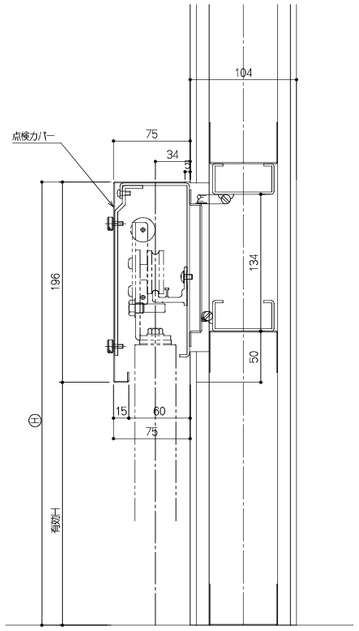
令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

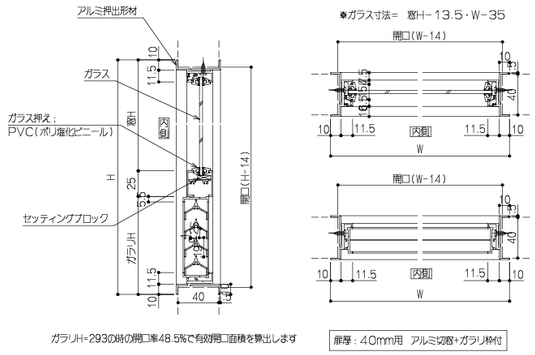
建具詳細図(4)

NO. A-59
SCALE A3:1/6 A1:1/3
DATE 2024/03/15
SIGN

自閉式片引き戸　断面詳細図　S＝1／6







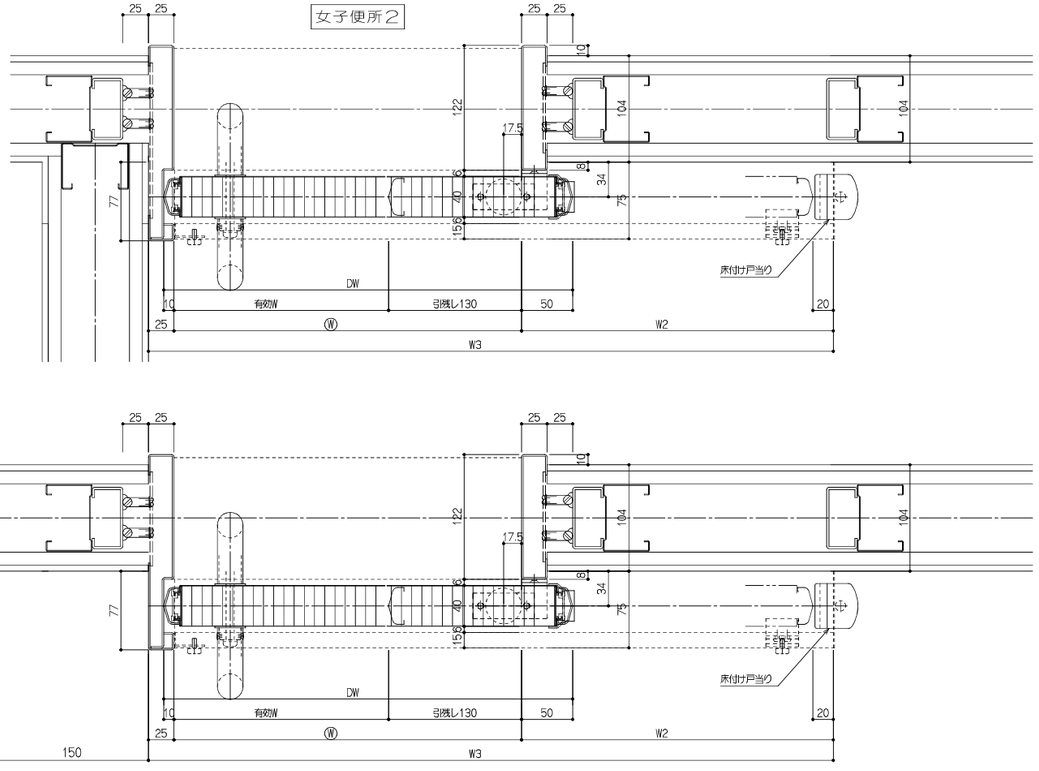
ガラリH=293の時の開口率48.5%で有効開口面積を算出します

扉厚：40mm用　アルミ切窓+ガラリ枠付

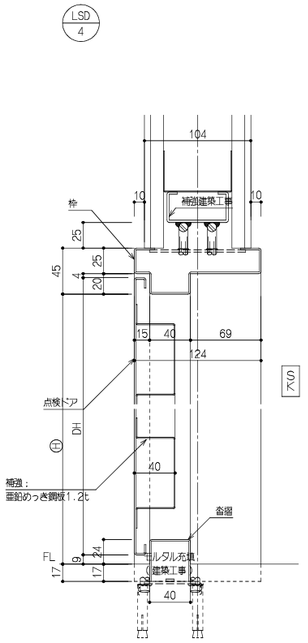
◇仕様表

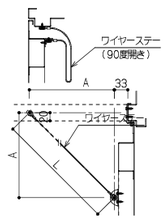
（小松ウオール　カームドア外付け枠タイプ同等品）

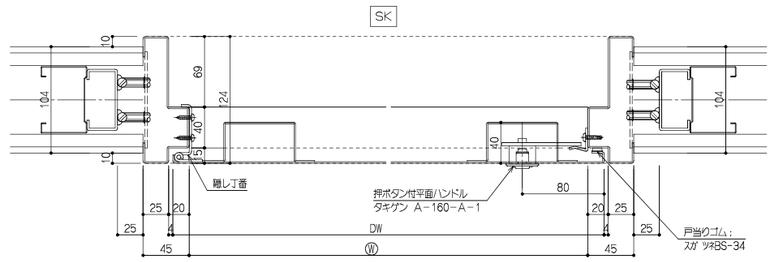
項目	部材	材料（板厚mm）
駆動装置	駆動方式	傾斜レール 制御装置エアダンパ
	カームベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm（防錆塗装仕上）
	カームレール	アルミ押出形材（アルマイト処理仕上）
	ハンガー戸車	樹脂製戸車 プラケット鉛めっき仕上
枠	先付け枠	亜鉛めっき鋼板 1.6mm（指定色焼付塗装仕上）
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm（指定色焼付塗装仕上）
扉	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm（指定色焼付塗装仕上）
	芯材	ペーパーコア
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル（ブラック色）
	ロック	美和 POSTE錠/ゴール AD錠
	取手	ステンレス鏡座ハンドルφ25 L=450
切窓ガラリ	切窓・ガラリ	アルミ押出形材（指定色焼付塗装仕上）
	切窓ヒート	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3~6mm（クレー色）



点検扉　断面詳細図　S＝1／6







◇仕様表

（小松ウオール　点検ドア同等品）

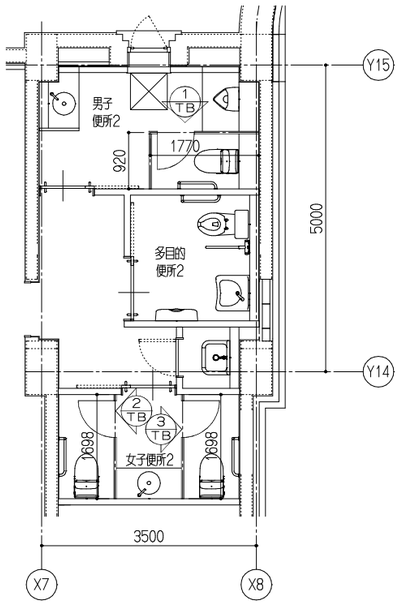
項目	部材	材料（板厚mm）
枠	枠	亜鉛めっき鋼板 1.6mm（焼付塗装仕上）
	金網	ステンレス
扉	表面材	亜鉛めっき鋼板 1.6mm（焼付塗装仕上）
	補強材	亜鉛めっき鋼板 1.2mm（焼付塗装仕上）
	隠し丁番	冷間圧延鋼板 2.3mm・熱間圧延鋼板 2.3mm
		ピン SS41（ユニクロめっき）
	ロック	タキゲン A-247-2
	開き止め	ワイヤーステーセットφ2.0（90°開き）
	戸当り	スガツネ BS-34

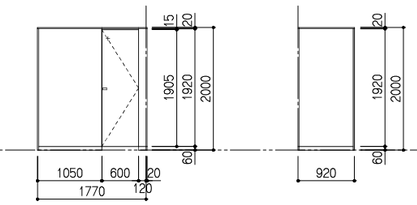
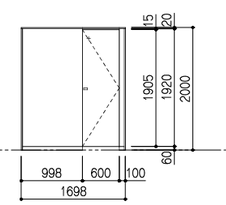
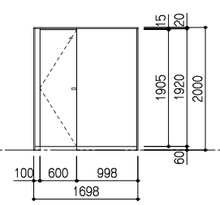
※DW＝342以下はワイヤーステー取付不可。

特記	

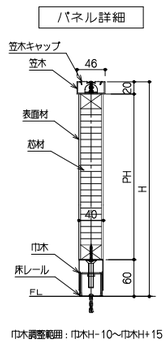
令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-60
建具詳細図(5)	SCALE A3:1/6 A1:1/3
DATE 2024/03/15	SIGN

平面図・展開図　S＝1／100

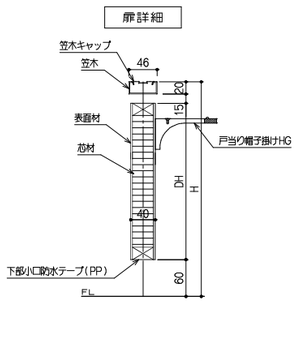


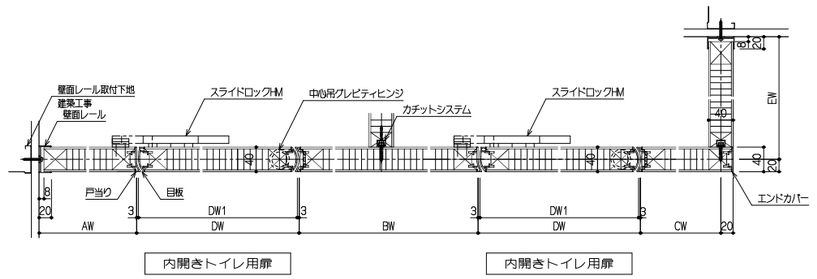
記号 / 室名	1 TB	2 TB	3 TB
形状 寸法			
名称	トイレブース	トイレブース	トイレブース
見込	40	40	40
仕上	高圧メラミン樹脂化粧板（木目調）（下地：MDF2.5T）	高圧メラミン樹脂化粧板（木目調）（下地：MDF2.5T）	高圧メラミン樹脂化粧板（木目調）（下地：MDF2.5T）
金物	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール　▪非常開錠付表示錠	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール　▪非常開錠付表示錠	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール　▪非常開錠付表示錠
備考	小松ウオール工業　TB-TP　同等品	小松ウオール工業　TB-TP　同等品	小松ウオール工業　TB-TP　同等品

断面図　S＝1／10



巾木調整範囲：巾木H−10～巾木H+15





内開きトイレ用扉　　内開きトイレ用扉

◇仕様表　　（小松ウオール　サニティTB-TPタイプ）

項目	部材	材料（板厚mm）
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板（下地：MDF）
	芯材	ペーパーコア
	目板/戸当り	アルミ押出形材（焼付塗装仕上）
付属品	巾木/床レール	ステンレス 0.8mm（ヘアライン仕上）
	笠木/笠木キャップ	アルミ押出形材（焼付塗装仕上）
	壁面レール/エンドカバー	アルミ押出形材（焼付塗装仕上）
	ヒンジ/SKヒンジ	中心吊グレビティヒンジ
	ロック	スライドロックHM
	その他金物	戸当り帽子掛けHG

特記	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

建具詳細図(6)

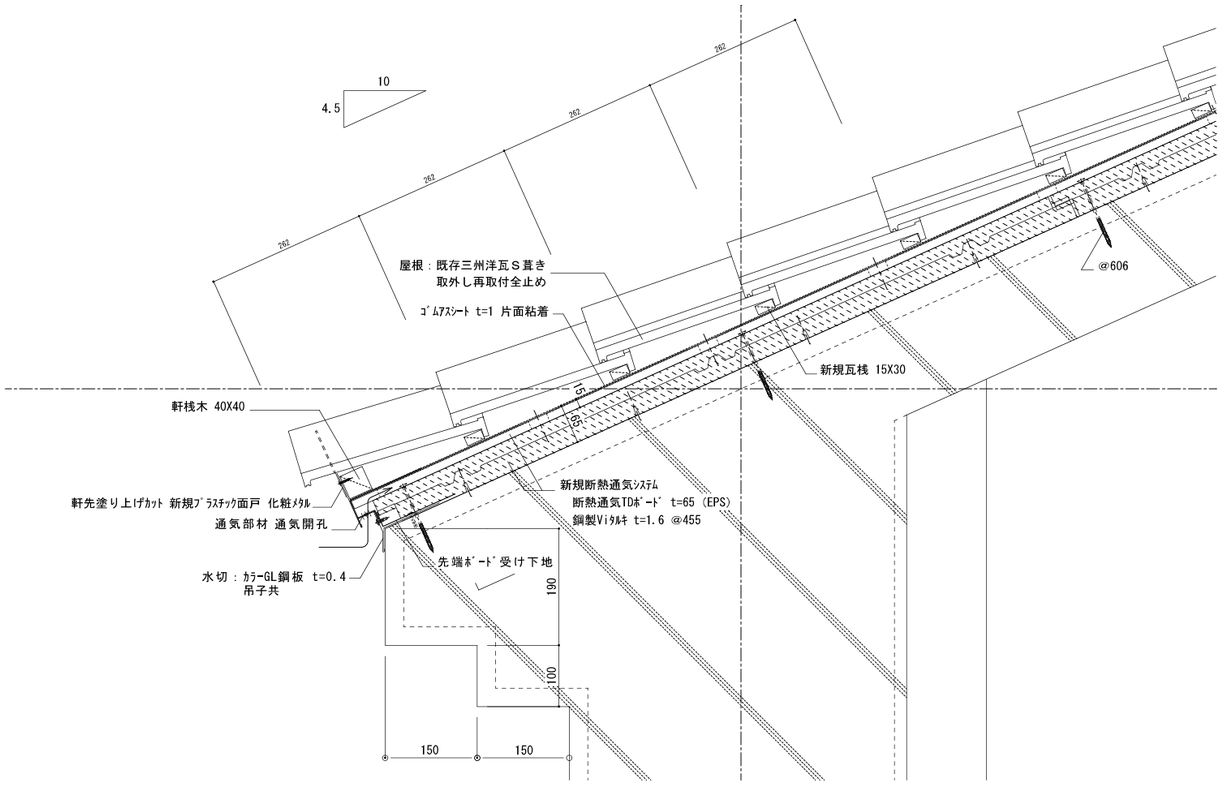
NO. A-61

SCALE A3:1/100, 10
A1:1/50, 5

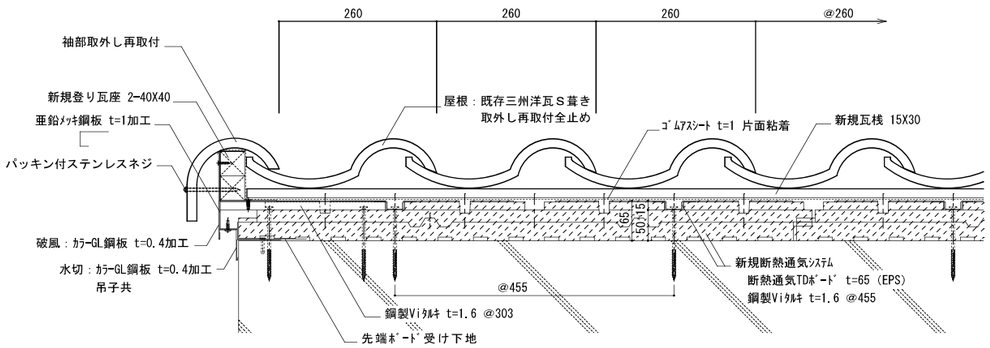
DATE 2024/03/15

SIGN

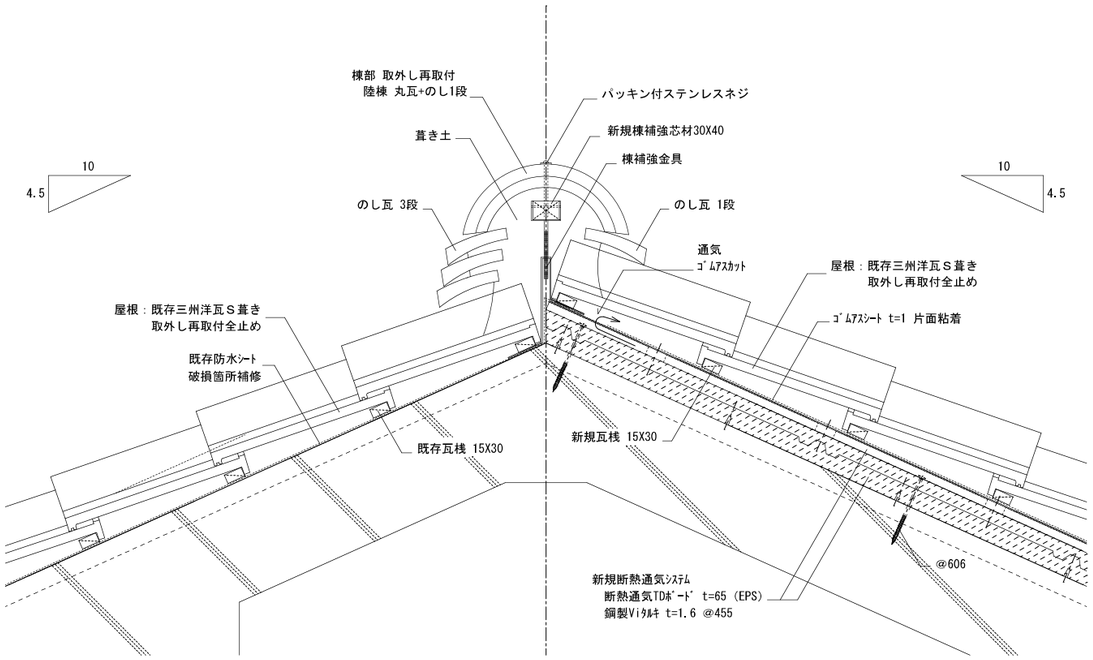
東側 瓦屋根　断熱通気システム 軒先部分　詳細図



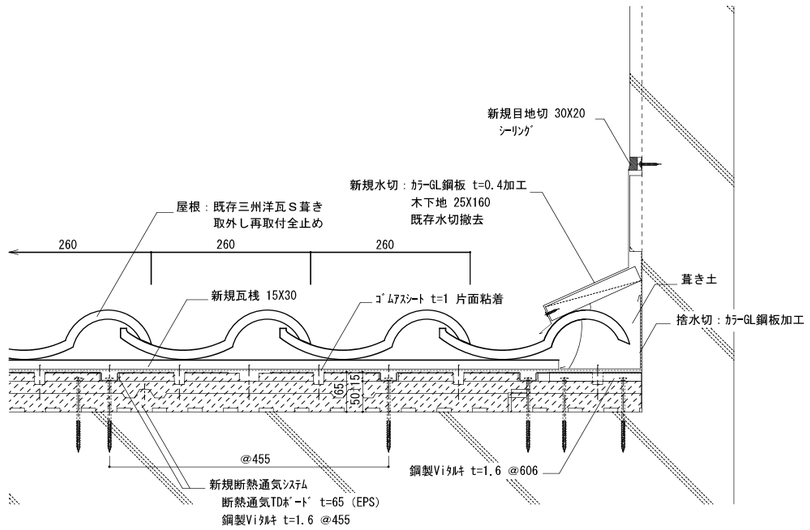
瓦屋根　断熱通気システム ケラバ部分　詳細図



瓦屋根　断熱通気システム 棟部分　詳細図



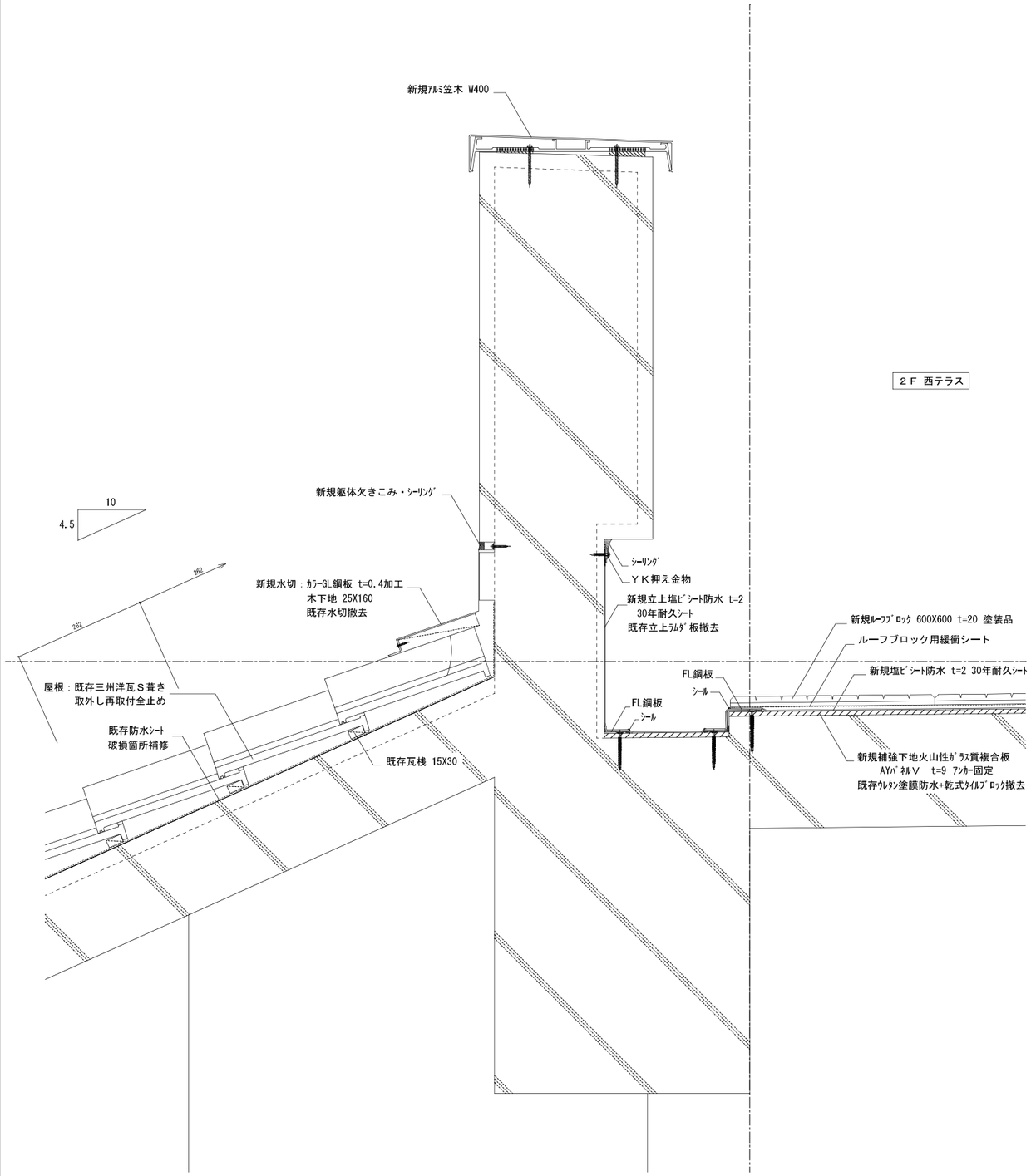
瓦屋根　断熱通気システム 流れ側 外壁取合い部分　詳細図



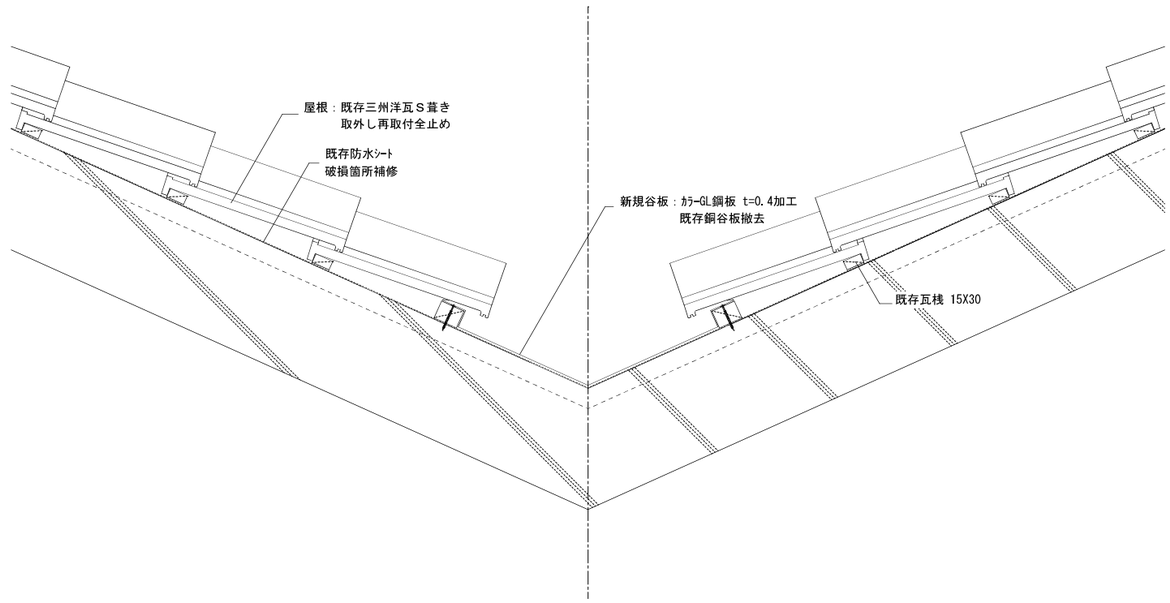
特　記

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-62
外装詳細図(1)	SCALE A3:1/10 A1:1/5
DATE 2024/03/15	SIGN

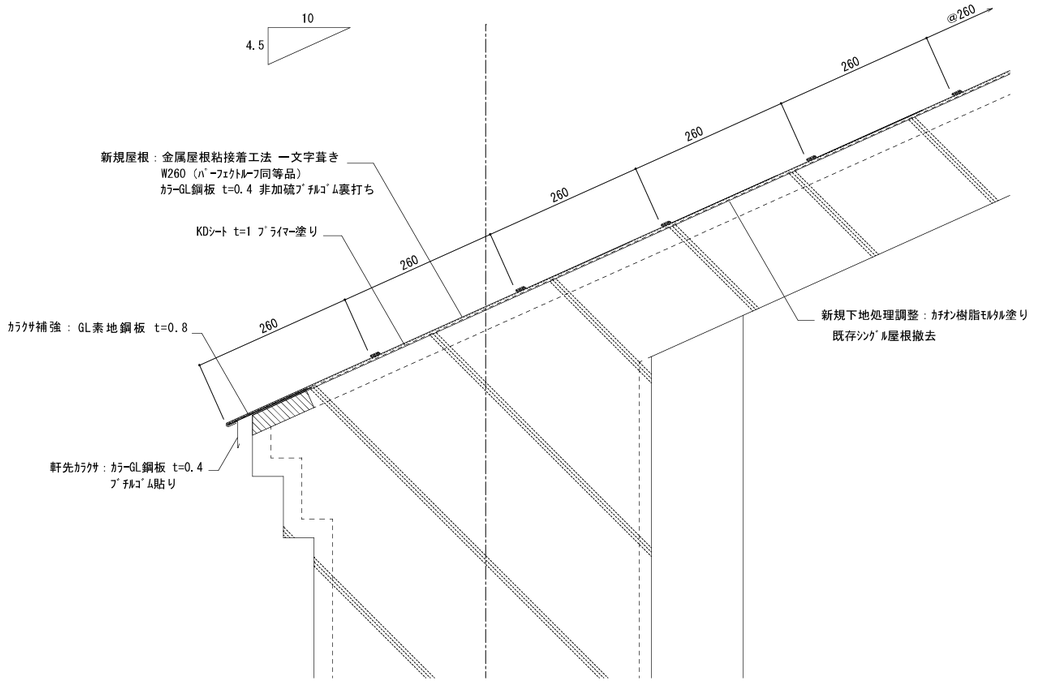
瓦屋根　水上 外壁取合い部分　詳細図　　２Ｆ 西テラス部 シート防水部分　詳細図



瓦屋根　谷部分　詳細図



北テラス側　展示室屋根 軒先部分　詳細図



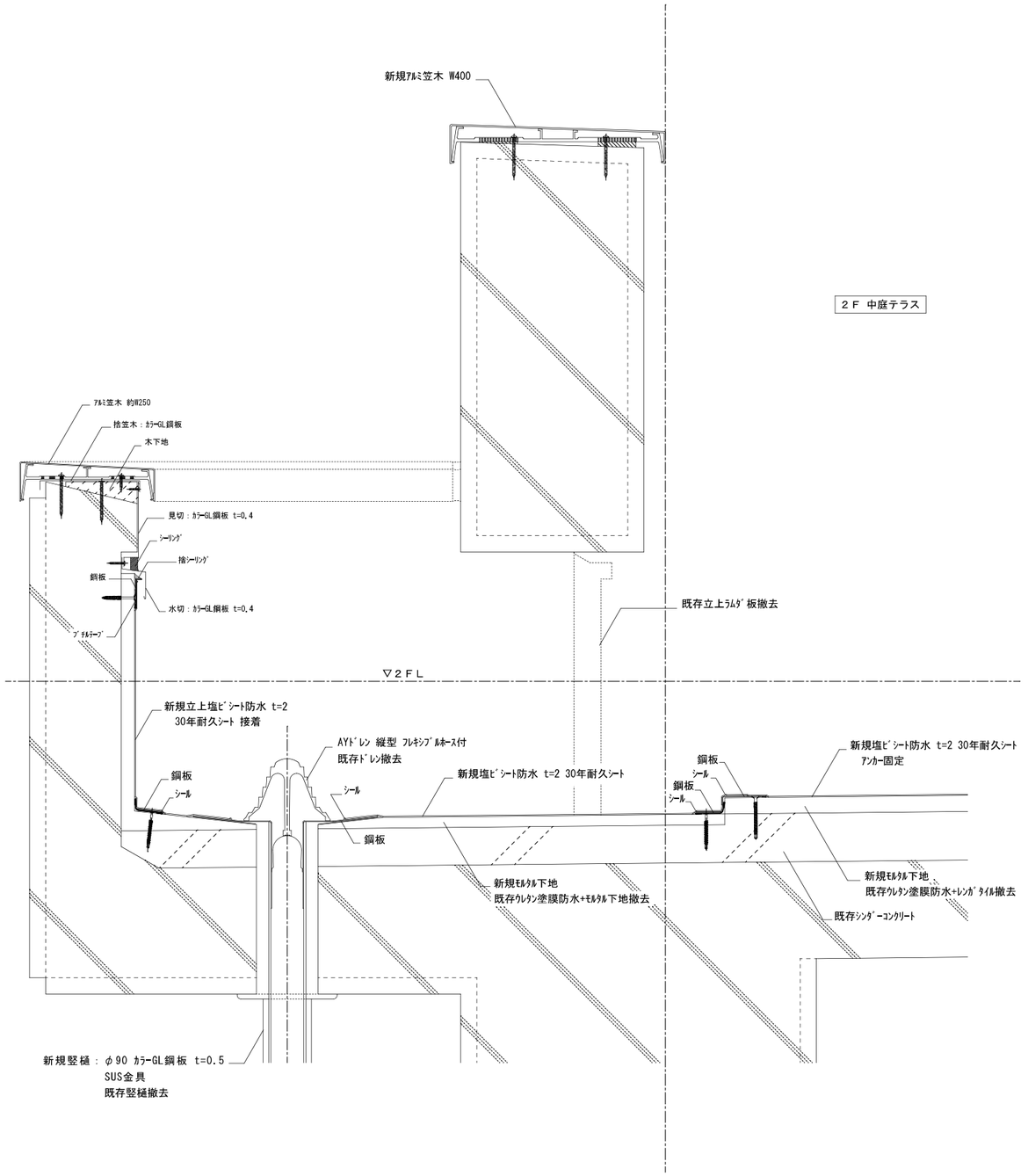
特　　記	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

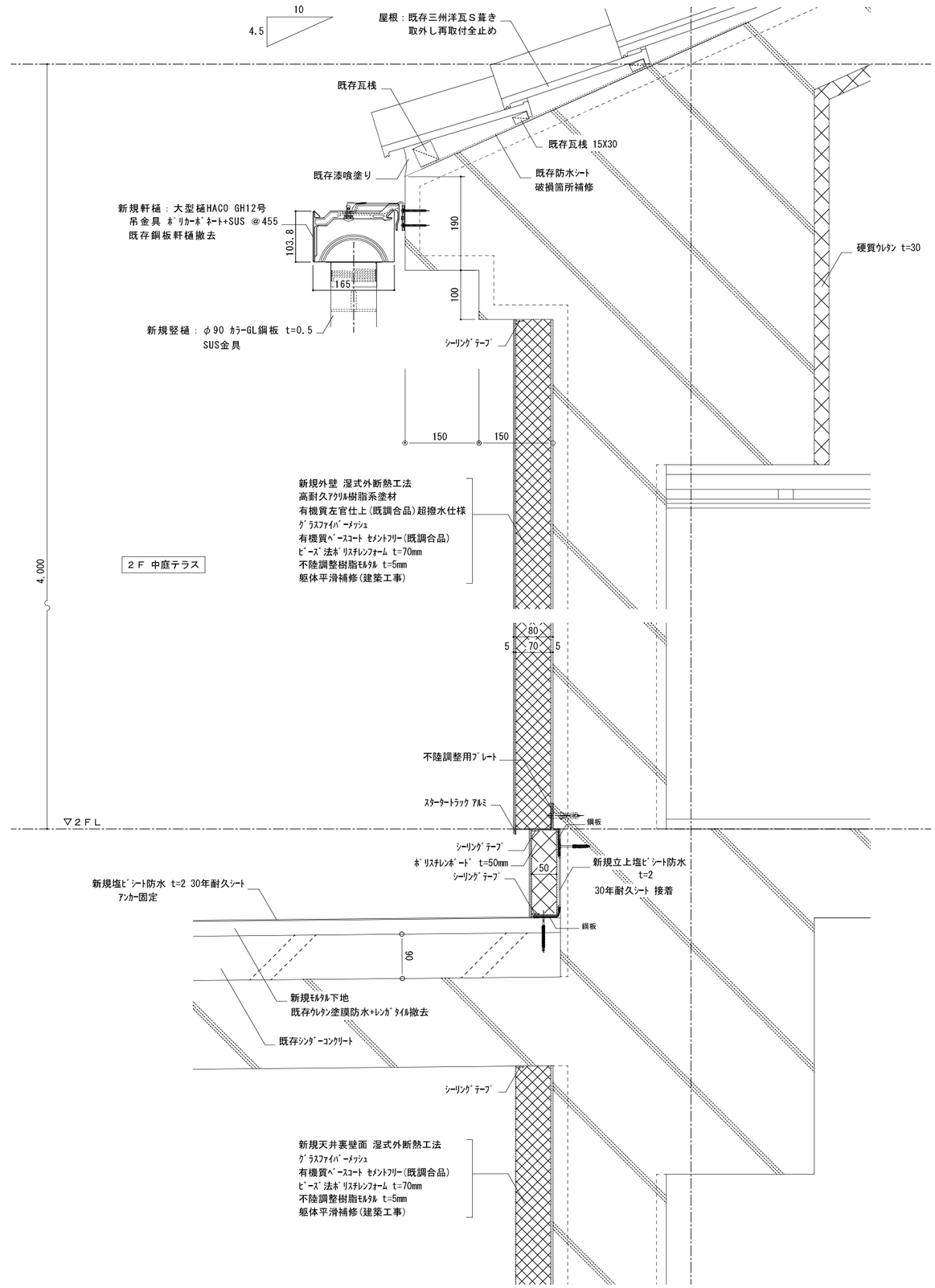
外装詳細図(2)

NO. A-63
SCALE A3:1/10 A1:1/5
DATE 2024/03/15
SIGN

２Ｆ 中庭テラス部 シート防水 ドレン部分　詳細図



２Ｆ 中庭テラス部 シート防水・外壁 外断熱（湿式）部分　詳細図



特記	

令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

外装詳細図（3）

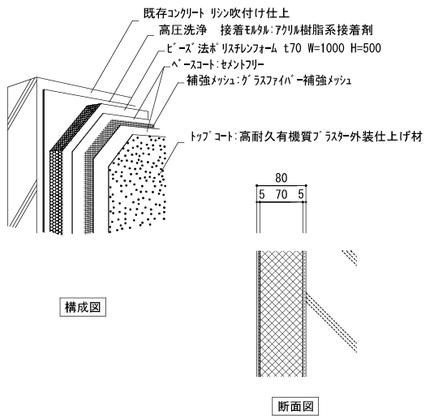
NO. A-64

SCALE A3:1/10 A1:1/5

DATE 2024/03/15

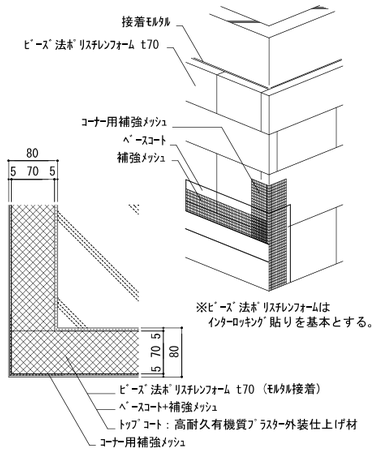
SIGN

外壁　外断熱（湿式）　構成図



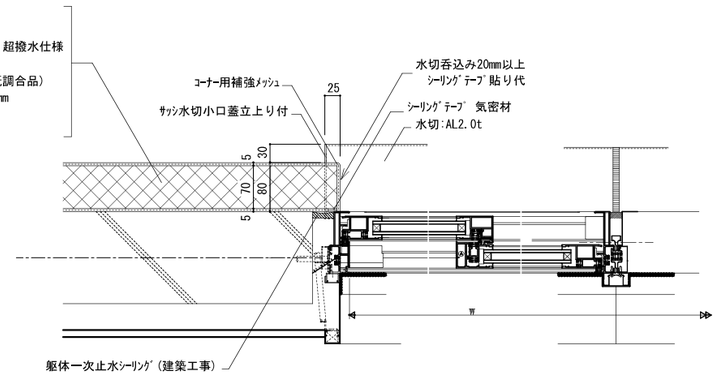
※2時間耐火性能及び1時間遮熱性能認定品である事。

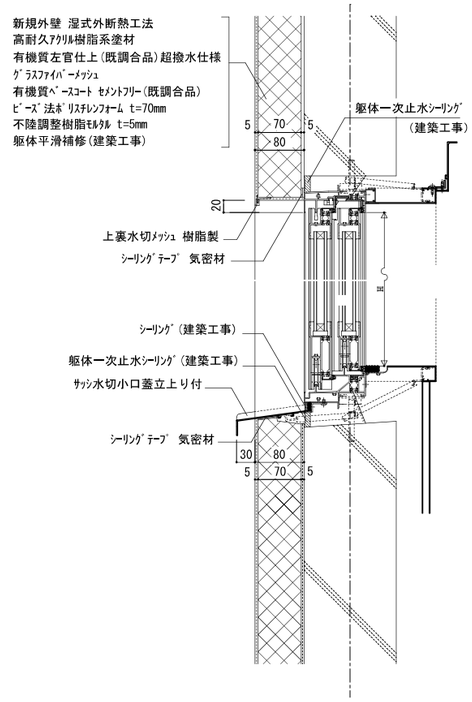
外壁　外断熱（湿式）　出隅部詳細図



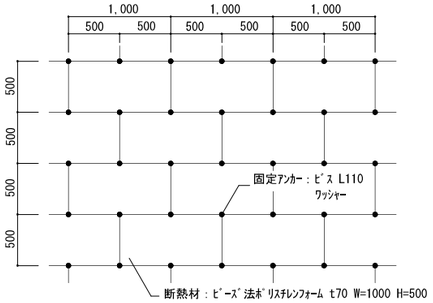
※ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑは
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ貼りを基本とする。

外壁　外断熱（湿式）　サッシ部分　詳細図

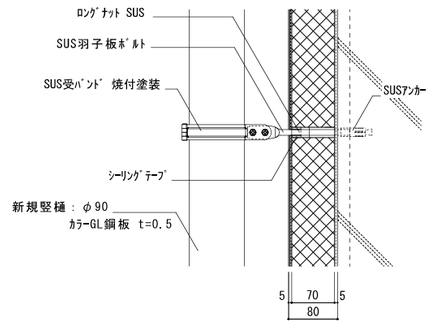




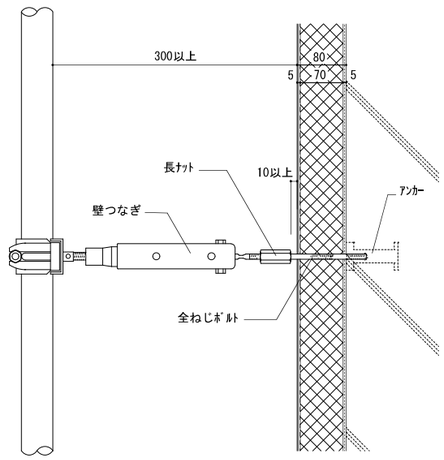
外壁　外断熱（湿式）断熱材割付　詳細図



外壁　外断熱（湿式）　竪樋取合い部分　詳細図

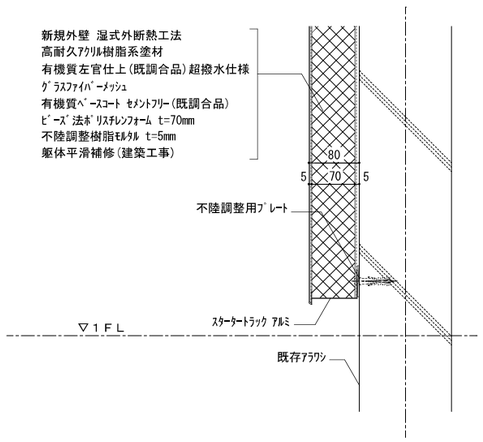


仮設足場標準ディテール　（建築工事）

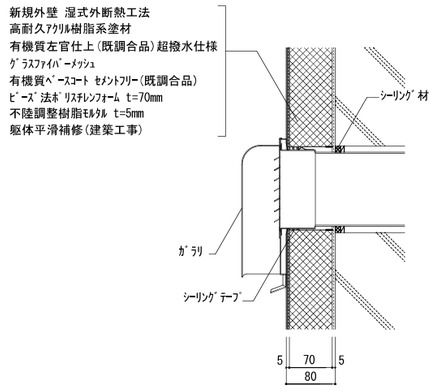


※全ねじのﾊﾞｰは躯体に対して垂直とする。

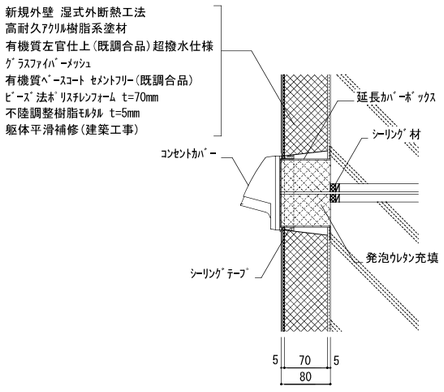
外壁　外断熱（湿式）　基礎部分　詳細図



外壁　外断熱（湿式）　ガラリ取合い部分　詳細図



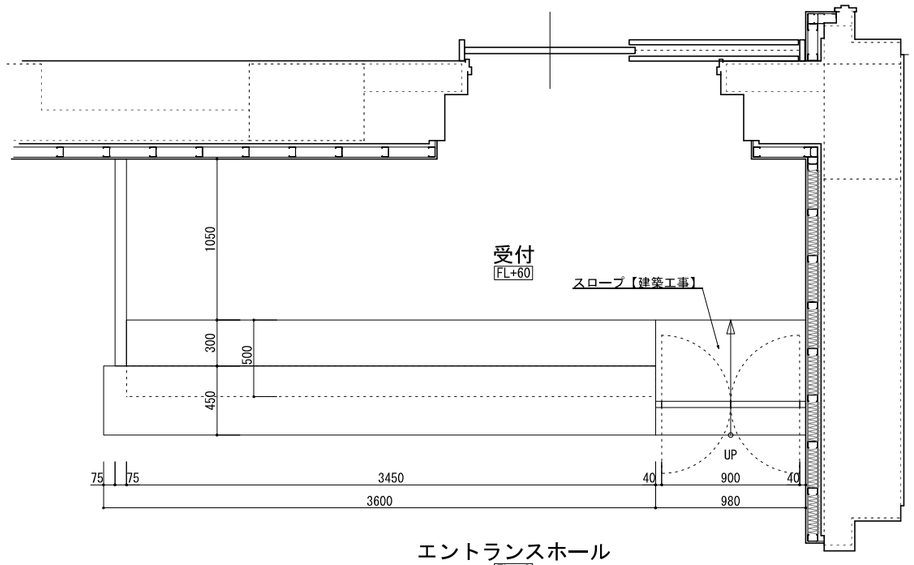
外壁　外断熱（湿式）　コンセントボックス取合い部分　詳細図



特　　記	

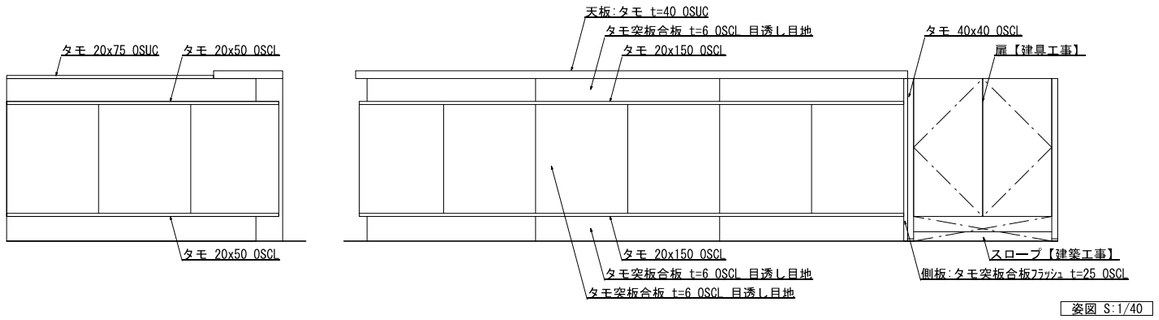
令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-65
外装詳細図（4）	SCALE A3:1/10 A1:1/5
DATE 2024/03/15	SIGN

受付カウンター【家具工事】 詳細図　S=1/40

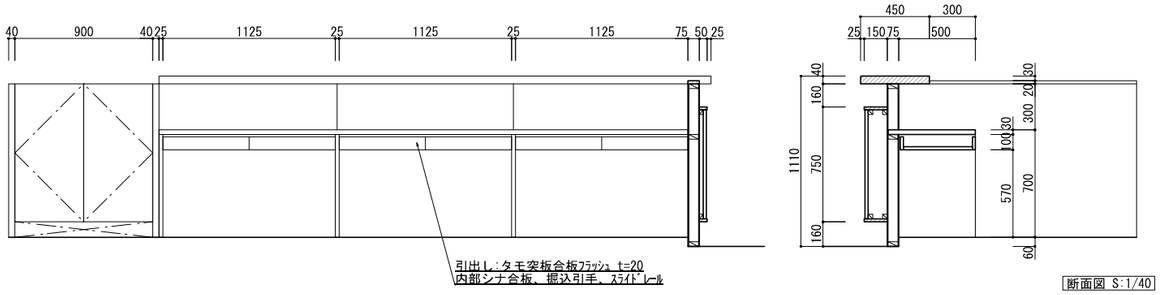


エントランスホール
FL±0

平面図 S:1/40

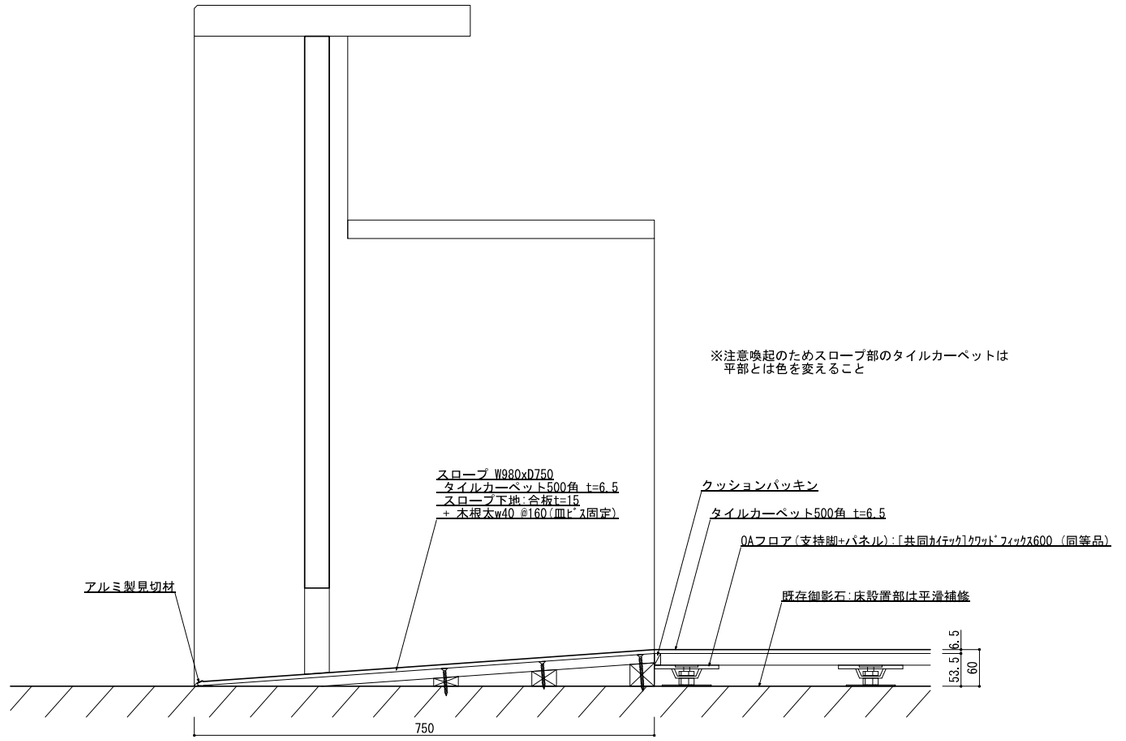


姿図 S:1/40



断面図 S:1/40

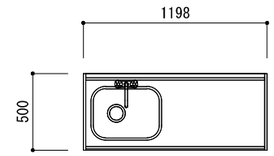
エントランスホール～受付間　スロープ　詳細図　S=1/10



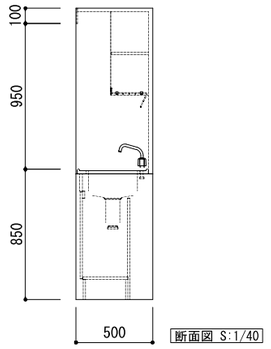
事務室　ミニキッチン　詳細図　S=1/40

ミニキッチン １２００サイズ
[ﾊｳｽﾃｯｸ]ミニキッチン KM（同等品）

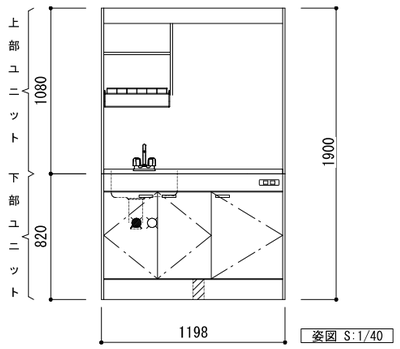
コンロ無しプラン
標準プラン(冷蔵庫無し)
付属品:ステンレスシンク、混合水栓、棚
照明無し



平面図 S:1/40



断面図 S:1/40

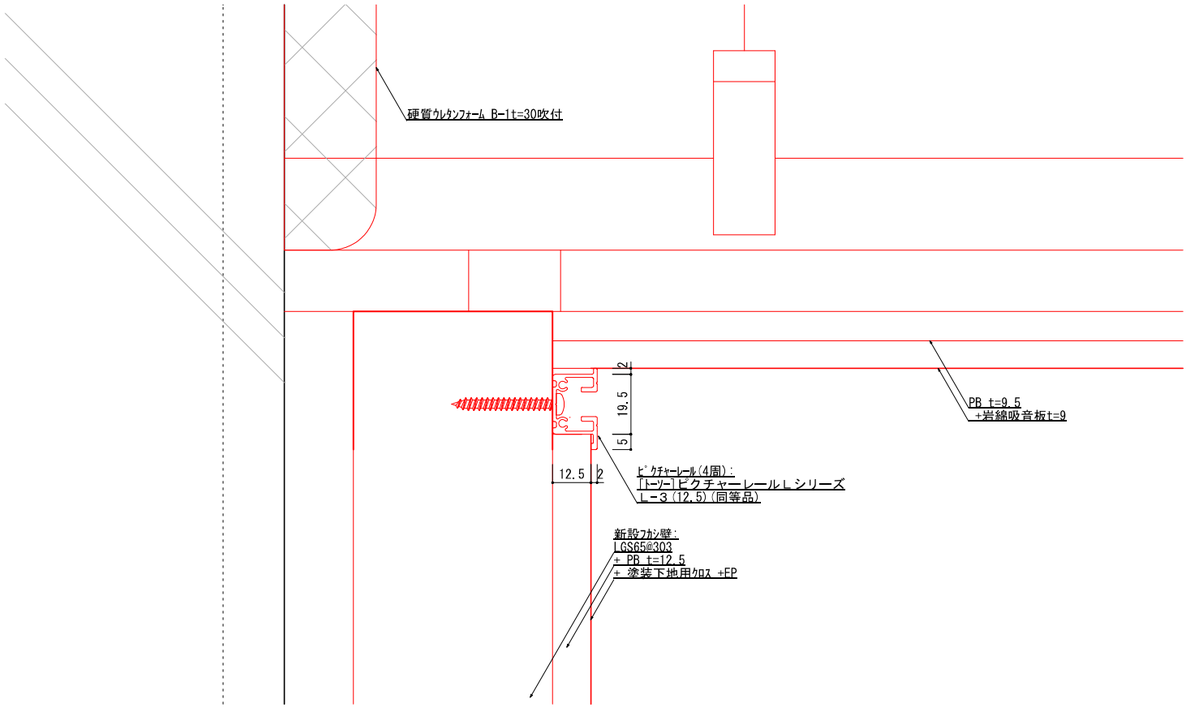


姿図 S:1/40

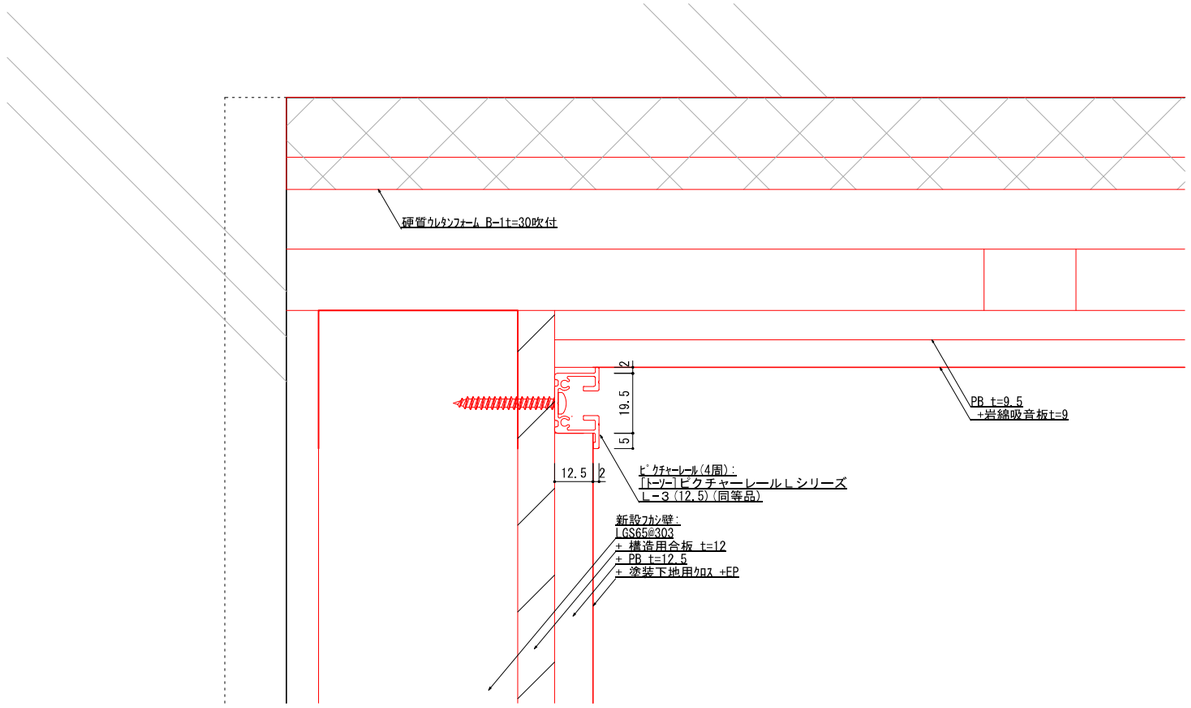
特記	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-66
家具図、部分詳細図(1)	SCALE A3:1/10,40 A1:1/5,20
DATE 2024/03/15	SIGN

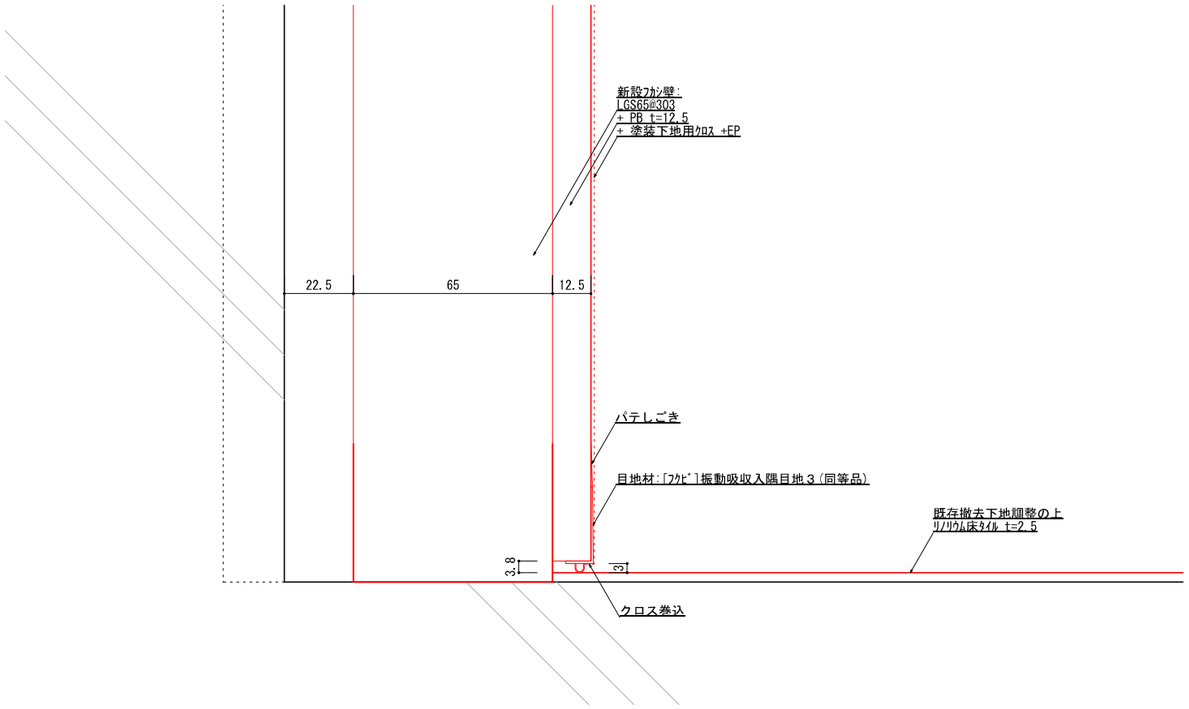
展示室1・4　壁・天井　取合い詳細図　S=1/2



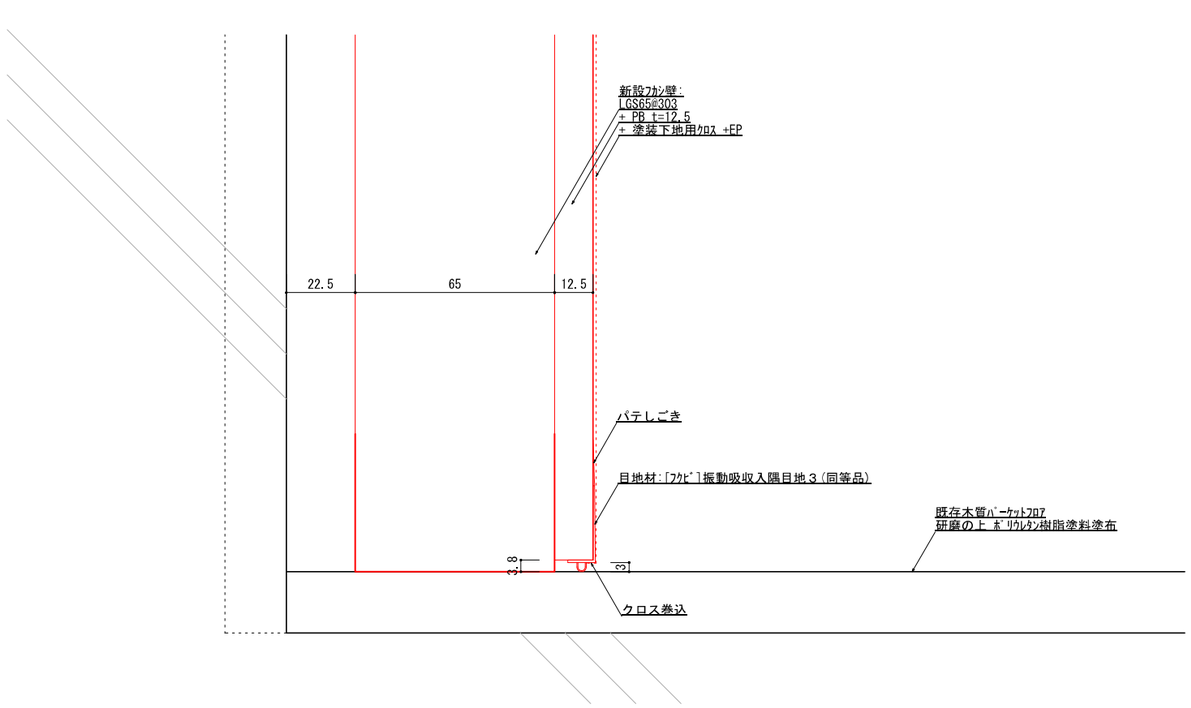
展示室8　壁・天井　取合い詳細図　S=1/2



展示室1・4　床・壁　取合い詳細図　S=1/2



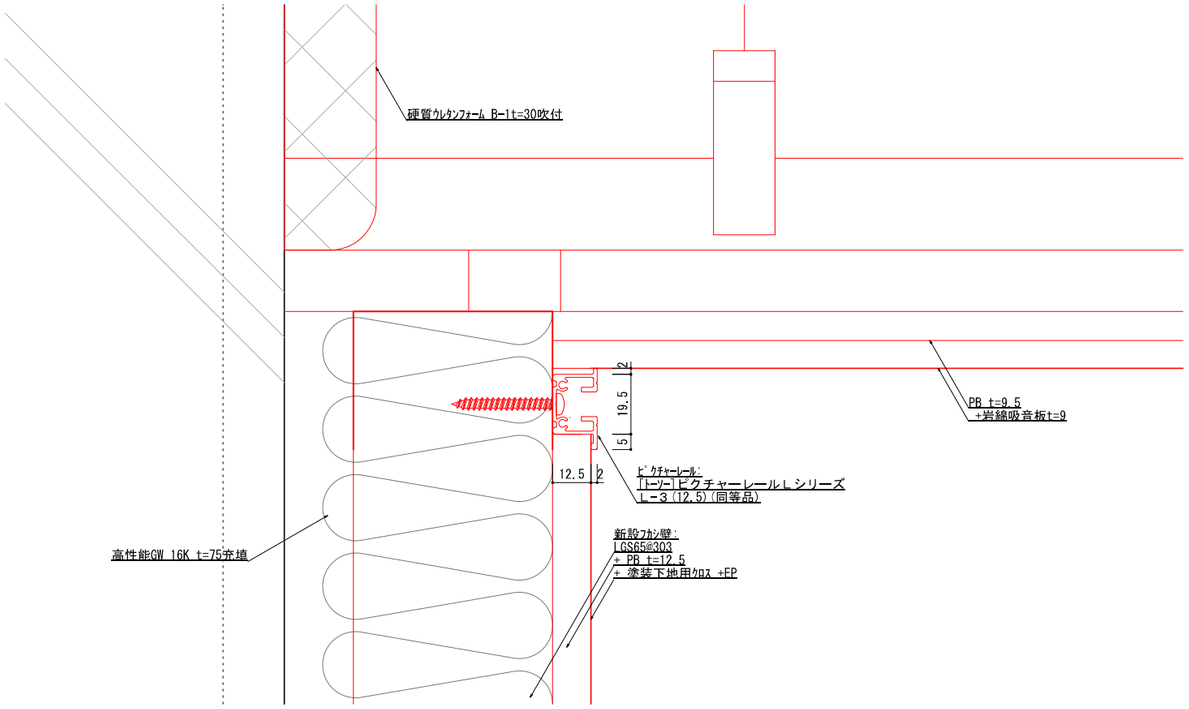
展示室5　床・壁　取合い詳細図　S=1/2



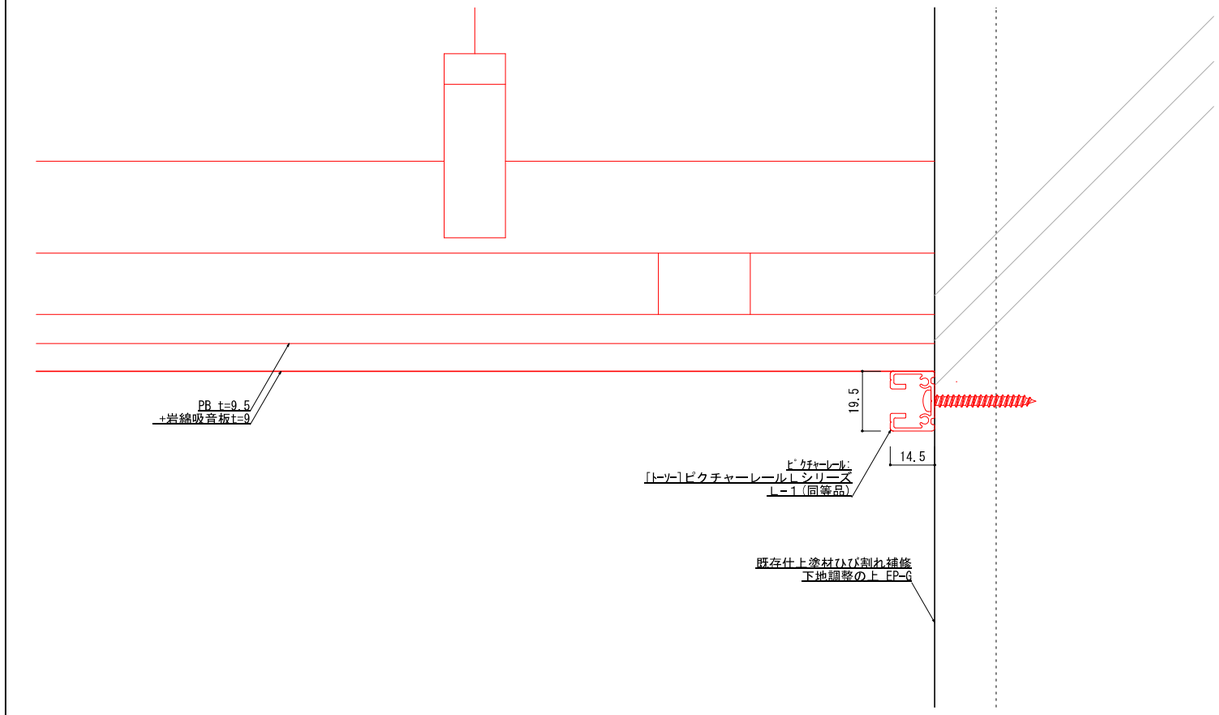
特　記	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-67
部分詳細図(2)	SCALE A3:1/2 A1:1/1
DATE 2024/03/15	SIGN

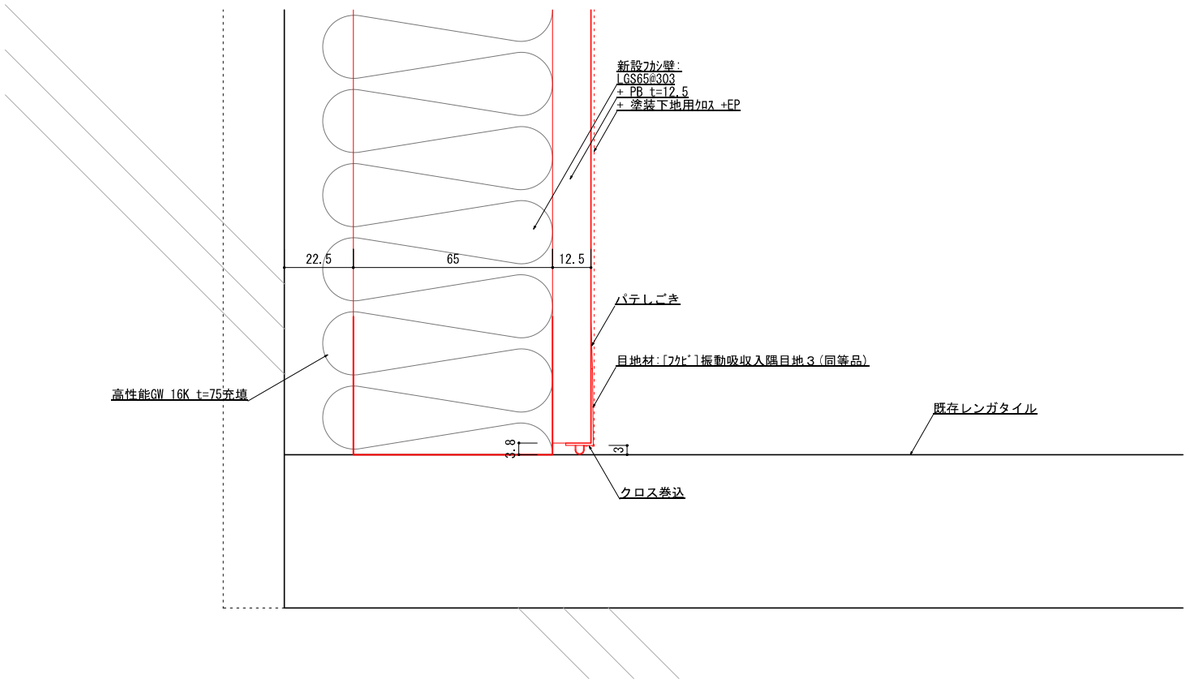
廊下(新設ﾌｶｼ壁) 壁・天井 取合い詳細図 S=1/2



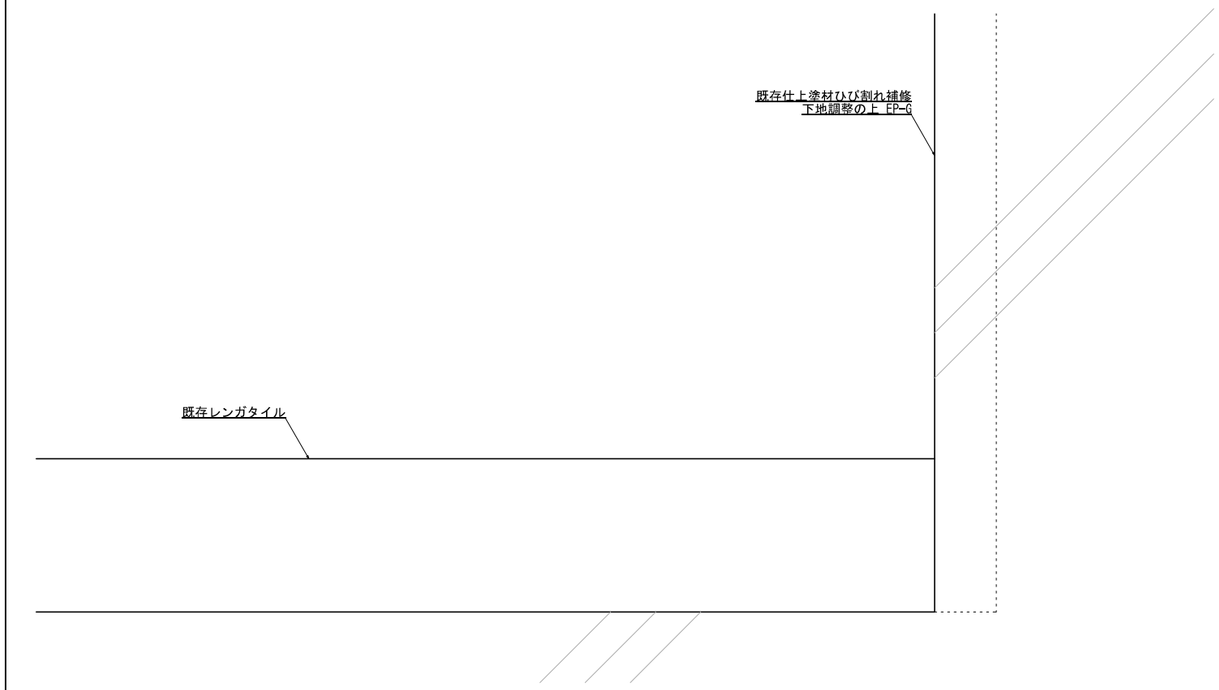
展示室10・ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝﾙｰﾑ(既存壁) 壁・天井 取合い詳細図 S=1/2



廊下(新設ﾌｶｼ壁) 床・壁 取合い詳細図 S=1/2



展示室10・ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝﾙｰﾑ(既存壁) 床・壁 取合い詳細図 S=1/2



特記	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

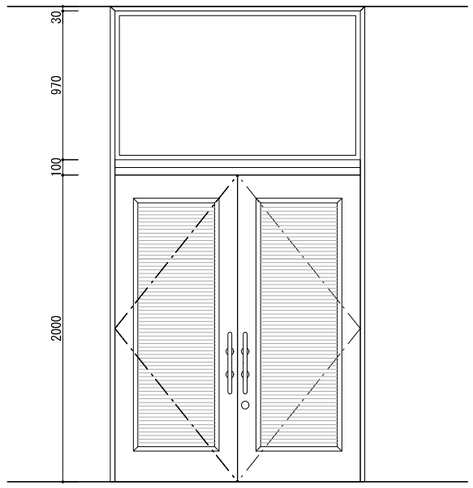
部分詳細図(3)

NO. A-68

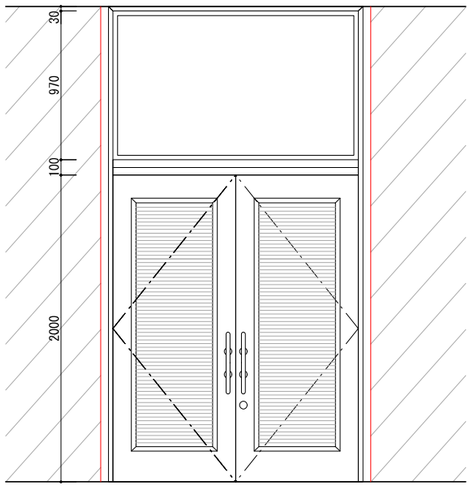
SCALE A3:1/2 A1:1/1

DATE 2024/03/15

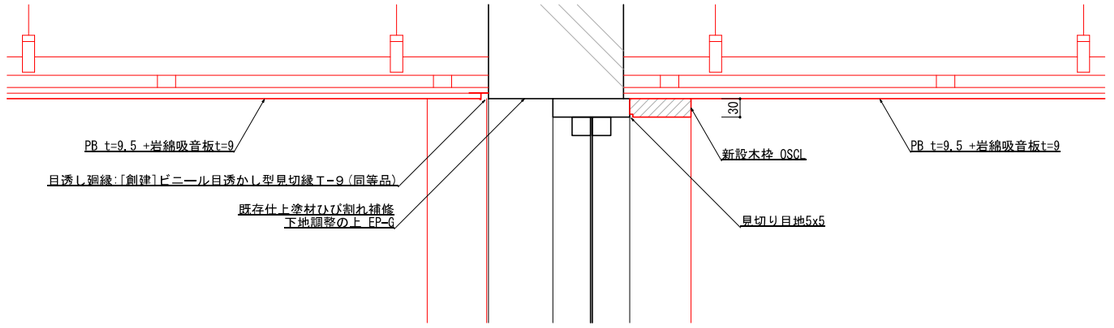
SIGN

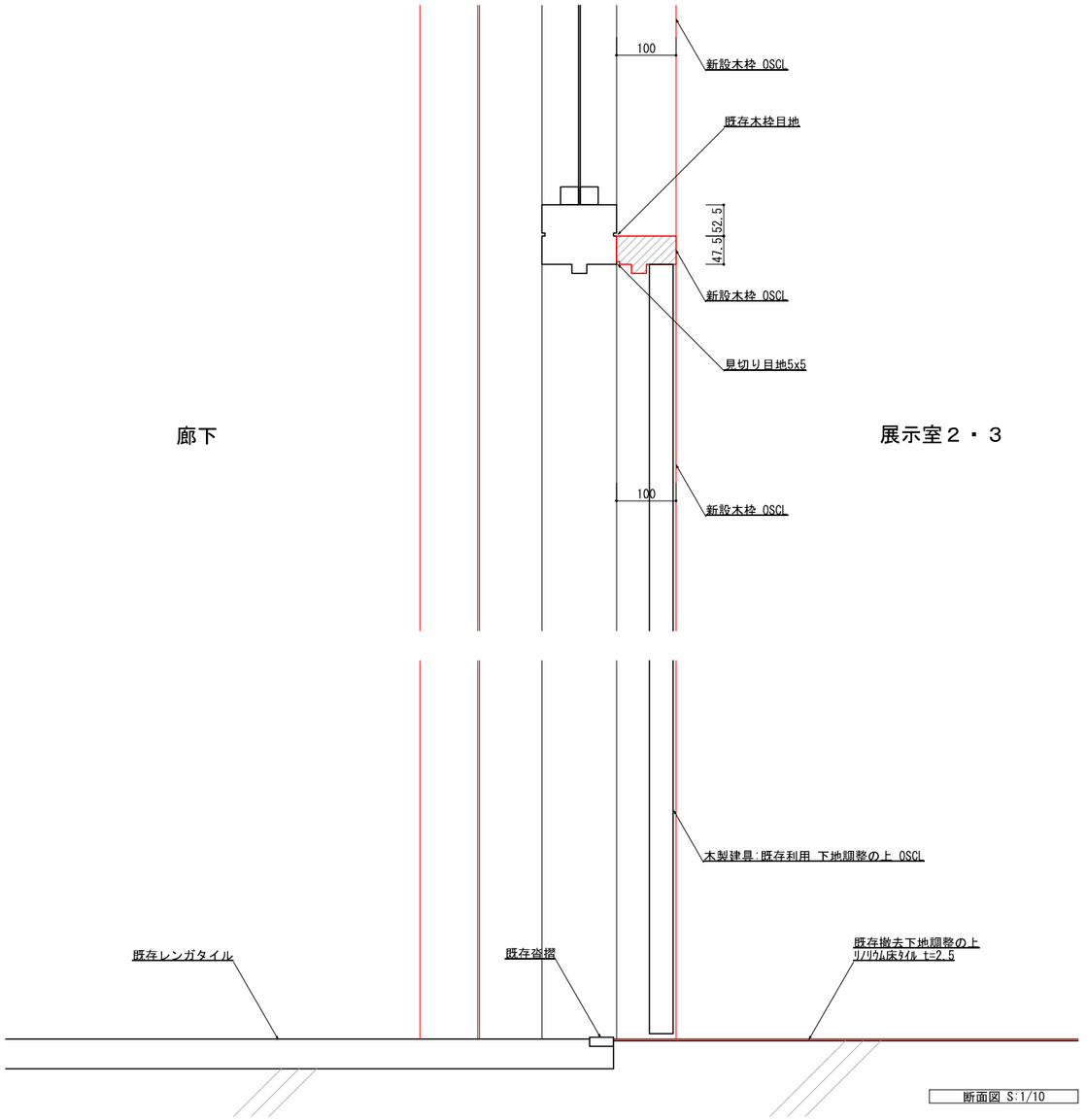


展開図(改修前) S:1/40

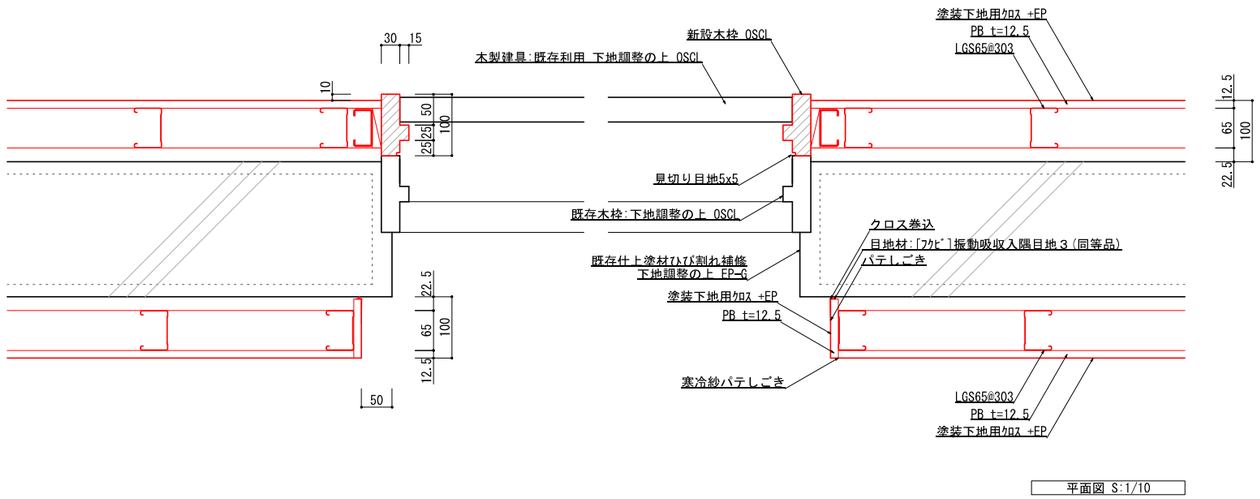


展開図(改修後) S:1/40





断面図 S:1/10

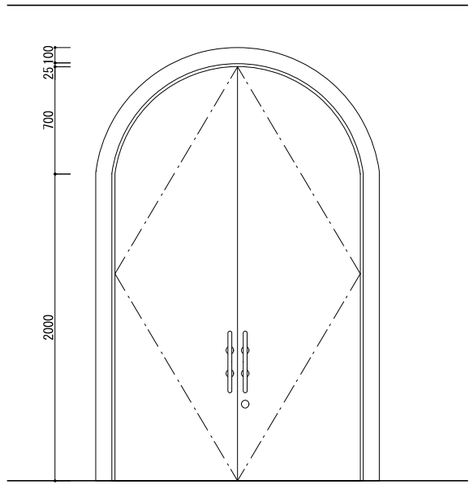


平面図 S:1/10

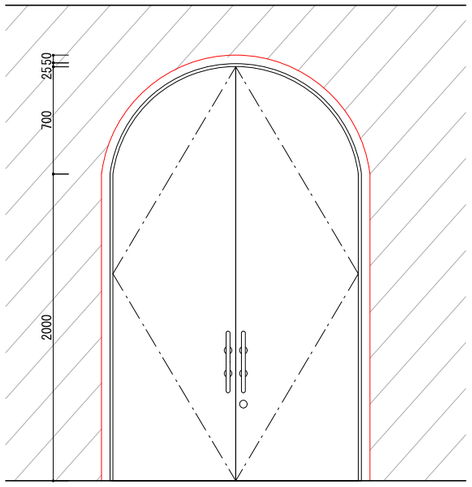
特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			部分詳細図(4)
			DATE 2024/03/15

NO. A-69
SCALE A3:1/10,40 A1:1/5,20
SIGN

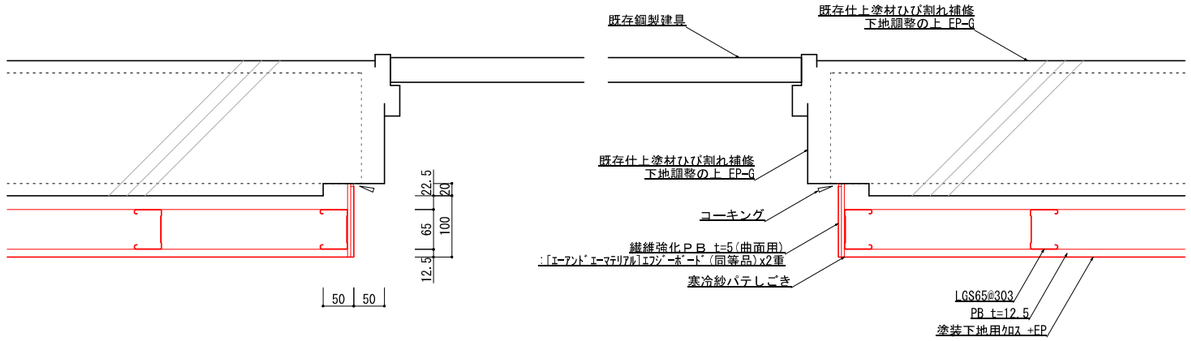
新設ﾌｶｼ壁　取合い詳細図(アーチ部分)　S=1/40,1/10



展開図(改修前) S:1/40

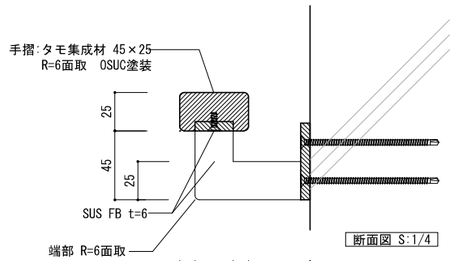


展開図(改修後) S:1/40

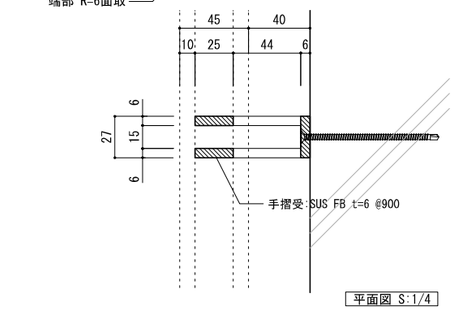


平面図 S:1/10

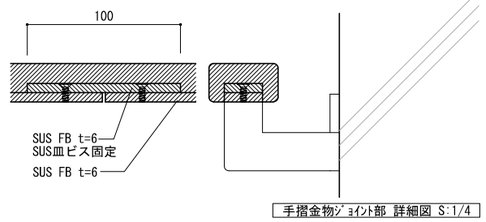
西階段　新設手摺　詳細図　S=1/4



断面図 S:1/4

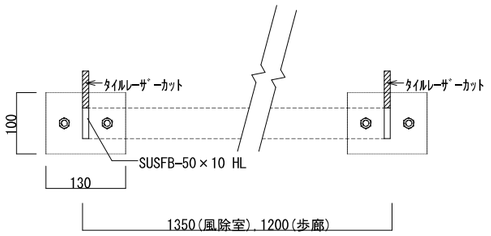


平面図 S:1/4

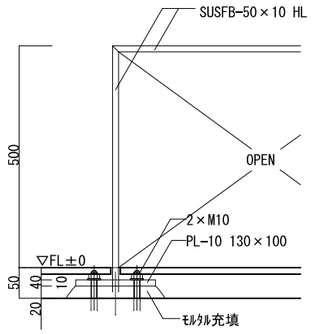


手摺金物ｼﾞｮｲﾝﾄ部 詳細図 S:1/4

風除室･歩廊　自動ﾄｱ 防護柵　詳細図　S=1/10

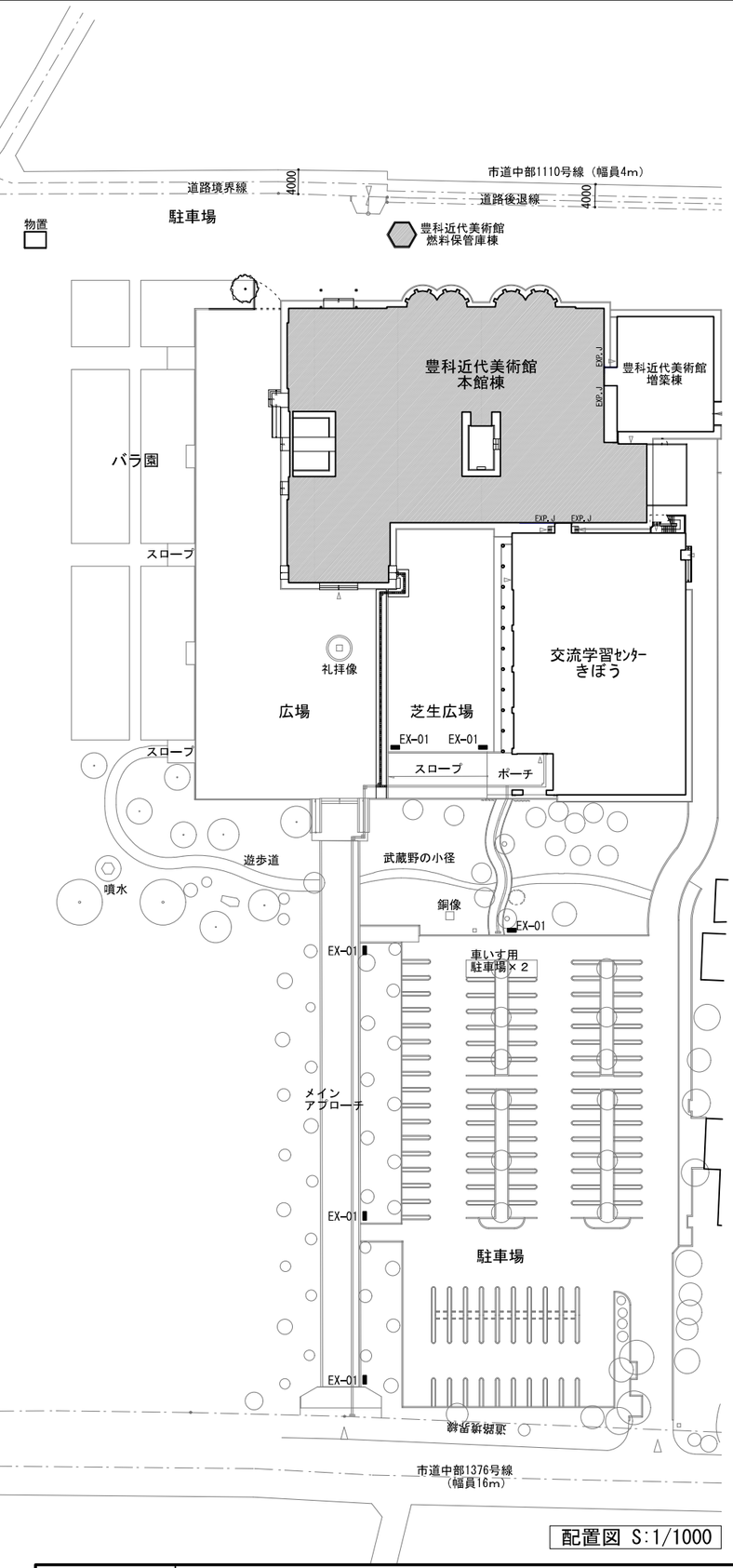


平面図 S:1/10

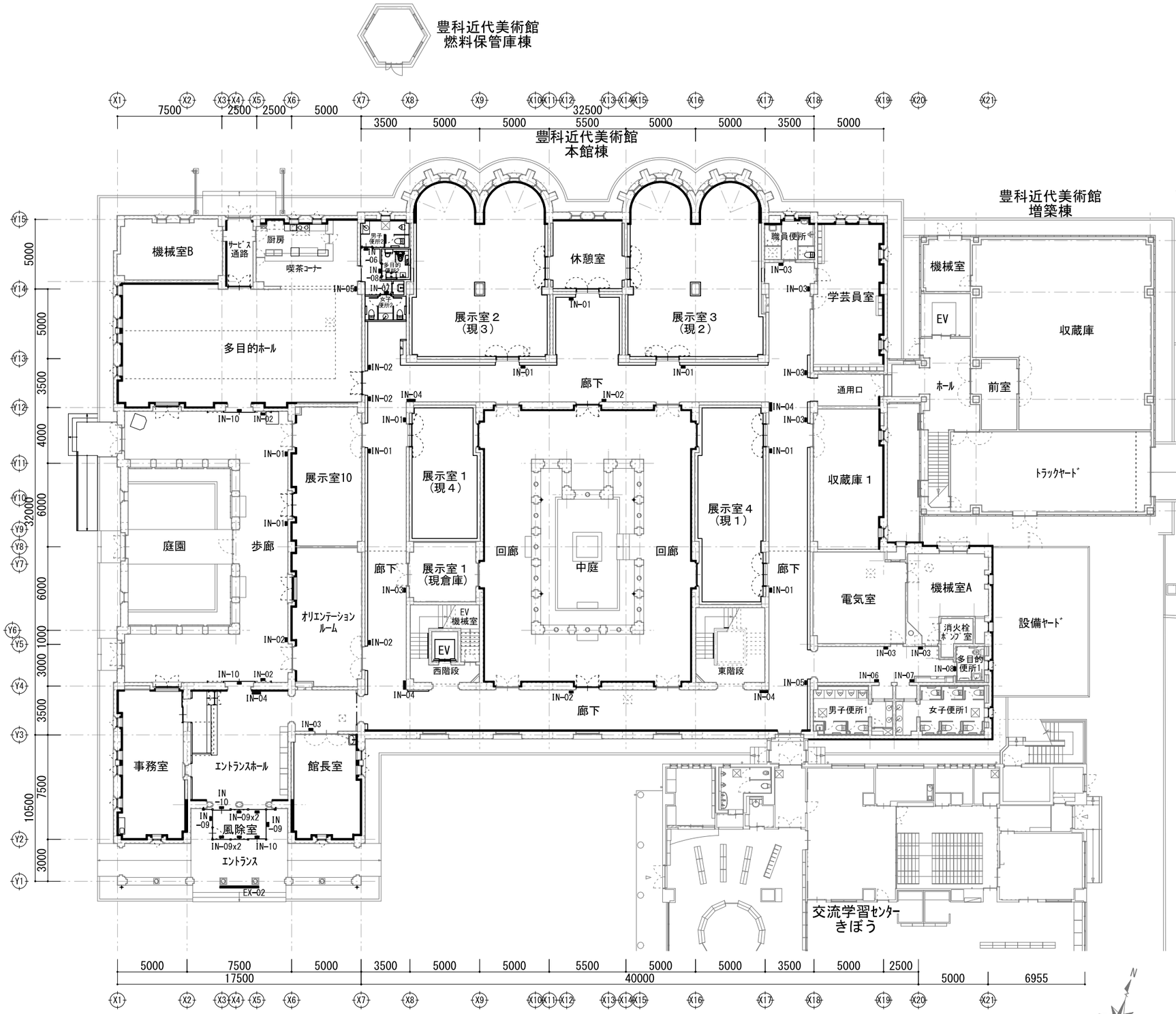


断面図 S:1/10

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-70
			部分詳細図(5)	SCALE A3:1/4, 10.40 A1:1/2.5.20
			DATE 2024/03/15	SIGN



配置図 S:1/1000



平面図 S:1/300

特記	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-71
サインキープラン 配置図・１階平面図	SCALE A3:1/1000, 300 A1:1/500, 150
DATE 2024/03/15	SIGN

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

豊科近代美術館
収蔵庫棟

北ﾃﾗｽ
ファンルーム
展示室６
休憩室
展示室７
空調
機械室
廊下
展示室５
展示室８
ﾃﾗｽ
中庭
上部
庭園
上部
西ﾃﾗｽ
西階段
東階段
EV
収蔵庫2
女子便所
前室
男子便所
機械室
倉庫
EVﾎｰﾙ
展示室９
ｶﾞﾗｽｹｰｽ
渡り廊下
湯沸室
交流学習ｾﾝﾀｰ
きぼう

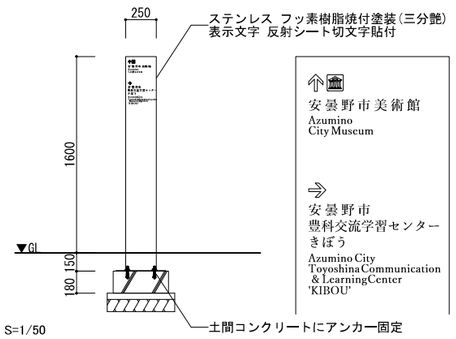
IN-01
IN-02
IN-03
IN-04
IN-05
IN-06
IN-07

17500 3500 5000 5000 5500 5000 5000 3500 5000
32500
40000 7500 5000
10500 3000 7500 3500 4000 6000 1000 3000 3500 6000 5000

特　記	

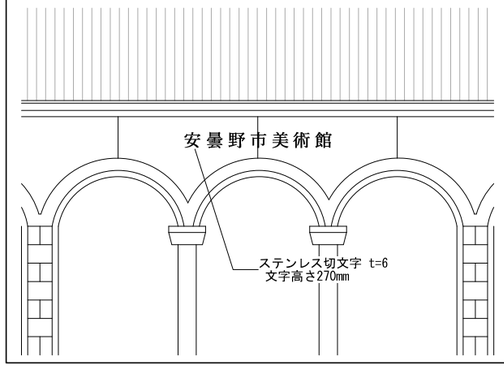
令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事		NO. A-72
サインキープラン ２階平面図		SCALE A3:1/300 A1:1/150
	DATE 2024/03/15	SIGN

EX-02 館名表示 6ヶ所



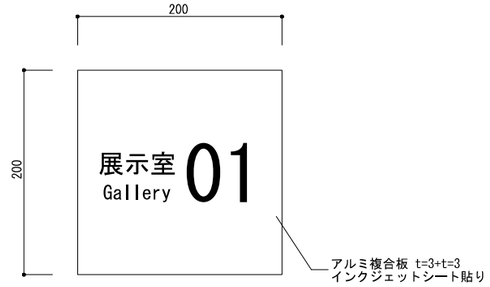
S=1/50 S=1/10

EX-02 館名表示 1ヶ所



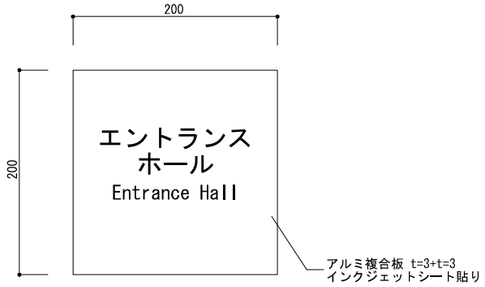
S=1/100

IN-01 展示室 室名表示 16ヶ所



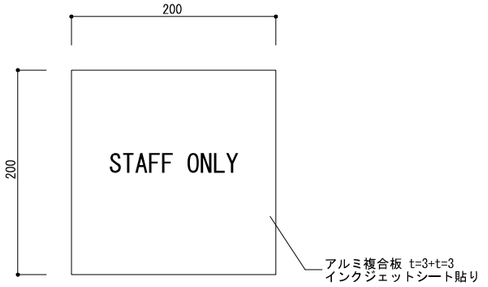
S=1/6

IN-02 各室 室名表示 11ヶ所



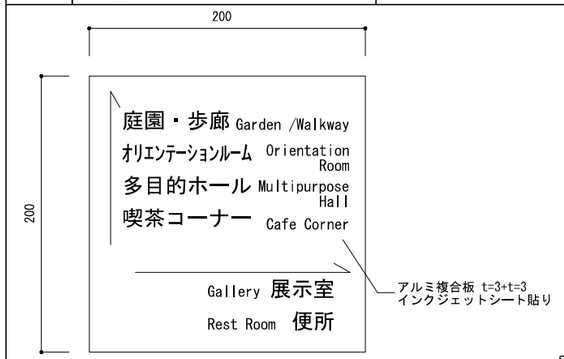
S=1/6

IN-03 各室 室名表示 12ヶ所



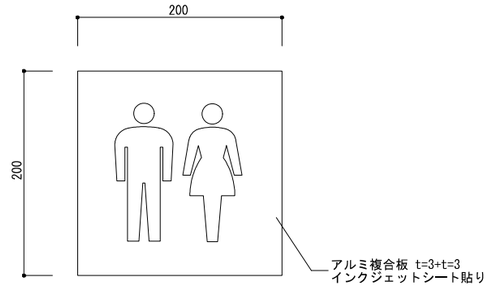
S=1/6

IN-03 誘導表示 9ヶ所



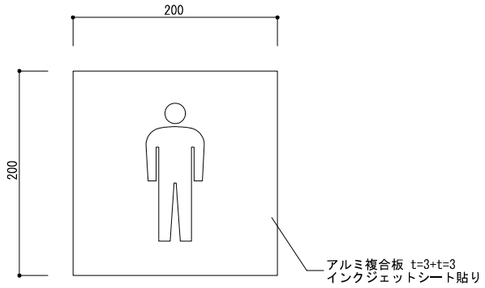
S=1/10

IN-05 便所ピクト表示 3ヶ所



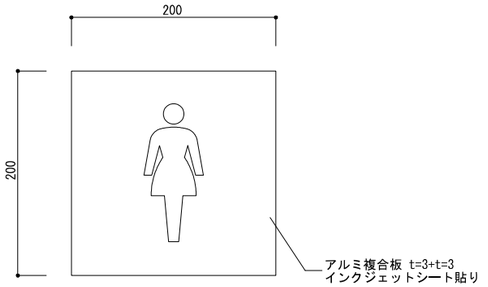
S=1/6

IN-06 便所ピクト表示 3ヶ所



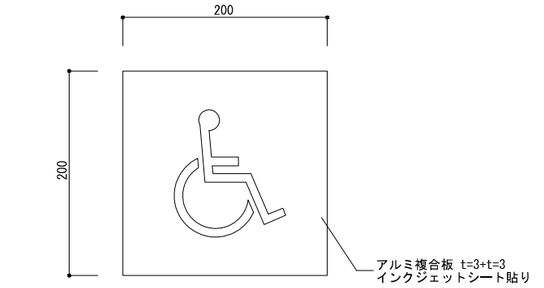
S=1/6

IN-07 便所ピクト表示 3ヶ所



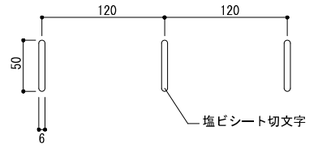
S=1/6

IN-08 便所ピクト表示 2ヶ所



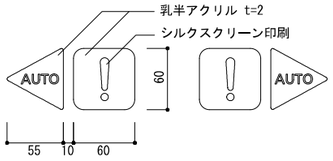
S=1/6

IN-09 衝突防止マーク 6ヶ所



S=1/6

IN-10 自動扉表示 4ヶ所



S=1/6

特記	※安曇野市公共サインガイドライン に準拠すること。 ※各サインの実際のデザインは,現場定例会議での協議によるものとする

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

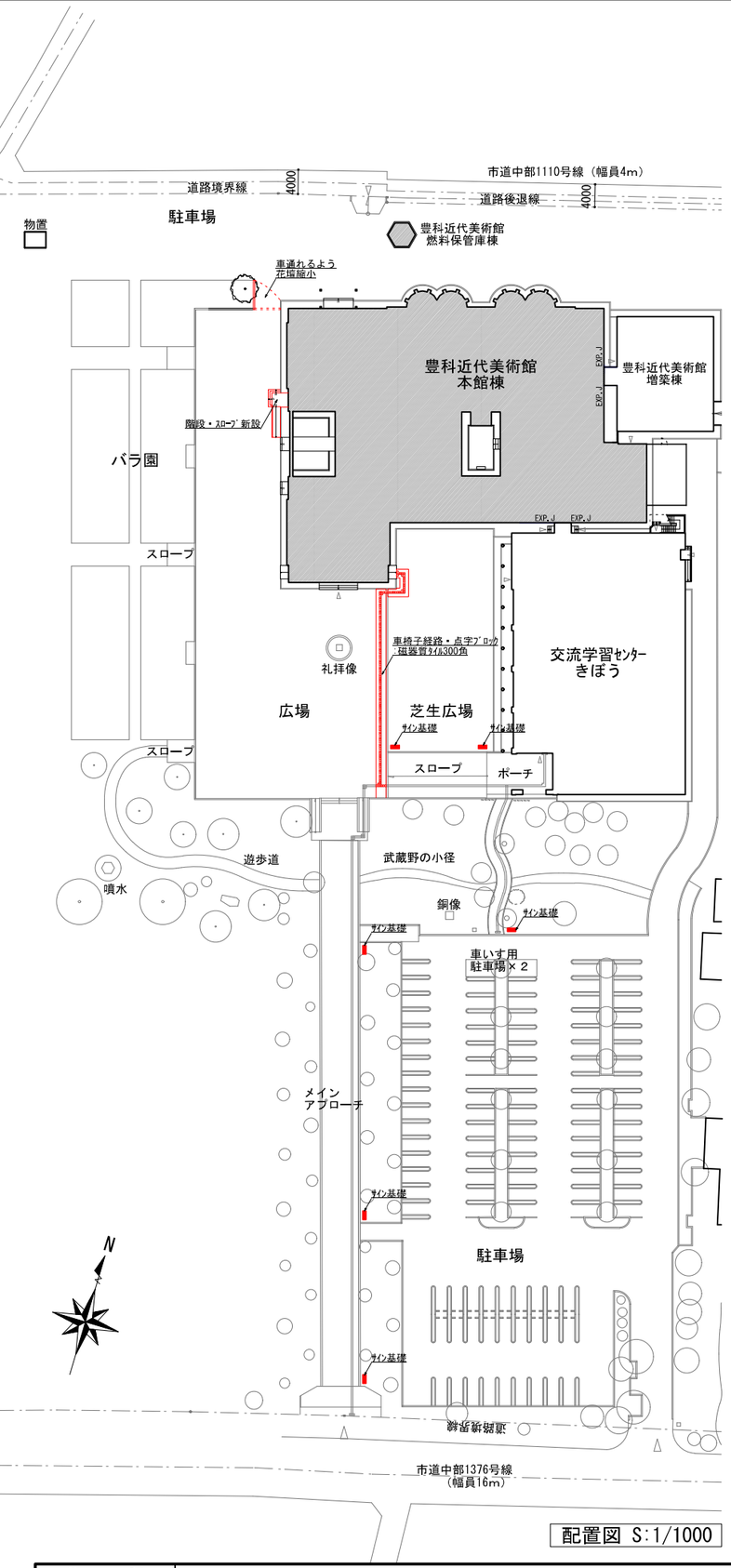
サイン詳細図

NO. A-73

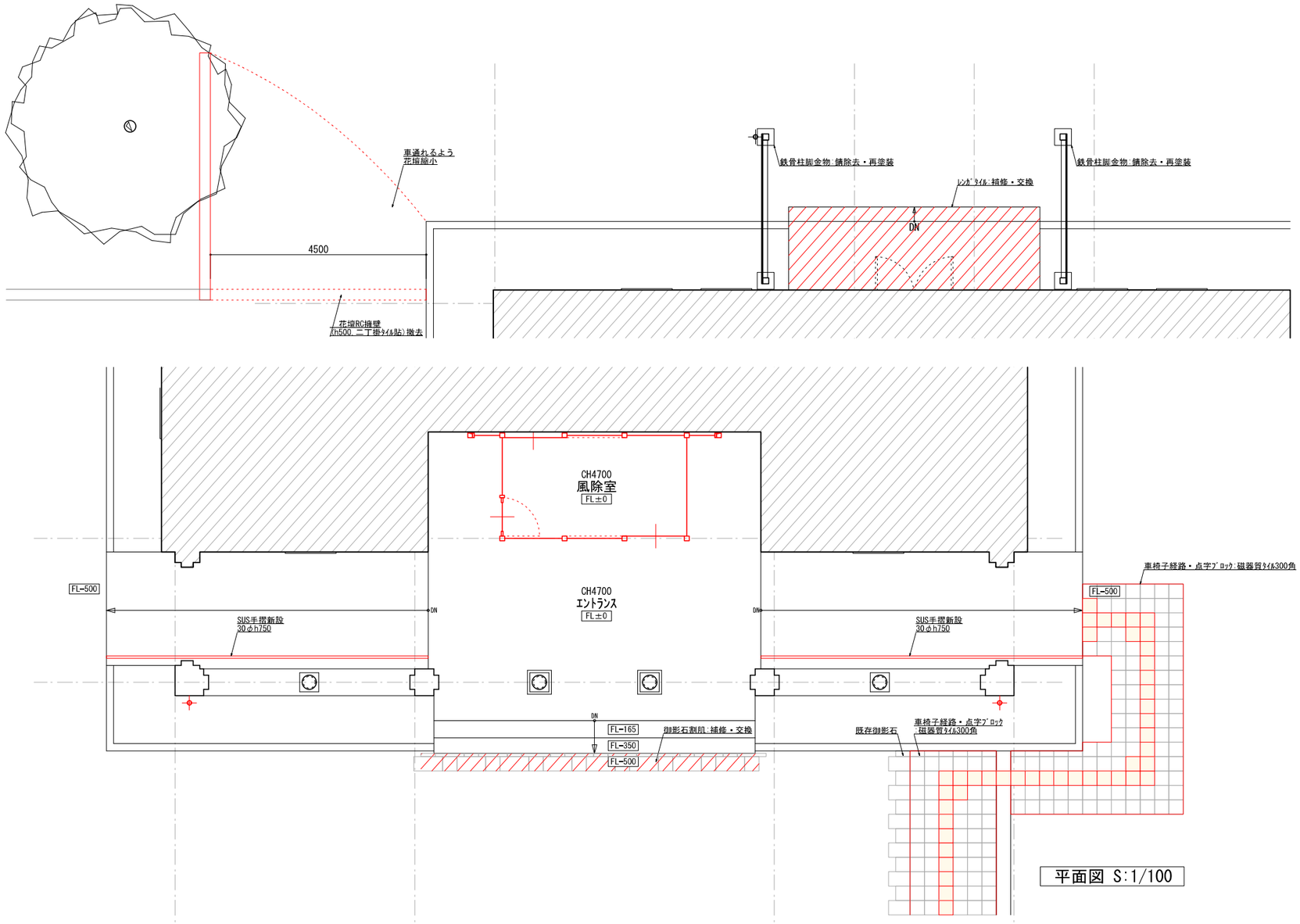
SCALE A3:1/6, 10, 50, 100
A1:1/3, 5, 25, 50

DATE 2024/03/15

SIGN

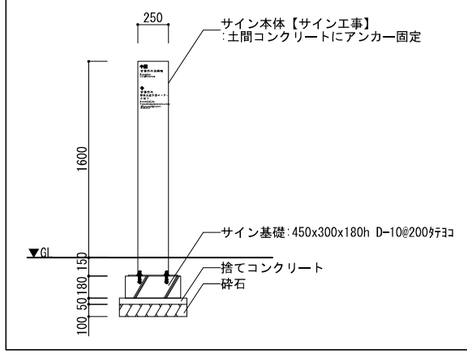


配置図 S:1/1000

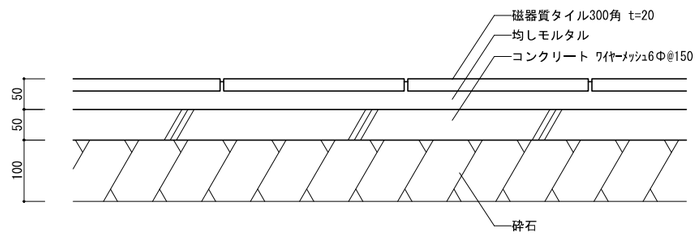


平面図 S:1/100

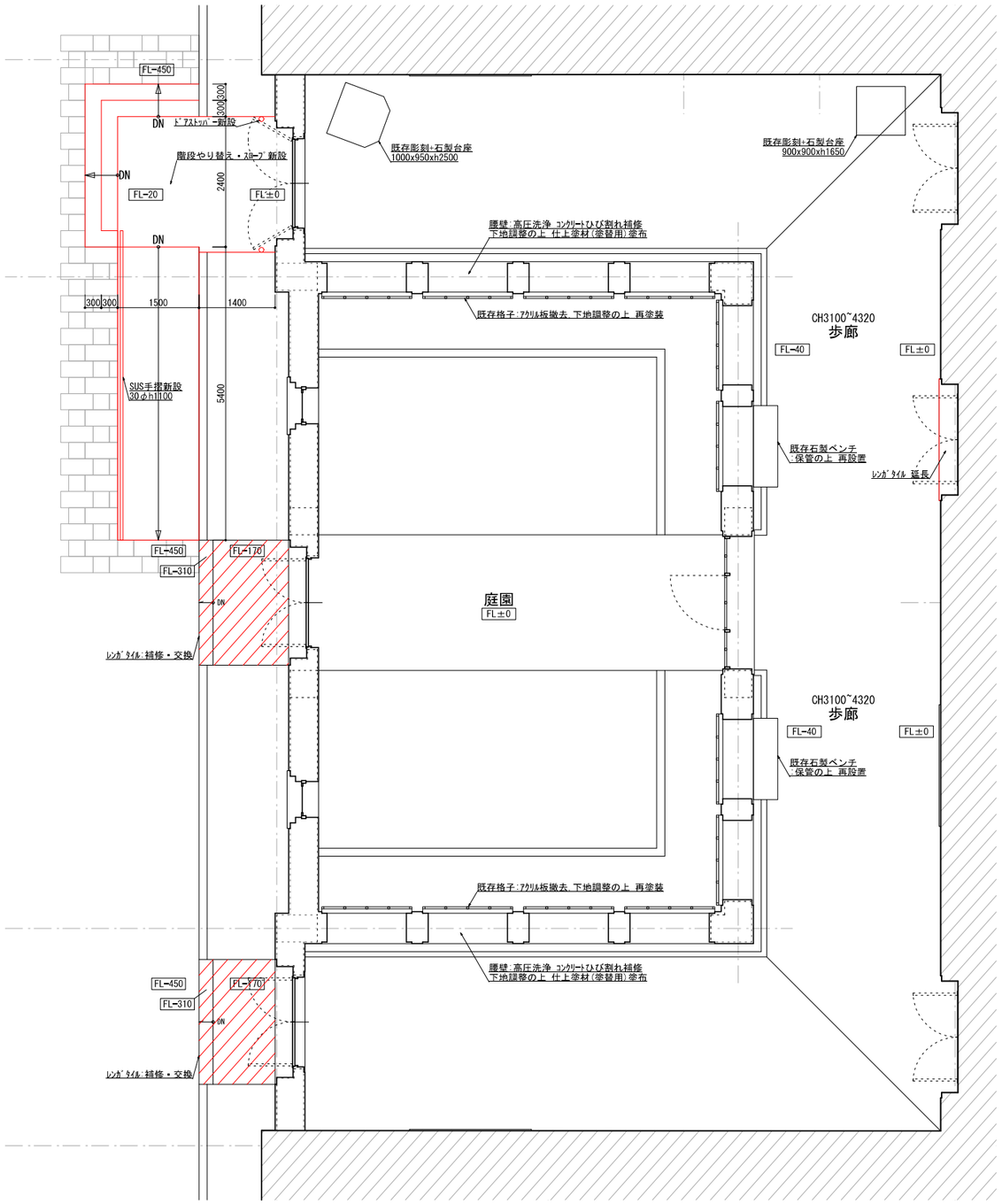
サイン基礎 詳細図 S=1/50



車椅子経路タイル 詳細図 S=1/10

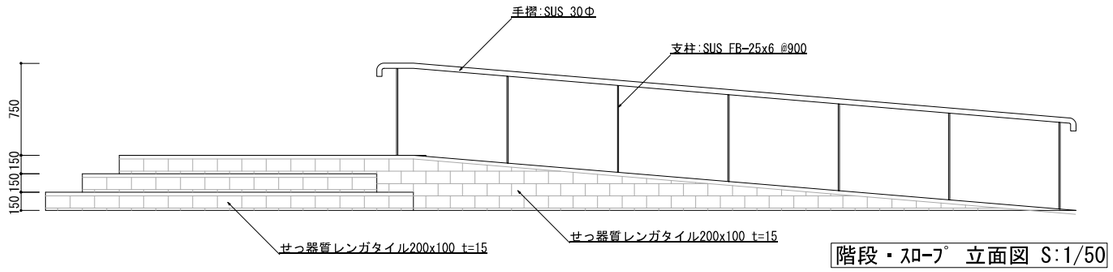


特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-74
			外構図(1)	SCALE A3:1/1000,100,50,10 A1:1/500,50,25,5
			DATE 2024/03/15	SIGN

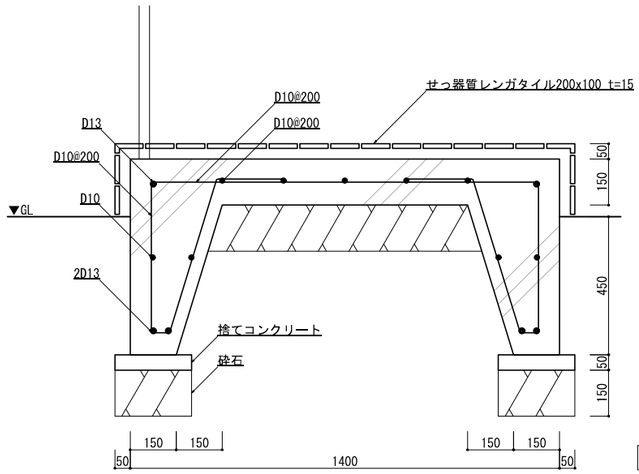


平面図 S:1/100

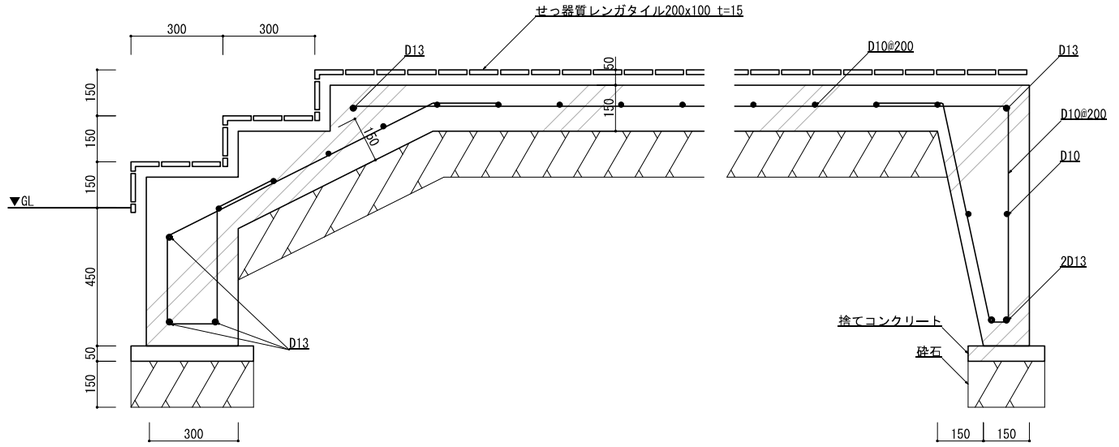
※エントランス手摺も仕様は同じとする



階段・ｽﾛｰﾌﾟ 立面図 S:1/50



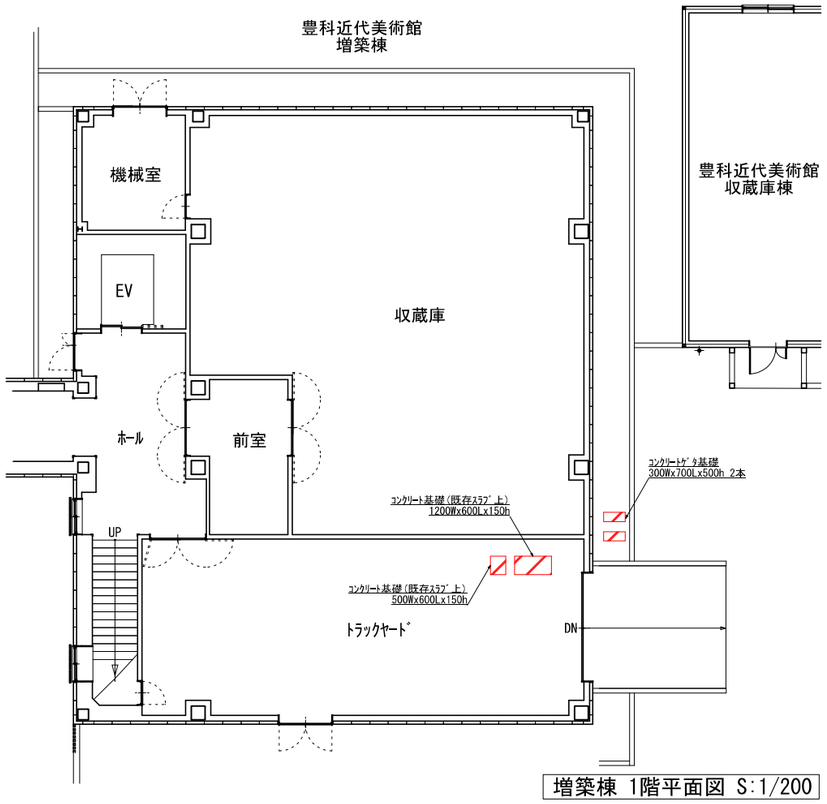
ｽﾛｰﾌﾟ 詳細図 S:1/20



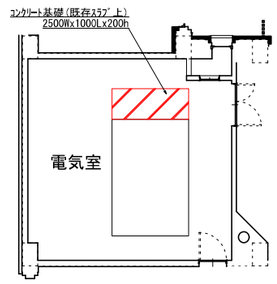
階段 詳細図 S:1/20

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			外構図(2)
			DATE 2024/03/15

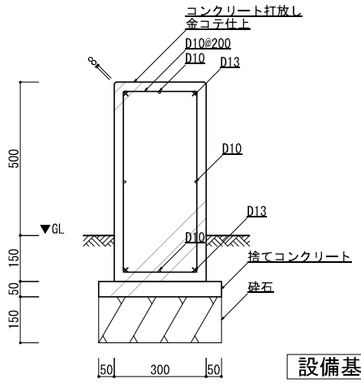
NO. A-75
SCALE A3:1/100, 50, 20
A1:1/50, 25, 10
SIGN

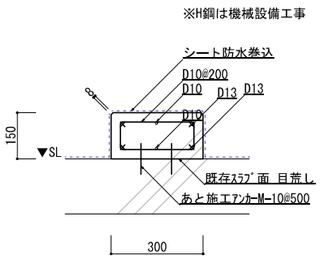


増築棟 1階平面図 S:1/200

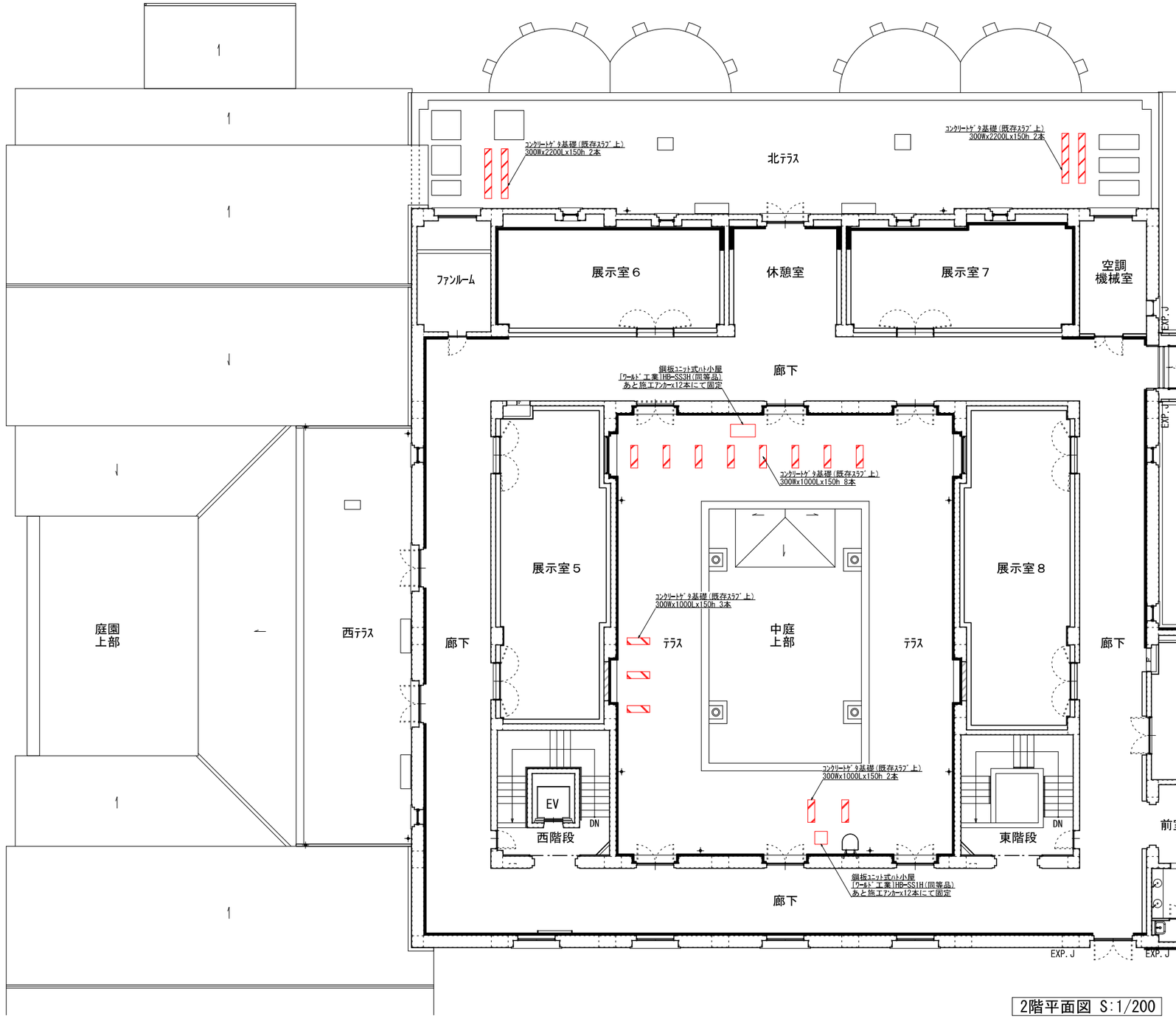


本管棟 1階平面図 S:1/200





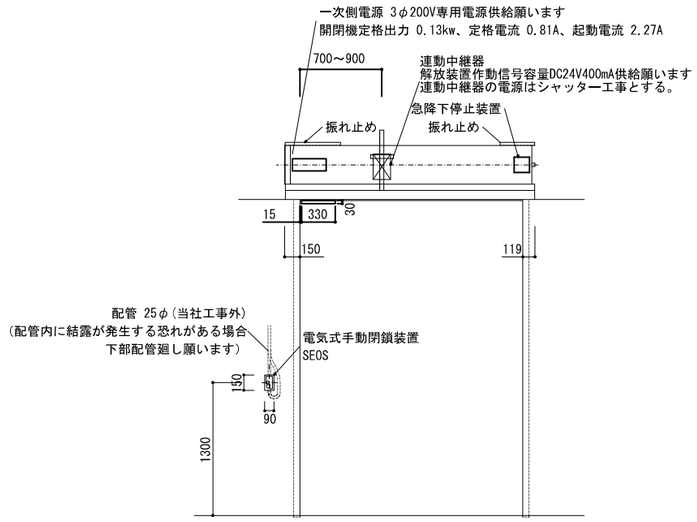
設備基礎詳細図 S:1/20



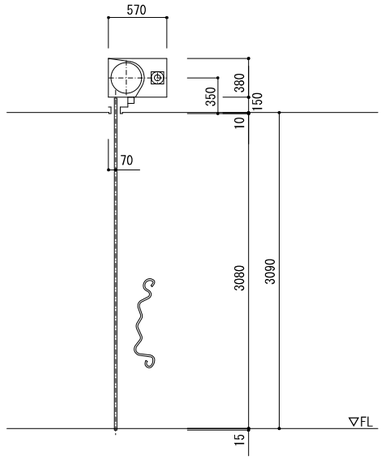
2階平面図 S:1/200

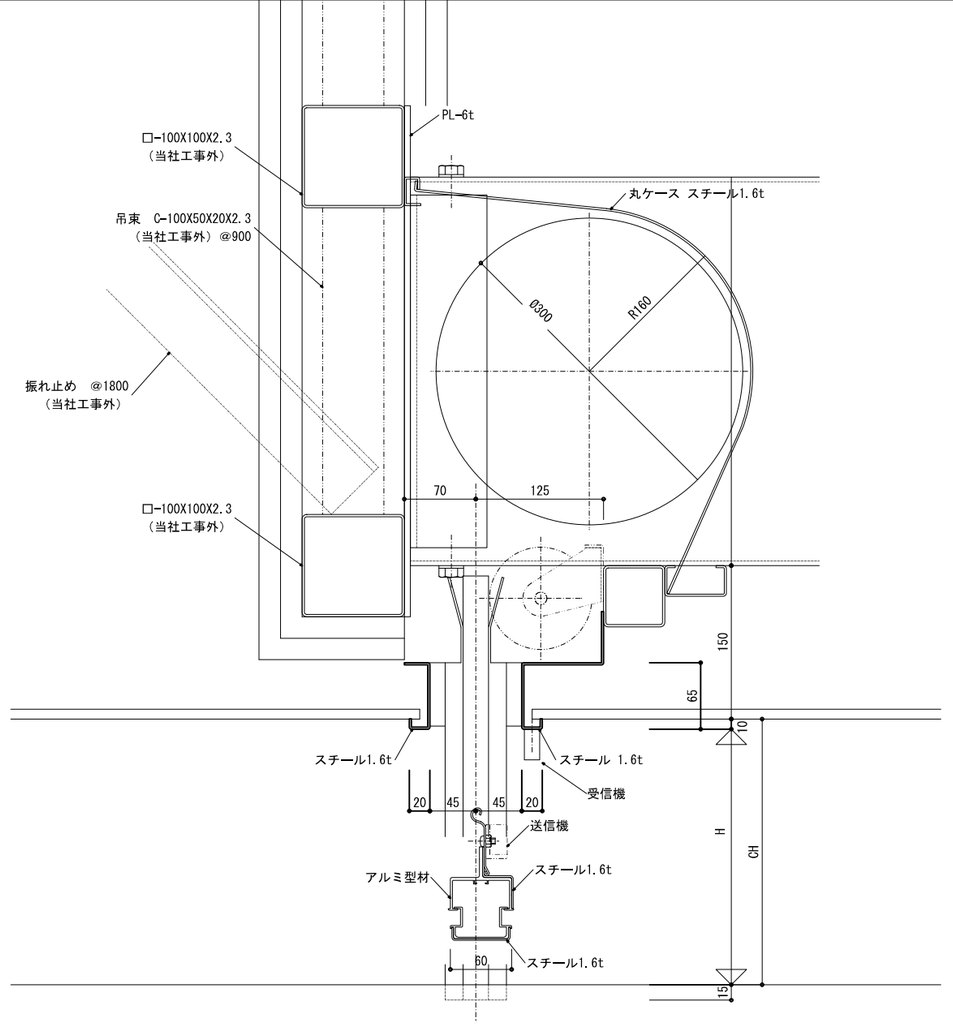
特　記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			外構図（3）
			DATE 2024/03/15

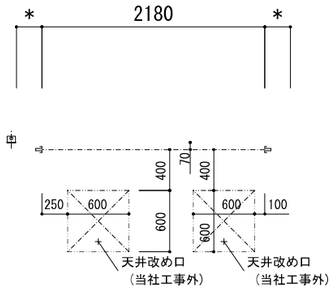
NO. A-76
SCALE A3：1/100, 20
A1：1/50, 10
SIGN

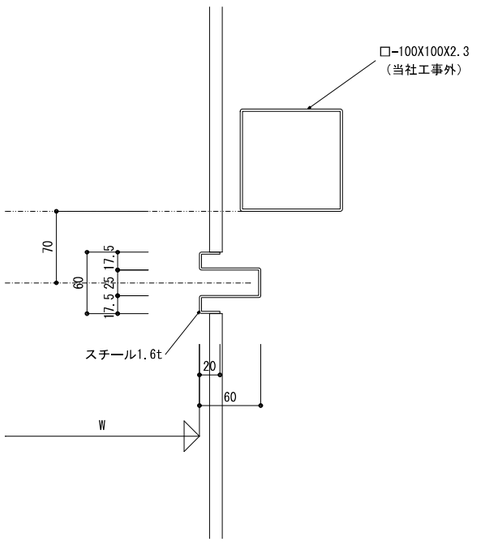


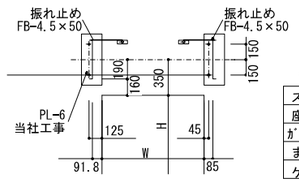
概算総重量 290 kg







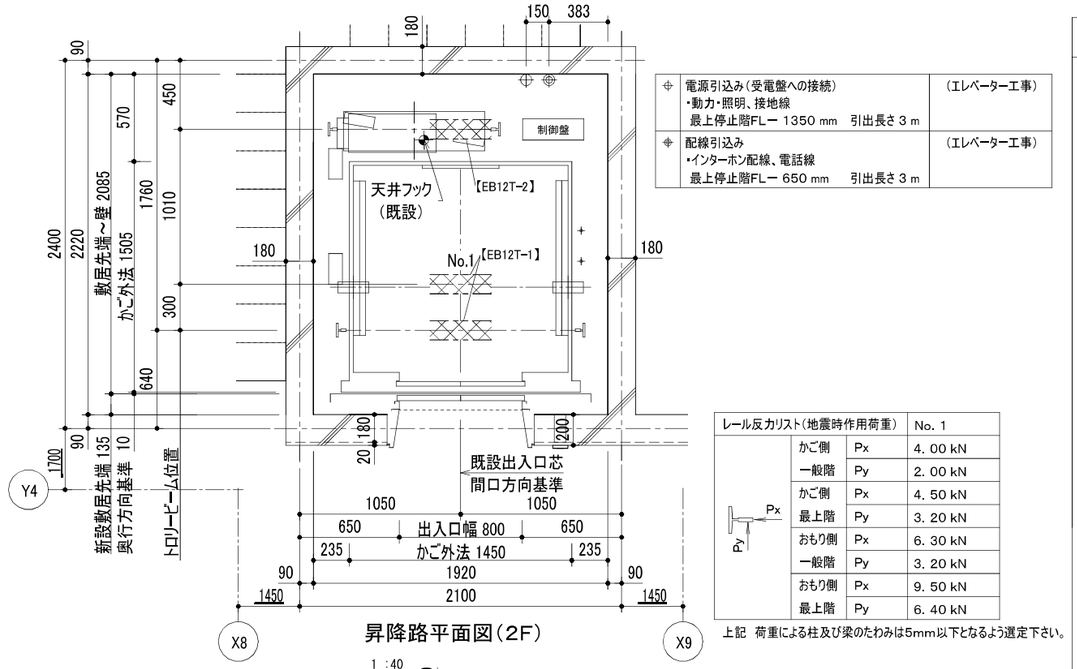




電動式防火シャッター（無線式避難時停止装置付）

スラット	B-1	スチール1.6t	開閉機		SG13	定格出力	3φ200V 0.13kw 50Hz	設計範囲	A
座 板		スチール	巻取ｼｬﾌﾄ		4"-35G	押ボタン		備 考	
ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ		スチール	軸受	駆	No.0	手動閉鎖装置	SEOSⅡ-ACT	急降下停止装置付 (35)	
まぐさ		スチール		従	No.0	解放装置	ER-NⅢ		
ケース		スチール	手動時操作		ハンドル式		DC24V 400mA	塗装仕様 :C01	

特 記		令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-77
		防火シャッター詳細図	SCALE A3:1/6, 60 A1:1/3, 30
		DATE 2024/02/22	SIGN



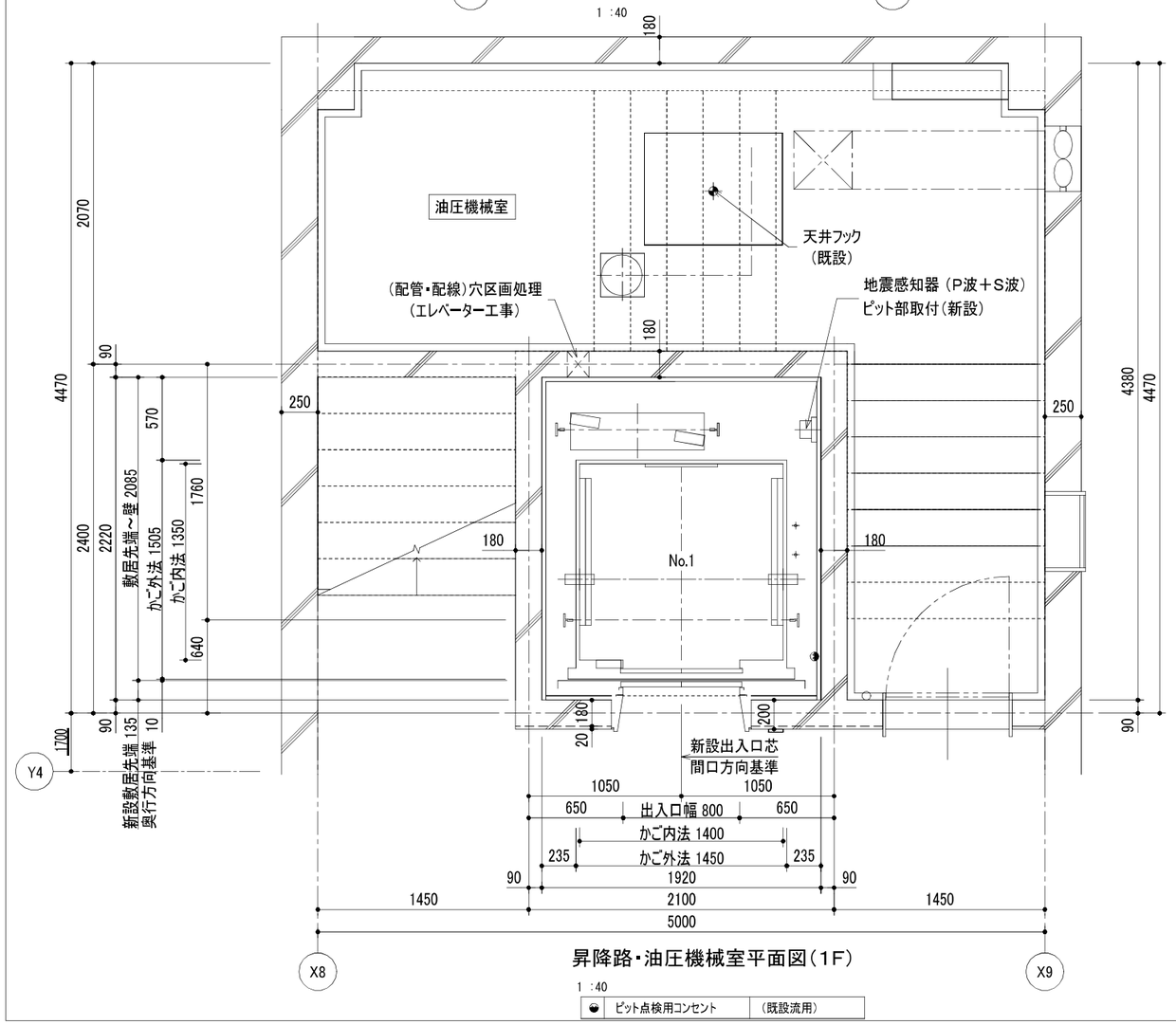
昇降路平面図（2F）

⌖	電源引込み（受電盤への接続） ・動力・照明、接地線 最上停止階FL＝ 1350 ㎜　引出長さ 3 m	（エレベーター工事）
⌖	配線引込み ・インターホン配線、電話線 最上停止階FL＝ 650 ㎜　引出長さ 3 m	（エレベーター工事）

レール反力リスト（地震時作用荷重）			No. 1
Py / Px	かご側	Px	4. 00 kN
	一般階	Py	2. 00 kN
	かご側	Px	4. 50 kN
	最上階	Py	3. 20 kN
	おもり側	Px	6. 30 kN
	一般階	Py	3. 20 kN
	おもり側	Px	9. 50 kN
	最上階	Py	6. 40 kN

上記　荷重による柱及び梁のたわみは5mm以下となるよう選定下さい。

1 :40



昇降路・油圧機械室平面図（1F）

1 :40

◒	ピット点検用コンセント	（既設流用）

エレベーター仕様

概略仕様	号機名（台数）		No. 1　（1台）
	用途（形式）		乗用　（ SP11－CO45 ） 車いす仕様
	積載量（定員）		750 kg　（ 11 人）
	速度		45 m／min
	制御方式		交流インバータ制御方式（回生無）
	操作方式		乗合全自動方式
	停止ヶ所・出入口方向		（ 1,2F ）　　2ヶ所　　1方向
	かご内法（WxDxH）		1400 mm X 1350 mmX 2250 mm
	出入口寸法（WxH）		800 mm　X 2100 mm
	ドア方式		2枚戸中央開き（電動式）
	電動機出力		AC－ 3. 5 kW　（ ギヤレス ）
	電源	動力	三相3線　200 V 60 Hz
		照明	単相　　100 V 60 Hz
	管制運転	地震時	有（P波＋S波感知器（3段検知）リスタート機能付）
		火災時	有　全自動形
		自家発時	無
		浸水時／冠水時	有　全自動形（ピット冠水時（指定階））
	停電時自動着床装置		有
	耐震クラス		A14
	かご内連絡装置		6V同時通話インターホン
	基本仕様 及び 標準装備仕様		ローラーガイド（かご、おもり） 照明・換気装置自動休止機能 2D多光軸（マルチビーム）ドアセフティ 反転時呼び一括キャンセル機能 戸開放時間自動設定 行先階取消し機能 気配りアナウンス機能（非常時4ヶ国語対応） イオン発生装置 故障時最寄階自動着床運転 しきい間すきまレス 広角ミラー付操作盤
乗場仕様	三方枠（既設），付枠（新設）		全階　遮煙用付枠　ステンレス製ヘアライン，上乗接合
	ドア（撤去・交換）		全階　鋼板製鋼板塗装・5分づや
	敷居（撤去・交換）		全階　ステンレス製　（板曲げ）
	乗場ボタン	ボタン	全階　抗菌凸矢印ボタン（SIAA認証）
	インジケータ	インジケータ	全階　デジタル階床表示式
	ボタン	フェースプレート	全階　板曲げ　ステンレス製ヘアライン仕上　（一部樹脂製）
かご仕様	天井照明		デラックスLED天井
	換気装置		ファン・イオン発生器付
	リターンパネル		ステンレス製ヘアライン仕上
	出入口柱		ステンレス製ヘアライン仕上
	ドア		化粧鋼板
	幕板		化粧鋼板
	側板		化粧鋼板
	幅木		ステンレス製ヘアライン仕上　　ステンレス製荷ずり H300
	床		ビニタイル （t2）
	敷居		ステンレス製
	操作盤	ボタン	抗菌凸文字ボタン（SIAA認証）
		インジケータ	ドットデジタル
		フェースプレート	標準（広角ミラー付） ステンレス製ヘアライン仕上

特記事項

- デラックス照明（DLX－ L）LED（昼光色）
- ドアセフティ（片側）付
- BGMスピーカー付
- 音声案内装置（方向・戸閉・階床・管制運転案内），アナウンスON－OFFスイッチ付
- 車いす仕様
  - かご内鏡：合わせガラス
  - かご手摺：ステンレス製（ユニバーサルデザイン手摺　2方向）
  - 専用乗場ボタン：ステンレス製
  - （主・副）専用操作盤：ステンレス製
  - 戸開放時間（10秒）
  - 点字銘板（ステンレス製貼付）
- 点字銘板（ステンレス製貼付）付
- 高調波対策：ラジオノイズフィルター＋絶縁トランス＋ACL（インピーダンス3%）付
- ホームランディング階：1，切替スイッチ付
- ランニングクリアランス：10mm（しきい隙間レス）
- 乗場敷居（SUS靴刷＋SUS敷居設置）（既設撤去）

（ R057125 ）　V.21.02（ FC ）

積込み荷重制限	荷重条件	250kg （4輪台車を使用するものとし、台車の重量を含む）
		重量物の積込みは、一回当り荷重条件以下で積込み下さい。 ※フォークリフトの使用はできません。
モダニJB（元／セ VG00250）		
既設品	乗場（撤去・交換）	三方枠，扉，敷居

鉄骨部材記号表 （エレベーター工事）

部材記号	部材用途	部材サイズ
EB12T-1	トロリービーム（荷重　19. 6kN）	H-125x125x6.5x9
EB12T-2	トロリービーム（荷重　9. 8kN）	H-125x125x6.5x9

工　事　区　分　表

号機名	NO. 1		既設	ELV
	項目	工　事　名		
特殊工事項目	1	各階エレベーターホールの防火安全間仕切り工事		○
	2	特殊搬出入工事（クレーン）		○
	3	特殊搬出入工事（機械室～階段～屋上）		○
	4	搬出入口の経路の養生工事		○
	5	ストックヤードの養生工事		○
	6	塔内機器設置用仮設ゴンドラ設置工事		○
	7	ピット点検用タラップの設置工事		○
	8	撤去工事		○
建築関係項目	1	各階既設出入口三方枠部躯体はつり出し工事		○
	2	各階出入口三方枠取付後のモルタル埋工事		○
	3	各階出入口三方枠取付後の壁仕上工事		○
	4	各階出入口敷居はつり出し工事		○
	5	各階出入口敷居取付後のモルタル埋工事		○
	6	各階出入口敷居取付後の床仕上工事		○
	7	各階既設インジケータ・ボタン部壁穴		○
	8	ピット内機器はつり出し及び機器取付後のモルタル埋工事		○
	9	ピット内防水仕上工事		○
	10	配線開口部区画処理		○
	11	昇降路内油圧用品類撤去工事		○
	12	作動油抜き取り処理工事		○
	13	昇降路壁補修工事		○
	14	各発生ガラ袋詰め片づけ		○
	15	産業廃棄物処理		○
電気設備関係項目	1	動力電源用配管配線（油圧機械室→昇降路）	◎	
	2	照明電源用配管配線（油圧機械室→昇降路）	◎	
	3	アース線の配管配線（油圧機械室→昇降路）	◎	
	4	インターホン用配管配線	◎	
	5	昇降路煙感知器接点支給及び配管配線工事	◎	
	6	エレベーター1次側電源設備	◎	
	7	火災管制運転用接点支給及び配管配線工事		○
		※上記以外の項目は別途協議		

【エレベーター遠隔監視メンテナンス】

※ このエレベーターは、遠隔監視メンテナンス契約可能対応機種です。
※ 遠隔監視メンテナンスでは、エレベーターの遠隔診断・遠隔監視が可能です。
※ 上記サービスに必要な機器は、保守会社との遠隔監視メンテナンス契約時に貸与されます。

（1台1回線）

電源設備　（高圧）

号機名		No. 1		
電源設備容量	動力	200 V　4 kVA		
	照明	100 V　1. 5 kVA		
最大電流		21. 2 A		
動力線サイズ（mm²）		5. 5	8	14
最大引込み距離（m）		77	118	206
建屋側MCCB		30 A		
接地線最小サイズ		2　mm²		
インターホン用配線		φ 0. 9 × 10 本		
電話用配管・配線		φ 19 配管 ・電話線 1 P		
ピットコンセント容量		1 kVA／台		
火災報知器連動用配線		HP 1. 2 × 1 P		
BGMスピーカー用配線		HP 1. 2 × 3 C		

No. 1

遮煙のりばドア（Smokeproof）		
適用階	1－2F	認定番号　CAS－0574（2）

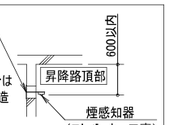
■既存撤去工事
昇降路内および機械室内の既設機器・配線等は３方枠を除きすべて撤去・処分とする。

NO.	A-78
SCALE	A3：1/40 A1：1/20
SIGN	
令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	
昇降機設備詳細図（1）	
DATE	2024/03/15

煙感知器詳細

施錠装置付点検扉
1.5mm以上の鋼板製（エレベーター工事）
リミットスイッチ付（エレベーター工事）

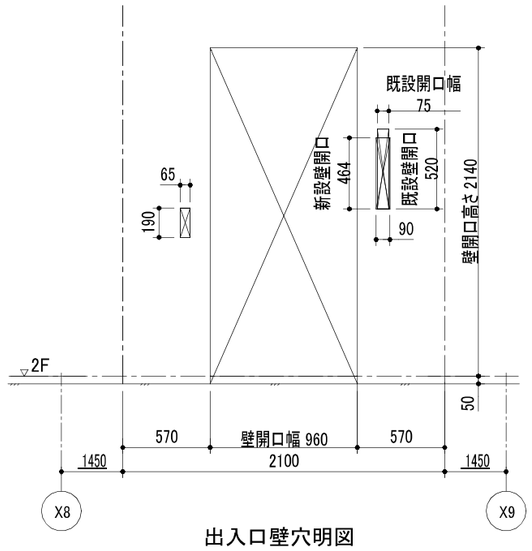
昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は外部に引き出した状態で点検可能な構造とする。
屋外の場合は、防水形点検扉とする。



点検ボックスは下記エレベーター昇降路専用品として下さい。

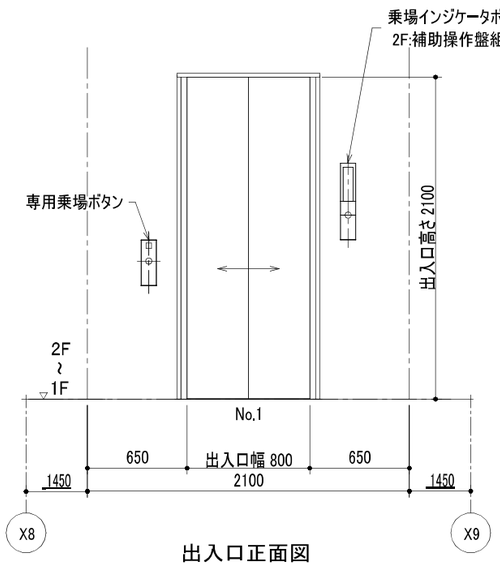
- ホーチキ　（KUS-1C（W））
- 能美防災　（FXS J001A-HU）
- ニッタン　（NID-T-G）
- パナソニック　（BV95351+BV95381H）

製品の型番は、仕様変更などで変更・廃止されている場合があります



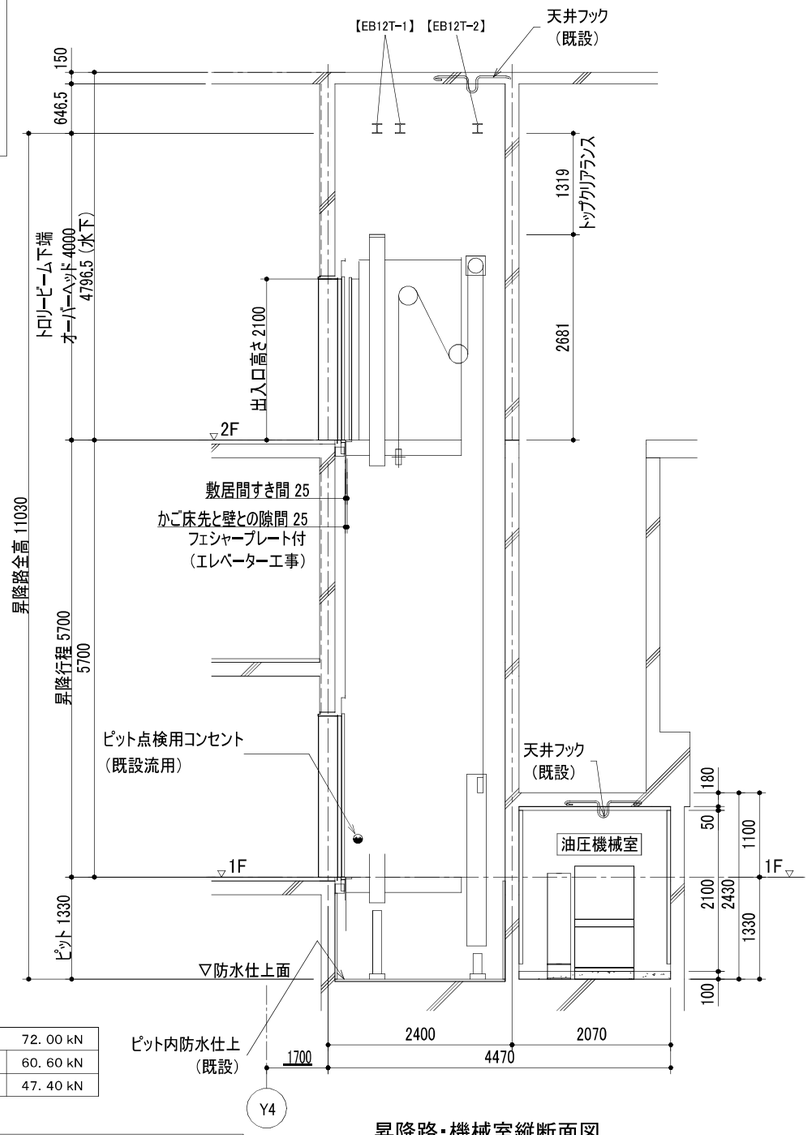
出入口壁穴明図

1 :40



出入口正面図

1 :40



昇降路・機械室縦断面図

1 :80

※点検用タラップはピットに保管

No. 1

ピット反力		72. 00 kN
ピット衝撃荷重	かご側	60. 60 kN
	C／W側	47. 40 kN

鉄骨部材記号表 （エレベーター工事）

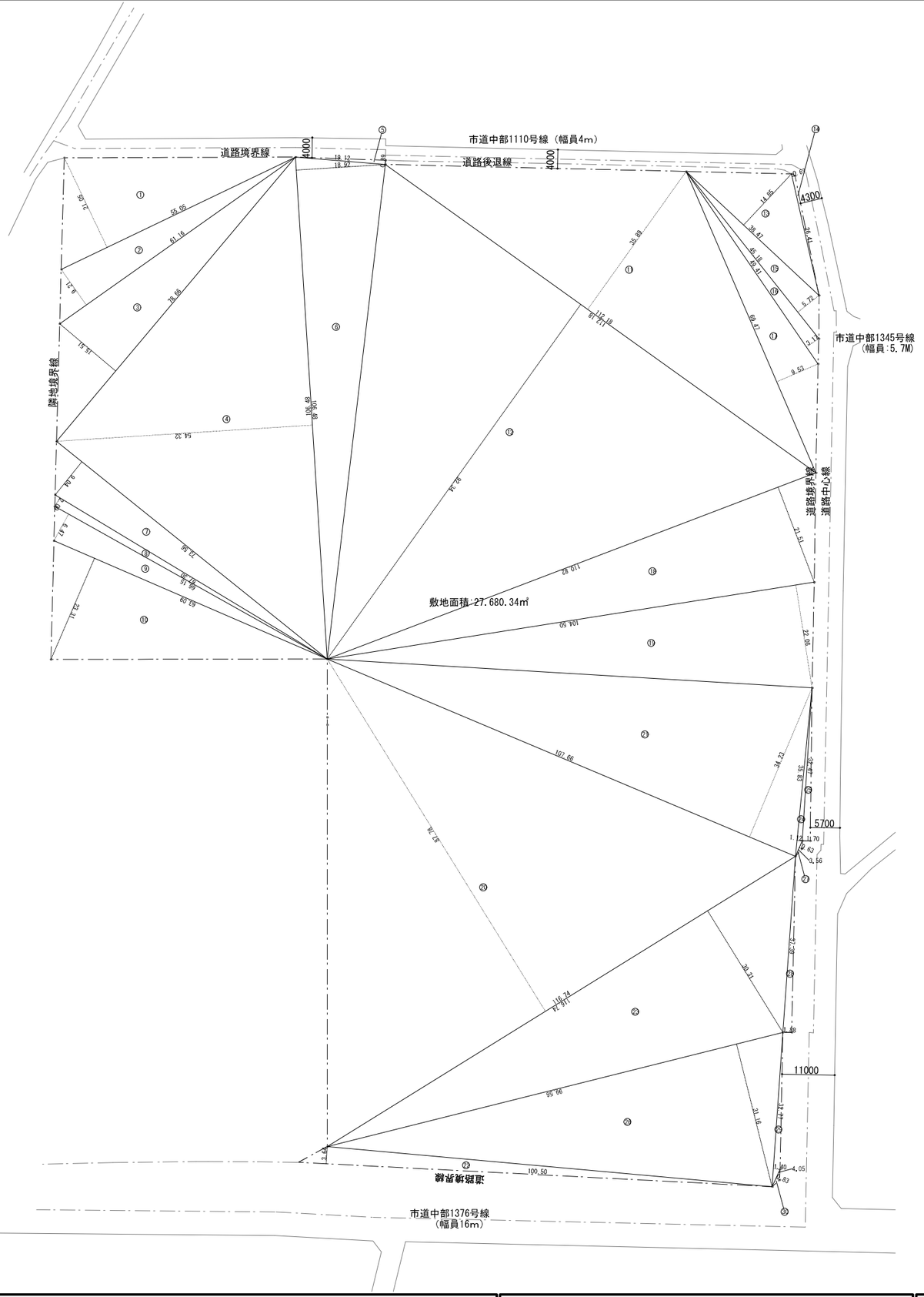
部材記号	部材用途	部材サイズ
EB12T-1	トロリービーム（荷重　19．6kN）	H-125x125x6.5x9
EB12T-2	トロリービーム（荷重　9．8kN）	H-125x125x6.5x9

NO.	A-79
SCALE	A3：1/40, 80 A1：1/20, 40
SIGN	

令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

昇降機設備詳細図（2）

DATE 2024/03/15



■敷地面積　求積表

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
①	55.05ｍ	21.05ｍ	1,158.8025㎡	579.40125㎡
②	61.16ｍ	9.21ｍ	563.2836㎡	281.64180㎡
③	78.66ｍ	15.51ｍ	1,220.0166㎡	610.00830㎡
④	106.48ｍ	54.32ｍ	5,783.9936㎡	2,891.99680㎡
⑤	19.12ｍ	0.89ｍ	17.0168㎡	8.50840㎡
⑥	106.48ｍ	18.92ｍ	2,014.6016㎡	1,007.30080㎡
⑦	73.56ｍ	9.04ｍ	664.9824㎡	332.49120㎡
⑧	67.30ｍ	2.09ｍ	140.6570㎡	70.32850㎡
⑨	66.15ｍ	6.47ｍ	427.9905㎡	213.99525㎡
⑩	63.09ｍ	23.31ｍ	1,470.6279㎡	735.31395㎡
⑪	112.18ｍ	35.89ｍ	4,026.1402㎡	2,013.07010㎡
⑫	112.18ｍ	92.34ｍ	10,358.7012㎡	5,179.35060㎡
⑬	38.47ｍ	14.85ｍ	571.2795㎡	285.63975㎡
⑭	26.41ｍ	0.67ｍ	17.6947㎡	8.84735㎡
⑮	45.18ｍ	5.72ｍ	258.4296㎡	129.21480㎡
⑯	49.41ｍ	3.17ｍ	156.6297㎡	78.31485㎡
⑰	69.47ｍ	9.53ｍ	662.0491㎡	331.02455㎡
⑱	110.82ｍ	21.51ｍ	2,383.7382㎡	1,191.86910㎡
⑲	104.50ｍ	22.06ｍ	2,305.2700㎡	1,152.63500㎡
⑳	116.74ｍ	87.78ｍ	10,247.4372㎡	5,123.71860㎡
①	107.66ｍ	34.23ｍ	3,685.2018㎡	1,842.60090㎡
②	100.50ｍ	3.64ｍ	365.8200㎡	182.91000㎡
③	116.74ｍ	30.31ｍ	3,538.3894㎡	1,769.19470㎡
④	35.83ｍ	1.12ｍ	40.1296㎡	20.06480㎡
⑤	32.47ｍ	1.70ｍ	55.1990㎡	27.59950㎡
⑥	99.56ｍ	31.16ｍ	3,102.2896㎡	1,551.14480㎡
⑦	3.56ｍ	0.63ｍ	2.2428㎡	1.12140㎡
⑧	37.39ｍ	1.88ｍ	70.2932㎡	35.14660㎡
⑨	32.77ｍ	1.40ｍ	45.8780㎡	22.93900㎡
⑩	4.05ｍ	0.83ｍ	3.3615㎡	1.68075㎡
合　計				27,679.07340㎡
敷地面積				27,679.07　㎡

特　記	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

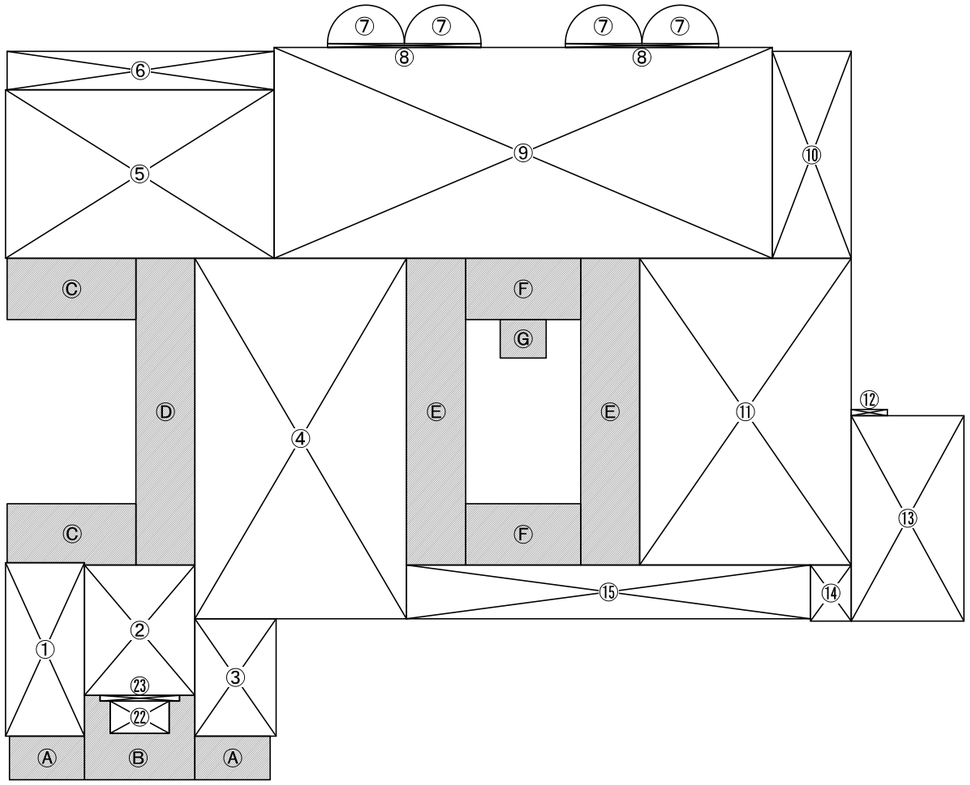
敷地求積図・面積表

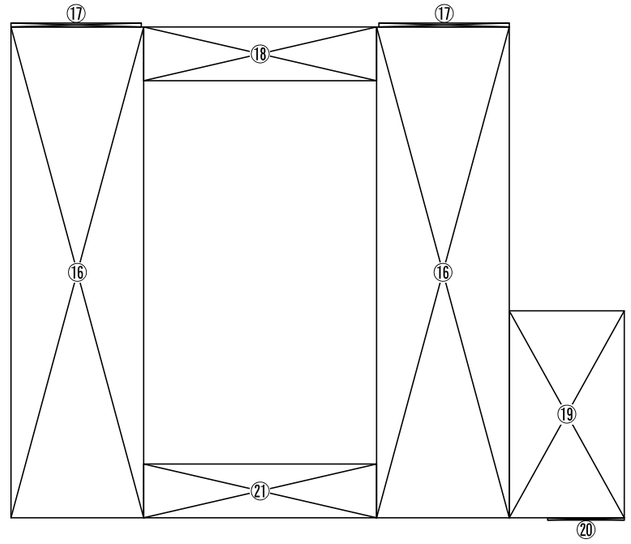
NO. A-80

SCALE A3:1/1000 A1:1/500

DATE 2024/03/15

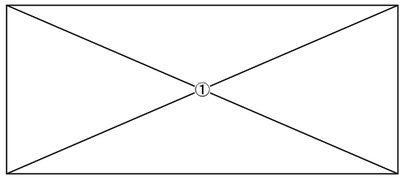
SIGN





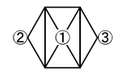
■本館棟　建物求積表

	横(m)	縦(m)	面積(㎡)
①	5.150	11.300	58.195
②	7.200	8.500	61.200
③	5.300	7.650	40.545
④	13.800	23.500	324.300
⑤	17.500	11.000	192.500
⑥	17.400	2.500	43.500
⑦	2.5x2.5x3.14/2x4		39.250
⑧	10.000	0.250x2	5.000
⑨	32.500	13.750	446.875
⑩	5.150	13.500	69.525
⑪	13.800	20.000	276.000
⑫	2.350	0.400	0.940
⑬	7.350	13.400	98.490
⑭	2.650	3.650	9.6725
⑮	26.350	3.500	92.225
ア．１階床面積(既存)			1758.22
㉒	3.840	2.100	8.064
㉓	5.180	0.365	1.890
イ．１階床面積(増築)			9.95
⑯	8.650x32.000x2		553.600
⑰	8.500x 0.250x2		4.250
⑱	15.200	8.250	125.400
⑲	7.500	13.500	101.250
⑳	5.000	0.150	0.750
㉑	15.200	3.500	53.200
ウ．２階床面積			838.45
Ⓐ	4.750x 3.000x2		28.500
Ⓑ	7.500	5.500	41.250
Ⓒ	12.250x4.000x2 −4.750x0.15		97.2875
Ⓓ	3.850	20.000	77.000
Ⓔ	3.850x20.000x2		154.000
Ⓕ	7.500x 4.000x2		60.000
Ⓖ	3.000	2.500	7.500
エ．ポーチ・テラス等水平投影面積			465.53
オ．建築面積：ア＋エ			2,223.75
カ．延床面積(改修前)：ア＋ウ			2,596.67
キ．延床面積(改修後)：ア＋イ＋ウ			2,606.62



■収蔵庫棟　建物求積表

	横(m)	縦(m)	面積(㎡)
①	25.520	10.995	280.592
ア．１階床面積			280.59
イ．建築面積：ア			280.59
ウ．延床面積：ア			280.59



■燃料保管庫棟　建物求積表

	横(m)	縦(m)	面積(㎡)
①	2.281	3.950	9.010
②	1.140x	3.950/2	2.251
③	1.140x	3.950/2	2.251
ア．１階床面積			13.51
イ．建築面積：ア			13.51
ウ．延床面積：ア			13.51

特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			建物求積図・面積表
		DATE 2024/03/15	NO. A-81 SCALE A3:1/400 A1:1/200 SIGN

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

豊科近代美術館
収蔵庫棟

延焼の恐れの
ある部分（３ｍ）

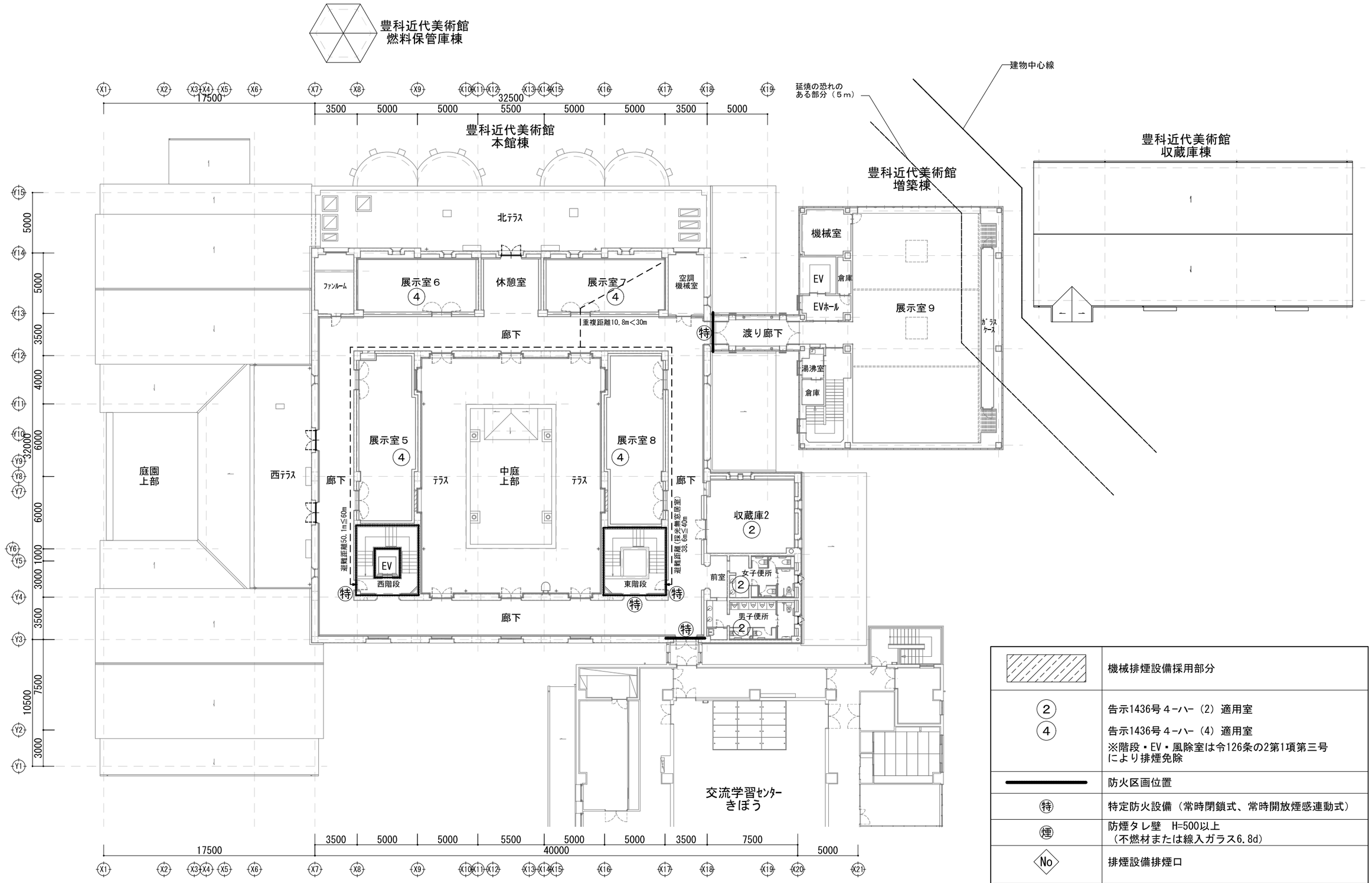
建物中心線

道路中心線

機械室B
サービス通路
厨房
喫茶コーナー
男子便所2
多目的便所2
女子便所2
休憩室
職員便所
多目的ホール
展示室２
（現３）
展示室３
（現２）
学芸員室
廊下
通用口
展示室10
展示室１
（現４）
展示室４
（現１）
収蔵庫１
庭園
歩廊
回廊
中庭
回廊
廊下
廊下
展示室１
（現倉庫）
EV
機械室
EV
西階段
東階段
オリエンテーション
ルーム
電気室
機械室A
消火栓
ポンプ室
設備ヤード
多目的
便所1
男子便所1
女子便所1
避難距離42.2m≦50m
事務室
エントランスホール
館長室
風除室
エントランス
交流学習センター
きぼう
機械室
EV
収蔵庫
ホール
前室
トラックヤード

	機械排煙設備採用部分
② ④	告示1436号４−ハ（2）適用室 告示1436号４−ハ（4）適用室 ※階段・EV・風除室は令126条の2第1項第三号により排煙免除
	防火区画位置
特	特定防火設備（常時閉鎖式、常時開放煙感連動式）
煙	防煙タレ壁　H=500以上 （不燃材または線入ガラス6.8d）
No	排煙設備排煙口
	避難経路

特記		令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-82
		関係法令等適合図(1)	SCALE A3：1/300 A1：1/150
		DATE 2024/03/15	SIGN



	機械排煙設備採用部分
②	告示1436号４−ハ−（2）適用室
④	告示1436号４−ハ−（4）適用室 ※階段・EV・風除室は令126条の2第1項第三号により排煙免除
	防火区画位置
特	特定防火設備（常時閉鎖式、常時開放煙感連動式）
煙	防煙タレ壁　H=500以上 （不燃材または線入ガラス6.8d）
No	排煙設備排煙口
	避難経路

特　記		令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-83
		関係法令等適合図(2)	SCALE A3:1/300 A1:1/150
		DATE 2024/03/15	SIGN

法規チェック表

各室法チェック（１階）

室名	室面積	換気（1/20）				排煙（1/50）	
		有効換気面積	必要換気面積	判定	有効排煙面積	必要排煙面積	判定
事務室	58.195	6.82	2.91	ＯＫ		告示1436号４−ハー（4）適用室	ＯＫ
館長室	40.545	2.64	2.03	ＯＫ		告示1436号４−ハー（4）適用室	ＯＫ
オリエンテーションルーム	53.795	5.54	2.69	ＯＫ		告示1436号４−ハー（4）適用室	ＯＫ
展示室10	53.795	5.54	2.69	ＯＫ		告示1436号４−ハー（4）適用室	ＯＫ
多目的ホール	191.750	11.42	9.59	ＯＫ		機械排煙設備	ＯＫ
休憩室	28.876	1.12	1.45	機械換気設備		告示1436号４−ハー（4）適用室	ＯＫ
学芸員室	58.240	2.24	2.92	機械換気設備		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
収蔵庫（1）	53.988	1.12	2.70	機械換気設備		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
展示室１(現４)	52.023	0.00	3.74	機械換気設備		告示1436号４−ハー（4）適用室	ＯＫ
展示室１(現倉庫)	22.790	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
展示室２(現３)	126.933	0.00	6.35	機械換気設備		機械排煙設備	ＯＫ
展示室３(現２)	126.933	0.00	6.35	機械換気設備		機械排煙設備	ＯＫ
展示室４(現１)	74.863	0.00	3.80	機械換気設備		告示1436号４−ハー（4）適用室	ＯＫ
電気室	47.355	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
機械室Ａ	33.559	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
機械室Ｂ	33.695	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
ポンプ室	8.040	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
エントランスホール	77.200	―――	―――	―――		機械排煙設備	ＯＫ
廊下（電話室含む）	477.488	―――	―――	―――		機械排煙設備	ＯＫ
女子便所1	28.10	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
男子便所1	24.50	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
多目的便所1	8.70	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
職員便所	12.16	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
女子便所2	5.72	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
男子便所2	7.89	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
多目的便所2	5.20	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ

各室法チェック（２階）

室名	室面積	換気（1/20）			排煙（1/50）		
		有効換気面積	必要換気面積	判定	有効排煙面積	必要排煙面積	判定
展示室5	74.863	0.00	3.74	機械換気設備		告示1436号４−ハー（4）適用室	ＯＫ
展示室6	52.530	0.00	2.63	機械換気設備		告示1436号４−ハー（4）適用室	ＯＫ
展示室7	52.530	0.00	2.63	機械換気設備		告示1436号４−ハー（4）適用室	ＯＫ
展示室8	74.863	0.00	3.74	機械換気設備		告示1436号４−ハー（4）適用室	ＯＫ
収蔵庫（2）	48.725	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
ファンルーム	17.000	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
空調機械室	17.000	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
女子便所	17.500	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
男子便所	24.500	―――	―――	―――		告示1436号４−ハー（2）適用室	ＯＫ
廊下・休憩室	378.132	―――	―――	―――	7.56	0.85x6 + 1.5x0.8x3 = 8.7	ＯＫ

階段各寸法

	東階段	西階段	備考
有効幅員	1250	1320	
蹴上	166.67	166.67	
踏面	280	280	
構造	鉄筋コンクリート	鉄筋コンクリート	

居室換気量計算（機械設備）

室名	室面積	計算基準	必要換気量（m3/Hr）	設計風量（m3/Hr）	室名	室面積	計算基準	必要換気量（m3/Hr）	設計風量（m3/Hr）
事務室	58.195	Q=20Af/5	233	250	展示室5	74.863	Q=20Af/3	499	500
館長室	40.545	Q=20Af/5	162	250	展示室6	52.530	Q=20Af/3	351	450
オリエンテーションルーム	53.795	Q=20Af/5	216	250	展示室7	52.530	Q=20Af/3	351	450
展示室10	53.795	Q=20Af/5	216	250	展示室8	74.863	Q=20Af/3	499	500
展示室１(現４)	52.023	Q=20Af/3	347	500	収蔵庫（2）	48.725	Q=20Af/5	195	250
展示室２(現３)	126.933	Q=20Af/3	867	870					
展示室３(現２)	126.933	Q=20Af/3	867	870					
展示室４(現１)	74.863	Q=20Af/3	486	500					
収蔵庫（1）	53.988	Q=20Af/5	217	500					
学芸員室	58.240	Q=20Af/5	231	500					
多目的ホール	191.750	Q=20Af/3	1033	1200					
休憩室	28.876	Q=20Af/3	183	190					

シックハウス対応

渡り廊下の建具は常時閉鎖式特定防火設備である。
また、換気計画上は既存部分と増築部分を区分している為（同一換気エリアとしない）、建令137条-15より既存部分においてのシックハウス規制は遡及対象外となる。

排煙風量（機械設備）

室名	排煙区画		必要排煙風量（m3/Hr）	設計排煙風量（m3/Hr）	排煙口サイズ
	排煙口No	室面積			
エントランスホール	◇1	77.200	4632	4700	450 × 450
廊下	◇2	230.00	13800	13900	700 × 700
廊下（電話室含む）	◇3	257.60	15468	15500	750 × 750
多目的ホール	◇4	155.00	9300	9400	600 × 600
展示室２	◇5	126.933	7616	7900	550 × 550
展示室３	◇6	126.933	7616	7900	550 × 550

排煙ファン仕様

モーター駆動型排煙ファン
風量：33000m3/Hr
設置場所：２階ファンルーム

既存部分主要構造部（耐火建築物）

床・・・RCスラブ150ｄ（一部180または200）かぶり厚20
壁・・・RC壁150ｄ（一部500・200・180）かぶり厚30
屋根・・・RCスラブ150ｄかぶり厚20

特記				
			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-84
			関係法令等適合図(3)	SCALE NON
			DATE 2024/03/15	SIGN

公用車駐車場

道路境界線

4000

市道中部1110号線（幅員4m）

道路後退線

4000

駐車場

ユニットハウス2連棟 約26.79㎡【要建築確認申請】
カーテン・ブラインド 込

物置

作業員
休憩所

≒5700

≒4700

仮囲い：成形鋼板H2m

車両出入口
シートゲートW=4m

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

外周に足場設置

歩行者ルート

車通れるよう
花壇縮小

支障となる枝・根がある場合は
その処理も行うこと

テラスに足場設置

豊科近代美術館
本館棟
休館につき利用なし

下屋に足場設置

EXP.J

豊科近代美術館
増築棟

1F収蔵庫
工事中も利用（美術品出入あり）
電力ON、火災報知器ON、ｾｷｭﾘﾃｨON
2F大展示室
美術品・備品倉庫として利用
電力ON、火災報知器ON、ｾｷｭﾘﾃｨOFF
ｶﾞﾗｽｹｰｽ工事のため仮囲いを設ける
（解体撤去 平面詳細図参照）

仮囲い：成形鋼板H2m

豊科近代美術館
収蔵庫棟
休館につき利用なし

現場
事務所

仮設倉庫2

≒5700

≒14.1

ユニットハウス6連棟 約80.37㎡【要建築確認申請】
カーテン・ブラインド 込

4300

仮設トイレ
（現場用）

市道中部1345号線
（幅員：5.7M）

本館棟の美術品・備品は工事中、以下のように取り扱う

- 美術品は専門業者にて
  増築棟大展示室・仮設倉庫へ移動・復旧（本工事に計上）
- 彫刻を台座から切り離す作業は工事業者にて行う
- 台座は工事業者にて敷地内の監督員の指示する位置へ移動する
- 一部の美術品は現地養生とする（解体指示 平面詳細図参照）

- 備品は美術館にて整理・梱包の上、
  工事業者にて仮設倉庫（一部は作業員休憩所）へ移動・復旧
- 多目的ﾎｰﾙのｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟｱﾉは専門業者にて
  交流学習ｾﾝﾀｰへ移設・復旧（本工事に計上）

※足場は本館棟正面および西面の薔薇に極力影響しないよう配慮すること。
また水遣り等の管理が必要なため、
対応方法について現場定例会議にて協議すること。

バラ園

庭園

中庭

外周に足場設置

下屋に足場設置

仮囲い：成形鋼板H2m

6000

スロープ

ハッチ部：敷鉄板設置

仮設トイレ
（上下水接続）

工事後
芝生復旧

車両出入口
シートゲートW=4m

仮囲い：成形鋼板H2m

≒9400

仮設倉庫1

≒5700

撤去後
芝生復旧

≒14100

美術館
仮設事務所

≒5700

ユニットハウス4連棟 約53.58㎡【要建築確認申請】
カーテン・ブラインド 込

交流学習ｾﾝﾀｰ
きぼう

礼拝像1100x1100xh3000
：現地養生（単管+ｺﾝﾊﾟﾈ）
（仮設建物設置・撤去時）

礼拝像

ユニットハウス6連棟 約80.37㎡【要建築確認申請】
エアコン、ｷｯﾁﾝﾕﾆｯﾄ、照明、ｶｰﾃﾝ・ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ 込
（上水・雑排水接続）（使用量を把握できるようにすること）
（電力：仮設引込）（使用量を把握できるようにすること
（TEL・LAN：事務所より移設・復旧）（各PCまでの配線を含む）

広場

芝生広場

ハッチ部：敷鉄板設置
（仮設建物設置・撤去時）

仮囲い：シート張りH2m
（仮設建物設置・撤去時）

スロープ

ポーチ

駐輪場

柔道場

体育館
（解体予定）

駐輪場

隣地境界線

遊歩道

武蔵野の小径

噴水

道路境界線

道路中心線

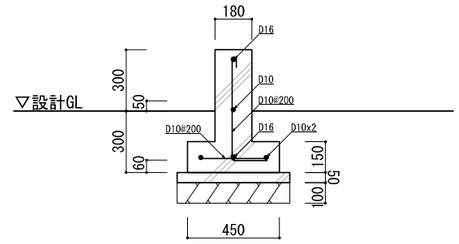
N

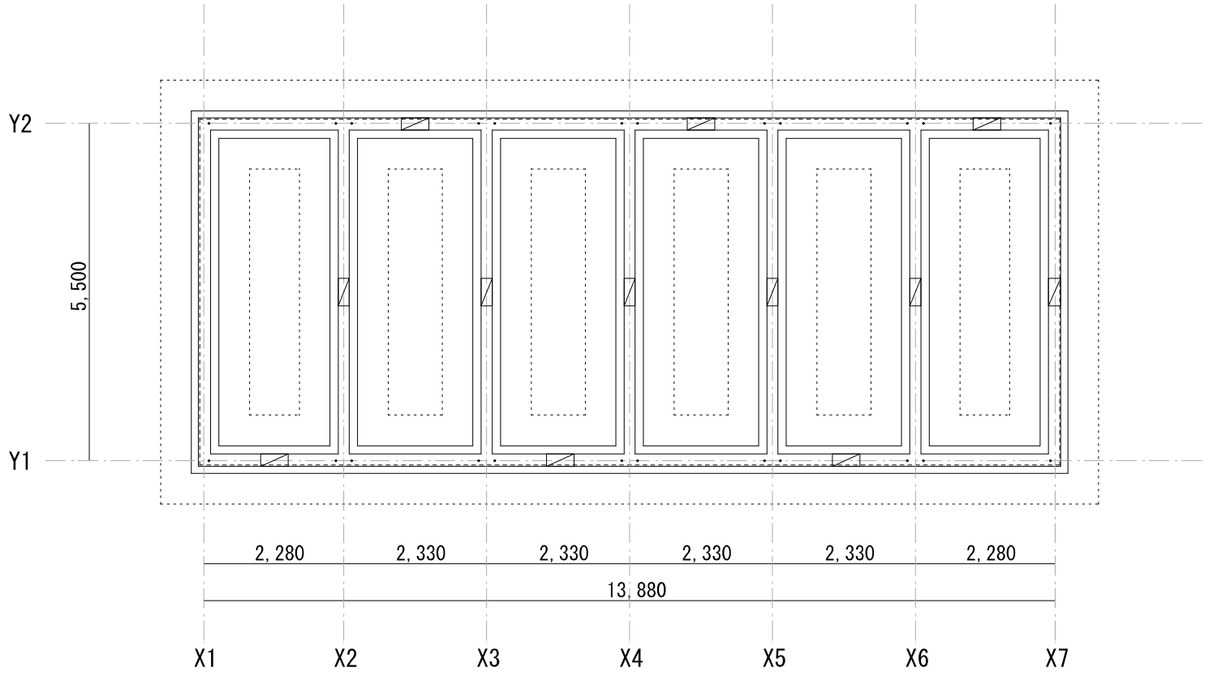
車いす用
駐車場×2

特記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-85
			仮設計画図	SCALE A3：1/500 A1：1/250
			DATE 2024/03/15	SIGN

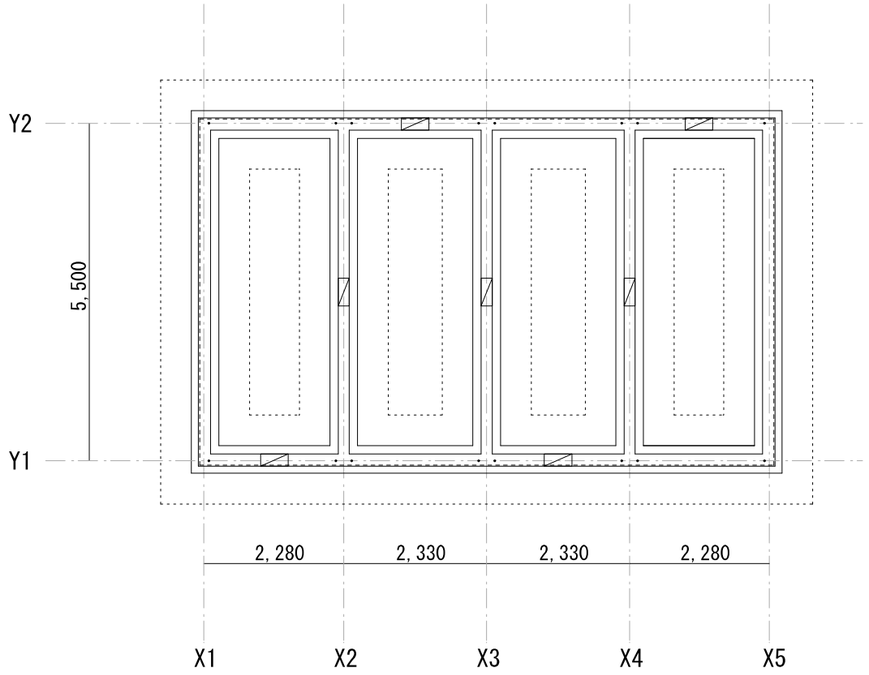
基礎コンクリート
・コンクリート施工に関しては新ＪＡＳＳ５による。
・使用材料：コンクリート 設計基準強度Fc=21kN/mm2 以上
　　鉄筋 SD295
・長期地耐力：30kN/m2 以上

基礎配筋図 S:1/30

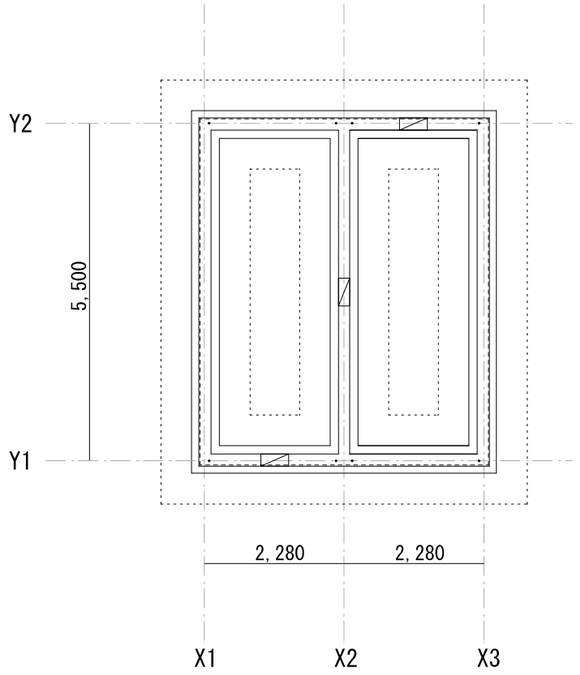




基礎伏図 S:1/100（美術館仮設事務所･仮設倉庫2基礎）

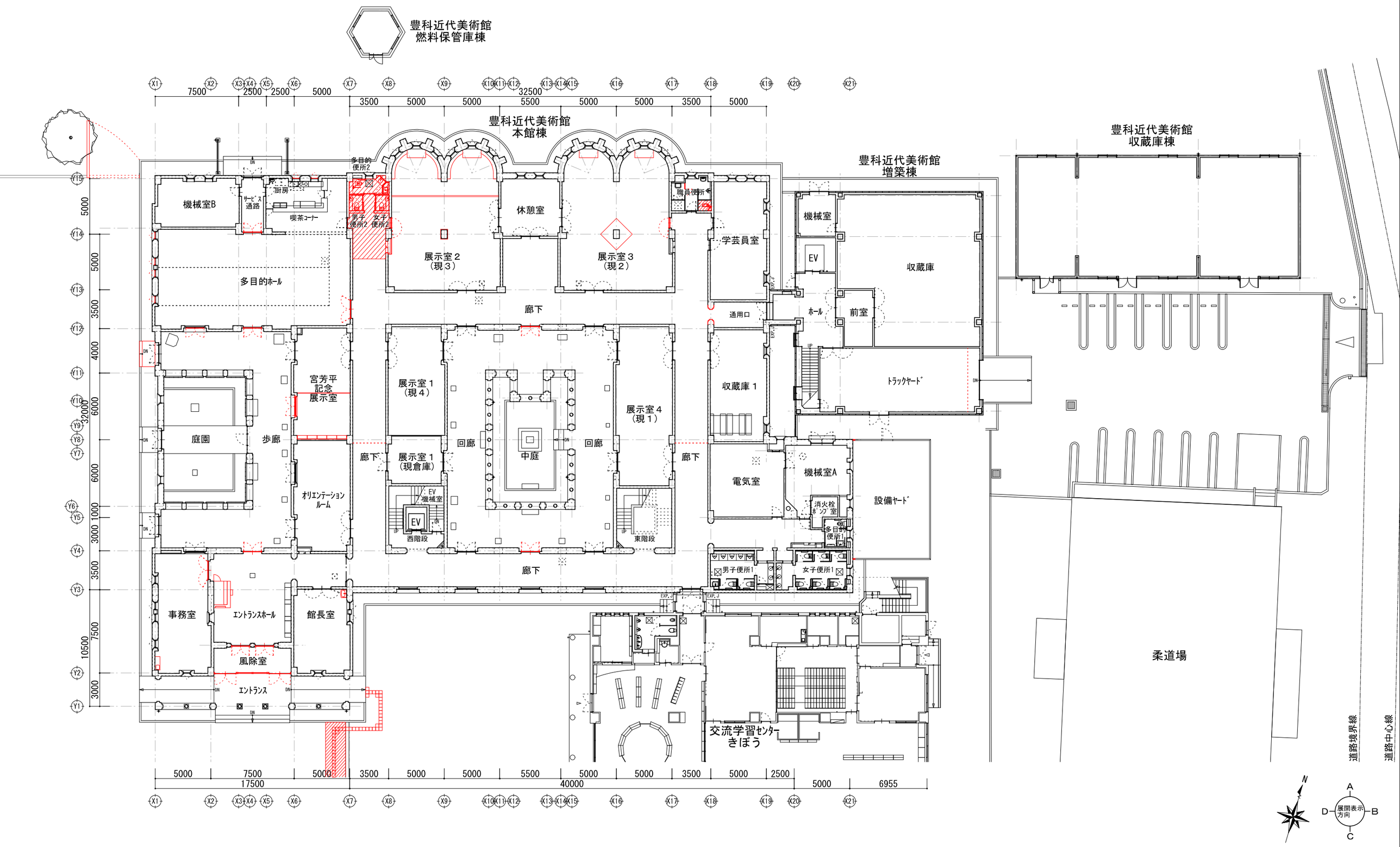


基礎伏図 S:1/100（美術館仮設倉庫1基礎）



基礎伏図 S:1/100（美術館作業員休憩所基礎）

特記	● ：ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄM12（支給品） ▱ ：床下換気孔 W450xH150　外周部はSUS製ｶﾞﾗﾘ(網付)設置		令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-86
			仮設建物基礎図	SCALE A3:1/100,30 A1:1/50,15
			DATE 2024/03/15	SIGN



特　記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. B-01
			現況　１階平面図（解体撤去図）	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

豊科近代美術館
収蔵庫棟

北ﾃﾗｽ
ﾌｧﾝﾙｰﾑ
展示室６
休憩室
展示室７
空調
機械室
廊下
渡り廊下
展示室５
展示室８
庭園
上部
西ﾃﾗｽ
中庭
上部
中庭ﾃﾗｽ
中庭ﾃﾗｽ
廊下
廊下
廊下
収蔵庫2
前室
女子便所
男子便所
EV
西階段
EV
東階段
交流学習ｾﾝﾀｰ
きぼう
機械室
EV
倉庫
EVﾎｰﾙ
展示室９
ｶﾞﾗｽｹｰｽ
湯沸室
倉庫
EXP. J

17500 3500 5000 5000 5500 5000 5000 3500 5000
32500

17500 3500 5000 5000 5500 5000 5000 3500 7500 5000
40000

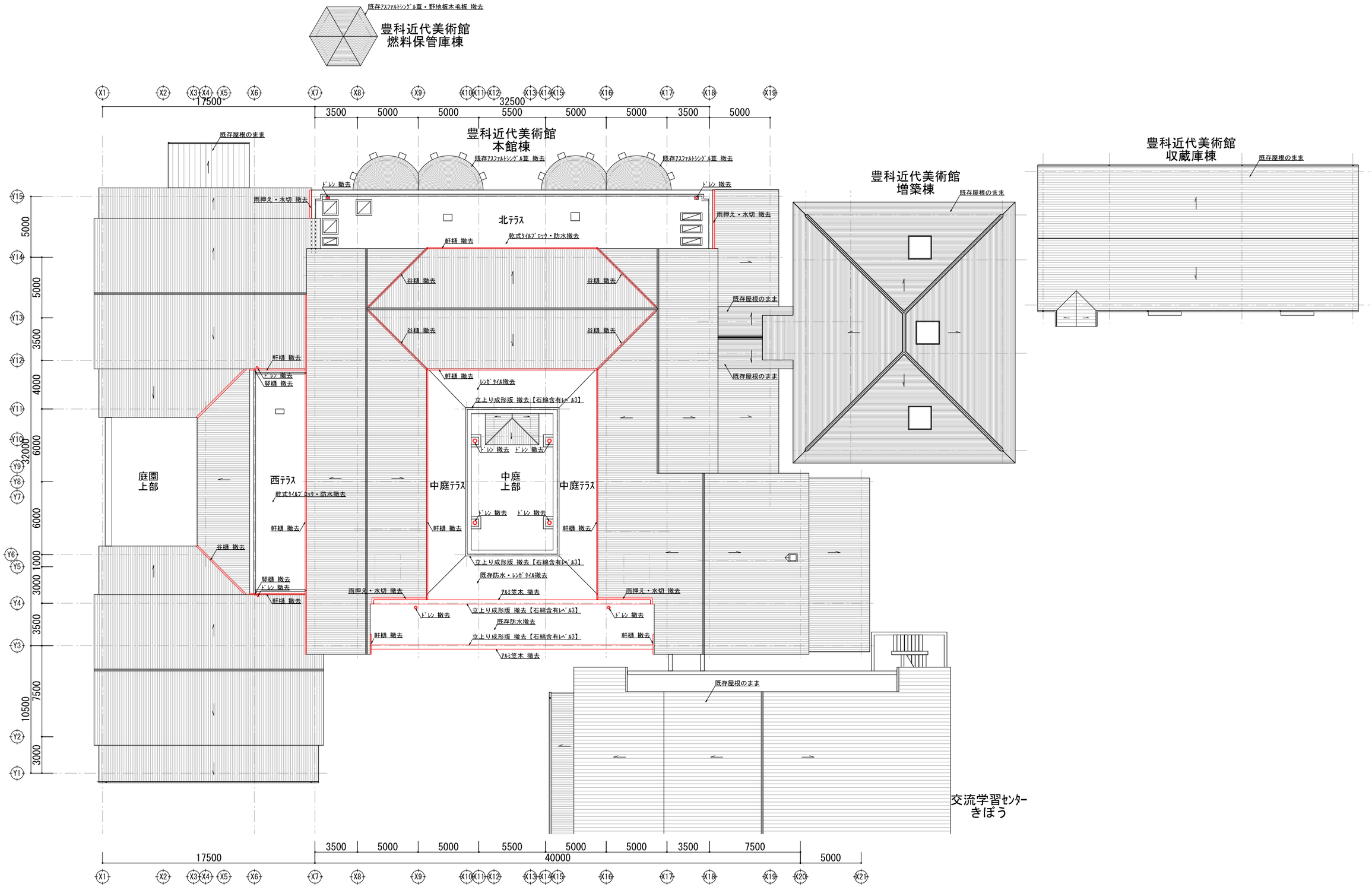
5000 5000 3500 4000 6000 6000 1000 3000 3500 7500 3000
32000 10500

N

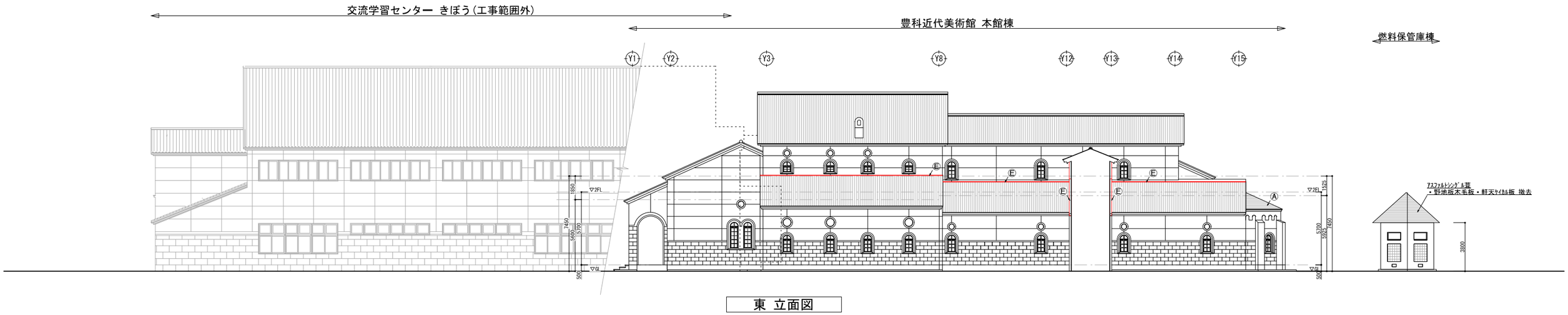
A
D 展開表示方向 B
C

特　記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			現況　２階平面図（解体撤去図）
			DATE 2024/03/15

NO. B-02
SCALE A3：1/300
A1：1/150
SIGN

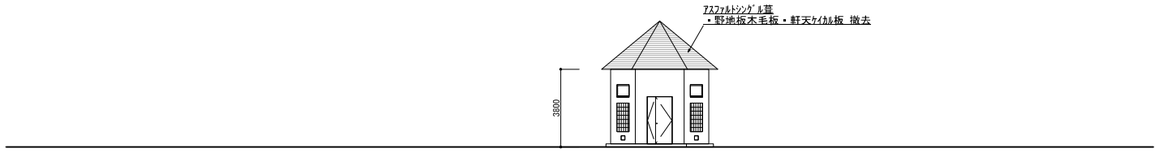


特　記	本館棟の特記なき既存瓦：取外し再取付 全留め		令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. B-03
			現況 屋根伏図 (解体撤去図)	SCALE A3：1/300 A1：1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN

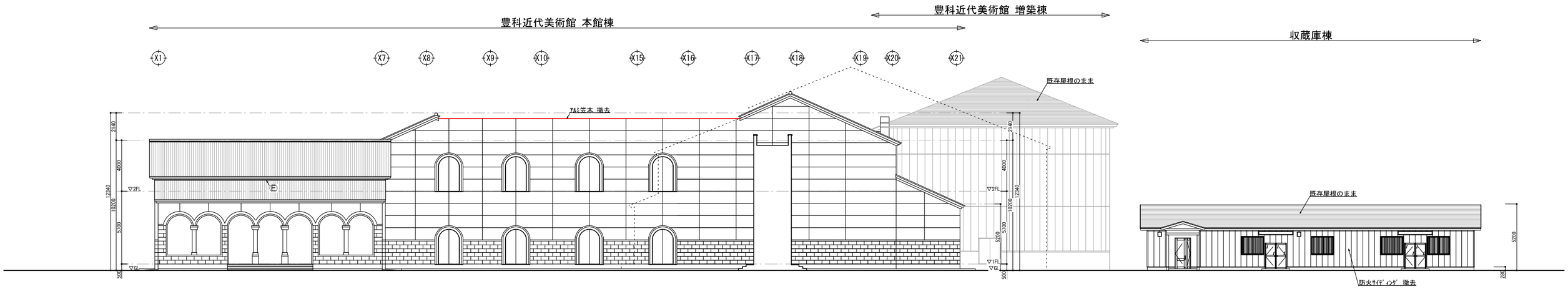


東 立面図

収蔵庫棟
東 立面図



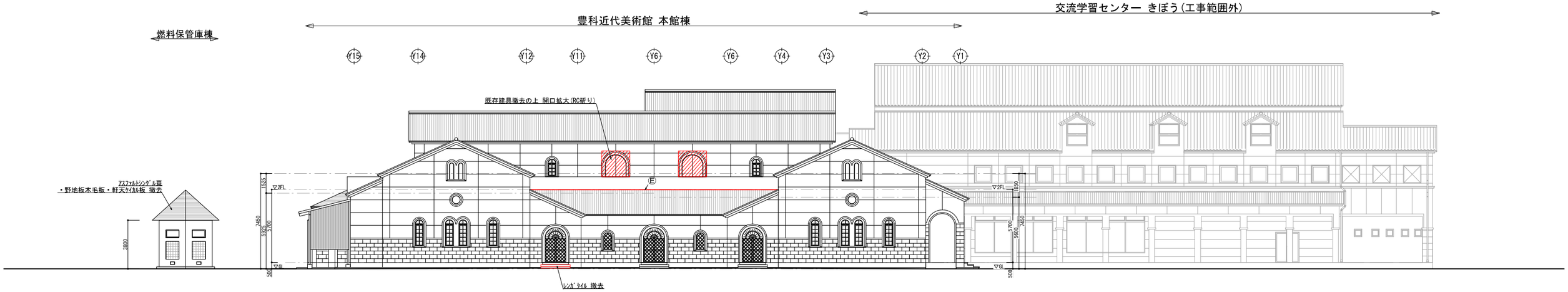
燃料保管庫棟
南 立面図



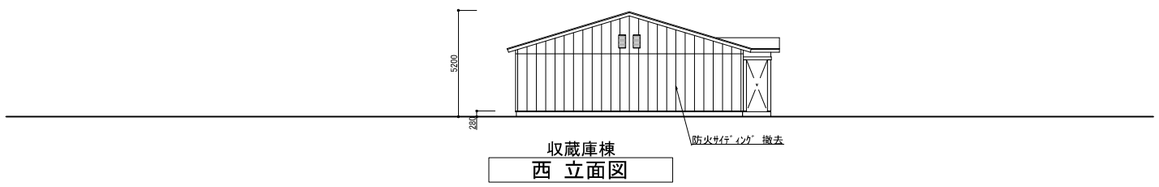
南 立面図

特記	本館棟 屋根：既存瓦 取外し再取付 全留め　　Ⓐ：アスファルトシングル葺 撤去　　Ⓔ：雨押え・水切 撤去 開口部撤去内容は建具表による		令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			現況 立面図（1）（解体撤去図）
			DATE 2024/03/15

NO. B-04
SCALE A3：1/300
A1：1/150
SIGN

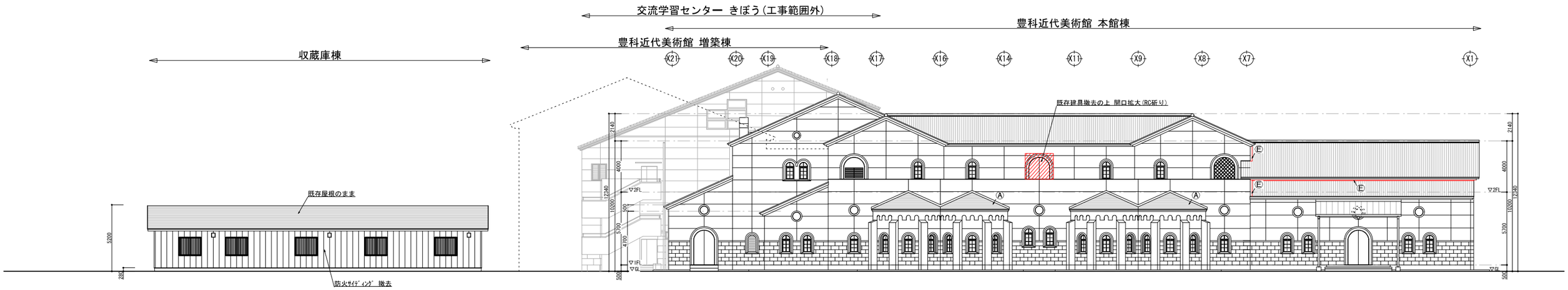


西 立面図



収蔵庫棟
西 立面図

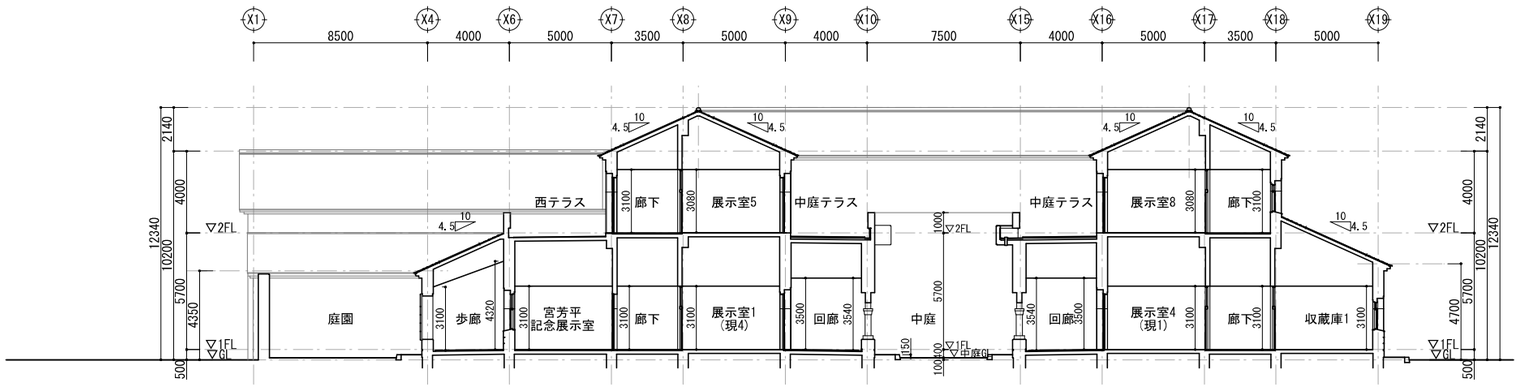
燃料保管庫棟
北 立面図



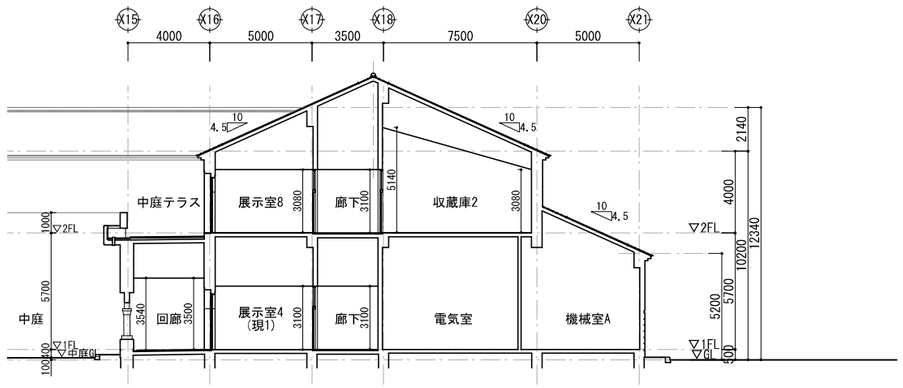
北 立面図

特記	本館棟 屋根：既存瓦 取外し再取付 全留め　Ⓐ：アスファルトシングル葺 撤去　Ⓔ：雨押え・水切 撤去 開口部撤去内容は建具表による		令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			現況 立面図（2）（解体撤去図）
			DATE 2023/03/15

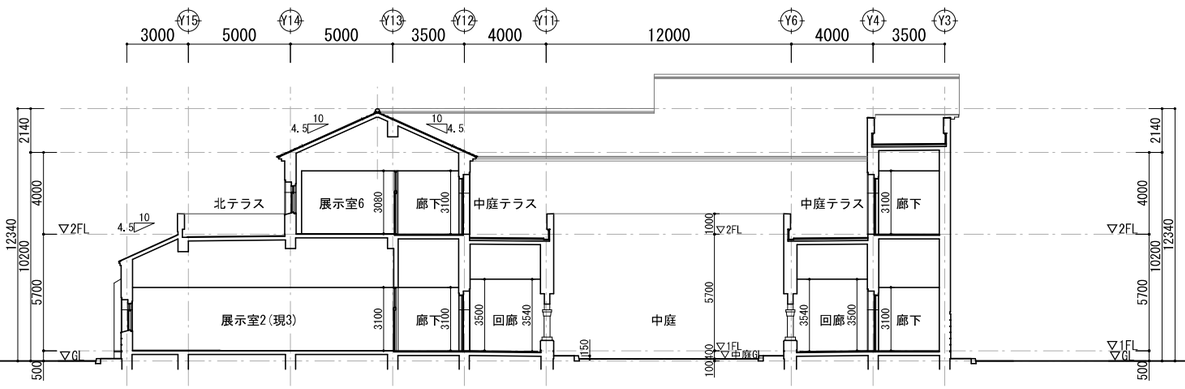
NO. B-05
SCALE A3：1/300
A1：1/150
SIGN



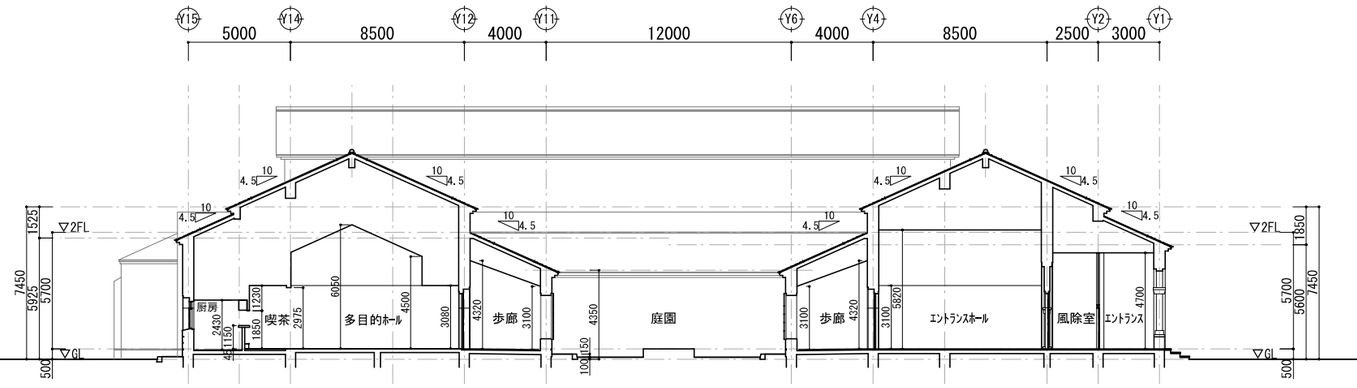
A-A' 断面図



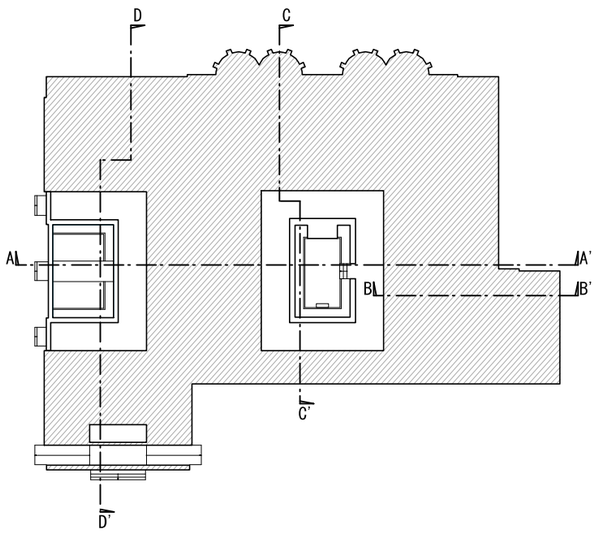
B-B' 断面図



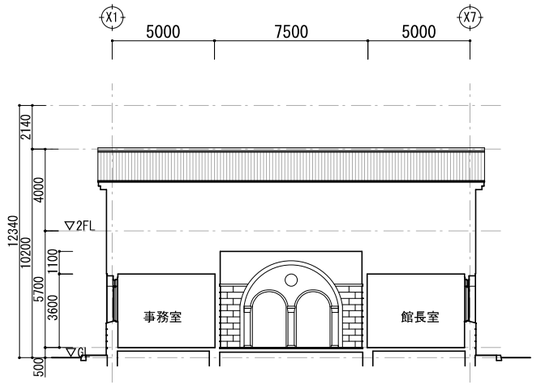
C-C' 断面図



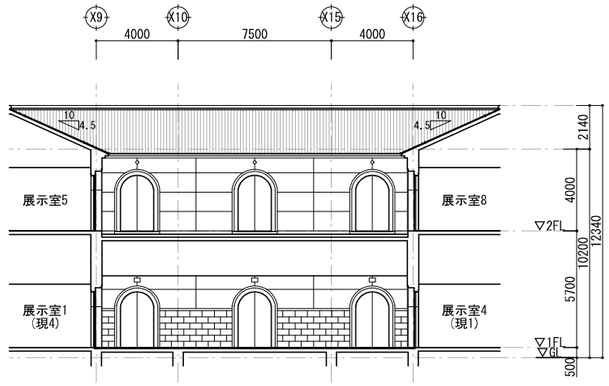
D-D' 断面図



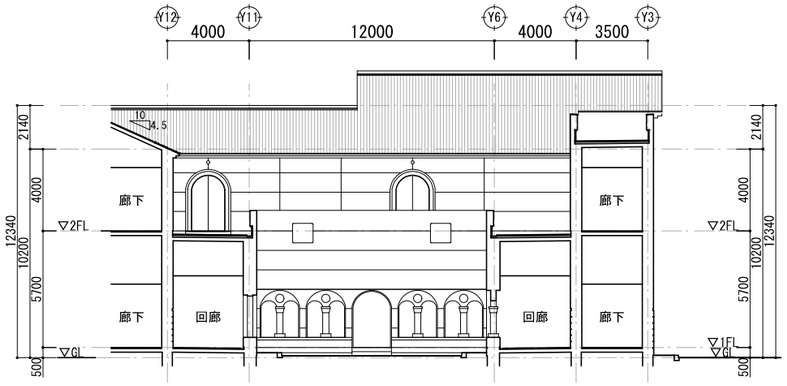
特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. B-06
			現況 断面図(1) (解体撤去図)	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN



1-1’ 断面図

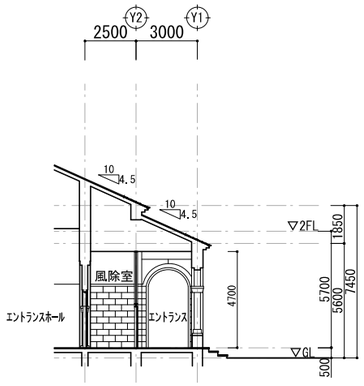


4-4’ 断面図

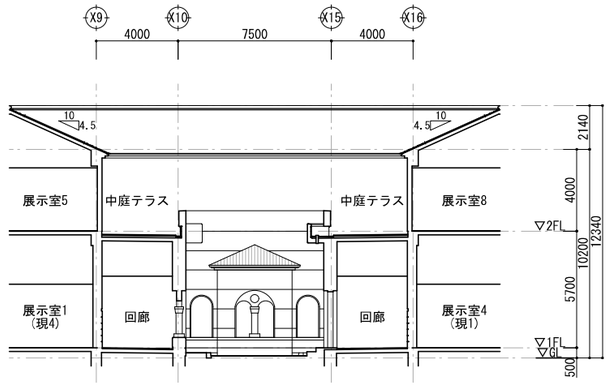


7-7’ 断面図

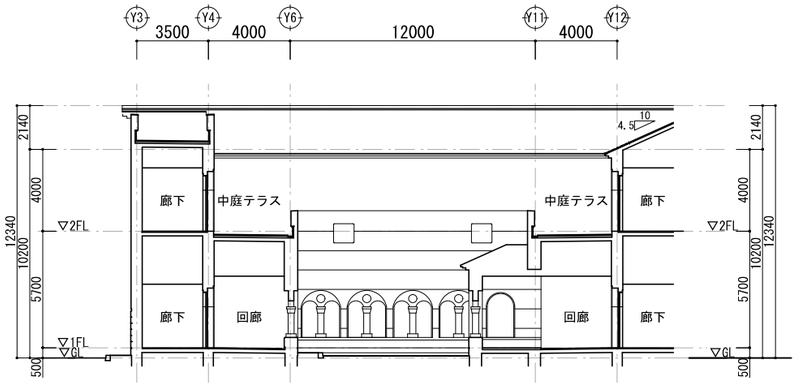
2-2’ 断面図



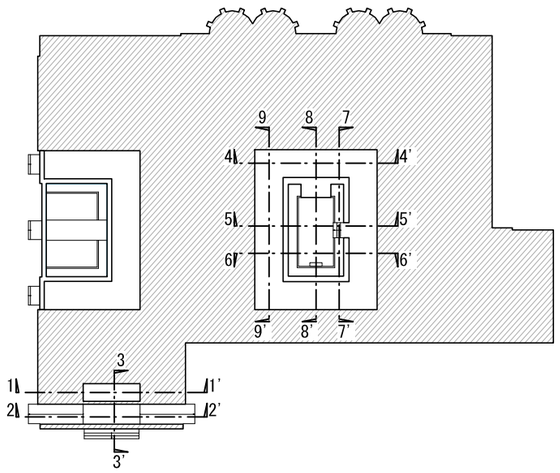
3-3’ 断面図

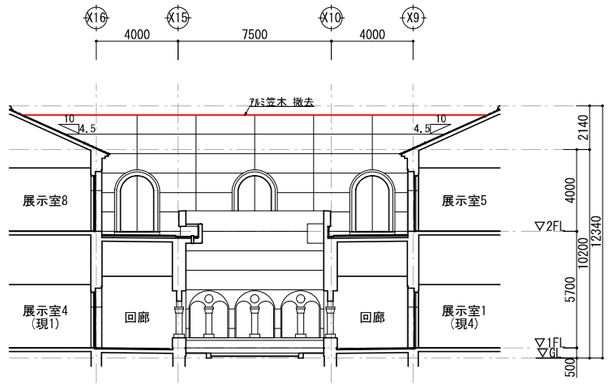


5-5’ 断面図

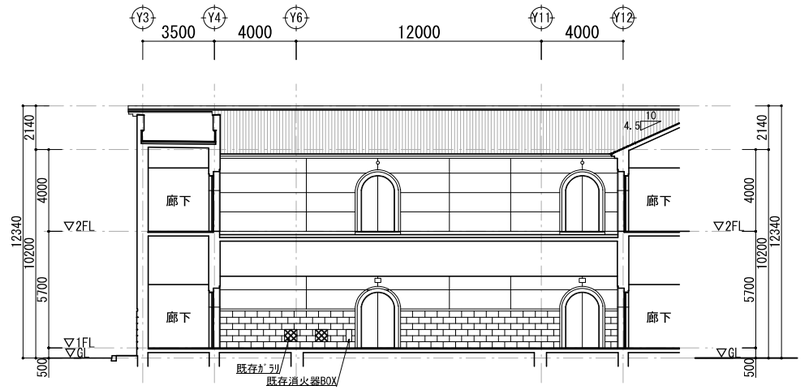


8-8’ 断面図





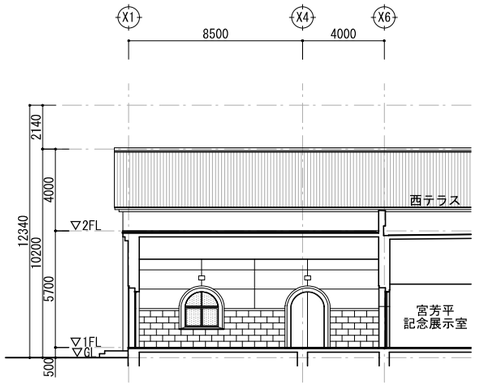
6-6’ 断面図



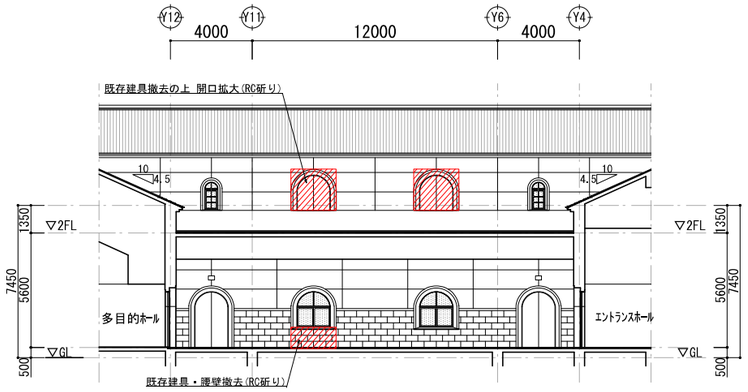
9-9’ 断面図

特　記	特記なき屋根:既存瓦 取外し再取付 全留め 開口部撤去内容は建具表による	Ⓔ :雨押え・水切 撤去	

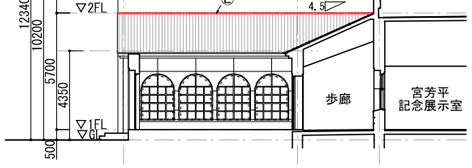
令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事		NO. B-07
現況 断面図(2) (解体撤去図)		SCALE A3:1/300 A1:1/150
	DATE 2024/03/15	SIGN



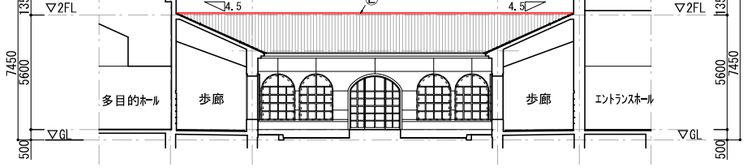
10-10’ 断面図



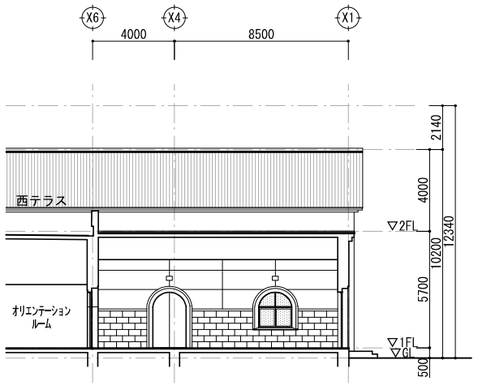
13-13’ 断面図



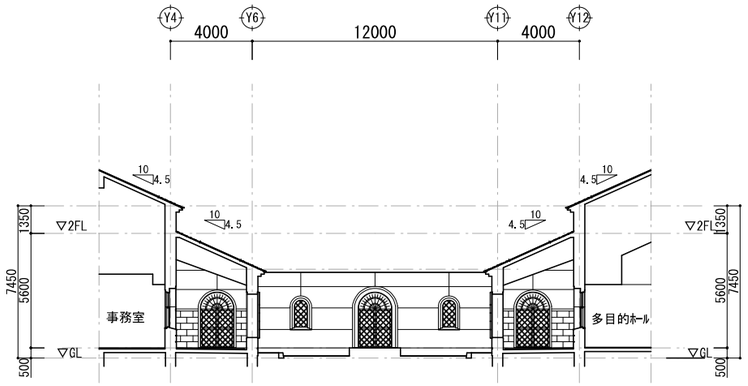
11-11’ 断面図



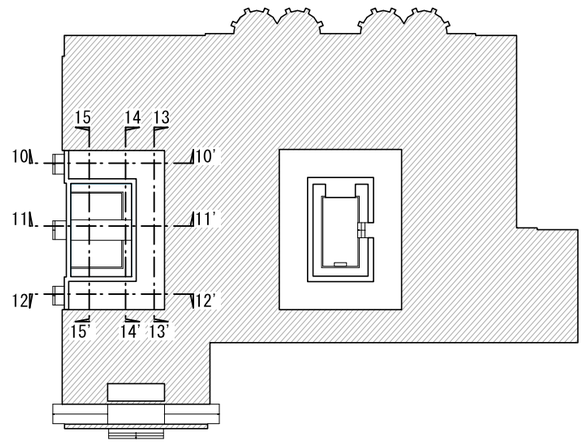
14-14’ 断面図



12-12’ 断面図

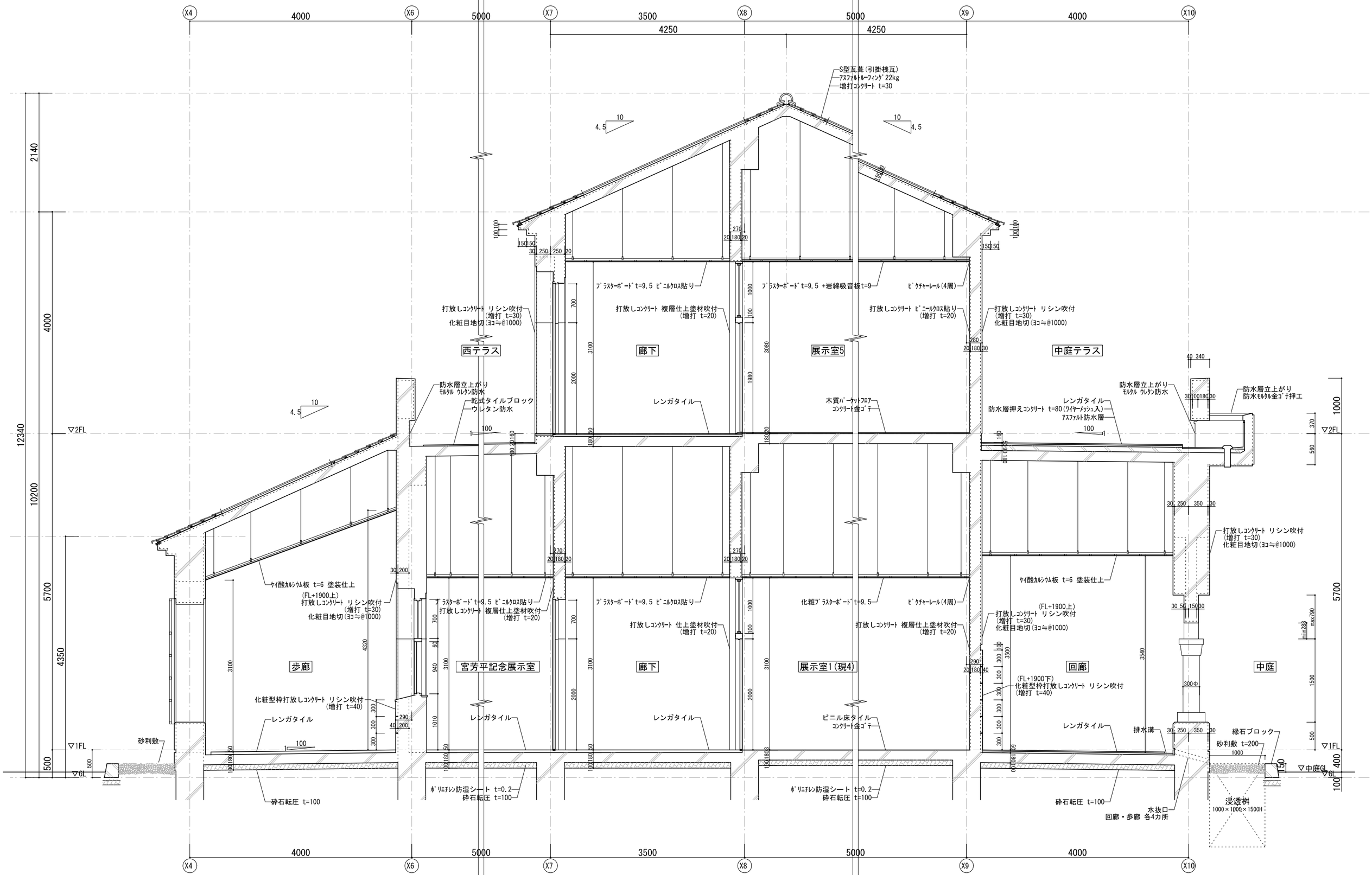


15-15’ 断面図

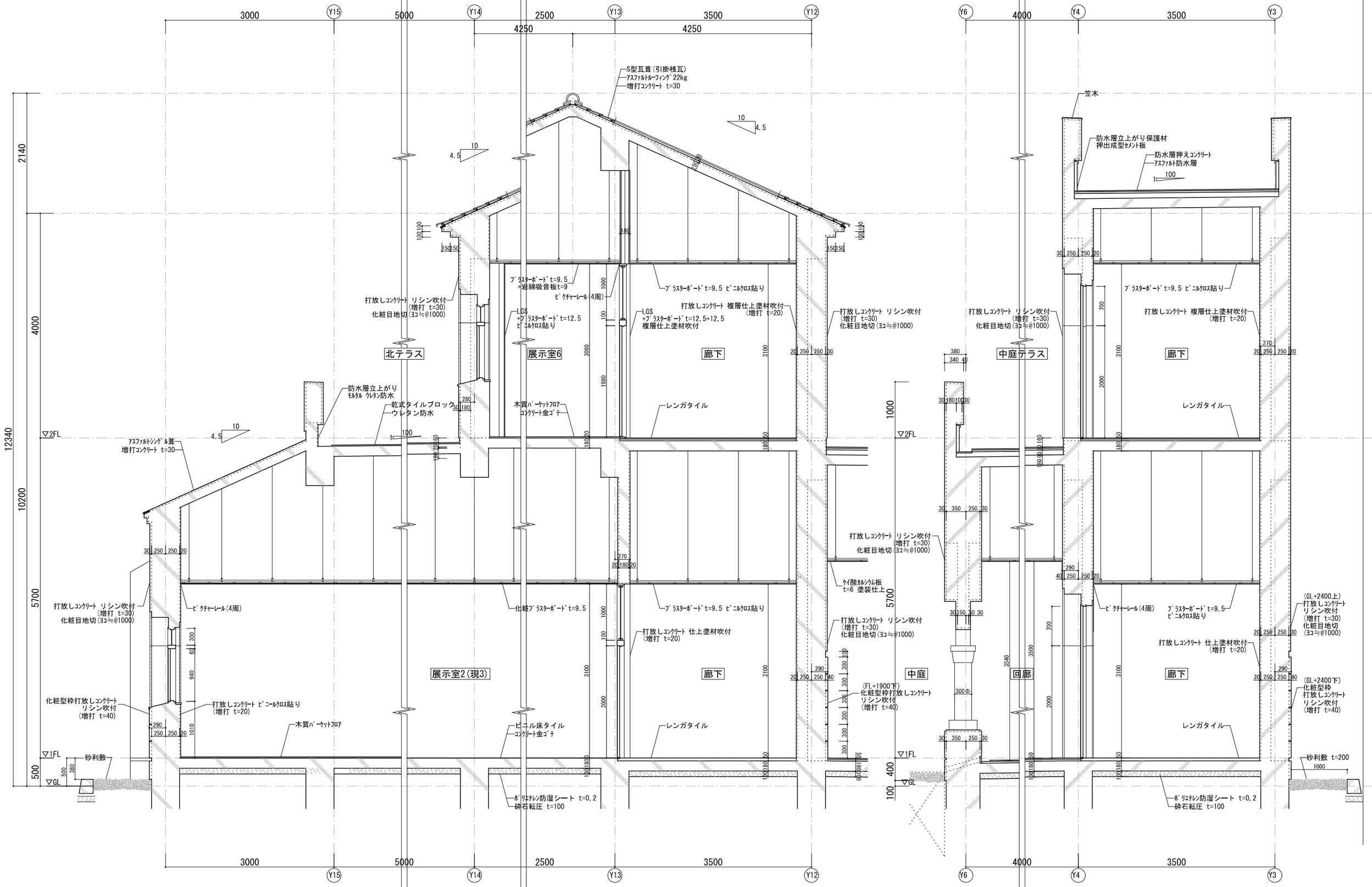


特　　記	特記なき屋根:既存瓦 取外し再取付 全留め 開口部撤去内容は建具表による	Ⓔ :雨押え・水切 撤去	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事		NO. B-08
現況 断面図(3) (解体撤去図)		SCALE A3:1/300 A1:1/150
	DATE 2024/03/15	SIGN



特記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. B-09
			現況 断面詳細図(1)	SCALE A3:1/60 A1:1/30
			DATE 2024/03/15	SIGN



特　記	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

現況 断面詳細図(2)

NO. A-10
SCALE A3:1/60 A1:1/30
DATE 2024/03/15
SIGN

庭園
FL±0

宮芳平記念展示室
棚撤去

既存ｶﾞﾗｽ垂壁 交換の為撤去

展示室１（現４）

CH3100
廊下
FL±0

CH3100
展示室１
（現倉庫）
FL±0
床塩ビタイル 撤去
・塩ビ巾木
【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】撤去

CH3500
~3540
回廊
FL-40

中庭
FL-260

CH3100~4320
歩廊
FL-40
FL±0

CH3100
オリエンテーション
ルーム
FL±0

CH3100
廊下
FL±0

CH3600
事務室
FL±0
床塩ビタイル 撤去
・塩ビ巾木
【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】撤去

CH3100~5820
エントランスホール
FL±0

CH3600
館長室
FL±0
塩ビ巾木 撤去
【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】

CH4700
風除室
FL±0

CH4700
エントランス
FL±0

CH3100

CH2900
西階段
FL±0

EV
機械室

EV

UP

DN

☆石製台座
510x410xh900

☆石製台座
600x460xh1100

☆石製台座
500x480xh1100

☆石製台座
540x480xh1100

☆石製台座
730x600xh1000

☆石製台座
600x450xh1000

☆石製台座
650x550xh800

☆石製台座
530x500xh700

☆石製台座
550x500xh900

既存石製ベンチ
：再利用の為保管

既存格子：ｱｸﾘﾙ板撤去

既存建具撤去（枠残し）

既存建具撤去（枠残し）

彫刻+台座 専門業者にて移設

受付ｶｳﾝﾀｰ撤去

展示什器 再利用のため保管

既存建具撤去（枠残し）

既存建具撤去（枠残し）

既存建具・ｶﾞﾗｽ帳壁撤去
方立・無目 H幅150
ﾄﾞｱh2000 全高4700
姿図は既存断面図参照

ﾐﾆｷｯﾁﾝ用1200 撤去

手摺：再利用のため
取外し保管

既存ｶﾞﾗｽ垂壁：再利用の為保管

既存建具撤去（枠残し）

既存建具撤去（枠残し）

点字ﾌﾞﾛｯｸ 撤去

竪樋 撤去

竪樋 撤去

竪樋 撤去

竪樋 撤去

車椅子経路の御影石 撤去

FL-450
FL-310
FL-170
FL-500
FL-165
FL-350

DN

CON

DNC

Y8
Y6
Y4
Y3
Y2
Y1

X1
X2
X4
X6
X7
X8
X9
X10
X12
X13
X14

5000
3500
4000
5000
3500
5000
4000
2250
3000
1250

3900
2100
4000
3500
7500
3000

特　記

※撤去する建具の仕様は建具表による

※図中☆印の彫刻については、
本工事にて彫刻と台座切り離しの上、敷地内の係員が指定する位置へ移設
（彫刻は専門業者にて移設）

N

A
B
C
D
展開表示方向

令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

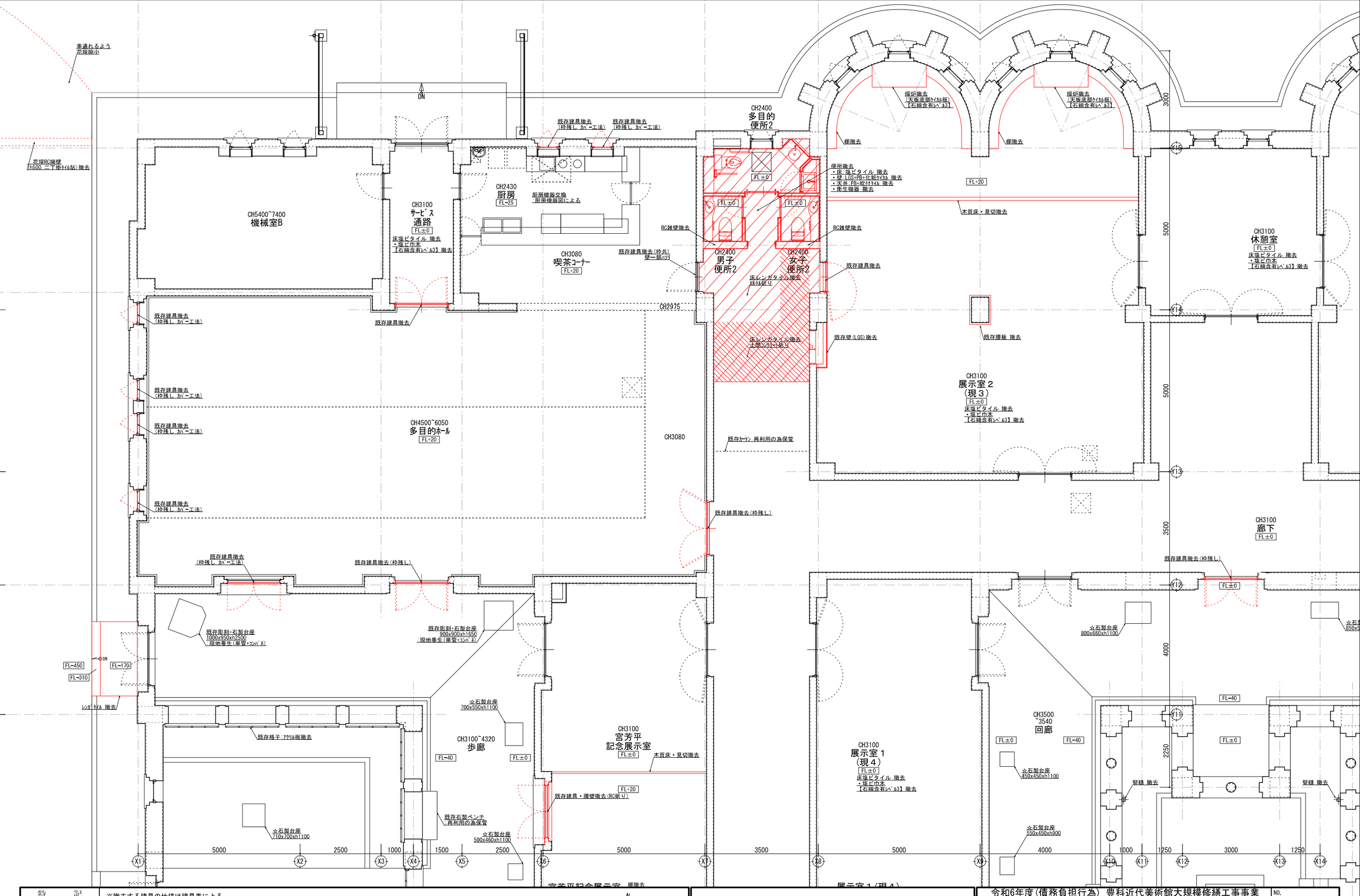
NO. A-11

現況　１階平面詳細図（1）（解体撤去図）

SCALE A3:1/100
A1:1/50

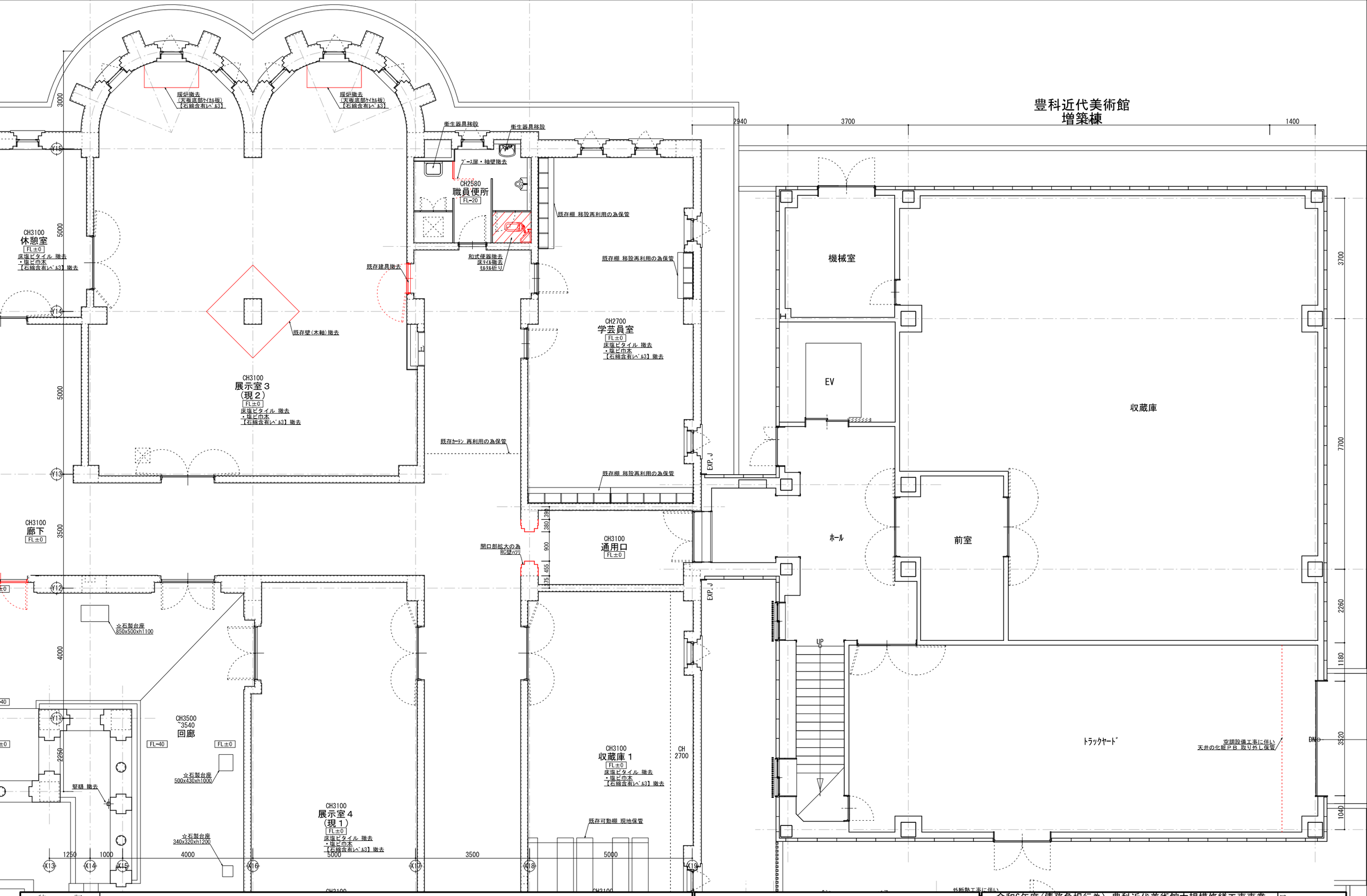
DATE 2024/03/15

SIGN



特記	※撤去する建具の仕様は建具表による ※図中☆印の彫刻については、 本工事にて彫刻と台座切り離しの上、敷地内の係員が指定する位置へ移設 (彫刻は専門業者にて移設)

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-12
現況 1階平面詳細図(2) (解体撤去図)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
DATE 2024/03/15	SIGN



特　記

※撤去する建具の仕様は建具表による

※図中☆印の彫刻については、
本工事にて彫刻と台座切り離しの上、敷地内の係員が指定する位置へ移設
(彫刻は専門業者にて移設)

N

A B C D 展開表示方向

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. A-13
現況　１階平面詳細図(3)（解体撤去図）	SCALE A3:1/100 A1:1/50
DATE 2024/03/15	SIGN

中庭
FL-260

☆石製台座
650x550xh800

竪樋 撤去

既存石製ベンチ
再利用の為保管

FL-40

☆石製台座
530x500xh700

☆石製台座
550x500xh900

既存建具撤去(枠残し)

CH3500
~3540
回廊

FL±0

☆石製台座
420x350xh1200

☆石製台座
510x410xh1000

UP

CH2900
東階段
FL±0

既存ｶﾞﾗｽ垂壁 再利用の為保管

CH3100
展示室４
(現１)
FL±0

既存ｶﾞﾗｽ垂壁 交換の為撤去

CH3100
廊下
FL±0

CH3100
収蔵庫１
FL±0

電気室

機械室A

消火栓
ﾎﾟﾝﾌﾟ室

CH2400
多目的
便所1
FL±0

CH3100
廊下
FL±0

CH2400
男子便所1
FL±0

CH2400
女子便所1
FL±0

外断熱工事に伴い
既存ﾌｪﾝｽｰ部カット

外断熱工事に伴い
既存ﾌｪﾝｽｰ部カット

設備ﾔｰﾄﾞ

CH3100
廊下
FL±0

EXP. J

EXP. J

Y8 Y6 Y4 Y3

X10 X11 X14 X15 X16 X17 X18 X19 X20 X21

1000 5500 1000 4000 5000 3500 5000 2500 5000

3900 2100 4000 3500

DN

特記	※撤去する建具の仕様は建具表による ※図中☆印の彫刻については、 本工事にて彫刻と台座切り離しの上、敷地内の係員が指定する位置へ移設 (彫刻は専門業者にて移設)

N

A
D 展開表示方向 B
C

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事		NO. A-14
現況 １階平面詳細図(4) (解体撤去図)		SCALE A3:1/100 A1:1/50
	DATE 2024/03/15	SIGN

X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15 X16 X17 X18

5000 3500 5000 4000 1000 5500 1000 4000 5000 3500

Y12 Y11 Y10 Y8 Y4 Y3

3500 4000 6000 3900 6100 3500

廊下 FL±0

雨押え・水切 撤去

既存瓦：取外し再取付 全留め

軒樋 撤去

ﾄﾞﾚﾝ 撤去

竪樋 撤去

SUS排水漕
再利用の為保管

既存彫刻+石製台座
700x400xh1600
：現地養生（単管+ｺﾝﾊﾟﾈ）

既存建具撤去の上 開口拡大（RC斫り）

既存石製ベンチ
：再利用の為保管

西ﾃﾗｽ
FL-160

乾式ﾀｲﾙﾌﾞﾛｯｸ・防水撤去

既存石製ベンチ
：再利用の為保管

SUS排水漕
再利用の為保管

竪樋 撤去

ﾄﾞﾚﾝ 撤去

軒樋 撤去

既存瓦：取外し再取付 全留め

雨押え・水切 撤去

CH3080
展示室５
FL+20

CH3080
展示室８
FL+20

廊下
FL±0

屋復旧のためﾌｶｼ壁（木軸）撤去

既存ﾌｶｼ壁（木軸）撤去

竪樋 撤去

中庭ﾃﾗｽ
FL-175

ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ・防水撤去

立上り成形版 撤去
【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】

既存建具および
屋内側ﾌｶｼ壁（木軸）撤去の上

中庭
上部

既存瓦：取外し再取付 全留め

ﾄﾞﾚﾝ 撤去

手摺 再利用のため
取外し保管

EV

DN

CH3100
西階段
FL±0

CH3100
東階段
FL±0

CH3100
廊下
FL±0

CH3100
前室
FL±0

EXP. J

EXP. J

特記	※撤去する建具の仕様は建具表による

N

A B C D 展開表示方向

令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

NO. A-15

現況 ２階平面詳細図（1）（解体撤去図）

SCALE A3：1/100
A1：1/50

DATE 2024/03/15

SIGN

X6 X7 X8 X9 X11 X14 X16 X17 X18

5000 3500 5000 5000 5500 5000 5000 3500

Y15 Y14 Y13 Y12 Y11 Y10

5000 5000 3500 4000 6000

既存ｱｽﾌｧﾙﾄｼﾝｸﾞﾙ葺 撤去
既存ｱｽﾌｧﾙﾄｼﾝｸﾞﾙ葺 撤去
ﾄﾞﾚﾝ 撤去
ﾄﾞﾚﾝ 撤去
雨押え・水切 撤去
既存彫刻+石製台座
700x550xh2200
:現地養生(単管+ｺﾝﾊﾟﾈ)
既存彫刻+石製台座
700x680xh2200
:現地養生(単管+ｺﾝﾊﾟﾈ)
北ﾃﾗｽ
FL-80
SUS排水溝:再利用の為保管
SUS排水溝:再利用の為保管
乾式ﾀｲﾙﾌﾞﾛｯｸ・防水撤去
既存石製ベンチ
:再利用の為保管
既存石製ベンチ
:再利用の為保管
竪樋 撤去
竪樋 撤去
既存ｶﾝﾊﾞ壁(LGS)撤去
既存建具撤去の上
開口拡大(RC斫り)
既存ｶﾝﾊﾞ壁(LGS)撤去
既存ｶﾝﾊﾞ壁(LGS)撤去
雨押え・水切 撤去
CH3080
展示室６
FL+20
CH3100
休憩室
FL±0
CH3080
展示室７
FL+20
空調
機械室
ﾌｧﾝﾙｰﾑ
間仕切壁(LGS)撤去
EXP. J
廊下
FL±0
屋復旧のためｶﾝﾊﾞ壁(木軸)撤去
既存ｶﾝﾊﾞ壁(木軸)撤去
竪樋 撤去
竪樋 撤去
既存ｶﾝﾊﾞ壁(木軸)撤去
雨押え・水切 撤去
既存瓦 取外し再取付 全留め
軒樋 撤去
ﾄﾞﾚﾝ 撤去
竪樋 撤去
竪樋 撤去
SUS排水溝
再利用の為保管
既存彫刻+石製台座
700x400xh1600
:現地養生(単管+ｺﾝﾊﾟﾈ)
既存建具撤去の上 開口拡大(RC斫り)
CH3080
展示室５
FL+20
中庭ﾃﾗｽ
FL-175
既存瓦 取外し再取付 全留め
ﾄﾞﾚﾝ 撤去
ﾄﾞﾚﾝ 撤去
中庭ﾃﾗｽ
FL-175
CH3080
展示室８
FL+20
EXP. J
雨押え・水切 撤去
・水切
FL±0

特記	※撤去する建具の仕様は建具表による

N

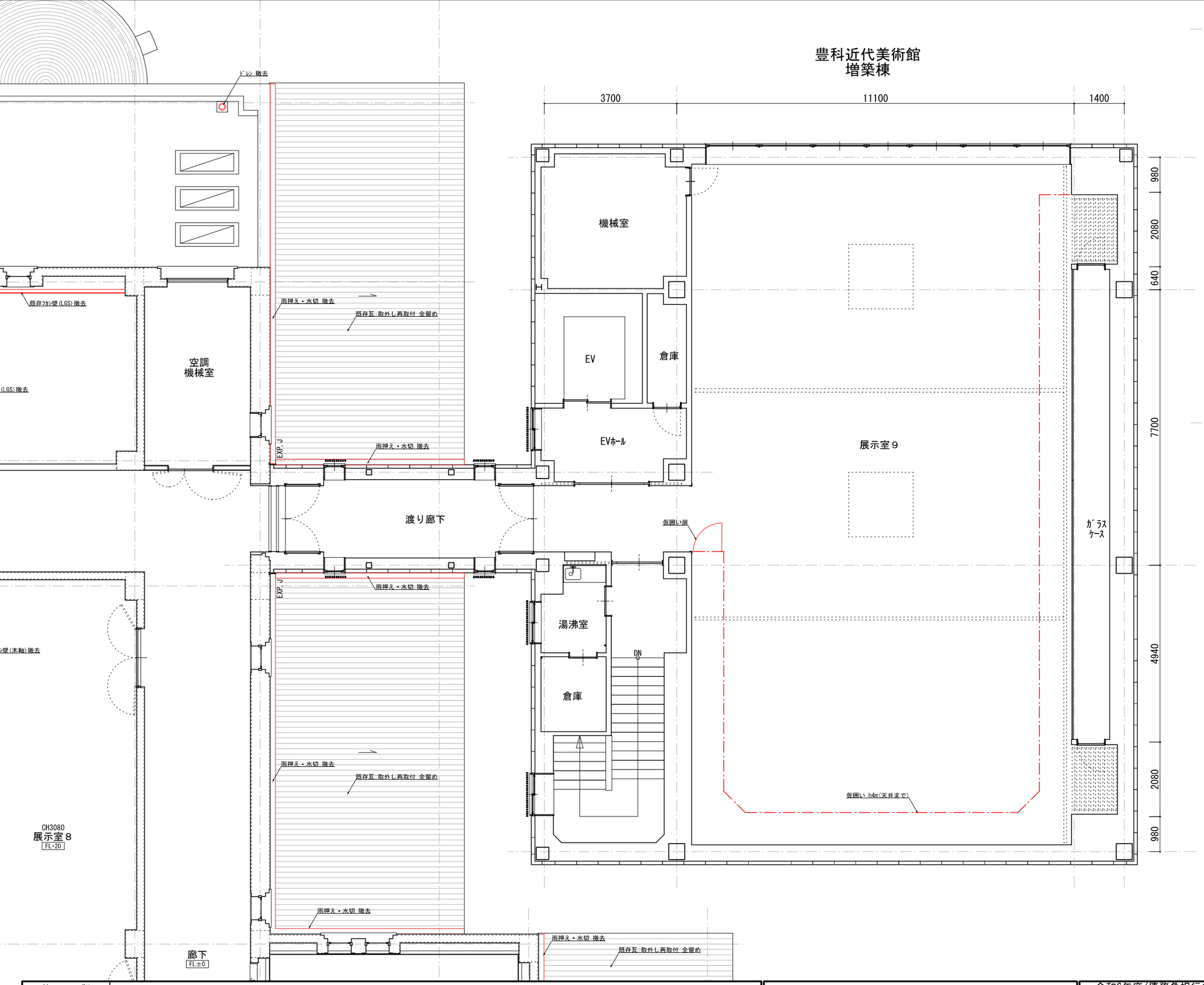
A B C D 展開表示方向

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

現況 ２階平面詳細図(2) (解体撤去図)

NO. A-16
SCALE A3:1/100 A1:1/50
DATE 2024/03/15
SIGN

豊科近代美術館
増築棟

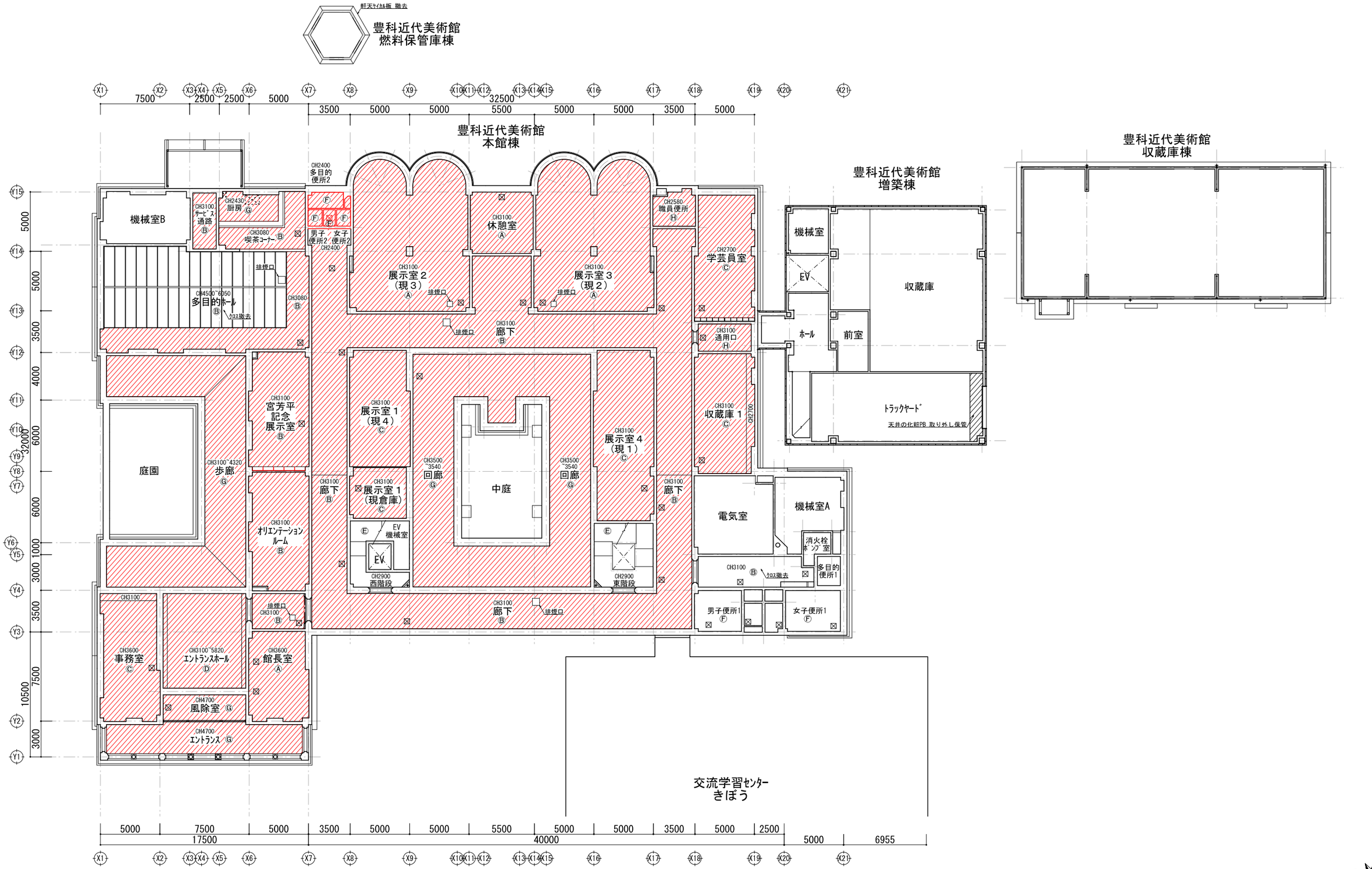


特　記	※撤去する建具の仕様は建具表による

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

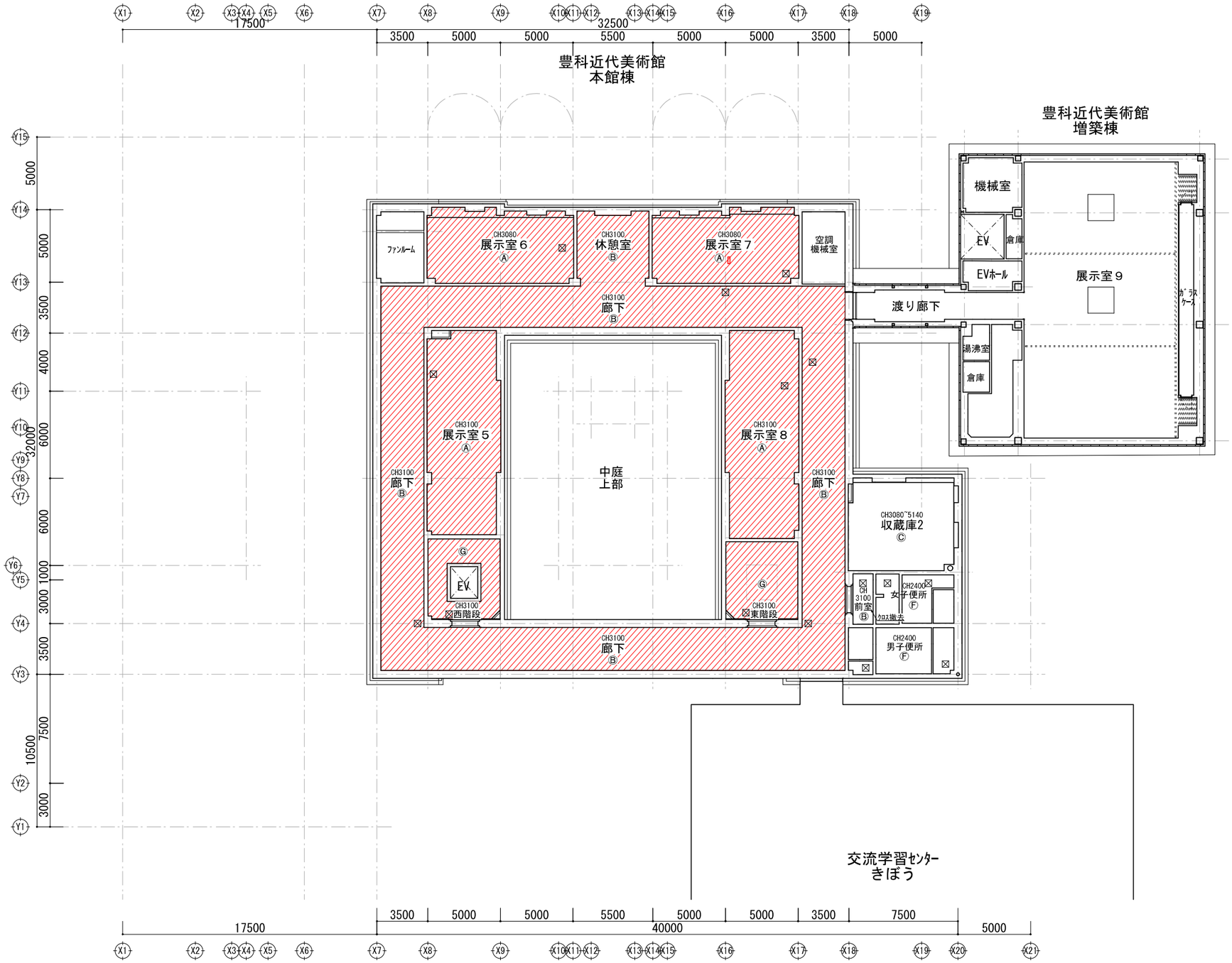
現況　２階平面詳細図(3)（解体撤去図）

NO. A-17
SCALE A3:1/100 A1:1/50
DATE 2024/03/15
SIGN



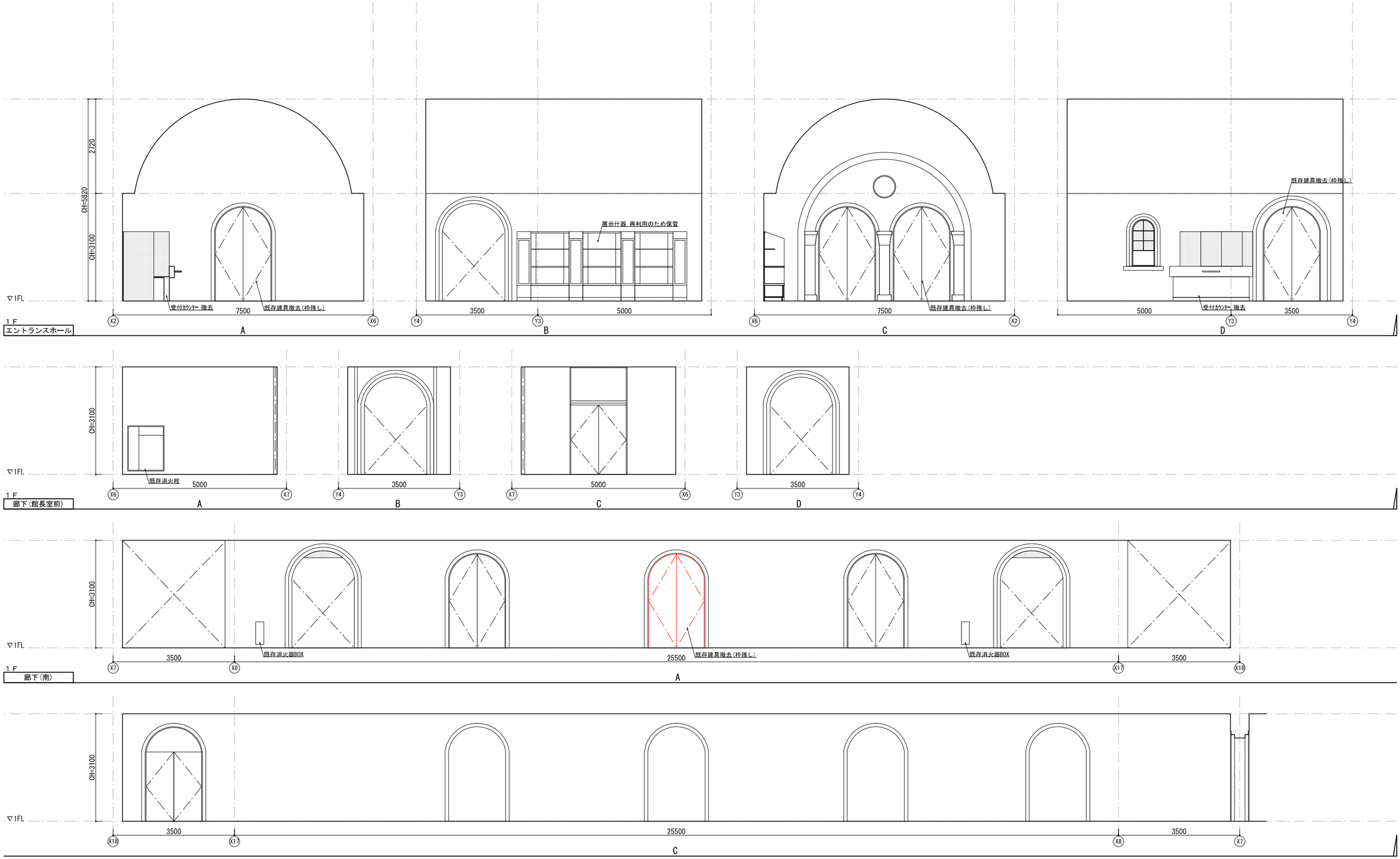
特記	
	▨ :天井仕上・下地(LGS吊木まで) 撤去範囲を示す
	Ⓐ :PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9
	Ⓑ :PB t=9.5 +ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り
	Ⓒ :化粧PB t=9.5
	Ⓓ :曲面ﾎﾞｰﾄﾞ【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】
	Ⓔ :ﾓﾙﾀﾙ【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】 +複層仕上塗材
	Ⓕ :耐水PB t=9.5 +吹付ﾀｲﾙ 吹付
	Ⓖ :ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=6 塗装仕上【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】
	Ⓗ :PB t=9.5 塗装仕上

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事		NO. B-18
現況 1階天井伏図（解体撤去図）		SCALE A3:1/300 A1:1/150
	DATE 2024/03/15	SIGN

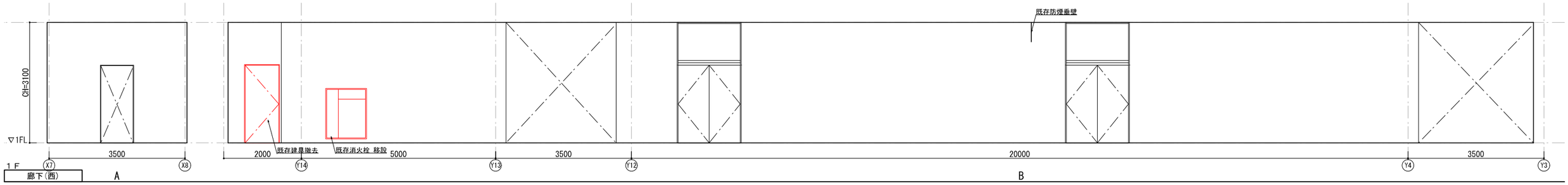


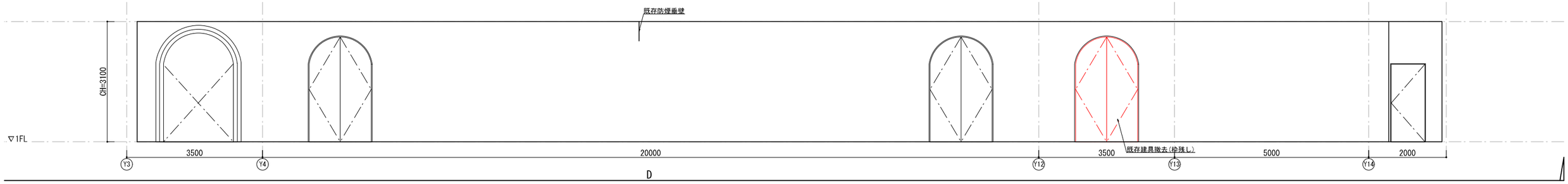
特記	
	▨ :天井仕上・下地(LGS吊木まで) 撤去範囲を示す
	Ⓐ :PB t=9.5 +岩綿吸音板 t=9
	Ⓑ :PB t=9.5 +ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り
	Ⓒ :化粧PB t=9.5
	Ⓓ :曲面ﾎﾞｰﾄﾞ【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】
	Ⓔ :ﾓﾙﾀﾙ【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】 +複層仕上塗材
	Ⓕ :耐水PB t=9.5 +吹付ﾀｲﾙ 吹付
	Ⓖ :ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=6 塗装仕上【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】
	Ⓗ :PB t=9.5 塗装仕上

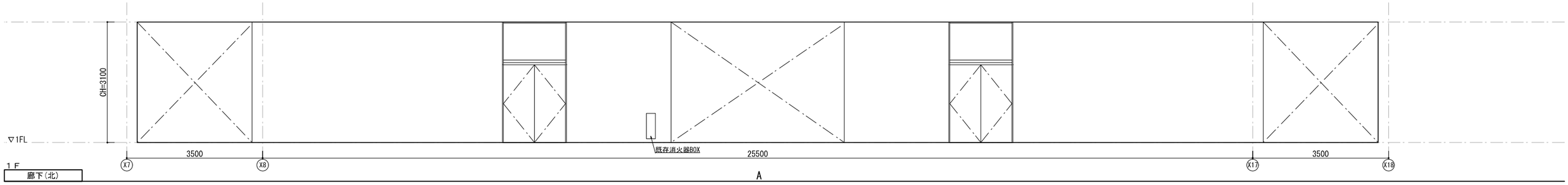
令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO.	B-19
現況 ２階天井伏図（解体撤去図）	SCALE	A3:1/300 A1:1/150
	DATE	2024/03/15
	SIGN	

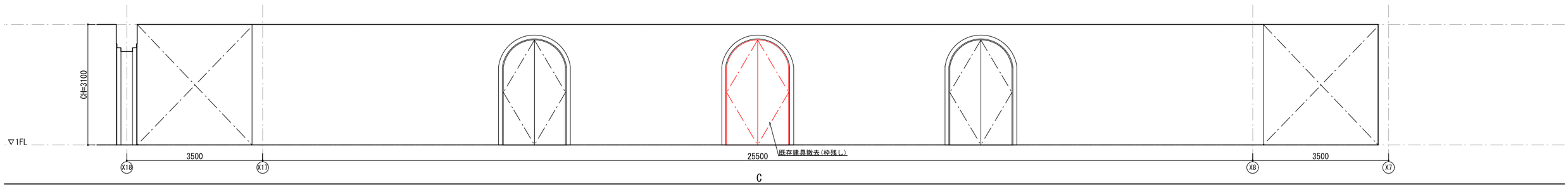


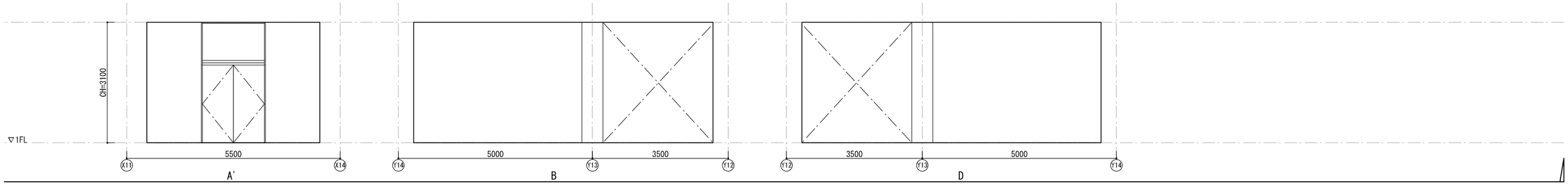
特　　記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. B-20
			現況　展開図（1）（解体撤去図）	SCALE A3：1/100 A1：1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN



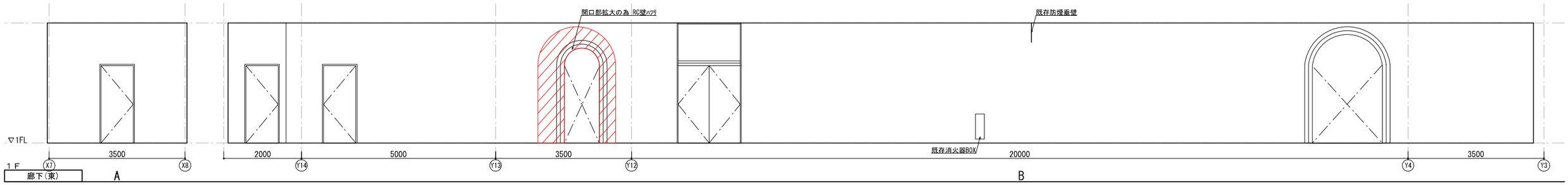


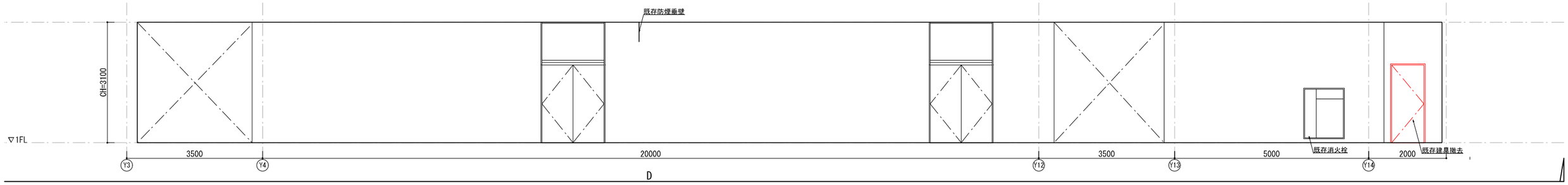


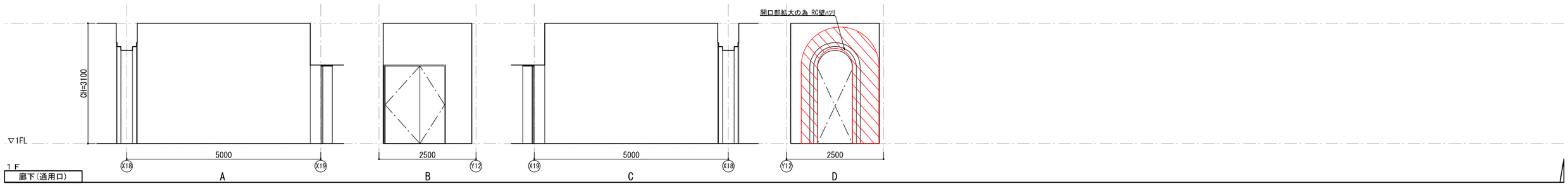


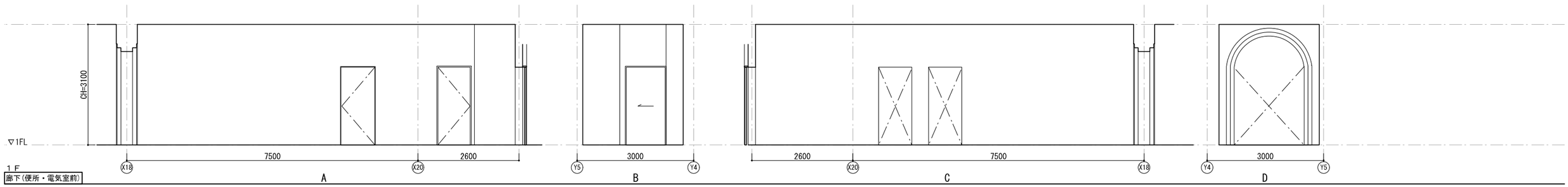


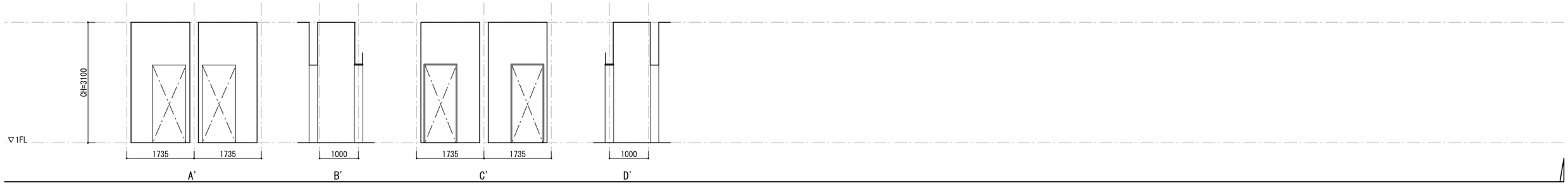
特　　記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. B-21
			現況　展開図（2）（解体撤去図）	SCALE A3：1/100 A1：1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN





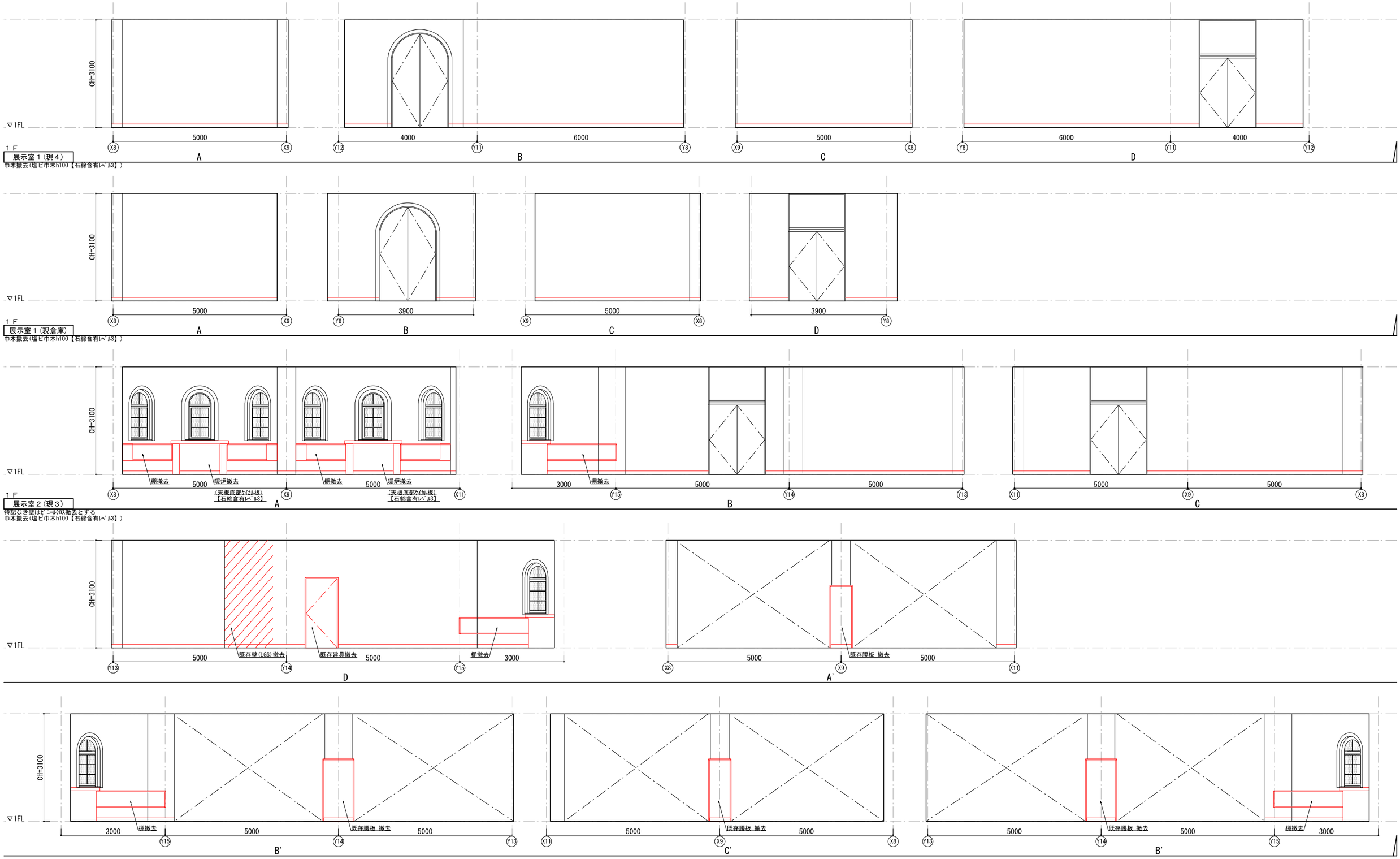




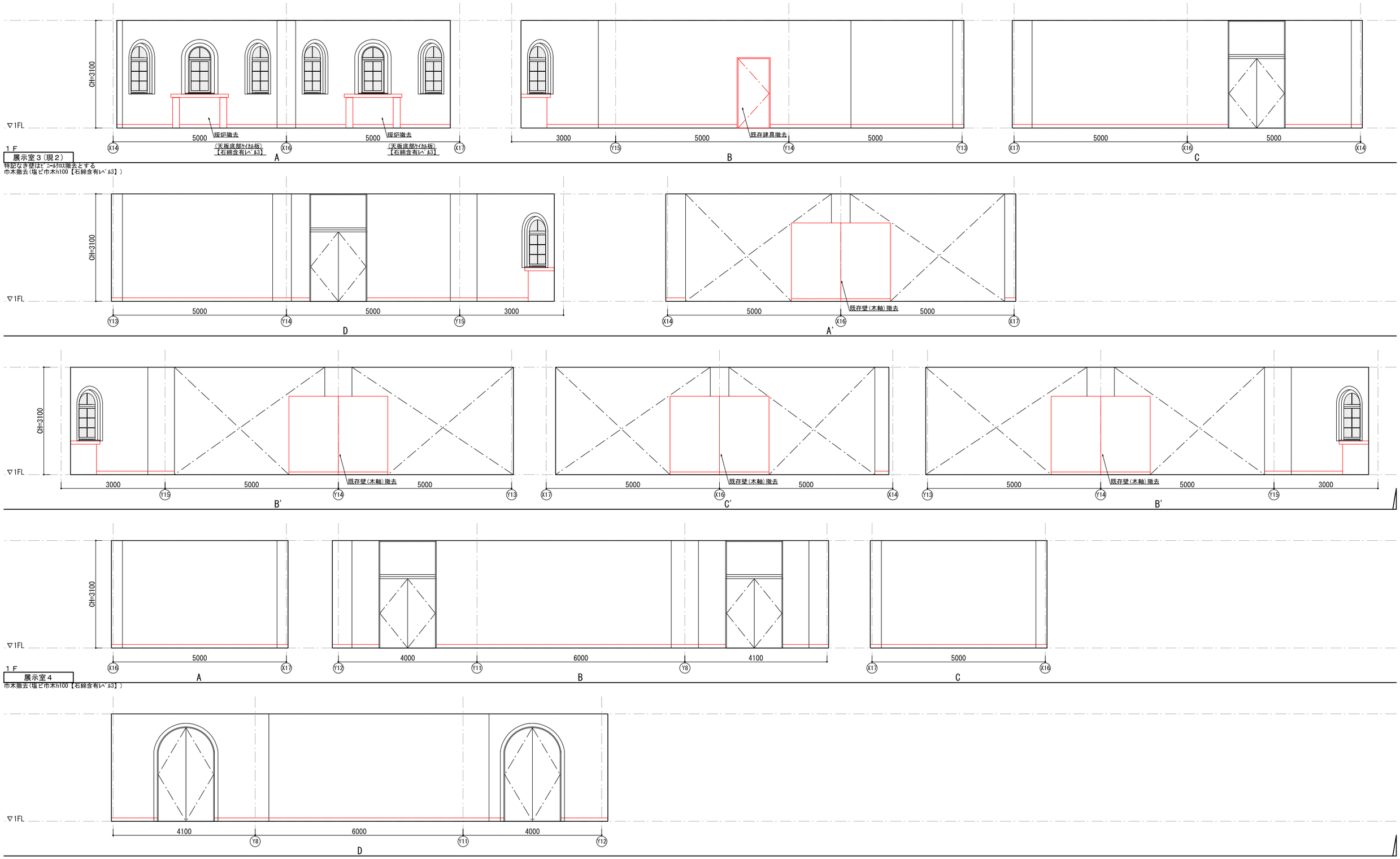


特　　記	

令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. B-22
現況　展開図（3）（解体撤去図）	SCALE A3：1/100 A1：1/50
DATE 2024/03/15	SIGN



特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. B-23
			現況 展開図(4) (解体撤去図)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN



特　　記	

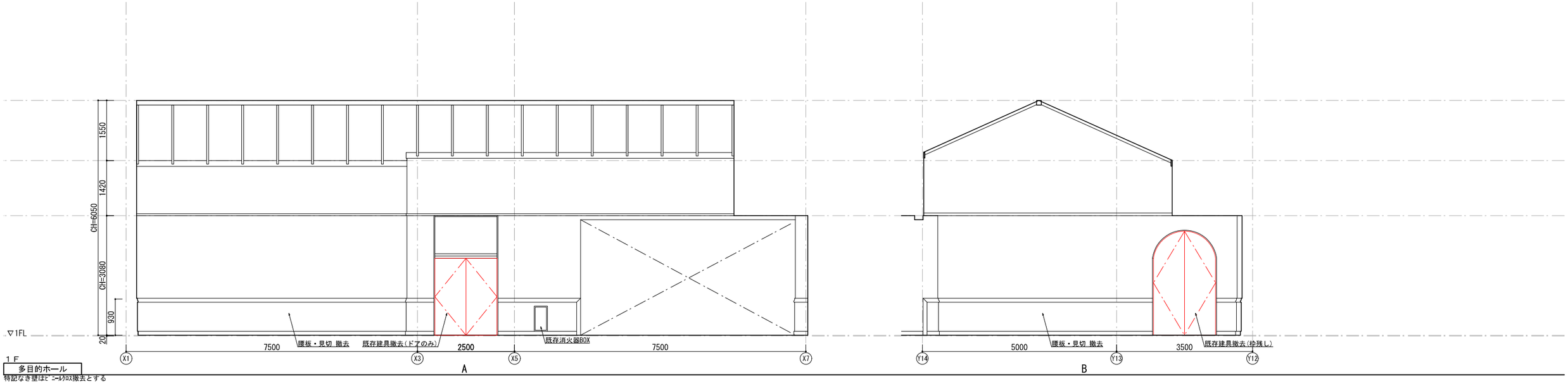
令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事		NO. B-24
現況　展開図（5）（解体撤去図）		SCALE A3：1/100 A1：1/50
	DATE 2024/03/15	SIGN

特記	

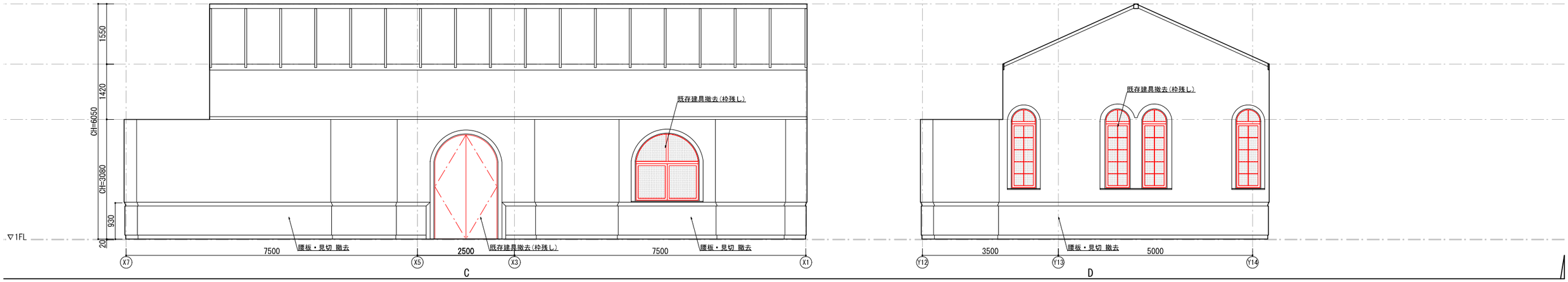
令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

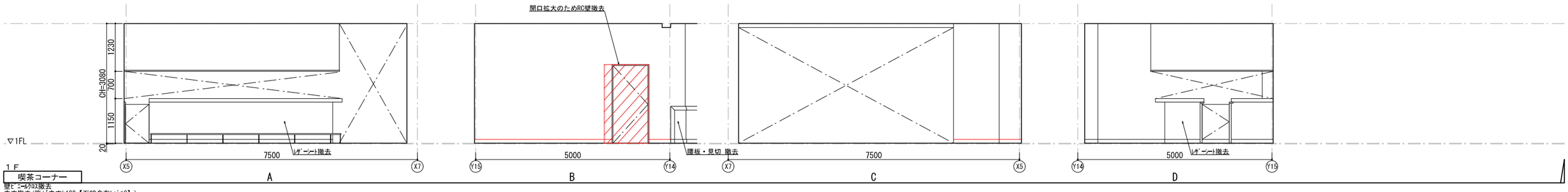
現況 展開図(6) (解体撤去図)

NO.	B-25
SCALE	A3:1/100 A1:1/50
DATE	2024/03/15
SIGN	



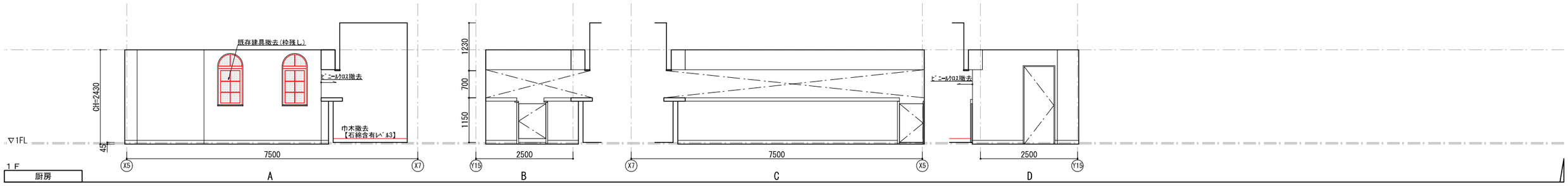
1 F
多目的ホール
特記なき壁はﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ撤去とする

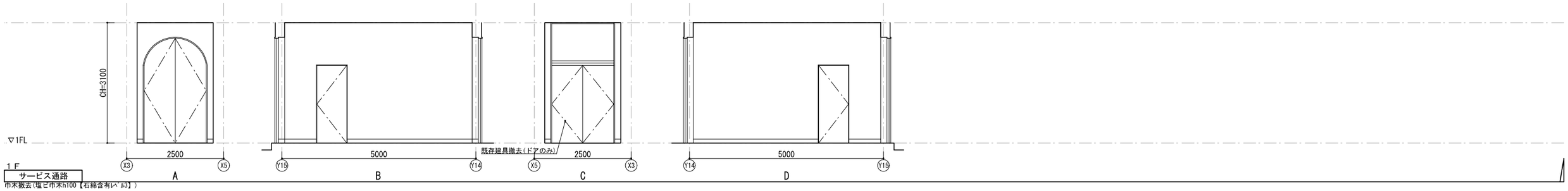




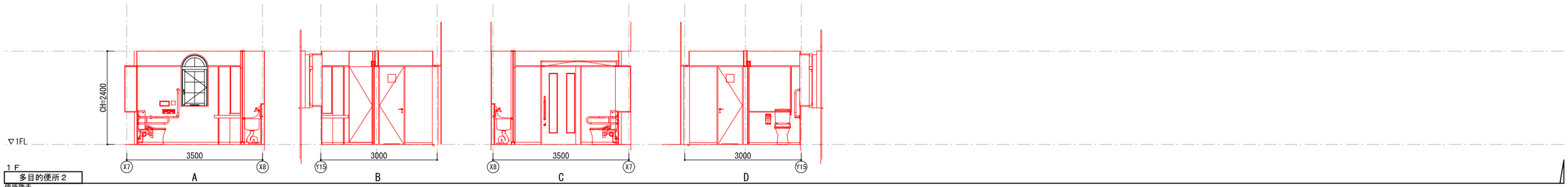
1 F
喫茶コーナー
壁ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ撤去
巾木撤去（塩ビ巾木h100【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】）

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. B-26
			現況 展開図(7) (解体撤去図)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN

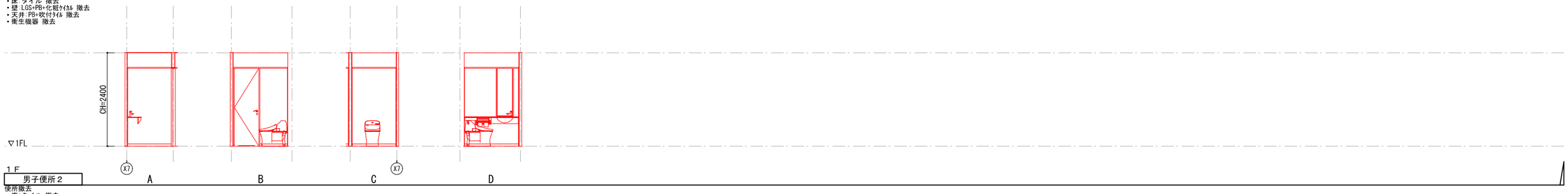




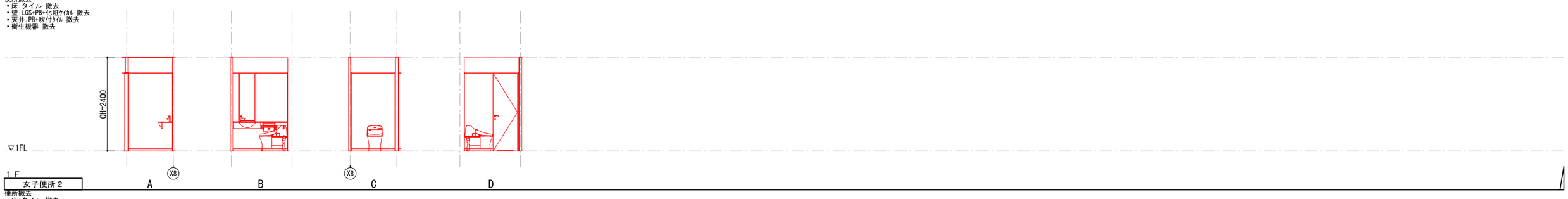
巾木撤去(塩ビ巾木h100【石綿含有ﾚﾍﾞﾙ3】)



便所撤去
・床:タイル 撤去
・壁:LGS+PB+化粧ｹｲｶﾙ 撤去
・天井:PB+吹付ﾀｲﾙ 撤去
・衛生機器 撤去



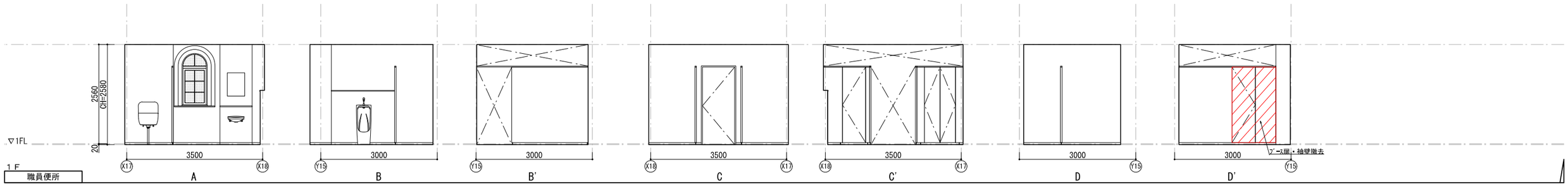
便所撤去
・床:タイル 撤去
・壁:LGS+PB+化粧ｹｲｶﾙ 撤去
・天井:PB+吹付ﾀｲﾙ 撤去
・衛生機器 撤去

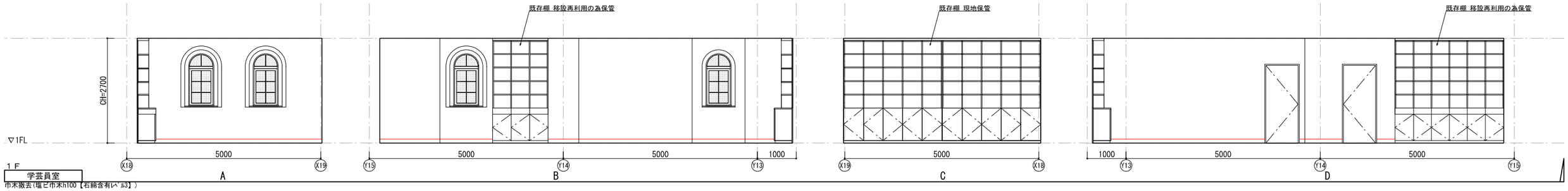


便所撤去
・床:タイル 撤去
・壁:LGS+PB+化粧ｹｲｶﾙ 撤去
・天井:PB+吹付ﾀｲﾙ 撤去
・衛生機器 撤去

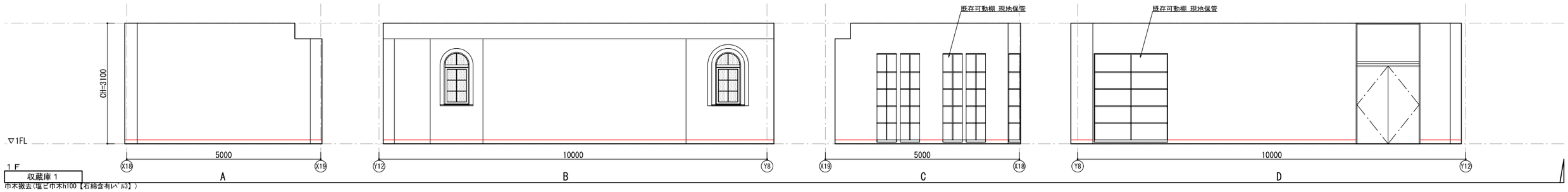
特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			現況 展開図(8) (解体撤去図)
			DATE 2024/03/15

NO. B-27
SCALE A3:1/100 A1:1/50
SIGN



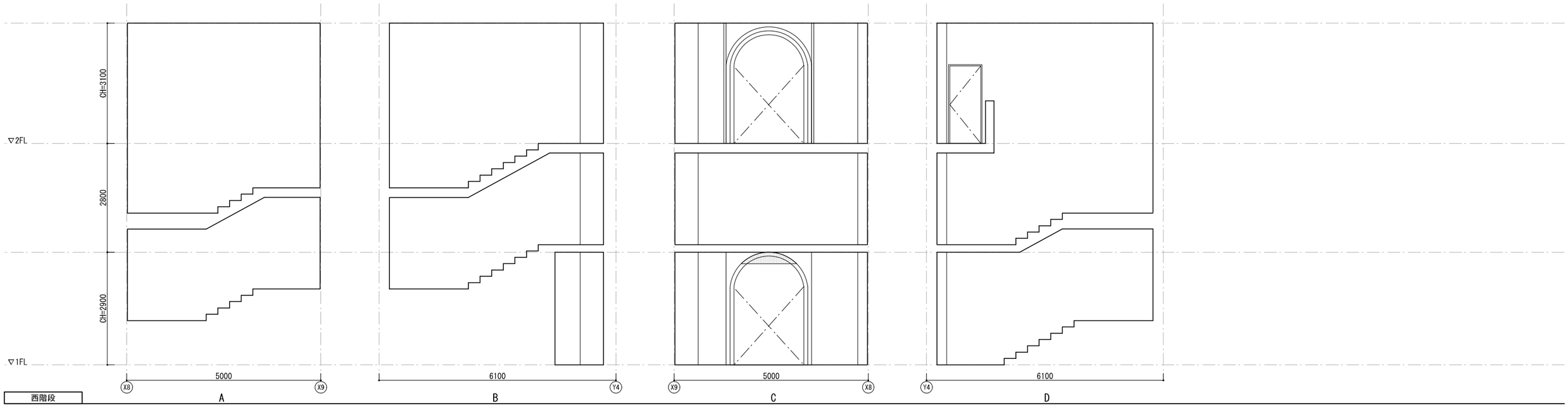


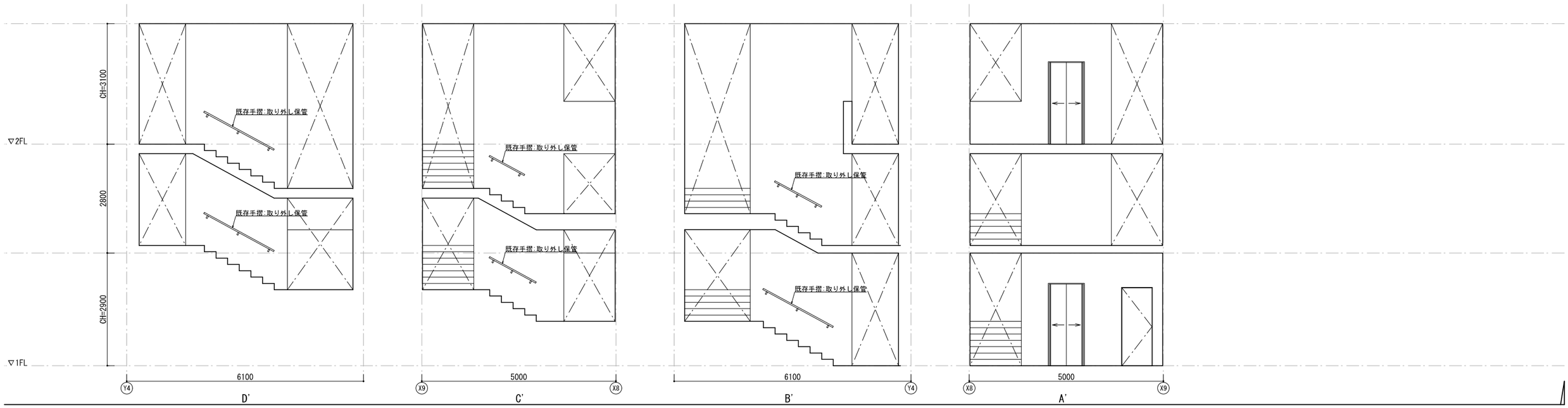
市木撤去(塩ビ市木h100【石綿含有レベル3】)



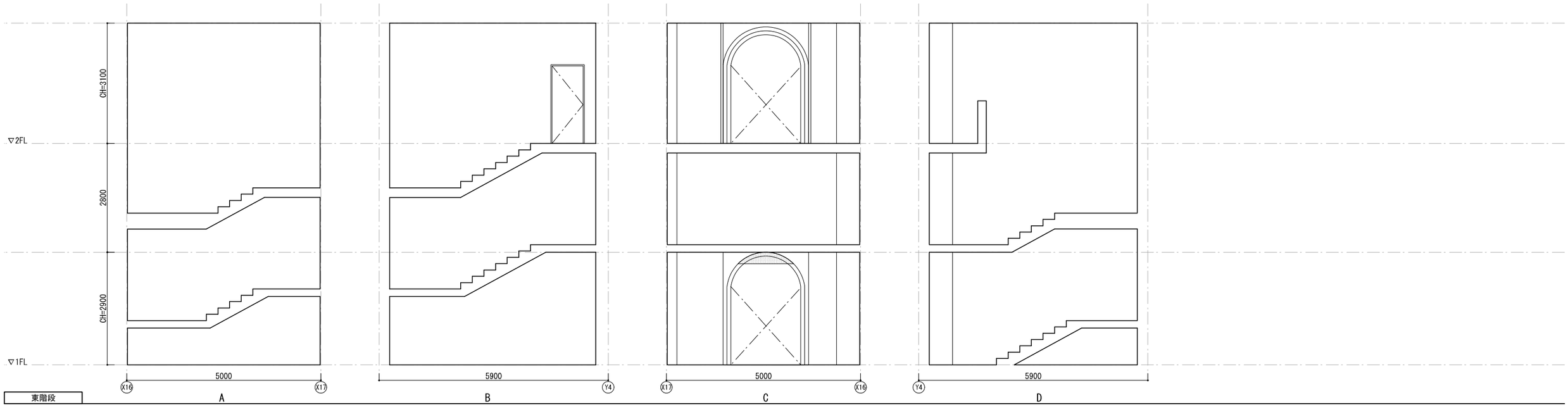
市木撤去(塩ビ市木h100【石綿含有レベル3】)

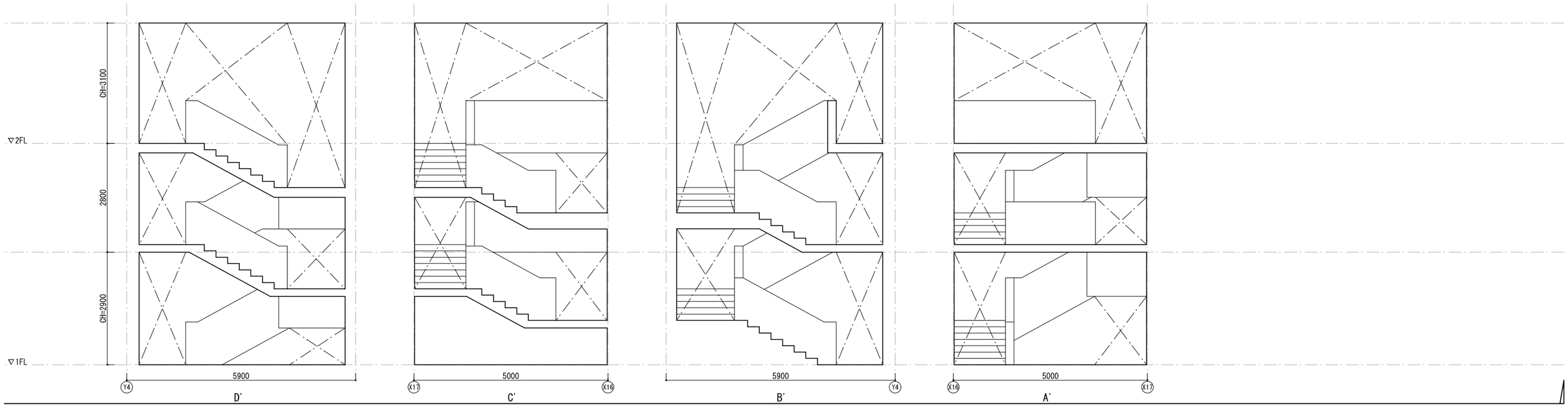
特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. B-28
			現況 展開図(9) (解体撤去図)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN



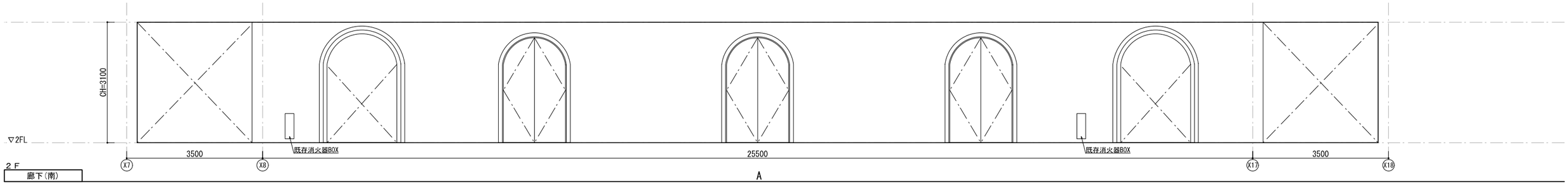


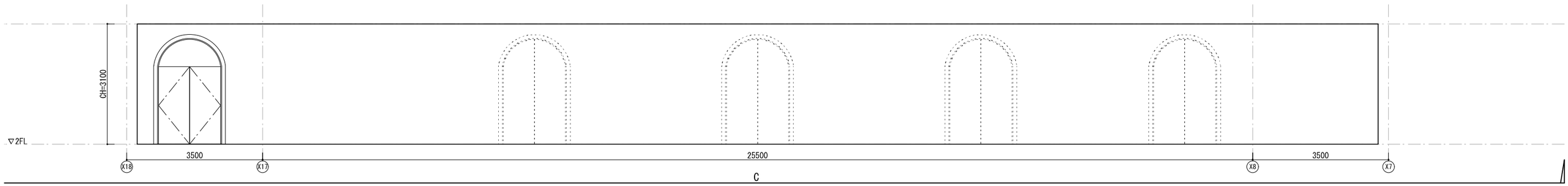
特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. B-29
			現況 展開図(10) (解体撤去図)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN

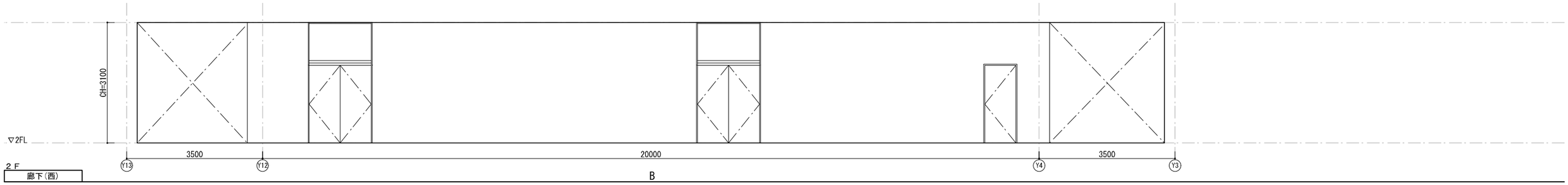


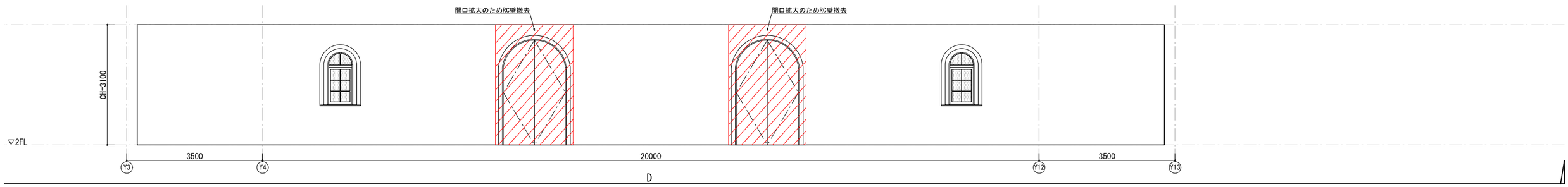


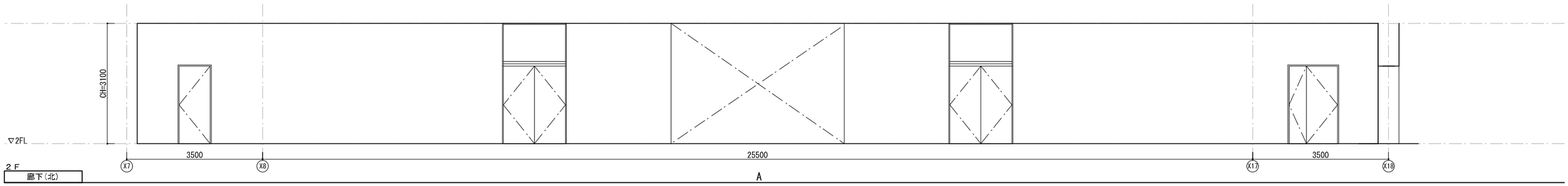
特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			現況 展開図(11) (解体撤去図)
			DATE 2024/03/15
			NO. B-30
			SCALE A3:1/100 A1:1/50
			SIGN



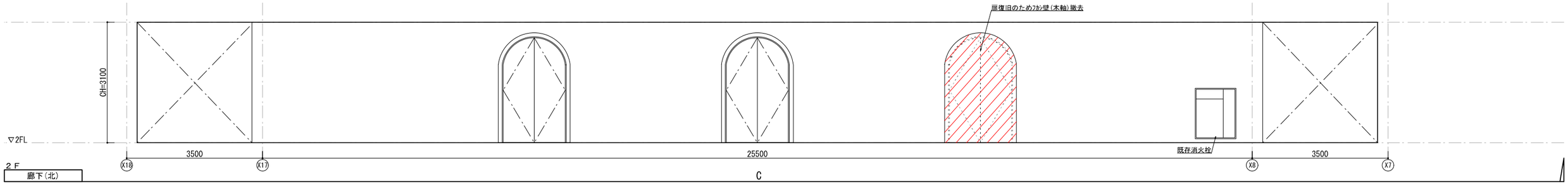


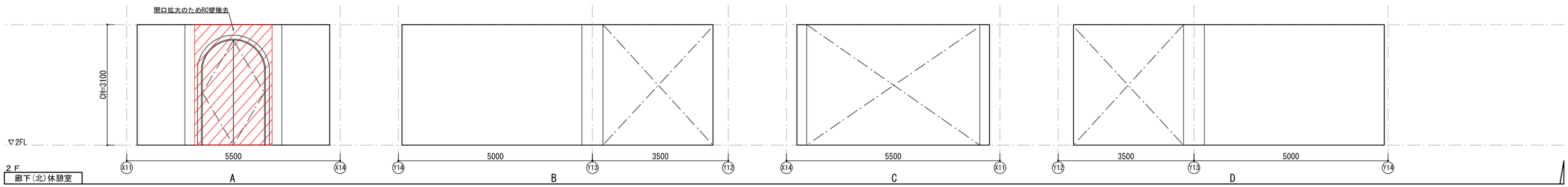


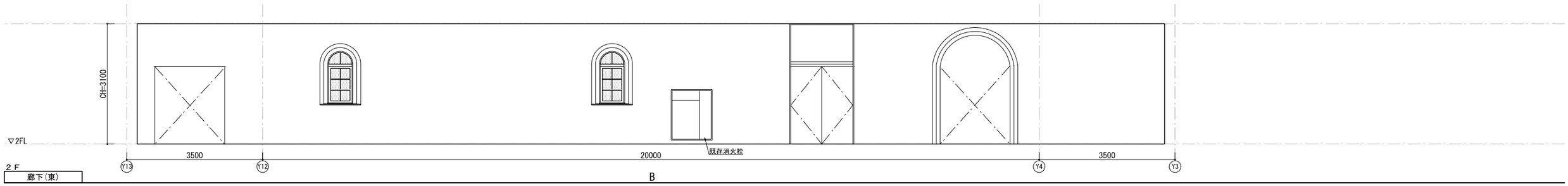


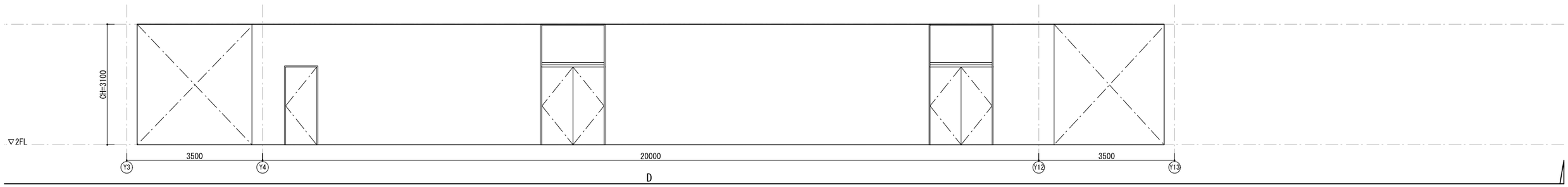


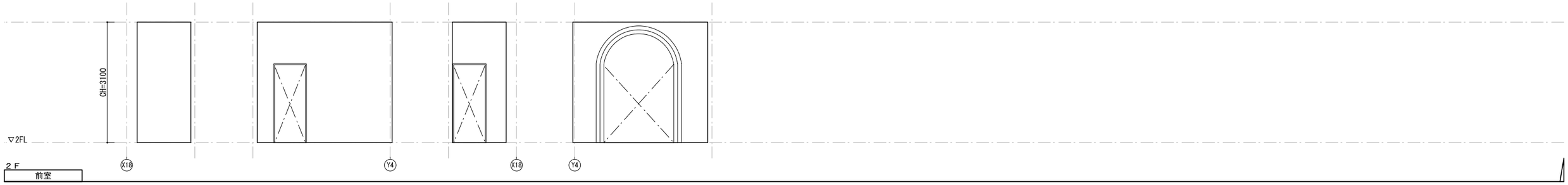
特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. B-31
			現況 展開図(12) (解体撤去図)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN





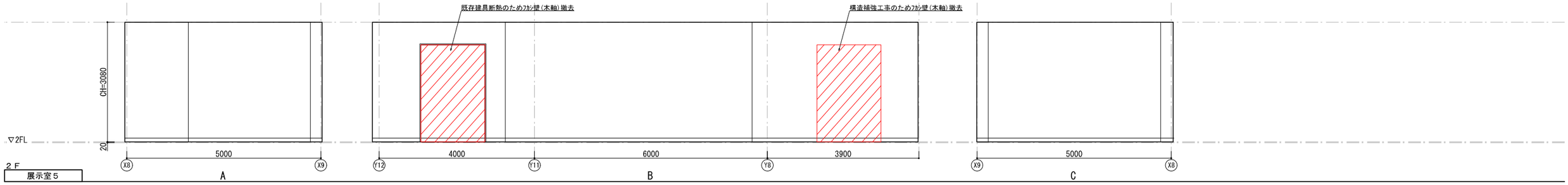


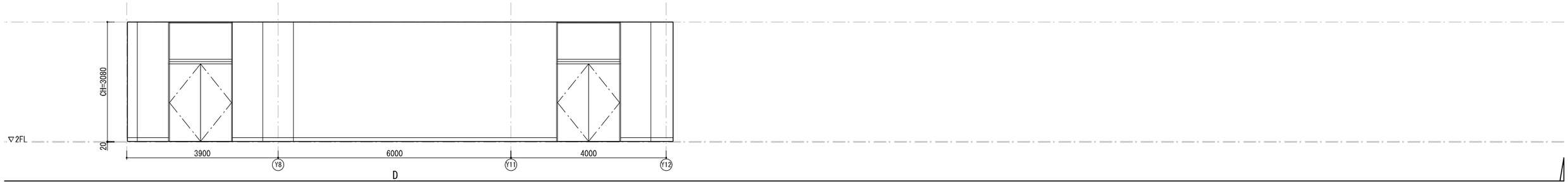


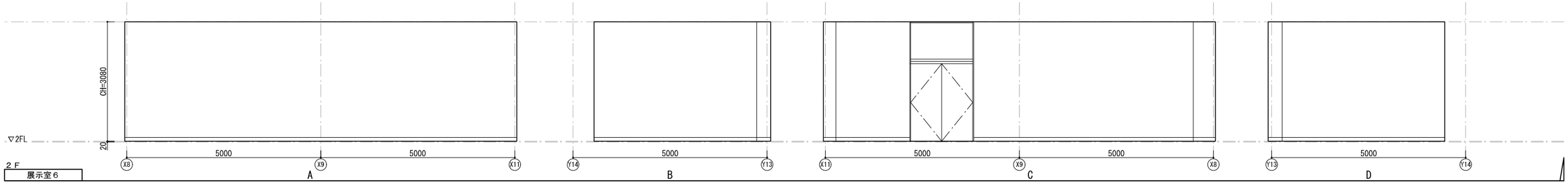


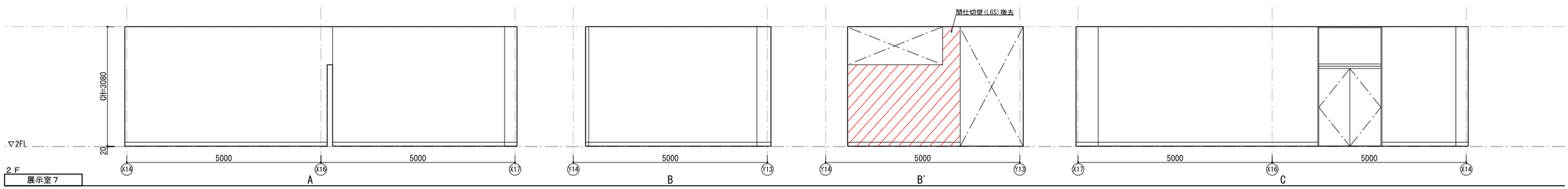
特　　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			現況 展開図(13) (解体撤去図)
			DATE 2024/03/15

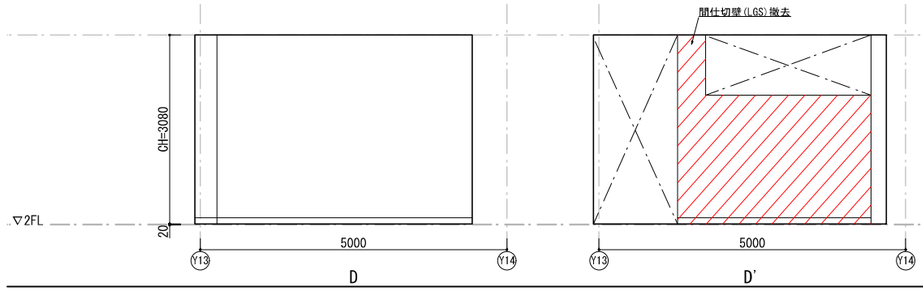
NO. B-32
SCALE A3:1/100 A1:1/50
SIGN



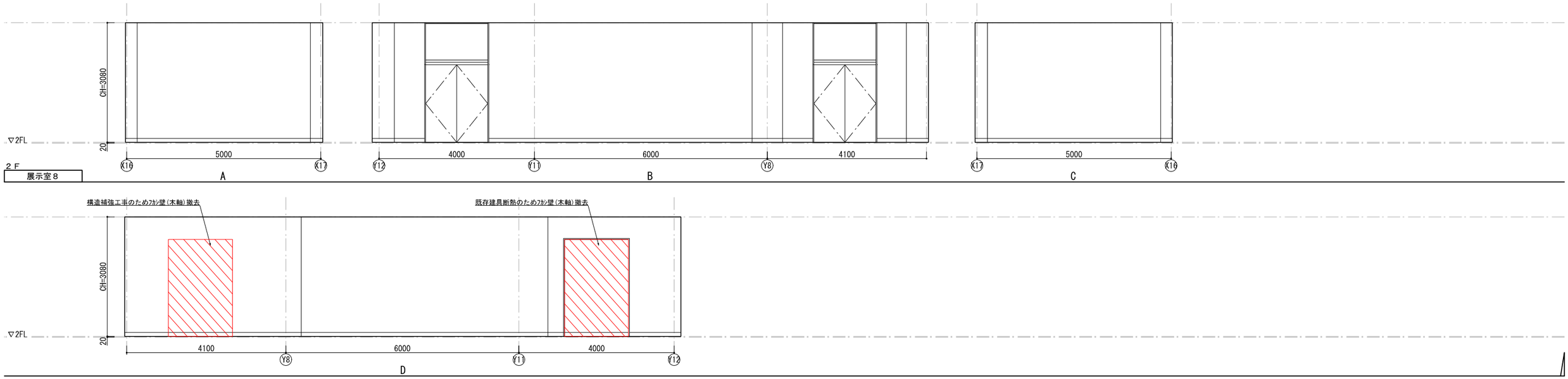








特　　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. B-33
			現況 展開図(14) (解体撤去図)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN



特　　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. B-34
			現況 展開図(15) (解体撤去図)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN

補 強 工 事 特 記 仕 様 書

Ⅰ　工 事 概 要

１．工事名称

令和６年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業大規模改修工事

２．工事場所

安曇野市豊科 5609-3

３．工事規模

１）建築面積　　２１９１．１６　㎡

２）延床面積　　２６０６．６２　㎡

３）規　　模　　地上　２階　地下　０階　塔屋　０階　（鉄筋コンクリート造）

４．適用範囲

※　本工事は、豊科近代美術館大規模改修工事の内、耐震改修に適用する。

１）本工事は、設計図及び構造特記仕様書に基づくものとし、これらに記載なき場合は、下記仕様書による。

２）「公共建築工事標準仕様書」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和 4 年版

３）「建築工事監理指針」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和 4 年版

４）「公共建築改修工事標準仕様書」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和 4 年版

５）「建築改修工事監理指針」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和 4 年版

６）　既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説　日本建築防災協会

７）　既存鉄骨造建築物の耐震改修設計指針・同解説　日本建築防災協会

５．工事計画

１）本工事は、既存の構造体に対して部材を増設することにより耐震性の向上及び改善を図るものである。

２）設計図の寸法は参考とし、躯体寸法、階高寸法その他は実測による。

３）新設部と既存部との定着を十分に行い、既存構造体との一体化を図る。

４）施工に先立ち全行程の施工計画書を、作成し承諾を得る事。

５）各試験は試験の方法、及び試験結果の報告を遅滞なく行う事。

６．注意事項

１）既存の躯体状況は、施工者の責任をもって事前に調査を行い、図面と既存躯体との内容に相違があった場合や不明なヶ所が生じた場合等は、すべて監督員との協議に拠るものとする。

２）騒音、粉塵及び汚染等の支障を及ぼす範囲は可能な限り最小限とする。

３）既存配管、配線及び器具等を十分に調査し、損傷を与えないように注意する。

Ⅱ　仮 設 工 事

１）工事期間中に施設の一般使用が考えられる場合は、工事ヶ所周囲に仮囲いを設け工事関係者以外の工事ヶ所への立入りを防ぎ安全を図る。

２）工事関係車両と一般使用者との出入り口を明確に分ける。

３）既存部材及び器具類等に損傷を与えないよう十分注意を払い、必要に応じてシート等にて養生を行う。

４）仮設足場は、作業内容（採寸、撤去、取付け）に応じて組み替えることを前提に計画する。

Ⅲ　撤 去 工 事

１）仕上及びコンクリート等の撤去に際しては、最小限必要な範囲とし残りの部分を傷めないよう十分注意する。

２）塗り仕上げまたはこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッター等で切り込みを付けてから撤去する。
なお、躯体を撤去する場合は、両面から切り込みを付けてから行う。

３）はつり工事は構造躯体に悪影響を与えない方法で、丁寧に行う事。

４）増設する部材に接する既存コンクリートは、十分に目荒らしを行い増設部材との一体化を図る。
なお、目荒らしは他の部分にひび割れを生じさせないよう、平均深さ５㎜（最大で１０㎜）程度の凹凸を打継面の全面にわたって付ける事。

５）増設するコンクリートの打設前に、はつりくずや粉末などを十分除去し、数日前から水湿しを行う。

６）躯体等撤去後、露出する鉄筋小口等は防錆処理の上適切に処理する。

７）既存部材の撤去（例えばブレースや仕口溶接部のガウジング等）によって構造体の安定性や強度が低下する場合があるので、撤去と新設部材取付けの手順をよく検討し、安全に配慮する。

８）構造体の安定性が大きく低下する場合は、仮設の支持部材を設置する。

Ⅳ　使 用 材 料

１．使用コンクリート（レディーミクストコンクリート使用）

レディーミクストコンクリートの類別　Ⅰ類

Ｆｃ ＝ ２４ Ｎ/㎟ 以上　スランプ　１８cm 以下

単位水量の最大値　１８５ kg /㎥

単位セメント量の最少値　２７０ kg /㎥　（普通ポルトランド）

水セメント比の最大値　６５ %

粗骨材の最大寸法　２５㎜ 以下

必要に応じ膨張性混和材を用いる。（メーカー管理において生コン工場にて配合）

施工要領書を作成し、監督員の承諾を得る。

２．使用鉄筋・他　・各ミルシート提出のこと

Ｄ１６以下　ＳＤ２９５　ＪＩＳ Ｇ ３１１２

Ｄ１９以上　ＳＤ３４５　ＪＩＳ Ｇ ３１１２

３．使用鉄骨・他　・各ミルシート提出のこと

ＳＳ４００　ＪＩＳ Ｇ ３１０１

錆止塗装　ＪＩＳ Ｋ ５６７４（工場２回塗）

４．使用モルタル　（無収縮モルタル）

プレミックスタイプ　早強型特殊セメント系無収縮モルタル

Ｆｃ ＝ ３０ Ｎ/㎟以上

施工要領書を作成し、監督員の承諾を得る。

５．あと施工アンカー

あと施工アンカーは、（社）日本建築あと施工アンカー協会の認証製品とする。

接着系アンカーはカプセル型接着系アンカー（回転・打撃型、有機系）とし、確認耐力は下表以上とする。

アンカー筋の呼び名	引抜き耐力　(kN/本)			せん断耐力	引抜き確認強度
	アンカー筋	付着力	コーン破壊時	(kN/本)	
12	19.8	27.1	20.0	13.9	13.2
22	133.5	136.8	144.1	93.4	89.0

金属系アンカーは本体打込み式（改良型）とし、確認耐力は下表以上とする。

アンカー筋の呼び名	引抜き耐力　(kN/本)			せん断耐力	引抜き確認強度
	アンカー本体	接合筋	コーン破壊時	(kN/本)	

Ⅴ　試 験 ・ 確 認 等

１）コンクリート

荷下し地点における品質検査試験は、「公共建築改修工事標準仕様書」令和4年版　による。

２）鉄骨溶接部

試験の規準は、（社）日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準」による。

完全溶け込み溶接部は超音波探傷による第３者全数検査を行う。（６㎜以上）

隅肉溶接部及び部分溶け込み溶接部は全数外観検査を行う。

３）あと施工アンカー

施工後の確認試験は、「公共建築改修工事標準仕様書」令和４年版　による。

全数打音検査を行う。

Ⅵ　鉄 骨 補 強 工 事

１．補強符号・位置

開口閉塞耐震壁補強　：伏図に図示

スリット補強　：伏図に図示

２．前処理

１）現場溶接や高力ボルト接合をする部分は、塗料・モルタル・コンクリートあるいは埃などの除去を十分に行い、異常がないかどうかを確認する。

２）補強対象周辺の部材に変形や溶接欠陥あるいは錆による断面欠損などが認められた場合には、適切な補正を施した上で、予定の補強作業を行う。

３）部材の外面には、ポンチやたがねなどの打痕を残してはならない。ただし、切断、穴あけ、溶接等により除去される場合はこの限りではない。

３．溶接接合

１）溶接は「建設工事標準仕様書　ＪＡＳＳ６鉄骨工事　５節　溶接」による。

２）現場での溶接法は被覆アーク溶接またはガスシールドアーク溶接とし、どちらにするかは状況に応じて決定する。ただし、シャーコネクターの溶接については、アークスタッド溶接または被覆アーク溶接またはガスシールドアーク溶接とする。

３）溶接に従事する者は、各溶接方法についての下記有資格溶接技能者でなければならない。

「被覆アーク溶接（アーク手溶接）技能者」
ＪＩＳ Ｚ ３８０１（溶接技術検定における試験方法および判定基準）に従う板厚・溶接方法・溶接姿勢に応じた溶接技術試験に合格した有資格者（下記○印の有資格者）

・ Ａ-Ｎ-２Ｆ　・ Ａ-Ｎ-２Ｈ　・ Ａ-Ｎ-２Ｖ　・ Ａ-Ｎ-２Ｏ　・ Ａ-Ｎ-２Ｐ

・ Ａ-Ｎ-３Ｆ　・ Ａ-Ｎ-３Ｈ　・ Ａ-Ｎ-３Ｖ　・ Ａ-Ｎ-３Ｏ　・ Ａ-Ｎ-３Ｐ

「半自動溶接（ガスシールドアーク溶接）技術者」
ＪＩＳ Ｚ ３８４１（半自動溶接技術検定における試験方法および判定基準）に伴う板厚・溶接方法・溶接姿勢に応じた溶接技術試験に合格した有資格者

４）開先形状は、設計図書の溶接基準または「建築工事標準仕様書　ＪＡＳＳ６鉄骨工事付則５」の開先標準による。

５）開先精度や仕上り形状の確認は「建築工事標準仕様書　ＪＡＳＳ鉄骨工事　付則６」の鉄骨精度検査基準による。

６）仮組立て時に、仕口のずれやルートギャップの不適切がないかどうかを確認する。

７）破断の起点となり易い溶接部の表面欠陥が出来ないように適切な施工を行う。

８）補修溶接の場合においても、必ず適正な予熱を施し、パス間温度の管理を行う。

４．高力ボルト接合

１）高力ボルト接合は「建設工事標準仕様書　ＪＡＳＳ６鉄骨工事　６節　高力ボルト接合」による。

２）締付け施工法は、高力六角ボルトについては、トルクコントロール法またはナット回転法とする。トルシア形高力ボルトでは、専用の締付け機を用い、ピンテールが破断するまでナットを締め付ける方法をとる。ただし、専用の締付け機が使用できない部位では高力六角ボルトと交換し、トルクコントロール法またはナット回転法により締め付ける。

３）締め付け後の検査では、高力六角ボルトについては一次締め付け後に付けたマークのずれにより、共回りの有無、ナット回転量及びナットからの突き出た余長（１山～６山の範囲を可とする）の過不足を目視検査し、異常が認められないものを合格とする。トルシア形高力ボルトでは、上記の他にピンテールの破断を確認する。

４）検査の結果異常が認められた場合は、新しいセットに取り替える。また、一度使用したボルトは再使用してはならない。

５．あと施工アンカー

１）あと施工アンカー施工者は、「公共建築改修工事標準仕様書」による技術者とする。

２）あと施工アンカーの穿孔に先立ち、鉄筋探知器等により既存鉄筋及び埋設管等の位置を把握し、既存部の損傷を極力避ける。

３）あと施工アンカーの施工位置は設計どうりにならない場合があるので、部材の取付け位置を考慮して穴あけ位置を決定する。

４）あと施工アンカーの穿孔は、躯体コンクリートに割裂等が生じないように十分注意し、鉄筋等に当たった場合は、穿孔を中止し、付近の位置に再穿孔を行う。中止した孔は、モルタルで充填する。（付近の位置とはｄ／２程度とし、工事監理者の承諾を受ける。）

５）あと施工アンカーの穿孔後、穿孔深さを確認し、専用ブラシにより入念な清掃を行う。

５．ＲＣ工事

１）鉄骨部材を新設する場合、ＲＣ躯体の増設が必要になる場合があるが、新設部と既設部との一体性を確保するため、目荒しやはつり、あるいはだぼ鉄筋の取付けを確実に行う。

６．あと処理

１）鉄骨の高力ボルト接合部、溶接部及び周辺のスラグやスパッタを十分に除去した後、錆止め塗装を行う。（ＪＩＳ Ｋ ５６７４ ２回塗り）
ＲＣ躯体との隙間へのモルタルやグラウト材の注入を丁寧に行い、密着が不十分とならないようにする。

７．注意事項

１）鉄骨加工に先立ち、既存躯体の寸法等の実測を行い、工作図を作成し、承認を受ける。

２）鉄骨加工工場は，全国鉄鋼工業連合会　Ｍグレード以上の認定工場とする。

３）工事監理者の承認を必要とするもの（下記○印）

⊙制作工場　⊙制作要領書　・工作図　⊙施工計画書　・溶接技能者証

⊙材料規格証明書または試験成績書　（鋼材、高力ボルト、接着系アンカー）

４）工事監理者及び諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。

５）必要に応じ記録写真を撮り保管すること。

特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. S－01
			補強工事特記仕様書	SCALE A3: non A1: non
			DATE 2024/03/15	SIGN

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）

1．一般事項

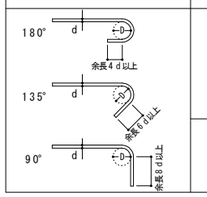
（1）構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

（2）記号

d・・異形棒鋼の呼び名に用いた数値（径）　D・・部材の成、又は鉄筋内法直径
@・・間隔　r・・半径　CL・・中心線　ℓ_0・・部材間の内法距離　ho・・部材間の内法高さ
ST・・あばら筋　HOOP・・帯筋　S．HOOP・・補強帯筋

2．鉄筋加工

（1）鉄筋の折り曲げ加工

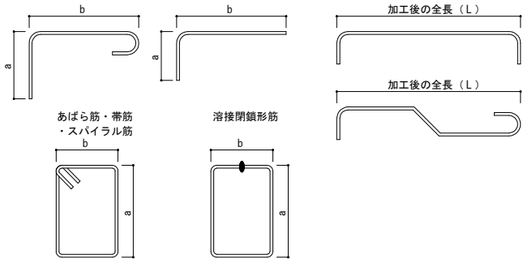
図	折り曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法直径（D）
	180° 135° 90°	SD295 SD345	D16以下	3d以上
			D19～D41	4d以上
		SD390	D41以下	5d以上
	90°	SD490	D25以下	
			D29～D41	6d以上

［注］（1）dは呼び名に用いた数値とする。
（2）スパイラル筋の重ね継手部に 90° フックを用いる場合は、余長は 12d以上とする。
（3）片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で 90° フックまたは 135° フックを用いる場合は、余長は 4d以上とする。
（4）スラブ筋、壁筋には、溶接金網を除いて丸鋼を使用しない。
（5）折り曲げ内法直径を上表の数値よりも小さくする場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い支障のないことを確認した上で、工事監理者の承認を得ること。
（6）SD490 の鉄筋を 90° を超える曲げ角度で折り曲げ加工する場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障のないことを確認した上で、工事監理者の承認を得ること。

（2）加工寸法の許容差

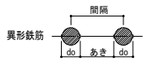
項目			符号	許容差
各加工寸法(1)	主筋	D25以下	a, b	± 15
		D29以上D41以下	a, b	± 20
	あばら筋・帯筋・スパイラル筋		a, b	± 5
加工後の全長			L	± 20

［注］（1）各加工寸法及び加工後の全長の測り方の例を下図に示す。



（3）鉄筋のあき

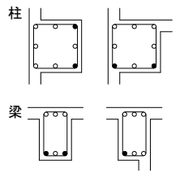
異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mmのうち最も大きい値。



（4）鉄筋のフック

a～eに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。
a. あばら筋、帯筋、および幅止メ筋
b. 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
c. 柱、梁（基礎梁は除く）の出すみ部分
　および下端の両端にある場合の鉄筋（右図参照）
d. 単純梁の下端筋
e. その他、本配筋標準に記載する箇所

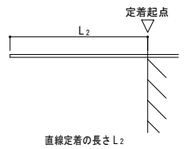
図の● 印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要

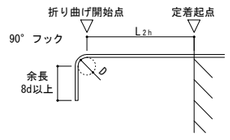


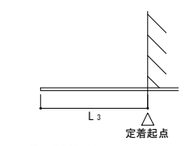
（5）定着長さ

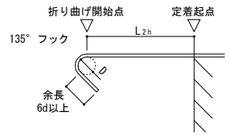
鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	定着の長さ 一般 L_2（フックなし）	L_{2h}（フックあり）	La(3)	Lb	小梁下端筋 L_3（フックなし）	L_{3h}（フックあり）	スラブ下端筋 L_3（フックなし）
SD295	18	40d	30d	20d	15d	20d	10d	10d かつ 150以上
	21	35d	25d	15d	15d			
	24～27	30d	20d	15d	15d			
	30～36	30d	20d	15d	15d			
	39～45	25d	15d	15d	15d			
	48～60	25d	15d	15d	15d			
SD345	18	40d	30d	20d	20d			
	21	35d	25d	20d	20d			
	24～27	35d	25d	20d	15d			
	30～36	30d	20d	15d	15d			
	39～45	30d	20d	15d	15d			
	48～60	25d	15d	15d	15d			
SD390	21	40d	30d	20d	20d	（片持ち小梁の場合は 25d ）		（片持ちスラブの場合は 25d ）
	24～27	40d	30d	20d	20d			
	30～36	35d	25d	20d	15d			
	39～45	35d	25d	15d	15d			
	48～60	30d	20d	15d	15d			
SD490	24～27	45d	35d	25d	—	—	—	—
	30～36	40d	30d	25d	—			
	39～45	40d	30d	20d	—			
	48～60	35d	25d	20d	—			

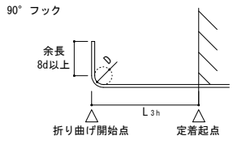
［注］（1）フック付き鉄筋の定着長さ L_{2h} は、定着起点から鉄筋の折り曲げ開始点までの距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は定着長さに含まない。
（2）フック部の折り曲げ内法直線 D 及び余長は、「鉄筋の折り曲げ加工」の表による。
（3）梁主筋を柱へ定着する場合、水平定着長さが L_{2h} 確保できない場合は折り曲げ定着とし、全定着長を L_2 以上とするとともに、水平投影長さを La 以上とし、余長を 8d 以上とする。尚、La の値は原則として柱せいの 3/4 倍以上とする。
（4）耐圧スラブの下端筋の定着長は一般定着 L_2 とする。

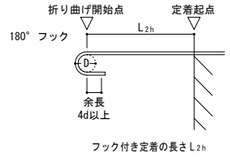


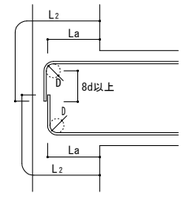


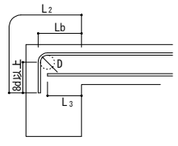








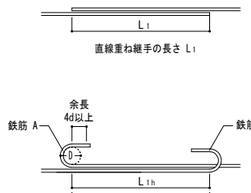




（6）継手

■ 重ね継手

鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	重ね継手長さ L_1（フックなし）	L_{1h}（フックあり）
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24～27	35d	25d
	30～36	35d	25d
	39～45	30d	20d
	48～60	30d	20d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24～27	40d	30d
	30～36	35d	25d
	39～45	35d	25d
	48～60	30d	20d
SD390	21	50d	35d
	24～27	45d	35d
	30～36	40d	30d
	39～45	40d	30d
	48～60	35d	25d
SD490	24～27	55d	40d
	30～36	50d	35d
	39～45	45d	35d
	48～60	40d	30d

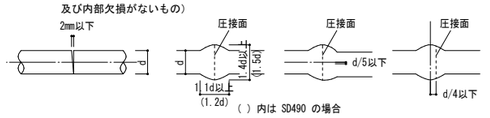


［注］（1）表中の d は、異形鉄筋の呼び名の数値を表し、丸鋼には適用しない。
（2）直径の異なる鉄筋相互の重ね継手の長さは、細い方の d による。
（3）フック付き重ね継手の長さは、鉄筋相互の折り曲げ開始点間の距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は継手長さに含まない。

■ 継手に関する注意点

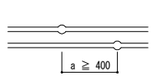
1. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
2. D29 以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。
3. 鉄筋径 d の差が 7mm を超える場合は、圧接としてはならない。
4. ガス圧接継手の形状、および継手の配置は下図による。

・ガス圧接形状（平成12年建設省告示1463号下図のほか、折れ曲がり、焼き割れ、へこみ、垂れ下がり及び内部欠損がないもの）

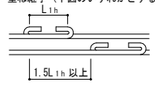


（ ）内は SD490 の場合

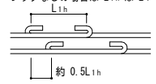
・圧接継手



・重ね継手（下図のいずれかとする）



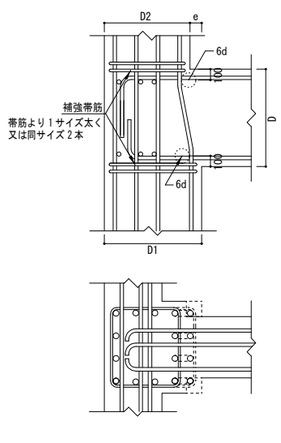
フックなしの場合は L_{1h} は L_1



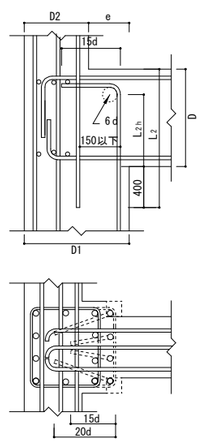
5. 溶接継手および機械式継手を用いる場合は、信頼できる機関の評定等を受けた A級継手工法とする。
6. 非破壊検査は工事監理者が承諾した信頼できる検査機関で行うこと。

（6）絞り

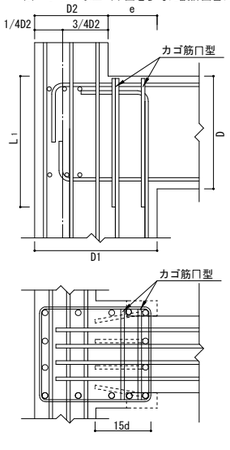
(a) e ≦ D/6 かつ 150



(b) 150 ≧ e > D/6

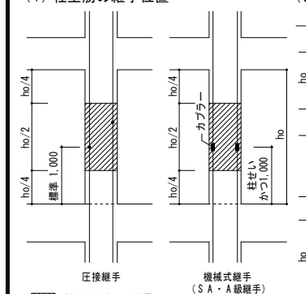


(c) e=150 以上（下図を参考に設計図書に追記する）



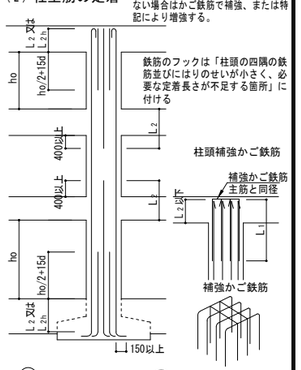
3．柱

（1）柱主筋の継手位置

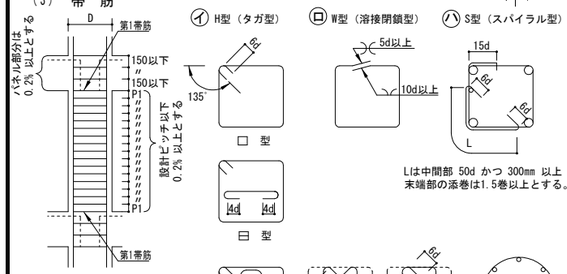


（2）柱主筋の定着

柱の定着 L_2 又は L_{2h} 以上が確保されない場合はかご鉄筋で補強、または特記により増強する。

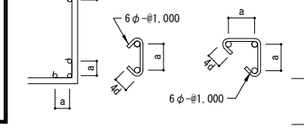


（3）帯筋

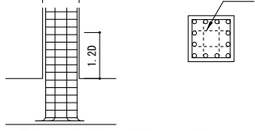


注 1. 第1帯筋は、梁づらに入れる
注 2. W型で現場溶接をする場合は主筋の位置をさける
注 3. フックおよび継手の位置は、交互とする

（4）寄せ筋の保持



（5）柱脚部の補強



1階柱脚の主筋は梁上から柱せいの1.2倍の範囲を拘束筋で拘束する

拘束筋は以下による
□ 帯筋と同径・同ピッチ、X・Y 2巻きずつ
□ 図示による

特記	

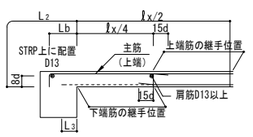
令和6年度(債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO.	S - 02
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）	SCALE	A3: non A1: non
	DATE	2024/03/15
	SIGN	

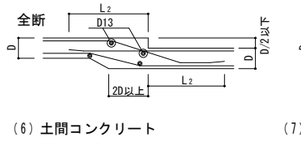
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）

4．床　版

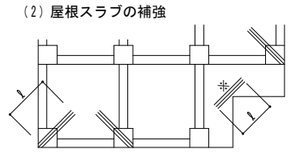
（1）定着および継手

一般スラブ（四辺固定）





（2）屋根スラブの補強

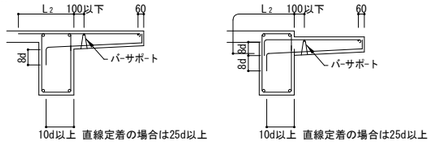


ⓐ 補強筋は各3-D13 又はスラブ主筋の同一径で ℓ=1,500とし、上端筋の上に配筋する。配筋の際かぶり厚に注意すること。

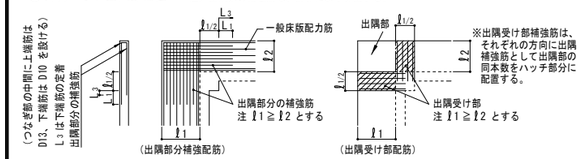
ⓑ ※の箇所（入隅）は各階補強する。

（3）片持床スラブ定着及び出隅部補強

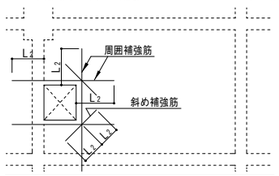
ⓐ片持床スラブ定着



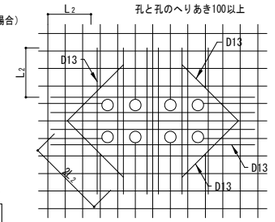
ⓑ片持スラブ出隅部補強　注）出隅部の補強筋は、計算により算出する。



（4）床版開口部の補強　（開口の径500以下程度の場合）



床板厚さD	周　囲	斜　め
D ≦ 150	各 2 - D13	各 1 - D13
150 < D ≦ 300	各 2 - D13	各 2 - D13
300 < D ≦ 500	各 2 - D19	各 2 - D16

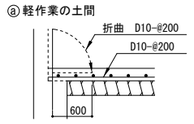


注）設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切断される鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

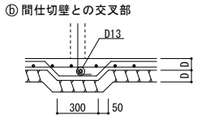
（5）床版段差

（6）土間コンクリート

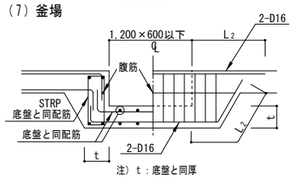
ⓐ軽作業の土間



ⓑ 間仕切壁との交叉部



（7）釜場



注）t：底盤と同厚

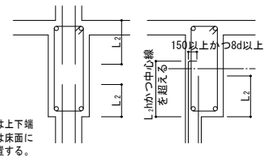
（8）打継ぎ補強　（ダメ穴打断面について）

- 設計配筋間隔の 1/2 ピッチ 長さ 2L1以上
- 無筋部分 D10-@200 長さ 800 以上

5．壁

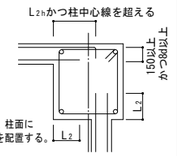
（1）定着

ⓐ 梁に



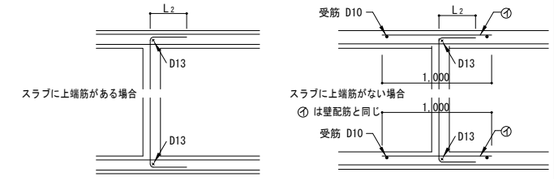
横筋の配置は上下端とも梁、又は床面に一段目を配置する。

ⓑ 柱に（平面図）

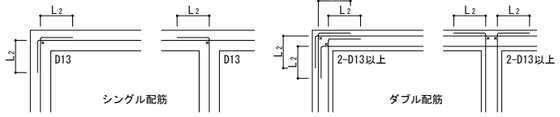


縦筋は、柱面に一本目を配置する。

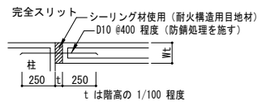
ⓒ 床に（非耐力壁とスラブが取り合う場合）



ⓓ 壁と壁（平面図）

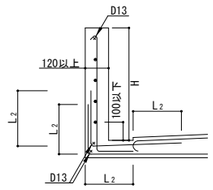


（2）スリット部（設計図に記入のあるとき）

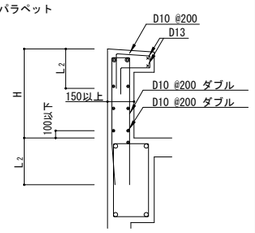


（3）手摺、パラペット

手摺

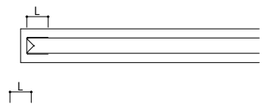


パラペット



（但し、H>800 以上の場合、設計図による）

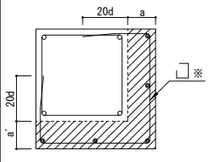
（5）耐震壁端部の納まり



：鉄筋径および間隔は壁筋と同等、同ピッチ以上とし、
壁筋に135° フックを設けた場合の L は 8d とする。
壁筋にフックを設けない場合のLは L2 とする。

6．柱、梁増打コンクリート補強（増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと）

（1）柱

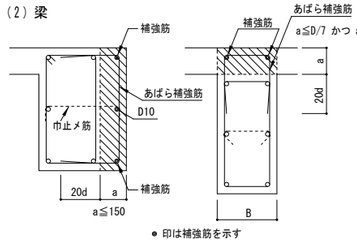


- ハッチ部分は増打コンクリートを示す。
- ハッチ部分の面積 A cm²
  補強タテ筋

A<500	500≦A<1,000
3-D16	4-D16

- 150 以上の増打ちは図示による。
- 増打ち 50以下は補強なし。
- ※ 柱HOOP と同径、同ピッチとする。

（2）梁

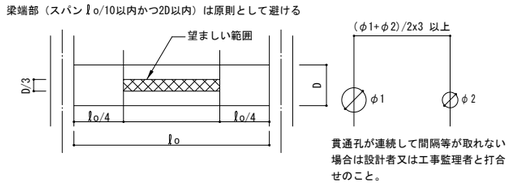


- 補強筋は、梁主筋の1段落し径（D16以上）とする。
- あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
- 腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
- B≧400 の場合は補強筋を3本とする。
- 梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ハッチ部分は増打コンクリートを示す。
- 150 以上の増打ちは図示による。
- 増打ち 50以下は補強なし。

7．梁貫通孔補強（開口補強については計算により確認すること）

（1）設置可能範囲

梁端部（スパン ℓo/10以内かつ2D以内）は原則として避ける



貫通孔が連続して間隔等が取れない場合は設計者又は工事監理者と打合せのこと。

（2）既製品　（指定条件と異なる場合は、設計者又は工事監理者と打合せのこと）

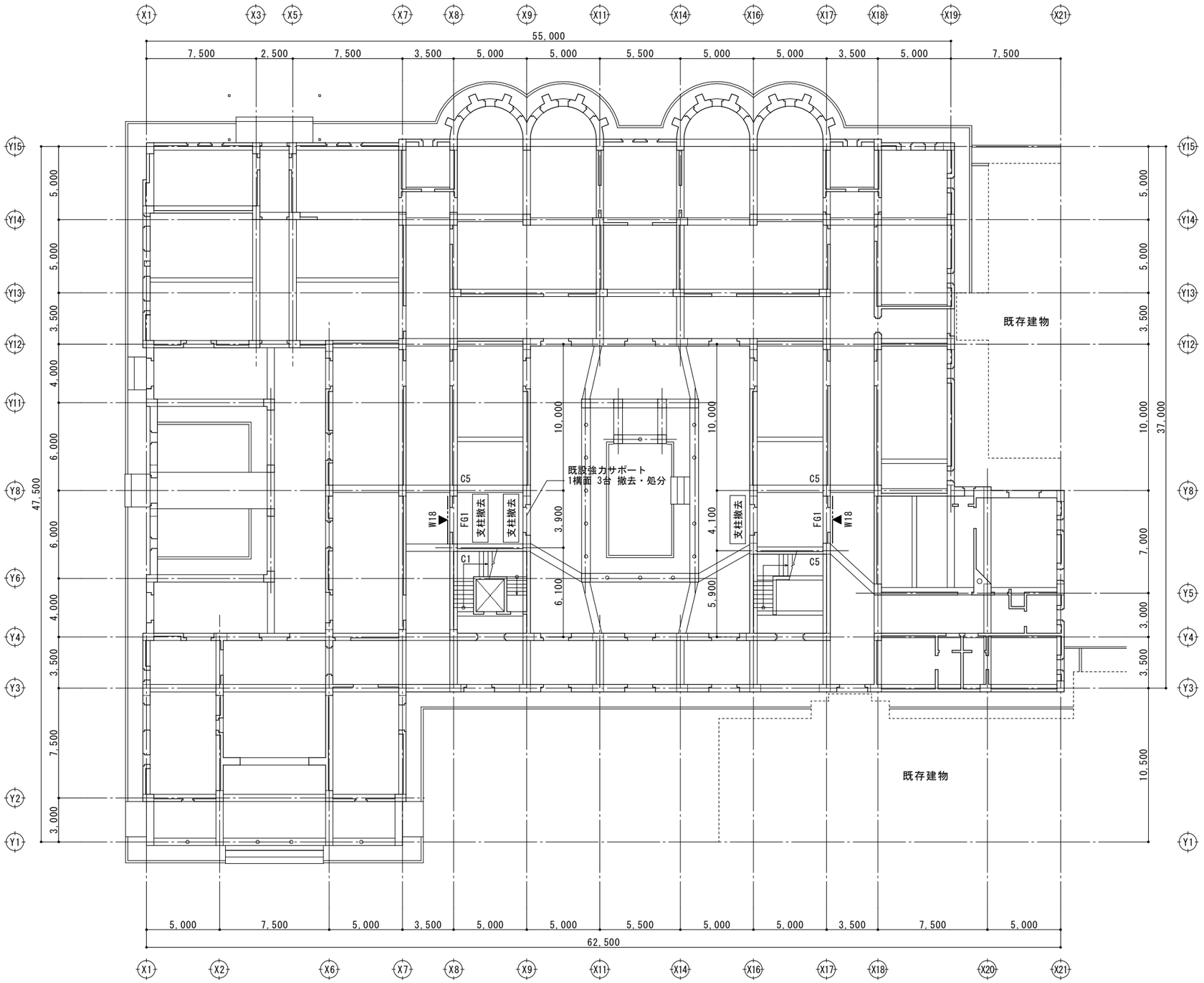
▣ 製品名 （ダイヤレン、Maxウェブレン、Maxリンブレン、スーパーハリーZ 等 認定/評価取得品）
施工前に計算書を提出し、承認を得ること。
設計時に使用する評価取得品については計算書を提出する事。

特　記	

令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）

NO. S - 03
SCALE A3: non A1: non
DATE 2024/03/15
SIGN



補強１階梁伏図　1/150

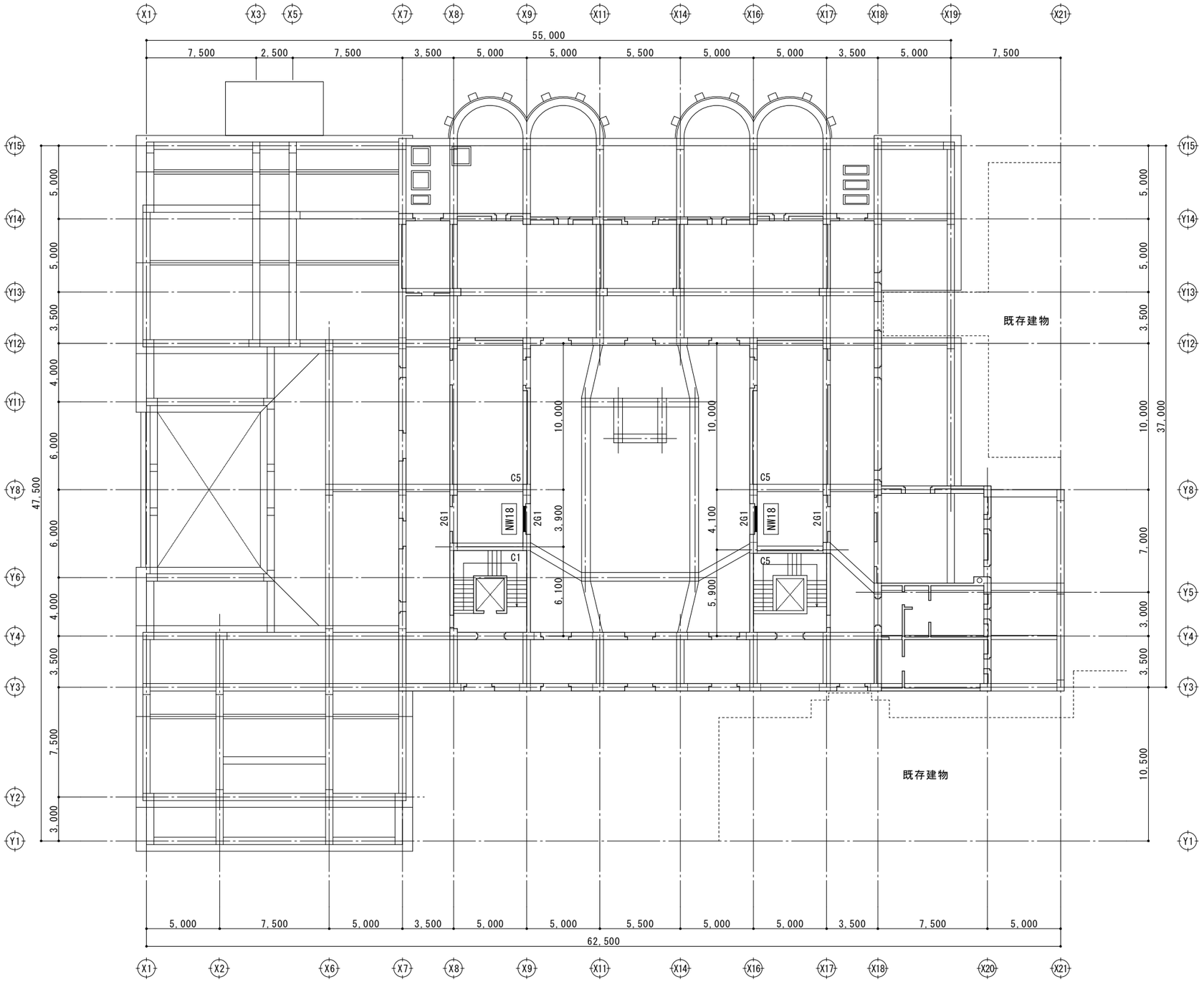
▼ 壁スリット補強　2箇所

特記なき限り、下記による。

1. 当該補強工事は平成4年当時の構造基準に適合するものであり、
現行基準を満たすものではない。

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			補強　1階梁伏図
			DATE 2024/03/15

NO. S - 04
SCALE A3:1/300 A1:1/150
SIGN



補強２階梁伏図　1/150

NW18　開口閉塞耐震壁補強　２箇所

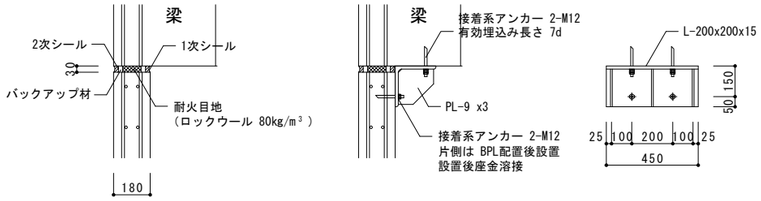
特記なき限り、下記による。

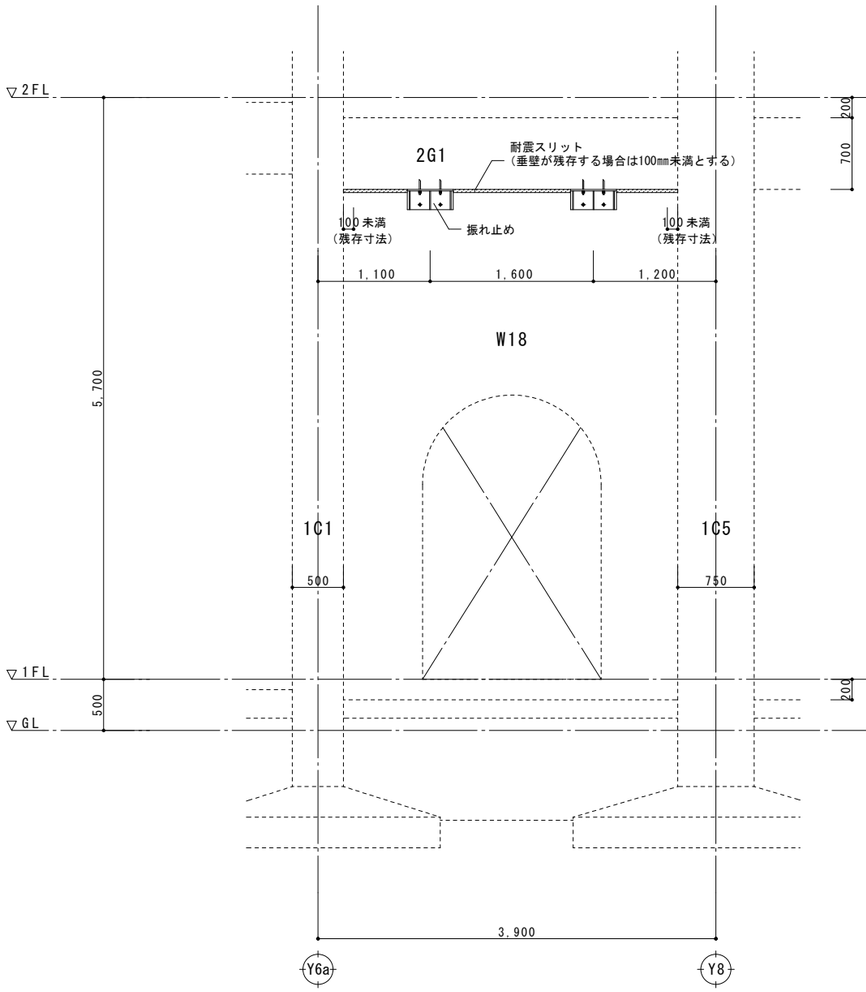
1. 当該補強工事は平成4年当時の構造基準に適合するものであり、
現行基準を満たすものではない。

特記	

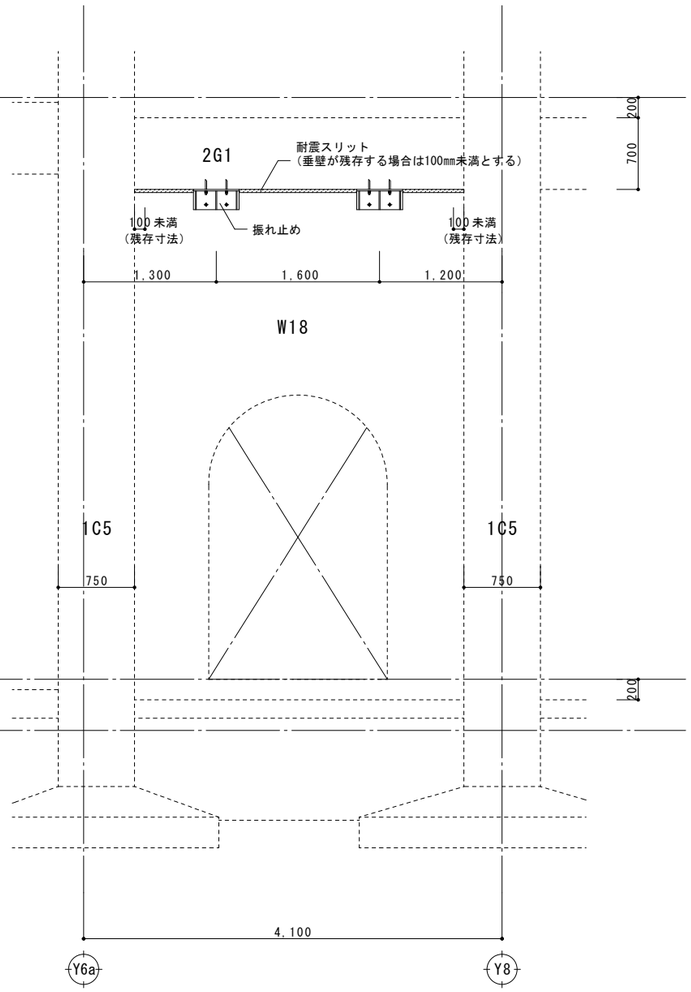
令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. S－05
補強 ２階梁伏図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
DATE 2024/03/15	SIGN

スリット詳細　1/15





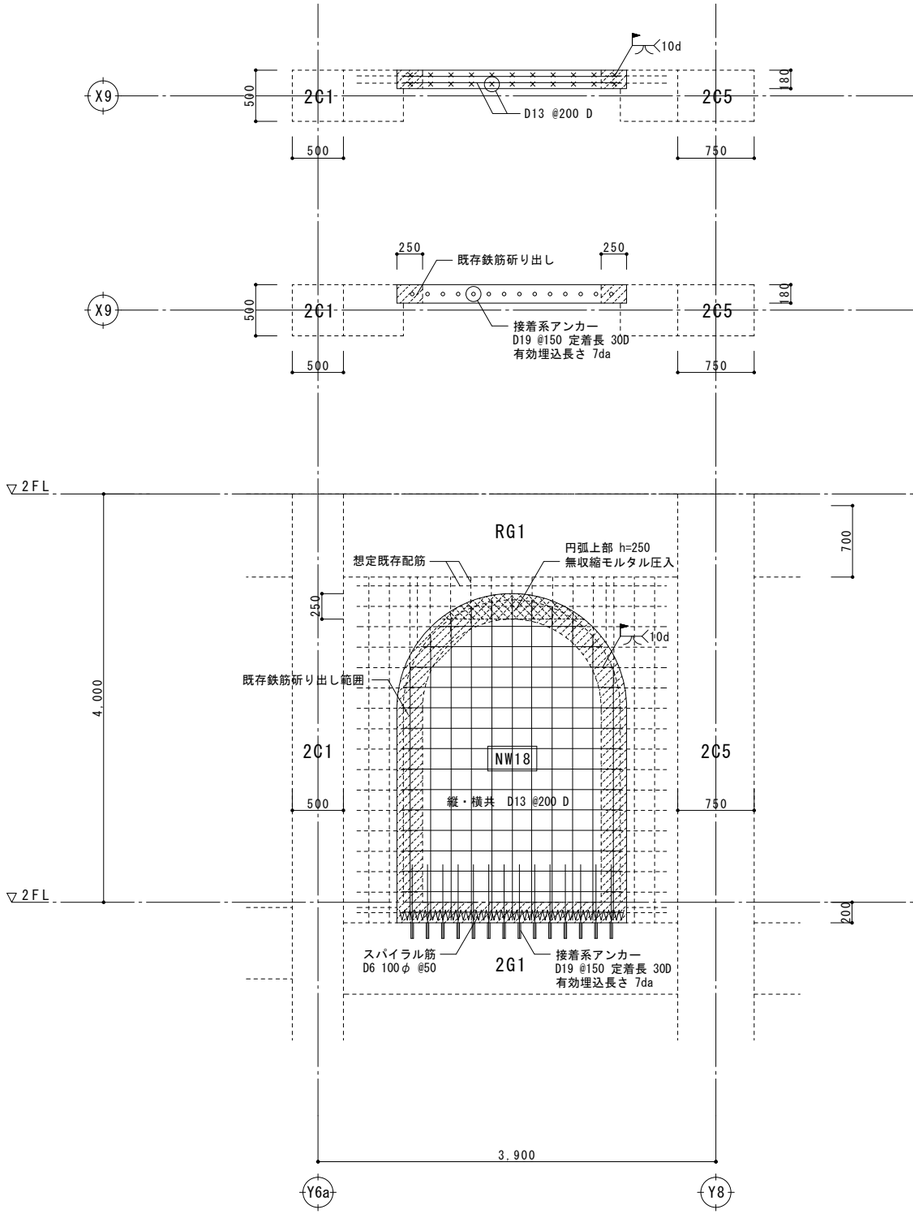
X8通り補強詳細図　1/30



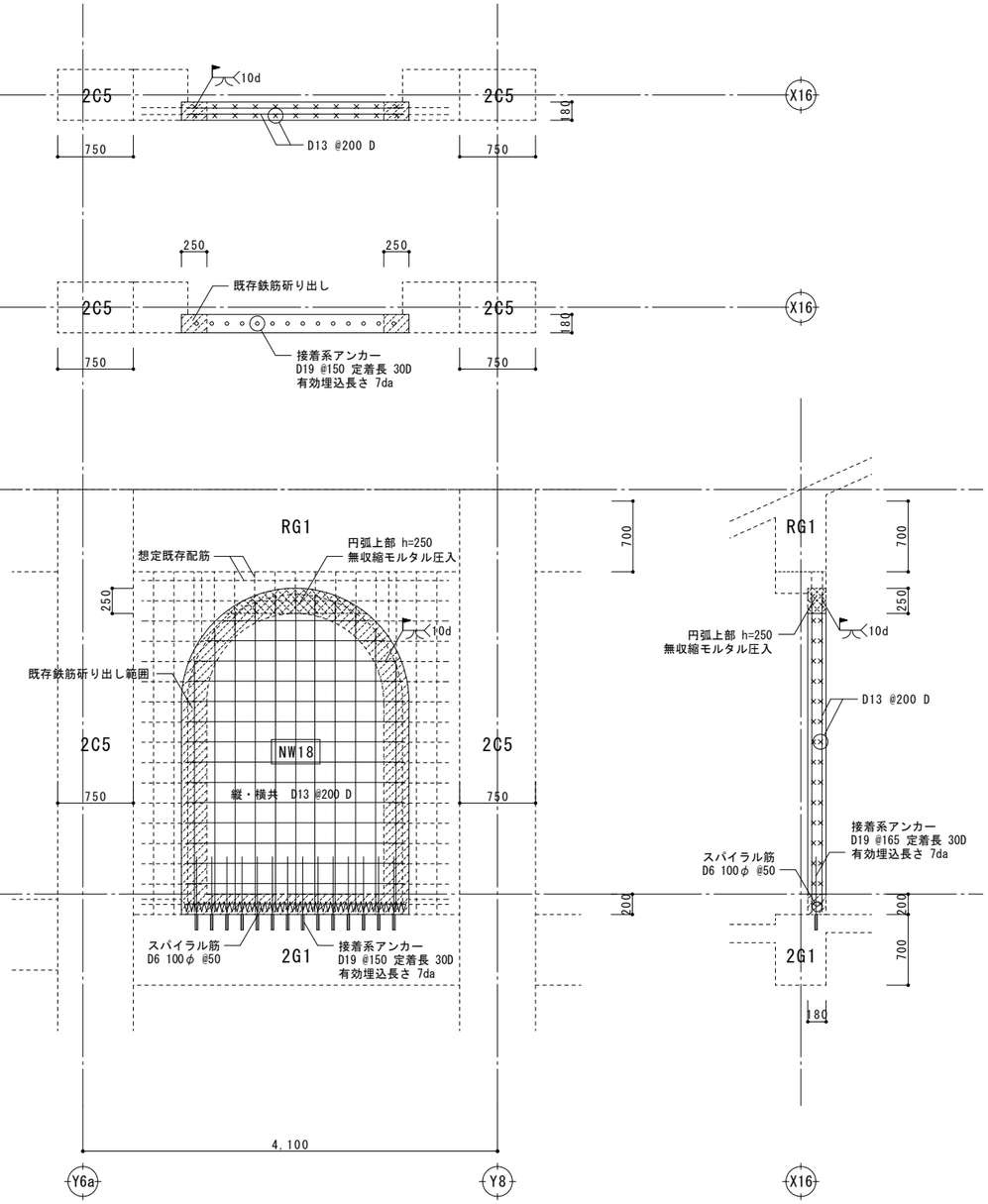
X17通り補強詳細図　1/30

特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			補強詳細図 1
			DATE 2024/03/15

NO. S - 06
SCALE A3:1/60, 30
A1:1/30, 15
SIGN

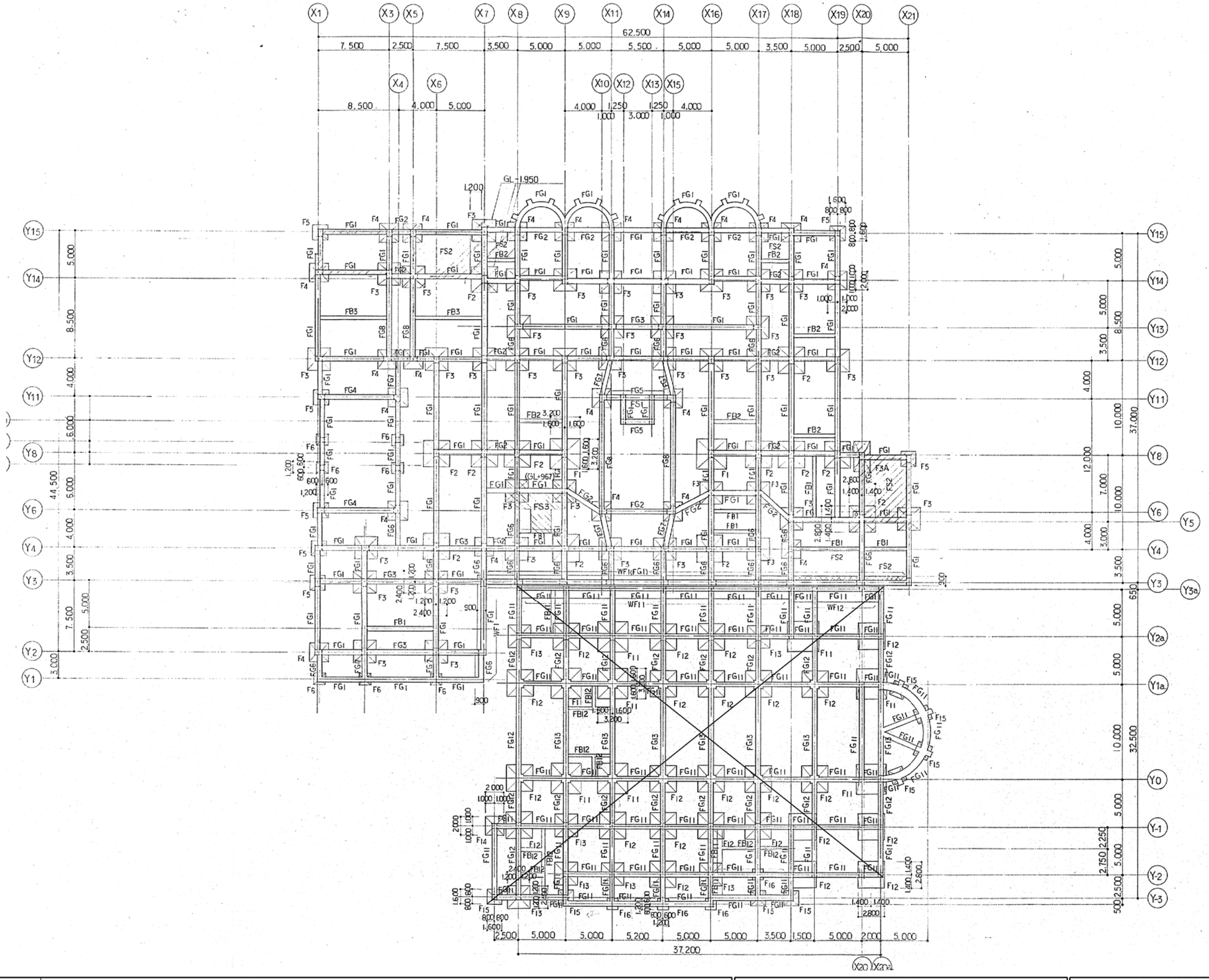


X9通り補強配筋詳細図 1/30



X16通り補強配筋詳細図 1/30

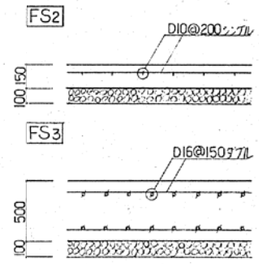
特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. S - 07
			補強詳細図２	SCALE A3:1/60 A1:1/30
			DATE 2024/03/15	SIGN



共通事項

特記なき限り下記による

1. 基礎下端
   - GL－1,150
   - GL－1,330
   - GL－1,480
   - GL－1,800
2. 基礎ばり上端
   - 1FL－380
   - 1FL－500
3. 耐水版（FS）下端
   - GL－1,180
   - GL－1,300
   - GL－1,350
   - GL－1,500
   - GL－1,950
4. 1FL＝GL＋500



使用材料

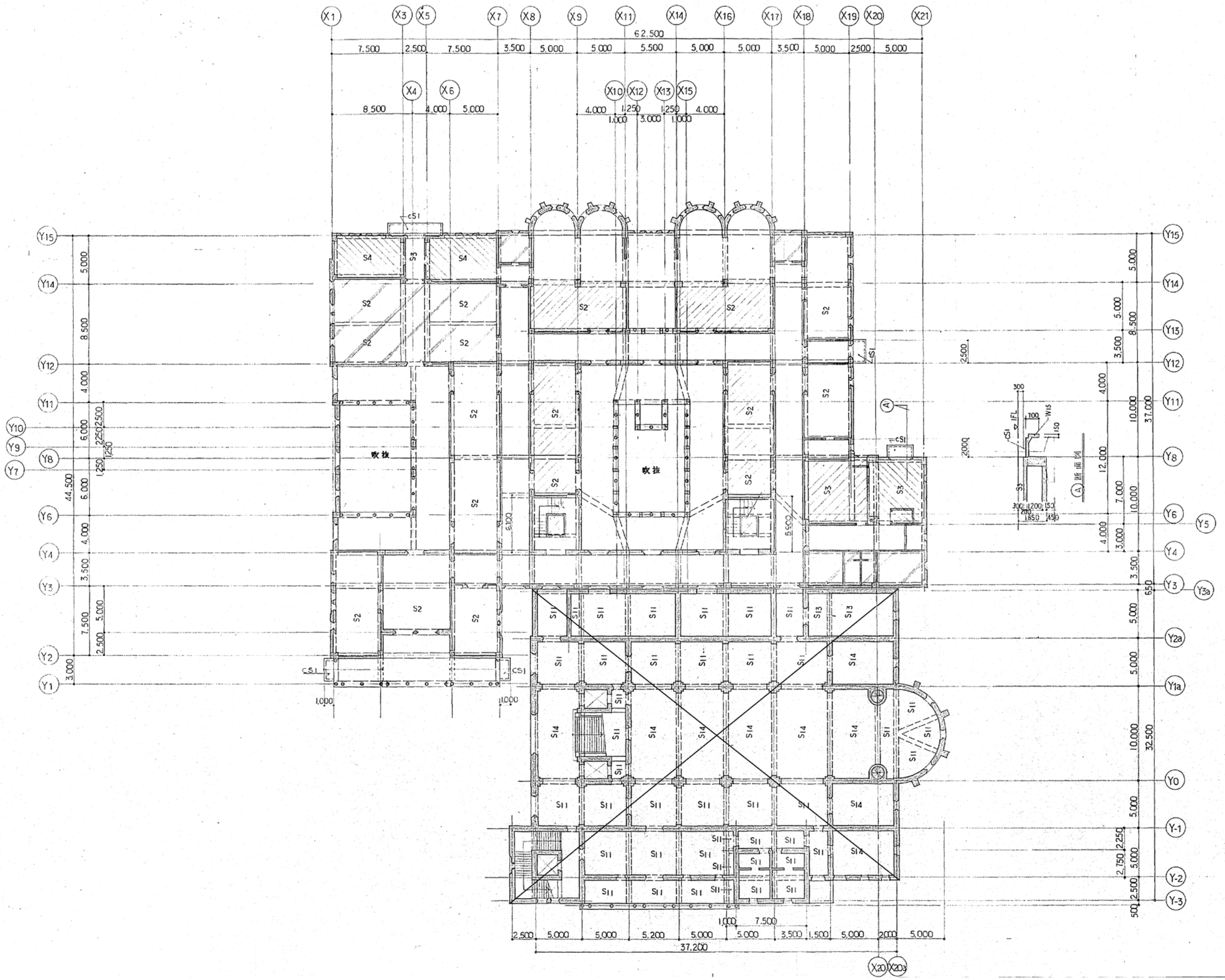
1．コンクリート
普通コンクリート　Fc＝210kg/cm²

2．鉄筋
SD30A　D16以下
SD35　D19以上

3．地耐力
Le＝30t/m²（長期）

4．凍結深度
G.L－600

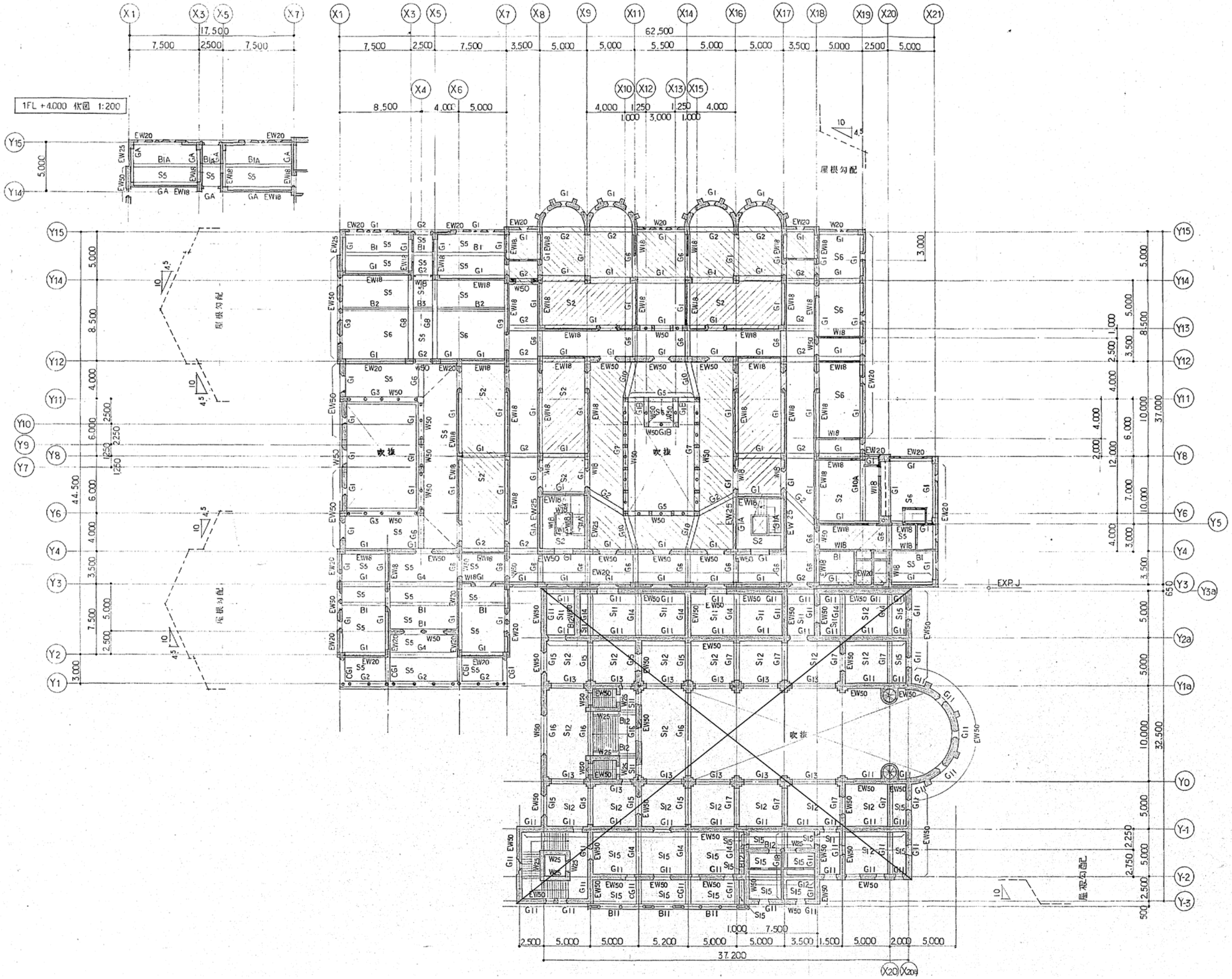
特記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. S－08
			建設時基礎伏図（参考）	SCALE A3:1/400 A1:1/200
			DATE 2024/03/15	SIGN



共通事項

1. 特記なき壁は　2 階伏図　による.
2. 特記なきスラブは　S1　とする
3. 躯体コンクリート上端（1FL = GL+500）
   床スラブ上端
   - □ : 1FL − 100
   - ▨ : 1FL − 200
   - ▨ : 1FL − 300
   - ▨ : 1FL − 500
   - ▨ : 1FL − 150

特記			
		令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. S − 09
		建設時１階梁伏図（参考）	SCALE A3:1/400 A1:1/200
		DATE 2024/03/15	SIGN



共通事項

1. 特記なき壁は 外壁 W50
   内壁 W15 とする.
2. 特記なきスラブは S1 とする
3. 躯体コンクリート上端（2FL＝GL＋6,500）

   印 2FL − 50
   印 2FL − 150
   印 2FL − 200
   印 2FL − 300

特記	

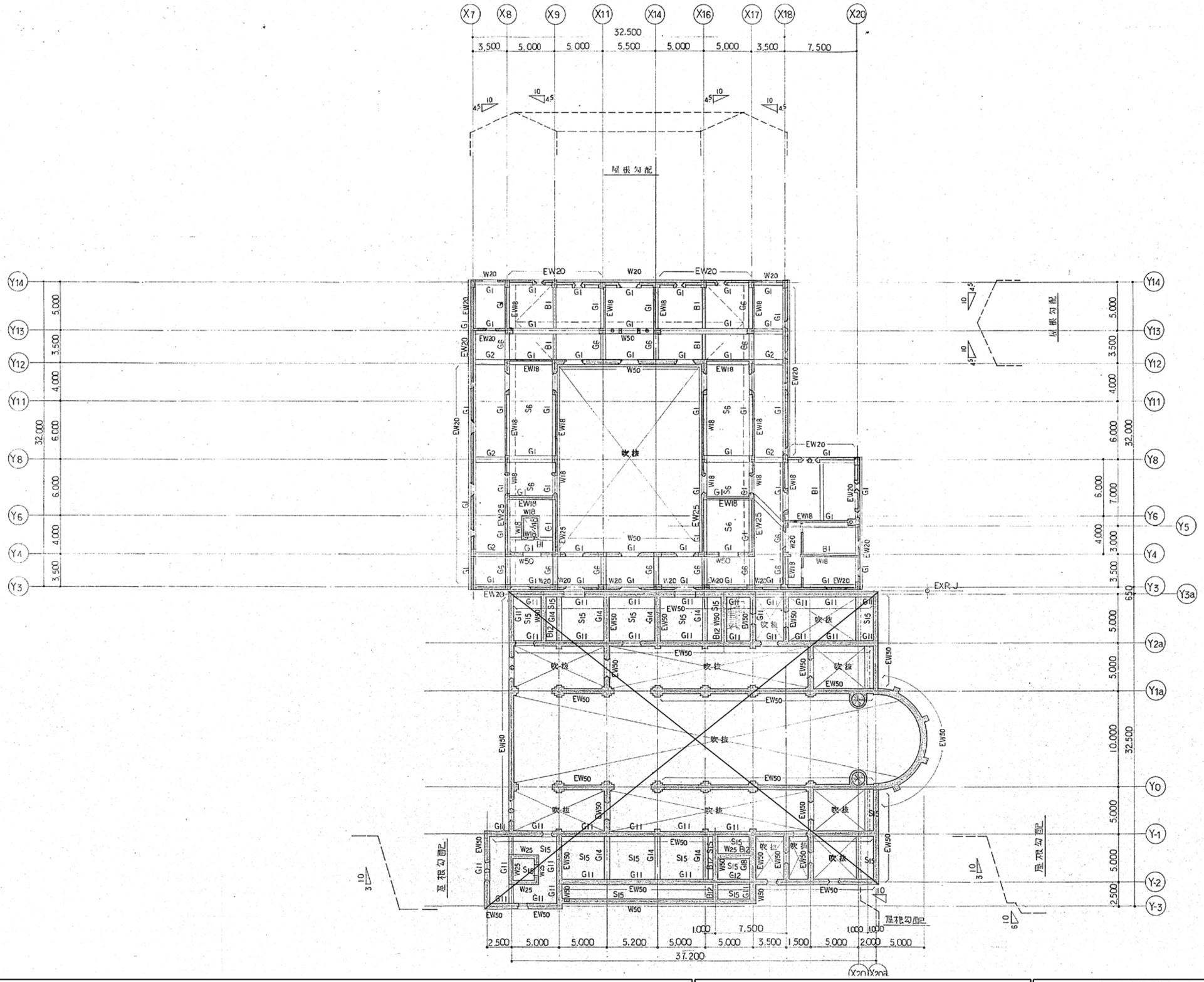
令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

建設時２階梁伏図（参考）

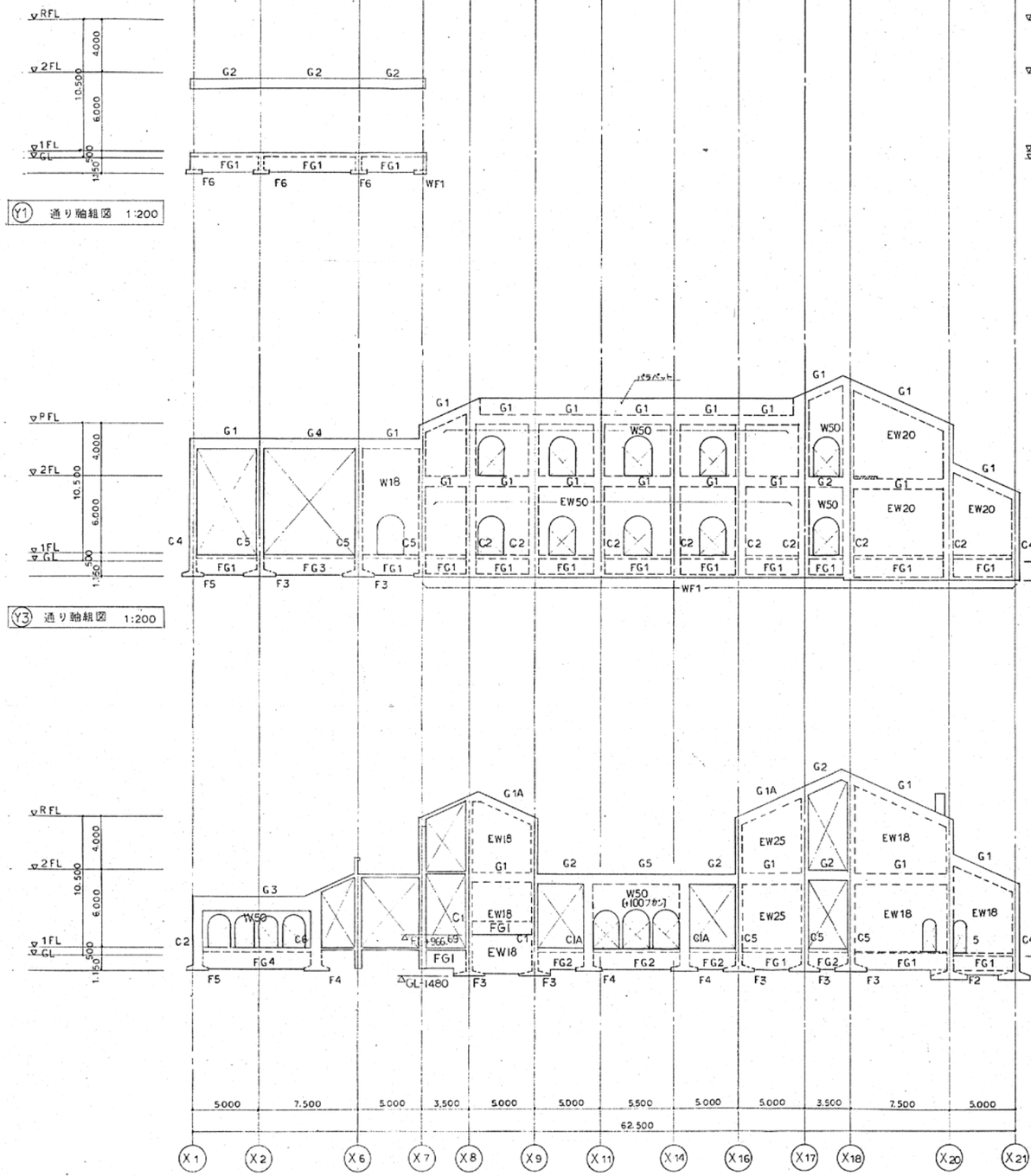
NO. S − 10
SCALE A3:1/400 A1:1/200
DATE 2024/03/15
SIGN

共通事項

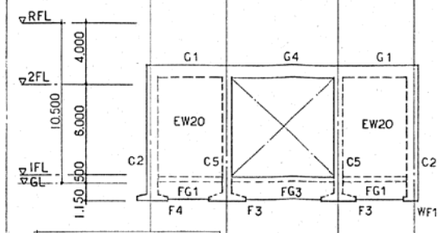
1. 特記なき壁は　外壁　W50
   内壁　W15
2. 特記なきスラブは　S5　とする



特記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. S－11
			建設時R階伏図（参考）	SCALE A3:1/400 A1:1/200
			DATE 2024/03/15	SIGN

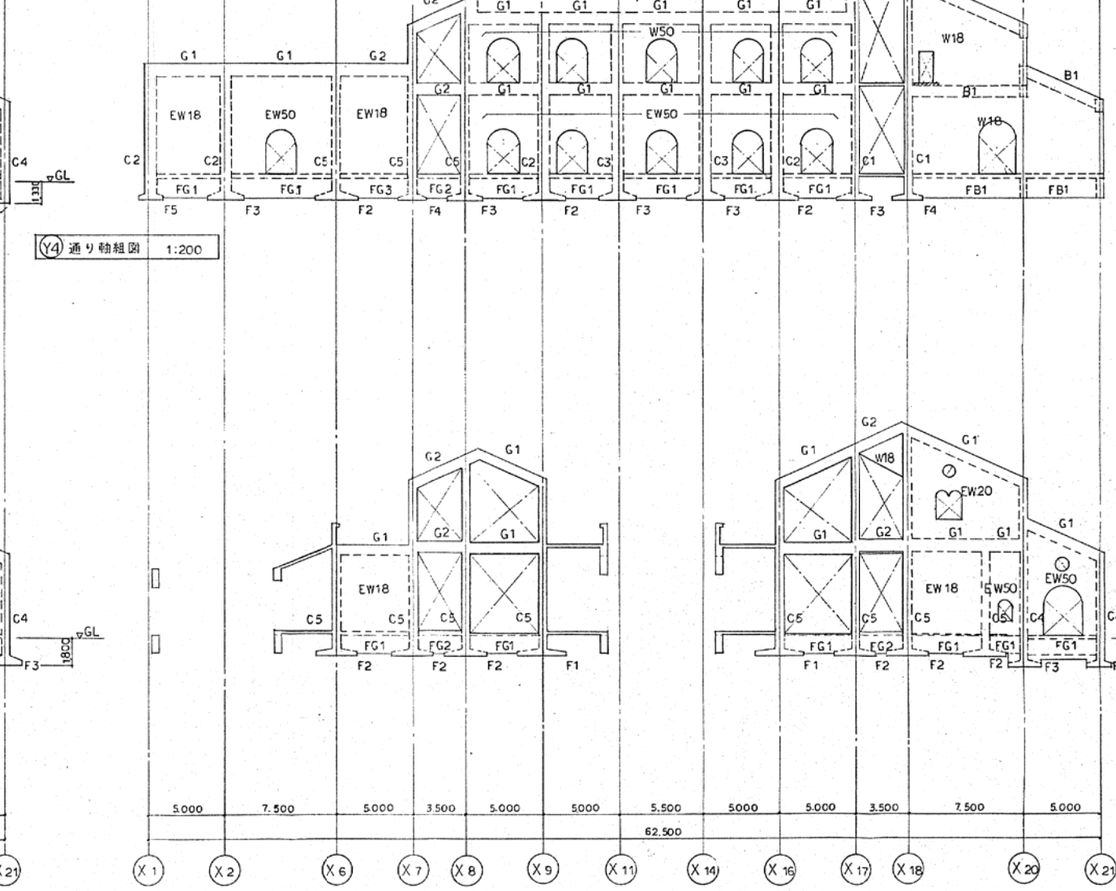


(Y1) 通り軸組図 1:200



(Y2) 通り軸組図 1:200

(Y3) 通り軸組図 1:200



(Y4) 通り軸組図 1:200

(Y5)(Y6) 通り軸組図 1:200

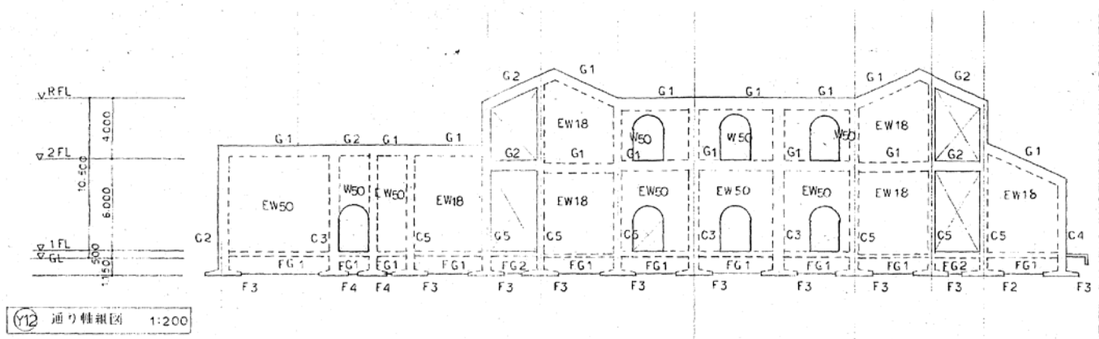
(Y8) 通り軸組図 1:200

特　記	

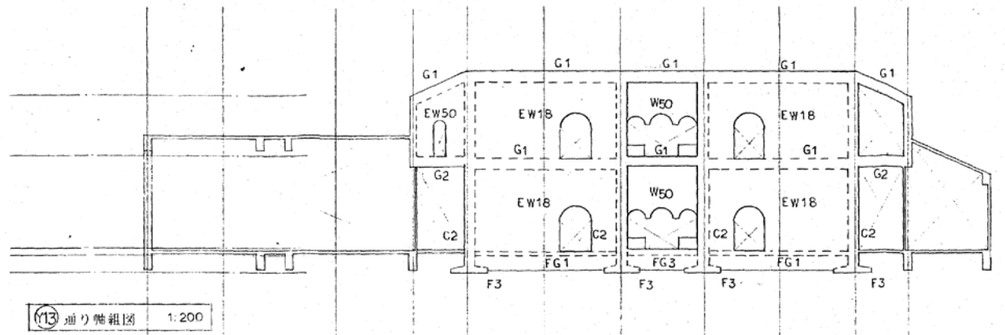
令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

建設時軸組図 1 (参考)

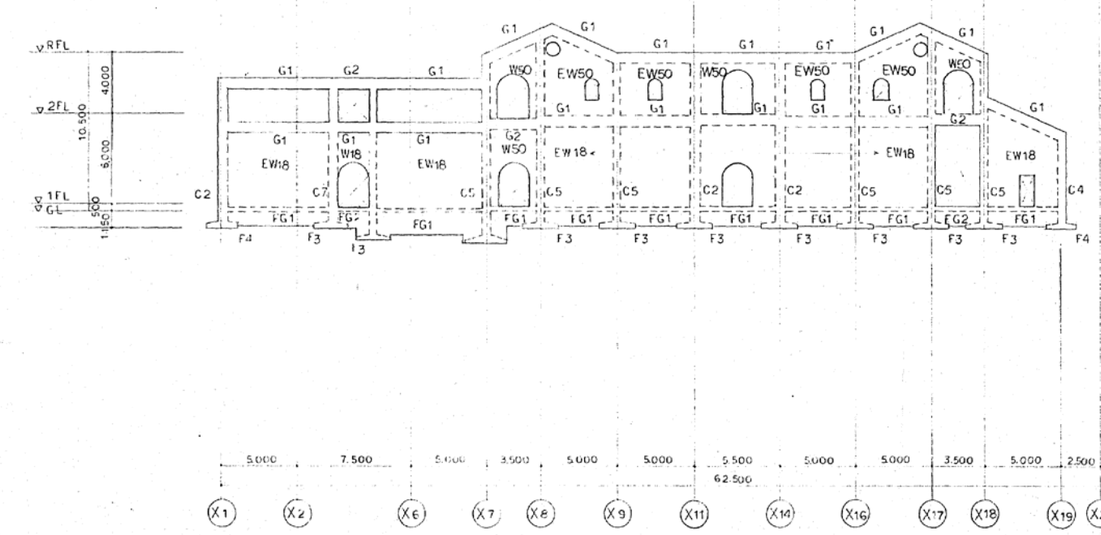
NO. S - 12
SCALE A3:1/400 A1:1/200
DATE 2024/03/15
SIGN



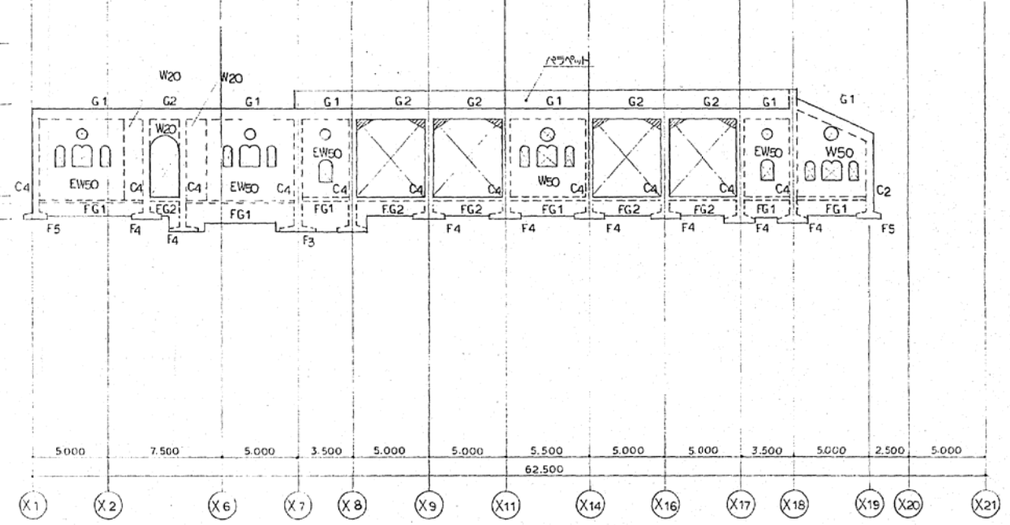
Y12 通り軸組図 1:200



Y13 通り軸組図 1:200

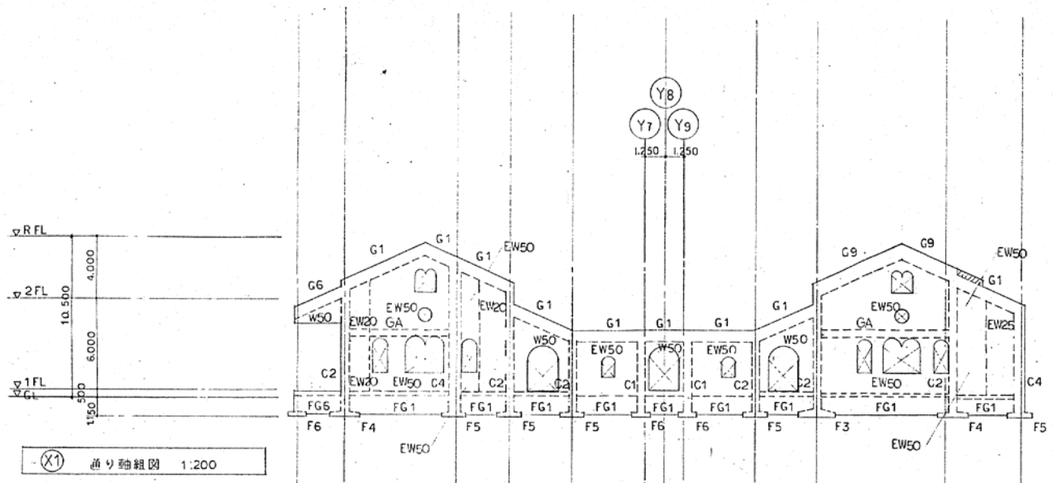


Y14 通り軸組図 1:200

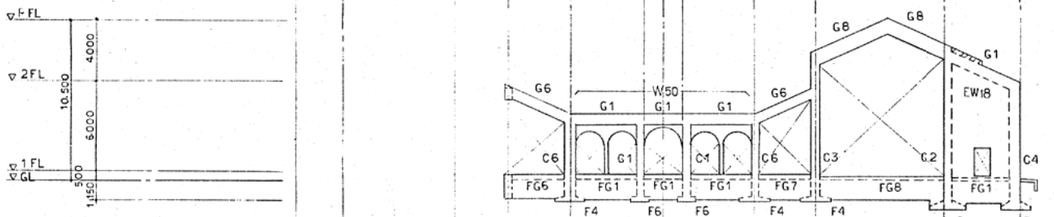


Y15 通り軸組図 1:200

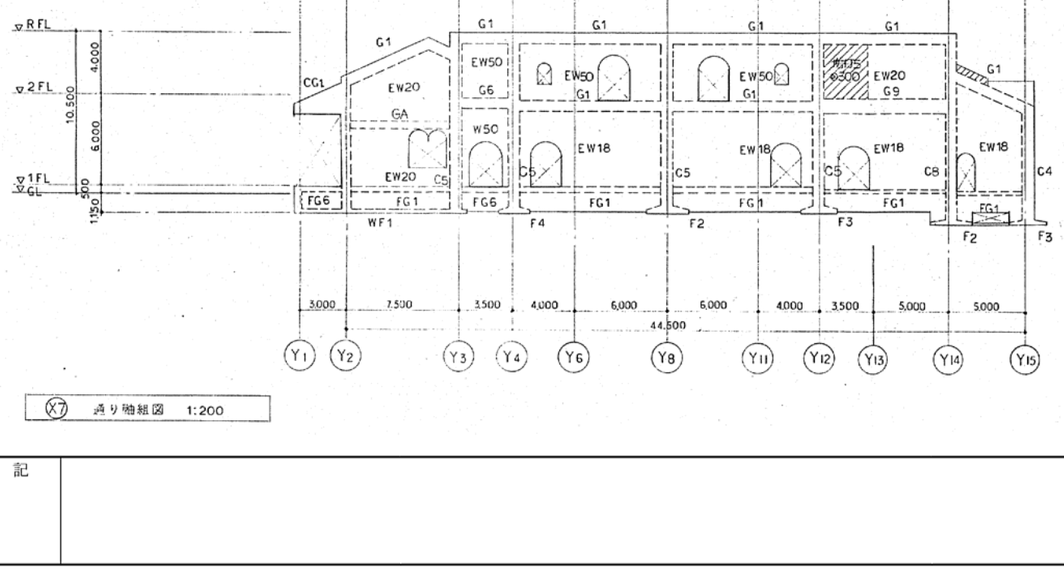
特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. S - 13
			建設時軸組図２（参考）	SCALE A3:1/400 A1:1/200
			DATE 2024/03/15	SIGN



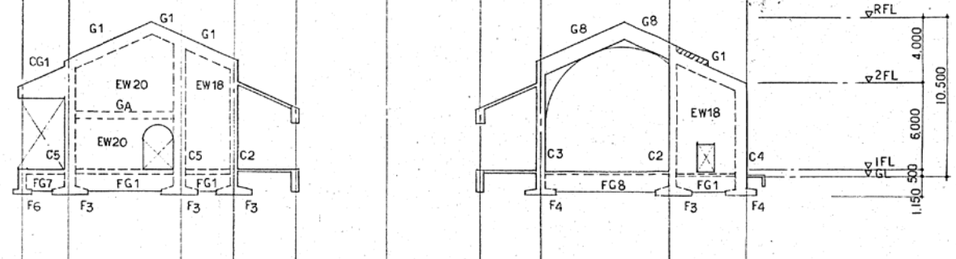
X1 通り軸組図 1:200



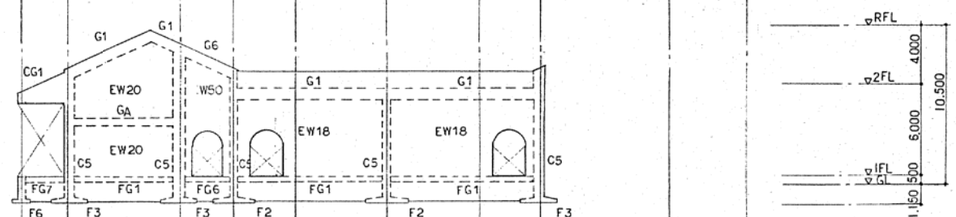
X4-X5 通り軸組図 1:200



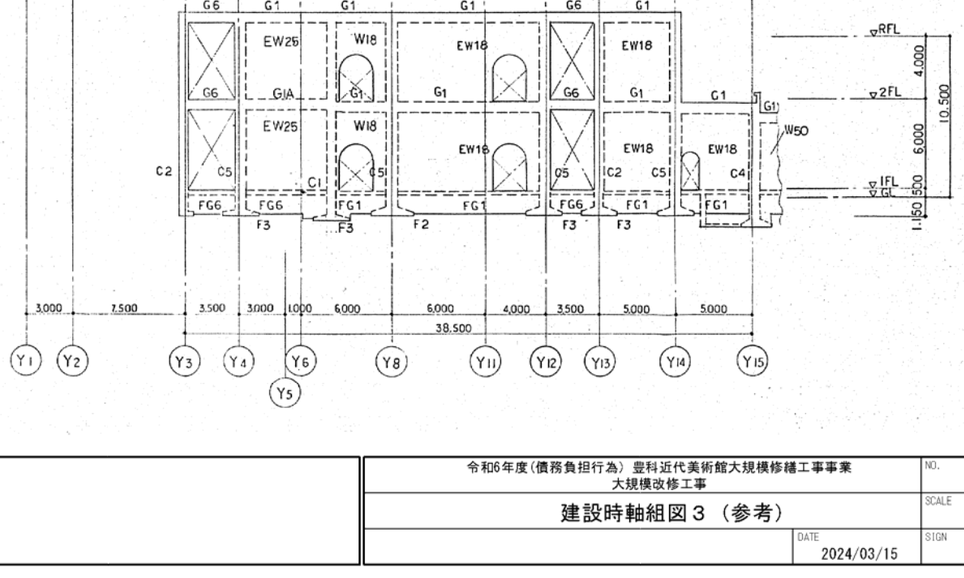
X7 通り軸組図 1:200



X2-X3 通り軸組図 1:200

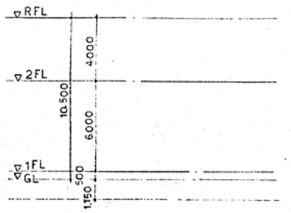


X6 通り軸組図 1:200

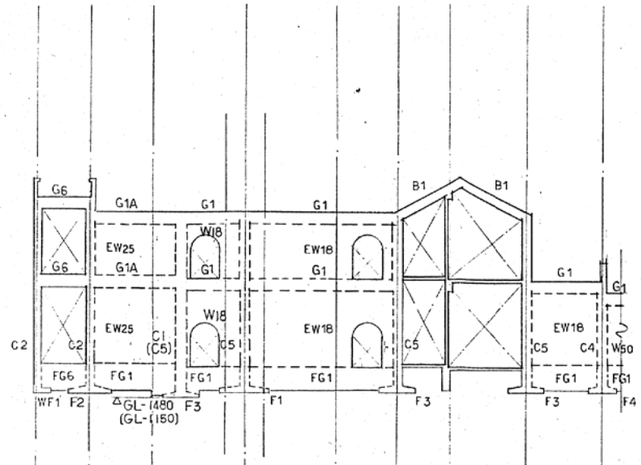


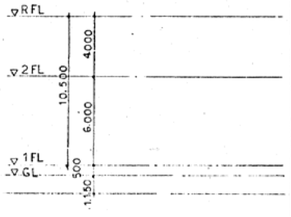
X8 通り軸組図 1:200

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事 NO. S－14 建設時軸組図３（参考） SCALE A3:1/400 A1:1/200 DATE 2024/03/15 SIGN

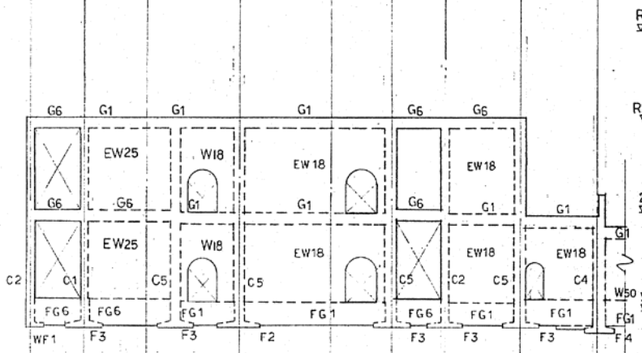


X9, X16 通り軸組図 1:200

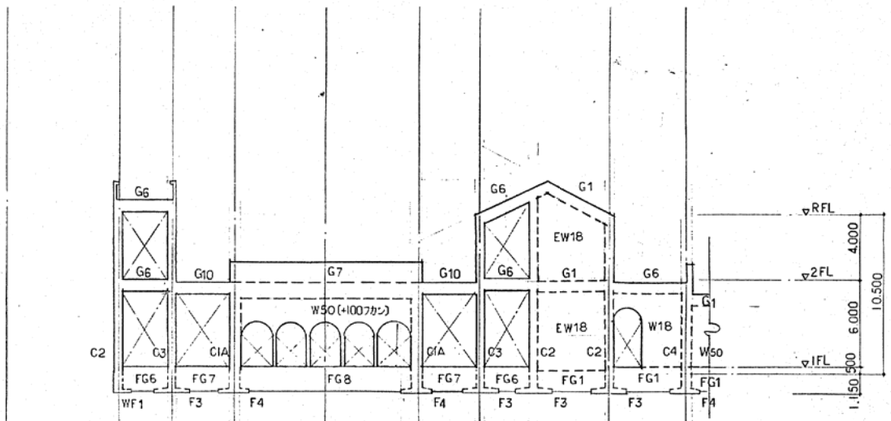


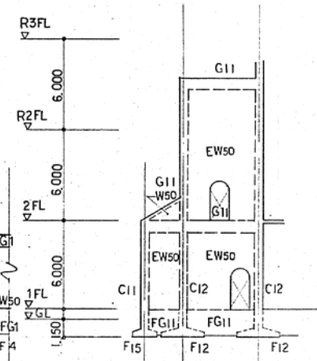


X17 通り軸組図 1:200

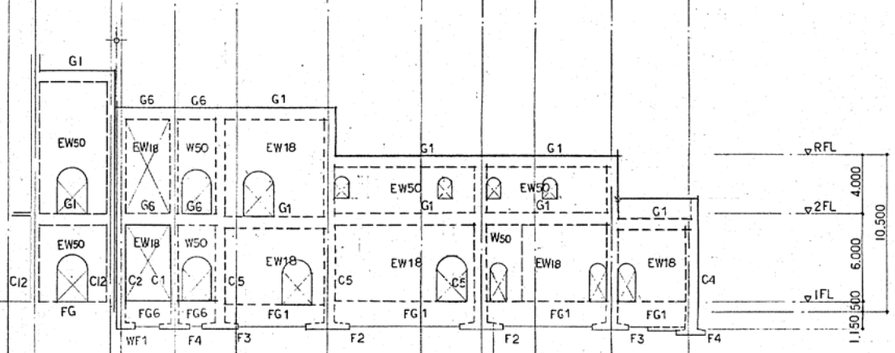


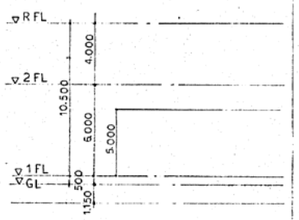
X10 X11 X14 X15 通り軸組図 1:200

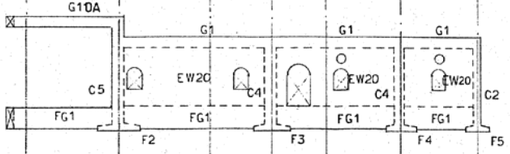


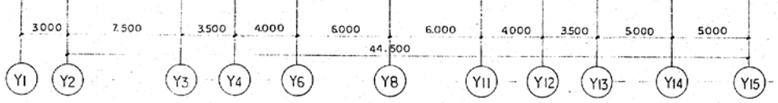


X18 通り軸組図 1:200

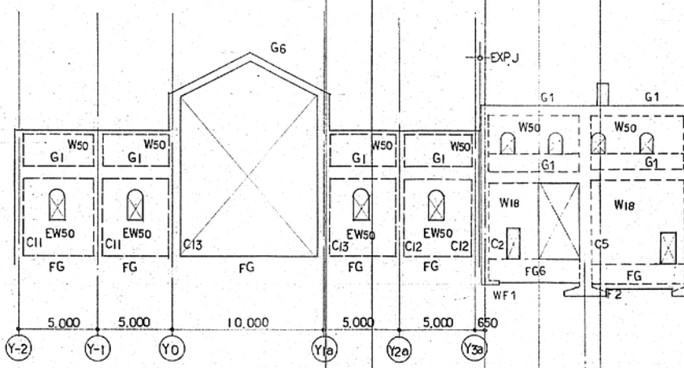




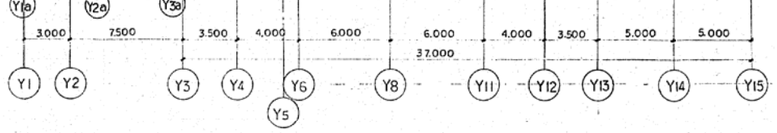




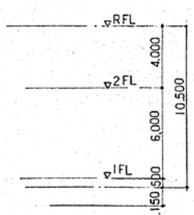
X19 通り軸組図 1:200



X20a 通り軸組図



X20 通り軸組図 1:200

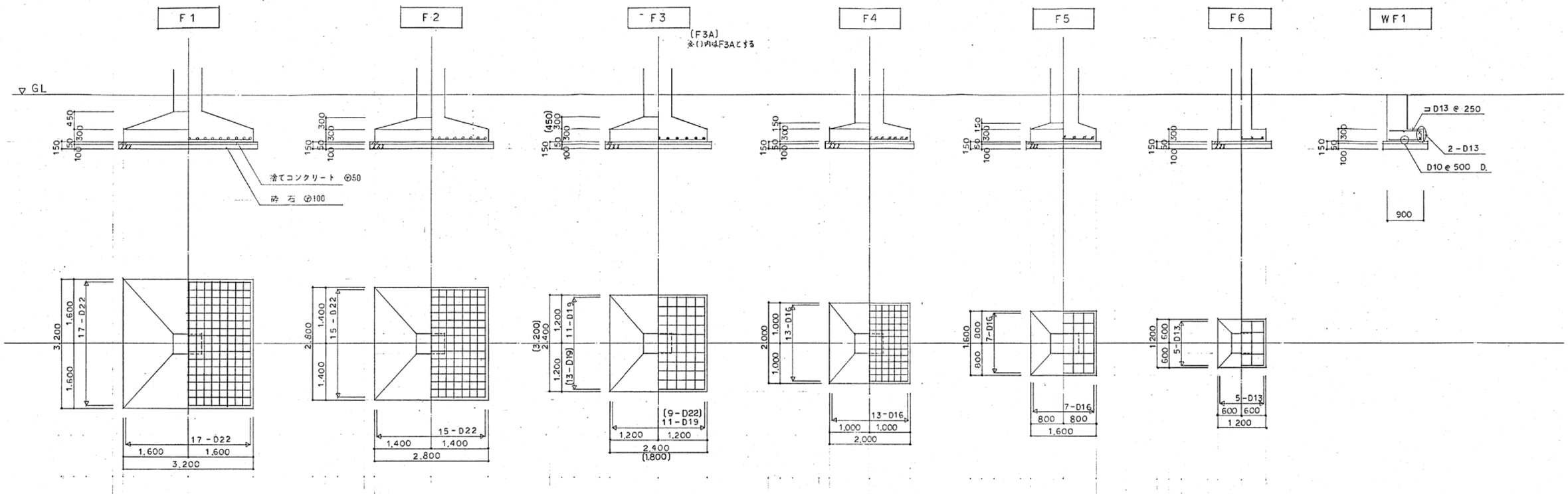


特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			建設時軸組図4（参考）
			DATE 2024/03/15

NO. S－15
SCALE A3:1/400 A1:1/200
SIGN

基礎詳細図　1:50

注)フーチング下端は基礎伏図の共通事項による。

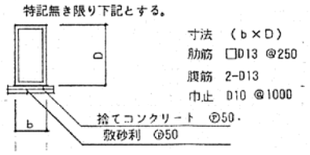


基礎梁断面表　1:50

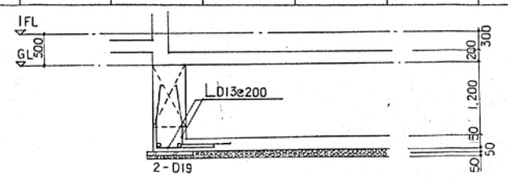
符号	FG1	FG2	FG3		FG4			FG5	FG6	FG7	FG8		FG9					FB1	FB2	FB3			
位置	全断面	全断面	端部	中央	外端	中央	内端	全断面	全断面	全断面	端部	中央	Y5 端	中央	Y8 端			全断面	全断面	端部	中央		
断面																							
寸法	500x1 000	500x1 000	500 x 1 000		500 x 1 000			500x1 000	500x1 000	500x1 000	500 x 1 000		500 x 1 000					300x1 000	300x 600	300 x 750			
上端筋	3-D22	4-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	6-D22	4-D22	4-D22	6-D22	6-D22	4-D22	6-D22	4-D22	6-D22			6-D19	5-D19	6-D19	4-D19		
下端筋	3-D22	4-D22	3-D22	4-D22	3-D22	4-D22	4-D22	6-D22	6-D22	6-D22	6-D22	6-D22	6-D22	6-D22	4-D22			6-D19	5-D19	6-D19	6-D19		
あばら筋																		□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200			
腹筋																			2-D10	2-D10	2-D10		

共通事項

特記無き限り下記とする。



I)取合詳細図



特記	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

建設時基礎詳細図（参考）

NO. S - 16

SCALE A3:1/100 A1:1/ 50

DATE 2024/03/15

SIGN

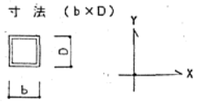
柱 断面表 1:50

	符号	C1 (C1A)	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8
2階	断面								C5に同じ
	寸法	500 x 500	750 x 500	750 x 500	500 x 750	500 x 750			
	主筋	12-D19	12-D19	12-D19	12-D19	12-D19			
	帯筋	□-D10-@100							
1階	断面	Y X (600 X 600)					500 500 750 750		
	寸法	500 x 500	750 x 500	750 x 500	500 x 750	500 x 750		500 x 950	500 x 875
	主筋	12-D19	12-D19	12-D19	12-D19	12-D19	20-D19	14-D19	12-D19
	帯筋	□-D10-@100							

共通事項

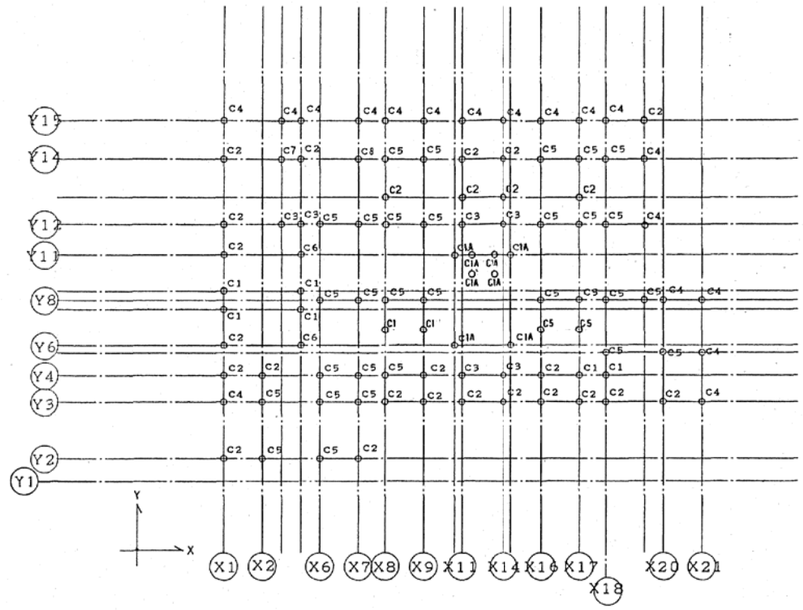
特記無き限り下記とする。

1 寸法 (b×D)



2 帯筋 □D13 @100

3 仕口部 @150



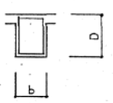
KEY PLAN

大梁断面表 1:50

	符号	G1 (G1B)	G2	G3		G4		G5		G6		G7		G8		G9		G10	G10A			G1A	CG1		
	位置	全断面	全断面	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面	Y5 端	中央	Y8 端	全断面	元端	先端	
R階	断面																								
	寸法	500x 700	500x 700							500 x 700												250 x 700			
	上端筋	3-D22	4-D22							4-D22	4-D22											3-D22			
	下端筋	3-D22	4-D22							4-D22	4-D22											3-D22			
	あばら筋		□-D13-@100							□-D13-@100															
	腹筋																								
2階	断面	(600 X 700)																							
	寸法	500x 700	500x 700	500 x 1 000		500 x 700		600 x 700		500 x 700		600 x 1,500		500 x 1,000		500 x 1 000		600x 1000	500 x 700			250 x 700	500 x 2000 ~ 700		
	上端筋	3-D22	4-D22	5-D22	3-D22	4-D22	3-D22	5-D22	3-D22	4-D22	4-D22	7-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	7-D22	4-D22	4-D22	7-D22	3-D22	7-D22	4-D22	
	下端筋	3-D22	4-D22	3-D22	4-D22	4-D22	3-D22	3-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	7-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	7-D22	4-D22	4-D22	7-D22	3-D22	4-D22	4-D22	
	あばら筋		□-D13-@100							□-D13-@100								□-D13-@100							
	腹筋			4-D10	4-D10							4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10						6-D10	2-D10	

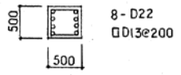
共通事項

特記無き限り下記とする。



1. 寸法 (b×D)
2. 肋筋 □D13 @200
3. 腹筋 2-D10
4. 巾止 D10 @1000

1) GA 断面は下記による.



8-D22
□D13@200

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. S-17
			建設時柱・大梁リスト (参考)	SCALE A3:1/100 A1:1/50
			DATE 2024/03/15	SIGN

小梁断面表 1:40

符号	B1(IA)	B2			B3
位置	全断面	外端	中央	内端	全断面
断面	(300×500)				
寸法	300×600	300×600			300×600
上端筋	3-D19	3-D19	3-D19	4-D19	4-D19
下端筋	3-D19	3-D19	4-D19	3-D19	3-D19
あばら筋					
腹筋					

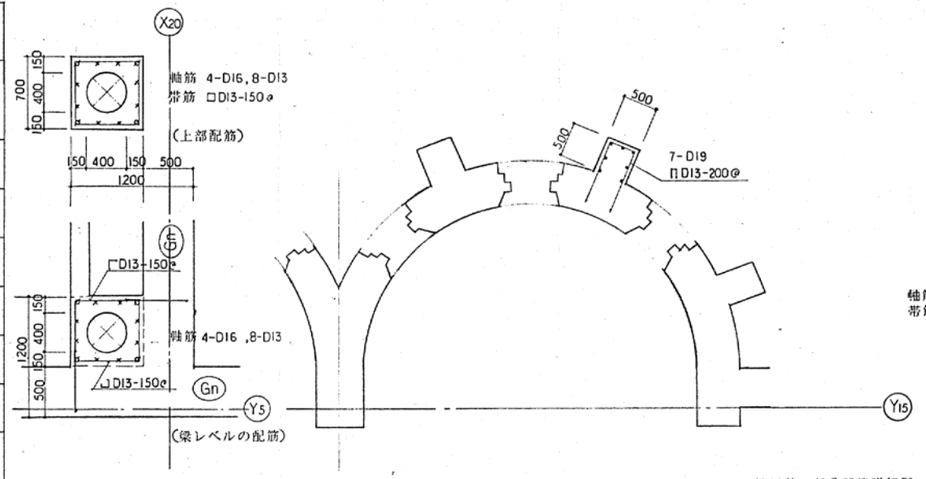
共通事項
特記無き限り下記とする。

1. 寸法 (b×D)

2. 肋筋 □D10 @200
3. 腹筋 2-D10
4. 巾止 D10 @1000

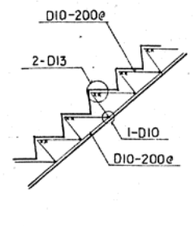
床版配筋表

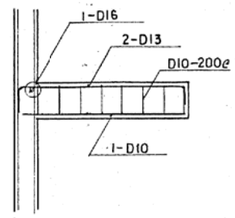
符号	板厚	位置	短辺方向 短辺方向端部	短辺方向 中央部	短辺方向 四隅部 長辺方向端部	長辺方向 長辺方向端部	長辺方向 中央部	長辺方向 四隅部 短辺方向端部	備考
S1	180	上端筋	D10, 13-200@	→	→	D10, 13-200@	→	→	
		下端筋	D10-200@	→	→	D10-200@	→	→	
S2	180	上端筋	D13-200@	→	→	D10, 13-200@	→	→	
		下端筋	D10, 13-200@	→	→	D10-200@	→	→	
S3	200	上端筋	D13-200@	→	→	D10, 13-200@	→	→	
		下端筋	D10, 13-200@	→	→	D10, 13-200@	→	→	
S4	200	上端筋	D13-150@	→	→	D10, 13-200@	→	→	
		下端筋	D10, 13-150@	→	→	D10, 13-200@	→	→	
S5	150	上端筋	D10, 13-200@	→	→	D10, 13-200@	→	→	
		下端筋	D10-200@	→	→	D10-200@	→	→	
S6	150	上端筋	D13-200@	→	→	D10, 13-200@	→	→	
		下端筋	D10, 13-200@	→	→	D10-200@	→	→	
CS1	200	上端筋	D13-200@	→	→	D10-200@	→	→	
		下端筋	D10, 13-200@	→	→	D10-200@	→	→	
PS1	200	上端筋	D10, 13-200@	→	→	D10, 13-200@	→	→	
		下端筋	D10, 13-200@	→	→	D10, 13-200@	→	→	



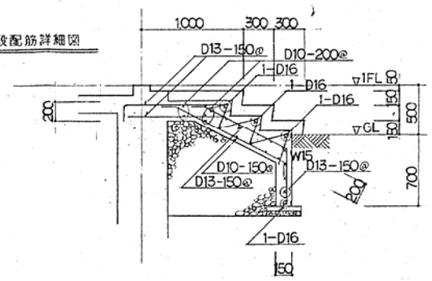
壁梁配筋詳細図 1:30

柱以外の部分配筋詳細図

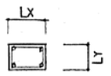




階段配筋詳細図



人口スラブ配筋詳細図 1:30



軸筋 4-D16
帯筋 □D10-150@
Lx, Lyは意匠図寸法による

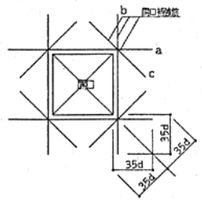
壁断面表 1:40

(注)外部、内部共フカシコンクリート@30とする。

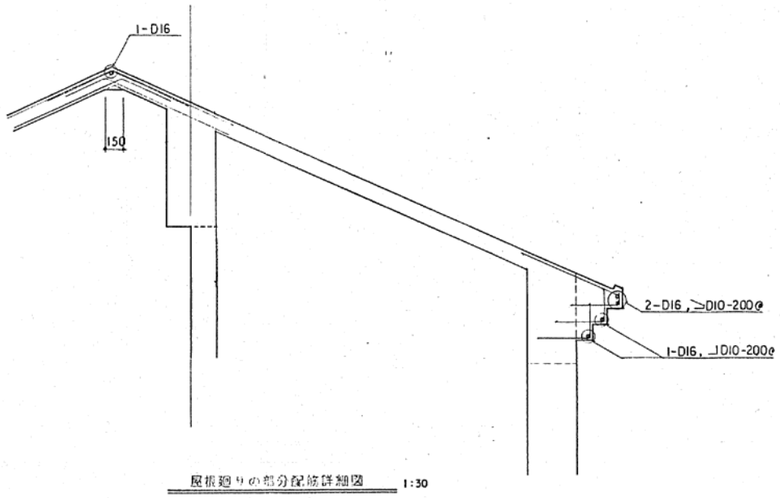
符号		EW50 (EW25)	W50	EW20	EW18	W18	W15
断面		500	500	200	180	180	150
タテ筋		D16-200@D.	D16-200@D.	D13-200@D.	D13-200@D.	D13-200@D.	D10-200@D.ﾀﾃﾘ
ヨコ筋		D16-200@D.	D16-200@D.	D10D13-200@D.	D10D13-200@D.	D10-200@D.	D10-200@D.ﾖｺﾘ
開口補強筋	a	4-D19	2-D19	4-D16	4-D16	2-D16	2-D13
	b	2-D19	2-D19	2-D16	2-D16	2-D16	2-D13
	c	2-D19	2-D16	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13

共通事項 特記なき限り下記

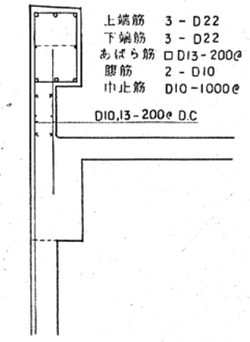
1. 開口補強筋



2. 巾止筋 D10-1,000@



屋根廻りの部分配筋詳細図 1:30



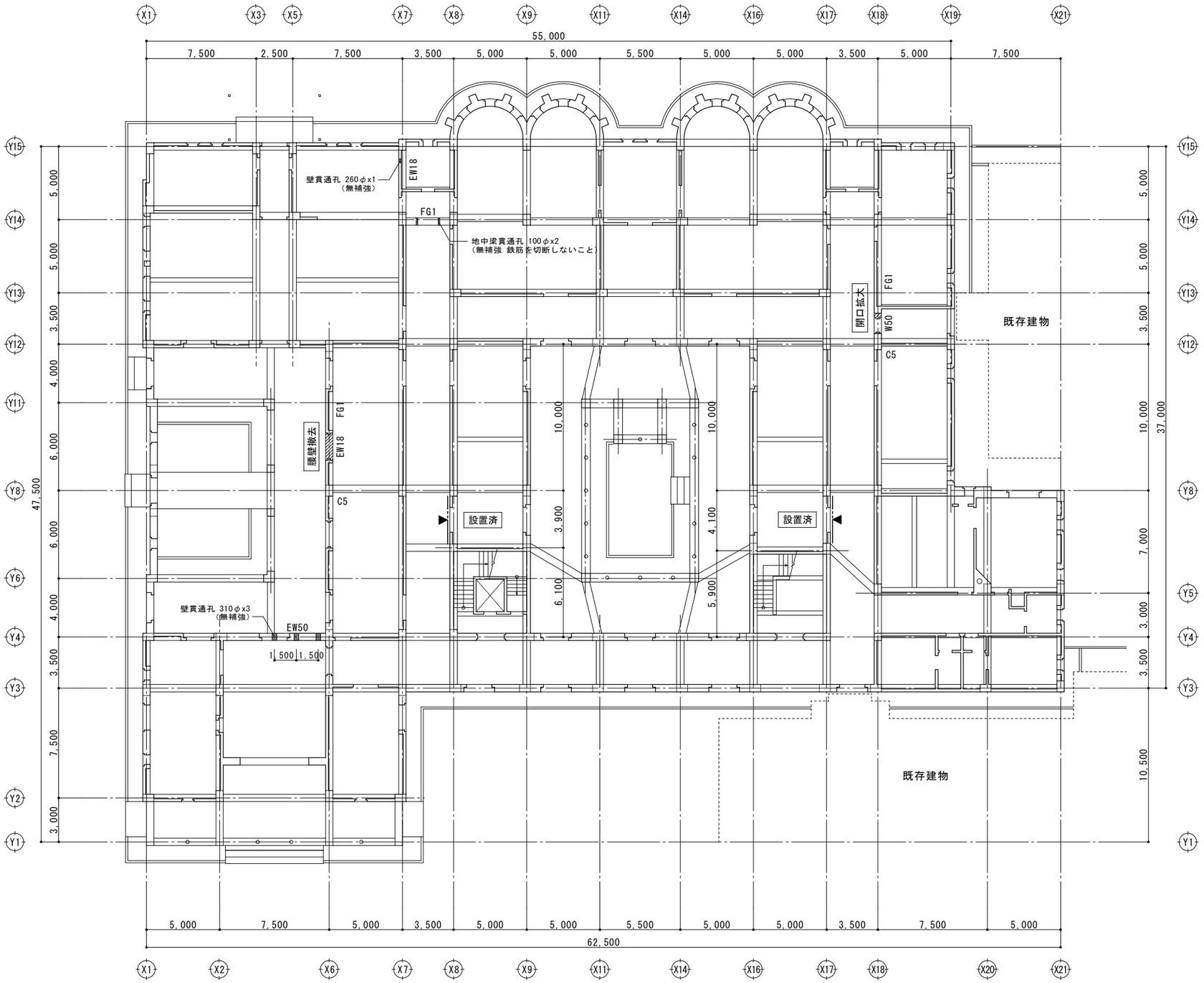
手摺り配筋詳細図 1:30

特記	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

建設時小梁・床版・壁リスト（参考）

NO. S-18
SCALE A3:1/80, 60 A1:1/40, 30
DATE 2024/03/15
SIGN

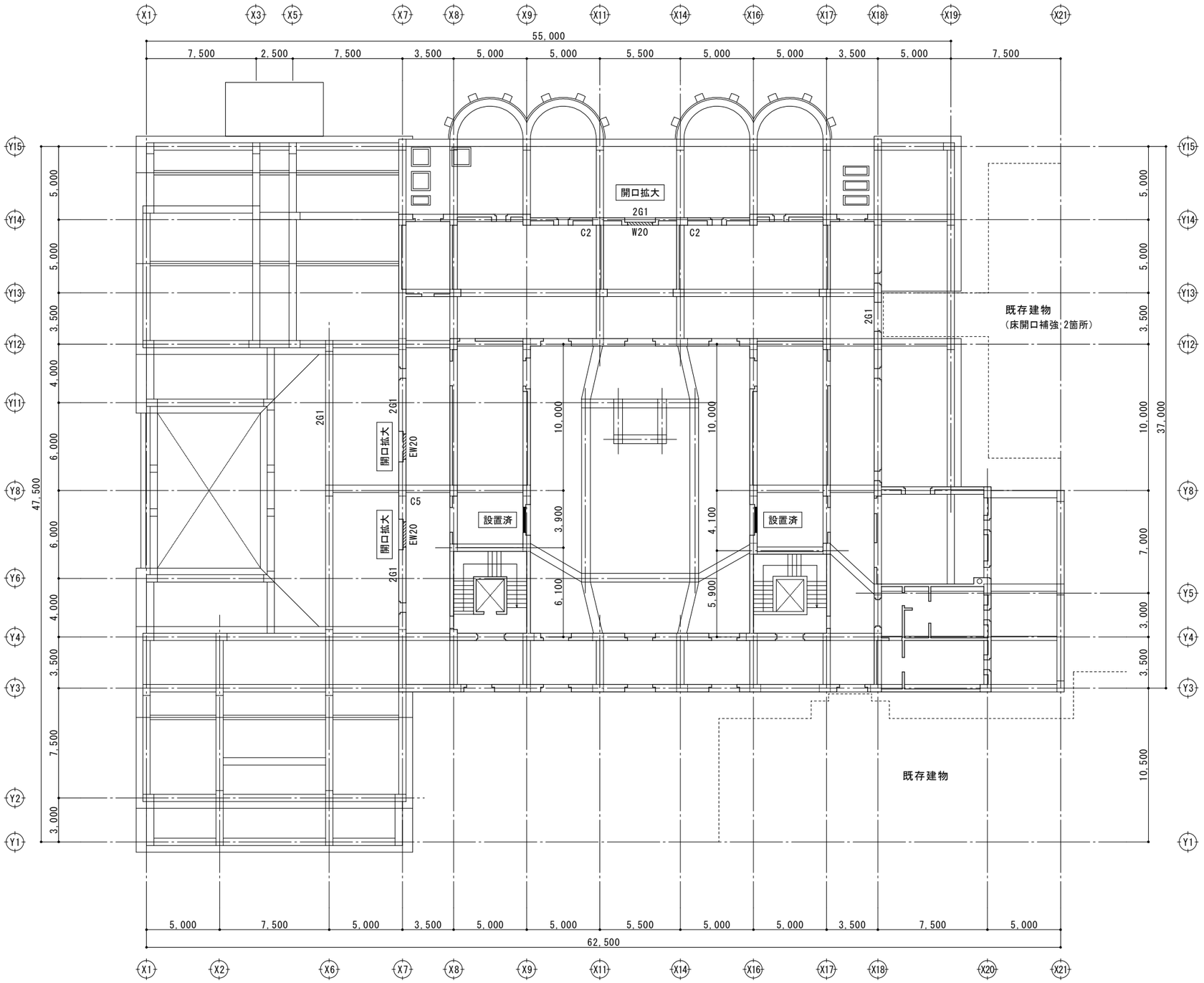


改修１階梁伏図　　1/150

特記なき限り、下記による。

1. 当該補強工事は平成4年当時の構造基準に適合するものであり、現行基準を満たすものではない。
2. 当該改修工事は補強工事完了検査後に行うものとする。

特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. S－19
			改修　１階梁伏図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN



改修２階梁伏図　　1/150

特記なき限り、下記による。

1．当該補強工事は平成4年当時の構造基準に適合するものであり、
　現行基準を満たすものではない。

2．当該改修工事は補強工事完了検査後に行うものとする。

特記	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

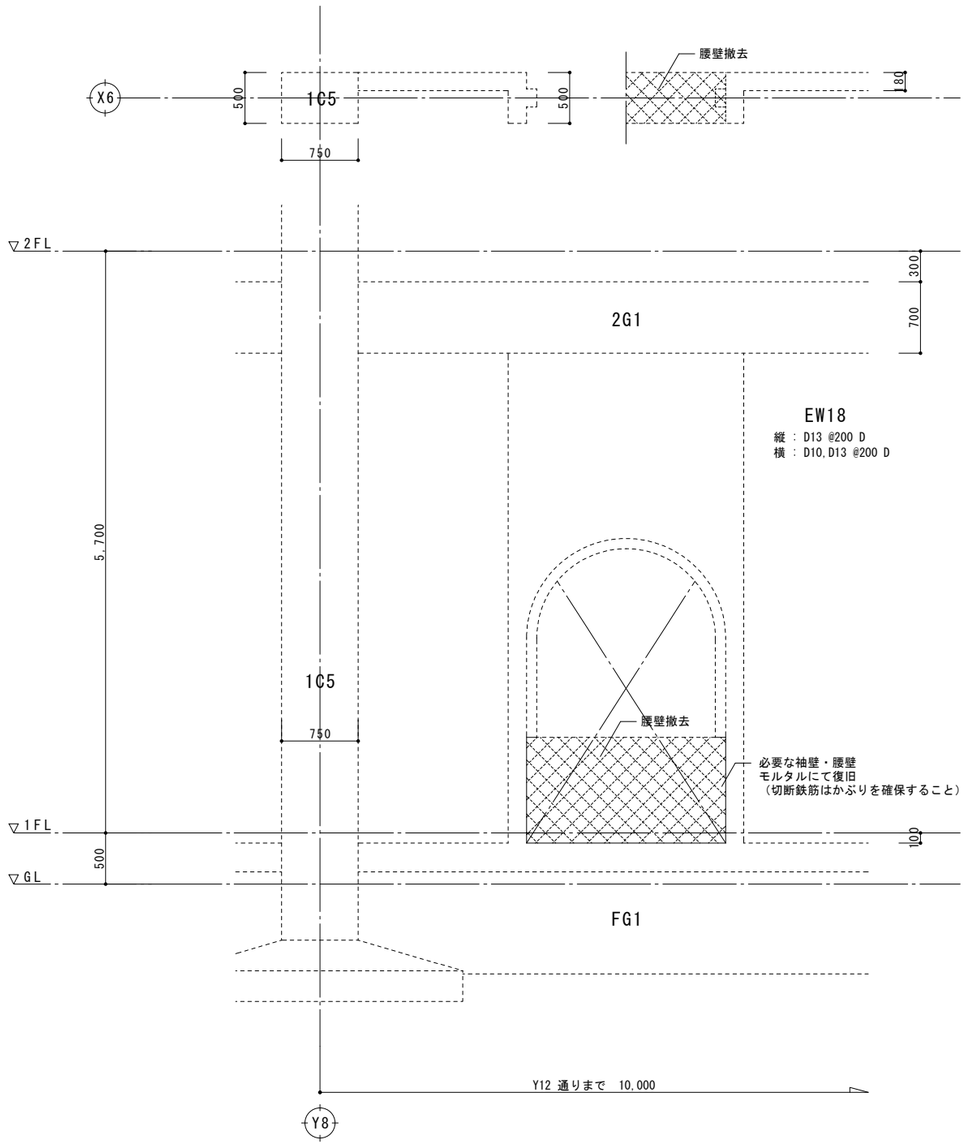
改修 ２階梁伏図

NO. S － 20

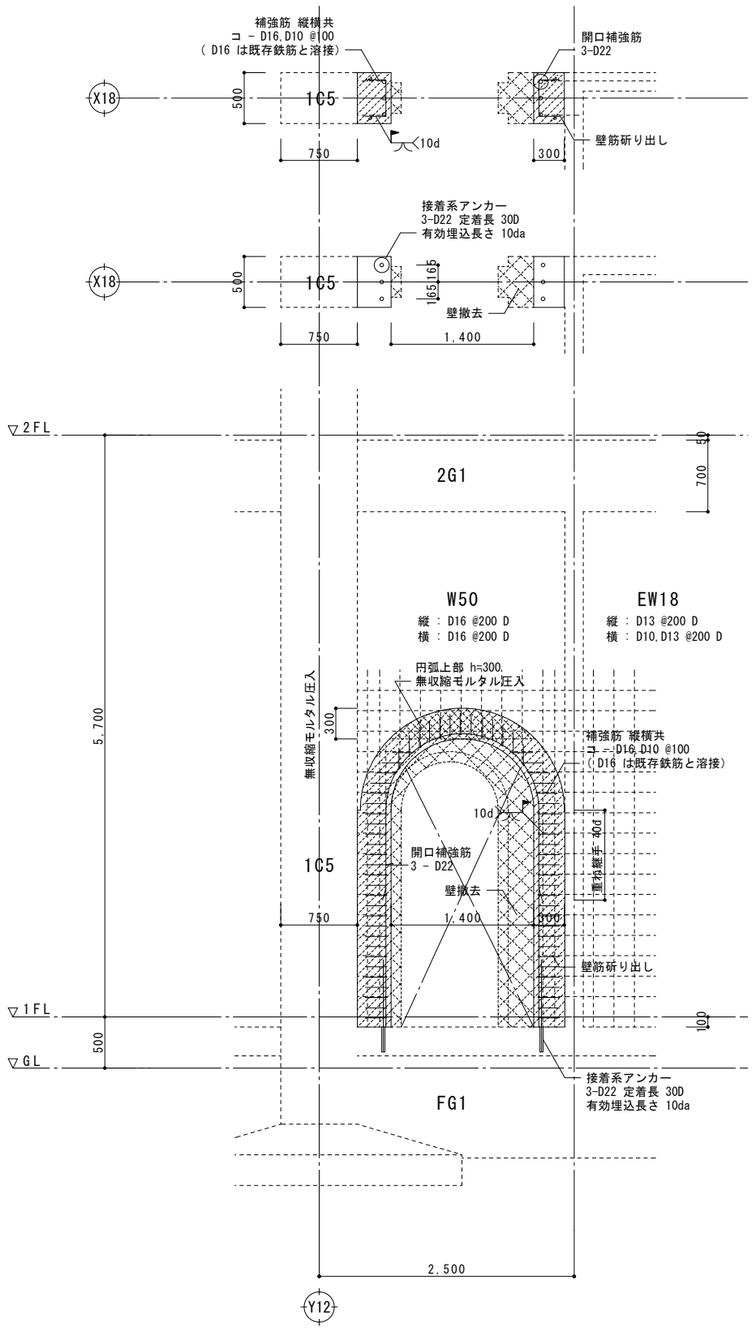
SCALE A3:1/300
A1:1/150

DATE 2024/03/15

SIGN

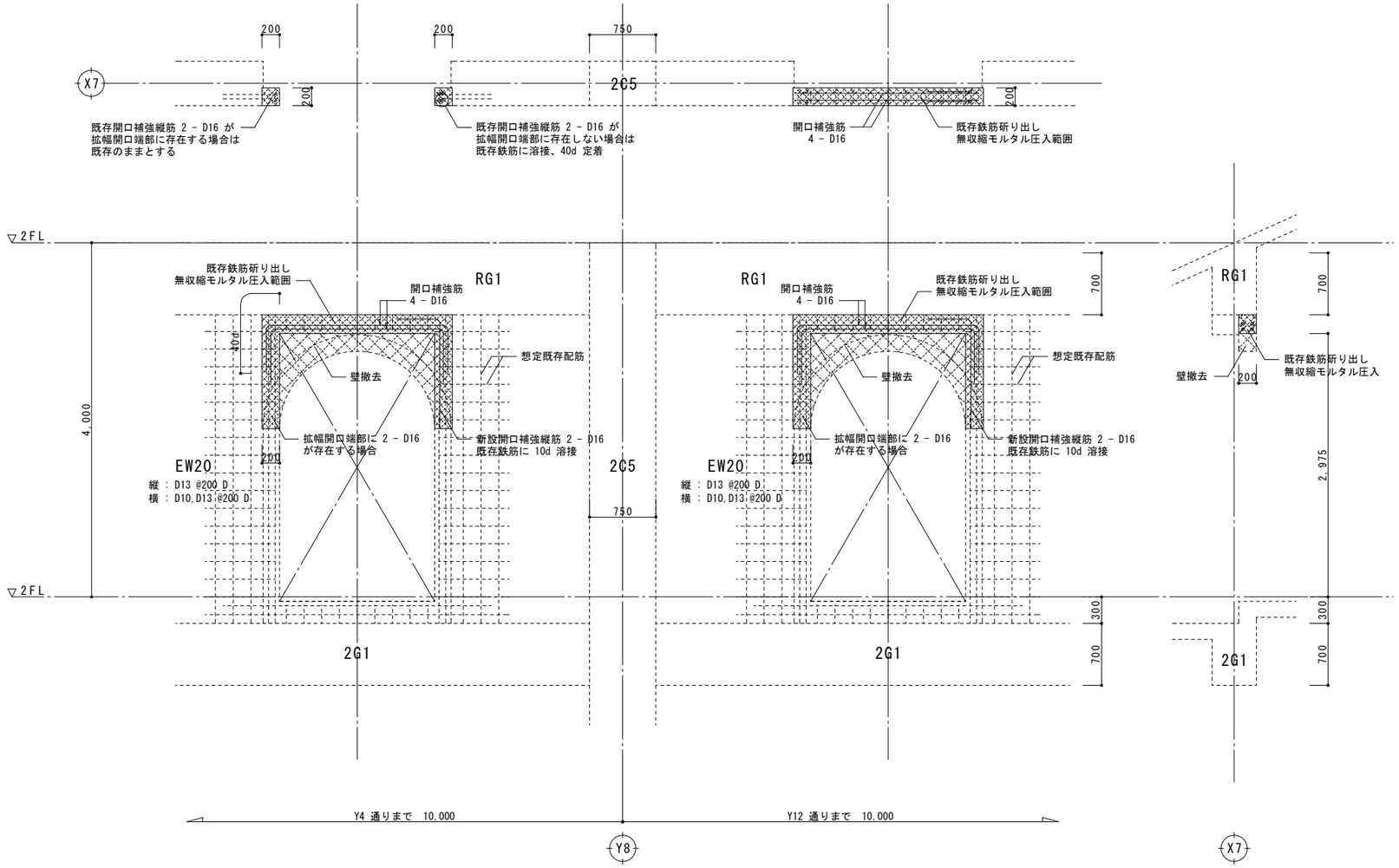


X6通り改修詳細図 1/30



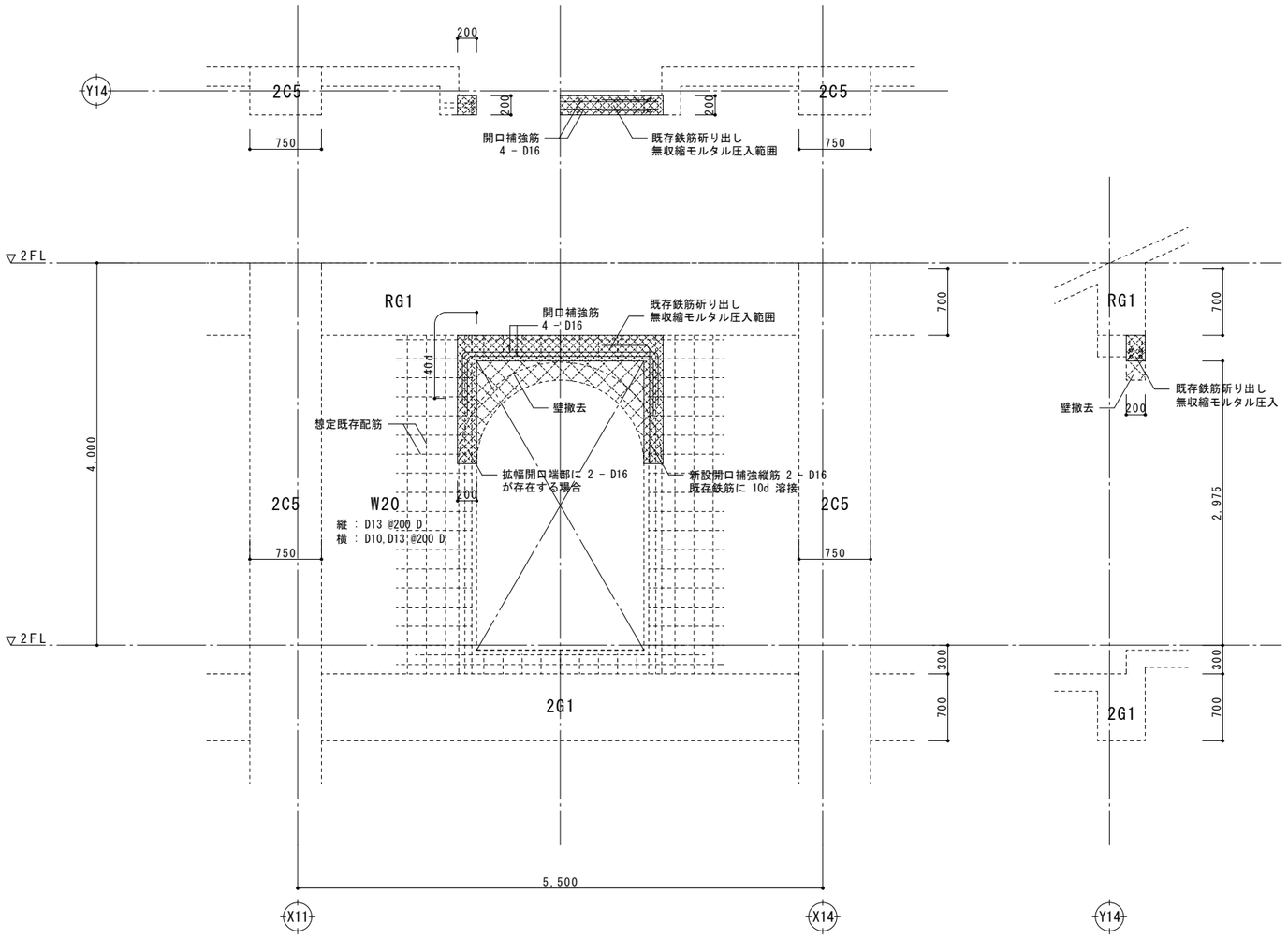
X18通り改修配筋詳細図 1/30

特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. S - 21
			改修詳細図 1	SCALE A3:1/60 A1:1/30
			DATE 2024/03/15	SIGN

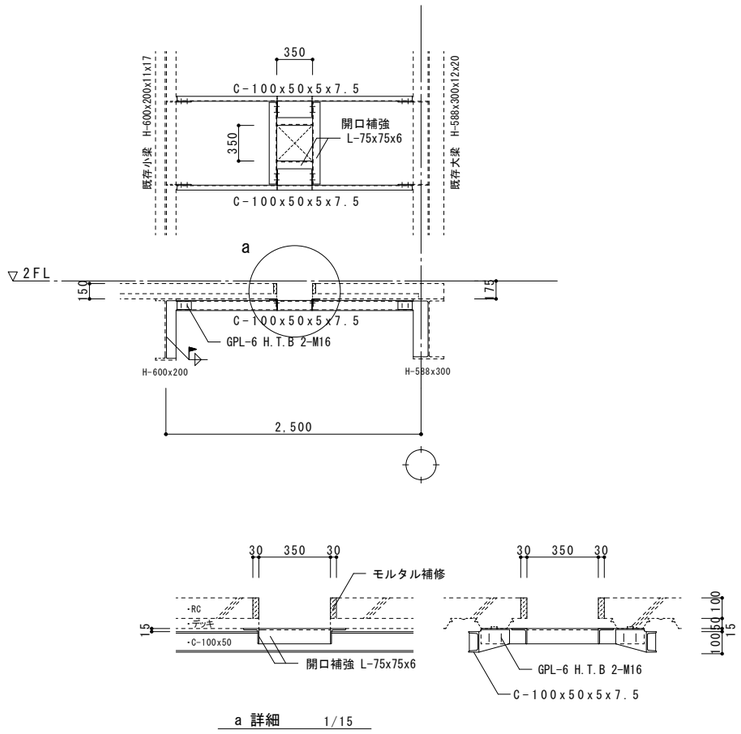


X7通り改修配筋詳細図　1/30

特　記		令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. S - 22
		改修詳細図２	SCALE A3:1/60 A1:1/30
		DATE 2024/03/15	SIGN



Y14通り改修配筋詳細図　1/30



a 詳細　1/15

展示室９ 床開口補強詳細図　1/30

※ 床開口位置は空調設備図参照とし、
同寸法 2箇所とする。

特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. S - 23
			改修詳細図３	SCALE A3:1/60,30 A1:1/30,15
			DATE 2024/03/15	SIGN

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業　大規模改修工事

(電気設備工事　特記仕様書)

Ⅰ．工 事 概 要

1．工 事 場 所　　安曇野市　豊科近代美術館

2．建 物 概 要

建 物 名 称	構　造	階　数	延面積（㎡）
本館棟	ＲＣ造	2　階　建	2,223.75
収蔵庫棟	軽量鉄骨造	1　階　建	280.59
燃料保管庫棟	ＲＣ造	1　階　建	13.51

3．工 事 種 目　　（●印のついたものを適用する。）

工事種目		備　考
◉ 受変電	設備工事	
○ 自家発電機	設備工事	
◉ 電灯幹線、動力幹線	設備工事	
◉ 動　力	設備工事	
◉ 電　灯	設備工事	
◉ コンセント	設備工事	
◉ 構内交換（TEL）	設備工事	
◉ 構内情報通信網（LAN）	設備工事	
◉ ｲﾝﾀｰﾎﾝ、ﾄｲﾚ呼出し	設備工事	
○ 入退室管理	設備工事	
◉ 拡声（一般・非常放送）	設備工事	
◉ テレビ共聴	設備工事	
◉ 自動火災報知	設備工事	
○ 床暖房	設備工事	

Ⅱ．図 面 目 録

図面番号	図　面　名　称	図面縮尺
E-01	特記仕様書（電気設備工事）	NO SCALE
E-02	配置図・案内図	A3：1/1000、A1：1/500
E-03	１階　改修　空調動力電源等　　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-04	２階　改修　空調動力電源等　　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-05	１階　改修　空調室内ユニット電源　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-06	２階　改修　空調室内ユニット電源　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-07	電灯分電盤結線図	NO SCALE
E-08	照明器具姿図(参考)－１	NO SCALE
E-09	照明器具姿図(参考)－２	NO SCALE
E-10	改修の照明器具、ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙの一覧表	NO SCALE
E-11	１階　改修　電灯　　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-12	２階　改修　電灯　　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-13	１階　改修　非常灯・誘導灯　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-14	２階　改修　非常灯・誘導灯　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-15	１階　改修　ライティングダクト　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-16	２階　改修　ライティングダクト　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-17	１階　改修　電灯幹線、コンセント　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-18	２階　改修　コンセント　　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-19	音響機器姿図、トイレ呼出し機器図	NO SCALE
E-20	１階　改修　弱電、放送、監視カメラ　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-21	２階　改修　弱電、放送、監視カメラ　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-22	１階　改修　音響(多目的ﾎｰﾙ)、Wi-Fi設置、ｻｲﾈｰｼﾞ設置　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-23	２階　改修　音響(多目的ﾎｰﾙ)、Wi-Fi設置、ｻｲﾈｰｼﾞ設置　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-24	１階　改修　火災報知　　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-25	２階　改修　火災報知　　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-26	撤去の照明器具、ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙの一覧表	NO SCALE
E-27	１階　撤去　電灯(ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ共)　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-28	２階　撤去　電灯(ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ共)　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-29	１階　撤去　非常灯・誘導灯　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-30	２階　撤去　非常灯・誘導灯　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-31	１階　撤去　コンセント　　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-32	２階　撤去　コンセント　　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-33	１階　撤去　弱電、放送、監視カメラ　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-34	２階　撤去　弱電、放送、監視カメラ　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-35	１階　撤去　火災報知　　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-36	２階　撤去　火災報知　　設備図	A3：1/300、A1：1/150
E-37	仮設電気工事対応の設備図	A3：1/500、A1：1/250

Ⅲ．工 事 仕 様

1．共 通 仕 様

本工事に適用する仕様書、書類等は下記による。その他関係法令、規則、地方条令等に準拠し、
監理者、監督職員との打合わせ、協議の上　施工すること。
（●印を付けたものを適用する。）

●	公共建築工事標準仕様書	（電気設備工事編）	最新版　国土交通省大臣官房官庁営繕部
●	公共建築改修工事標準仕様書	（電気設備工事編）	最新版　国土交通省大臣官房官庁営繕部
●	公共建築設備工事標準図	（電気設備工事編）	最新版　国土交通省大臣官房官庁営繕部
●	公共建築工事標準仕様書	（建築工事編）	最新版　国土交通省大臣官房官庁営繕部
●	公共建築工事標準仕様書	（機械設備工事編）	最新版　国土交通省大臣官房官庁営繕部

2．特 記 仕 様

（1）項目は番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項において選択する事項は、（・）印の付いたものを適用する。

項　目	特　記　事　項
① 機 材 等	本工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。 使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有する事の証明となる資料を監督職員に提出する。ただし、JIS・JASマーク及び「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」に適合することを示す認証機関のマークのある機材を使用する場合、並びにあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、資料の提出を諸略することができる。 機材の色等については、監督職員の指示を受ける。 設計図書に定められた機材の見本を提出し、材質・仕上げの程度・色合い等について あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 機器には、製造者名、製造年月、形式、型番、性能等を記した銘板を取付ける。 設計図書に定められた規格等が改正された場合は、監督職員と協議する。
② 機材の搬入・検査等	機材の搬入ごとに、監督職員に報告し、種別ごとに監督職員の検査を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 前項による検査の結果、合格した機材と同じ種別の機材は、以後、原則として抽出検査とする。ただし、監督職員の指示を受けた場合は、この限りでない。
③ 機材の検査に伴う試験	標準仕様書第１編1.4.6による。製造者において、実験値等が整備されているものは、監督職員の承諾により、性能表・能力計算書等、性能を証明するものをもって試験に替えることができる。
④ 機材の保管	搬入した機材は、工事に使用するまで、変質等がないよう保管する。
⑤ 実施工程表及び施 工 計 画 書	工事着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督職員の承諾を受ける。 契約書の規定に基づく条件変更等により、実施工程表を変更する必要が生じた場合、施工等に支障がないよう実施工程表を遅滞なく変更し、当該部分の施工に先立ち、監督職員の承諾を受ける。実施工程表の内容を変更する必要が生じた場合は、監督職員に報告するとともに、施工等に支障がないよう適切な措置を講ずる。 工事着手に先立ち、総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 品質計画、一工程の施工の確認を行う段階及び施工の具体的な計画を定めた工種別の施工計画書を当該工事の施工に先立ち作成し、監督職員に提出する。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 施工計画書の内容を変更する必要が生じた場合は、監督職員に報告するとともに、施工等に支障がないよう適切な措置を講ずる。
⑥ 施工図等の取扱い	施工図等を当該工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は、監督職員に報告するとともに、施工等に支障がないよう適切な措置を講ずる。 施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
⑦ 施 工 資 格	電気工作物は第一種電気工事士により施工を行う。 又、その他の工事施工においても、法定資格を有する施工者により施工を行う。
⑧ 工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署、その他の関係機関への諸手続き等に要する費用は、請負者の負担とする。
⑨ 足場・さん橋類	別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。
⑩ 保　険	工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その費用は請負者の負担とする。 建物引渡しまで請負者は工事目的、工事材料等について火災保険をかけるものとする。
⑪ 安全確保・環境保全	第三者・近隣住民等に迷惑、損害を与えないよう充分留意し、工事施工に伴う災害・事故等の防止及び環境の保全に努めること。
⑫ 発生材の処理	引渡しを要するもの　・無　⊙有（＊照明器具等：関係者と打合せ対応する。） ⊙再生資源の利用を図る　（　　） ・特別管理産業廃棄物　・無　・有（　　） ⊙上記以外構外搬出適切処理 建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令等に定めるところによる他「建設副産物適正処理推進要綱」（最新の関係法令等）に従い適切に処理し、監督職員に報告する。
⑬ 工 事 写 真	建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（最新版）建築設備編」による。 又、工事着手前に写真撮影計画を提出する。
⑭ 完成時提出図書	標準仕様書による他、別表による。
⑮ 耐 震 施 工	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針（国交省 住宅局建築指導課）最新版による。 （1）設計用水平震度は次による。

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設（甲類・乙類）		一般の施設（乙類）	
	重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽
上層階、屋上及び塔屋	2．0 （2．0） <2．0>	1．5 （2．0） <1．5>	1．5 （2．0） <1．5>	1．0 （1．5） <1．0>
中 間 階	1．5 （1．5） <1．5>	1．0 （1．5） <1．0>	1．0 （1．5） <1．0>	0．6 （1．0） <0．6>
地下階・1階	1．0 （1．0） <1．5>	0．6 （1．0） <1．0>	0．6 （1．0） <1．0>	0．4 （0．6） <0．6>

（注）（ ）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
＜ ＞内の数値は水槽類に適用する。

重要機器
○ 高圧ｷｭｰﾋﾞｸﾙ　○ 配分電盤　○ 自家発電装置　○ 無停電電源装置(UPS)
○ 複合防災盤(火災受信機、防災アンプ、他機器類)○ 既存電話交換機

上層階の定義は次による。
６階建以下の場合は最上階．７～９階建の場合は上層２階
１０～１２階建の場合は上層３階．１３階建て以上の場合は上層４階

（2）設計用鉛直震度　　設計用垂直震度は、設計用水平震度の１／２の値とする。

⑯ 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 絶縁劣化等使用に耐えられない機器は、監理者・監督職員と協議の上、対応する。
17 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は、下処理の上、塗装（ＯＰ２回塗り）を行う。 屋　外　○屋　内（露出配管ビニル被覆付以外の箇所）
18 呼 び 線	長さ１m以上の入線しない電線管には、１．２mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
⑲ 配線器具の形状	電線管サイズ、配管区間等表示の略表を取付ること。 ○ 大角型一埋込型　　ワイド型一埋込型
⑳ フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き下記による。 ○ 金属製　○ 樹脂製　　プレート（形状・色等は打合せ）
㉑ 取付け枠	電力用配線器具の取付け枠は、絶縁枠とする。
㉒ フロアベース フロアプレート	図面に特記なきものは直付（ビス止め）型とする。 砲金製　○ アルミ製
㉓ フロアコンセント	フロアコンセントは、直付（ビス止め）型垂直上下式（黄銅製）とする。
24 地中線路	ハンドホール内、プルボックス内、外灯 内でケーブルの余長をとる。
25 ケーブル埋設標	地中線路には、ケーブル埋設標をもうける。埋設シートは配管経路の全て（埋設深度の中間） コンクリート製　　鉄製（コンクリート土間，アスファルト，インターロッキング敷部分）
26 ハンドホール	国土交通省型ブロック型ハンドホールとする。 ２段積み相互間はエポキシ系接着材により接合する。 各ハンドホール内にアルミ製梯子を設置する。 ハンドホール鉄蓋はＷＰＭ－６０Ａ（電気マーク入）とする。 ハンドホール鉄蓋取外し用ジャッキ・フック等を一組納入する。 ○ 電線管接続部は、ハンドホール外側に防水コンクリート増し打ち（厚150）施工する。
27 残土処理	○ 構内指定の場所に敷きならしとする。　　構外搬出とする。
㉘ 色彩の決定	監理者、監督職員と協議の上、決定する。
㉙ プレートの用途表示	プルボックス、ジョイントボックスおよび機器を実装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。
㉚ プレートの塗装	プルボックス等のプレートおよび固体で露出するものは、焼付塗装とし化粧ビス止めとする。
㉛ 施工管理	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「電気設備工事監理指針」（最新版）による自主施工管理に努めること。
㉜ 施　工	施工は全て設計図書に示された設備が、機能を完全に発揮するように誠実に行うこと。
㉝ 参考図書	（社）長野県電設業協会発行「電気設備工事施工の手引」（最新版）
㉞ 各室の照度測定（非常照明 共）	測定点・測定ヶ所を監督職員と協議の上、測定する。 施工前、施工後に各室の照度測定を行い、同 測定結果を報告する。 非常用照明装置の照度測定を行い、同 測定結果を報告する。
㉟ 他工事又は他工種との取り合い	工事区分表による。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議する。
㊱ 合成樹脂製電線管の施工について	合成樹脂製電線管（ＰＦ管）のコンクリート内配管はダブル配筋の間とし、平行する配筋と５０mm以上あけて配管する。 配管が集中する分電盤の上下部分等は配管経路を充分検討し、施工図を作成すること。 梁に平行する埋設配管は梁面より１５０mm以上離して配管すること。 柱から梁せい以内の部分の横断配管は避けること。 梁材の中の軸方向の埋設配管は避けること。 梁の横断配管はフープ間に１本の配管とすること。 コンクリートスラブ内の配管（ＰＦ２８）は避けること。
㊲ 防火区画・界壁部分の施工について	防火区画・防火壁・界壁・小屋うら隔壁部分を貫通する配管、ケーブルは、建築基準法、消防法、その他関係法令、規則、地方条令等に準拠し施工すること。

3．機 器 取 付 高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監理者・監督職員との協議による。

	名　称	測　点	取付高（mm）
共通	取引用計器	地上～上端	2，000
	引込開閉器盤	床上～上端	1，800
	警報盤	床上～中心	1，500
電灯	分電盤	床上～中心	1，500
		上端	1，900以下
	タンブラスイッチ（一般）	床上～中心	1，300
	〃（身障者用）	〃	1，100
	コンセント（一般）	床上～中心	300
	〃（和室）	〃	150
	〃（便所等）	〃	300
	〃（棚上）	棚上～中心	150
	ブラケット（一般）	床上～中心	2，100
	〃（踊場）	〃	2，500
	〃（鏡上）	鏡端～中心	150
動力	壁掛型制御盤	床上～中心	1，500
		上端	1，900以下
	手元開閉器	床上～中心	1，500
	操作スイッチ	〃	1，300
	操作押ボタン	〃	1，300
電話	室内端子盤（廊下・室内）	床上～中心	1，300
		上端	1，900以下
	中間端子盤（ＥＰＳ・電気室）	床上～中心	1，300
		上端	1，900以下
	集合保安器盤	床上～中心（天井高）x 0．9	
	壁付アウトレット		
	〃（一般）	床上～中心	300
	〃（和室）	〃	150
	〃（壁掛）	〃	1，500
	〃（棚上）	〃	150

	名　称	測　点	取付高（mm）
時計	壁掛親時計	床上～中心	1，500
		上端	1，900以下
	子時計	床上～中心	（天井高）x 0．9
拡声	壁掛形スピーカー	〃	（天井高）x 0．9
	アッテネーター	〃	〃
表示	表示盤	床上～上端	（天井高）x 0．9
	壁付発信器	床上～中心	1，300
	ベル	〃	（天井高）x 0．9
	ブザー	〃	（天井高）x 0．9
	押ボタン	〃	1，300
	〃（身障者用押釦）	〃	1，100
	身障者用表示灯	〃	2，200
	身障者用復帰釦	〃	1，500
インターホン	壁付インターホン	床上～中心	1，500
	〃（身障者用）	〃	1，100
	卓上用（一般）	〃	300
	〃（和室）	〃	150
	〃（棚上）	棚上～中心	150
テレビ共同受信	機器収容箱	床上～上端	（天井高）x 0．9
	ＴＶユニット（一般）	床上～中心	300
	ＴＶユニット（和室）	〃	150
火災報知	受信機	床上～操作部	800～1，500
	副受信機	〃	〃
	機器収容箱	床上～中心	〃
	発信器	〃	〃
	ベル	〃	（天井高）x 0．9
	消火栓表示灯	〃	（天井高）x 0．8

4．他工事との取り合い区分（下表による）

	工　事　項　目	電気設備工事	機械設備工事	建築工事
1	高圧ｷｭｰﾋﾞｸﾙの基礎工事			○
2	地中梁、床ｽﾘｰﾌﾞ、壁等の開口補強工事			
3	同上　スリーブ工事			
4	壁(LGS)の(分電盤・端子盤)開口補強工事	○		
5	天井点検口、床点検口			○
6	自動ドアーの一次側電源工事　(1φ100V)	○		
7	ｴﾚﾍﾞｰﾀｰの一次側電源工事　(3φ200V、100V)	既存対応		
8	ｴﾚﾍﾞｰﾀｰへの電話用、ｲﾝﾀｰﾎﾝ用配管・配線	○		
9	防火ｼｬｯﾀｰの一次側電源工事	○		
10	同上　操作ｽｲｯﾁ用配管	○		
11	消火器、同 収納ボックス			
12	消防設備等の消防署への申請手続き・検査の対応	○		
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19	天井(LGS)の照明器具・ｽﾋﾟｰｶｰ等の開口補強工事	○		
20	同上　天井ボード(仕上材)の切込み工事	○		
21	工事期間の電気料金	○	○	○
22				

5．接　地　極　　※各種接地極は、既存接地工事をそのまま使用する。
ただし　同接地抵抗値を確認し、報告書を提出のこと。
※照明器具、ライティングダクト、接地付コンセント等への接地線の施工対応をすること。

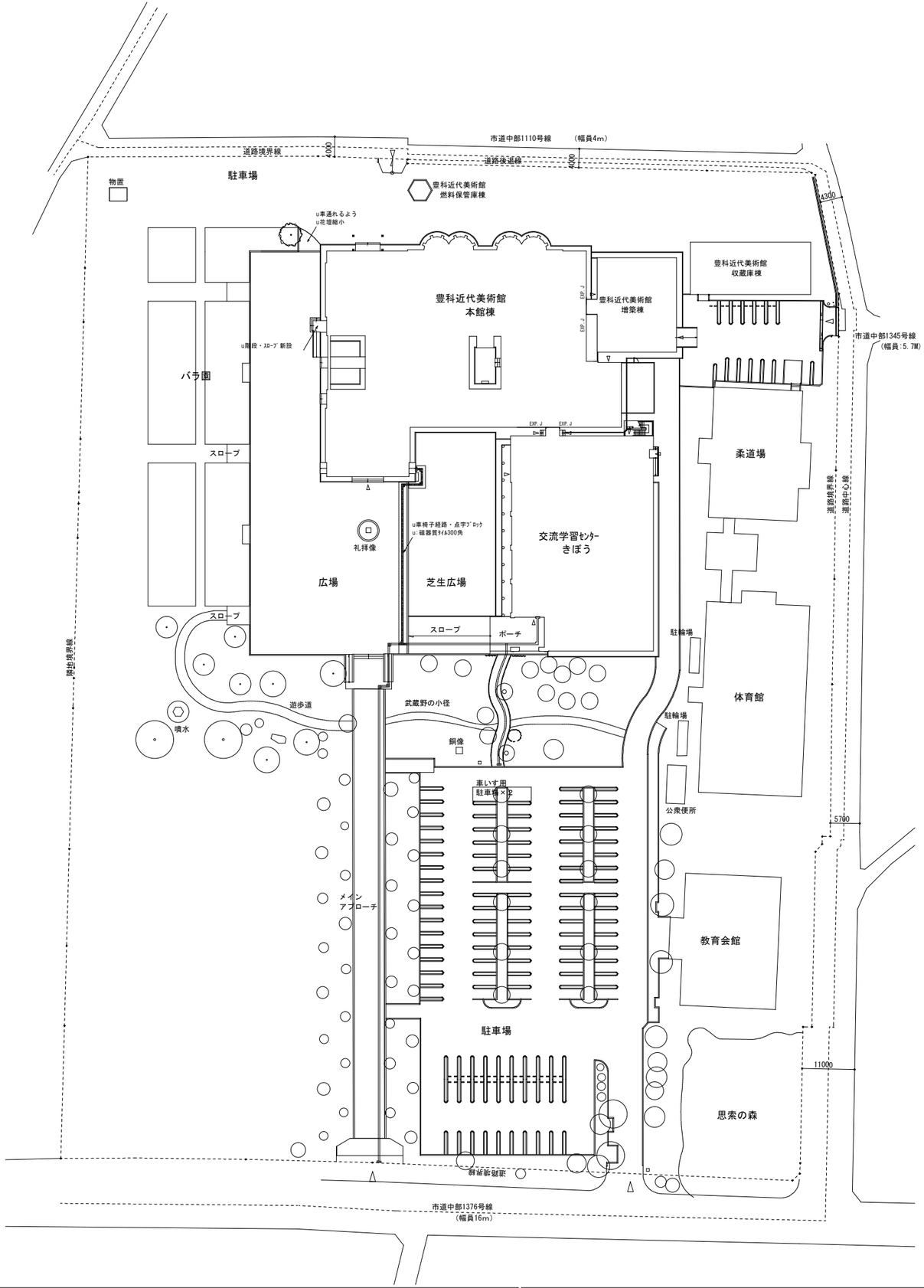
Ａ種接地	銅板　１．５ｔ×９００×９００補助接地棒（連結式　１４φｘ１，５００） リード端子付　堀削埋戻中心深さ　２ｍ 埋設標（黄銅製又はステンレス製）
Ｂ種接地	銅板　１．５ｔ×６００×６００補助接地棒（連結式　１４φｘ１，５００） リード端子付　堀削埋戻中心深さ　２ｍ 埋設標（黄銅製又はステンレス製）
Ｃ種接地（太陽光機器）	銅板　１．５ｔ×６００×６００補助接地棒（連結式　１４φｘ１，５００） リード端子付　堀削埋戻中心深さ　１．５ｍ 埋設標（黄銅製又はステンレス製）
Ｄ種接地	接地棒　（連結式　１０φｘ１，０００） リード端子付　打ち込み式 埋設標（黄銅製又はステンレス製ただし外灯専用の場合は不要。

（別表）　竣工時提出物　　○ 印のついたものを提出する。
竣工時提出書類等は、関係者と打合せの上対応すること。

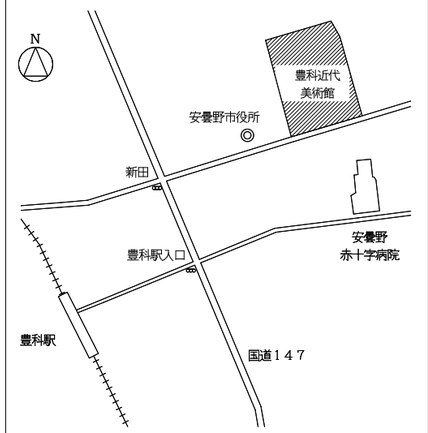
○	完成図（竣工図）データ	1部	○ 総合施工計画書・工種別施工計画書 1部
○	工事工程写真・完成写真	1部	○ 実施工程表 1部
○	機器完成図（決裁済機器納入図）	1部	○ 月間工事報告書 1部
○	機器試験成績書	1部	○ 産業廃棄物処理計画書 1部
○	施工試験成績書	1部	○ 産業廃棄物処理マニュフェスト 1部
○	社内検査報告書	1部	○ 工事保証書・機器保証書 1部
○	官公署届出書・検査書	1部	○ 機器取扱い説明書 1部
○	納入品一覧	1部	○ 他、監督員の指示による。
○	保守工具類、予備品、盤類の鍵	1部	

特　記	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E－01
電気設備工事　特記仕様書	SCALE
DATE 2024/03/15	SIGN

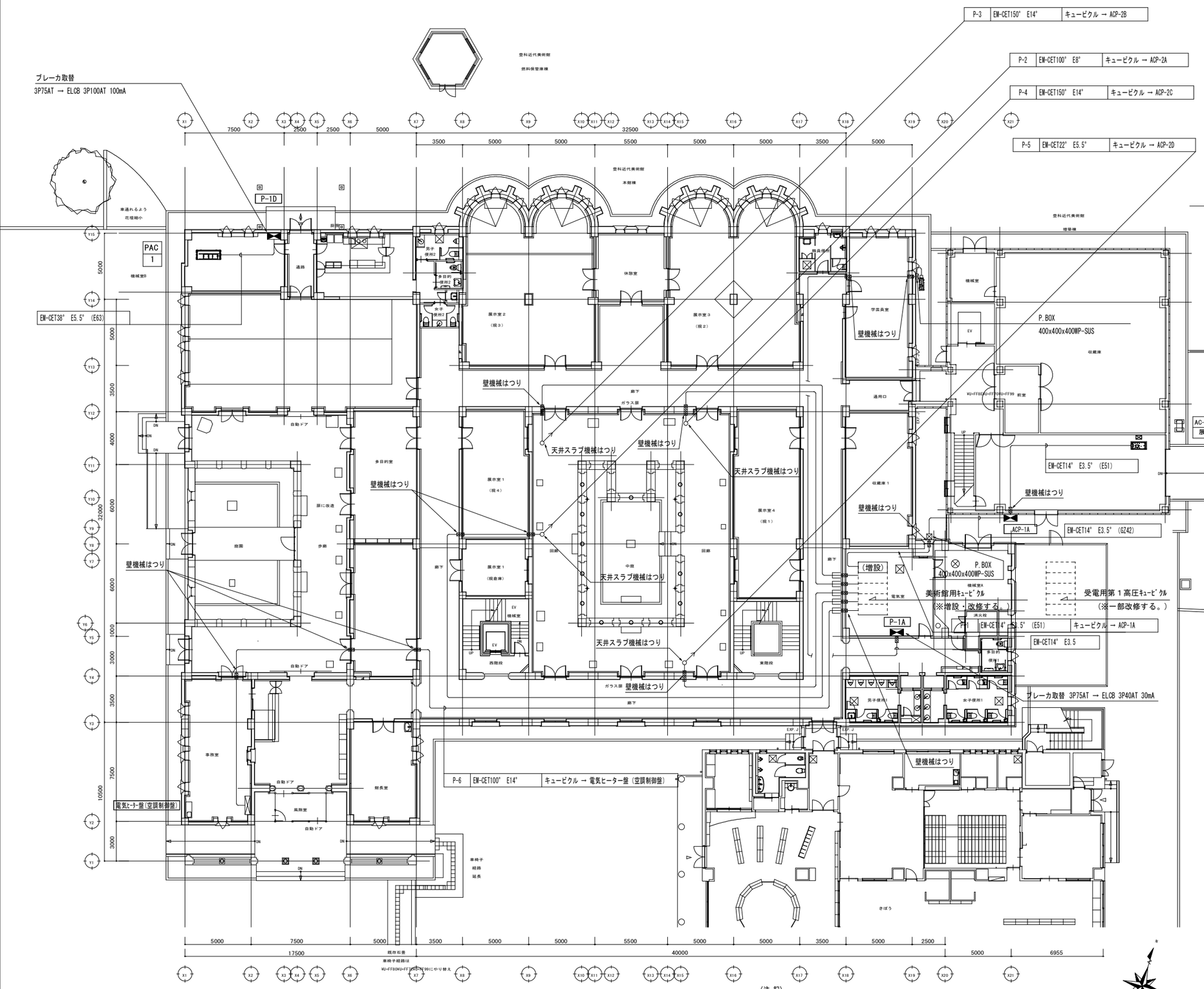


案内図



特　記	

令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事		NO.	E-02
配置図・案内図		SCALE	A3:1/1000 A1:1/500
	DATE 2024/03/15	SIGN	



盤名称 盤形式 幹線	電気方式 主開閉器 負荷容量合計	回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 種別	P	AF/AT	負荷名称	負荷容量(VA) 電灯	コンセント	空調等
ACP-1A 屋外 壁掛型 鋼板製 〈P-1〉 EM-CET14°	AC 3φ3W 200V 負荷容量合計 12.7kW (40A)	1	200	ELCB	3P	100/60	AC-6			12.7kW

受電用第1高圧ｷｭｰﾋﾞｸﾙの改修事項
● 受電用高圧CT (150/5A×2)の取替え
同上　電流計 (150/5A)、電力計の取替え
● 送り用高圧CT (60/5A×2)の取替え
同上　電流計 (60/5A)、電力計 (検定付)の取替え

美術館用高圧ｷｭｰﾋﾞｸﾙの増設、改修事項
1 増設ｷｭｰﾋﾞｸﾙの内容・・・ 1セット (下記の機器等を含む)
● LBS 200A(PF50A以下)予備ﾋｭｰｽﾞ付
● 直列ﾘｱｸﾄﾙ(油入式 9.57Kvar L=6%)
● ＳＣ油入式 3φ160Kvar L=6%
● ＳＣ保護検出、ｺﾝﾃﾞﾝｻｰﾄﾘｯﾌﾟ装置共
2 既設ｷｭｰﾋﾞｸﾙの改修内容・・・ 1式 (下記の機器等を含む)
● 既設ＴＲの交換をする。
TR 1φ3W 100KVA → 1φ3W 100KVA
TR 3φ3W 75KVA → 3φ3W 200KVA
TR 3φ3W 150KVA → 3φ3W 200KVA
● VCB (400A 8KA)手動固定型に交換する。
● OCR (固定型、静止型INST付)に交換する。
● PCSを撤去し LBS (200Aｴﾈｾｰﾊﾞ対応×3台)に交換する。
● 高圧CT・AM、低圧CT・AMを交換する。
● 動力盤ﾌﾞﾚｰｶ (MCB3P225A×4、100A×1)を増設する。
※ 改修工事の内容等、停電工事等については、電気主任技術者、関係者と協議・打合せの上、施工対応すること。

〈注 記〉

1. 露出配管において、空調機への配管接続部は金属製可とう電線管 (屋外はビニル被覆付) とする。
2. 分電盤幹線屋外露出部分は、配管 (GZ) とする。

特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-03
			1階　改修　空調動力電源等　設備図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

EM-CET60° E8° (GZ70) (#76)
EM-CET14° E8° (GZ42) (#50) (室外機ユニット間)
EM-CET22° E5.5° (GZ54) (#63)
EM-CET22° E8° (GZ54) (#63) (室外機ユニット間)
EM-CET60° E8° (GZ70) (#76)
EM-CET22° E5.5° (GZ54) (#63)

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

ブレーカ取替
・〈PAC2〉 3P150AT → ELCB 3P125AT 100mA
・〈加湿器〉 3P50AT → ELCB 3P50AT 100mA
・〈加湿器〉 3P50AT → ELCB 3P50AT 100mA
※電気ヒーター60kWは既設電源再利用とする

PAC-1 45kw
多目的ホール系統
AC-4 11.2kw
学芸員室系統
PAC-2 60kw
2階展示室系統
PAC-2-1 60kw
2階展示室系統
蒸気加湿器×2
（更新）
EM-CET14° E3.5° (E54) (#50)
P-2C
AC-5 56.0kw
1F廊下系統
EM-CET22° E5.5° (GZ54) (#63)
AC-2 33.5kw
展示室1・2系統
AC-7 67.0kw
2F廊下系統
AC-3 33.5kw
展示室3・4系統
ACP-2B
ACP-2C
ACP-2A
AC-1 40kw
事務室他系統
OAC-2 28.0kw
外気処理（北）系統
EM-CET38° E5.5° (GZ54) (#63)
EM-CET22° E5.5° (GZ54) (#63)
壁機械はつり
OAC-1 28.0kw
エントランス系統
OAC-2 28.0系統
外気処理（南）系統
EM-CET22° E5.5° (GZ54) (#63)
ACP-2D
EM-CET38° E8° (E63) (#63)
展示室９
倉庫
電動シャッター電源
3φ3W200V 0.13kW
電動シャッター電源
3φ3W200V 0.13kW
庭園
上部
きぼう

盤名称 盤形式 幹線	電気方式 主開閉器 負荷容量合計	回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 種別	P	AF/AT	負荷名称	負荷容量(VA) 電灯	コンセント	空調等
ACP-2A 屋外 壁掛型 鋼板製 〈P-2〉 EM-CET100°	AC 3φ3W 200V MCCB 3P225/150AT 負荷容量合計 31.6kW (137A)									
		1	200	ELCB	3P	100/100	AC-1			19.1kW
		1	200	ELCB	3P	100/75	OAC-1			12.5kW

盤名称 盤形式 幹線	電気方式 主開閉器 負荷容量合計	回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 種別	P	AF/AT	負荷名称	負荷容量(VA) 電灯	コンセント	空調等
ACP-2B 屋外 壁掛型 鋼板製 〈P-3〉 EM-CET150°	AC 3φ3W 200V MCCB 3P250/250AT 負荷容量合計 51.9kW (236A)									
		1	200	ELCB	3P	100/75	AC-2			15.2kW
		1	200	ELCB	3P	225/125	AC-5			24.2kW
		1	200	ELCB	3P	100/75	OAC-2			12.5kW
							予備			
ACP-2C 屋外 壁掛型 鋼板製 〈P-4〉 EM-CET150°	AC 3φ3W 200V MCCB 3P225/225AT 負荷容量合計 48.0kW (202A)									
		1	200	ELCB	3P	225/150	AC-7			31.4kW
		1	200	ELCB	3P	100/75	AC-3			15.2kW
		1	200	ELCB	2P	20/20	AC-7-1			1.4kW
							予備			
ACP-2D 屋外 壁掛型 鋼板製 〈P-5〉 EM-CET22°	AC 3φ3W 200V 負荷容量合計 12.8kW (61A)									
		1	200	ELCB	3P	100/75	OAC-2			12.5kW
		1	200	MCCB	2P	20/10	電動シャッター（東階段）			0.13kW
		1	200	MCCB	2P	20/10	電動シャッター（西階段）			0.13kW

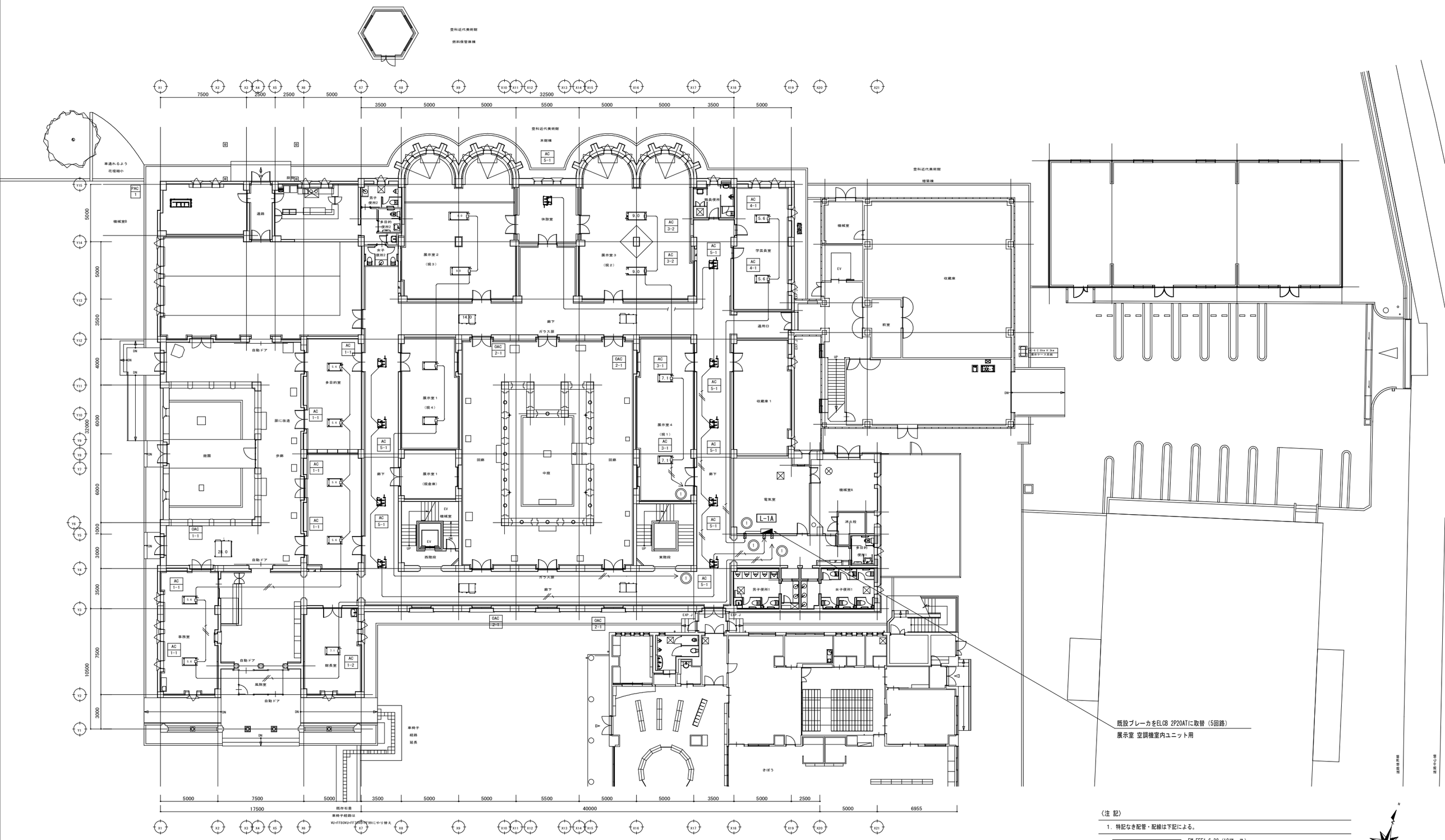
〈注 記〉
1．特記なき配管・配線は下記による。
EM-CE2°-4C（1Cアース）
2．露出配管において、空調機への配管接続部は金属製可とう電線管（屋外はビニル被覆付）とする。
3．分電盤幹線屋外露出部分は、配管（GZ）とする。

特記	

令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

2階 改修 空調動力電源等 設備図

NO. E-04
SCALE A3:1/300 A1:1/150
DATE 2024/03/15
SIGN



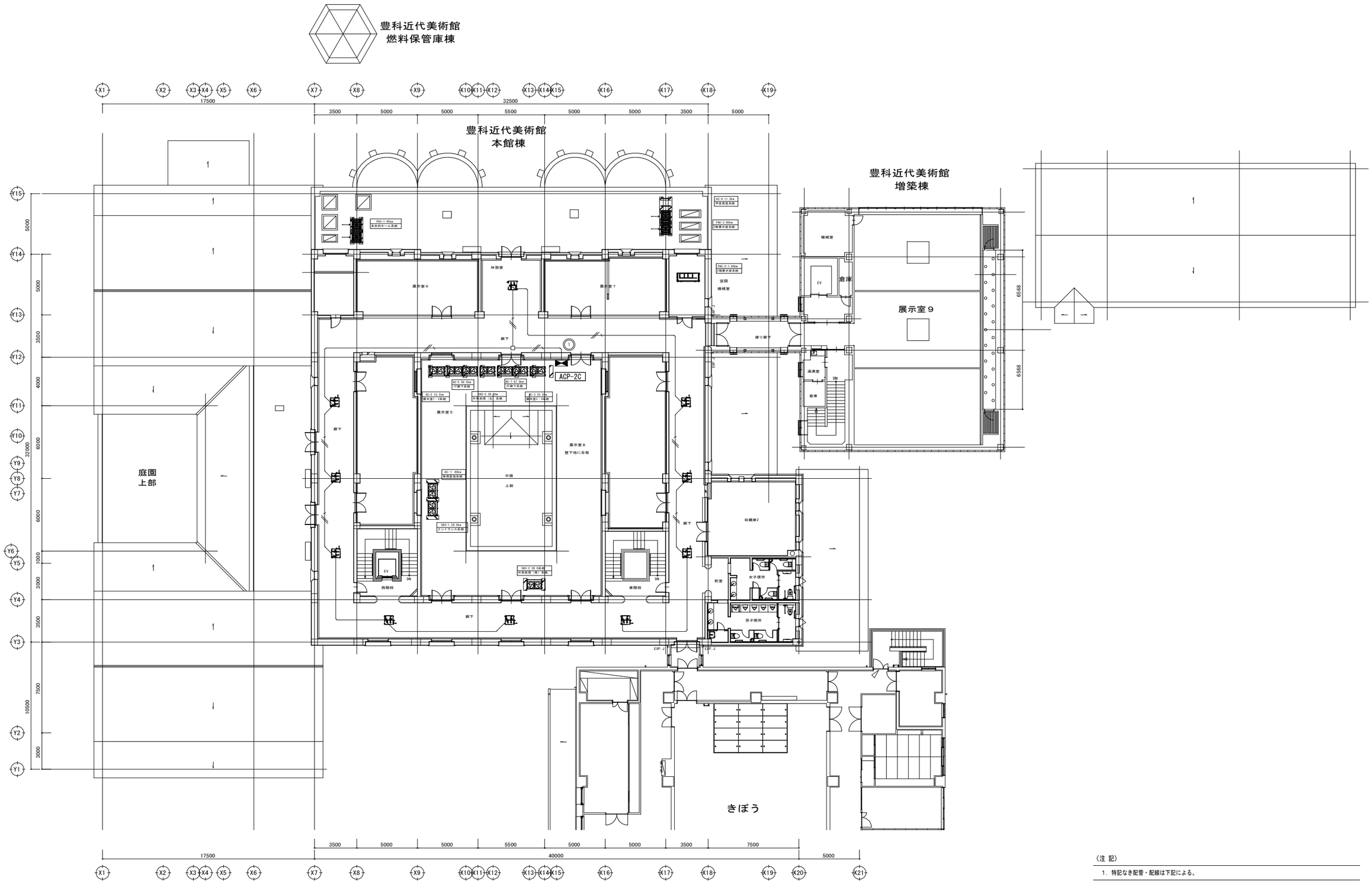
〈注 記〉

1. 特記なき配管・配線は下記による。

EM-EEF1.6-3C（1Cアース）

EM-EEF2.0-3C（1Cアース）

特　記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-05
			1階　改修　空調室内ユニット電源　設備図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN



〈注 記〉

1. 特記なき配管・配線は下記による。

EM-EEF1.6-3C (1Cアース)

EM-EEF2.0-3C (1Cアース)

特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-06
			2階　改修　空調室内ユニット電源　設備図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN

■　電灯分電盤一覧表

盤名称 / 形状 / 仕様	一次側 電気方式 / 幹線番号 サイズ・容量	主幹／分岐	回路番号	CB容量 P／AF／AT	付加機能	電灯 (VA)	コンセント (VA)	その他 (VA)	負荷名称	備考
新設電灯盤 (L-2A) 鋼板製露出型 (半埋込対応) [1階　事務室]	AC1φ3W 210／105V EM-CET38°		主幹	3P2E 100/75	MCB					
			1	2P2E 50/ 20	E				予備	
			2	2P2E 50/ 20	E				予備	
			1	2P1E 50/ 20	E		900		事務室　床用	
			2	2P1E 50/ 20	E		900		事務室　床用	
			3	2P1E 50/ 20	E		600		ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ ｶｳﾝﾀｰ内	
			4	2P1E 50/ 20	E		600		ｻｲﾈｰｼﾞ機器用	
			5	2P1E 50/ 20	E		600		ｻｲﾈｰｼﾞ機器用	
			6	2P1E 50/ 20	E		300		防火ｼｬｯﾀｰ電源-1	
			7	2P1E 50/ 20	E		300		防火ｼｬｯﾀｰ電源-2	
			8	2P1E 50/ 20	E		300		防火ｼｬｯﾀｰ電源-3	
			9	2P1E 50/ 20	E		600		自動ﾄﾞｱｰ電源	
			10	2P1E 50/ 20					予備	

盤名称 / 形状 / 仕様	一次側 電気方式 / 幹線番号 サイズ・容量	主幹／分岐	回路番号	CB容量 P／AF／AT	付加機能	電灯 (VA)	コンセント (VA)	その他 (VA)	負荷名称	備考
新設電灯盤 (L-2D) 鋼板製露出型 (半埋込対応) [1階 ｻｰﾋﾞｽ通路]	AC1φ3W 210／105V EM-CET22°		主幹	3P2E 100/75	MCB					
			1	2P2E 50/ 20	E				予備	
			2	2P2E 50/ 20	E				予備	
			1	2P1E 50/ 20	E		900		男子トイレ２	
			2	2P1E 50/ 20	E		900		男子トイレ２	
			3	2P1E 50/ 20	E		900		多目的トイレ２	
			4	2P1E 50/ 20	E		900		女子トイレ２	
			5	2P1E 50/ 20					予備	
			6	2P1E 50/ 20					予備	
			7	2P1E 50/ 20					予備	
			8	2P1E 50/ 20					予備	
			9	2P1E 50/ 20					予備	
			10	2P1E 50/ 20					予備	

付加機能の凡例									
無印	MCCB（配線用遮断器）	CPU	伝送ユニット	RTR	リモコントランス	MC	電磁接触器	PGT	プログラムタイマー：伝送信号出力（年間式／ソーラー）
E	ELCB（漏電遮断器）	WEB	WEBサーバユニット	▲	リモコンリレー２０A	T	タイマ		
R	リモコンブレーカー	NCU	ネットワークコントロールユニット	▲T4	TU付6Aリレー4回路	AS	自動点滅器		
•		LIU	ローカルインターフェイスユニット	■	漏電警報付	Wh	電力量計		
		TU4	リレー制御TU　4回路用	□	警報接点付	SC	進相コンデンサ		

注記）
1. 図中の盤の仕様は製造業者標準（ＪＩＳ　Ｃ８４８０等）とし塗装色等は監督員と協議のこと。
2. 図中の前面扉無し（耐熱分電盤部分は除く）以外の分電盤は扉（錠付）とする。
3. 各分電盤には端子台を２個（ED、ED（ELB）：絶縁端子台付）を設けること。
4. 分岐に使用するMCCB，ELCBは、ＪＩＳ　Ｃ８３７０「電灯分電盤用協約形配線用遮断器」を使用する。（１Pモジュール）
5. リモコン関連機器は２線式とし光アドレス設定とする。
6. 盤上ダクトは盤寸法と同一寸法とする。

△1　AC：100V（主幹MCCB1次分岐）
◎1　AC：200V（1φ2W）
○1　AC：100V（1φ2W）
[A]　AC：200V（3φ3W）

特　記

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

分電盤結線図

NO. E-07
SCALE
DATE 2024/03/15
SIGN

A　ＬＥＤダウンライト

６０形電球１灯器具相当

※職員WC、男子女子WC-2、他

LEDフラットランプφ70　クラス500　1灯
電球色（2700K）、Ra83
器具光束440lm、消費電力5W、電圧100V
拡散タイプ、高気密SB形
枠：鋼板（ホワイトつや消し）
光源寿命40000時間（光束維持率70%）
埋込穴φ100

(参考)パナソニック　ダウンライトXAD1100LKCE1

B　ＬＥＤダウンライト　（調光）

６０形電球１灯器具相当

※1階廊下(北)、2階廊下(北休憩室)

LEDフラットランプφ70　クラス500　1灯
電球色（2700K）、Ra83
器具光束440lm、消費電力5．7W、電圧100V
拡散タイプ、高気密SB形
枠：鋼板（ホワイトつや消し）
光源寿命40000時間（光束維持率70%）
位相制御式（2線式）、埋込穴φ100

(参考)パナソニック　ダウンライトXAD1100LKCB1

C　ＬＥＤダウンライト

１００形電球１灯器具相当

※多目的ホール、回廊、喫茶ｺｰﾅｰ、他

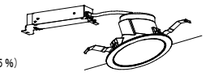
電球色（2700K）、Ra83
器具光束750lm、消費電力7．4W、電圧100V
拡散タイプ、高気密SB形
枠：アルミダイカスト（ホワイトつや消し）
埋込穴φ125

(参考)パナソニック　LGD3200LLE1

D　ＬＥＤダウンライト

傾斜天井ＬＥＤダウンライト　１００形

※歩廊



3000K、Ra85、拡散タイプ
光源寿命：40000時間（光束維持率70%）
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
LED内蔵くワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ
反射板（下部）：アルミダイカスト（シルバーメタリックつや消し仕上）
器具光束：825lm、消費電力：7．6W、電圧：100－242V

(参考)パナソニック　ダウンライトXND1061ALLE9

E　ＬＥＤダウンライト

６０形電球１灯器具相当

※ﾘﾆｭｰｱﾙﾌﾟﾚｰﾄの対応共

※多目的ホール(喫茶ｺｰﾅｰｶｳﾝﾀｰ上部)

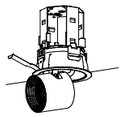
LEDフラットランプφ70　クラス500　1灯
電球色（2700K）、Ra83
器具光束440lm、消費電力5W、電圧100V
拡散タイプ、高気密SB形
枠：鋼板（ホワイトつや消し）
光源寿命40000時間（光束維持率70%）
埋込穴φ100

(参考)パナソニック　ダウンライトXAD1100LKCE1

F　ＬＥＤダウンライト直付スポットライト

ＬＥＤダウン＆スポット　１００形

※歩廊、回廊



LEDくワンコア（ひと粒）タイプ>、一般タイプ
電源ユニット別売、3000K、Ra85、中角タイプ
光源遮光角30度、首振範囲約30度、水平回転範囲約345度
40000時間（光束維持率70%）
灯具：アルミダイカスト
枠：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上）
埋込穴φ100

(参考)パナソニック　NTS41123W

G　ＬＥＤ直付型４０形　Ｄスタイル

Ｗ１５０

5200ｌｍ（Ｈｆ32形出力×２灯器具相当）

※展示室1(現倉庫)、収蔵庫２

一般タイプ、5200lmタイプ
消費電力31．9W、定格出力型、電圧100～242V
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83
電源装置はライトバー側に内蔵

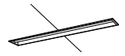
(参考)パナソニック　直付XLX450AENPLE9

H　ＬＥＤ埋込型４０形　下面開放型

Ｗ１５０

5200ｌｍ（Ｈｆ32形出力×２灯器具相当）

※１階の各展示室、学芸員室、収蔵庫１、他



一般タイプ、5200lmタイプ
消費電力31．9W、定格出力型、電圧100～242V
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵

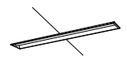
(参考)パナソニック　埋込XLX450PENTLE9

I　ＬＥＤ埋込型４０形　下面開放型

Ｗ１５０

3200ｌｍ（Ｈｆ32形出力×１灯器具相当）

※便所２、１・２階階段室、他



一般タイプ、3200lmタイプ
消費電力20．6W、定格出力型、電圧100～242V
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵

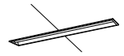
(参考)パナソニック　埋込XLX430PENTLE9

J　ＬＥＤ埋込型４０形　下面開放型（調光）

Ｗ１５０

5200ｌｍ（Ｈｆ32形出力×２灯器具相当）

※２階の各展示室



一般タイプ、5200lmタイプ
消費電力31．9W、定格出力型、電圧100～242V
約5～100%連続調光型
本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵

(参考)パナソニック　埋込XLX450PENTLR9

K　ＬＥＤ埋込型４０形　下面開放型

Ｗ１００

3200ｌｍ（Ｈｆ32形出力×１灯器具相当）

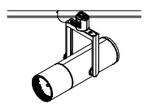
※１階廊下、２階廊下

一般タイプ、3200lmタイプ
消費電力20．6W、定格出力型、電圧100～242V
本体：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83
電源装置はライトバー側に内蔵

(参考)パナソニック　埋込XLX430MENTLE9

L　ＬＥＤスポットライト　（位相制御調光）

※各展示室,廊下のライティングダクト用

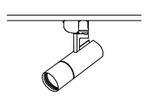


調光範囲：0%、約0．5～100%
3000K、高演色Ra95、中角22°
器具光束1092lm
消費電力20．0W、100V配線ダクト用
ホワイト仕上

(参考)パナソニック　NNQ32088W

M　ＬＥＤフェードスポットライト　（調光）

※多目的ホールのライティングダクト用



LEDくワンコア（ひと粒）集光タイプ>
器具光束702lm、消費電力9．4W
2700K、Ra85、ビーム角39度
灯具：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上）
調光範囲（約0．5～100%）、100V配線ダクト用
灯具部幅φ71・長さ212
首振範囲約90度

(参考)パナソニック　NNQ32034

N　ＬＥＤスポットライト７５０形

※多目的ホール(上部)

器具光束6630lm、消費電力70W、電圧100～242V
電球色、3000K、Ra85、狭角タイプ
光源寿命40000時間（光束維持率70%）
本体：アルミダイカスト（ミディアムグレーメタリック）
パネル：強化ガラス
据置取付型、耐風速60m／s

(参考)パナソニック　NYT1071RLE9

P　ＬＥＤ直付型２０形　ｉスタイル

直付型２０形

※ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙの新設ｶｳﾝﾀｰ内

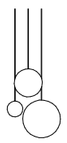
一般タイプ、800lmタイプ
消費電力6W、定格出力型、電圧100～242V
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83
電源装置はライトバー側に内蔵

(参考)パナソニック　直付XLX200NENCLE9

Q　ＬＥＤシャンデリア

６０形電球３灯器具相当

※東階段室(２階)



E26・E17：電球色（2700K）、高演色Ra90
器具光束2555lm、消費電力27．2W、電圧100V
吊下型、直付タイプ
（ブラック）
カバー：アクリル（乳白つや消し）

(参考)パナソニック　LGB19371BU

R　ＬＥＤポーチライト

４０形電球１灯器具相当

※２階外部テラス

電球色（2700K）、高演色Ra90
器具光束212lm、消費電力5W、電圧100V
防雨型、ツマミネジ方式
カバー：アクリル（透明）
アルミダイカスト（オフブラック）

(参考)パナソニック　LGW85225B

S　ＬＥＤ直付型４０形　Ｄスタイル

ＳＵＳ製防湿・防雨型(Ｗ２３０)

5200ｌｍ（Ｈｆ32形出力×２灯器具相当）

※厨房

一般タイプ、5200lmタイプ
消費電力32．5W、定格出力型、電圧100～242V
本体：ステンレス(高反射白色粉体塗装)
防湿型・防雨型ライトバー
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
ＩＰ23防湿型、昼白色（5000K）、Ra83
電源装置はライトバー側に内蔵

(参考)パナソニック　直付XLW453DENZLE9

T　ＬＥＤ直付型４０形　Ｄスタイル

ＬＳＳ９－４－４８ＬＮ

5200ｌｍ（Ｈｆ32形出力×２灯器具相当）

※電気室、機械室Ａ・Ｂ、他

※既存のチェーン吊り施工対応とする。
※同上　ﾒｯｾﾝｸﾞﾜｲﾔ等で振止め施工対応する。

■　照明器具の選定にあたっての対応事項

※　各室(各か所)照明器具の光源色(色温度)・平均演色評価数等は、関係者と打合せをしその旨の対応とする。

※　各展示室,廊下のライティングダクト用照明器具(ＬＥＤスポットライト(位相制御調光))の光源色(色温度)・平均演色評価数等は、関係者と打合せ(サンプル器具で確認等)をし、その旨の対応とする。

.

特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-08
			照明器具姿図（参考）－１	SCALE
			DATE 2024/03/15	SIGN

DATE

a 1 LED避難口誘導灯(電池内蔵型)

SH1-FSF20-C

天井・壁直付型

1.1w

LED C級 避難口誘導灯片面型

a 2 LED避難口誘導灯(電池内蔵型)

SH1-FSF20-BL

天井・壁直付型

1.7w

LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型

a 3 LED避難口誘導灯(電池内蔵型)

SH1-FSF20-C

天井Ｐ吊型(500mmタイプ)

1.1w

LED C級 避難口誘導灯片面型

全長５００mmタイプ、丸タイプ
（ホワイト）、パイプ・鋼管φ１６
配線用コード付

誘導灯用吊具

パナソニック FP01550C

a 4 LED避難口誘導灯(電池内蔵型)

SH1-FSF20-BL

天井Ｐ吊型(500mmタイプ)

1.7w

LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型

全長５００mmタイプ、丸タイプ
（ホワイト）、パイプ・鋼管φ１６
配線用コード付

誘導灯用吊具

パナソニック FP01550C

a 5 LED階段通路誘導灯(電池内蔵型)

ひとｾﾝｻｰ断調光ﾀｲﾌﾟ(Hf32形-1灯相当)

壁直付型 階数表示文字 (1・2・▲)共

※参考 ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ NNCF42135LE9

一体型階段灯 ミドルタイプ４０形

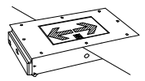
非常時本体組込ＬＥＤ点灯、非常灯評定番号：ＬＡＬＥ－０１５
本体：鋼板（白色塗装）、レンズ：ガラス
常用光ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
電圧：１００～２４２Ｖ対応、蓄電池：ニッケル水素電池
常用光ユニット：光源寿命４００００時間（光束維持率８５%）
自己点検機能付、リモコン：ＦＳＫ９０９１０Ｋ（別売）

a 6 LED床埋込型通路誘導灯(電池内蔵型)

Ｃ級(10形)ﾘﾆｭｰｱﾙ対応型

※参考 ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ FA10383LE1+FK10098 2.5w

LED C級 床埋込型通路誘導灯（リニューアル対応型）片面型

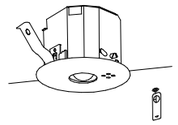


ＬＥＤ誘導灯コンパクトスクエア
Ｃ級 片面型
床埋込型
一般型（２０分間）
ニッケル水素蓄電池
リモコン自己点検機能付
型式認定番号：２ＡＳ１２３－１０２３

b 1 LED非常用照明器具(電池内蔵型)

K1-LRS11-1

※参考 ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ NNFB90605K 1.0w

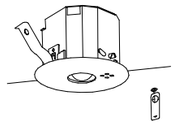


器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	2.7m	3.0m
単体配置	A1	3.8m	4.0	4.0	3.6	2.8

b 2 LED非常用照明器具(電池内蔵型)

K1-LRS11-2

※参考 ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ NNFB91605C 1.0w

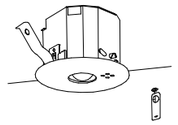


器具取付高さ		2.7m	3.1m	3.4m	3.6m	4.0m
単体配置	A1	4.8m	4.6	4.8	4.1	3.3

b 3 LED非常用照明器具(電池内蔵型)

K1-LRS11-3 （～6m用）

※参考 ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ NNFB93605C 1.3w

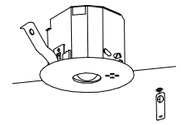


器具取付高さ		3.0m	3.8m	4.0m	5.5m	6.0m
単体配置	A1	6.9m	7.7	7.9	8.9	6.4

b 4 LED非常用照明器具(電池内蔵型)

K1-LRS11-3 （～8m用）

※参考 ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ NNFB93606C 1.3w

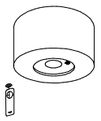


器具取付高さ		4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	8.0m
単体配置	A1	7.4m	8.0	6.5	5.7	4.2

b 5 LED非常用照明器具(電池内蔵型)

K1-LSS14MP-2 （防湿・防雨型）

※参考 ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ NNFB93106C 1.0w



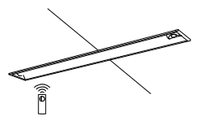
器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m
単体配置	A1	4.2m	4.5	4.6	4.7	3.7

c 1 ＬＥＤ埋込型４０形 下面開放型 (W=150)

非常時：非常灯本体組込ＬＥＤ（高出力型）

3200ｌｍ（Ｈｆ32形出力×１灯器具相当）

※参考 ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ 埋込XLG433PGNLE9 21.5w

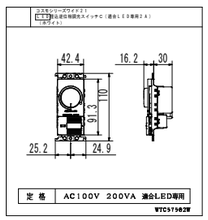


ライトコントロール ＬＥＤ用

WTC57582W

(参考)パナソニック WTC57582W

＊照明器具-記号Ｂに適用

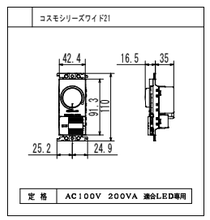


ライトコントロール ＬＥＤ用

NQ21506

(参考)パナソニック NQ21506

＊照明器具-記号Ｊに適用

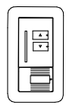


ライトコントロール ＬＥＤ用

NQ20346

(参考)パナソニック NQ20346

＊照明器具-記号ＬとＭに適用



適合負荷：連続調光型ＬＥＤ照明器具（起動方式ＬＣ・ＬＧ）
定格電圧：ＡＣ１００Ｖ
定格容量：２Ａ（但し電源ユニット最大１０台まで）
スイッチＣ（３路）付

.

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-09
			照明器具姿図（参考）－２	SCALE
			DATE 2024/03/15	SIGN

改修の照明器具一覧

（※照明器具の形式・仕様等は、
別紙（照明器具姿図）を参照のこと。）

記号	照明器具の形式	ランプの仕様	備考	合計台数	1階 風除室	エントランスホール	館長室	事務室	歩廊	多目的ホール（売店）	厨房・喫茶コーナー	機械室B	サービス通路	男子便所2	トイレ前通路	多目的便所2	女子便所2	オリエンテーションルーム	多目的室	倉庫	展示室1（現倉庫）	展示室1（現4）	展示室2（現3）	休憩室	展示室3（現2）	展示室4（現1）	回廊	職員便所	学芸員室	廊下北	廊下西	廊下南	廊下東	東階段	西階段	通用口（東側）	収蔵庫1	電気室	機械室A	消火栓ポンプ室	多目的便所1	男子便所1	女子便所1	2階 廊下北（休憩室共）	廊下西	廊下南	廊下東	展示室5	展示室6	展示室7	展示室8	テラス（外部）	ファンルーム	空調機械室	東階段	西階段	収蔵庫2	前室（便所）	女子便所	男子便所
a 1	LED避難口誘導灯	SH1-FSF20-C	天井・壁直付型 電池内蔵型	2														1	1																																											
a 2	LED避難口誘導灯	SH1-FSF20-BL	天井・壁直付型 電池内蔵型	1						1																																																		
a 3	LED避難口誘導灯	SH1-FSF20-C （500mmﾀｲﾌﾟ）	天井P吊型 電池内蔵型	23			1	1										1	1	1	1	1		1		2	4		1							1											2	1	1	2						1				
a 4	LED避難口誘導灯	SH1-FSF20-BL （500mmﾀｲﾌﾟ）	天井P吊型 電池内蔵型	19		3			2	1			1										1		1							1	1			2								2	1	2	1										
a 5	LED階段通路誘導灯	Hf32形-1灯相当	電池内蔵型	12																													2	2																	4	4				
a 6	LED床埋込型通路誘導灯	C級-10形	電池内蔵型	16																									2	2	2	2											3	1	3	1										
b 1	LED非常用照明器具	K1-LRS11-1	天井埋込型 電池内蔵型	14										1	1	1	1											1												1	2	2														2	2	
b 2	LED非常用照明器具	K1-LRS11-2	電池内蔵型	90		1	2	2		3	2							2	1	1	1	2	4	1	4	4	10		2	7	3	4	5				2						5	3	4	3	4	2	2	4								
b 3	LED非常用照明器具	K1-LRS11-3（～6m用）	電池内蔵型	10	1	2			5																																													2			
b 4	LED非常用照明器具	K1-LRS11-3（～8m用）	電池内蔵型	2						2																																															
b 5	LED非常用照明器具	K1-LSS14MP-2	電池内蔵型 防湿防雨型	1							1																																														
c 1	LED非常用照明器具	Hf32形-1灯相当	常時・非常時対応 電池内蔵型	5									1																					1	1																1	1				
A	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	60形電球1灯相当		13										3	1	1	4										4																															
B	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	60形電球1灯相当	調光対応	18																									9														9													
C	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	100形電球1灯相当		24						11	3																10																													
D	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	100形電球1灯相当		7					7																																																
E	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	60形電球1灯相当	＊ﾘﾆｭｰｱﾙﾌﾟﾚｰﾄ共	9							9																																														
F	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 直付ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ	100形電球1灯相当		19					7																		12																														
G	LED直付型40形 Dｽﾀｲﾙ	Hf32形-2灯相当	W＝150	10																	4																																						
H	LED埋込型40形 下面開放型	Hf32形-2灯相当	W＝150	60															4	4		6	10		10	10			8								8																						
I	LED埋込型40形 下面開放型	Hf32形-1灯相当	W＝150	8										1	1	1												1						1	1																		1	1				
J	LED埋込型40形 下面開放型	Hf32形-2灯相当	W＝150　調光対応	32																																																						
K	LED埋込型40形 下面開放型	Hf32形-1灯相当	W＝100	62																									12	5	9	8											9	5	9	5											
L	LEDｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ （位相制御調光）	約1092lm	調光対応	372		8				4								24	8	8		24	30	8	30	24			22	12	12	12											22	12	12	12	24	20	20	24								
M	LEDﾌｪｰﾄﾞｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ	約702lm	調光対応	6						6																																															
N	LEDｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ 750形	約6630lm		4						4																																														
P	LED直付型20形	FL20形-1灯相当		3		3																																																		
Q	LEDｼｬﾝﾃﾞﾘｱ	60形電球3灯相当		1																																																			
R	LEDﾎﾟｰﾁﾗｲﾄ	40形電球1灯相当		10																																																			
S	LED直付型40形	Hf32形-2灯相当	SUS製防湿・防雨型	4						4																																														
T	LED直付型40形	Hf32形-2灯相当	ＬＳＳ９－４－４８ＬＮ	13								2																																												
	ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙ　LED用	（参考）WTC57582W	記号Ｂに適用	2																									1														1													
	ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙ　LED用	（参考）NQ21506	記号Ｊに適用	4																																																					
	ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙ　LED用	（参考）NQ20346	記号ＬとＭに適用	66		1				2								4	1	1		4	6	1	6	4			4	2	2	2											4	2	2	2	4	4	4	4								

特記	

令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

改修の照明器具、ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙ の一覧表

NO. E-10

SCALE

DATE 2024/03/15

SIGN

※ 配管・配線工事に伴う施工注記 （＊1階・2階共適用）

- 図示の照明器具、埋込みｽｲｯﾁ等の新設取替えに伴い 各室等の電源回路は、既存回路を再使用する。
- 既存ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ回路は、そのまま再使用する。
- ｹｰﾌﾞﾙの接続か所は、位置ﾎﾞｯｸｽ(VE製中4角D54)を使用すること。

記号	内容
――――	EM-EEF 1.6 -3C 天井内配線 ＊同上 壁内立下げは、PF(16)管保護すること。
――∧――	EM-EEF 1.6 -3C＋FCPEV 1.2 -2C 天井内配線 ＊同上 壁内立下げは、PF(16)x2 管保護すること。
――■――	既存RC壁の貫通：50φ（＊貫通処理 C-(25)）
▭	既存電源回路に接する。

電灯設備工事に伴う凡例 （＊1階・2階共適用）

記 号	機器の仕様
●	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A x 1 ﾌﾙｶﾗｰﾌﾟﾚｰﾄ共（＊色は打合せ）
●●	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A x 2 同上
●●●	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A x 3 同上
●x4	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A x 4 同上
●x6	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A x 6 同上
●●○	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A x 2,1P4AL 同上
●●●○	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A x 3,1P4AL 同上
▨	ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ （＊1階・2階廊下ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄに適用） WTC57582W
▨	ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ （＊2階各展示室埋込型40形に適用）NQ21506

電灯設備工事に伴う凡例 （＊1階・2階共適用）

記 号	機器の仕様
▭	LED 下面開放埋込型（照明器具姿図を参照）
▭	LED 下面開放埋込型（照明器具姿図を参照）
▭	LED 直付型20形 （照明器具姿図を参照）
▭○▭	LED 逆富士型 （照明器具姿図を参照）
⊏○⊐	LED 下面開放埋込型（＊既存照明器具を再使用する）
◐	LED 壁付灯（ﾌﾞﾗｹｯﾄﾗｲﾄ）（照明器具姿図を参照）
⊲	LED 壁付ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ （照明器具姿図を参照）
✿	ｺｰﾄﾞ吊り ｼｬﾝﾃﾞﾘｱﾗｲﾄ （＊既存照明器具を再使用する）
△	LED ｺｰﾄﾞ吊り ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ（＊既存照明器具を再使用する）
◁	LED ｺｰﾄﾞ吊り ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ（照明器具姿図を参照）
▽	LED ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ（ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ用）（＊既存照明器具を再使用する）
⊲	LED 天井直付ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ （照明器具姿図を参照）
○	LED ダウンライト （照明器具姿図を参照）
( )	LED ダウンライト （＊既存照明器具を再使用する）
⊡	天井換気扇（別途機械設備工事） ＊電源の接続、ｾﾝｻｰｽｲｯﾁ線等は本工事とする。
Ⓢ RAS	熱線ｾﾝｻｰ自動ｽｲｯﾁ親機 ＊WTK24818 同等品
▽ CLF	熱線ｾﾝｻｰ自動ｽｲｯﾁ子機 ＊WTK2614K 同等品
▽ F	熱線ｾﾝｻｰ自動ｽｲｯﾁ子機 ＊WTK29318 同等品
▽	熱線ｾﾝｻｰ自動ｽｲｯﾁ子機 ＊WTK2910K 同等品
● SL-1	熱線ｾﾝｻｰ操作ﾕﾆｯﾄ(1回路用) ＊WTC5820W 同等品
● SL-2	熱線ｾﾝｻｰ操作ﾕﾆｯﾄ(2回路用) ＊WTC5822W 同等品

▭ ：外壁内側に壁新設+断熱（画鋲が効く）

▭ ：壁内側に壁新設（画鋲が効く）

═ ：外壁外側に断熱

特 記		令和6年度（債務負担行為） 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-11
		1階 改修 電灯 設備図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
		DATE 2024/03/15	SIGN

ファンルーム	展示６	廊下	廊下(北休憩室)	展示７	空調機械室
Ｔｘ２	Ｊｘ６	Ｋｘ２８	Ｂｘ９	Ｊｘ６	Ｔｘ２

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

※ 配管・配線工事に伴う施工注記 （＊1階・2階共適用）

- 図示の照明器具、埋込みｽｲｯﾁ等の新設取替えに伴い
  各室等の電源回路は、既存回路を再使用する。
- 既存ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ回路は、そのまま再使用する。
- ｹｰﾌﾞﾙの接続か所は、位置ﾎﾞｯｸｽ(VE製中4角D54)を使用すること。

EM-EEF 1.6 -3C 天井内配線
＊同上 壁内立下げは、PF(16)管保護すること。

EM-EEF 1.6 -3C + FCPEV 1.2 -2C 天井内配線
＊同上 壁内立下げは、PF(16)x2 管保護すること。

既存RC壁の貫通：50φ （＊貫通処理 C-(25)）

既存電源回路に接する。

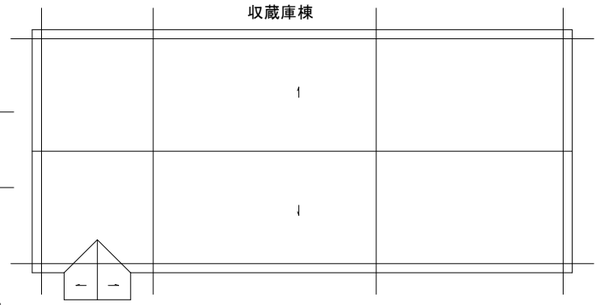
電灯設備工事に伴う凡例 （＊1階・2階共適用）

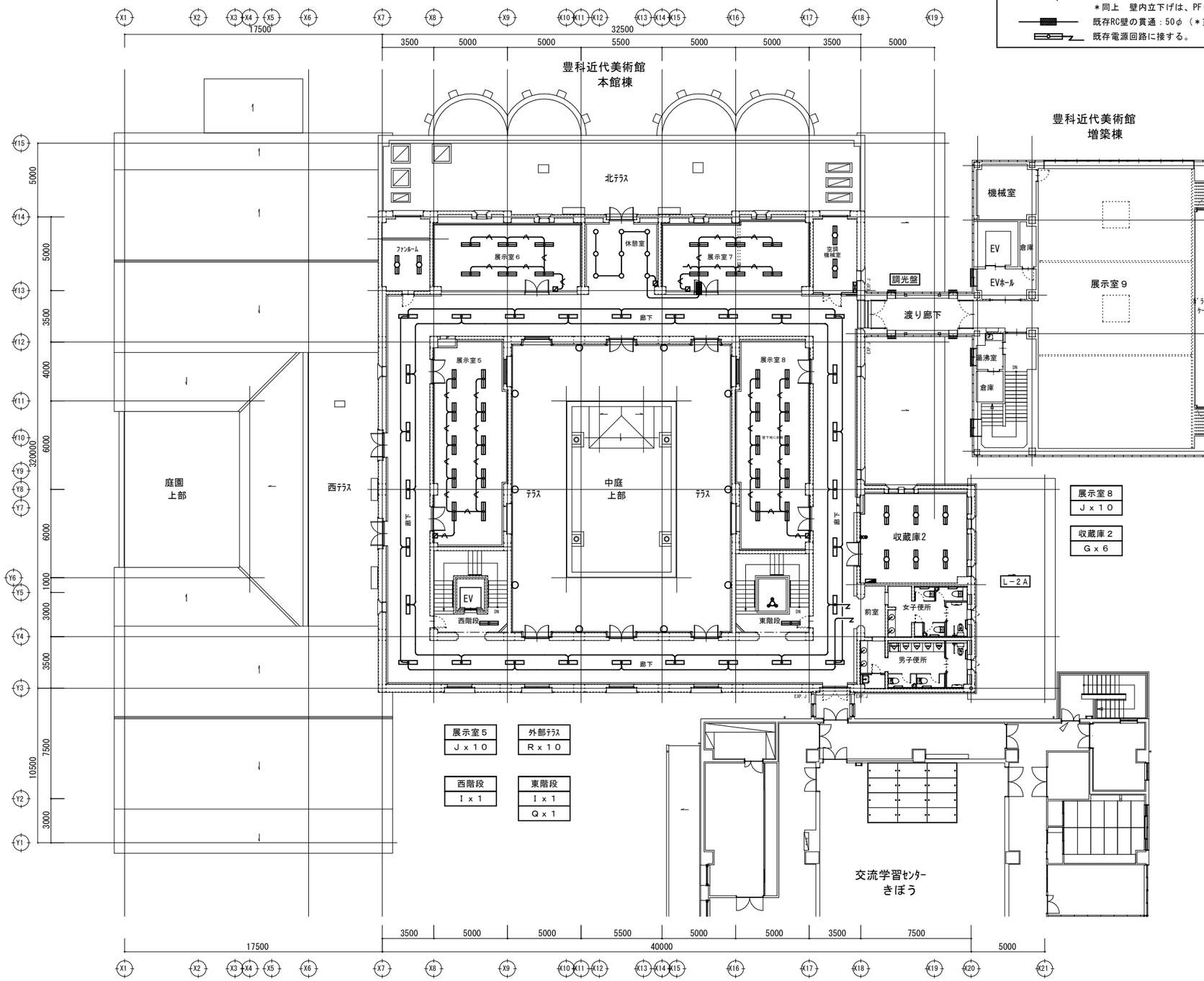
記 号	機器の仕様	
●	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A x 1 ﾌﾙｶﾗｰﾌﾟﾚｰﾄ共（＊色は打合せ）	
●●	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A x 2	同上
●●●	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A x 3	同上
■●	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A x 4	同上
■■●	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A x 6	同上
●●○	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A x 2,1P4AL	同上
■○	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A x 3,1P4AL	同上
⊘	ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ （＊1階・2階廊下ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄに適用）	WTC57582W
⊘	ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ （＊2階各展示室埋込型40形に適用）	NQ21506

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

豊科近代美術館
収蔵庫棟





電灯設備工事に伴う凡例 （＊1階・2階共適用）

記 号	機器の仕様
▬	LED 下面開放埋込型（照明器具姿図を参照）
▬▬	LED 下面開放埋込型（照明器具姿図を参照）
▭	LED 直付型20形 （照明器具姿図を参照）
▭○▭	LED 逆富士型 （照明器具姿図を参照）
▭ S ▭	LED 下面開放埋込型（＊既存照明器具を再使用する）
◐	LED 壁付灯(ﾌﾞﾗｹｯﾄﾗｲﾄ)（照明器具姿図を参照）
◀	LED 壁付ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ （照明器具姿図を参照）
◎	ｺｰﾄﾞ吊り ｼｬﾝﾃﾞﾘｱﾗｲﾄ （＊既存照明器具を再使用する）
▽	LED ｺｰﾄﾞ吊り ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ（＊既存照明器具を再使用する）
▽	LED ｺｰﾄﾞ吊り ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ（照明器具姿図を参照）
▼	LED ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ(ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ用)（＊既存照明器具を再使用する）
◀	LED 天井直付ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ （照明器具姿図を参照）
○	LED ダウンライト （照明器具姿図を参照）
( )	LED ダウンライト （＊既存照明器具を再使用する）
⍾	天井換気扇（別途機械設備工事） ＊電源の接続、ｾﾝｻｰｽｲｯﾁ線等は本工事とする。
S RAS	熱線ｾﾝｻｰ自動ｽｲｯﾁ親機 ＊WTK24818 同等品
CLF	熱線ｾﾝｻｰ自動ｽｲｯﾁ子機 ＊WTK2614K 同等品
F	熱線ｾﾝｻｰ自動ｽｲｯﾁ子機 ＊WTK29318 同等品
	熱線ｾﾝｻｰ自動ｽｲｯﾁ子機 ＊WTK2910K 同等品
● SL-1	熱線ｾﾝｻｰ操作ﾕﾆｯﾄ(1回路用) ＊WTC5820W 同等品
● SL-2	熱線ｾﾝｻｰ操作ﾕﾆｯﾄ(2回路用) ＊WTC5822W 同等品

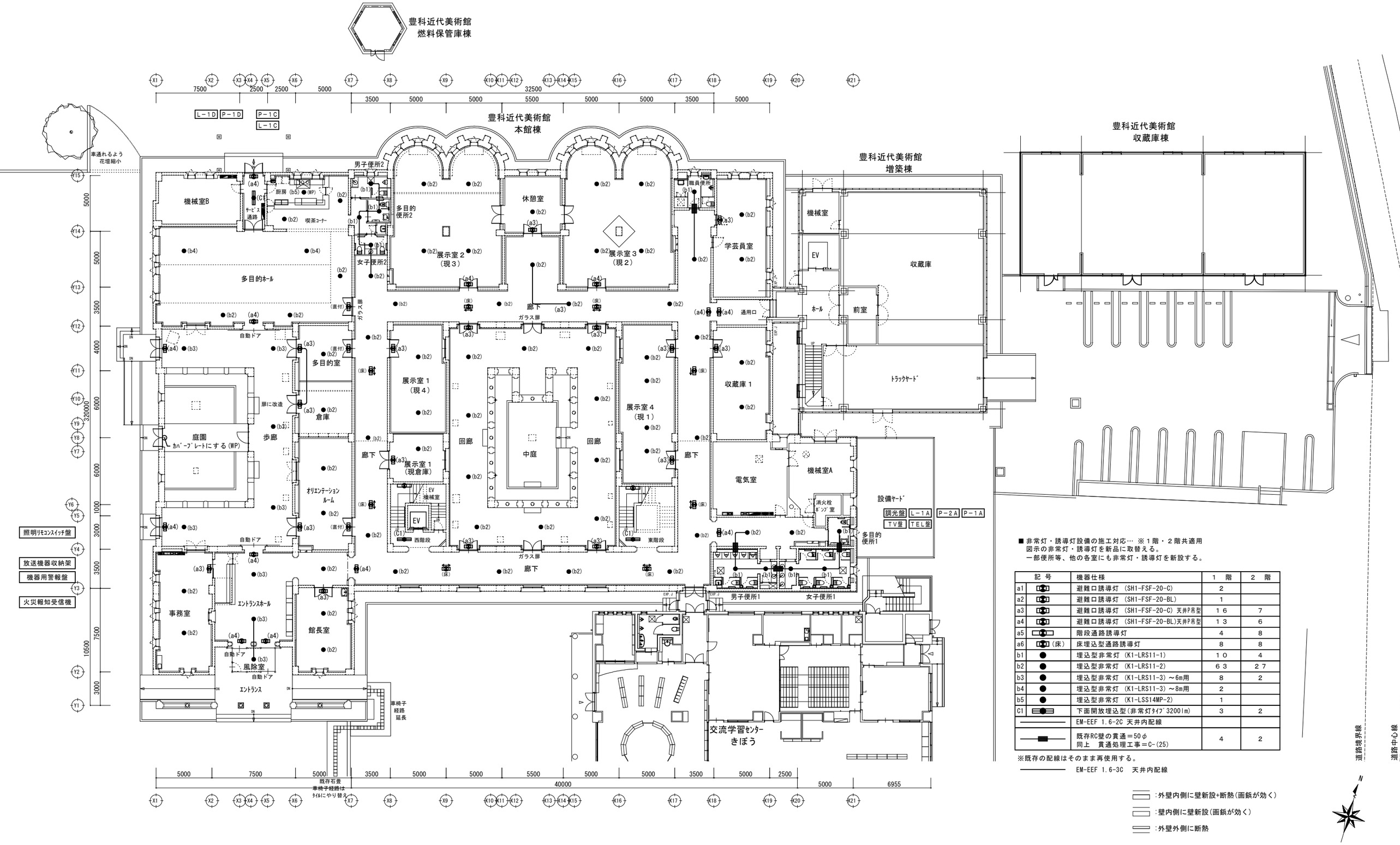
：外壁内側に壁新設+断熱(画鋲が効く)

：壁内側に壁新設(画鋲が効く)

：外壁外側に断熱

N

特 記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-12
			２階 改修 電灯 設備図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN



■ 非常灯・誘導灯設備の施工対応… ※１階・２階共適用
図示の非常灯・誘導灯を新品に取替える。
一部便所等、他の各室にも非常灯・誘導灯を新設する。

記号		機器仕様	１階	２階
a1		避難口誘導灯 (SH1-FSF-20-C)	2	
a2		避難口誘導灯 (SH1-FSF-20-BL)	1	
a3		避難口誘導灯 (SH1-FSF-20-C) 天井P吊型	１６	7
a4		避難口誘導灯 (SH1-FSF-20-BL)天井P吊型	１３	6
a5		階段通路誘導灯	4	8
a6	(床)	床埋込型通路誘導灯	8	8
b1	●	埋込型非常灯 (K1-LRS11-1)	１０	4
b2	●	埋込型非常灯 (K1-LRS11-2)	６３	２７
b3	●	埋込型非常灯 (K1-LRS11-3) ～6m用	8	2
b4	●	埋込型非常灯 (K1-LRS11-3) ～8m用	2	
b5	●	埋込型非常灯 (K1-LSS14MP-2)	1	
C1		下面開放埋込型(非常灯ﾀｲﾌﾟ3200lm)	3	2
		EM-EEF 1.6-2C 天井内配線		
		既存RC壁の貫通＝50φ 同上　貫通処理工事＝C-(25)	4	2

※既存の配線はそのまま再使用する。

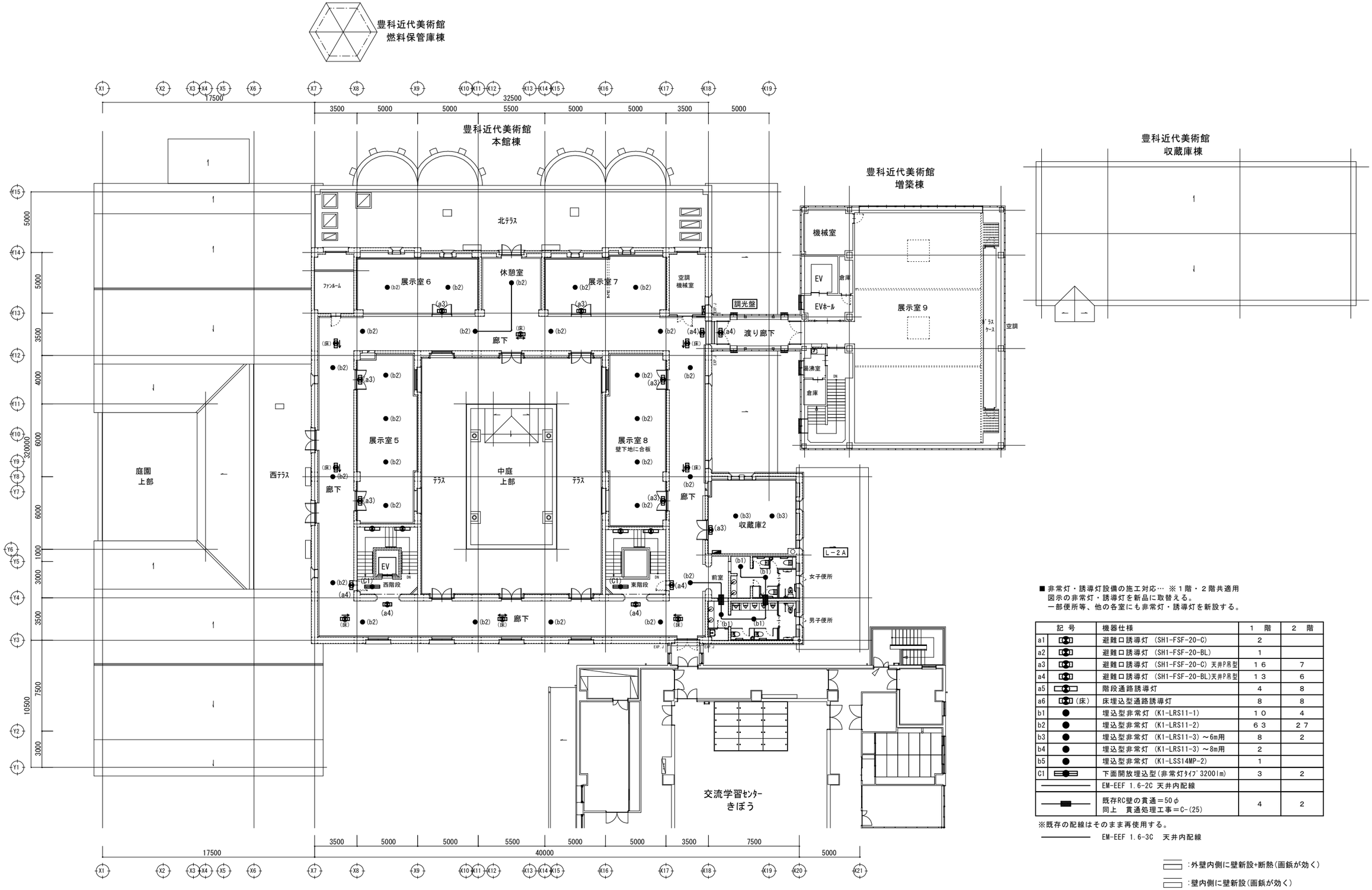
EM-EEF 1.6-3C　天井内配線

：外壁内側に壁新設+断熱(画鋲が効く)

：壁内側に壁新設(画鋲が効く)

：外壁外側に断熱

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-13
			１階　改修　非常灯・誘導灯　設備図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN



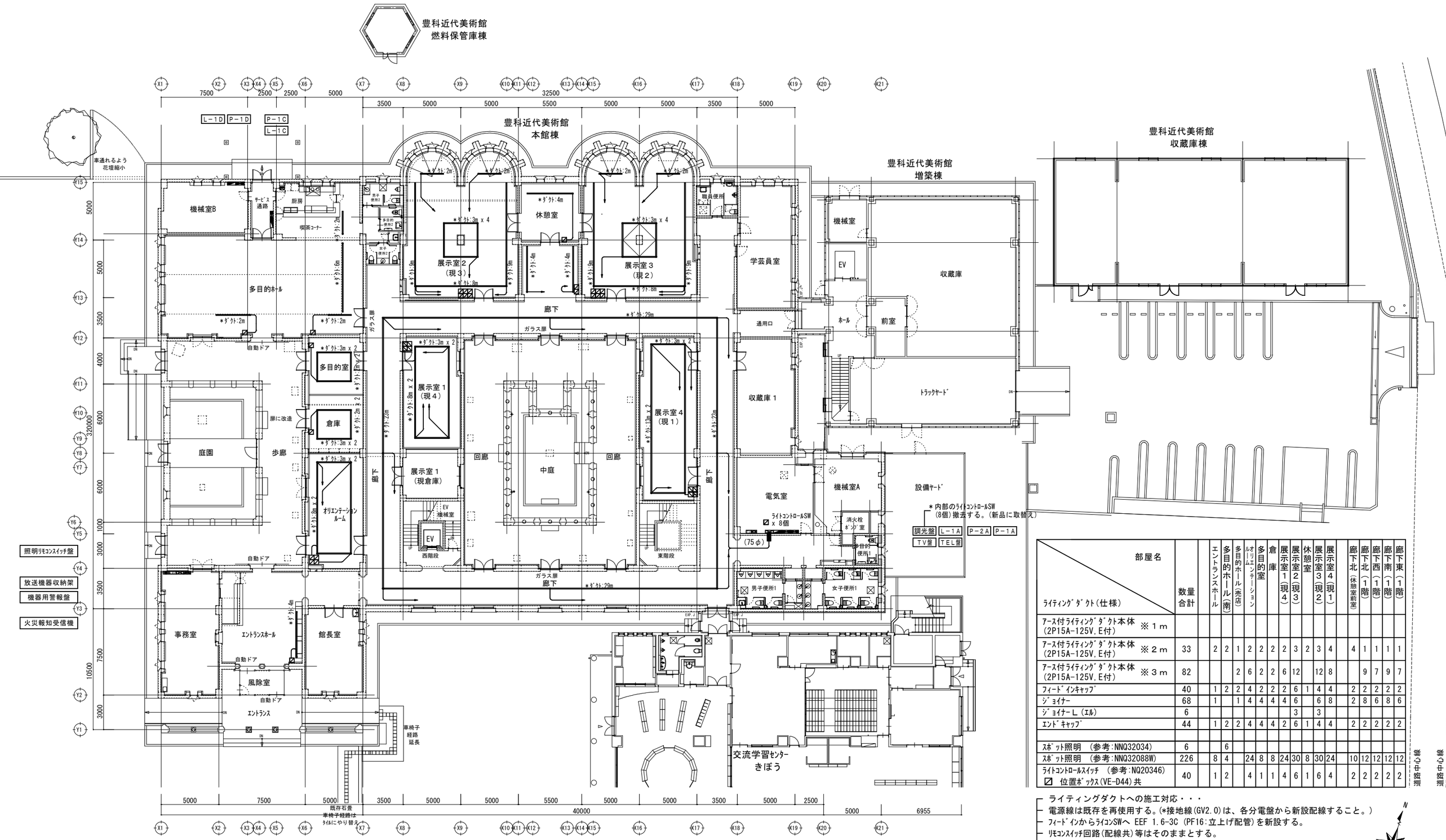
■非常灯・誘導灯設備の施工対応… ※１階・２階共通適用
図示の非常灯・誘導灯を新品に取替える。
一部便所等、他の各室にも非常灯・誘導灯を新設する。

記号	機器仕様	１階	２階
a1	避難口誘導灯 (SH1-FSF-20-C)	2	
a2	避難口誘導灯 (SH1-FSF-20-BL)	1	
a3	避難口誘導灯 (SH1-FSF-20-C) 天井P吊型	１６	7
a4	避難口誘導灯 (SH1-FSF-20-BL)天井P吊型	１３	6
a5	階段通路誘導灯	4	8
a6	(床) 床埋込型通路誘導灯	8	8
b1	埋込型非常灯 (K1-LRS11-1)	１０	4
b2	埋込型非常灯 (K1-LRS11-2)	６３	２７
b3	埋込型非常灯 (K1-LRS11-3) ～6m用	8	2
b4	埋込型非常灯 (K1-LRS11-3) ～8m用	2	
b5	埋込型非常灯 (K1-LSS14MP-2)	1	
C1	下面開放埋込型(非常灯ﾀｲﾌﾟ3200lm)	3	2
	EM-EEF 1.6-2C 天井内配線		
	既存RC壁の貫通＝50φ 同上 貫通処理工事＝C-(25)	4	2

※既存の配線はそのまま再使用する。
EM-EEF 1.6-3C 天井内配線

：外壁内側に壁新設+断熱(画鋲が効く)
：壁内側に壁新設(画鋲が効く)
：外壁外側に断熱

特記			
		令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-14
		２階 改修 非常灯・誘導灯 設備図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
		DATE 2024/03/15	SIGN

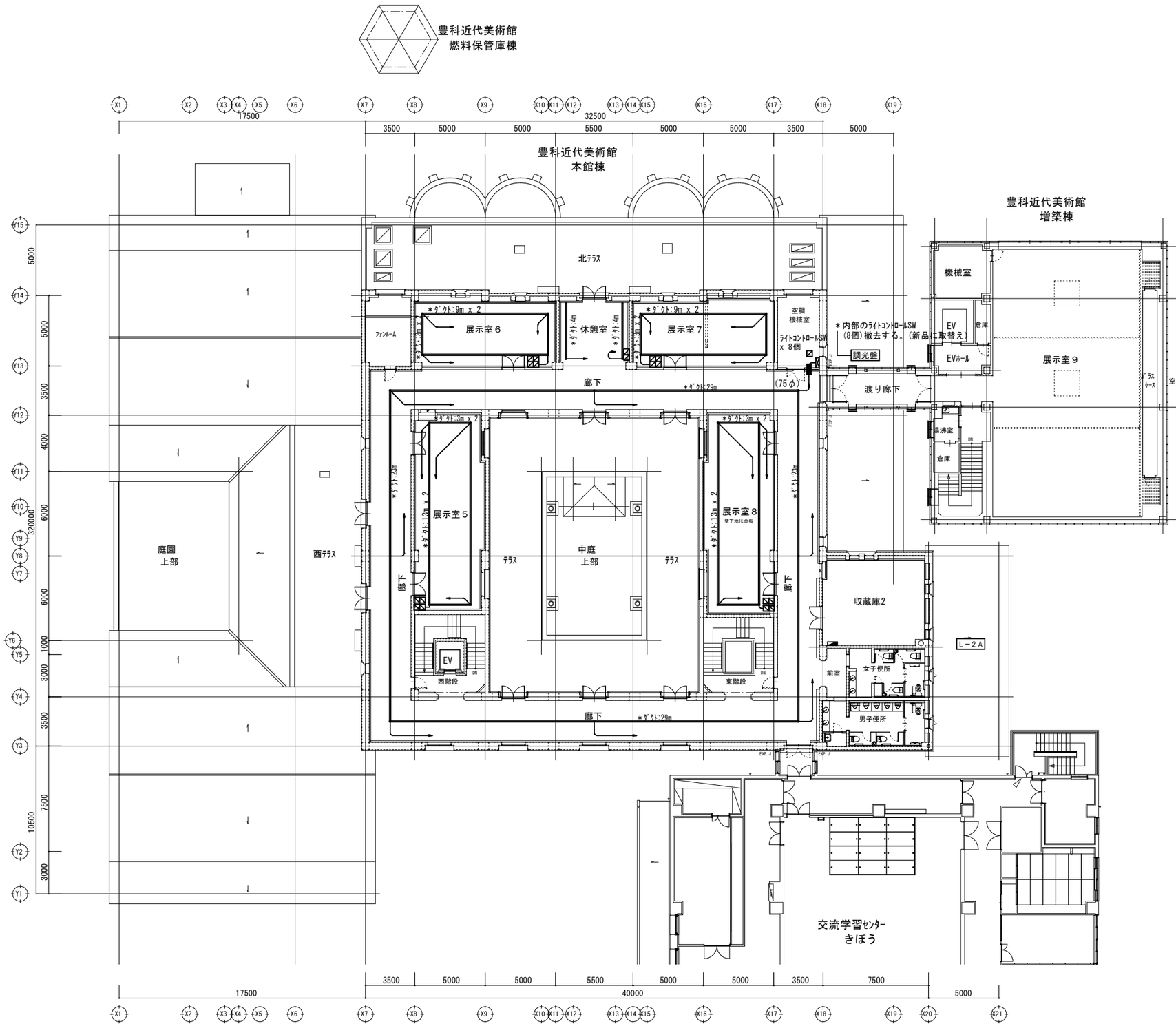


ライティングダクト(仕様) ＼ 部屋名	数量合計	エントランスホール	多目的ホール(南)	多目的ホール(売店)	オリエンテーションルーム	多目的室	倉庫	展示室1(現4)	展示室2(現3)	休憩室	展示室3(現2)	展示室4(現1)	廊下北(休憩室前室)	廊下北(1階)	廊下西(1階)	廊下南(1階)	廊下東(1階)
アース付ライティングダクト本体 (2P15A-125V, E付) ※1m																	
アース付ライティングダクト本体 (2P15A-125V, E付) ※2m	33	2	2	1	2	2	2	2	3	2	3	4	4	1	1	1	1
アース付ライティングダクト本体 (2P15A-125V, E付) ※3m	82			2	6	2	2	6	12		12	8		9	7	9	7
フィードインキャップ	40	1	2	2	4	2	2	2	6	1	4	4	2	2	2	2	2
ジョイナー	68	1		1	4	4	4	4	6		6	8	2	8	6	8	6
ジョイナーL(エル)	6								3		3						
エンドキャップ	44	1	2	2	4	4	4	2	6	1	4	4	2	2	2	2	2
スポット照明 (参考:NNQ32034)	6		6														
スポット照明 (参考:NNQ32088W)	226	8	4		24	8	8	24	30	8	30	24	10	12	12	12	12
ライトコントロールスイッチ (参考:NQ20346) ☑ 位置ボックス(VE-D44)共	40	1	2		4	1	1	4	6	1	6	4	2	2	2	2	2

ライティングダクトへの施工対応・・・
電源線は既存を再使用する。(*接地線(GV2.0)は、各分電盤から新設配線すること。)
フィードインからライコンSWへ EEF 1.6-3C (PF16:立上げ配管)を新設する。
リモコンスイッチ回路(配線共)等はそのままとする。
ライティングダクトの形状寸法・設置位置等は、関係者と打合せの上施工対応すること。
(75φ) 既存RC壁の貫通:75φ ＊同 貫通処理工事=C-(51) ＊調光盤から立上げ=C-(51)

:外壁内側に壁新設+断熱(画鋲が効く)
:壁内側に壁新設(画鋲が効く)
:外壁外側に断熱

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-15
			1階 改修 ライティングダクト 設備図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN



ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ(仕様) ＼ 部屋名	数量合計		展示室5	展示室6	展示室7	展示室8		廊下北（休憩室）	廊下北（2階）	廊下西（2階）	廊下南（2階）	廊下東（2階）					
ｱｰｽ付ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ本体 (2P15A-125V,E付) ※１ｍ																	
ｱｰｽ付ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ本体 (2P15A-125V,E付) ※２ｍ	16		4			4		4	1	1	1	1					
ｱｰｽ付ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ本体 (2P15A-125V,E付) ※３ｍ	64		8	8	8	8			9	7	9	7					
ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ	26		4	4	4	4		2	2	2	2	2					
ｼﾞｮｲﾅｰ	54		8	4	4	8		2	8	6	8	6					
ｼﾞｮｲﾅｰL（ｴﾙ）																	
ｴﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ	26		4	4	4	4		2	2	2	2	2					
ｽﾎﾟｯﾄ照明 （参考:NNQ32034）																	
ｽﾎﾟｯﾄ照明 （参考:NNQ32088W）	146		24	20	20	24		10	12	12	12	12					
ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ （参考:NQ20346） ☑ 位置ﾎﾞｯｸｽ(VE-D44)共	26		4	4	4	4		2	2	2	2	2					

ライティングダクトへの施工対応・・・
電源線は既存を再使用する。(＊接地線(GV2.0)は、各分電盤から新設配線すること。)
ﾌｨｰﾄﾞｲﾝからﾗｲｺﾝSWへ EEF 1.6-3C (PF16:立上げ配管)を新設する。
ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ回路(配線共)等はそのままとする。
ライティングダクトの形状寸法・設置位置等は、
関係者と打合せの上施工対応すること。

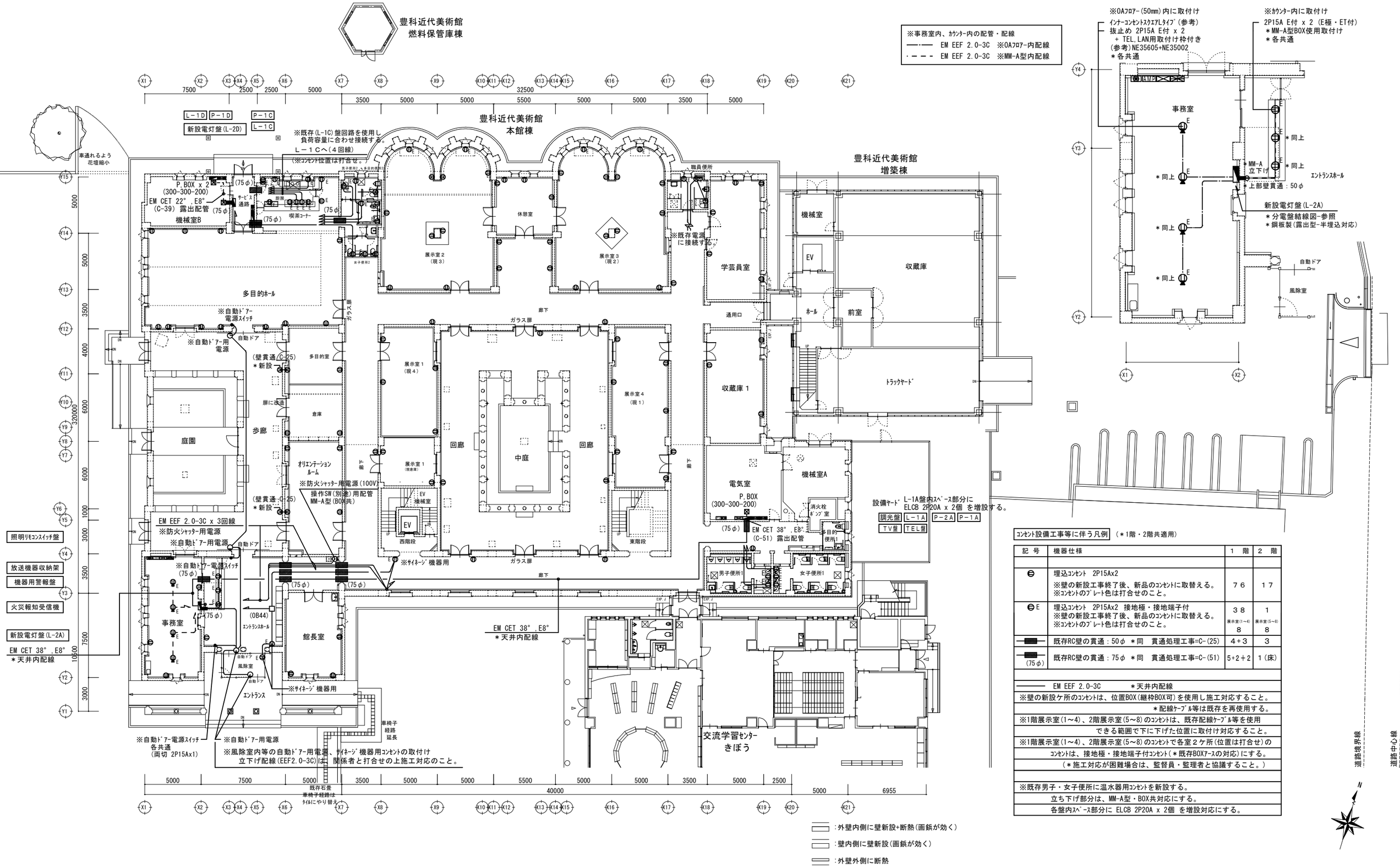
(75φ) 既存RC壁の貫通：75φ ＊同 貫通処理工事=C-(51) ＊調光盤から立上げ=C-(51)

：外壁内側に壁新設+断熱(画鋲が効く)
：壁内側に壁新設(画鋲が効く)
：外壁外側に断熱

N

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			２階 改修 ライティングダクト 設備図
			DATE 2024/03/15

NO. E-16
SCALE A3:1/300 A1:1/150
SIGN



ｺﾝｾﾝﾄ設備工事等に伴う凡例 (＊1階・2階共適用)

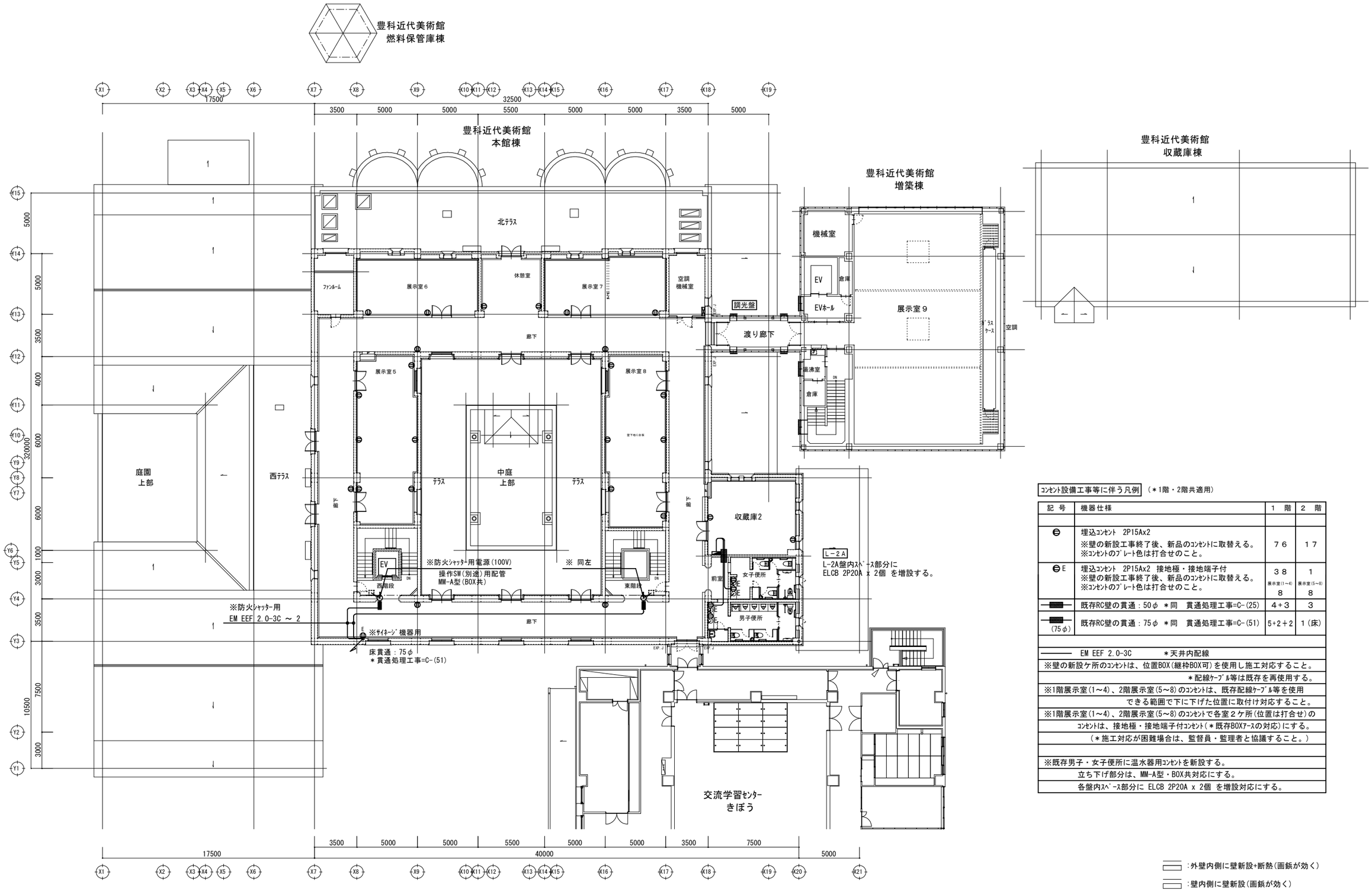
記号	機器仕様	1階	2階
⊖	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 ※壁の新設工事終了後、新品のｺﾝｾﾝﾄに取替える。 ※ｺﾝｾﾝﾄのﾌﾟﾚｰﾄ色は打合せのこと。	76	17
⊖E	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 接地極・接地端子付 ※壁の新設工事終了後、新品のｺﾝｾﾝﾄに取替える。 ※ｺﾝｾﾝﾄのﾌﾟﾚｰﾄ色は打合せのこと。	38 展示室(1～4) 8	1 展示室(5～8) 8
	既存RC壁の貫通：50φ ＊同 貫通処理工事=C-(25)	4+3	3
(75φ)	既存RC壁の貫通：75φ ＊同 貫通処理工事=C-(51)	5+2+2	1(床)
	EM EEF 2.0-3C ＊天井内配線		
※壁の新設ケ所のｺﾝｾﾝﾄは、位置BOX(継枠BOX可)を使用し施工対応すること。			
＊配線ｹｰﾌﾞﾙ等は既存を再使用する。			
※1階展示室(1～4)、2階展示室(5～8)のｺﾝｾﾝﾄは、既存配線ｹｰﾌﾞﾙ等を使用			
できる範囲で下に下げた位置に取付け対応すること。			
※1階展示室(1～4)、2階展示室(5～8)のｺﾝｾﾝﾄで各室２ケ所(位置は打合せ)の			
ｺﾝｾﾝﾄは、接地極・接地端子付ｺﾝｾﾝﾄ(＊既存BOXｱｰｽの対応)にする。			
(＊施工対応が困難場合は、監督員・監理者と協議すること。)			
※既存男子・女子便所に温水器用ｺﾝｾﾝﾄを新設する。			
立ち下げ部分は、MM-A型・BOX共対応にする。			
各盤内ｽﾍﾟｰｽ部分に ELCB 2P20A x 2個 を増設対応にする。			

:外壁内側に壁新設+断熱(画鋲が効く)

:壁内側に壁新設(画鋲が効く)

:外壁外側に断熱

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-17
			1階 改修 電灯幹線、コンセント設備図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN



コンセント設備工事等に伴う凡例 （＊1階・2階共適用）

記 号	機器仕様	1 階	2 階
⊖	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 ※壁の新設工事終了後、新品のｺﾝｾﾝﾄに取替える。 ※ｺﾝｾﾝﾄのﾌﾟﾚｰﾄ色は打合せのこと。	７６	１７
⊖E	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 接地極・接地端子付 ※壁の新設工事終了後、新品のｺﾝｾﾝﾄに取替える。 ※ｺﾝｾﾝﾄのﾌﾟﾚｰﾄ色は打合せのこと。	３８ 展示室(1～4) 8	1 展示室(5～8) 8
▬▬	既存RC壁の貫通：50φ ＊同 貫通処理工事=C-(25)	4＋3	3
▬▬ (75φ)	既存RC壁の貫通：75φ ＊同 貫通処理工事=C-(51)	5+2＋2	1（床）
――――	EM EEF 2.0-3C ＊天井内配線		
※壁の新設ケ所のｺﾝｾﾝﾄは、位置BOX(継枠BOX可)を使用し施工対応すること。			
＊配線ｹｰﾌﾞﾙ等は既存を再使用する。			
※1階展示室(1～4)、2階展示室(5～8)のｺﾝｾﾝﾄは、既存配線ｹｰﾌﾞﾙ等を使用			
できる範囲で下に下げた位置に取付け対応すること。			
※1階展示室(1～4)、2階展示室(5～8)のｺﾝｾﾝﾄで各室２ケ所(位置は打合せ)の			
ｺﾝｾﾝﾄは、接地極・接地端子付ｺﾝｾﾝﾄ(＊既存BOXﾌｰｽの対応)にする。			
（＊施工対応が困難場合は、監督員・監理者と協議すること。）			
※既存男子・女子便所に温水器用ｺﾝｾﾝﾄを新設する。			
立ち下げ部分は、MM-A型・BOX共対応にする。			
各盤内ｽﾍﾟｰｽ部分に ELCB 2P20A x 2個 を増設対応にする。			

：外壁内側に壁新設+断熱(画鋲が効く)

：壁内側に壁新設(画鋲が効く)

：外壁外側に断熱

N

特 記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			２階 改修 コンセント設備図
			DATE 2024/03/15

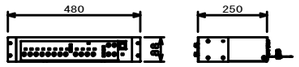
NO. E-18

SCALE A3:1/300
A1:1/150

SIGN

デジタルミキサー　×１

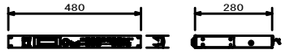
（参考）ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＷＲ－ＤＸ００２



電　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
周波数特性	２０Ｈｚ～２０ｋＨｚ
入　力	モノラル×８、ステレオ×４
出　力	メイン×２、モノラル×２、ＲＥＣ×１
機　能	ハウリングサプレッサー×４、ＥＱ×８、ＶＣＡ×４
	ステレオミュート（オート/マニュアル）、パターン制御（４）
ＡＤ／ＤＡ変換	２４ｂｉｔ

デジタルマルチプロセッサー　×１

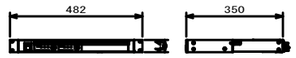
（参考）ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＷＺ－ＤＭ３０４



電　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
周波数特性	２０Ｈｚ～２０ｋＨｚ
入出力	３ｃｈ入力　４ｃｈ出力
ユーザメモリー数	８パターン
	（Ｄ-ＳＵＢ１５ピン メイク接点コントロール可能）
外部制御方式	ＲＳ－２３２Ｃ（Ｄ-ＳＵＢ ９ピン）
機　能	ハウリングサプレッサー、ディレイ、パラメトリックイコライザー
	２７バンドイコライザー、オートマイクレベルコントローラー
	コンプレッサー、リミッター、サブウーハー用ローパスフィルター

デジタルパワーアンプ200W×2ch　×１

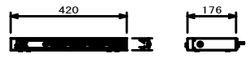
（参考）ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＷＰ－ＤＡ２０２



電　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
定格出力	１２０Ｗ×２（８Ω）、２００Ｗ×２（４Ω）
	４００Ｗ（ＢＴＬ　８Ω）
周波数特性	２０Ｈｚ～２０ｋＨｚ
クロストーク	－７０ｄＢ以下（１ｋＨｚ）
入力インピーダンス	２０ｋΩ（平衡）
Ｓ／Ｎ	１００ｄＢ以上

800MHz帯ワイヤレス受信機4波用　×１

（参考）ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＷＸ－ＵＲ５０４



電　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
アンテナ入力	５０Ω　２系統２回路
チャンネル出力	－２０ｄＢＶ　６００Ω（不平衡）　４回路
受信チャンネル	チューナー１台ごと３０波から設定
周波数特性	５０Ｈｚ～１０ｋＨｚ
ミキシング出力	－２０ｄＢＶ/－６０ｄＢＶ（切換式）６００Ω　不平衡
待機時混信低減機能	解除／６ｄＢ設定／１２ｄＢ設定
受信時混信低減機能	解除／２０ｄＢ／１０ｄＢ
その他	電池残量表示：３段階、チャンネルスキャン機能付き

800MHzワイヤレスチューナーユニット　×１

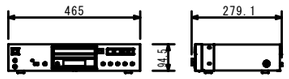
（参考）ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＷＸ－ＵＤ５００

※ワイヤレス受信機（ＷＸ－ＵＲ５０４）へ組み込む

供給電圧	ＤＣ５Ｖ
消費電流	約１２０ｍＡ（最大）
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン
受信感度	４５ｄＢ以上

ＣＤプレーヤー　×１

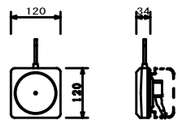
（参考）TASCAM　ＣＤ－２００ＳＢ



電　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
使用ディスク	８ｃｍまたは１２ｃｍＣＤ、ＣＤ－Ｒ、ＣＤ－ＲＷ
再生可能フォーマット	ＣＤ－ＤＡ、ＷＡＶ、ＭＰ３
チャンネル数	２チャンネル（ステレオ）
アナログ出力	アンバランスＲＣＡピン×１系統

800MHz帯壁付用ワイヤレスアンテナ　×２

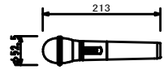
（参考）ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＷＸ－４９５０Ａ



電　源	ＤＣ１２Ｖ（本体より供給）
入力周波数	８０６ＭＨｚ～８１０ＭＨｚ帯
出力周波数	２６０ＭＨｚ帯
取付方法	壁取付

ワイヤレスマイクロホン（ハンド型）　×２

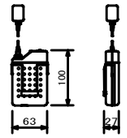
（参考）ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＷＸ－４１００Ｂ



電波形式	Ｆ３Ｅ、Ｆ９Ｗ
発振方式	水晶制御ＰＬＬシンセサイザー方式
送信周波数	８０６．１２５ＭＨｚ～８０９．７５０ＭＨｚ
	（０．１２５ＭＨｚ間隔３０波中１波）
使用マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
周波数特性	１００Ｈｚ～１０ｋＨｚ
制御信号	電池残量用：３種類

800MHz帯タイピン形ワイヤレスマイク　×１

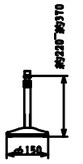
（参考）ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＷＸ－４３００Ｂ



電波型式	Ｆ３Ｅ、Ｆ９Ｗ
発振方式	水晶制御ＰＬＬシンセサイザー方式
送信周波数	８０６．１２５ＭＨｚ～８０９．７５０ＭＨｚ
	（０．１２５ＭＨｚ間隔３０波中１波）
使用マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
周波数特性	１００Ｈｚ～１０ｋＨｚ
制御信号	電池残量用：３種類

マイクロホンスタンド（卓上型）　×１

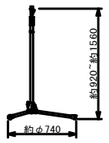
（参考）ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＷＮ－ＤＳ１２０



スタンドねじ	ＰＦ／２×１４

マイクロホンスタンド（フロア型）　×１

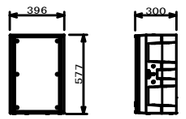
（参考）ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＷＮ－ＦＳ１４０



スタンドねじ	３／８－１６ＵＮＣ
	ＰＦ１／２×１４（変換ねじ使用時）

３０ｃｍ　２ウェイスピーカー　×２

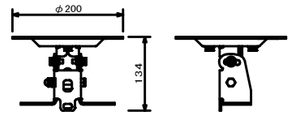
（参考）ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＷＳ－ＡＲ２００-Ｋ



形　式	２ウェイバスレフ形
許容入力	４００Ｗ／２００Ｗ（連続プログラム／ＲＭＳ）
入力インピーダンス	８Ω
出力音圧レベル	１００ｄＢ（１Ｗ／１ｍ）
周波数特性	４３Ｈｚ～２０ｋＨｚ（－２０ｄＢ）
	６０Ｈｚ～１８ｋＨｚ（－１０ｄＢ）
使用スピーカー	低域用：３０ｃｍコーンスピーカー
	高域用：ＳＣＷＧホーン
仕上げ	エンクロージャー：ＰＰ樹脂

スピーカー取付金具（天井取付）　×２

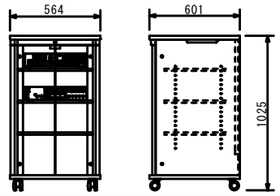
（参考）ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＷＳ－Ｑ１４８-Ｋ



角度調整範囲	＜縦／横向き使用の場合　共通＞
	水平：左右６０°、垂直：下向き０°～４５°
適合スピーカー	ＷＳ－Ｍ８０－Ｋ、ＷＳ－Ｍ８０－Ｗ
	ＷＳ－Ｍ２００－Ｋ、ＷＳ－Ｍ２００－Ｗ
	ＷＳ－Ｍ２５０－Ｋ

機器収納木製ＥＩＡラック　×１

（参考）共栄商事　ＥＩＡ-Ｋ２０Ｂ



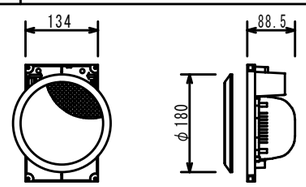
本　体	化粧合板
扉	強化ガラス　カギ付　（２７０°開閉可）
中間棚	１枚付（Ｗ４８２×Ｈ１７×Ｄ４００）
キャスター	φ６０ツイン　４個　（ストッパー付２個）
付属品	機器取付ボルト　２０個
質　量	３０．０Kg

※木製ＥＩＡラックに収納機器等

- ・デジタルパワーアンプ
- ・デジタルマルチプロセッサー
- ・デジタルミキサー
- ・８００MHz帯ワイヤレス受信機
- ・ＣＤプレーヤー
- ・他、マイクロホン等収納

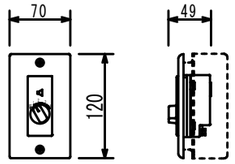
天井埋込スピーカ　３Ｗ　×３

天井埋込スピーカ　３Ｗ（ＡＴＴ付）　×６



定格入力	６Ｗ（１．６７ｋΩ）、３Ｗ（３．３ｋΩ）、１Ｗ（１０ｋΩ）
入力インピーダンス	１．６７ｋΩ、３．３ｋΩ、１０ｋΩ
周波数特性	１２０Ｈｚ～１５ｋＨｚ
出力音圧レベル	９４ｄＢ（１ｍ／１Ｗ）
使用スピーカ	１２ｃｍコーンスピーカ
パネル	アルミバンチング
音量調整	４段階（ＡＴＴ付）

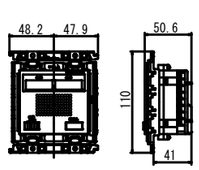
アッテネータ　×３



入力容量	０．５Ｗ～６Ｗ
入力インピーダンス	２０ｋΩ～１．６７ｋΩ
音量調整	５段階
パネル	新金属
適合ボックス	ＪＩＳ１個口用スイッチボックス

トイレ呼出表示器（親機）　×１

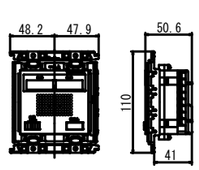
（参考）ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＷＱ４３０２Ｋ



定　格	電源電圧　ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
	消費電力　待機時：３Ｗ以下 最大時：５．５Ｗ以下
形　状	埋込型（適合ボックス　２個用スイッチボックス（深型））

トイレ呼出表示器（副親機）　×１

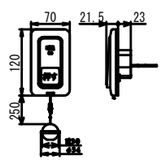
（参考）ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＷＱ４４０２Ｋ



定　格	電源電圧　ＤＣ１２Ｖ（親器より供給）
形　状	埋込型（適合ボックス　２個用スイッチボックス（深型））

トイレ呼出釦　×２

（参考）ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＷＳ６６７７２



定　格	微少電流形（３０ｍＡ　１２Ｖ）
埋込プルスイッチ付押釦スイッチ（ＯＮ保持・微少電流対応形）	
（パイロットランプ・防沫形プレート・リード線付）	

.

特　記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-19
			音響機器姿図、トイレ呼出し機器図	SCALE
			DATE 2024/03/15	SIGN

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

※事務室内、ｶｳﾝﾀｰ内の配管・配線

EBT 0.5-4P x 1 LAN Cat5E x 1	PF(16) ※OAﾌﾛｱｰ内配管	
EBT 0.5-4P x 2 LAN Cat5E x 2	PF(16) ※OAﾌﾛｱｰ内配管	
EBT 0.5-4P x 1 LAN Cat5E x 1	MM-A型 ※ｶｳﾝﾀｰ内配管	
EBT 0.5-4P x 2 LAN Cat5E x 2	MM-A型 ※ｶｳﾝﾀｰ内配管	
EBT 0.5-4P x 3 LAN Cat5E x 3	MM-A型 ※ｶｳﾝﾀｰ内配管	

※OAﾌﾛｱｰ(50mm)内に取付け
TEL ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ(6極4心)
LAN ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ(Cat5E)
＊器具ﾕﾆｯﾄﾌﾟﾚｰﾄはｺﾝｾﾝﾄ取付BOXと共用
＊ｺﾝｾﾝﾄ設備図参照
＊各共通

※ｶｳﾝﾀｰ内に取付け
TEL ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ(6極4心)
LAN ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ(Cat5E)
＊MM-A型BOX使用取付け
＊各共通

事務室
AMP
＊同上
＊MM-A 立下げ
＊上部壁貫通：50φ　ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ
C-PF(22)
C-PF(22)x 2
新設弱電端子盤
＊参考：400-500-125
＊鋼板製(露出型-半埋込対応)
＊既存の幹線ｹｰﾌﾞﾙを整理し端子盤へ配線する
自動ドア
風除室

EV-ｲﾝﾀｰﾎﾝ用
＊機器・取付け共別途工事
照明ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ盤
放送機器収納架
機器用警報盤
火災報知受信機
監視カメラ用モニター(壁付型)
＊そのまま再使用対応する。
既存監視ｶﾒﾗ用ﾃﾞｨｽｸﾚｺｰﾀﾞｰ等機器
＊一時取外し再取付
ﾄｲﾚ呼出し表示機
(副親機)

EV-TEL用　EBT 0.5-4P (PF-16)
＊天井内配管・配線
EV-ｲﾝﾀｰﾎﾝ用　EM-AE 0.9-5P
＊天井内配線 立下げ PF(16)保護
※TEL盤への立下げ
EBT 0.5-4P(MM-A型)
ﾖﾋﾞ用　(MM-A型)

弱電等設備工事に伴う凡例　（＊1階・2階共適用）

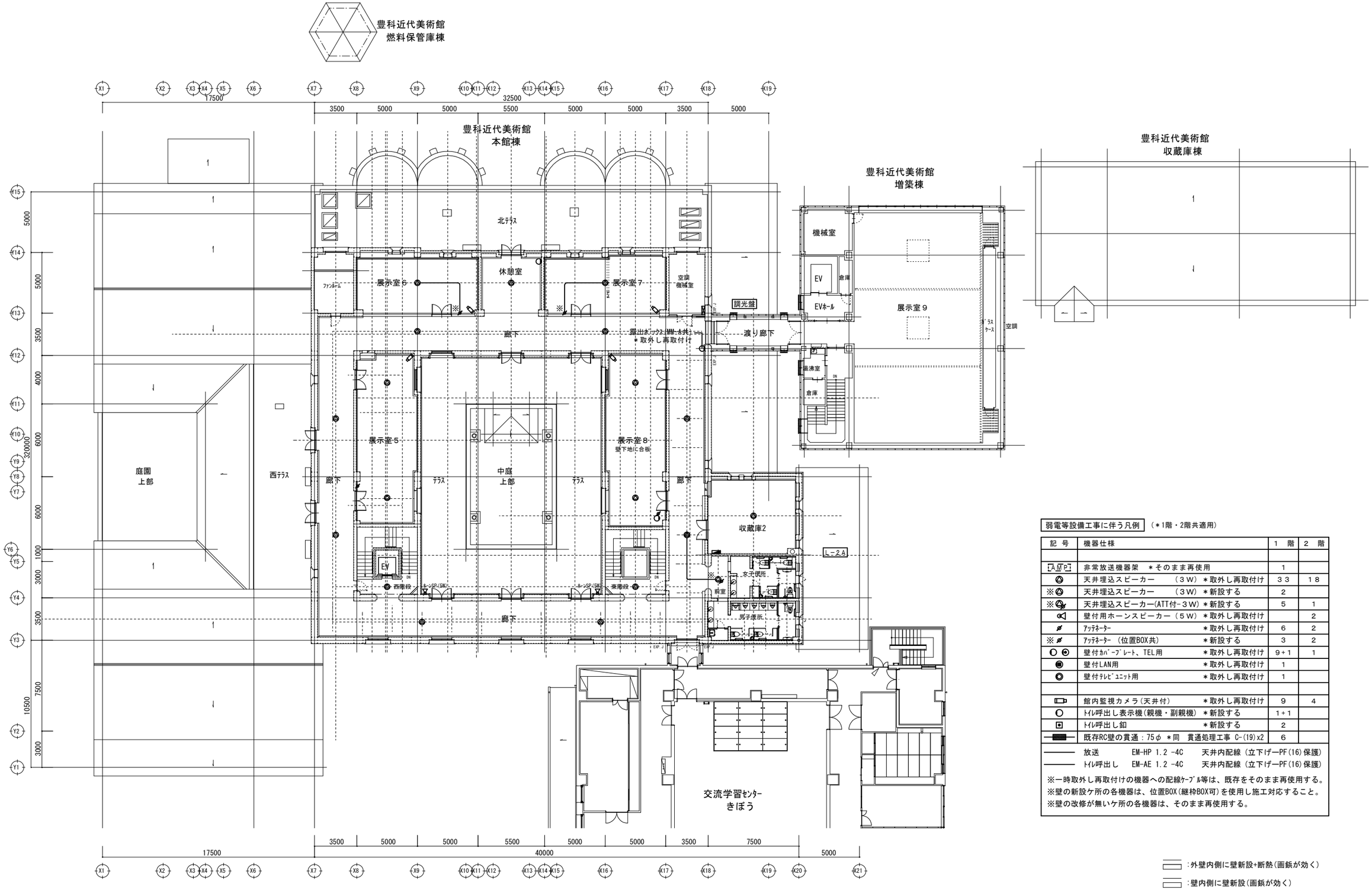
記号	機器仕様	1階	2階
AMP	非常放送機器架　＊そのまま再使用	1	
	天井埋込スピーカー　（３Ｗ）＊取外し再取付け	３３	１８
※	天井埋込スピーカー　（３Ｗ）＊新設する	2	
※	天井埋込スピーカー(ATT付-３Ｗ)＊新設する	5	1
	壁付用ホーンスピーカー（５Ｗ）＊取外し再取付け		2
	ｱｯﾃﾈｰﾀｰ　＊取外し再取付け	6	2
※	ｱｯﾃﾈｰﾀｰ　（位置BOX共）＊新設する	3	2
	壁付ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ、TEL用　＊取外し再取付け	9＋1	1
	壁付LAN用　＊取外し再取付け	1	
	壁付ﾃﾚﾋﾞﾕﾆｯﾄ用　＊取外し再取付け	1	
	館内監視カメラ(天井付)　＊取外し再取付け	9	4
	ﾄｲﾚ呼出し表示機(親機・副親機)　＊新設する	1＋1	
	ﾄｲﾚ呼出し釦　＊新設する	2	
	既存RC壁の貫通：75φ　＊同　貫通処理工事 C-(19)x2	6	
	放送　EM-HP 1.2 -4C　天井内配線（立下げ-PF(16)保護）		
	ﾄｲﾚ呼出し　EM-AE 1.2 -4C　天井内配線（立下げ-PF(16)保護）		

※一時取外し再取付けの機器への配線ｹｰﾌﾞﾙ等は、既存をそのまま再使用する。
※壁の新設ケ所の各機器は、位置BOX(継枠BOX可)を使用し施工対応すること。
※壁の改修が無いケ所の各機器は、そのまま再使用する。

：外壁内側に壁新設+断熱(画鋲が効く)
：壁内側に壁新設(画鋲が効く)
：外壁外側に断熱

道路境界線
道路中心線

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			1階　改修　弱電、放送、監視カメラ　設備図
			NO. E-20 SCALE A3:1/300 A1:1/150 DATE 2024/03/15 SIGN



弱電等設備工事に伴う凡例　（＊1階・2階共通用）

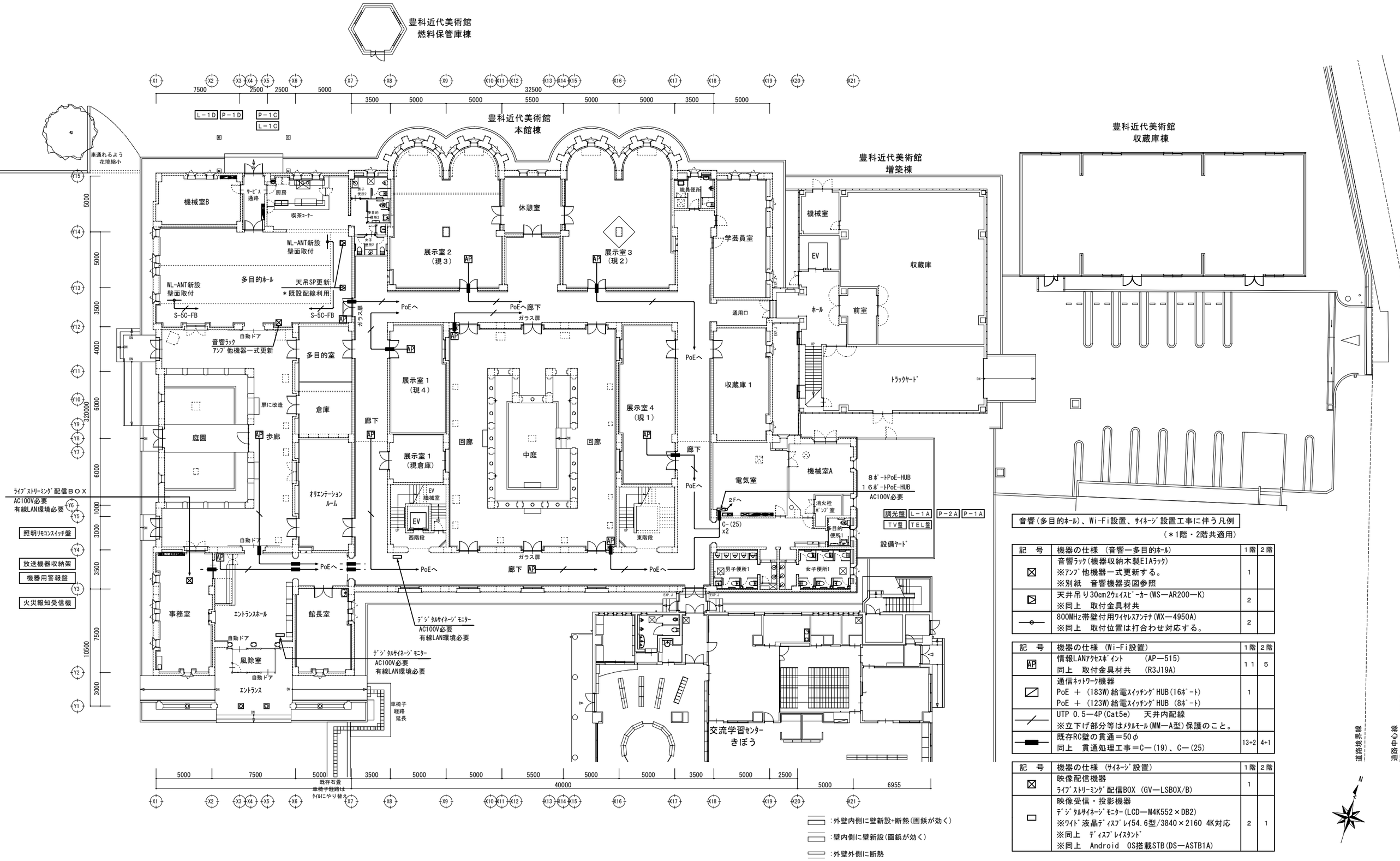
記号	機器仕様		1階	2階
AMP	非常放送機器架	＊そのまま再使用	1	
	天井埋込スピーカー	（３Ｗ）＊取外し再取付け	３３	１８
※	天井埋込スピーカー	（３Ｗ）＊新設する	2	
※	天井埋込スピーカー(ATT付-３Ｗ)	＊新設する	5	1
	壁付用ホーンスピーカー（５Ｗ）	＊取外し再取付け		2
	ｱｯﾃﾈｰﾀｰ	＊取外し再取付け	6	2
※	ｱｯﾃﾈｰﾀｰ（位置BOX共）	＊新設する	3	2
	壁付ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ、TEL用	＊取外し再取付け	9＋1	1
	壁付LAN用	＊取外し再取付け	1	
	壁付ﾃﾚﾋﾞﾕﾆｯﾄ用	＊取外し再取付け	1	
	館内監視カメラ（天井付）	＊取外し再取付け	9	4
	ﾄｲﾚ呼出し表示機（親機・副親機）	＊新設する	1＋1	
	ﾄｲﾚ呼出し釦	＊新設する	2	
	既存RC壁の貫通：75φ ＊同	貫通処理工事 C-(19)x2	6	
	放送	EM-HP 1.2 -4C　天井内配線（立下げ-PF(16)保護）		
	ﾄｲﾚ呼出し	EM-AE 1.2 -4C　天井内配線（立下げ-PF(16)保護）		

※一時取外し再取付けの機器への配線ｹｰﾌﾞﾙ等は、既存をそのまま再使用する。
※壁の新設ケ所の各機器は、位置BOX(継枠BOX可)を使用し施工対応すること。
※壁の改修が無いケ所の各機器は、そのまま再使用する。

：外壁内側に壁新設+断熱(画鋲が効く)
：壁内側に壁新設(画鋲が効く)
：外壁外側に断熱

N

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-21
			２階　改修　弱電、放送、監視カメラ　設備図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN



音響(多目的ホール)、Wi-Fi設置、サイネージ設置工事に伴う凡例

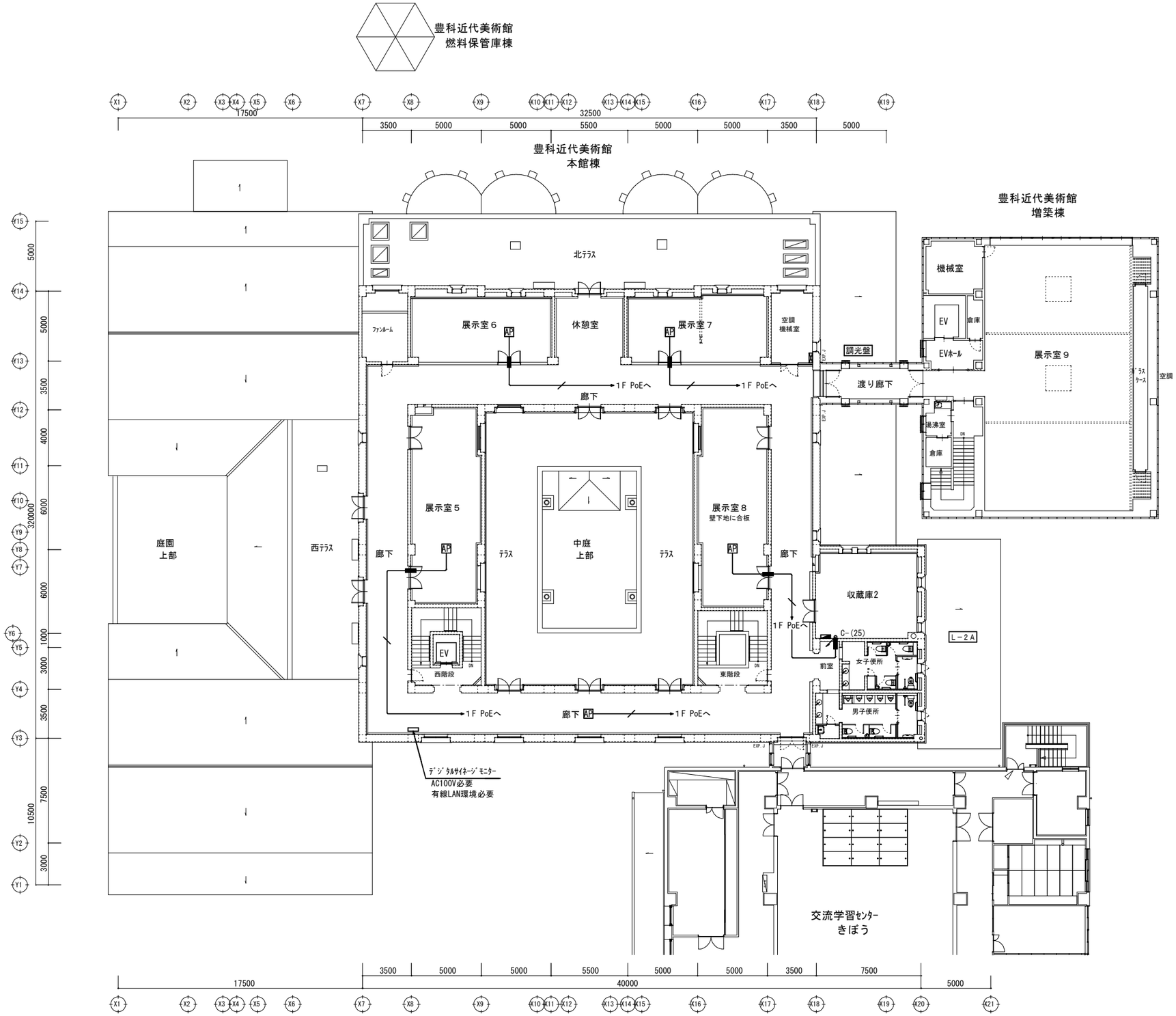
（＊1階・2階共適用）

記　号	機器の仕様　(音響ー多目的ホール)	1階	2階
⊠	音響ラック(機器収納木製EIAラック) ※アンプ他機器一式更新する。 ※別紙　音響機器姿図参照	1	
⊠	天井吊り30cm2ウェイスピーカー(WS―AR200―K) ※同上　取付金具材共	2	
—o—	800MHz帯壁付用ワイヤレスアンテナ(WX―4950A) ※同上　取付位置は打合わせ対応する。	2	

記　号	機器の仕様　(Wi-Fi設置)	1階	2階
AP	情報LANアクセスポイント　(AP―515) 同上　取付金具材共　(R3J19A)	11	5
⊠	通信ネットワーク機器 PoE ＋ (183W)給電スイッチングHUB(16ポート) PoE ＋ (123W)給電スイッチングHUB (8ポート)	1	
—/—	UTP 0.5―4P(Cat5e)　天井内配線 ※立下げ部分等はメタルモール(MM―A型)保護のこと。		
▬	既存RC壁の貫通＝50φ 同上　貫通処理工事＝C―(19)、C―(25)	13+2	4+1

記　号	機器の仕様　(サイネージ設置)	1階	2階
⊠	映像配信機器 ライブストリーミング配信BOX (GV―LSBOX/B)	1	
□	映像受信・投影機器 デジタルサイネージモニター(LCD―M4K552×DB2) ※ワイド液晶ディスプレイ54.6型/3840×2160 4K対応 ※同上　ディスプレイスタンド ※同上　Android　OS搭載STB(DS―ASTB1A)	2	1

特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-22
			1階　改修　音響(多目的ホール)、Wi-Fi設置、サイネージ設置　設備図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN



音響(多目的ﾎｰﾙ)、Wi-Fi設置、ｻｲﾈｰｼﾞ設置工事に伴う凡例

（＊1階・2階共通用）

記　号	機器の仕様　(音響一多目的ﾎｰﾙ)	1階	2階
⊠	音響ﾗｯｸ(機器収納木製EIAﾗｯｸ) ※ｱﾝﾌﾟ他機器一式更新する。 ※別紙　音響機器姿図参照	1	
⊠	天井吊り30cm2ｳｪｲｽﾋﾟｰｶｰ(WS一AR200一K) ※同上　取付金具材共	2	
⟷	800MHz帯壁付用ﾜｲﾔﾚｽｱﾝﾃﾅ(WX一4950A) ※同上　取付位置は打合わせ対応する。	2	

記　号	機器の仕様　(Wi-Fi設置)	1階	2階
AP	情報LANｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ　(AP一515) 同上　取付金具材共　(R3J19A)	1 1	5
⊠	通信ﾈｯﾄﾜｰｸ機器 PoE ＋ (183W)給電ｽｲｯﾁﾝｸﾞHUB(16ﾎﾟｰﾄ) PoE ＋ (123W)給電ｽｲｯﾁﾝｸﾞHUB (8ﾎﾟｰﾄ)	1	
／	UTP 0.5一4P(Cat5e)　天井内配線 ※立下げ部分等はﾒﾀﾙﾓｰﾙ(MM一A型)保護のこと。		
▬	既存RC壁の貫通＝50φ 同上　貫通処理工事＝C一(19)、C一(25)	13+2	4+1

記　号	機器の仕様　(ｻｲﾈｰｼﾞ設置)	1階	2階
⊠	映像配信機器 ﾗｲﾌﾞｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞ配信BOX　(GV一LSBOX/B)	1	
▭	映像受信・投影機器 ﾃﾞｼﾞﾀﾙｻｲﾈｰｼﾞﾓﾆﾀｰ(LCD一M4K552×DB2) ※ﾜｲﾄﾞ液晶ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ54.6型/3840×2160 4K対応 ※同上　ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｽﾀﾝﾄﾞ ※同上　Android　OS搭載STB(DS一ASTB1A)	2	1

：外壁内側に壁新設+断熱(画鋲が効く)

：壁内側に壁新設(画鋲が効く)

：外壁外側に断熱

特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-23
			２階　改修　音響(多目的ﾎｰﾙ)、Wi-Fi設置、ｻｲﾈｰｼﾞ設置　設備図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

豊科近代美術館
収蔵庫棟

車通れるよう
花壇縮小

L－1D　P－1D　P－1C　L－1C

機械室B
サービス通路
厨房
喫茶コーナー
男子便所2
女子便所2
防火シャッター施工対応…
多目的ホール
展示室２
（現３）
休憩室
展示室３
（現２）
職員便所
学芸員室
廊下
ガラス扉
通用口
自動ドア
多目的室
展示室１
（現４）
展示室４
（現１）
収蔵庫１
機械室
EV
収蔵庫
ホール
前室
トラックヤード
屏に改造
倉庫
庭園
歩廊
回廊
中庭
廊下
展示室１
（現倉庫）
EV
機械室
西階段
東階段
オリエンテーション
ルーム
電気室
機械室A
消火栓
ポンプ室
設備ヤード
調光盤　L－1A　P－2A　P－1A
TV盤　TEL盤
多目的
便所
男子便所1
女子便所1
EM-AE 1.2-4C x 2
エントランスホール
事務室
館長室
風除室
エントランス
車椅子
経路
延長
交流学習センター
きぼう
既存石畳
車椅子経路は
タイルにやり替え

照明リモコンスイッチ盤
放送機器収納架
機器用警報盤
火災報知受信機

■ 火災報知設備の施工対応…
図示の火災感知器を新品に取替える。
一部便所等、他の各室にも感知器を新設する。

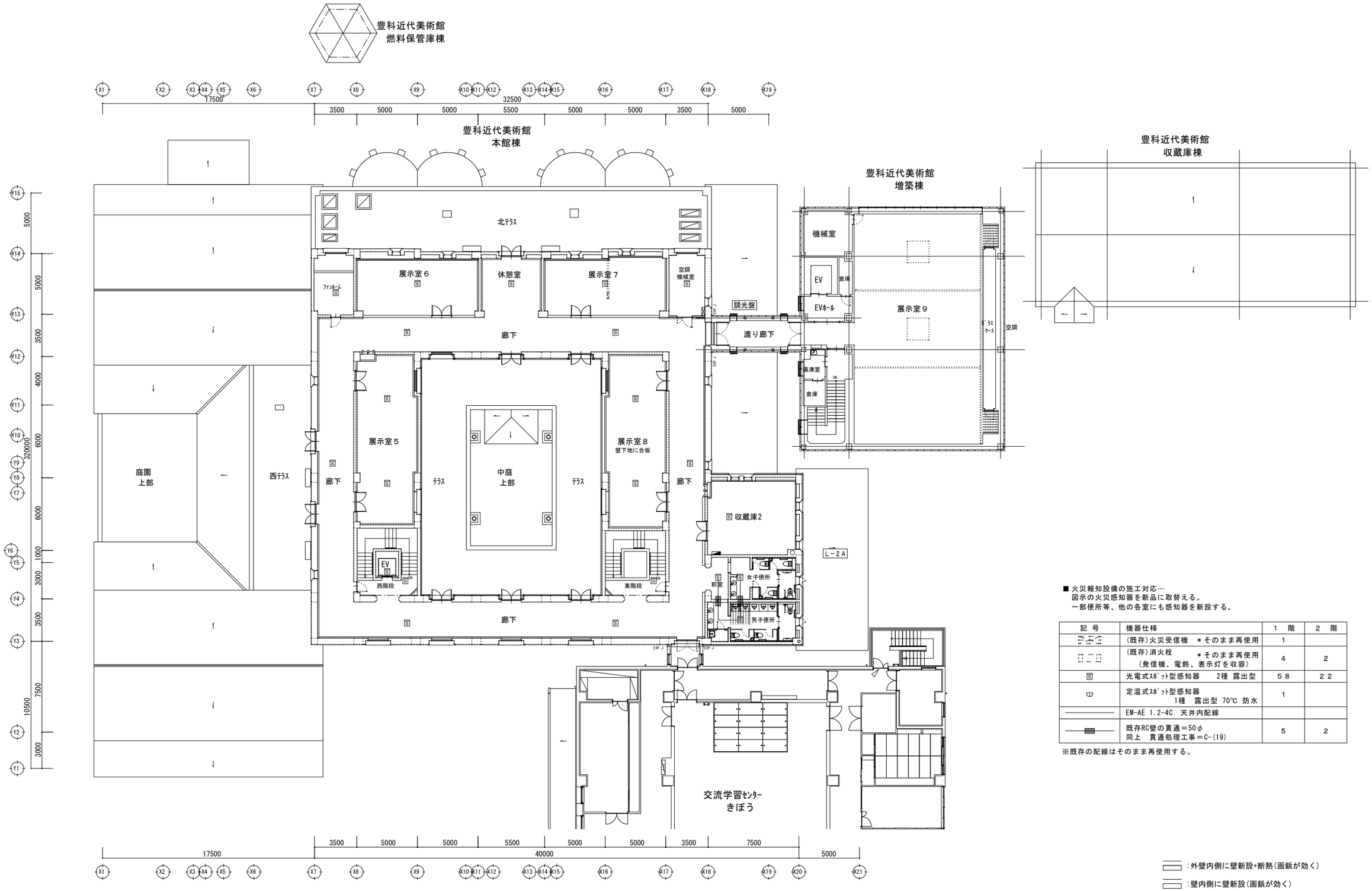
記号	機器仕様	１階	２階
	（既存）火災受信機　＊そのまま再使用	1	
	（既存）消火栓　＊そのまま再使用 （発信機、電鈴、表示灯を収容）	4	2
	光電式スポット型感知器　2種 露出型	５８+２	２２
	定温式スポット型感知器 1種　露出型 70℃ 防水	1	
	EM-AE 1.2-4C　天井内配線		
	既存RC壁の貫通＝50φ 同上　貫通処理工事＝C-(19)	5+4	2

※既存の配線はそのまま再使用する。

：外壁内側に壁新設+断熱(画鋲が効く)
：壁内側に壁新設(画鋲が効く)
：外壁外側に断熱

道路境界線
道路中心線

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-24
			１階　改修　火災報知　設備図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
				DATE 2024/03/15　SIGN



■ 火災報知設備の施工対応…
図示の火災感知器を新品に取替える。
一部便所等、他の各室にも感知器を新設する。

記 号	機器仕様	１ 階	２ 階
	(既存)火災受信機 ＊そのまま再使用	1	
	(既存)消火栓 ＊そのまま再使用 (発信機、電鈴、表示灯を収容)	4	2
S	光電式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器 2種 露出型	５８	２２
D	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器 1種 露出型 70℃ 防水	1	
	EM-AE 1.2-4C 天井内配線		
	既存RC壁の貫通＝50φ 同上 貫通処理工事＝C-(19)	5	2

※既存の配線はそのまま再使用する。

：外壁内側に壁新設+断熱(画鋲が効く)
：壁内側に壁新設(画鋲が効く)
：外壁外側に断熱

特 記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-25
			２階 改修 火災報知 設備図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN

撤去の器具一覧

記号	照明器具の形式	ランプの仕様	備考	合計台数	1階																																				
					風除室	エントランスホール	館長室	事務室	歩廊(庭園共)	多目的ホール(売店)	厨房・喫茶コーナー	機械室B	サービス通路	男子便所2	多目的便所2	女子便所2	オリエンテーションルーム	宮芳平記念展示室	展示室1(現倉庫)	展示室1(現4)	展示室2(現3)	休憩室	展示室3(現2)	展示室4(現1)	回廊	職員便所	学芸員室	廊下北	廊下西	廊下南	廊下東	東階段	西階段	通用口(東側)	収蔵庫1	電気室	機械室A	消火栓ポンプ室	多目的便所1	男子便所1	女子便所1
a１	避難口誘導灯	FL10w-1,20w-1	直付型 ﾊﾞｯﾃﾘｰ内蔵	4					2								1	1																						
a２	避難口誘導灯	FL10w-1,20w-1	ﾊﾟｲﾌﾟ吊型(L250～750) ﾊﾞｯﾃﾘｰ内蔵	42		3	1	1	2	2			1				1		1	1	1	1	2	2	4		1		1		2			1	1						
a３	階段通路誘導灯	FL40w-1	ﾊﾞｯﾃﾘｰ内蔵	12																												3	3								
a４	床埋込型誘導灯	FL10w-1	ﾊﾞｯﾃﾘｰ内蔵	16																								2	2	2	2										
b１	埋込型非常灯	IL10w～40w	ﾊﾞｯﾃﾘｰ内蔵	98		2	2	2	5	5	2						2	2	1	3	4	1	4	4	10			6	3	5	5				2						
b２	露出型非常灯(防水型)	IL20w-1	ﾊﾞｯﾃﾘｰ内蔵	1						1																														
A	LED下面開放埋込型	4000Lm相当		2																		2																			
B	下面開放埋込型	FL40w-1		2																											2										
C	下面開放埋込型	FL40w-2		32																			16				8								8						
D	下面開放埋込型	FL40w-2	ﾊﾞｯﾃﾘｰ内蔵	5									1																			1	1								
E	下面開放埋込型	FL40w-2-2連結		20																																					
F	下面開放埋込型	FL20w-1		2																						2															
G	逆富士型	FL40w-2		6																																					
H	逆富士型(防湿防雨型)	FL40w-2		4						4																														
J	壁付ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ	HF40w-1		4					4																																
K	ｺｰﾄﾞ吊りｼｬﾝﾃﾞﾘｱ	IL80w-8		2																							1														
L	ｺｰﾄﾞﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ	IL60w-3		1																																					
M	ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ(配線ﾀﾞｸﾄ用)	IL(60w～80w)-1		207		3				6							18	12		10	24		20	15				5	9	8	9										
N	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	IL(60w～80w)-1		134					7	9	14			1		1		6	2	11	5			14	10			15	4	9	4										
P	天井直付ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ	IL(60w～100w)-1		19					7																12																
Q	LED下面開放埋込型	4000Lm相当	※再使用 (取外し再取付)	28			8	8									6					6																			
R	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ		※再使用 (取外し再取付)	15	3	12																																			
S	LEDｺｰﾄﾞ吊りﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ		※再使用 (取外し再取付)	3						3																															
T	LED壁付型(ﾌﾞﾗｹｯﾄ)		※再使用 (取外し再取付)	7						7																															
U	LEDｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ(ﾀﾞｸﾄ用)		※再使用 (取外し再取付)	15		3				12																															
V	ｺｰﾄﾞ吊りｼｬﾝﾃﾞﾘｱ	IL80w-8	※再使用 (取外し再取付)	3						3																															
W	反射笠付ﾁｪｰﾝ吊り	FL40w-2		13								2																								4	2	1			
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ	2m用	※ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ ｼﾞｮｲﾅ等共	5						2	1										2																				
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ	3m用	※ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ ｼﾞｮｲﾅ等共	24													2	2	1	1	4		4	2																	
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ	4m用	※ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ ｼﾞｮｲﾅ等共	3		1													2																						
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ	6m用	※ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ ｼﾞｮｲﾅ等共	1						1																															
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ	8m用	※ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ ｼﾞｮｲﾅ等共	6													2	2			1		1																		
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ	9m用	※ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ ｼﾞｮｲﾅ等共	12																2	2		2																		
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ	13m用	※ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ ｼﾞｮｲﾅ等共	8																				2																	
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ	23m用	※ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ ｼﾞｮｲﾅ等共	4																									1		1										
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ	29m用	※ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ ｼﾞｮｲﾅ等共	4																								1		1											
	ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ			50									4				2	2	1	1	2		2	2				2	2	2	2										

記号	照明器具の形式	2階																
		廊下北(休憩室共)	廊下西	廊下南	廊下東	展示室5	展示室6	展示室7	展示室8	テラス(外部)	ファンルーム	空調機械室	東階段	西階段	収蔵庫2	前室(便所)	女子便所	男子便所
a１	避難口誘導灯																	
a２	避難口誘導灯		1	2	3	2	1	1	2						1			
a３	階段通路誘導灯												3	3				
a４	床埋込型誘導灯	1	2	3	2													
b１	埋込型非常灯	4	3	4	3	4	2	2	4						2			
b２	露出型非常灯(防水型)																	
A	LED下面開放埋込型																	
B	下面開放埋込型																	
C	下面開放埋込型																	
D	下面開放埋込型												1	1				
E	下面開放埋込型					6	4	4	6									
F	下面開放埋込型																	
G	逆富士型														6			
H	逆富士型(防湿防雨型)																	
J	壁付ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ																	
K	ｺｰﾄﾞ吊りｼｬﾝﾃﾞﾘｱ	1																
L	ｺｰﾄﾞﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ												1					
M	ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ(配線ﾀﾞｸﾄ用)	6	5	7	20	10	20											
N	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	7	4	7	4													
P	天井直付ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ																	
Q	LED下面開放埋込型																	
R	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ																	
S	LEDｺｰﾄﾞ吊りﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ																	
T	LED壁付型(ﾌﾞﾗｹｯﾄ)																	
U	LEDｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ(ﾀﾞｸﾄ用)																	
V	ｺｰﾄﾞ吊りｼｬﾝﾃﾞﾘｱ																	
W	反射笠付ﾁｪｰﾝ吊り										2	2						
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ 2m用																	
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ 3m用					2	2	2	2									
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ 4m用																	
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ 6m用																	
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ 8m用																	
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ 9m用						3	3										
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ 13m用					3			3									
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ 23m用		1		1													
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ 29m用	1		1														
	ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ	2	2	2	2	5	4	4	5									

特記

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

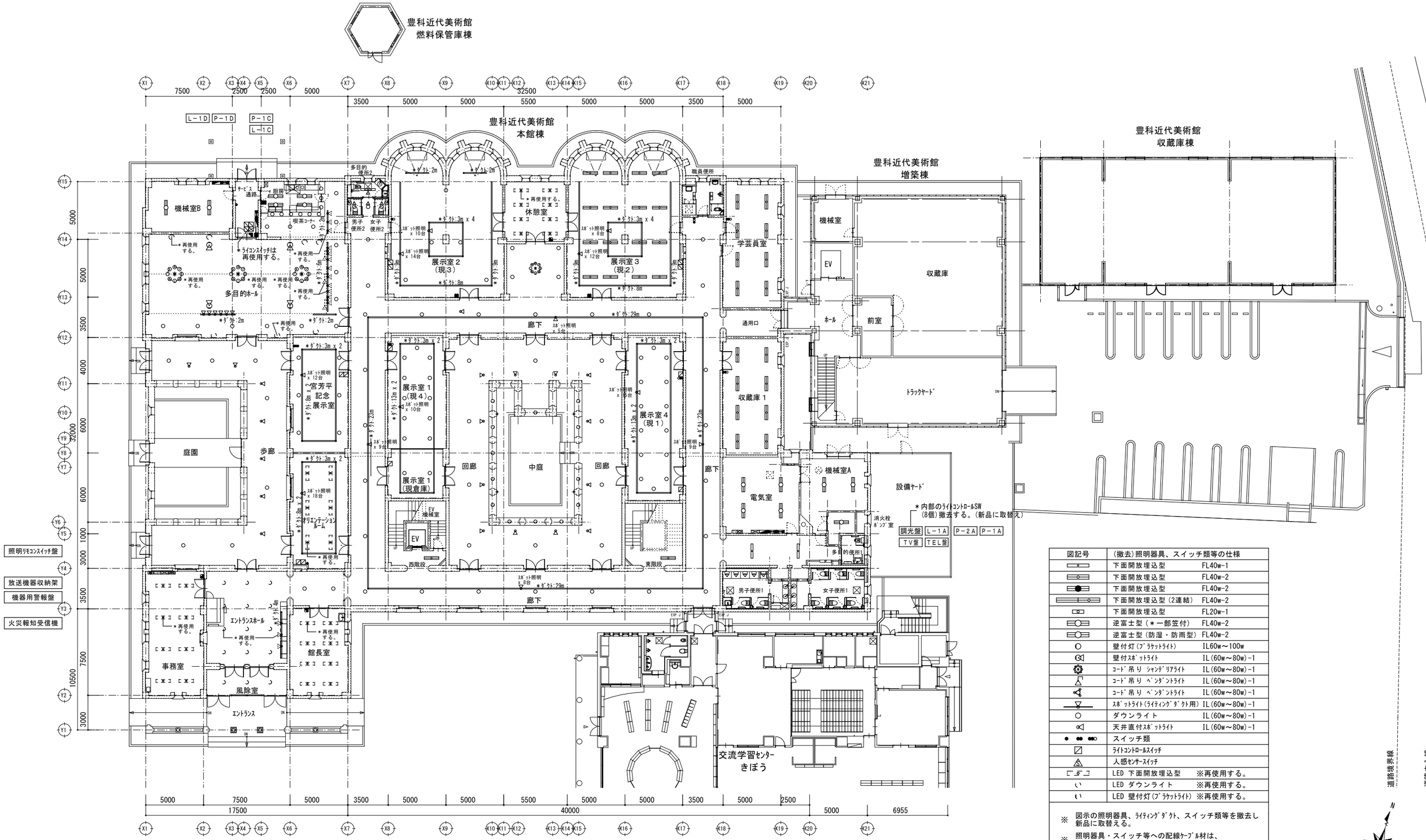
撤去の照明器具、ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ 一覧表

NO. E-26

SCALE

DATE 2024/03/15

SIGN

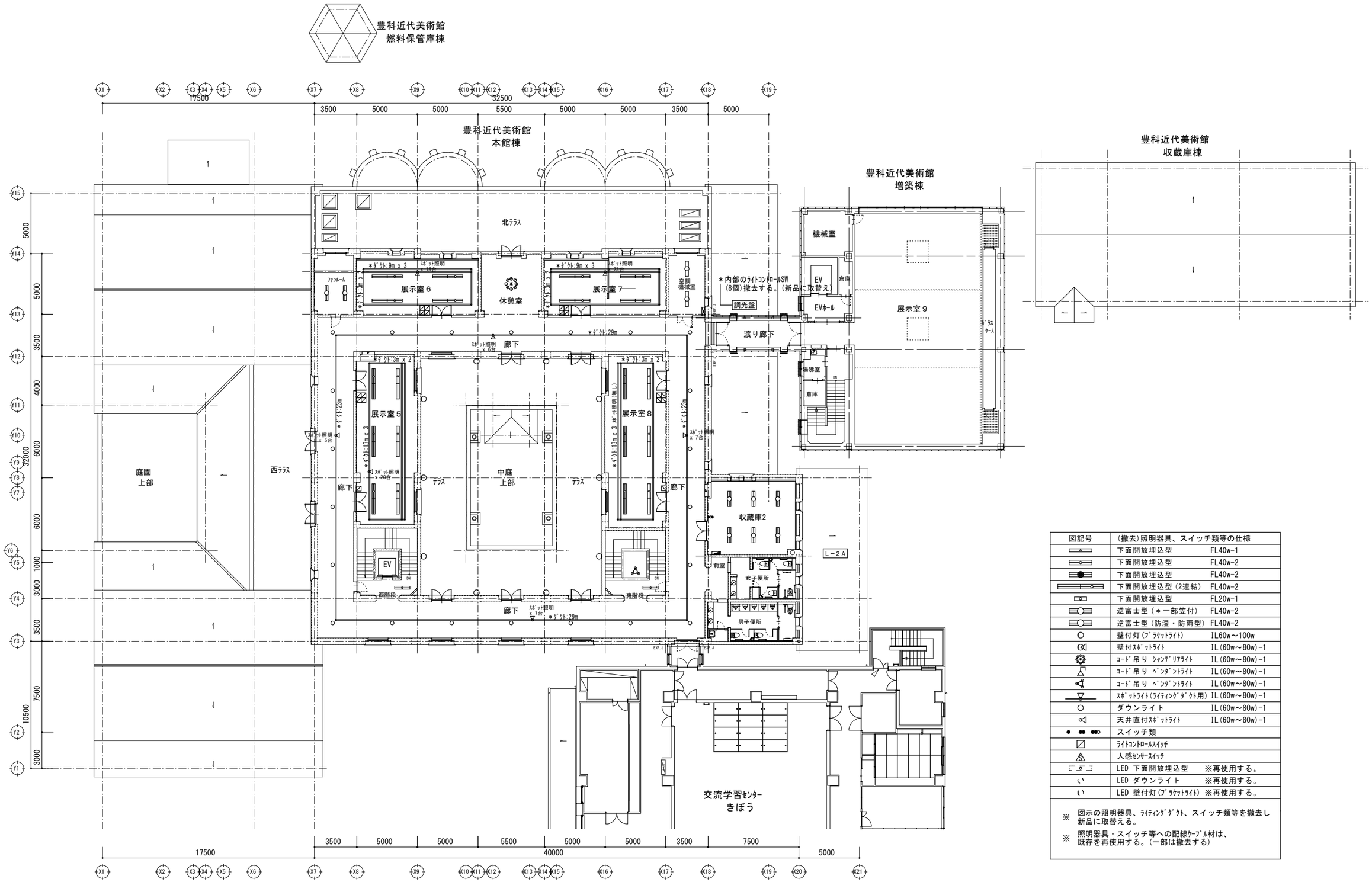


図記号	(撤去)照明器具、スイッチ類等の仕様	
▭	下面開放埋込型	FL40w-1
▭	下面開放埋込型	FL40w-2
▭●	下面開放埋込型	FL40w-2
▭▭	下面開放埋込型(2連結)	FL40w-2
▭	下面開放埋込型	FL20w-1
▭○	逆富士型(＊一部笠付)	FL40w-2
▭○	逆富士型(防湿・防雨型)	FL40w-2
○	壁付灯(ﾌﾞﾗｹｯﾄﾗｲﾄ)	IL60w～100w
◁	壁付ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ	IL(60w～80w)-1
◎	ｺｰﾄﾞ吊り ｼｬﾝﾃﾞﾘｱﾗｲﾄ	IL(60w～80w)-1
△	ｺｰﾄﾞ吊り ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ	IL(60w～80w)-1
◁	ｺｰﾄﾞ吊り ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ	IL(60w～80w)-1
▽	ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ(ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ用)	IL(60w～80w)-1
○	ダウンライト	IL(60w～80w)-1
◁	天井直付ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ	IL(60w～80w)-1
● ●● ●●●	スイッチ類	
◪	ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ	
△	人感ｾﾝｻｰｽｲｯﾁ	
▭ S ▭	LED 下面開放埋込型	※再使用する。
い	LED ダウンライト	※再使用する。
い	LED 壁付灯(ﾌﾞﾗｹｯﾄﾗｲﾄ)	※再使用する。

※ 図示の照明器具、ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ、スイッチ類等を撤去し新品に取替える。

※ 照明器具・スイッチ等への配線ｹｰﾌﾞﾙ材は、既存を再使用する。(一部は撤去する)

特記			
		令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-27
		1階 撤去 電灯(ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ共) 設備図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
		DATE 2024/03/15	SIGN



図記号	(撤去)照明器具、スイッチ類等の仕様	
	下面開放埋込型	FL40w-1
	下面開放埋込型	FL40w-2
	下面開放埋込型	FL40w-2
	下面開放埋込型(2連結)	FL40w-2
	下面開放埋込型	FL20w-1
	逆富士型(＊一部笠付)	FL40w-2
	逆富士型(防湿・防雨型)	FL40w-2
	壁付灯(ﾌﾞﾗｹｯﾄﾗｲﾄ)	IL60w～100w
	壁付ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ	IL(60w～80w)-1
	ｺｰﾄﾞ吊り ｼｬﾝﾃﾞﾘｱﾗｲﾄ	IL(60w～80w)-1
	ｺｰﾄﾞ吊り ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ	IL(60w～80w)-1
	ｺｰﾄﾞ吊り ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ	IL(60w～80w)-1
	ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ(ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ用)	IL(60w～80w)-1
	ダウンライト	IL(60w～80w)-1
	天井直付ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ	IL(60w～80w)-1
	スイッチ類	
	ﾗｲﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ	
	人感ｾﾝｻｰｽｲｯﾁ	
	LED 下面開放埋込型	※再使用する。
	LED ダウンライト	※再使用する。
	LED 壁付灯(ﾌﾞﾗｹｯﾄﾗｲﾄ)	※再使用する。

※ 図示の照明器具、ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ、スイッチ類等を撤去し新品に取替える。

※ 照明器具・スイッチ等への配線ｹｰﾌﾞﾙ材は、既存を再使用する。(一部は撤去する)

特記	

令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

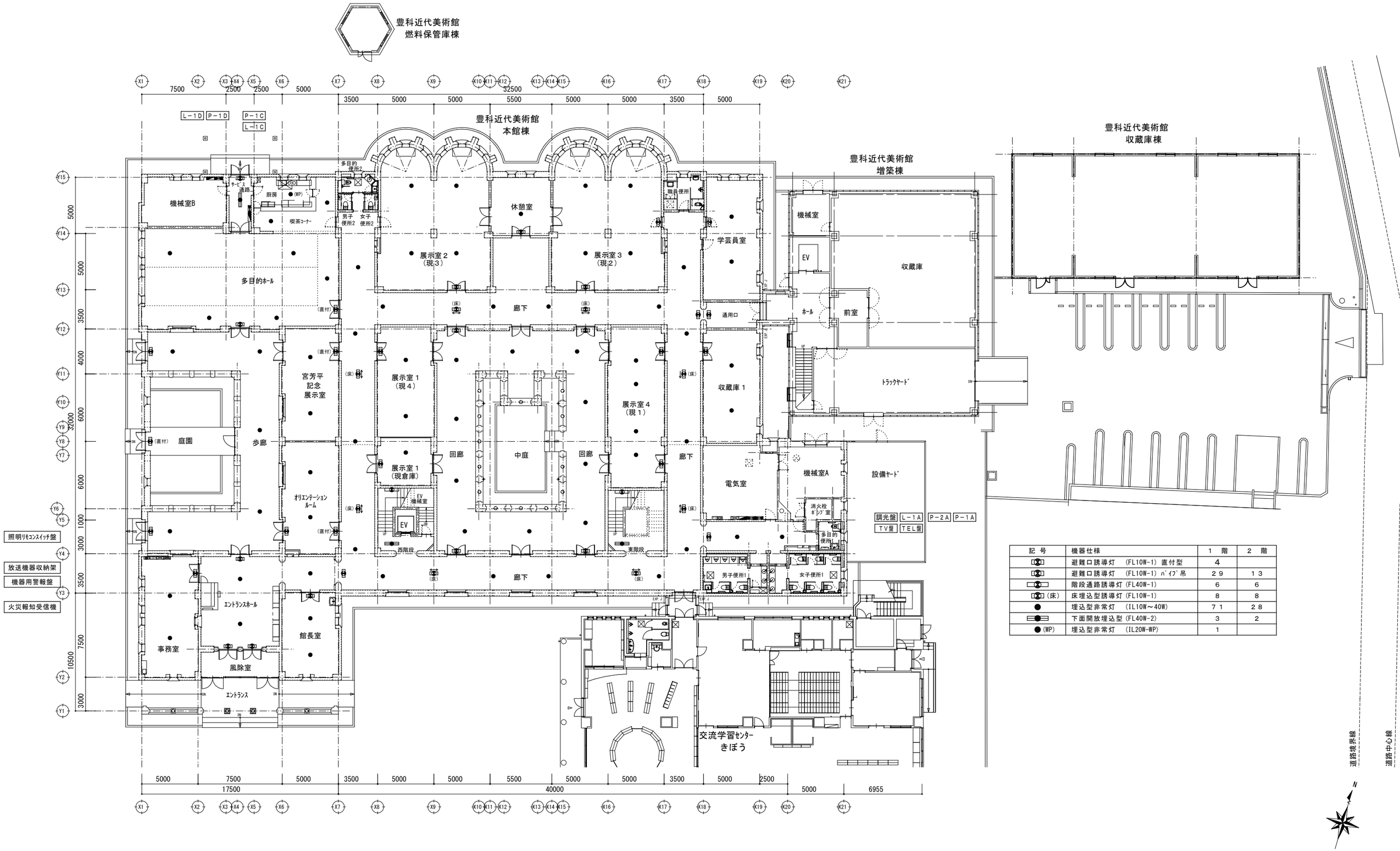
２階　撤去　電灯(ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ共)　設備図

NO. E-28

SCALE A3:1/300 A1:1/150

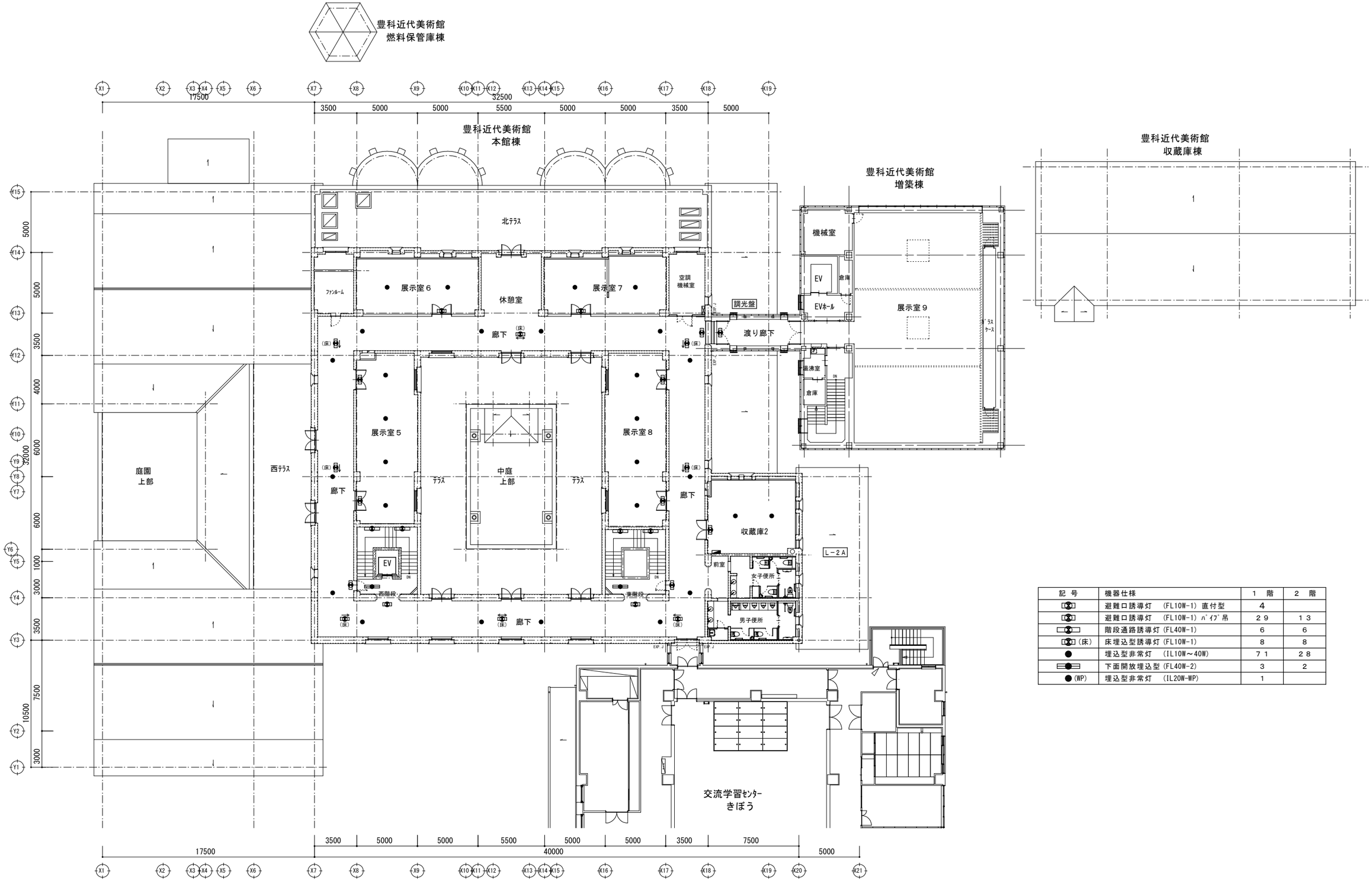
DATE 2024/03/15

SIGN



記号	機器仕様	1階	2階
	避難口誘導灯 (FL10W-1) 直付型	4	
	避難口誘導灯 (FL10W-1) パイプ吊	29	13
	階段通路誘導灯 (FL40W-1)	6	6
(床)	床埋込型誘導灯 (FL10W-1)	8	8
	埋込型非常灯 (IL10W～40W)	71	28
	下面開放埋込型 (FL40W-2)	3	2
(WP)	埋込型非常灯 (IL20W-WP)	1	

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-29
			1階 撤去 非常灯・誘導灯 設備図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/03/15	SIGN



記 号	機器仕様	１ 階	２ 階
	避難口誘導灯 (FL10W-1) 直付型	4	
	避難口誘導灯 (FL10W-1) ﾊﾟｲﾌﾟ吊	２９	１３
	階段通路誘導灯 (FL40W-1)	６	６
(床)	床埋込型誘導灯 (FL10W-1)	８	８
●	埋込型非常灯 (IL10W～40W)	７１	２８
	下面開放埋込型 (FL40W-2)	３	２
●(WP)	埋込型非常灯 (IL20W-WP)	１	

特 記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			２階 撤去 非常灯・誘導灯 設備図
			DATE 2024/03/15

NO. E-30
SCALE A3:1/300 A1:1/150
SIGN

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

豊科近代美術館
収蔵庫棟

機械室B
サービス通路
厨房
喫茶コーナー
多目的便所2
男子便所2
女子便所2
休憩室
職員便所
学芸員室
展示室２（現３）
展示室３（現２）
多目的ホール
廊下
通用口
収蔵庫１
展示室１（現４）
宮芳平記念展示室
展示室４（現１）
庭園
歩廊
回廊
中庭
展示室１（現倉庫）
EV機械室
EV
西階段
東階段
オリエンテーションルーム
機械室A
電気室
設備ヤード
消火栓ポンプ室
多目的便所
男子便所1
女子便所1
エントランスホール
館長室
事務室
風除室
エントランス
交流学習センターきぼう
機械室
EV
収蔵庫
ホール
前室
トラックヤード
収蔵庫

L－1D P－1D P－1C L－1C

調光盤 L－1A P－2A P－1A
TV盤 TEL盤

照明リモコンスイッチ盤
放送機器収納架
機器用警報盤
火災報知受信機

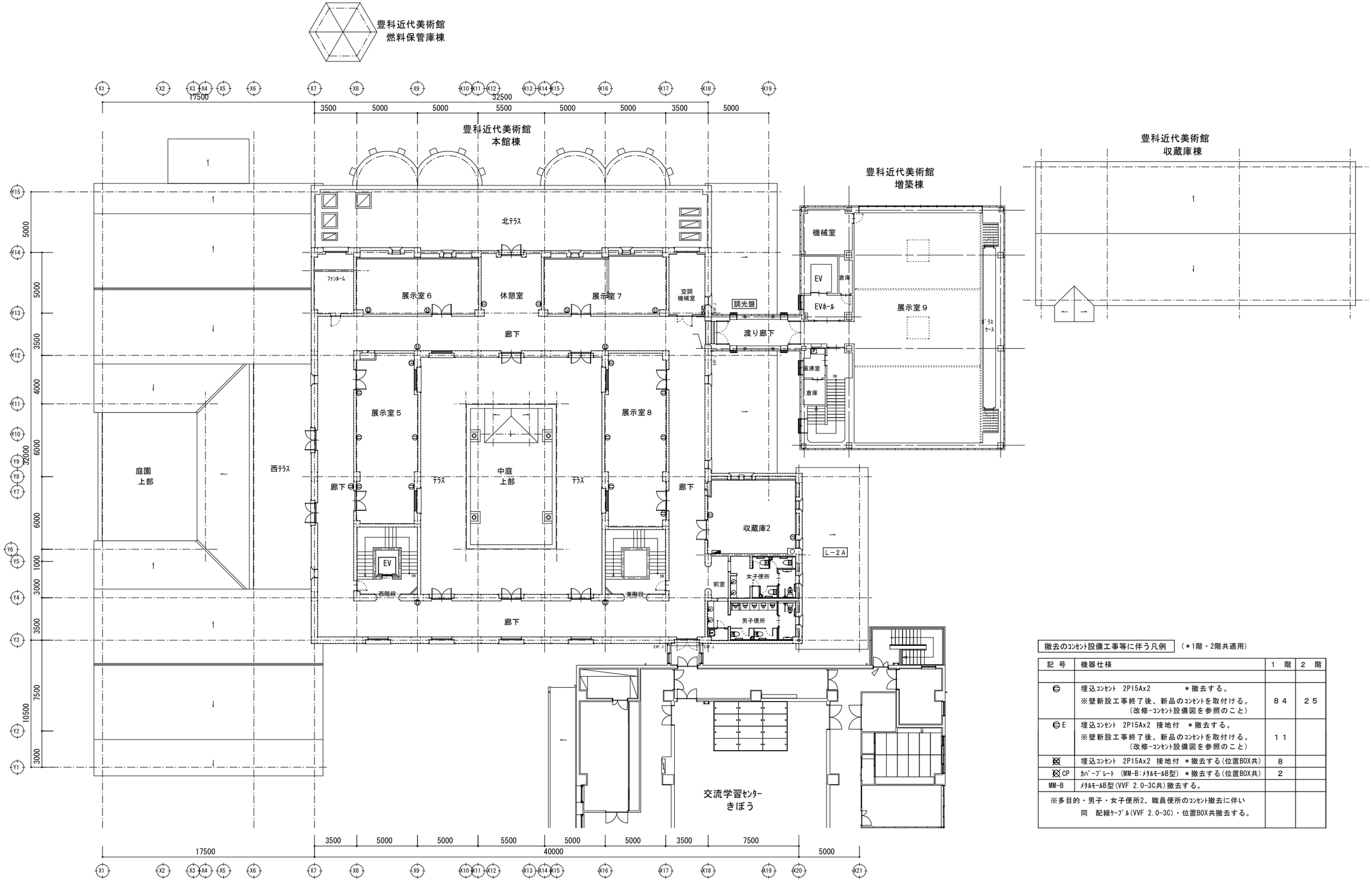
道路境界線
道路中心線

撤去のコンセント設備工事等に伴う凡例 （＊1階・2階共通）

記 号	機器仕様	1 階	2 階
⊖	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 ＊撤去する。 ※壁新設工事終了後、新品のｺﾝｾﾝﾄを取付ける。 （改修-ｺﾝｾﾝﾄ設備図を参照のこと）	８４	２５
⊖E	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 接地付 ＊撤去する。 ※壁新設工事終了後、新品のｺﾝｾﾝﾄを取付ける。 （改修-ｺﾝｾﾝﾄ設備図を参照のこと）	１１	
⊠	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 接地付 ＊撤去する(位置BOX共)	８	
⊠CP	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ (MM-B:ﾒﾀﾙﾓｰﾙB型) ＊撤去する(位置BOX共)	２	
MM-B	ﾒﾀﾙﾓｰﾙB型(VVF 2.0-3C共)撤去する。		
※多目的・男子・女子便所2、職員便所のｺﾝｾﾝﾄ撤去に伴い同 配線ｹｰﾌﾞﾙ(VVF 2.0-3C)・位置BOX共撤去する。			

特 記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			１階 撤去 コンセント設備図
			DATE 2024/03/15

NO. E-31
SCALE A3:1/300 A1:1/150
SIGN



撤去のｺﾝｾﾝﾄ設備工事等に伴う凡例　（＊1階・2階共適用）

記 号	機器仕様	1 階	2 階
⊖	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2　＊撤去する。 ※壁新設工事終了後、新品のｺﾝｾﾝﾄを取付ける。 （改修-ｺﾝｾﾝﾄ設備図を参照のこと）	８４	２５
⊖E	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 接地付　＊撤去する。 ※壁新設工事終了後、新品のｺﾝｾﾝﾄを取付ける。 （改修-ｺﾝｾﾝﾄ設備図を参照のこと）	１１	
⊠	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 接地付 ＊撤去する(位置BOX共)	８	
⊠CP	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ (MM-B:ﾒﾀﾙﾓｰﾙB型) ＊撤去する(位置BOX共)	２	
MM-B	ﾒﾀﾙﾓｰﾙB型(VVF 2.0-3C共)撤去する。		
※多目的・男子・女子便所2、職員便所のｺﾝｾﾝﾄ撤去に伴い 同 配線ｹｰﾌﾞﾙ(VVF 2.0-3C)・位置BOX共撤去する。			

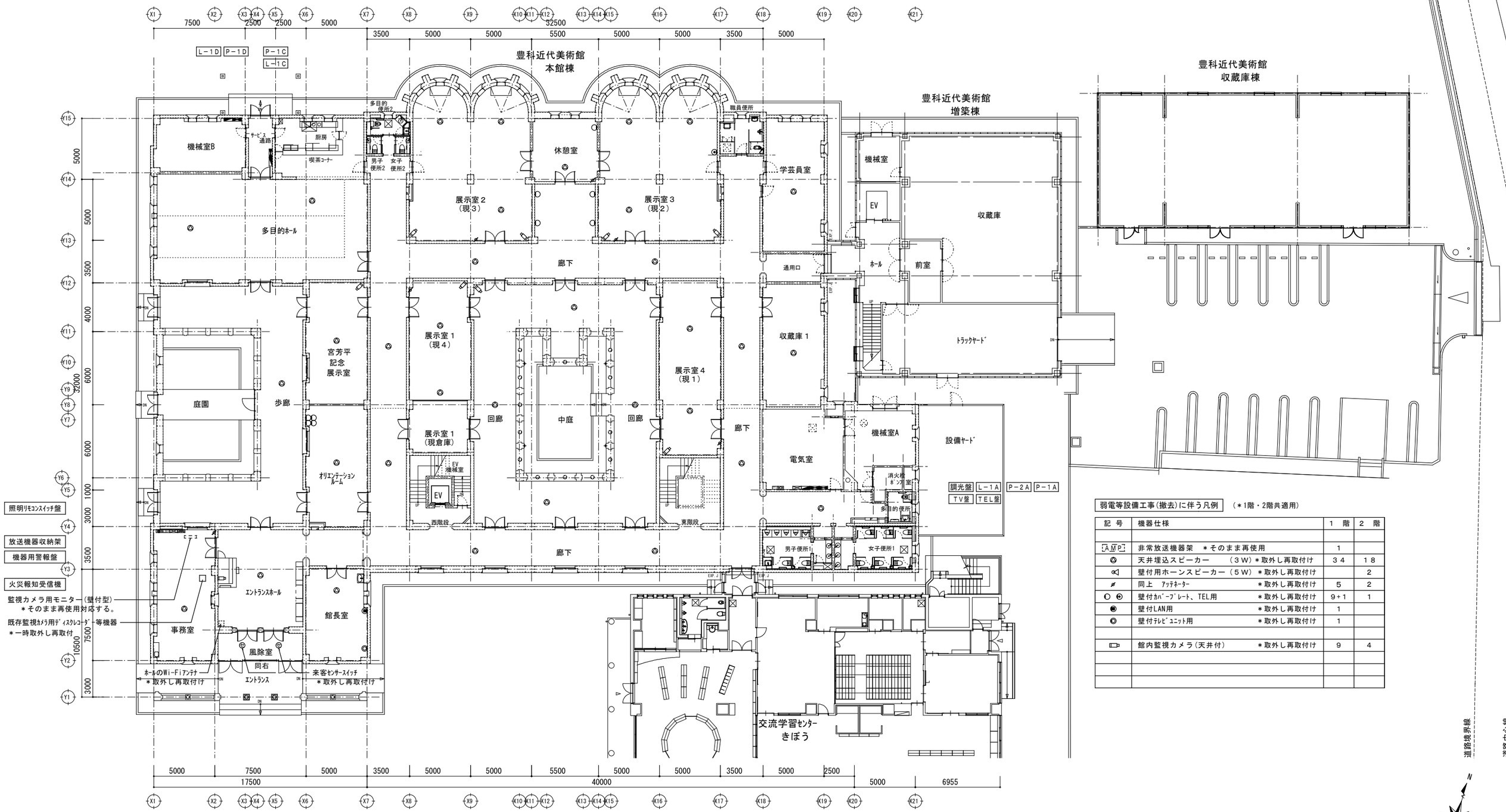
特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			２階　撤去　コンセント設備図
			NO. E-32 SCALE A3:1/300 A1:1/150 DATE 2024/03/15 SIGN

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

豊科近代美術館
収蔵庫棟



照明リモコンスイッチ盤
放送機器収納架
機器用警報盤
火災報知受信機
監視カメラ用モニター（壁付型）
＊そのまま再使用対応する。
既存監視カメラ用ディスクレコーダー等機器
＊一時取外し再取付

道路境界線
道路中心線

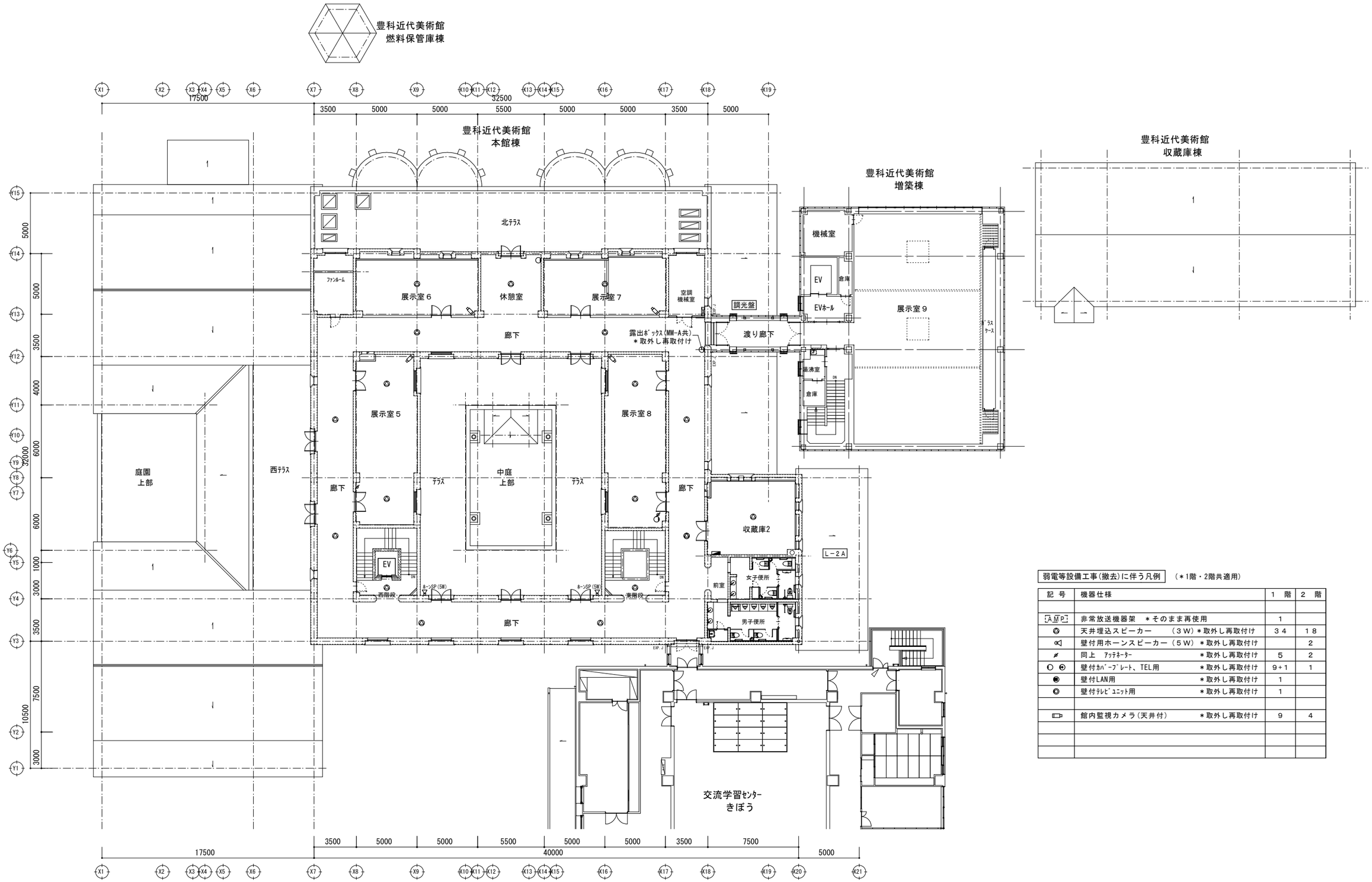
N

弱電等設備工事（撤去）に伴う凡例　（＊1階・2階共通用）

記号	機器仕様		1階	2階
AMP	非常放送機器架	＊そのまま再使用	1	
	天井埋込スピーカー （３W）	＊取外し再取付け	３４	１８
	壁付用ホーンスピーカー（５W）	＊取外し再取付け		2
	同上 ｱｯﾃﾈｰﾀｰ	＊取外し再取付け	5	2
	壁付ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ、TEL用	＊取外し再取付け	9＋1	1
	壁付LAN用	＊取外し再取付け	1	
	壁付ﾃﾚﾋﾞﾕﾆｯﾄ用	＊取外し再取付け	1	
	館内監視カメラ（天井付）	＊取外し再取付け	9	4

特記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			１階　撤去　弱電、放送、監視カメラ　設備図
			DATE 2024/03/15

NO. E-33
SCALE A3:1/300 A1:1/150
SIGN



弱電等設備工事(撤去)に伴う凡例　（＊1階・2階共通用）

記 号	機器仕様		1 階	2 階
AMP	非常放送機器架	＊そのまま再使用	1	
	天井埋込スピーカー	（３Ｗ）＊取外し再取付け	３４	１８
	壁付用ホーンスピーカー	（５Ｗ）＊取外し再取付け		2
	同上 ｱｯﾃﾈｰﾀｰ	＊取外し再取付け	5	2
	壁付ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ、TEL用	＊取外し再取付け	9＋1	1
	壁付LAN用	＊取外し再取付け	1	
	壁付ﾃﾚﾋﾞﾕﾆｯﾄ用	＊取外し再取付け	1	
	館内監視カメラ(天井付)	＊取外し再取付け	9	4

特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			２階　撤去　弱電、放送、監視カメラ　設備図
			DATE 2024/03/15

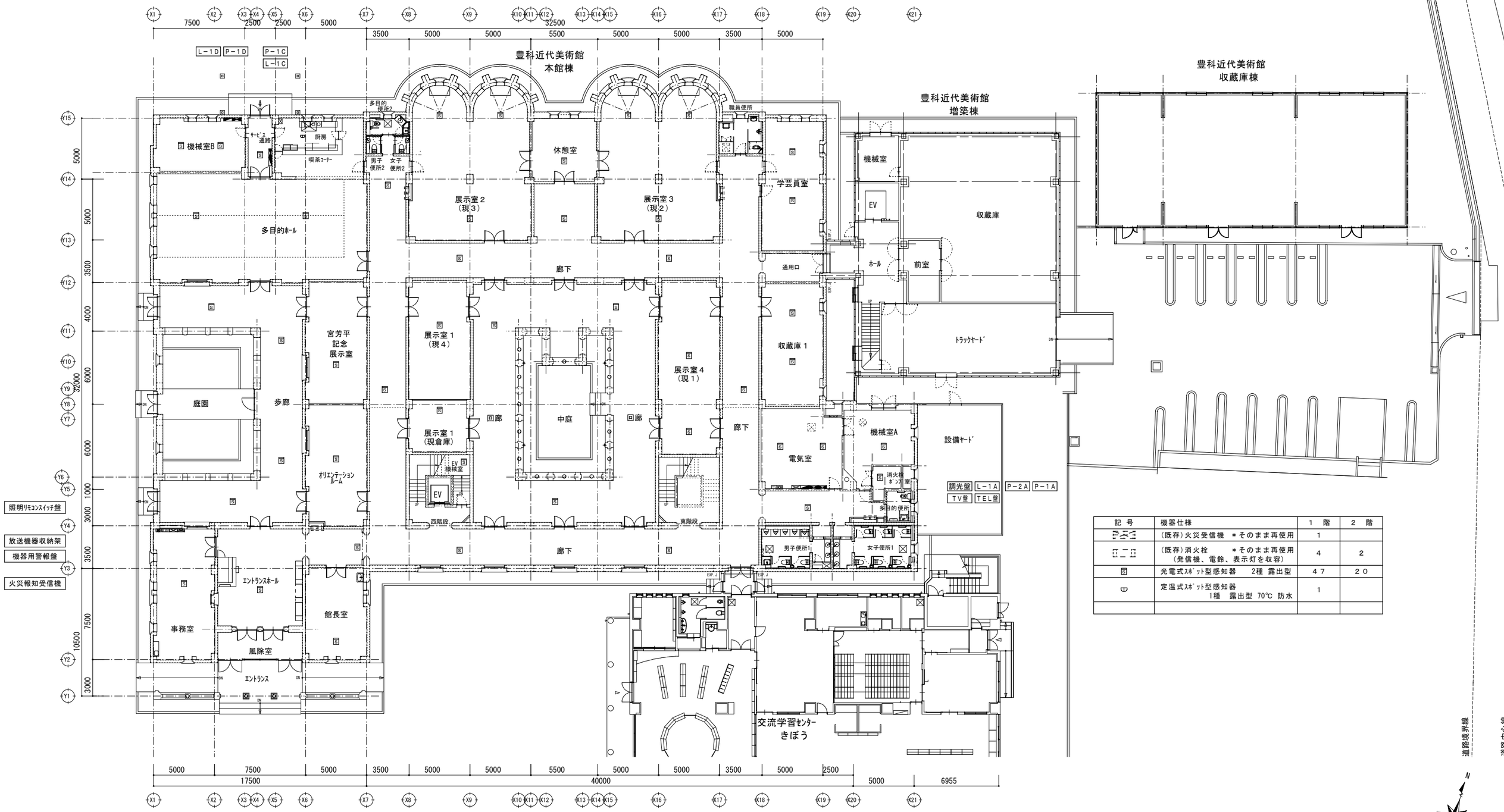
NO. E-34
SCALE A3:1/300 A1:1/150
SIGN

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

豊科近代美術館
収蔵庫棟



照明リモコンスイッチ盤
放送機器収納架
機器用警報盤
火災報知受信機

記号	機器仕様	1階	2階
	（既存）火災受信機　＊そのまま再使用	1	
	（既存）消火栓　＊そのまま再使用 （発信機、電鈴、表示灯を収容）	4	2
	光電式スポット型感知器　2種 露出型	４７	２０
	定温式スポット型感知器 1種　露出型 70℃ 防水	1	

道路境界線
道路中心線

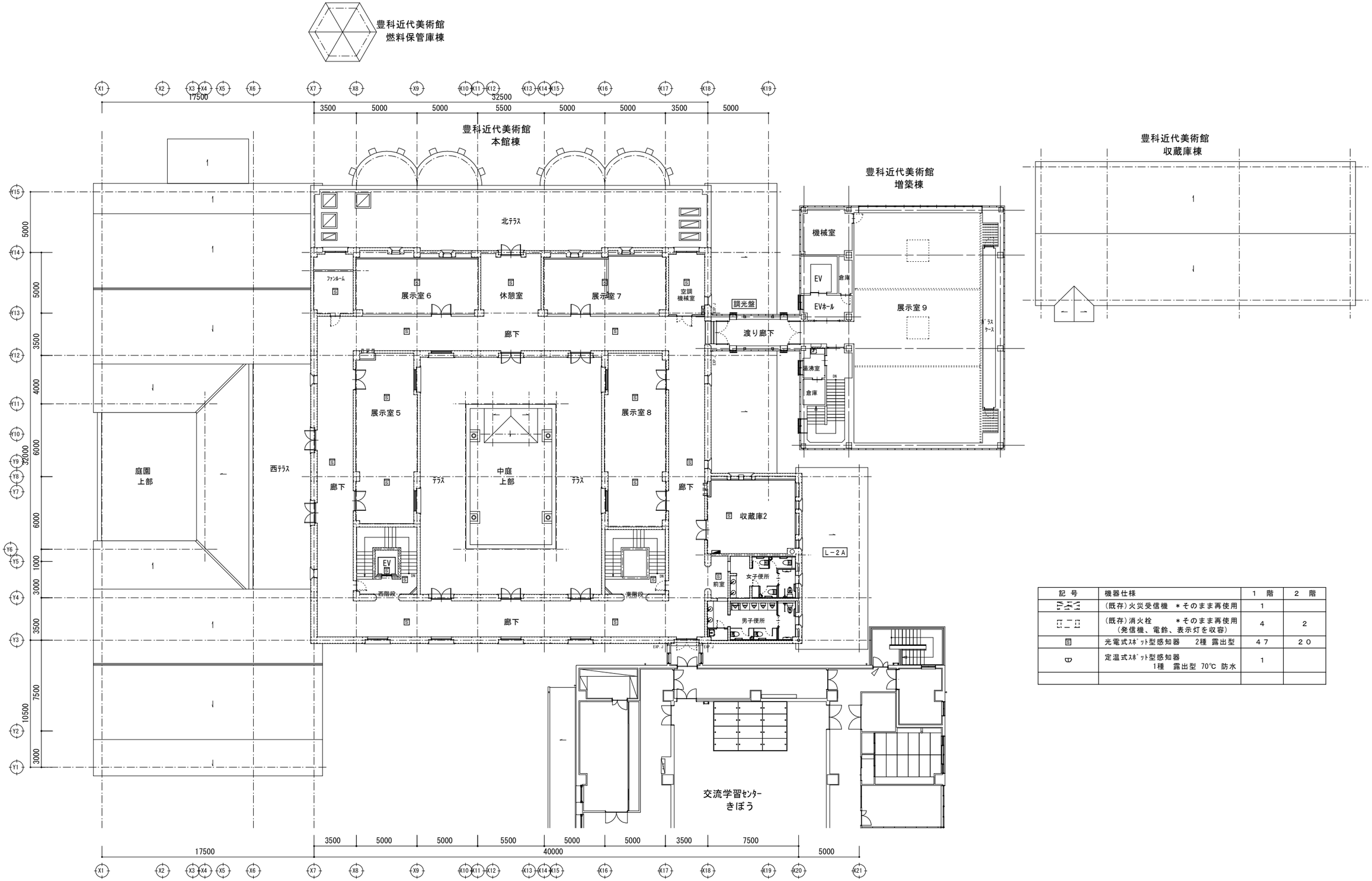
N

特記			

令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

１階　撤去　火災報知　設備図

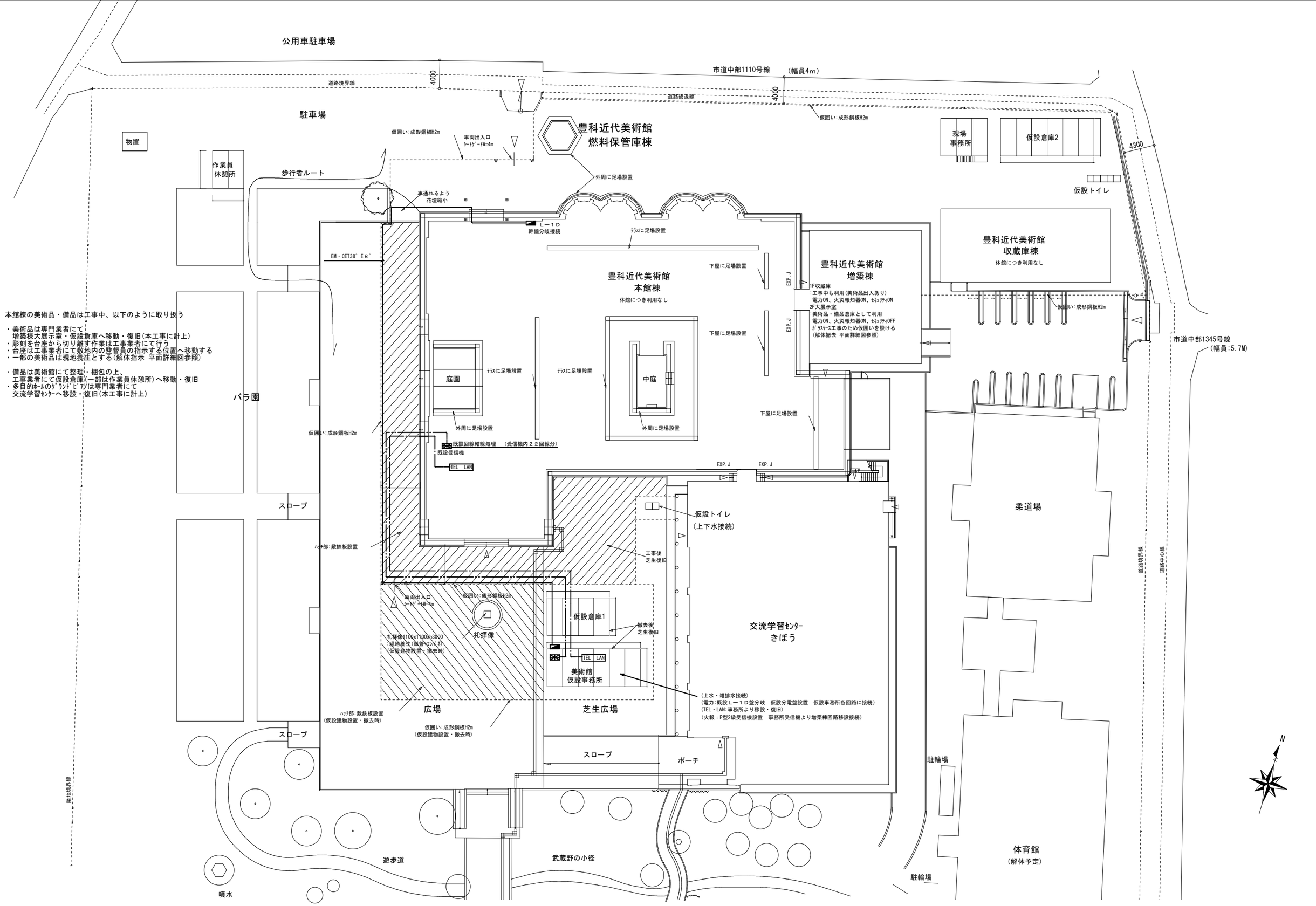
NO. E-35
SCALE A3:1/300 A1:1/150
DATE 2024/03/15
SIGN



記号	機器仕様	１階	２階
R	（既存）火災受信機　＊そのまま再使用	1	
消	（既存）消火栓　＊そのまま再使用 （発信機、電鈴、表示灯を収容）	4	2
煙	光電式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器　2種 露出型	４７	２０
B	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器 1種　露出型 70℃ 防水	1	

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			２階　撤去　火災報知　設備図
			DATE 2024/03/15

NO. E-36
SCALE A3:1/300
A1:1/150
SIGN



本館棟の美術品・備品は工事中、以下のように取り扱う

・美術品は専門業者にて
　増築棟大展示室・仮設倉庫へ移動・復旧(本工事に計上)
・彫刻を台座から切り離す作業は工事業者にて行う
・台座は工事業者にて敷地内の監督員の指示する位置へ移動する
・一部の美術品は現地養生とする(解体指示 平面詳細図参照)

・備品は美術館にて整理・梱包の上、
　工事業者にて仮設倉庫(一部は作業員休憩所)へ移動・復旧
・多目的ホールのグランドピアノは専門業者にて
　交流学習センターへ移設・復旧(本工事に計上)

特　記			令和６年度（債務負担行為） 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. E-37
			仮設電気工事対応の設備図	SCALE A3:1/500 A1:1/250
			DATE 2024/03/15	SIGN

Ⅰ. 工 事 概 要

1. 工 事 場 所　長野県安曇野市豊科

2. 建 物 概 要　令和6年(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業　大規模改修工事

建 物 別	工事種別	構 造	階 数	建築面積(㎡)	延床面積(㎡)		備 考
本 館 棟	改 修	RC 造	2	2223.75	2606.62		
収 蔵 庫 棟	改 修	軽量鉄骨造	1	280.59	280.59		
燃 料 保 管 庫 棟		RC 造	1	13.51	13.51		

3. 工 事 種 目 (●印を付けたものを適用する)　見積項目は下記に従う

建 物 別 / 工 事 種 目	工 事 内 容				
1. 給水設備工事	● 一式				
2. 排水通気設備工事	● 一式				
3. 給湯設備工事	● 一式				
4. 衛生器具設備工事	● 一式				
5. プロパンガス設備工事	● 一式				
6. 屋内消火栓設備工事	● 一式				
7. 空調機器設備工事	● 一式				
8. 空調配管設備工事	● 一式				
9. 換気機器設備工事	● 一式				
10. 換気ダクト設備工事	● 一式				
11. 厨房設備工事	● 一式				
12. 自動制御設備工事	● 一式				
13. 撤去工事	● 一式				

4. 設 備 概 要 (○印を付けたものを適用する)

方 法 及 び 種 別	設 備 概 要			
空 調 方 式	⊙空冷ヒートポンプ	・	・	・
冷 暖 房 方 式	・	・	・	・
暖 房 方 式	・温風暖房	・温水暖房	⊙FF暖房(別途工事)	・
換 気 方 式	⊙局所換気	・	・	・
給 水 方 式	・水道直結式　・受水槽+加圧給水ポンプ　・高置タンク式 (・上水 ・井水)			
排 水 方 式	⊙建物内汚水、雑排水 (⊙分流 ・合流) ⊙建物外汚水、雑排水 (・分流 ⊙合流) 浄化槽 (・合併 ・単独) 放流先 ・公共下水 ・			
消 火 設 備 の 種 別	・スプリンクラー設備	⊙屋内消火栓設備	⊙消火器(建築工事)	・
ガ ス の 種 別	・都市ガス (発熱量 KJ/Nm、供給事業者名:) ⊙LPガス			

5. 指 定 部 分　・無　・有 (指定部分しゅん工期限 令和 年 月 日)
対 象 部 分:

Ⅱ. 工 事 仕 様

1. 共 通 仕 様

(1)図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (平成31年版)」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (平成31年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (平成31年版)」(以下、「標準図」という。)による。

(2)電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用する。
なお、電気設備工事の工事仕様は、(／)図、建築工事の工事仕様は (／)図による。

2. 特 記 仕 様

(1)章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。

(2)特記事項のうち選択する事項は・印の付いたものを適用し、・印の付いたものは適用しない。

章	項 目	特 記 事 項
● 一般共通事項	①機 材 等	(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合は同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 (2) 別表-1に示す材料・機材等の製造業者等は次の1)から6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督職員の承諾を受ける。 1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3)安定的な供給が可能であること。 4)法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。
	②使用材料発注先調書	使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調書を作成し、監督職員の承諾を受ける。
	3 施工条件明示項目	公共建築工事積算基準の解説(設備工事編)の「執務並行改修」
	④化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF, パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ−n−ブチル及びフタル酸−2−エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5)上記1)、3)、4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを発散しないものとは、発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第3種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第3種のものを使用するものとする。

ホルムアルデヒドの発散量	該 当 す る 建 築 材 料
規 制 対 象 外	①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第 三 種	①JIS及びJASの F☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品

項 目	特 記 事 項
⑤ペーストシール剤	飲料水管系に使用されているペーストシール剤は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程に使用されていないこと。 ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン パラジクロロベンゼン、テトラデカン、クロルピリオス、フェノブカルブ、ダイアジノン フタル酸ジ−n−ブチル、フタル酸ジ−2−エチルヘキシル
⑥電気保安技術者	電気保安技術者を設置する。
⑦技 能 士 の 適 用	・配管(① 2) ・冷凍空気調和機器(① 2) ・熱絶縁(① 2) ・建築板金(① 2)
8 監 督 員 事 務 所	⊙設けない ・設ける
⑨工事用電力¥U+FF65用水等	この工事に必要な工事用電力、用水、諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。 ⊙別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担する
⑩足場・さん橋類	・改修工事標準仕様書第1編2.2.1によるほか下記による。 ・ 内部仮設足場等 (・ 種 ・ 種) ・外部仮設足場等 (・ 種 ・ 種)
⑪資 材 の 保 管	資材の保管は必ず屋根をかけ地上30cm以上の架台に乗せる。
12 建 設 発 生 土	・監督員が指示する構内の場所に敷ならし ・構内指定場所にたい積 ・構外搬出適切処理 ○
13 埋め戻し土・盛土	・根切中の良質土 (ただし管の周囲は山砂又は川砂) ・山砂の類
14 山 留 養 生	根切中の山留め ・有 (1.5m) ・無
⑮発 生 材 処 理	工事に先立ち廃棄物等処理計画書を監督職員に提出し、しゅん工時には廃棄物等処理報告書を作成し提出する。 (1)引渡しを要するもの ・無 ⊙有 ( ) (2)引渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法令により適切に処理すること。 (3)特別管理産業廃棄物 ・無 ・有 (パッキンのアスベスト) (4)再利用又は再生資源化を図るもの
⑯文 字 入 名 札 等	標準仕様書第1編1. 7. 4によるほか、バルブ類等は必要に応じて合成樹脂製名札をステンレス線等で取付ける。
17 取 扱 説 明 板	機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目等を書いた取扱説明板 (アクリル樹脂製、文字彫込み程度) を設ける。大きさは、約 ㎡とする。
⑱総 合 調 整	⊙風量調整 ・水量調整 ・室内外空気の温湿度測定 ⊙騒音測定 ⊙飲料水の水質の測定 (・水質基準検査11項目 ⊙トルエン) 飲料水の水質の測定は厚生労働大臣登録水質検査機関とする。
⑲容 量 等 の 表 示	(1)機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。 (2)電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
⑳耐 震 措 置	機器、配管、風道等は耐震を考慮し堅固にすえ付け、取付又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修) による。 (1)設計用水平地震力は、機器の重量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量) に、次に示す地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。地域係数は1.0とする。

設 置 場 所	耐震安全性の分類 ・特定の施設 (・甲類 ・乙類) 重要機器	・特定の施設 一般機器	⊙一般の施設 (乙類) 重要機器	⊙一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0) 〈2.0〉	1.5 (2.0) 〈1.5〉	1.5 (2.0) 〈1.5〉	1.0 (1.5) 〈1.0〉
中 間 階	1.5 (1.5) 〈1.5〉	1.0 (1.5) 〈1.0〉	1.0 (1.5) 〈1.0〉	0.6 (1.0) 〈0.6〉
地下階、一階	1.0 (1.0) 〈1.5〉	0.6 (1.0) 〈1.0〉	0.6 (1.0) 〈1.0〉	0.4 (0.6) 〈0.6〉

(注) 1. ( ) 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
2. 〈 〉内の数値は水槽類に適用する。
3. 上層階の定義は次による。
2～6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階

重要機器とは下記に示すものをいう。
⊙給水装置・排水装置・換気機器・空調機器・防災設備・監視制御設備・危険物貯蔵装置 ○
⊙火を使用する設備・避難経路上に設置する機器・ ・
(2)設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

項 目	特 記 事 項
㉑あと施工アンカー	改修工事標準仕様書第2編第5章による。 確認試験は、 ・性能確認試験(本)・施工後確認試験(本)を確認強度 [ ] kNにて行う。 ⊙施工士の適用 (第1種、第2種) あと施工アンカー施工士 による。 ※(社)日本建築あと施工アンカー協会認定資格
㉒吊 金 物	吊金物は亜鉛メッキ又はステンレス鋼製とする。浴室はステンレスとする。
㉓配 管 勾 配	給水、給湯、消火、冷温水、冷却水管は、図示による水抜きが確実にできるよう水抜き位置に向かって下り勾配とする。
㉔管 の 保 護	コンクリート内の鋼管、鉛管及び塩ビ管については、プラスチックテープを1/2重ね1回巻きとする。また、コンクリート土間下配管は、鋼棒等により沈下防止措置をする。
25 管 の 埋 設	土中埋設管 (排水含む) は、管の上下をサンドクッション厚100mmで保護する。 給水管、消火管の埋設深さは 800mm とする。又、ガス管の埋設深さは 600 mmとする。
26 管 の 埋 設 表 示	設計図中の屋外埋設管の分岐及び曲がりの箇所には、コンクリート製標柱を埋め込む。舗装部分は埋設標示ピンとする。また、施工上生じた分岐、曲がりの箇所についても同様とする。 排水管を除く管には、埋設表示用テープを設置する。
27 溶 接 部 の 非 破 壊 検 査	検査対象 ・配管 ・煙道 ・ ・ 抜取率 ・標準仕様書による ・ 検査の種類 ・RT ・PT又はMT
28 塗 装	下記の金属電線管は塗装を行う。 ・屋外露出 ・( ) の屋内露出 下記の保温を行わない亜鉛メッキを施したダクト及び配管は塗装を行わない。 ・倉庫 ・
㉙機器の基礎 及び 振 動 絶 縁 効 率	(下表)

機 器	基 礎	振 動 絶 縁 効 率
遠 心 送 風 機	・標準基礎 ・防振基礎	・ %以上 ・
空調用ポンプ及び ボイラー給水用ポンプ	・標準基礎 ・防振基礎	⊙80%以上 ・
揚水用ポンプ及び 小形給水ポンプユニット	・標準基礎 ・防振基礎	⊙80%以上 ・

・別図による。

項 目	特 記 事 項
㉚電 線 類	電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1. 5. 1、表4. 1. 11による。
㉛は つ り	既存のコンクリート床及び壁の配管貫通部の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。
㉜保 温 及 び 消 音 内 貼 り	標準仕様書第2編によるほか下記による。 給水管、給湯管、冷温水管等の管、バルブ (グランド部を含む)、フランジ、可とう継手及び空調ダクトのフランジは、建物内外共保温する。なお、保温端部はシーリング処理を行う。 各配管の保温厚で標準仕様書中厚30mm未満の箇所はすべて厚30mm以上とする。ただし、排水管は除く。 ・換気ダクトの保温要 (保温厚25mm) ・範囲は図示による ・ ⊙外気取入れダクトの保温要 (保温厚25mm) ・範囲は図示による ⊙全て巻く ⊙排気ダクトの保温要 (保温厚25mm) ・範囲は図示による ⊙外壁より1m範囲 ・還りダクトの保温要 (保温厚25mm) ・範囲は図示による ・ ・膨張タンクよりボイラーへの補給水管の保温は膨張管の項による。 ・建物内の空気抜き管の保温は膨張管の項による。 ⊙空気調和機、ファンコイルユニット、冷水及び冷温水のドレーン管の保温は排水管の項による。 ・全熱交換器用ダクトの保温要 (保温厚25mm) ・範囲は図示による ・機器一次側部分 保温種別は下記による ダクト ⊙イ (・1号 ・2号) ・ロ 冷温水、冷水、温水、蒸気管 ・イ ・ロ 機器 ・イ ・ロ 給水管 ⊙ハ ・ロ (凍結防止帯巻部分) 排水管 ⊙ロ ・ 給湯管 ⊙イ ・ロ ⊙排水管でピット内、共同溝内及び最下階の床下の下記の部分は保温する。 なお仕様はd(ハ)とする。 (⊙排水トラップ ・鉛管 ・鋼管類 ・ビニール管 ・ドレーン管 ・) ⊙消火管で下記の部分は保温する。なお仕様は給水管の項による。 (・屋内消火管 ・水抜きできない管 ・スプリンクラー配管 ・) ・圧力タンク、膨張水槽、各種呼水槽等鋼板製水槽は保温する。なお仕様は各機器の項に準ずる。 ・大便器は保温する。 ⊙共同溝の保温種別 (・ピット内に準ずる ・) ⊙ダクトの保温外装は下表による。

区 分	保 温 外 装	
倉庫・書庫	⊙アルミガラスクロス	・
機械室	⊙アルミガラスクロス	・
居室・廊下など	・カラー亜鉛鉄板	・
屋外露出、多湿箇所 ( )	・ステンレス鋼板	・

⊙配管の保温外装は下表による。(配管には、冷媒管は除く。)

区 分	保 温 外 装	
倉庫・書庫	⊙アルミガラスクロス	・
機械室	⊙アルミガラスクロス	・
居室・廊下など	・	・
屋外露出、多湿箇所 ( )	・ステンレス鋼板	・

⊙冷媒管の保温の外装は下表による。なお保温化粧ケースの材質は図示による。

区 分	保 温 外 装
屋 内 露 出	⊙保温化粧ケース
屋 外 露 出	・ステンレス鋼板 ⊙保温化粧ケース ・ガルバリウム鋼板

項 目	特 記 事 項
㉝防 凍 保 温	⊙屋外露出部 (給水管、冷温水管、膨張管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、弁類) は防凍保温を行い、厚さは管径25mm以下のものは50mm、管径32mm以上のものは40mmとする。 ⊙屋外露出部 (給水管、冷温水管、膨張管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、弁類) は電気ヒーター等の防凍対策を行う。なお、保温厚は32に準じる。 ⊙各種機器について図示電気ヒーター等の防凍対策を行う。( )
㉞試 験	(1)各種配管の試験は、新設配管に適用する。 (2)新設配管は、既設配管の接続前に試験を行う。
㉟他工事との取合い	配管、ダクト、器具据え付けにともなうスリーブ、枠入れは本工事とし、他は工事区分表による。

● 空気調和設備　○ 冷暖房設備　○ 暖房設備

①設 計 温 湿 度

	外 気		屋内 一 般 系 統					
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏 季	34.5 ℃	46.0 %	26.0 ℃	50.0 %	℃	%	℃	%
冬 季	-6.4 ℃	76.0 %	24.0 ℃	50.0 %	℃	%	℃	%

②居 室 騒 音 限 界
下表によるほか、耳ざわり音がないよう機種選定およびダクト消音対策を行う。

室 名	A 特 性 (dB)	N C 値
1階 スタジオ (放送室)	30	20～25

項 目	特 記 事 項
3 煤 煙 濃 度 計	・設ける ・
4 ばいじん量測定口	・設ける (測定口は80φとする) ・
5 煙 道	伸縮継手、掃除口及びばい煙量測定口の位置は図示による。
6 ダ ク ト	・低圧ダクト ・高圧1ダクト ・高圧2ダクト ・アングルフランジ工法 ・スパイラルダクト ・コーナーボルト工法 (・共板フランジ工法 ・スライドオンフランジ工法)
7 風 量 測 定 口	取付部は図示による。
⑧チ ャ ン バ ー	(1)内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2)空気調和機、温風暖房機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及び風道系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設け、点検口の大きさは図示による。 (3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは、雨水の滞留のないように施工する。
9 防煙ダンパー	復帰方式 (・遠隔 ・) 定格入力は、DC24V、0.7A以下とする。
10 ピストンダンパー	復帰方式 (・遠隔 ・)
⑪弁 類	JIS又はJV ⊙5K ⊙10K (図示部分))
12 温 度 計	取付部は図示による。
13 圧 力 計	取付部は図示による。
14 瞬 間 流 量 計	コック付とし、形式及び取付部は図示による。
15 油 面 制 御 装 置	制御盤には (・給油ポンプ制御 ・満油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御 ・減油警報 ・) の端子を設ける。なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。

● 換気設備

項 目	特 記 事 項
①ダ ク ト	⊙低圧ダクト ・高圧1ダクト ・高圧2ダクト ・アングルフランジ工法 ・スパイラルダクト ・コーナーボルト工法 (・共板フランジ工法 ・スライドオンフランジ工法) ・厨房・浴室系統の排気用ダクトの水抜き (・要 ・不要) ・厨房系統の長方形排気用ダクトの板厚は、標準仕様書より1ランク厚いものを使用する。
2 風 量 測 定 口	取付位置は図示による。
③ダ ン パ ー	空気調和設備の該当項目による。
4 排気ダクトのシール	・浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統 ・
⑤チ ャ ン バ ー	空気調和設備の該当項目による。
6 耐 火 措 置	自家発用換気ダクトが自家発室外を通過する場合の耐火措置は図示による。

章	項 目	特 記 事 項
● 排煙設備	1 ダ ク ト	⊙亜鉛鉄板 ・
	2 排 煙 口 の 形 式	図示による
	3 排煙口手動開放装置 (開放及び復帰方式)	・ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要)
	4 排 煙 風 量 測 定	「建築設備定期検査業務基準書平成20年度版」((財)日本建築設備昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。
● 自動制御設備	1 中央監視制御装置	・有り ・無し
	2 中央監視制御装置の構成・機能	図示による
	③電気計装工事の配線	使用する電線類はEM電線とし、規格は標準仕様書第4編表1. 5. 1 表4. 1. 11の使用電線類の規格による。(機器、盤類は除く) 屋外・屋内露出の電線は図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠蔽の配線は図面に特記のない限りケーブル配線とする。
● 衛生器具設備	1 大 便 器 洗 浄 弁	・バキュームブレーカー ・不凍結装置付 ・低圧フラッシュバルブ ( )
	②大便器ロータンク	・水抜き装置付
	③温水洗浄式便座	加熱方式 (・貯湯式 ・瞬間式) 温風乾燥機能 (⊙有 ・無) 擬音装置 (・有 ・無) ⊙リモコン (・有 ・無)
	④小 便 器 洗 浄 弁	・不凍結装置付・感知小便器一体型フラッシュ方式・個別感知フラッシュ方式 (・埋込 ・露出)
	⑤水 栓	⊙節水固定コマ (・寒冷地対応形 ・)
	⑥洗 面 器	⊙止水栓付
	7 標 記 板	・取付箇所 (・大便器 ・小便器 ・) 材質 (・陶器製 ・)
	8 大便器耐火カバー	・設ける (ピット内は除く) ⊙設けない
● 給水設備	1 量 水 器	・親メーター (・貸与品 ・) ・子メーター (・買取り ・)
	2 量 水 器 桝	⊙水道事業者指定品 (・貸与品 ・買取り) ・標準図MC形
	③弁 類	JIS又はJV ・水道直結部分 (・10K ⊙) ・その他の部分 (・5K ・)
	4 引 込 納 付 金 等	・要 (・本工事 ・別途工事) ⊙不要
	⑤給 水 勾 配	⊙不凍栓の二次側は水抜きが確実にできること。
	6 建物導入部配管	・標準図 施工4、5 (・(a) ・(b) ・(c)) による。
● 排水設備	①洗面器等の排水管	洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。
	②排 水 勾 配	屋内 ・65A以下は1/50、75A以上は1/100以上　屋外 ⊙1/100以上 ・
	③満 水 試 験 継 手	図示の箇所に取付ける。
	④インバート桝、ため桝	桝のコンクリート部は工場製品としてもよい。
● 給湯設備	①弁 類	JIS又はJV ⊙5K ・10K (図示部分))
● 消火設備	①屋 内 消 火 栓 箱	・HB−1A ・HB−1B ⊙ 既存1号消火栓箱 (移設)
	2 建物導入部配管	・標準図 施工4、5 (・(a) ・(b) ・(c)) による。
	3 消火器	・ABC粉末消火器10型 (うち半数は強化液型としバランスよく配置)
● 厨房設備	1 シ ス テ ム	・ドライシステム ・
	2 機 器 の 寸 法	概略寸法とする
● ガス設備	1 充 て ん 容 器	・別途 (・ kg ・)
	2 集 合 装 置	・標準図 施工72による 本組。
	3 転 倒 防 止 等	・標準図 施工73 (・(a) ・(b)) による
	4 メ ー タ ー	・親メーター (・貸与品 ・ 私設品) ・子メーター (・買取り ・)
	5 ガス漏れ警報器	・本工事 (図示による) ・別途工事
	6 引 込 負 担 金	・要 (・別途工事 ・本工事) ・不要
	7 電 気 防 食	⊙要 ・不要
	8 建物導入部配管	・標準図 施工4、5 (・(a) ・(b) ・(c)) による。
● 撤去工事	①保温材	保温材は、配管・ダクト等より分離する。
	②支持金物等	ダクト及び配管等の支持金物及び吊り金物は本工事にて撤去する。
	③石綿含有品	石綿含有分析調査 ・本工事 ⊙別途 (調査済み) 撤去方法 ⊙図示による
	④発生材の処理	⊙金属類 (・機器類 ⊙ダクト ⊙配管 ⊙その他の金属) の処理は (・物品管理者に引き渡し ・構外搬出適切処理) とする。 ⊙特別管理産業廃棄物 ・ ・) の処理は (・別途 ・構外搬出適切処理) とする。 ⊙石綿含有産業廃棄物 ・配管用成形保温材 ・フランジ用ガスケット) の処理は (・別途 ・構外搬出適切処理) とする。 ⊙上記以外のもの ・ ・) の処理は (・別途 ・構外搬出適切処理) とする。
	⑤冷媒 (フロン類) の回収	⊙本工事 ・別途 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2. 1. 20により、次の書類を監督職員に提出する。 ・フロン回収行程管理表の写し ・特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券) の写し
● その他	①しゅん工時提出物	標準仕様書によるほか別表-2による。
	②定 期 報 告	工事しゅん工後3ヶ月、12ヶ月に点検をして、その結果を書面で報告する。 (管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず管理者の立会いを要する。)
	③特別管理産業廃棄物管理責任者	特別管理産業廃棄物の処理に当たっては、廃棄物処理法に基づき特別管理産業廃棄物管理責任者を選任する。

(別表-1) 品質及び性能を有することの証明となる資料を提出する機材等

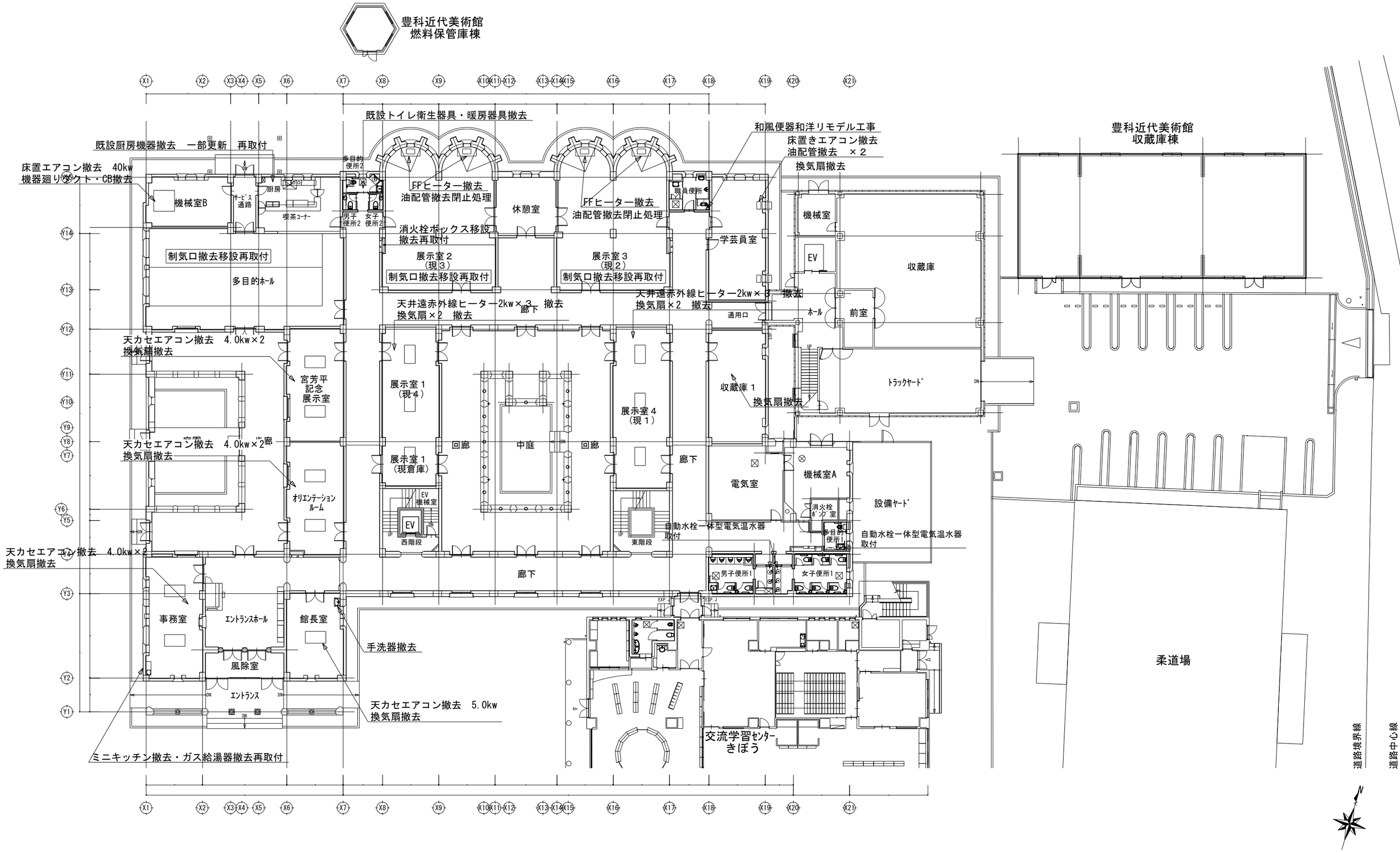
⊙(社) 公共建築協会による「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」における評価対象となる機械設備機材等	
・	・
・	⊙その他監督職員の指示によるもの

(別表-2) しゅん工時提出物 (○印を付けたものを提出する。作成方法は手引きによる。)

① 提出書類等目録	⑦ 官公署届出書類等
② 完成図 (原図・製本・CADデータ)	⑧ 工具・予備品等
③ 設計図 (原図・CADデータ)	⑨ 引渡書
④ 工事施工関係書類	10 試運転用油等 ( ) の納品書写
⑤ 工事完成資料	⑪ その他監督職員の指示によるもの又は特記によるもの
⑥ 保守管理資料	

注)完成図面の種類は、設計図面に準じて作成すること。

特 記		
令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO.	M-01
特記仕様書	SCALE	A3:NON A1:NON
DATE 2024/3/15	SIGN	



特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. M-02
			現況　1階平面図　機械設備撤去範囲図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/3/15	SIGN

豊科近代美術館
燃料保管庫棟

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

豊科近代美術館
収蔵庫棟

床置エアコン撤去　52kw
機器廻りダクト・CB撤去　蒸気加湿器撤去　軟水器撤去

空調屋外機撤去
空調屋外機撤去
制気口撤去移設再取付
制気口撤去移設再取付
制気口撤去移設再取付
制気口撤去移設再取付
北ﾃﾗｽ
ﾌｧﾝﾙｰﾑ
展示室６
休憩室
展示室７
廊下
渡り廊下
展示室５
展示室８
中庭
上部
ﾃﾗｽ
ﾃﾗｽ
庭園
上部
西ﾃﾗｽ
廊下
廊下
廊下
EV
西階段
DN
東階段
DN
収蔵庫2
自動水栓一体型電気温水器
取付
前室
女子便所
男子便所
EXP. J
EXP. J
交流学習ｾﾝﾀｰ
きぼう
機械室
EV
倉庫
EVﾎｰﾙ
展示室９
ｶﾞﾗｽｹｰｽ
湯沸室
倉庫
DN

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15 X16 X17 X18 X19 X20 X21
Y15 Y14 Y13 Y12 Y11 Y10 Y9 Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1

特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			現況　2階平面図　機械設備撤去範囲図
			DATE 2024/3/15

NO. M-03
SCALE A3:1/300 A1:1/150
SIGN

空　調　機　器　表

機　器　記　号	機器名称	仕様・付属品	電気仕様 相	電圧	圧縮機出力	ファン出力	最大消費電力	階	設置場所	台　数	参考型番	備考
			Φ	V	KW	KW	KW					
AC-1	更新用ビル用マルチエアコン室外機 高暖房形	冷房能力：40kw　暖房能力：45kw 定格冷房消費電力　11.6kw　最大暖房低温消費電力　19.1kw 付属品　防振架台　防雪フード（吹出口用）　アクティブフィルター取付	3Φ	200V	9.81KW	0.29KW ×2	19.1KW	2F	回廊	1	RQSP400DB （同等品）	フロン排出抑制法 定期点検義務
AC1-1	ビル用マルチエアコン　室内ユニット 天井埋込カセット形 2方向	冷房能力：5.6kw　暖房能力：6.3kw 冷房定格消費電力　42w　暖房定格消費電力　38w 付属品　ｴｺﾈﾙﾈ　ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ	1Φ	200V	－	0.05KW	－	1F	事務室 会議室 オリエンテーション室	2 2 2	FXYFP56EB （同等品）	
AC1-2	ビル用マルチエアコン　室内ユニット 天井埋込カセット形 2方向	冷房能力：7.1kw　暖房能力：8.0kw 冷房定格消費電力　63w　暖房定格消費電力　60w 付属品　ｴｺﾈﾙﾈ　ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ	1Φ	200V	－	0.11KW	－	1F	館長・応接室	2	FXYFP71EB （同等品）	
AC-2	ビル用マルチエアコン室外機 高暖房形	冷房能力：33.5kw　暖房能力：37.5kw 最大冷房消費電力　9.0kw　最大極低温暖房消費電力　15.2kw 付属品　防振架台　防雪フード（吹出口用）　アクティブフィルター取付	3Φ	200V	9.81KW	0.29KW ×2	15.2KW	2F	回廊	1	RTSP335DB （同等品）	フロン排出抑制法 定期点検義務
AC2-1	ビル用マルチエアコン　室内ユニット 天井埋込カセット形 2方向	冷房能力：7.1kw　暖房能力：8.0kw 冷房定格消費電力　63w　暖房定格消費電力　60w 付属品　ｴｺﾈﾙﾈ　ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ	1Φ	200V	－	0.11KW	－	1F	展示室1 （旧展示室4）	2	FXYFP71EB （同等品）	
AC2-2	ビル用マルチエアコン　室内ユニット 天井埋込カセット形 2方向	冷房能力：9.0kw　暖房能力：10.0kw 冷房定格消費電力　90w　暖房定格消費電力　86kw 付属品　ｴｺﾈﾙﾈ　ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ	1Φ	200V	－	0.05KW ×2	－	1F	展示室2 （旧展示室3）	2	FXYFP90EB （同等品）	
AC-3	ビル用マルチエアコン室外機 高暖房形	冷房能力：33.5kw　暖房能力：37.5kw 最大冷房消費電力　9.0kw　最大極低温暖房消費電力　15.2kw 付属品　防振架台　防雪フード（吹出口用）　アクティブフィルター取付	3Φ	200V	9.81KW	0.29KW ×2	15.2KW	2F	回廊	1	RTSP335DB （同等品）	フロン排出抑制法 定期点検義務
AC3-1	ビル用マルチエアコン　室内ユニット 天井埋込カセット形 2方向	冷房能力：9.0kw　暖房能力：10.0kw 冷房定格消費電力　90w　暖房定格消費電力　86kw 付属品　ｴｺﾈﾙﾈ　ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ	1Φ	200V	－	0.05KW ×2	－	1F	展示室3 （旧展示室2）	2	FXYFP90EB （同等品）	
AC3-2	ビル用マルチエアコン　室内ユニット 天井埋込カセット形 2方向	冷房能力：7.1kw　暖房能力：8.0kw 冷房定格消費電力　63w　暖房定格消費電力　60kw 付属品　ｴｺﾈﾙﾈ　ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ	1Φ	200V	－	0.11KW	－	1F	展示室4 （旧展示室1）	2	FXYFP71EB （同等品）	
AC-4	ビル用マルチエアコン室外機 寒冷地用	冷房能力：11.2kw　暖房能力：12.5kw 最大冷房消費電力　3.72kw　最大極低温暖房消費電力　8.70kw 付属品　防振架台　防雪フード（吹出口用）　アクティブフィルター取付	3Φ	200V	3.51KW	0.23KW ×2	8.7KW	2F	回廊	1	RDTP112F （同等品）	
AC4-1	ビル用マルチエアコン　室内ユニット 天井埋込カセット形 2方向	冷房能力：5.6kw　暖房能力：6.3kw 冷房定格消費電力　42w　暖房定格消費電力　38kw 付属品　ｴｺﾈﾙﾈ　ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ	1Φ	200V	－	0.05KW	－	1F	学芸員室	2	FXYFP56EB （同等品）	
AC-5,	ビル用マルチエアコン室外機 高暖房形	冷房能力：56.0kw　暖房能力：63.0kw 最大冷房消費電力　14.5kw　最大極低温暖房消費電力　24.2kw 付属品　防振架台　防雪フード（吹出口用）　アクティブフィルター取付 室外機連結配管キット　2連結用	3Φ	200V	8.09KW 4.77KW	0.29KW ×2 0.21KW ×2	24.2KW	2F	回廊	1	RTSP560DB （同等品）	フロン排出抑制法 定期点検義務
AC5-1	ビル用マルチエアコン　室内ユニット 天井埋込ダクト形	冷房能力：5.6kw　暖房能力：6.3kw　風量　弱 660 強 780 急 960 CMH 冷房定格消費電力　148w　暖房定格消費電力　176kw 付属品　ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ　冷媒分流器	1Φ	200V	－	0.14KW	－	1F	廊下	10	FXYMP56EB （同等品）	
AC-6	設備用精密空調機 恒温恒湿タイプ　床置き （2F展示ケース内恒温恒湿空調機）	屋内機 冷却能力　8.0kw　加熱能力　3.0kw 定格処理風量　1200ー1380CMH　機外静圧　200Pa 蒸気加湿器　最大加湿能力5kg/h　最大使用水量8.6kg/h　軟水・純水 屋外機 室外機設置温度条件　-15℃～43℃対応 付属品　アクティブフィルター　屋内機背面吸込ユニットセット　防振架台	3Φ	200V	－ 1.70KW	0.40KW 0.20KW	12.70KW	1F 1F 1F	トラックヤード トラックヤード トラックヤード外部	1 1 1	PAP20A-KR （同等品）	一次側電源屋内機 屋内機より電源・制御線渡り 屋内機より電源・制御線渡り
AC-7	ビル用マルチエアコン室外機 高暖房形	冷房能力：67.0kw　暖房能力：77.5kw 最大冷房消費電力　18.0kw　最大極低温暖房消費電力　31.4kw 付属品　防振架台　防雪フード（吹出口用）　アクティブフィルター取付 室外機連結配管キット　2連結用	3Φ	200V	8.05KW ×2	0.29KW ×4	31.4KW	2F	回廊	1	RTSP670DB （同等品）	フロン排出抑制法 定期点検義務
AC7-1	ビル用マルチエアコン　室内ユニット 天井埋込ダクト形	冷房能力：7.1kw　暖房能力：8.0kw　風量　弱 960 強 1050 急 1170 CMH 冷房定格消費電力　136w　暖房定格消費電力　125kw 付属品　ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ　冷媒分流器	1Φ	200V	－	0.14KW	－	2F	廊下	10	FXYMP71EB （同等品）	

機　器　記　号	機器名称	仕様・付属品	電気仕様 相	電圧	圧縮機出力	ファン出力	最大消費電力	階	設置場所	台　数	参考型番	備考
			Φ	V	KW	KW	KW					
PAC-1	設備用エアコン	室内機 冷房能力：40kw　暖房能力：45kw　暖房低温能力：37.4kw 定格風量　7200CMH　　機外静圧238Pa 付属品　本台　リモコン（本体）　背面吸込口 室外機　45kw（22.4kw×2台 ） 付属品　防振架台　防雪フード（吹出口用）　アクティブフィルター取付 室外機連結配管キット　2連結用	3Φ 3Φ	200V 200V	12.9KW －	3.70KW 0.75KW ×2	14.7KW 1.06KW	1F 2F	多目的ホール機械室 北テラス	1 1	FRYP450B （同等品） CRYP224×２ （同等品）	1次側電源　室内機 室内機より電源渡り 室外機間電源渡り フロン排出抑制法 定期点検義務
PAC-2	設備用エアコン	室内機 冷房能力：53kw 定格風量　7200CMH　　機外静圧238Pa 付属品　本台　リモコン（本体）　背面吸込口 室外機 付属品　防振架台　防雪フード（吹出口用）　アクティブフィルター取付 室外機連結配管キット　2連結用	3Φ 3Φ	200V 200V	13.2KW －	3.70KW 0.75KW ×2	20.1KW 1.06KW	2F 2F	機械室 北テラス	1 1	FRP600BK （同等品） CRP300AAK　×２ （同等品）	1次側電源　室内機 室内機より電源渡り 室外機間電源渡り フロン排出抑制法 定期点検義務
	ダクト接続型電気ヒーター	暖房、再熱用電気ヒーター　60kw　処理風量　7200CMH	3Φ	200V	－	－	30.0KW	2F	機械室	1	KEH160C600 （同等品）	既存ヒーター入替
	電極式蒸気加湿器	最大蒸気発生量　15.0kg/h　　水道水（加圧シスターン経由） 付属品　取付ブラケット　給水フレキチューブ　CV1/2　主排水ホース40×50 蒸気ホース　30φ　1.5m　蒸気噴霧管　他一式	3Φ	200V	－	－	14.7KW	2F	機械室	2	MM-SEC15 （同等品）	既存ダクト接続
OAC-1	ビル用マルチエアコン　室外機 高暖房形	冷房能力：28.0kw　暖房能力：31.5kw 最大冷房消費電力　8.52kw　最大極低温暖房消費電力　15.2kw 付属品　防振架台　防雪フード（吹出口用）　アクティブフィルター取付	3Φ	200V	7.12KW	0.22KW ×2	12.5KW	2F	回廊	1	RTSP280DB （同等品）	
OAC1-1	ビル用マルチエアコン　室内ユニット 外気処理エアコン天井埋込ダクト形	冷房能力：28kw　暖房能力：23.3kw　　風量　2100CMH 冷房定格消費電力　946w　暖房定格消費電力　946w 付属品　　ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ　フィルターボックス	1Φ	200V	－	0.53KW	0.95KW	1F	歩廊	1	FXYMP56EB （同等品）	OA吸気制気口F付
	ダクト接続型電気ヒーター	低温時　吸込空気昇温用電気ヒーター　10kw 処理風量2100CMH	3Φ	200V			10.0KW	1F	歩廊	1		
OAC-2	ビル用マルチエアコン　室外機 高暖房形	冷房能力：28.0kw　暖房能力：31.5kw 最大冷房消費電力　8.52kw　最大極低温暖房消費電力　15.2kw 付属品　防振架台　防雪フード（吹出口用）　アクティブフィルター取付	3Φ	200V	7.12KW	0.22KW ×2	12.5KW	2F	回廊	2	RTSP280DB （同等品）	
OAC2-1	ビル用マルチエアコン　室内ユニット 外気処理エアコン天井埋込ダクト形	冷房能力：14kw　暖房能力：12kw　　風量　1080CMH 冷房定格消費電力　546w　暖房定格消費電力　546w 付属品　　ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ　フィルターボックス	1Φ	200V	－	0.24KW	1.09KW	1F	南北廊下	4	FXYMP56EB （同等品）	
	ダクト接続型電気ヒーター	低温時　吸込空気昇温用電気ヒーター　5kw 処理風量1080CMH	3Φ	200V	－		5.0KW	1F	南北廊下	4		
	フィルターボックス	処理風量1080CMH　　プレフィルター　予備品共	－	－	－	－	－	1F	南北廊下	4		
PH-1	輻射式天井埋込型遠赤外線ヒーター	天井埋込型　　最大放熱量　2700KJ/h　1215×605	1Φ	200V	－	－	0.75KW	1F	男子便所２	1	CRM75-2 （同等品）	
PH-2	輻射式天井埋込型遠赤外線ヒーター	天井埋込型　　最大放熱量　1350KJ/h　605×605	1Φ	200V	－	－	0.38KW	1F 1F	女子便所２ 多目的便所２	1 1	CRM50-2 （同等品）	
F-7	ダクト用換気扇	居間・事務所・店舗用 消音型 風量　380CMH 付属品　天井吊金物　24Hコントロールスイッチ（電気工事に支給）	1Φ	100V	－	－	0.05KW		事務室 館長・応接室 オリエンテーション室 会議室 展示室1 展示室2 展示室3 展示室4 学芸員室 収蔵庫 計	1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 14	VD-20ZLE13-FPS （同等品）	既設撤去　機器更新
F-11	ストレートシロッコファン	消音型 風量　1000CMH　静圧200Pa　強ノッチ 付属品　天井吊金物	1Φ	100V	－	－	0.25KW		喫茶コーナー	1	BFS-100SUG2 （同等品）	新設トイレ系統 （男子・女子・多目的・SK室）
ST-1	加圧シスターン	給水量：2ℓ/min 揚程：5m　給水20A 付属品　ボールタップ	1Φ	100V	－	－	0.26KW		2階空調機械室	1	ST-155B （同等品）	蒸気加湿器給水系統 （男子・女子・多目的・SK室）

特　　記	

令和6年度(債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

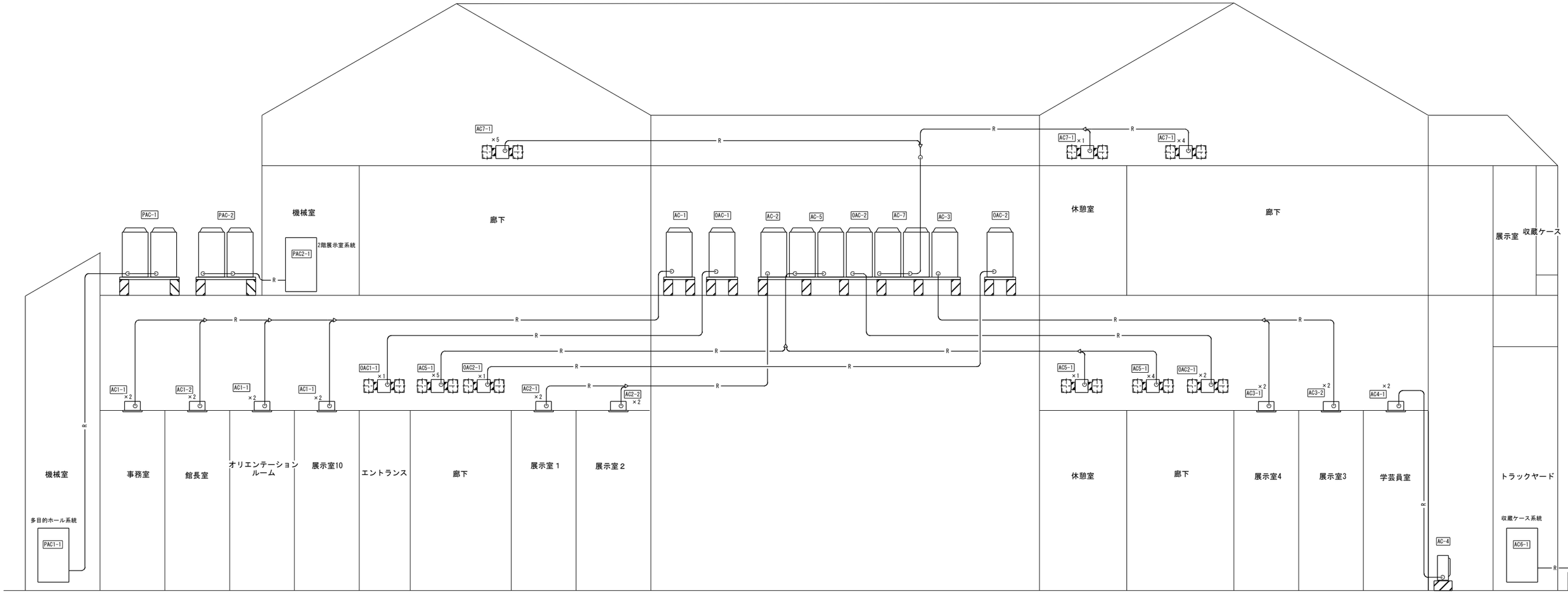
空調機器表

NO. M-04

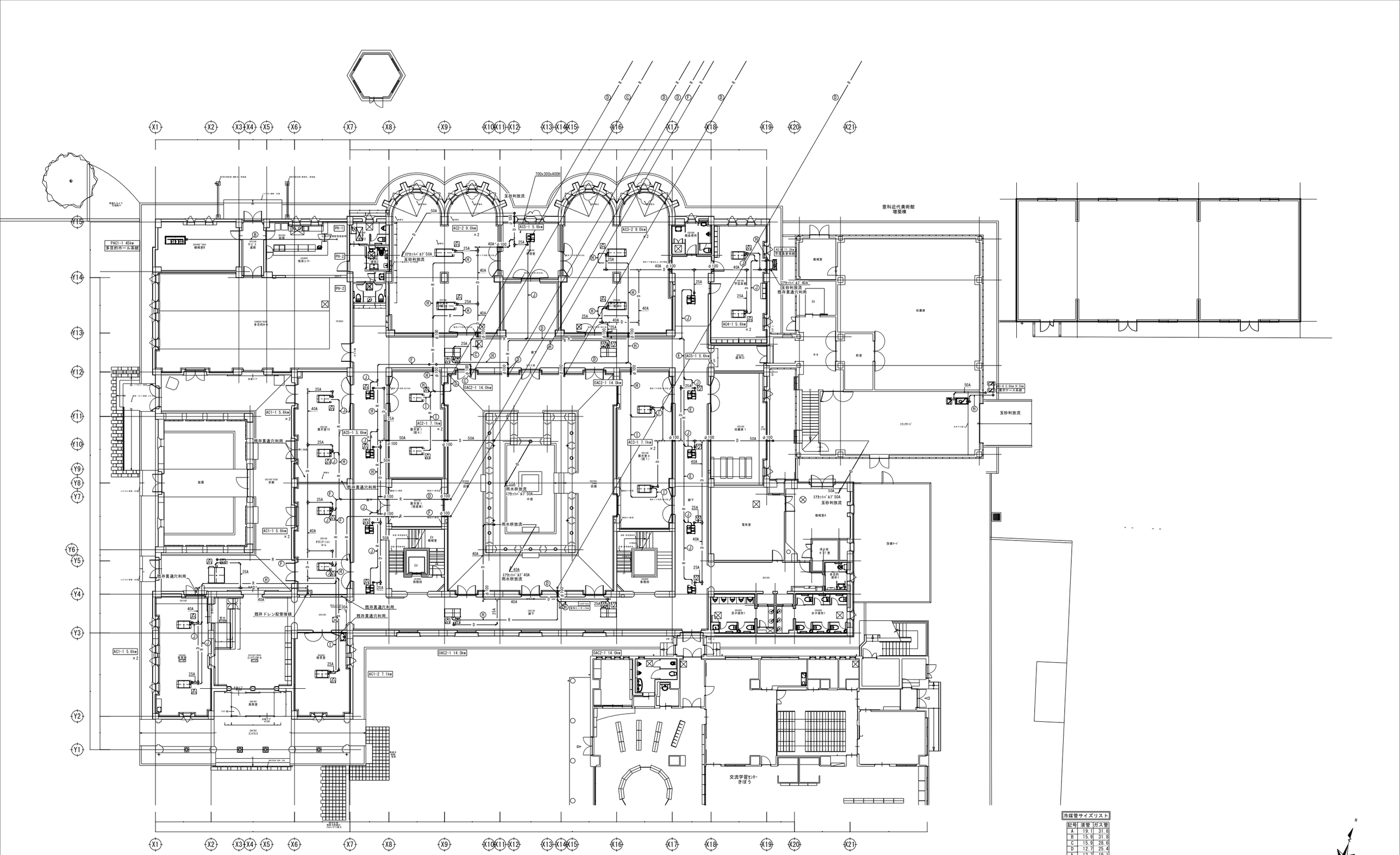
SCALE A3:1/300
A1:1/150

DATE 2024/3/15

SIGN



特　　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. M-05
			空気調和・換気設備　　配管系統図	SCALE A3:NON A1:NON
				SIGN



冷媒管サイズリスト

記号	液管	ガス管
A	19.1	31.8
B	15.9	31.8
C	15.9	28.6
D	12.7	25.4
E	12.7	19.1
F	9.5	22.2
G	9.5	19.1
H	9.5	15.9
I	9.5	12.7
J	6.4	12.7

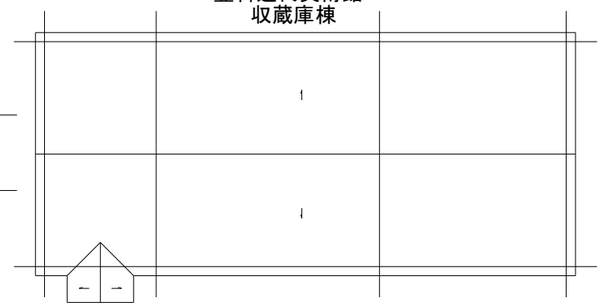
特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. M-06
			1階空調配管平面図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/3/15	SIGN

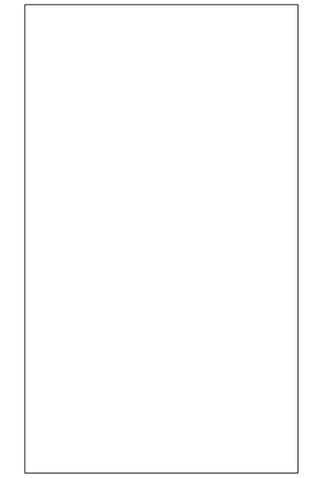
豊科近代美術館
燃料保管庫棟

豊科近代美術館
本館棟

豊科近代美術館
増築棟

豊科近代美術館
収蔵庫棟





展示ケース内空調ダクト断面図　1:100

庭園
上部

交流学習ｾﾝﾀｰ
きぼう

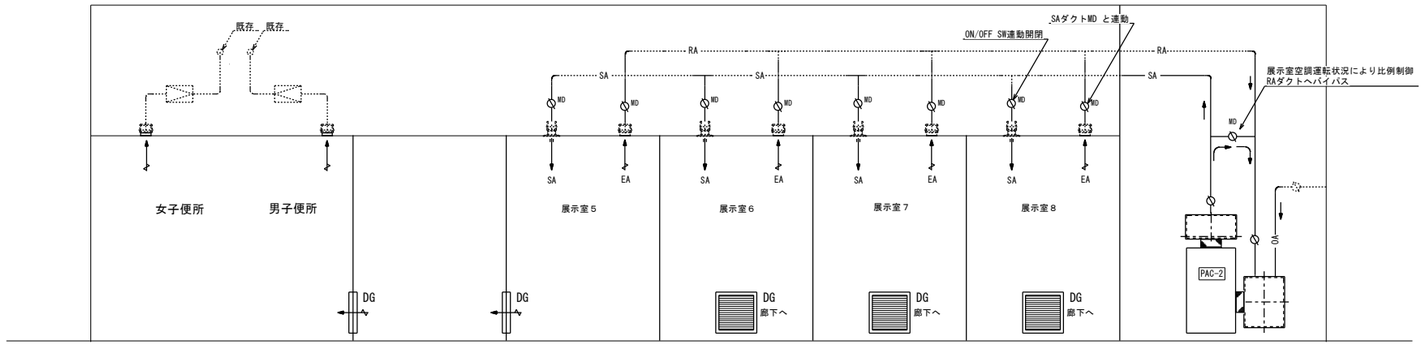
冷媒管サイズリスト

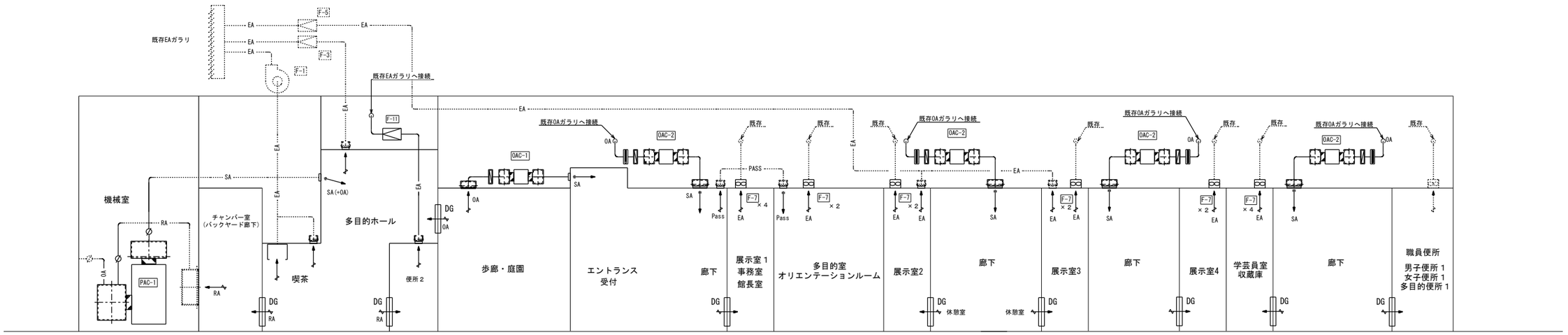
記号	液管	ガス管
A	19.1	31.8
B	15.9	31.8
C	15.9	28.6
D	12.7	25.4
E	12.7	19.1
F	9.5	22.2
G	9.5	19.1
H	9.5	15.9
I	9.5	12.7
J	6.4	12.7
K	12.7	22.2

N

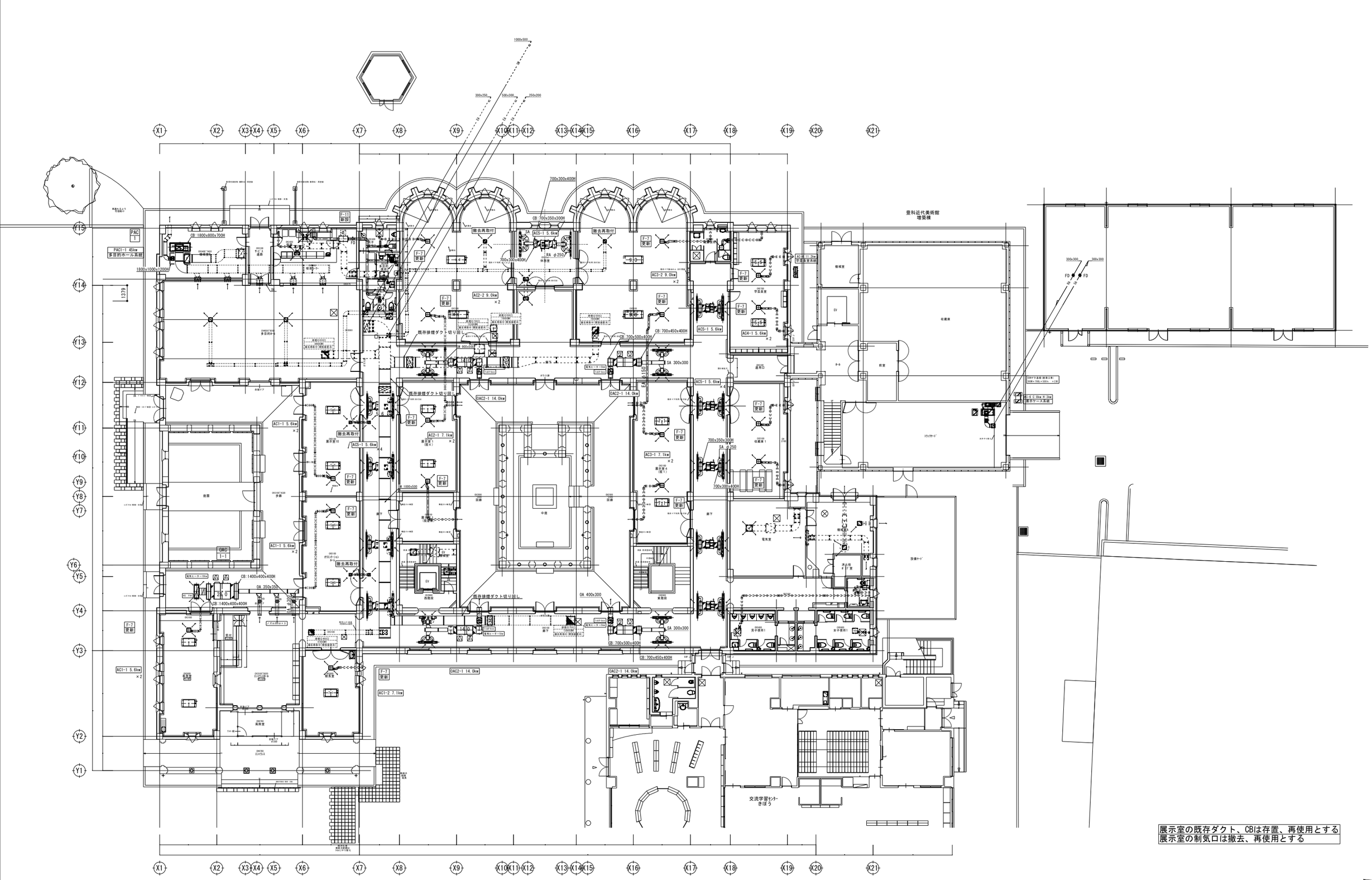
特　　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事
			実施設計図　　2階空調配管図
			DATE 2024/3/15

NO. M-07
SCALE A3:1/300 A1:1/150
SIGN

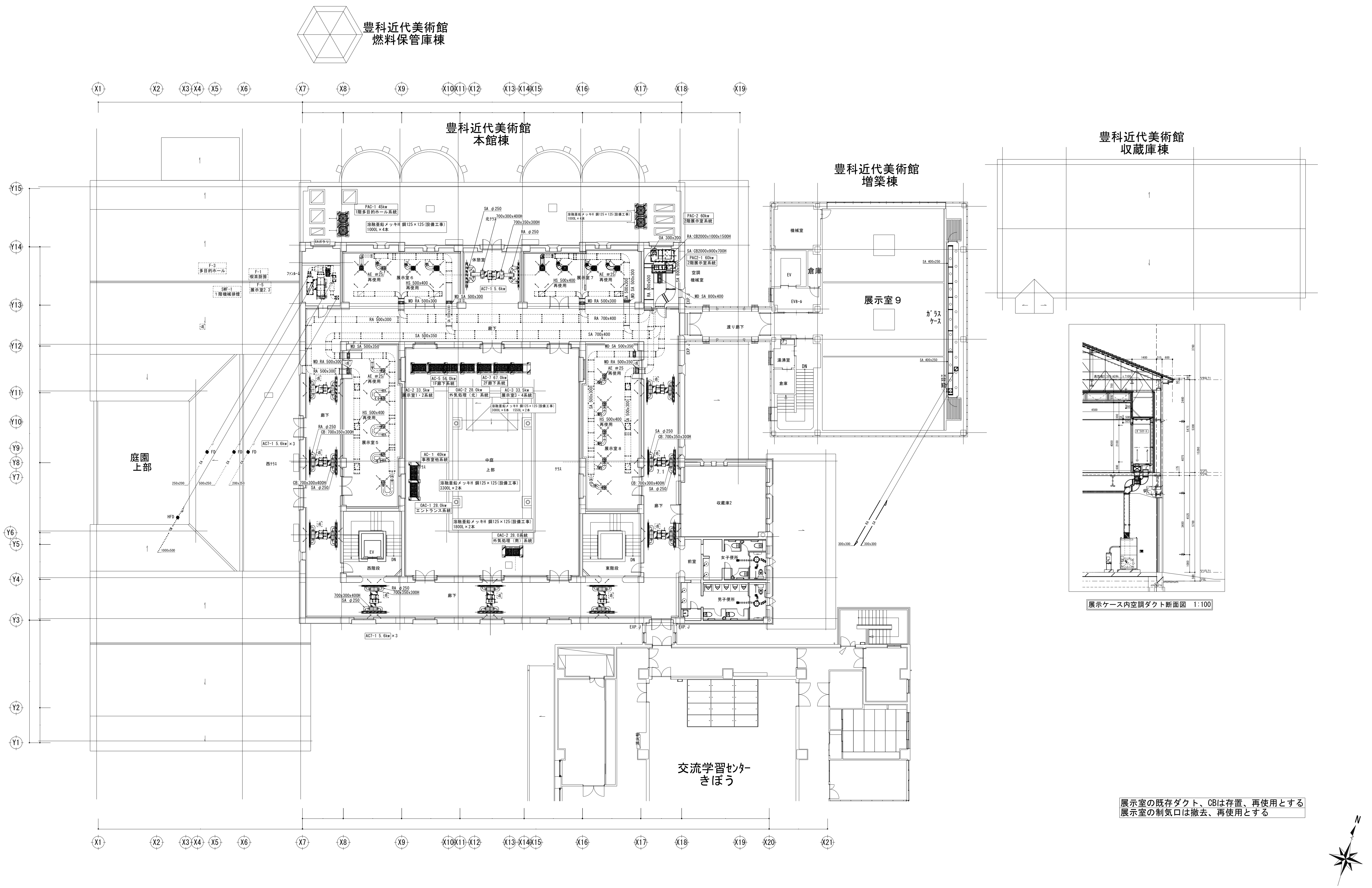




特　　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. M-08
			空気調和・換気設備　　ダクト系統図	SCALE A3:NON A1:NON
				SIGN

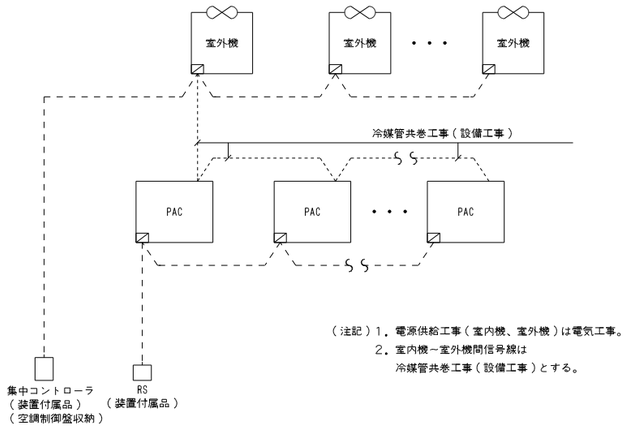


特　　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO.	M-09
			1階ダクト平面図	SCALE	A3:1/300 A1:1/150
				DATE	2024/3/15
				SIGN	



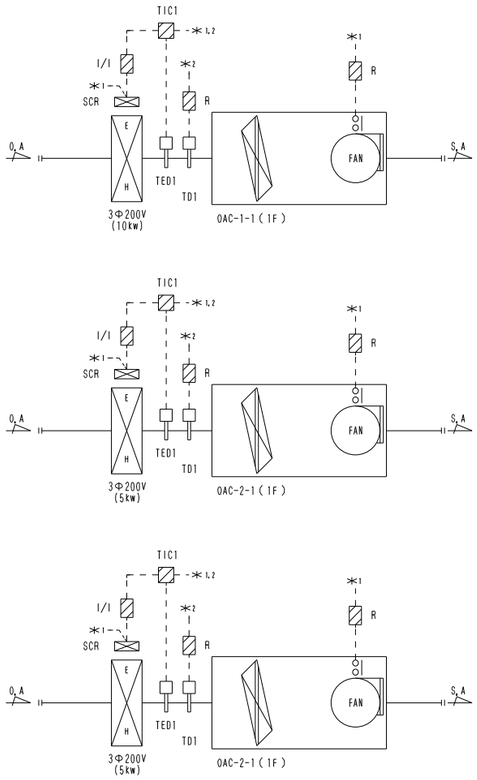
特記		令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. M-10
		2階ダクト平面図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
		DATE 2024/3/15	SIGN

1．PAC廻り配線工事



（注記）1．電源供給工事（室内機、室外機）は電気工事。
2．室内機～室外機間信号線は
冷媒管共巻工事（設備工事）とする。

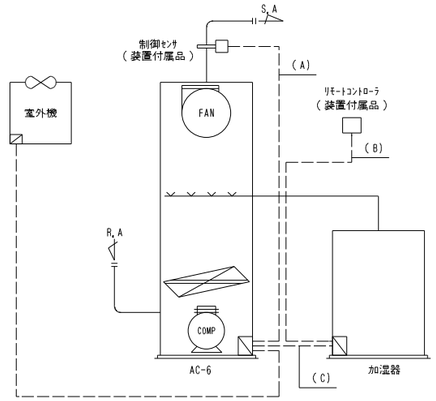
2．OAC（外調機）廻り制御



制御項目
1．電気ヒーター制御
電気ヒーター出口温度にて電気ヒーターの比例制御を行う。
2．電気ヒーター加熱防止制御
電気ヒーター出口温度にて異常上昇時に、電気ヒーターの強制停止を行う。
異常上昇時は空調制御盤にて警報ランプ及び警報ブザーを発報を行う。
電気ヒーターヒューズ断の時にも同様とする。
3．外調機停止時にインターロック制御
（対象：電気ヒーター）

注）残留運転回路は、外調機本体機能とする。

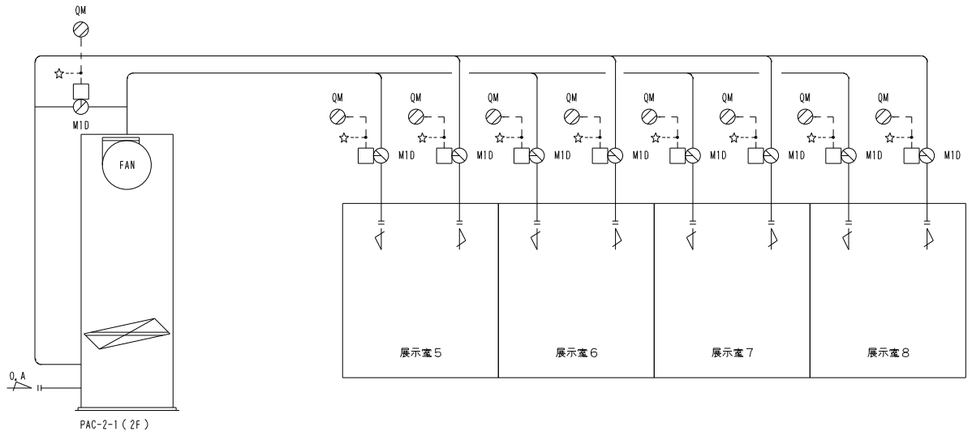
3．AC-6廻り制御



制御項目
1．温度制御、湿度制御（本体装置機能）

注）電源供給工事（室内機）は電気工事。
注）装置付属品ケーブル（A），（B），（C）の配線工事は計装工事。
注）装置一括警報出力機能（無電圧A接点出力）より空調制御盤へ発報する。

4．PAC-2-1廻りMD制御



制御項目
1．ダンパーモーター開度制御
開度設定器にて任意でダンパーモーターの開度を制御する。

5．自動制御機器表、盤リスト

自動制御機器表

機器記号	名　　称	参考型番	備　　考
TIC1	ﾃﾞｼﾞﾀﾙ指示調節計	R36	
TED1	ﾀﾞｸﾄ用温度ｾﾝｻ	TY7803Z	
TD1	温度調節器	TY6801Z	
M1D	ﾀﾞﾝﾊﾟ操作器	MY9050A	
QM	設定器	Q406B	
I/I	ｱｲｿﾚｰﾀ	RYY792S	
Tr1	ﾄﾗﾝｽ	－	
R	補助リレー	－	
SCR	ｻｲﾘｽﾀ	－	
RS	PACﾘﾓｺﾝ	－	装置付属品
集中ｺﾝﾄﾛｰﾗ	集中ｺﾝﾄﾛｰﾗ	－	装置付属品
ﾘﾓｰﾄｺﾝﾄﾛｰﾗ	ﾘﾓｰﾄｺﾝﾄﾛｰﾗ	－	装置付属品
制御ｾﾝｻ	制御ｾﾝｻ	－	装置付属品

盤寸法表

盤　名	形　状	寸　法			収納系統	備　　考
		W	H	D		
空調制御盤	－	－	－	－	集中ﾘﾓｺﾝ、OAC（外調機）廻り制御、AC-6一括警報	
ＭＤ開度制御盤	－	－	－	－	PAC-2-1廻りMD制御	

注）各盤１次側電源は電気工事とする。

特　　記	

令和6年度(債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

自動制御設備　計装図

NO. M-11
SCALE A3:non A1:non
DATE 2024/3/15
SIGN

-A-				
EM-MEES1.25□	-2C	x1	(コロガシ/冷媒管供巻)	集中リモコン配線
-B-				
EM-CEE1.25□	-2C	x1	(コロガシ)	OAC-1-1電気ヒータヒューズ
EM-CEE1.25□	-2C	x1	(コロガシ)	OAC-1-1運転信号
EM-CEE1.25□	-2C	x1	(コロガシ)	TD1
EM-CEE1.25□	-3C	x1	(コロガシ)	TED1
EM-CET14□（IE8□）		x1	(コロガシ)	OAC-1-1電気ヒータ

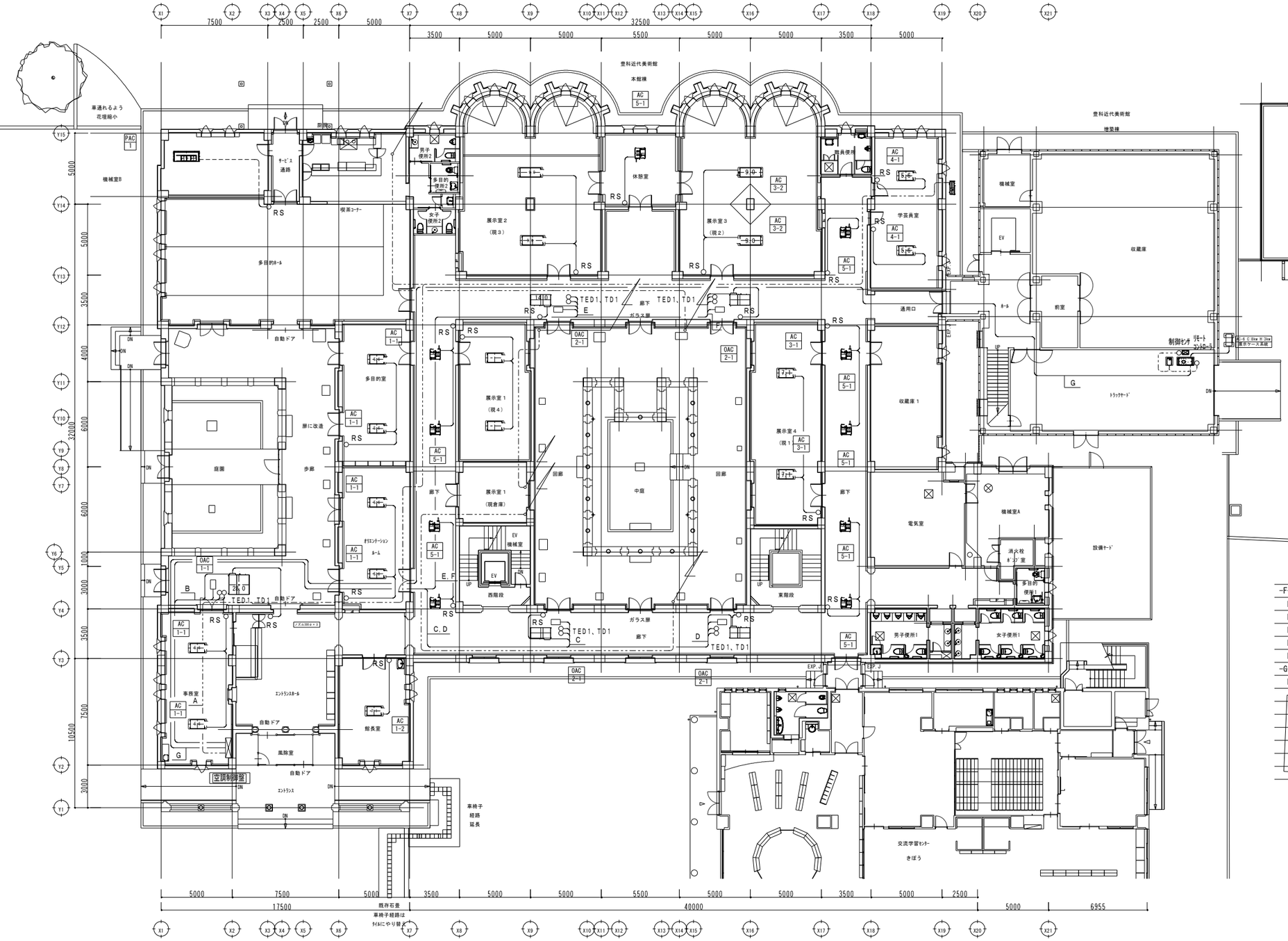
-C-				
EM-CEE1.25□	-2C	x1	(コロガシ)	OAC-2-1電気ヒータヒューズ
EM-CEE1.25□	-2C	x1	(コロガシ)	OAC-2-1運転信号
EM-CEE1.25□	-2C	x1	(コロガシ)	TD1
EM-CEE1.25□	-3C	x1	(コロガシ)	TED1
EM-CET14□（IE8□）		x1	(コロガシ)	OAC-2-1電気ヒータ
-D-				
EM-CEE1.25□	-2C	x1	(コロガシ)	OAC-2-1電気ヒータヒューズ
EM-CEE1.25□	-2C	x1	(コロガシ)	OAC-2-1運転信号
EM-CEE1.25□	-2C	x1	(コロガシ)	TD1
EM-CEE1.25□	-3C	x1	(コロガシ)	TED1
EM-CET14□（IE8□）		x1	(コロガシ)	OAC-2-1電気ヒータ
-E-				
EM-CEE1.25□	-2C	x1	(コロガシ)	OAC-2-1電気ヒータヒューズ
EM-CEE1.25□	-2C	x1	(コロガシ)	OAC-2-1運転信号
EM-CEE1.25□	-2C	x1	(コロガシ)	TD1
EM-CEE1.25□	-3C	x1	(コロガシ)	TED1
EM-CET14□（IE8□）		x1	(コロガシ)	OAC-2-1電気ヒータ

機器凡例				
シンボル	記号	配線	配管 (屋内)	配管 (屋外)
○	RS	EM-AE0.9mm - 2C × 1	(コロガシ/PF16)	
⌀	M1D	EM-CEE1.25□ - 4C × 1	(コロガシ/E19)	
○	TED	EM-CEE1.25□ - 3C × 1	(コロガシ/E19)	
○	TD1	EM-CEE1.25□ - 2C × 1	(コロガシ/E19)	

記号凡例

平面図記号	内容
――――――	天井内ケーブル配線
――――――	露出配管
―・―・―・―	集中リモコン配線
⊠	プルボックス

（特記）
- 天井内はケーブルコロガシとし、室内スイッチ類及び壁への立ち下りは配管を使用する。
- 集中リモコン配線にて、壁床貫通部は冷媒配管供巻とする。（貫通部処理は冷媒配管工事）



装置付属ケーブル		x1	(E19)	制御センサ～加湿器
装置付属ケーブル		x1	(E19)	リモートコントローラ～加湿器
装置付属ケーブル		x1	(E31)	AC-6～加湿器
EM-CE 2□	-4C	x1	(冷媒管供巻)	AC-6～室外機
EM-CEES1.25□	-4C	x1	(冷媒管供巻)	AC-6～室外機

-F-				
EM-CEE1.25□	-2C	x1	(コロガシ)	OAC-2-1電気ヒータヒューズ
EM-CEE1.25□	-2C	x1	(コロガシ)	OAC-2-1運転信号
EM-CEE1.25□	-2C	x1	(コロガシ)	TD1
EM-CEE1.25□	-3C	x1	(コロガシ)	TED1
EM-CET14□（IE8□）		x1	(コロガシ)	OAC-2-1電気ヒータ
-G-				
EM-CEE1.25□	-4C	x1	(コロガシ)	AC-6(一括警報)

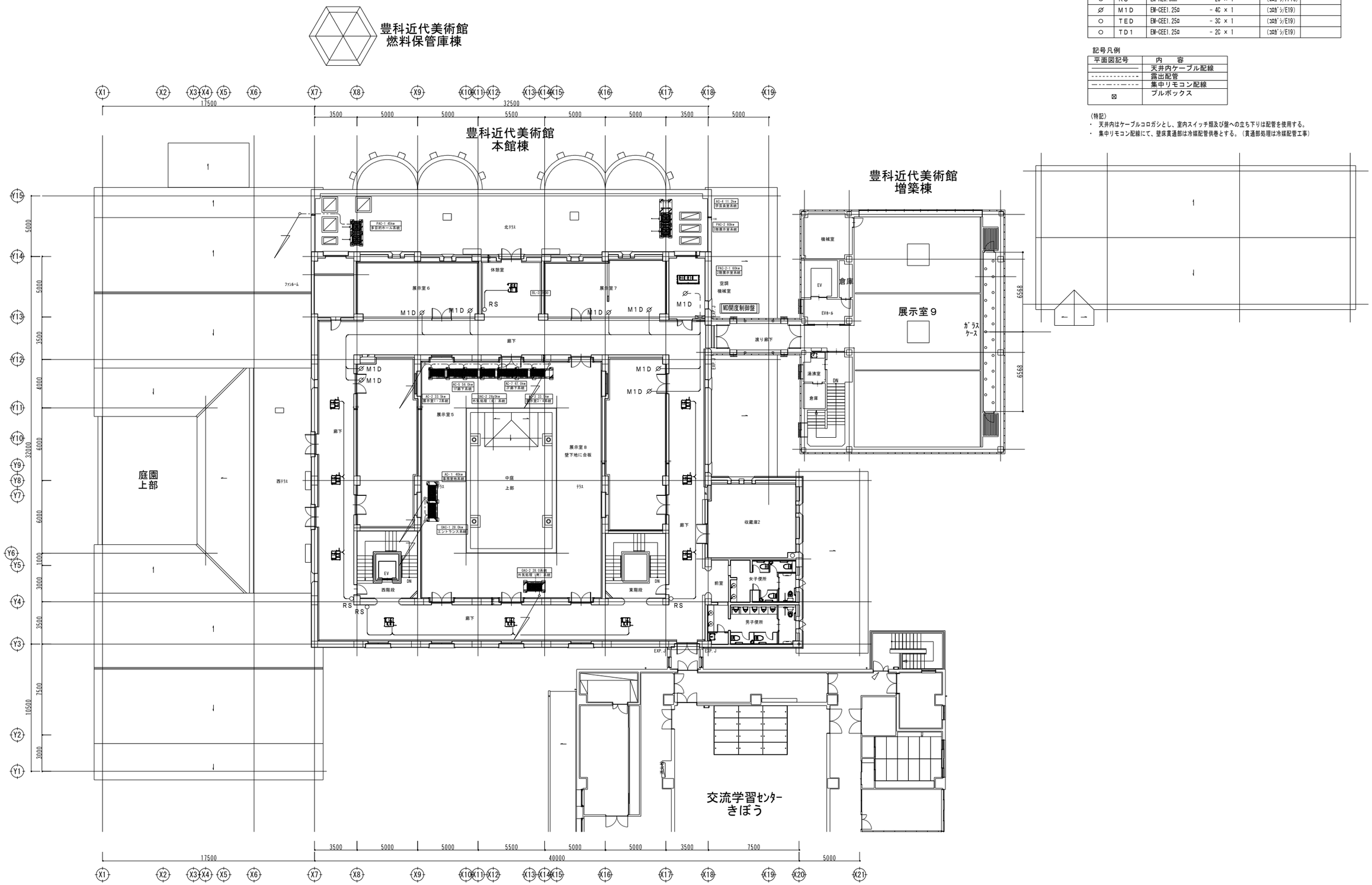
特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. M-12
			自動制御設備 1階平面図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/3/15	SIGN

機器凡例				
シンボル	記　号	配　　線	配　管	
			(屋内)	(屋外)
○	RS	EM-AE0.9mm　　- 2C × 1	(ｺﾛｶﾞｼ/PF16)	
⌀	M1D	EM-CEE1.25ﾛ　　- 4C × 1	(ｺﾛｶﾞｼ/E19)	
○	TED	EM-CEE1.25ﾛ　　- 3C × 1	(ｺﾛｶﾞｼ/E19)	
○	TD1	EM-CEE1.25ﾛ　　- 2C × 1	(ｺﾛｶﾞｼ/E19)	

記号凡例

平面図記号	内　　容
――――――	天井内ケーブル配線
- - - - - - - - - - - -	露出配管
―・―・―・―	集中リモコン配線
⊠	ブルボックス

(特記)
・ 天井内はケーブルコロガシとし、室内スイッチ類及び壁への立ち下りは配管を使用する。
・ 集中リモコン配線にて、壁床貫通部は冷媒配管供巻とする。(貫通部処理は冷媒配管工事)



特　　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. M-13
			自動制御設備　2階平面図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/3/15	SIGN

衛 生 器 具 表

器具名称	仕様・付属品	製品参考型番	電気仕様 相 Φ	電気仕様 電圧 V	電気仕様 消費電力 KW	男子便所2	女子便所2	多目的便所2	SK室		職員便所		館長室		男子便所1	女子便所1	多目的便所1		男子便所	女子便所	合計	備考
洗面化粧台	カウンター一体型洗面器 グースネック単水栓 止水栓・排水金物 キャビネット 大型一面鏡	MSHGL0750DCNM11 LHATL032ERZ LT4BD12U LHA002PCS1 LBHA075BCGGG2W MSH1A0750AE1085											1								1組	
洋風大便器	床置床排水大便器 密結タンク ウォシュレット 大便器背面カバー 棚付き2連紙巻き器 多用途用手摺り L型	CS232B SH232BF TCF5534AU HM220 YH702 T112CL9+T110D3R	1Φ	100V	0.31KW	1	1				1										3組	
小便器	壁掛低リップ大形自動洗浄小便器	UFS900R	1Φ	100V	0.05KW	1															1組	
洗面器	マーブルライトカウンター 3L電気温水器セット 連結管 排水金具・止水栓 ブラケット 化粧鏡 480×1100	MC50c0900V REAH03B11RS26SK RHE436-30 M357W TL347C1R M9P40A YMK52K	1Φ	100V	0.60KW	1	1															
洋風大便器	床置床排水大便器 密結タンク ウォシュレット（蓋なし） 大便器背面カバー 棚付き2連紙巻き器 腰掛便器用手摺り L型 可動式はね上げ手摺り（ロック付き） 背もたれ	CS232B SH232BF TCF5554AUPR HM220 YH702 T112CL12+T110D3R T112HK8R+T110D17S EWC285CS+T110D3R	1Φ	100V	0.31KW			1													1組	
洗面器	壁掛ハイパック洗面器 （電気温水器付き自動水栓セット） 止水栓 連結管 化粧鏡	LSG125ANR TL347CU RHE436-50 YMK51K	1Φ	100V	0.60KW			1													1組	
ベビーチェア	ベビーチェア（平面設置タイプ） M6アンカーボルト・樹脂プラグ	YKA15S YPH62017W2 T110D28						1													1組	
ベビーシート	ベビーシート M10アンカーボルト・樹脂プラグ	YKA25S YPH62018W2R T110D28						1													1組	
オストメイト	コンパクトオストメイトパック 側板	UAS81LDB1 UTR141	1Φ 1Φ	100V 100V	0.60KW （給湯器コンセント） 0.03KW （洗浄リモコン）			1													1組	
掃除用流し	掃除用流し 横水栓 壁排水金具 ストレート形止水栓 バックハンガー リムカバー	SK22A T23AEQ20C T37PGEP TN128 T9R TK22							1												1組	
電気温水器	電気温水器一体型自動水栓 アングル型止水栓	REAH03B11R33M4K TL347C1R	1Φ	100V	0.60KW										1	1	1		1	1	5組	

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. M-14
			衛生設備 器具表	SCALE A3:NON A1:NON
			DATE 2024/3/15	SIGN

50A
2階消火栓へ

50A
2階消火栓へ

別図参照

既設厨房機器撤去　一部更新・再取付

別図参照

既存配管撤去

1号消火栓移設（消防届要）

切回し移設消火栓接続

SGP 50A

空調改修状況により配管切り回し

SGP 65A

空調改修状況により配管切り回し

SGP 50A

空調改修状況により配管切り回し

SGP 65A

SGP 65A

給湯器一体型自動水栓

給湯器一体型自動水栓

給湯器一体型自動水栓

和洋リモデル
内装補修建築工事

既設手洗撤去　更新

既設ミニキッチン・ガス給湯器撤去　再取付

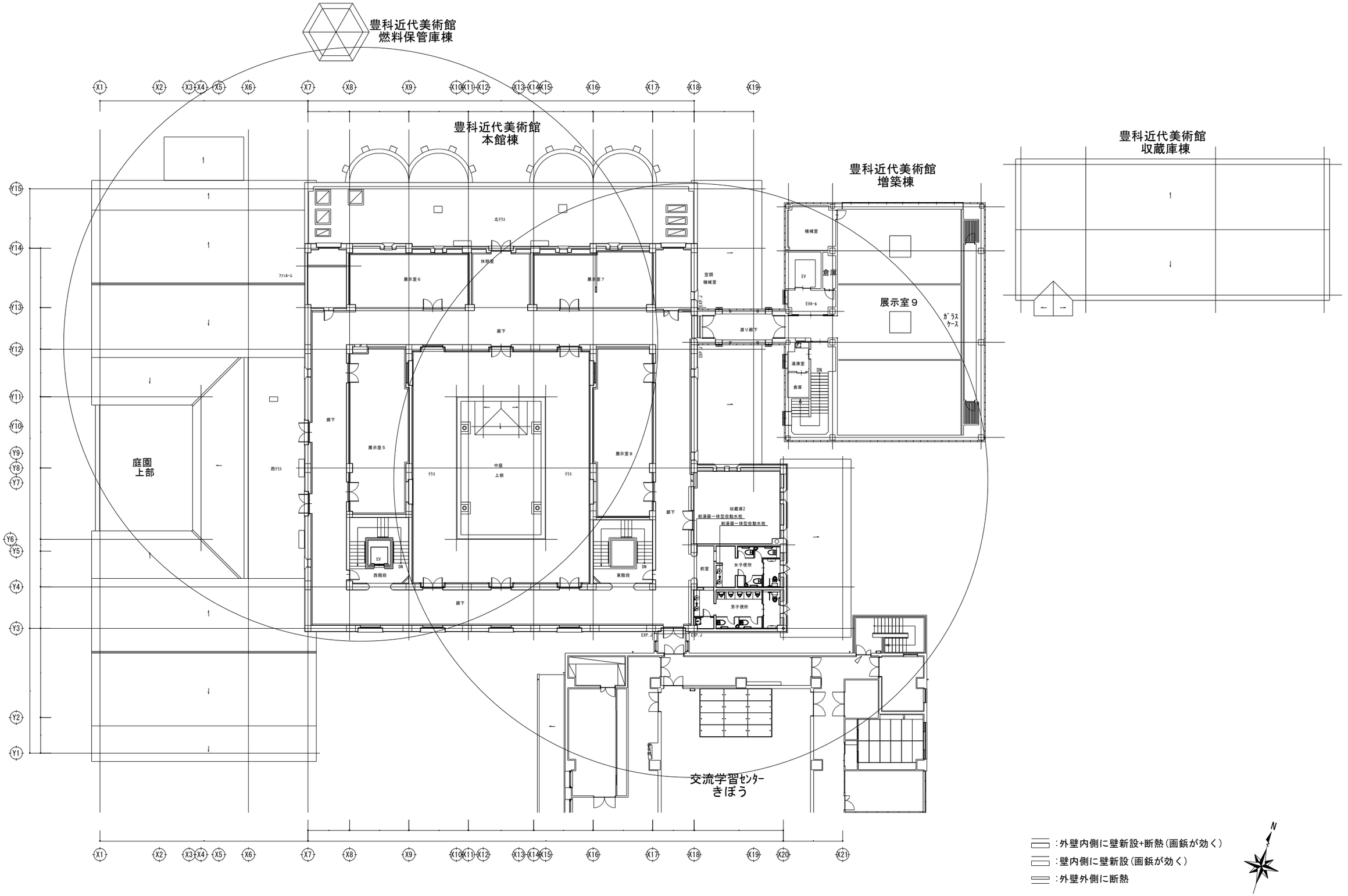
豊科近代美術館
増築棟

豊科近代美術館
収蔵庫棟

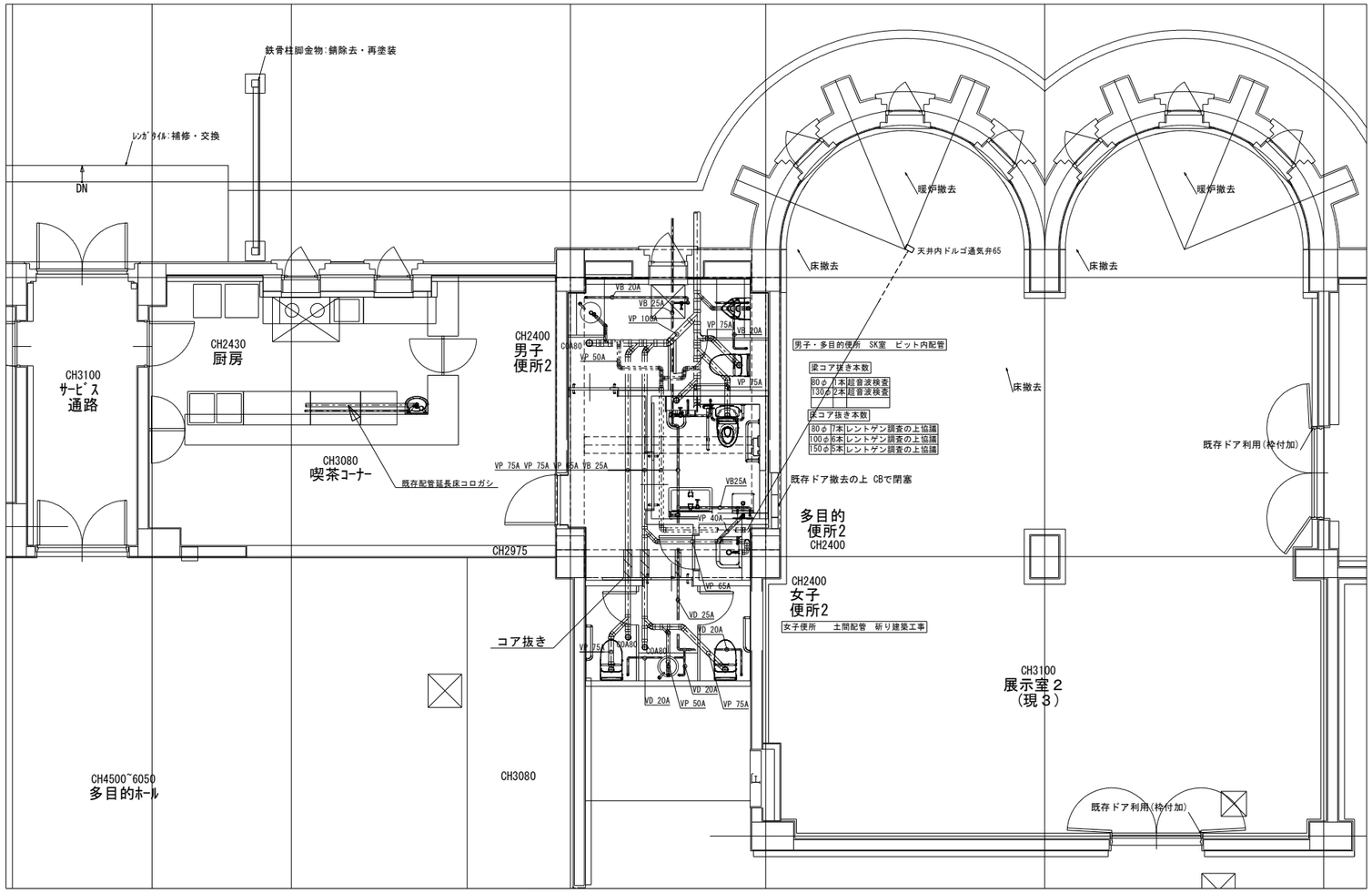
柔道場

交流学習センター
きぼう

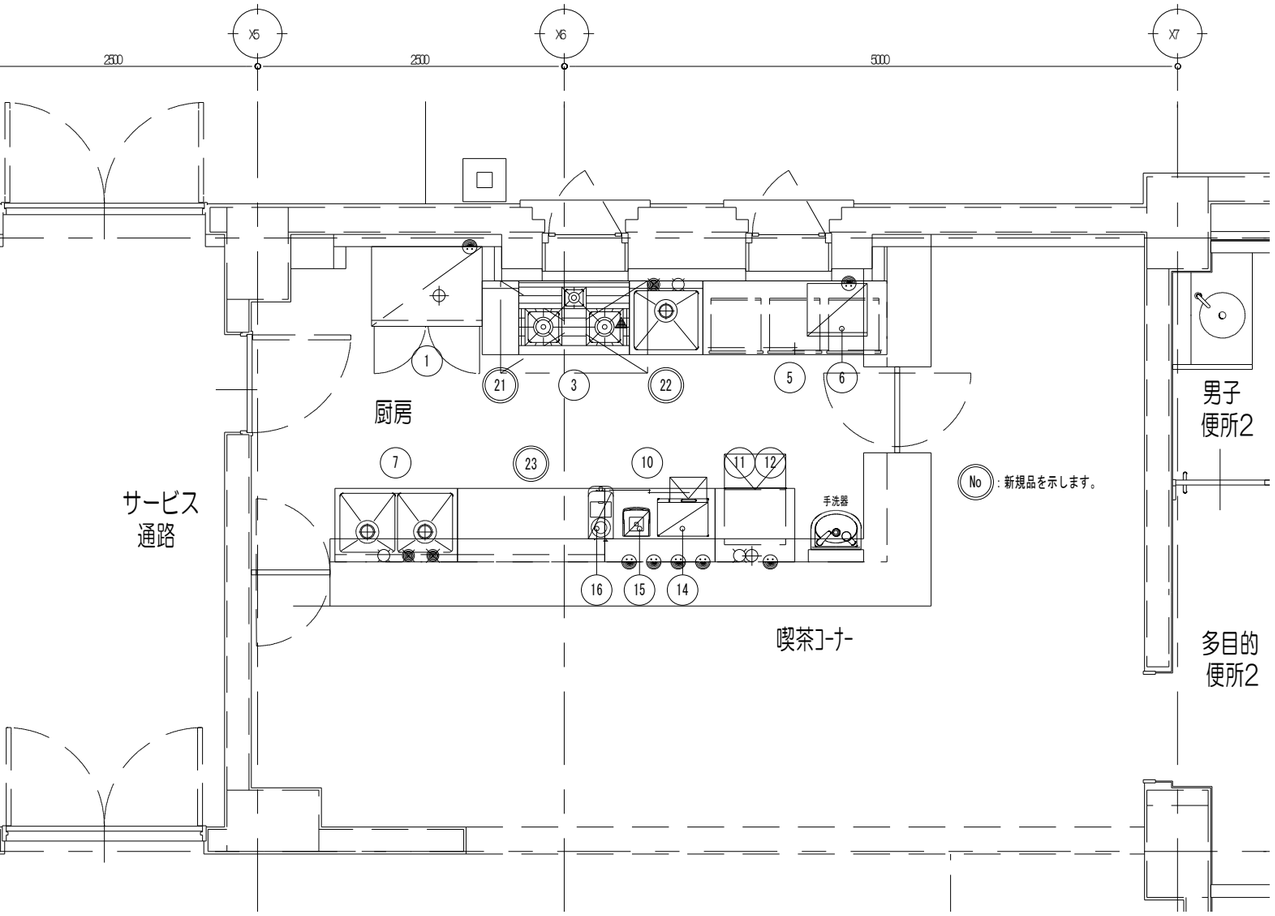
特　　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. M-15
			衛生設備　1階平面図	SCALE A3:1/300 A1:1/150
			DATE 2024/3/15	SIGN



特　　記			令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. M-16
			衛生設備　2階平面詳細図	SCALE A3：1/150 A1：1/300
			DATE 2024/3/15	SIGN



特　記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. M-17
			衛生設備　1階平面詳細図	SCALE A3:1/60 A1:1/30
			DATE 2024/3/15	SIGN



No：新規品を示します。

建築構造確認		設備シンボル凡例			
準耐火構造に準拠しているか		給水	ガス	1φ100V	排気フード
建物	厨房部分	給湯	ガスホース	1φ200V	換気扇
鉄骨	○	排水	冷却水	3φ200V	天井扇(HS)
		床排水	蒸気		

No.	品名	MODEL	台数	寸法(mm) 間口	奥行	高さ	配管接続口径(A) 給水	給湯	排水	LPガス(kW) 口径(A)	消費量 kW	電気(kW) 60Hz 1φ100V	1φ200V	3φ200V	フード	備考 CE06-X65B
	≪ 既存品 ≫															
1	冷凍冷蔵庫(1室冷凍3室冷蔵)	GRN-091PX	1	900	650	1950			40			0.5				冷凍室：129リットル 冷蔵室：435リットル
2																
3	ガステーブル		1	900	600	800				20	28.5				GF	
4																
5	引出付調理台	TRE-WCT-150DNB	1	1500	600	850										引出3ヶ
6	オーブンレンジ	AX-LSX3A	1	490	430	420						1.5				
7	二槽シンク	TRE-2S-100	1	1000	600	850	15	15	50x2							
8																
9																
10	冷蔵ショーケース	LGC-090RE(特)	1	900	600	850						0.2				197リットル
11	作業台		1	650	600	850										
12	製氷機(キューブアイス)	F1C-35KTX	1	500	450	800	15 G.V		40			0.3				製氷能力37kg/日
13																
14	オーブントースター	AX-GR2	1	412	306	228						1.5				
15	スムージーブレンダー	STEALTH89 5NBS	1	220	235	440						1.2				2.2リットル
16	コーヒーブルーワー	BM-2100H	1	204	426	446										9.1リットル/h
	≪ 新規品 ≫															
21	作業台	TXA-WT-30	1	300	600	800										
22	一槽シンク	TXA-1S-60	1	600	600	800	15	15	50							
23	調理台	TXA-WT-120	1	1200	600	800										
	総合設備容量										28.5	5.2	0.0	0.0		

No 新規品を示します。

特記			令和6年度(債務負担行為) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業 大規模改修工事	NO. M-18
			衛生設備 厨房設備図	SCALE A3:1/50 A1:1/25
			DATE 2024/03/15	SIGN

制気口リスト

階	室名	吹出口・吸込口 形式	吹出口・吸込口 サイズ	開口率%	風速（平均） m/sec	風量 m3/h	チャンバー/制気口ボックス 接続ダクトサイズ	チャンバー/制気口ボックス ボックスサイズ W×D×H	内貼り	個数	備考（系統名他）
1	エントランスホールOA	自動風向可変ノズル	290 φ	98.0	3.0	700	300 φ	350 × 350 × 300	GW25t	3	OAC-1（新設）系統
		HS-F	900 × 400	80.0	2.0	2100	600 × 400	1000 × 500 × 500	GW25t	1	OAC-1（新設）系統
1	多目的ホール	VHS	500 × 400	80.0	2.5	1440		既存	-	6	PAC-1系統 既存撤去・再取付
		HS	300 × 300	80.0	2.4	600		既存	-	2	F-3系統 既存撤去・再取付
1	喫茶コーナー	HS	450 × 200	80.0	2.4	600		既存	-	1	F-1系統 既存撤去・再取付
		排気フード						既存	-	2	排気フード撤去再取付
1	男子便所２	HS	200 × 200	80.0	2.5	280	150 φ	250 × 250 × 200	-	1	F-11（新設）系統
1	女子便所２	HS	200 × 200	80.0	2.5	280	150 φ	250 × 250 × 200	-	1	F-11（新設）系統
1	SK室	HS	150 × 150	80.0	2.5	160	100 φ	200 × 200 × 200	-	1	F-11（新設）系統
1	多目的便所２	HS	200 × 200	80.0	2.5	280	150 φ	250 × 250 × 200	-	1	F-11（新設）系統
1	展示室２	HS	250 × 250	80.0	2.1	370		既存	-	1	F-5系統 既存撤去・再取付
1	展示室３	HS	250 × 250	80.0	2.1	370		既存	-	1	F-5系統 既存撤去・再取付
1	廊下（北）OA	BL#3	1500 L	58.0	1.5	540	200 φ ×2	1600 × 200 × 300	GW25t	2	OAC-2（新設）系統
1											
1	廊下（南）OA	BL#3	1500 L	58.0	1.5	540	200 φ ×2	1600 × 200 × 300	GW25t	2	OAC-2（新設）系統
1											
1	廊下（西）SA	BL#3	2000 L	58.0	2.0	960	250 φ ×2	2100 × 200 × 300	GW25t	4	AC-5（新設）系統
1	RA	KL-F#4	2000 L	58.0	2.5	960	250 φ ×2	2100 × 200 × 300	GW25t	4	
1	廊下（東）SA	BL#3	2000 L	58.0	2.0	960	250 φ ×2	2100 × 200 × 300	GW25t	5	AC-5（新設）系統
1	RA	KL-F#4	2000 L	58.0	2.5	960	250 φ ×2	2100 × 200 × 300	GW25t	5	
1	休憩室SA	BL#3	2000 L	58.0	2.0	960	250 φ ×2	2100 × 200 × 300	GW25t	1	AC-5（新設）系統
1	RA	KL-F#4	2000 L	58.0	2.5	960	250 φ ×2	2100 × 200 × 300	GW25t	1	
1	エントランスホール	排煙口	450 × 450	90.0	7.2	4700		既存		1	SMF-1系統 既存撤去・再取付
1	廊下（北）	排煙口	700 × 700	90.0	8.8	13900		既存		1	SMF-1系統 既存撤去・再取付
1	廊下（南	排煙口	750 × 750	90.0	8.5	15500		既存		1	SMF-1系統 既存撤去・再取付
1	多目的ホール	排煙口	600 × 600	90.0	8.0	9400		既存		1	SMF-1系統 既存撤去・再取付
1	展示室２	排煙口	550 × 550	90.0	8.1	7900		既存		1	SMF-1系統 既存撤去・再取付
1	展示室３	排煙口	550 × 550	90.0	8.1	7900		既存		1	SMF-1系統 既存撤去・再取付
1	会議室	VHS	200 × 200	80.0		250		既存	-	1	Pass系統 既存撤去・再取付
1	廊下	HS	200 × 200	80.0		250		既存	-	1	
1	オリエンテーション室	VHS	200 × 200	80.0		250		既存	-	1	Pass系統 既存撤去・再取付
1	廊下	HS	200 × 200	80.0		250		既存	-	1	
									-		
1	休憩室	VHS	400 × 250	80.0		870		既存		1	Pass系統 既存撤去・再取付
1	廊下	HS	400 × 250	80.0		870		既存		1	

制気口リスト

階	室名	吹出口・吸込口 形式	吹出口・吸込口 サイズ	開口率%	風速（平均） m/sec	風量 m3/h	チャンバー/制気口ボックス 接続ダクトサイズ	チャンバー/制気口ボックス ボックスサイズ W×D×H	内貼り	個数	備考（系統名他）
2	展示室5 SA	アネモ	# 25	100	4.0	780		既存		5	PAC-2系統 既存撤去・再取付
	RA	HS	500 × 400	80.0	2.0	1300		既存		3	PAC-2系統 既存撤去・再取付
2	展示室6 SA	アネモ	# 25	100	4.0	780		既存		4	PAC-2系統 既存撤去・再取付
	RA	HS	500 × 400	80.0	2.0	1300		既存		2	PAC-2系統 既存撤去・再取付
2	展示室7 SA	アネモ	# 25	100	4.0	780		既存		5	PAC-2系統 既存撤去・再取付
	RA	HS	500 × 400	80.0	2.0	1300		既存		3	PAC-2系統 既存撤去・再取付
2	展示室8 SA	アネモ	# 25	100	4.0	780		既存		4	PAC-2系統 既存撤去・再取付
	RA	HS	500 × 400	80.0	2.0	1300		既存		2	PAC-2系統 既存撤去・再取付
2	廊下（西）SA	BL#3	2000 L	58.0	2.0	960	250 φ ×2	2100 × 200 × 300	GW25t	3	AC-7（新設）系統
2	RA	KL-F#4	2000 L	58.0	2.5	960	250 φ ×2	2100 × 200 × 300	GW25t	3	
2	廊下（東）SA	BL#3	2000 L	58.0	2.0	960	250 φ ×2	2100 × 200 × 300	GW25t	3	AC-7（新設）系統
2	RA	KL-F#4	2000 L	58.0	2.5	960	250 φ ×2	2100 × 200 × 300	GW25t	3	
2	廊下（南）SA	BL#3	2000 L	58.0	2.0	960	250 φ ×2	2100 × 200 × 300	GW25t	3	AC-7（新設）系統
2	RA	KL-F#4	2000 L	58.0	2.5	960	250 φ ×2	2100 × 200 × 300	GW25t	3	
2	休憩室SA	BL#3	2000 L	58.0	2.0	960	250 φ ×2	2100 × 200 × 300	GW25t	1	AC-7（新設）系統
2	RA	KL-F#4	2000 L	58.0	2.5	960	250 φ ×2	2100 × 200 × 300	GW25t	1	
2	収蔵ケースSA	FG（差込式）			0.5	150	200 φ	ダクト直結		9	AC-6（新設）系統
2	RA	FG（差込式）			0.5	135	200 φ	アンダーフロア		10	

特記	

令和6年度（債務負担行為）豊科近代美術館大規模修繕工事事業
大規模改修工事

制気口リスト

NO. M-19

SCALE A3:NON A1:NON

DATE 2024/3/15

SIGN